

図 面 目 録 (1 / 7)

図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
1	一般平面図 (全体)	1/1000	C-1	水処理施設 平面図 (1)	1/250	C-21	反応槽 断面図 (3)	1/100
2	一般平面図 (E-1系)	1/500	C-2	水処理施設 平面図 (2)	1/250	C-22	反応槽 断面図 (4)	1/100
3	水位関係図	V=1/250 H=1/N	C-3	水処理施設 平面図 (3)	1/250	C-23	反応槽 断面図 (5)	1/100
			C-4	水処理施設 平面図 (4)	1/250	C-24	反応槽 断面図 (6)	1/100
			C-5	水処理施設 断面図 (1)	1/250	C-25	反応槽 断面図 (7)	1/100
			C-6	水処理施設 断面図 (2)	1/250	C-26	最終沈殿池 平面図 (1)	1/100
			C-7	最初沈殿池 平面図 (1)	1/100	C-27	最終沈殿池 平面図 (2)	1/100
			C-8	最初沈殿池 平面図 (2)	1/100	C-28	最終沈殿池 平面図 (3)	1/100
			C-9	最初沈殿池 平面図 (3)	1/100	C-29	最終沈殿池 断面図 (1)	1/100
			C-10	最初沈殿池 断面図 (1)	1/100	C-30	最終沈殿池 断面図 (2)	1/100
			C-11	最初沈殿池 断面図 (2)	1/100	C-31	最終沈殿池 断面図 (3)	1/100
			C-12	最初沈殿池 断面図 (3)	1/100	C-32	最終沈殿池 断面図 (4)	1/100
			C-13	最初沈殿池 断面図 (4)	1/100	C-33	最終沈殿池 断面図 (5)	1/100
			C-14	最初沈殿池 断面図 (5)	1/100	C-34	最終沈殿池 断面図 (6)	1/100
			C-15	最初沈殿池 断面図 (6)	1/100	C-35	最終沈殿池 断面図 (7)	1/100
			C-16	反応槽 平面図 (1)	1/100	C-36	最初沈殿池 付帯配置図 (1)	1/100
			C-17	反応槽 平面図 (2)	1/100	C-37	最初沈殿池 付帯配置図 (2)	1/100
			C-18	反応槽 平面図 (3)	1/100	C-38	最初沈殿池 付帯配置図 (3)	1/100
			C-19	反応槽 断面図 (1)	1/100	C-39	反応槽 付帯配置図 (1)	1/100
			C-20	反応槽 断面図 (2)	1/100	C-40	反応槽 付帯配置図 (2)	1/100

図 面 目 録 (2 / 7)

図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
C-41	反応槽 付帯配置図 (3)	1／100	C-61	最初沈殿池 防食図 (6)	1／100	H-1	貫通孔・埋込管及び機器基礎仕様書 (1)	—
C-42	最終沈殿池 付帯配置図 (1)	1／100	C-62	反応槽 防食図 (1)	1／100	H-2	貫通孔・埋込管及び機器基礎仕様書 (2)	—
C-43	最終沈殿池 付帯配置図 (2)	1／100	C-63	反応槽 防食図 (2)	1／100	H-3	貫通孔・埋込管及び機器基礎仕様書 (3)	—
C-44	最終沈殿池 付帯配置図 (3)	1／100	C-64	反応槽 防食図 (3)	1／100	H-4	箱抜及び埋込配管図 (1)	1／100
C-45	水処理施設 付帯設備詳細図 (1)	図示	C-65	反応槽 防食図 (4)	1／100	H-5	箱抜及び埋込配管図 (2)	1／100
C-46	水処理施設 付帯設備詳細図 (2)	図示	C-66	反応槽 防食図 (5)	1／100	H-6	箱抜及び埋込配管図 (3)	1／100
C-47	水処理施設 付帯設備詳細図 (3)	図示	C-67	最終沈殿池 防食図 (1)	1／100	H-7	箱抜及び埋込配管図 (4)	1／100
C-48	水処理施設 付帯設備詳細図 (4)	図示	C-68	最終沈殿池 防食図 (2)	1／100	H-8	箱抜及び埋込配管図 (5)	1／100
C-49	水処理施設 付帯設備詳細図 (5)	図示	C-69	最終沈殿池 防食図 (3)	1／100	H-9	箱抜及び埋込配管図 (6)	1／100
C-50	水処理施設 付帯設備詳細図 (6)	図示				H-10	箱抜及び埋込配管図 (7)	1／100
C-51	水処理施設 付帯設備詳細図 (7)	図示				H-11	箱抜及び埋込配管図 (8)	1／100
C-52	水処理施設 付帯設備詳細図 (8)	図示				H-12	箱抜及び埋込配管図 (9)	1／100
C-53	水処理施設 伸縮継手断面図 (1)	図示						
C-54	水処理施設 伸縮継手断面図 (2)	図示						
C-55	水処理施設 伸縮継手断面図 (3)	図示						
C-56	最初沈殿池 防食図 (1)	1／100						
C-57	最初沈殿池 防食図 (2)	1／100						
C-58	最初沈殿池 防食図 (3)	1／100						
C-59	最初沈殿池 防食図 (4)	1／100						
C-60	最初沈殿池 防食図 (5)	1／100						

図 面 目 録 (3 / 7)

図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
S-1	構造細目共通図（複合構造物）（1）	—	1S-1	最初沈殿池 杭伏図	1／100	1S-21	最初沈殿池 雑配筋図（1）	1／30
S-2	構造細目共通図（複合構造物）（2）	—	1S-2	最初沈殿池 杭リスト・断面図	1/100, 30	1S-22	最初沈殿池 雑配筋図（2）	1／50
S-3	構造細目共通図（複合構造物）（3）	—	1S-3	最初沈殿池 伏図（1）	1／100	1S-23	最初沈殿池 架構配筋図（1）	1／50
S-4	構造細目共通図（複合構造物）（4）	—	1S-4	最初沈殿池 伏図（2）	1／100	1S-24	最初沈殿池 架構配筋図（2）	1／50
S-5	構造細目共通図（複合構造物）（5）	—	1S-5	最初沈殿池 伏図（3）	1／100	1S-25	最初沈殿池 架構配筋図（3）	1／50
S-6	構造細目共通図（複合構造物）（6）	—	1S-6	最初沈殿池 伏図（4）	1／100	1S-26	最初沈殿池 架構配筋図（4）	1／50
S-7	構造細目共通図（複合構造物）（7）	—	1S-7	最初沈殿池 軸組図（1）	1／100	1S-27	最初沈殿池 配筋リスト（1）	1／100
S-8	構造細目共通図（複合構造物）（8）	—	1S-8	最初沈殿池 軸組図（2）	1／100	1S-28	最初沈殿池 配筋リスト（2）	1／100
S-9	構造細目共通図（複合構造物）（9）	—	1S-9	最初沈殿池 軸組図（3）	1／100	1S-29	最初沈殿池 配筋リスト（3）	1／100
S-10	構造細目共通図（複合構造物）（10）	—	1S-10	最初沈殿池 軸組図（4）	1／100	1S-30	最初沈殿池 配筋リスト（4）	1／100
S-11	構造細目共通図（複合構造物）（11）	—	1S-11	最初沈殿池 軸組図（5）	1／100	1S-31	最初沈殿池 配筋リスト（5）	1／100
S-12	構造細目共通図（複合構造物）（12）	—	1S-12	最初沈殿池 軸組図（6）	1／100	1S-32	最初沈殿池 配筋リスト（6）	—
			1S-13	最初沈殿池 軸組図（7）	1／100	1S-33	最初沈殿池 底版配筋図（1）	1／50
			1S-14	最初沈殿池 軸組図（8）	1／100	1S-34	最初沈殿池 底版配筋図（2）	1／50
			1S-15	最初沈殿池 柱リスト（1）	1／30	1S-35	最初沈殿池 底版配筋図（3）	1／50
			1S-16	最初沈殿池 柱リスト（2）	1／30	1S-36	最初沈殿池 底版配筋図（4）	1／50
			1S-17	最初沈殿池 大梁リスト（1）	1／30	1S-37	最初沈殿池 壁配筋図（1）	1／50
			1S-18	最初沈殿池 大梁リスト（2）	1／30	1S-38	最初沈殿池 壁配筋図（2）	1／50
			1S-19	最初沈殿池 大梁リスト（3）	1／30	1S-39	最初沈殿池 壁配筋図（3）	1／50
			1S-20	最初沈殿池 床版、壁リスト	1／30	1S-40	最初沈殿池 壁配筋図（4）	1／50

図 面 目 録 (4 / 7)

図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
1S-41	最初沈殿池 壁配筋図 (5)	1／50	1S-61	最初沈殿池 床版配筋図 (7)	1／50	2S-1	反応槽 杭伏図	1／100
1S-42	最初沈殿池 壁配筋図 (6)	1／50				2S-2	反応槽 杭リスト・断面図	1/100, 30
1S-43	最初沈殿池 壁配筋図 (7)	1／50				2S-3	反応槽 伏図 (1)	1／100
1S-44	最初沈殿池 壁配筋図 (8)	1／50				2S-4	反応槽 伏図 (2)	1／100
1S-45	最初沈殿池 壁配筋図 (9)	1／50				2S-5	反応槽 伏図 (3)	1／100
1S-46	最初沈殿池 壁配筋図 (10)	1／50				2S-6	反応槽 伏図 (4)	1／100
1S-47	最初沈殿池 壁配筋図 (11)	1／50				2S-7	反応槽 伏図 (5)	1／100
1S-48	最初沈殿池 壁配筋図 (12)	1／50				2S-8	反応槽 伏図 (6)	1／100
1S-49	最初沈殿池 壁配筋図 (13)	1／50				2S-9	反応槽 軸組図 (1)	1／100
1S-50	最初沈殿池 壁配筋図 (14)	1／50				2S-10	反応槽 軸組図 (2)	1／100
1S-51	最初沈殿池 壁配筋図 (15)	1／50				2S-11	反応槽 軸組図 (3)	1／100
1S-52	最初沈殿池 壁配筋図 (16)	1／50				2S-12	反応槽 軸組図 (4)	1／100
1S-53	最初沈殿池 壁配筋図 (17)	1／50				2S-13	反応槽 軸組図 (5)	1／100
1S-54	最初沈殿池 壁配筋図 (18)	1／50				2S-14	反応槽 軸組図 (6)	1／100
1S-55	最初沈殿池 床版配筋図 (1)	1／50				2S-15	反応槽 軸組図 (7)	1／100
1S-56	最初沈殿池 床版配筋図 (2)	1／50				2S-16	反応槽 軸組図 (8)	1／100
1S-57	最初沈殿池 床版配筋図 (3)	1／50				2S-17	反応槽 軸組図 (9)	1／100
1S-58	最初沈殿池 床版配筋図 (4)	1／50				2S-18	反応槽 軸組図 (10)	1／100
1S-59	最初沈殿池 床版配筋図 (5)	1／50				2S-19	反応槽 軸組図 (11)	1／100
1S-60	最初沈殿池 床版配筋図 (6)	1／50				2S-20	反応槽 軸組図 (12)	1／100

図 面 目 録 (5 / 7)

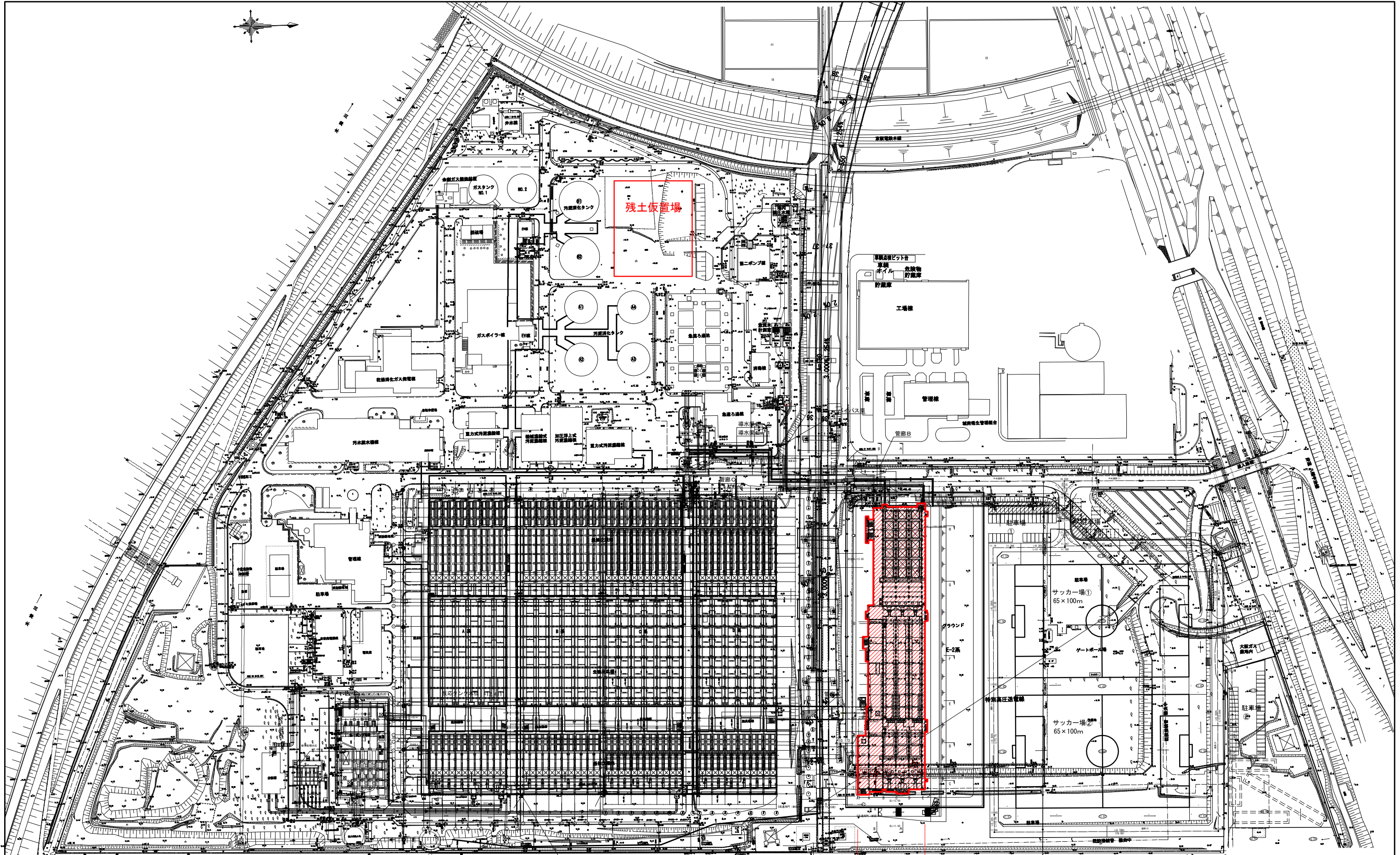
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
2S-21	反応槽 軸組図 (13)	1／100	2S-41	反応槽 配筋リスト (3)	1／100	2S-61	反応槽 壁配筋図 (10)	1／50
2S-22	反応槽 軸組図 (14)	1／100	2S-42	反応槽 配筋リスト (4)	1／100	2S-62	反応槽 壁配筋図 (11)	1／50
2S-23	反応槽 軸組図 (15)	1／100	2S-43	反応槽 配筋リスト (5)	1／100	2S-63	反応槽 壁配筋図 (12)	1／50
2S-24	反応槽 柱リスト (1)	1／30	2S-44	反応槽 配筋リスト (6)	1／100	2S-64	反応槽 壁配筋図 (13)	1／50
2S-25	反応槽 柱リスト (2)	1／30	2S-45	反応槽 配筋リスト (7)	—	2S-65	反応槽 壁配筋図 (14)	1／50
2S-26	反応槽 柱リスト (3)	1／30	2S-46	反応槽 底版配筋図 (1)	1／50	2S-66	反応槽 壁配筋図 (15)	1／50
2S-27	反応槽 柱リスト (4)	1／30	2S-47	反応槽 底版配筋図 (2)	1／50	2S-67	反応槽 壁配筋図 (16)	1／50
2S-28	反応槽 柱リスト (5)	1／30	2S-48	反応槽 底版配筋図 (3)	1／50	2S-68	反応槽 壁配筋図 (17)	1／50
2S-29	反応槽 大梁リスト (1)	1／30	2S-49	反応槽 底版配筋図 (4)	1／50	2S-69	反応槽 壁配筋図 (18)	1／50
2S-30	反応槽 大梁リスト (2)	1／30	2S-50	反応槽 底版配筋図 (5)	1／50	2S-70	反応槽 壁配筋図 (19)	1／50
2S-31	反応槽 大梁リスト (3)	1／30	2S-51	反応槽 底版配筋図 (6)	1／50	2S-71	反応槽 壁配筋図 (20)	1／50
2S-32	反応槽 小梁、床版、壁リスト	1／30	2S-52	反応槽 壁配筋図 (1)	1／50	2S-72	反応槽 壁配筋図 (21)	1／50
2S-33	反応槽 雑配筋図 (1)	1／30	2S-53	反応槽 壁配筋図 (2)	1／50	2S-73	反応槽 壁配筋図 (22)	1／50
2S-34	反応槽 雑配筋図 (2)	1／50	2S-54	反応槽 壁配筋図 (3)	1／50	2S-74	反応槽 壁配筋図 (23)	1／50
2S-35	反応槽 架構配筋図 (1)	1／50	2S-55	反応槽 壁配筋図 (4)	1／50	2S-75	反応槽 壁配筋図 (24)	1／50
2S-36	反応槽 架構配筋図 (2)	1／50	2S-56	反応槽 壁配筋図 (5)	1／50	2S-76	反応槽 壁配筋図 (25)	1／50
2S-37	反応槽 架構配筋図 (3)	1／50	2S-57	反応槽 壁配筋図 (6)	1／50	2S-77	反応槽 床版配筋図 (1)	1／50
2S-38	反応槽 架構配筋図 (4)	1／50	2S-58	反応槽 壁配筋図 (7)	1／50	2S-78	反応槽 床版配筋図 (2)	1／50
2S-39	反応槽 配筋リスト (1)	1／100	2S-59	反応槽 壁配筋図 (8)	1／50	2S-79	反応槽 床版配筋図 (3)	1／50
2S-40	反応槽 配筋リスト (2)	1／100	2S-60	反応槽 壁配筋図 (9)	1／50	2S-80	反応槽 床版配筋図 (4)	1／50

図 面 目 録 (6 / 7)

図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
2S-81	反応槽 床版配筋図 (5)	1／50	3S-1	最終沈殿池 杭伏図	1／100	3S-21	最終沈殿池 架構配筋図 (2)	1／50
2S-82	反応槽 床版配筋図 (6)	1／50	3S-2	最終沈殿池 杭リスト・断面図	1/100, 30	3S-22	最終沈殿池 配筋リスト (1)	1／100
2S-83	反応槽 床版配筋図 (7)	1／50	3S-3	最終沈殿池 伏図 (1)	1／100	3S-23	最終沈殿池 配筋リスト (2)	1／100
2S-84	反応槽 床版配筋図 (8)	1／50	3S-4	最終沈殿池 伏図 (2)	1／100	3S-24	最終沈殿池 配筋リスト (3)	1／100
2S-85	反応槽 床版配筋図 (9)	1／50	3S-5	最終沈殿池 伏図 (3)	1／100	3S-25	最終沈殿池 配筋リスト (4)	1／100
2S-86	反応槽 床版配筋図 (10)	1／50	3S-6	最終沈殿池 軸組図 (1)	1／100	3S-26	最終沈殿池 配筋リスト (5)	1／100
2S-87	反応槽 床版配筋図 (11)	1／50	3S-7	最終沈殿池 軸組図 (2)	1／100	3S-27	最終沈殿池 配筋リスト (6)	—
			3S-8	最終沈殿池 軸組図 (3)	1／100	3S-28	最終沈殿池 底版配筋図 (1)	1／50
			3S-9	最終沈殿池 軸組図 (4)	1／100	3S-29	最終沈殿池 底版配筋図 (2)	1／50
			3S-10	最終沈殿池 軸組図 (5)	1／100	3S-30	最終沈殿池 底版配筋図 (3)	1／50
			3S-11	最終沈殿池 軸組図 (6)	1／100	3S-31	最終沈殿池 底版配筋図 (4)	1／50
			3S-12	最終沈殿池 軸組図 (7)	1／100	3S-32	最終沈殿池 底版配筋図 (5)	1／50
			3S-13	最終沈殿池 軸組図 (8)	1／100	3S-33	最終沈殿池 底版配筋図 (6)	1／50
			3S-14	最終沈殿池 柱リスト (1)	1／30	3S-34	最終沈殿池 壁配筋図 (1)	1／50
			3S-15	最終沈殿池 柱リスト (2)	1／30	3S-35	最終沈殿池 壁配筋図 (2)	1／50
			3S-16	最終沈殿池 大梁リスト (1)	1／30	3S-36	最終沈殿池 壁配筋図 (3)	1／50
			3S-17	最終沈殿池 大梁リスト (2)	1／30	3S-37	最終沈殿池 壁配筋図 (4)	1／50
			3S-18	最終沈殿池 雑配筋図 (1)	1／100, 30	3S-38	最終沈殿池 壁配筋図 (5)	1／50
			3S-19	最終沈殿池 雑配筋図 (2)	1／50, 30	3S-39	最終沈殿池 壁配筋図 (6)	1／50
			3S-20	最終沈殿池 架構配筋図 (1)	1／50	3S-40	最終沈殿池 壁配筋図 (7)	1／50

図 面 目 録 (7 / 7)

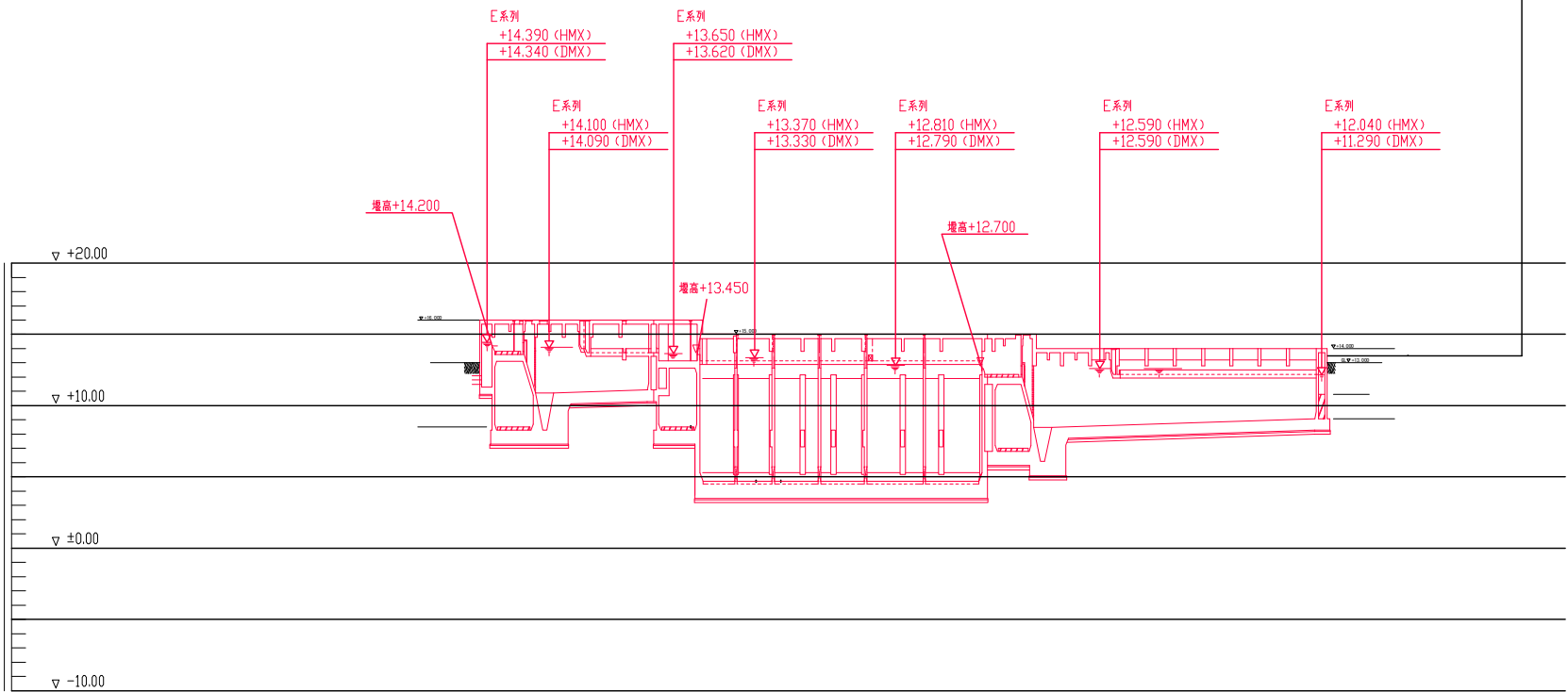
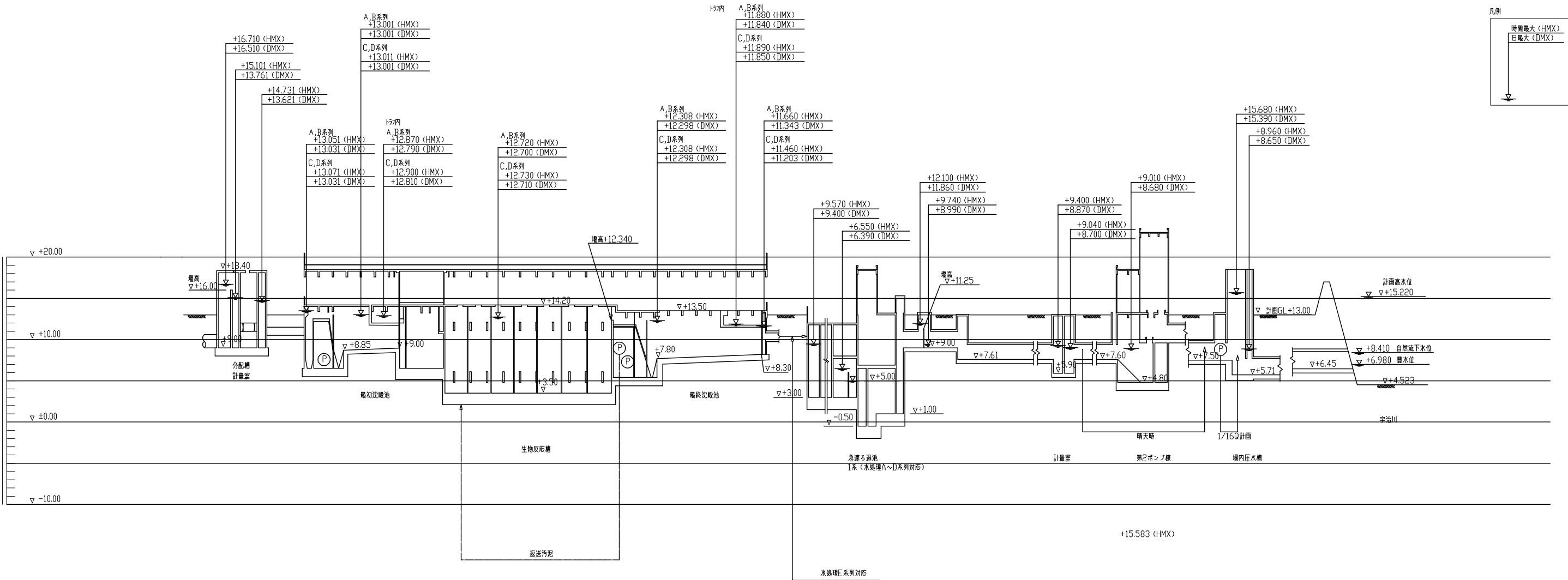
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
3S-41	最終沈殿池 壁配筋図 (8)	1／50	3S-61	最終沈殿池 床版配筋図 (8)	1／50	K-1	水処理施設 反応槽矢板平面図	1／250
3S-42	最終沈殿池 壁配筋図 (9)	1／50				K-2	水処理施設 1次掘削平面図	1／250
3S-43	最終沈殿池 壁配筋図 (10)	1／50				K-3	水処理施設 土留仮設平面図	1／150
3S-44	最終沈殿池 壁配筋図 (11)	1／50				K-4	水処理施設 2次掘削平面図	1／250
3S-45	最終沈殿池 壁配筋図 (12)	1／50				K-5	初沈 (2次掘削) ・ 終沈 (3次掘削) 平面図	1／250
3S-46	最終沈殿池 壁配筋図 (13)	1／50				K-6	水処理施設 土工断面図 (1)	1/250, 100
3S-47	最終沈殿池 壁配筋図 (14)	1／50				K-7	水処理施設 土工断面図 (2)	1／100
3S-48	最終沈殿池 壁配筋図 (15)	1／50				K-8	水処理施設 土工断面図 (3)	1／100
3S-49	最終沈殿池 壁配筋図 (16)	1／50				K-9	水処理施設 土工断面図 (4)	1／100
3S-50	最終沈殿池 壁配筋図 (17)	1／50				K-10	水処理施設 土工断面図 (5)	1／150
3S-51	最終沈殿池 壁配筋図 (18)	1／50				K-11	水処理施設 土工断面図 (6)	1／250
3S-52	最終沈殿池 壁配筋図 (19)	1／50				K-12	水処理施設 土工断面図 (7)	1／250
3S-53	最終沈殿池 壁配筋図 (20)	1／50				K-13	最終沈殿池 将来管廊施工考慮図	1／100
3S-54	最終沈殿池 床版配筋図 (1)	1／50						
3S-55	最終沈殿池 床版配筋図 (2)	1／50						
3S-56	最終沈殿池 床版配筋図 (3)	1／50						
3S-57	最終沈殿池 床版配筋図 (4)	1／50						
3S-58	最終沈殿池 床版配筋図 (5)	1／50						
3S-59	最終沈殿池 床版配筋図 (6)	1／50						
3S-60	最終沈殿池 床版配筋図 (7)	1／50						



水処理施設
土木一式

今回対象施設

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	一般平面図（全体）
縮 尺	1/1000
図面番号	全 枚中 1 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



(凡例) ← 水の流れ

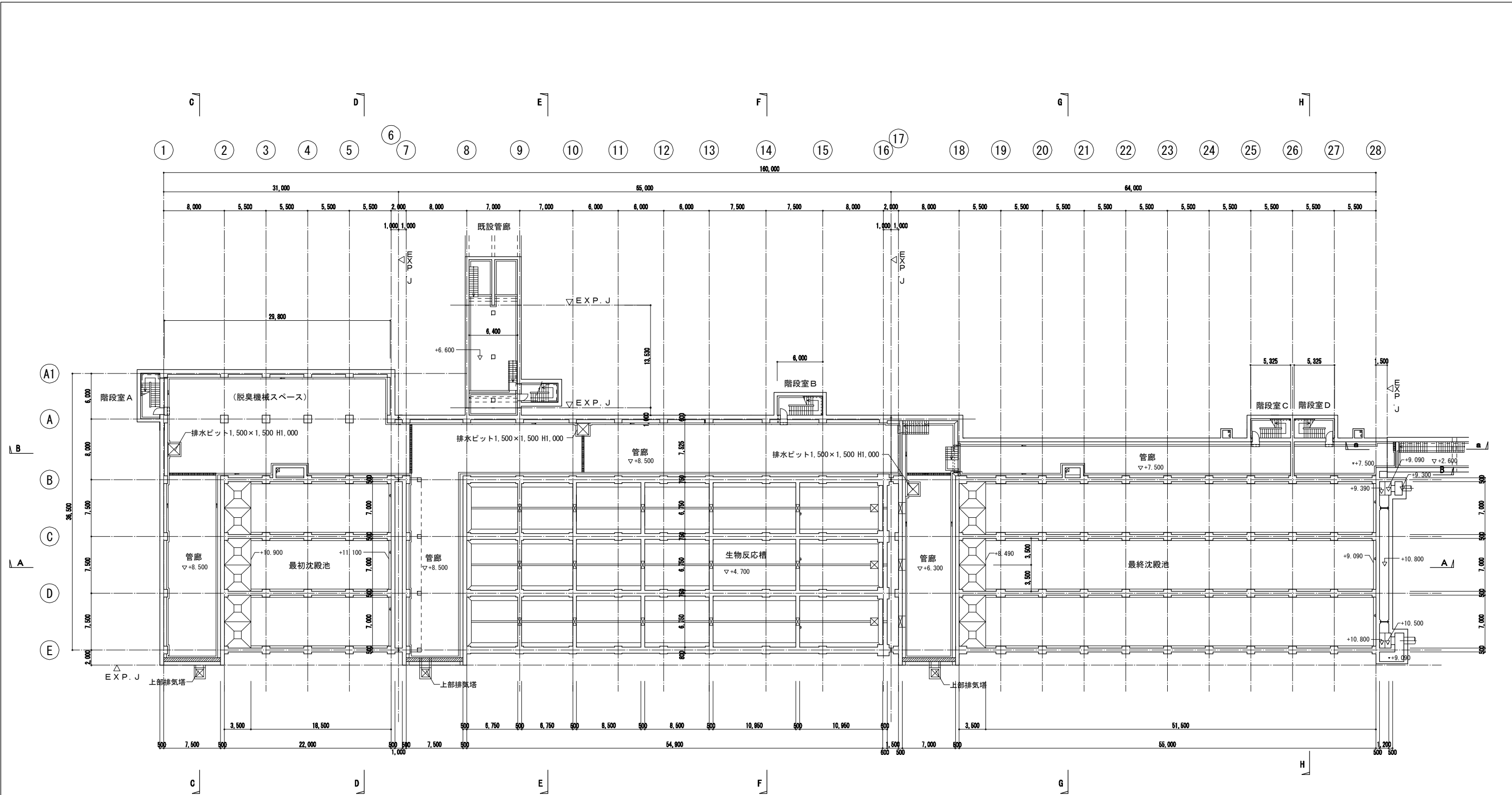
HMX: 時最大汚水量時の水位
DMX: 日最大汚水量時の水位

晴天時: 宇治川水位がTP+8.410 (自然流下水位) 以下の場合
雨天時: 宇治川水位がTP+8.410 (自然流下水位) を超える場合

※平成29年度にE系水位を見直した。

今回対象施設

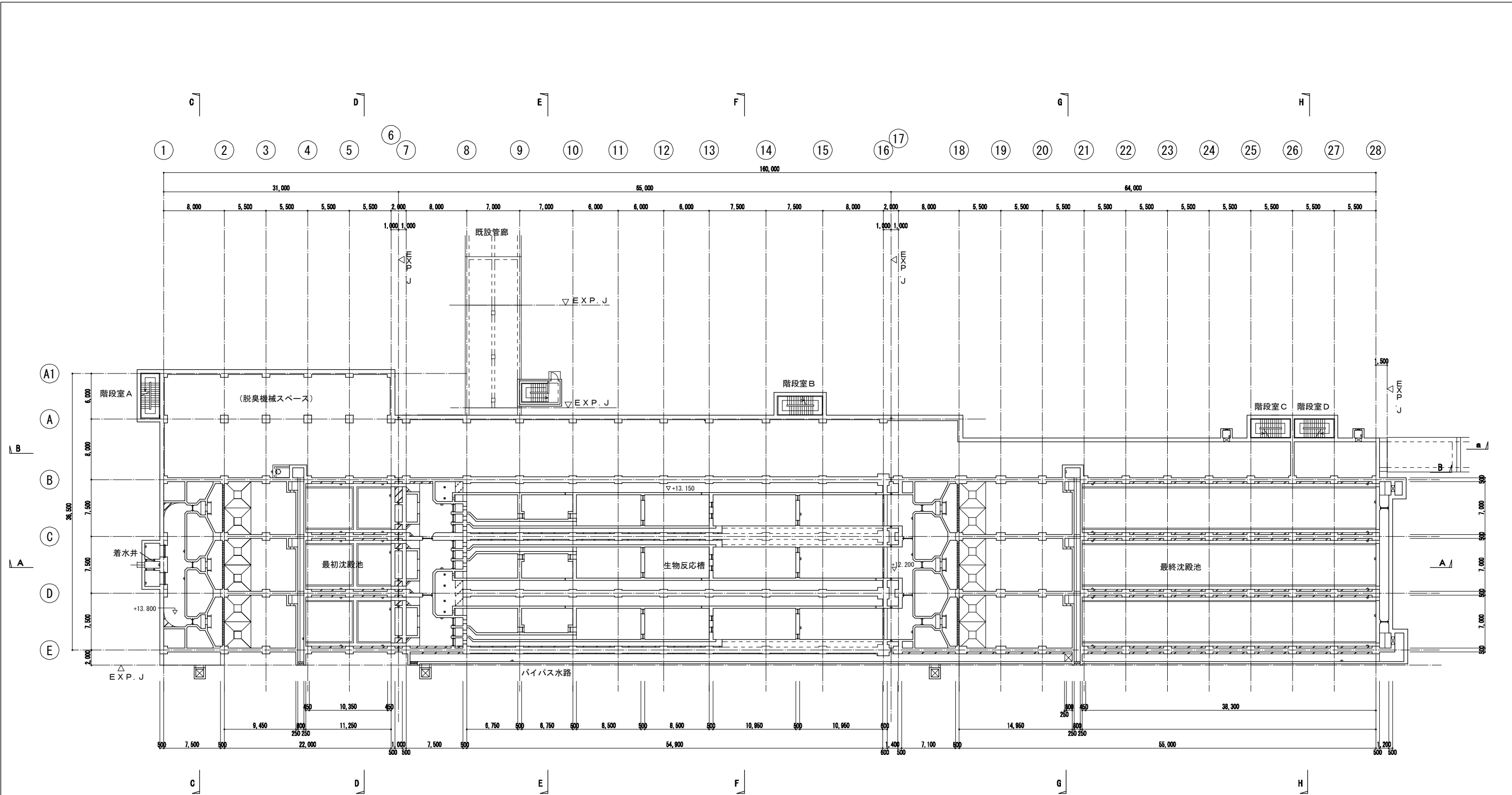
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	水位関係図
縮尺	V=1/250, H=1/N
図面番号	全 枚中 3 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



地階平面図 1/250

注記) 記入レベルはTP表記とする。

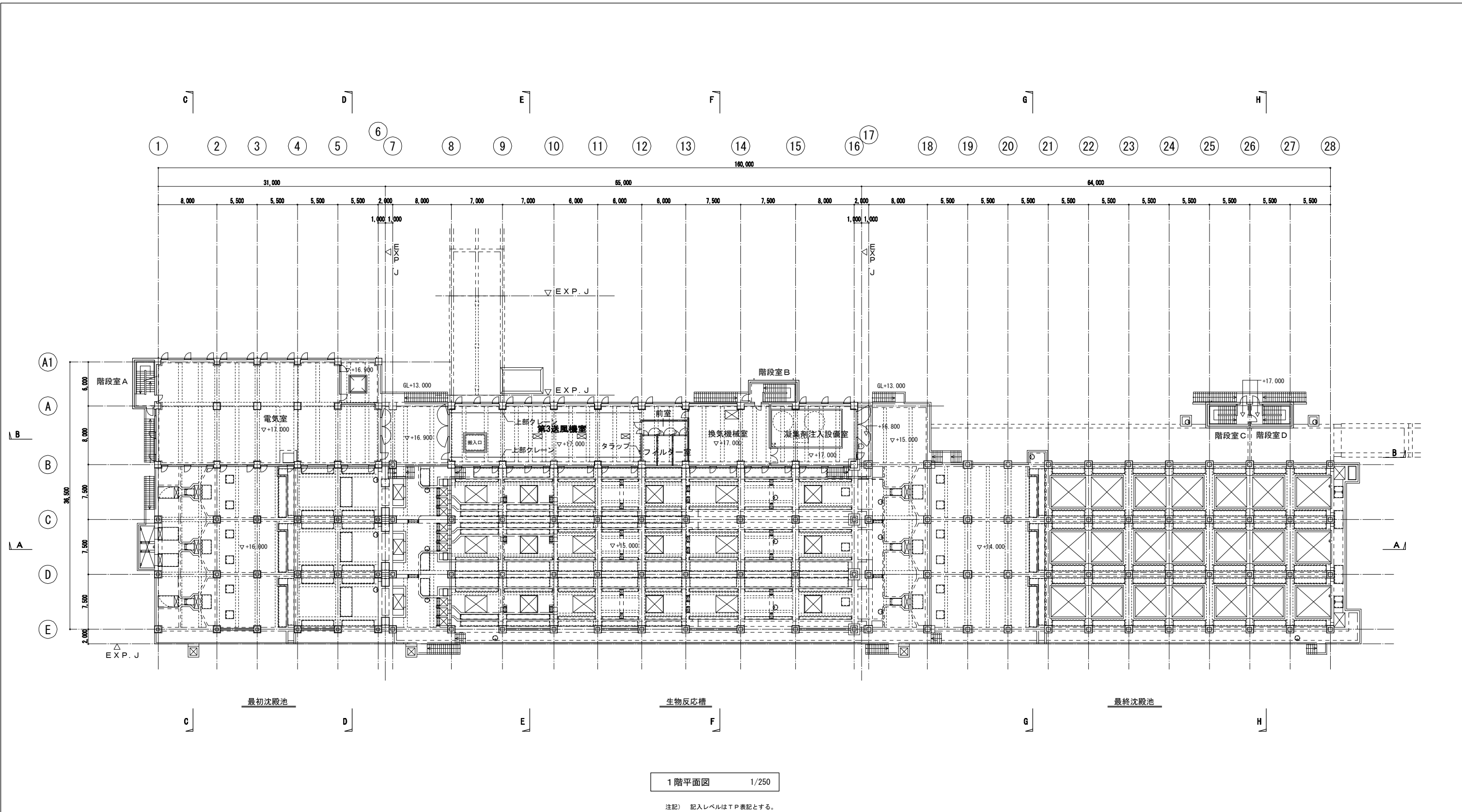
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 平面図 (1)
縮 尺	1/250
図面番号	全 枚中 C-1 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



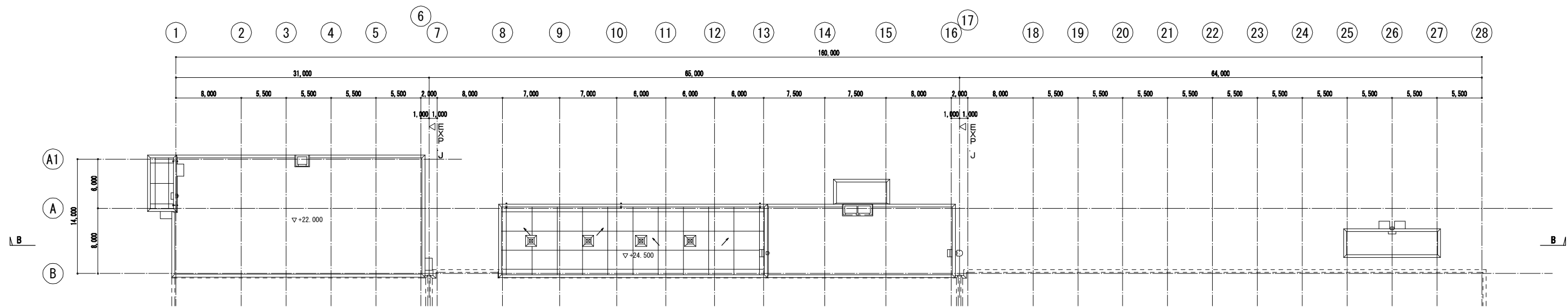
水路部平面図 1/250

注記) 記入レベルはTP表記とする。

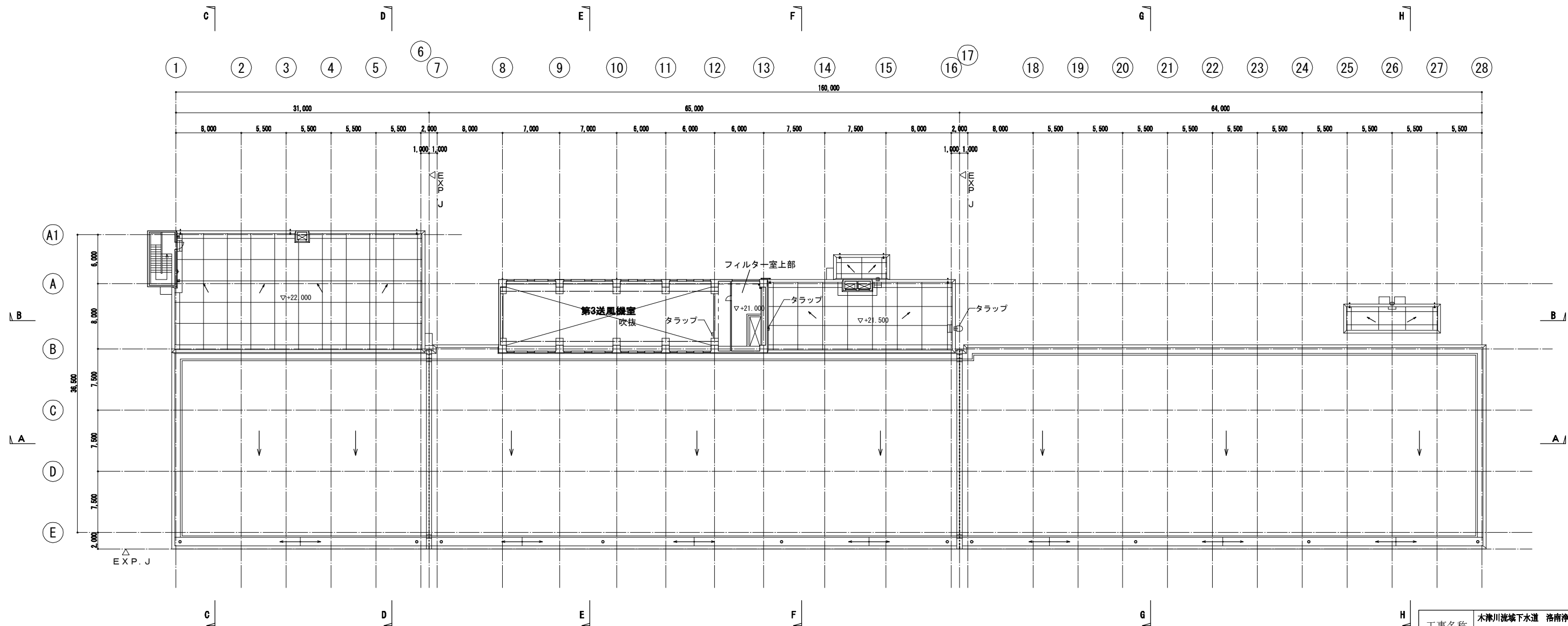
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 平面図 (2)
縮 尺	1/250
図面番号	全 枚中 C-2 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 平面図 (3)
縮 尺	1/250
図面番号	全 枚中 C-3 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



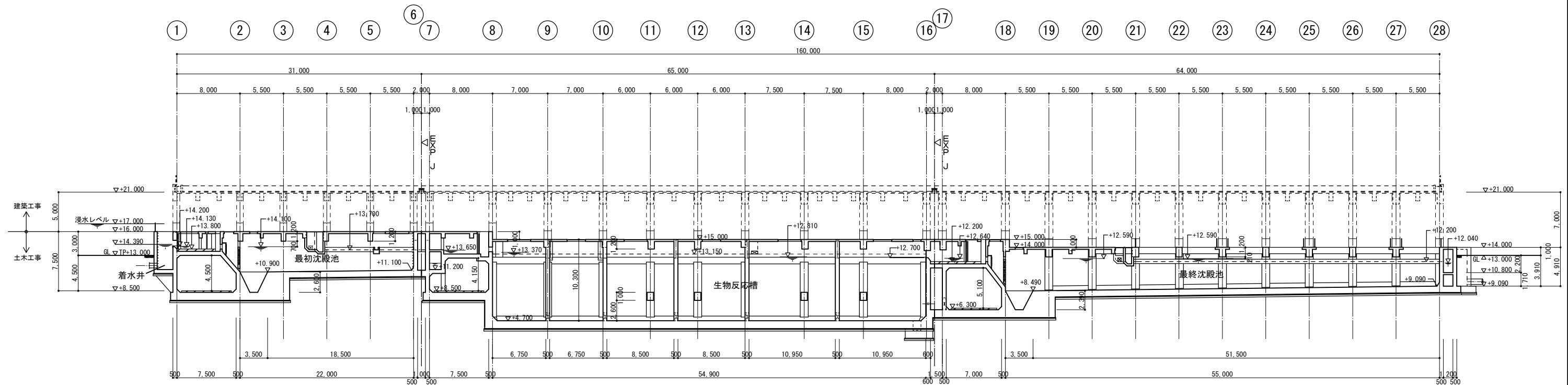
屋根伏図 1/250



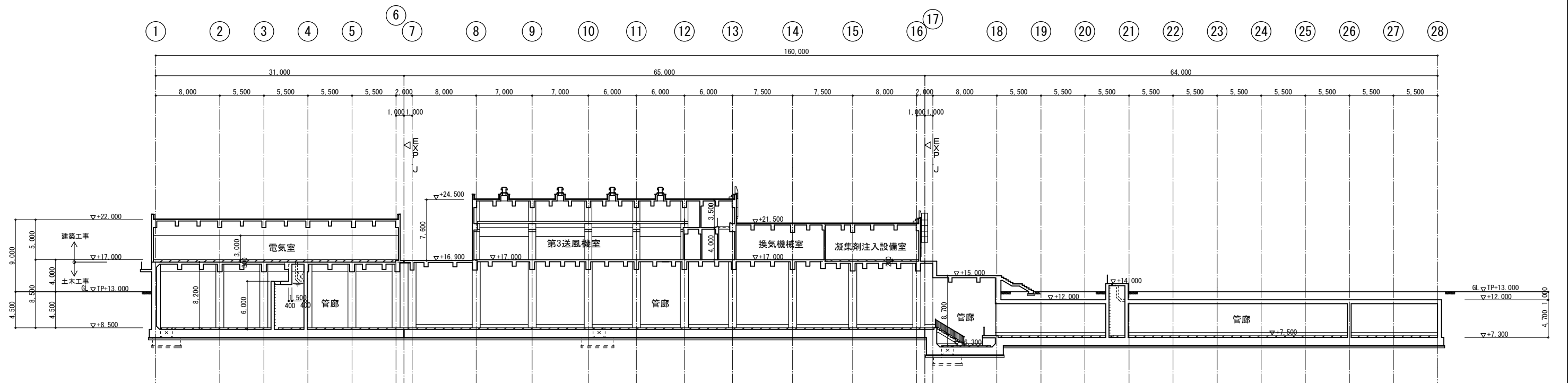
1階上部平面図 1/250

注記) 記入レベルはT P表記とする。

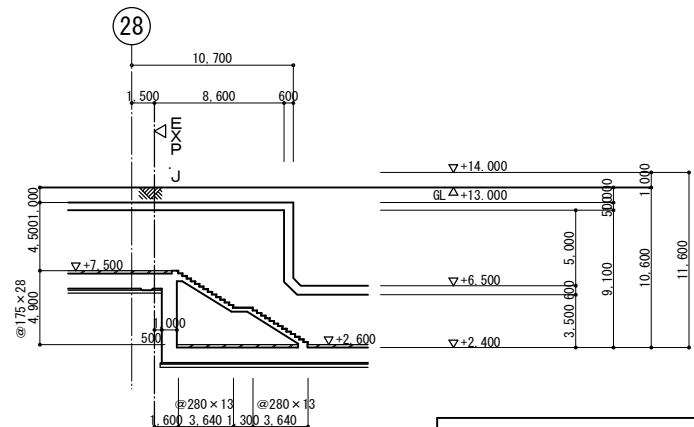
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	水処理施設 平面図 (4)
縮尺	1/250
図面番号	全 枚中 C-4 号
京都府流域下水道事務所	



A-A断面図 1/250



B-B断面図 1/250

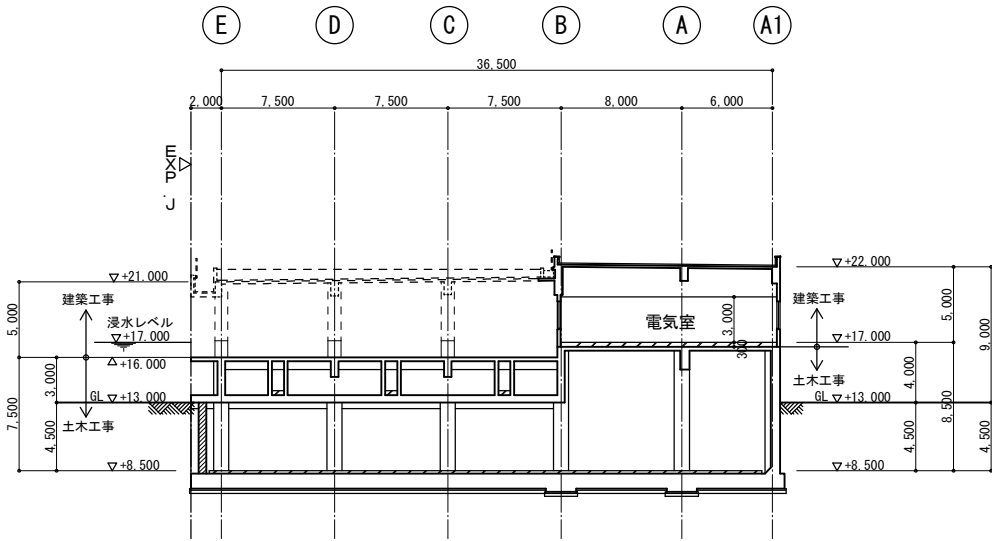


a-a断面図 1/250

注記) 記入レベルはT P表記とする。

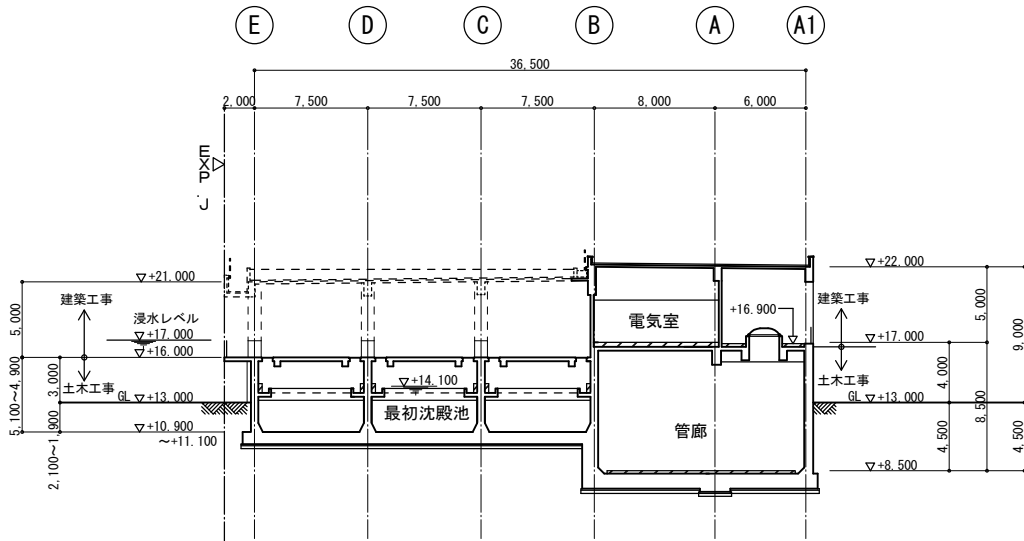
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 断面図(1)
縮 尺	1/250
図面番号	全 枚中 C-5 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

最初沈殿池



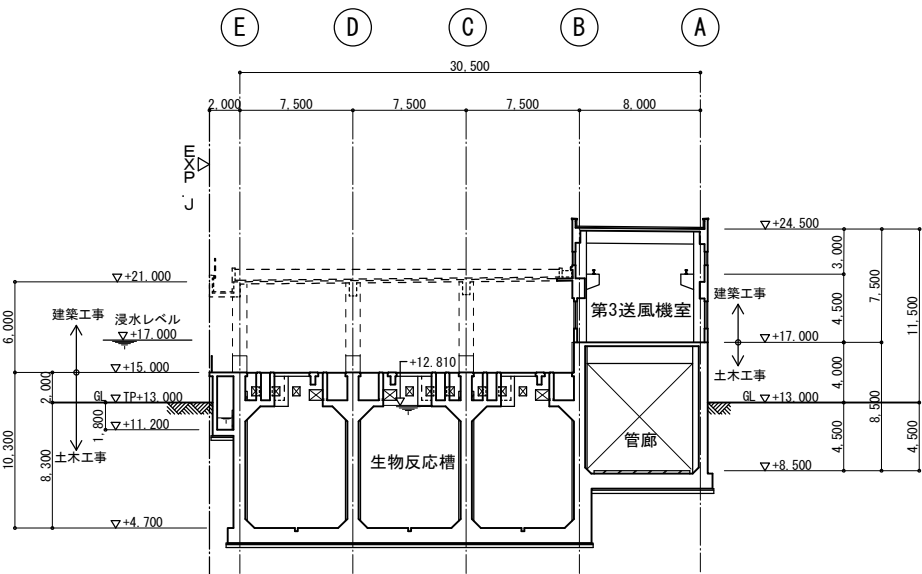
C-C断面図 1/250

最初沈殿池



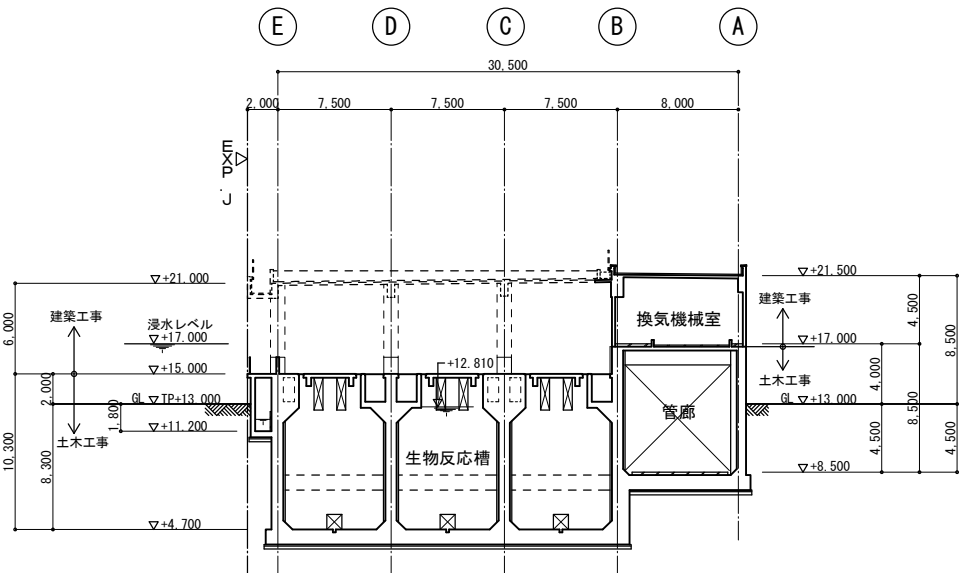
D-D断面図 1/250

反応槽



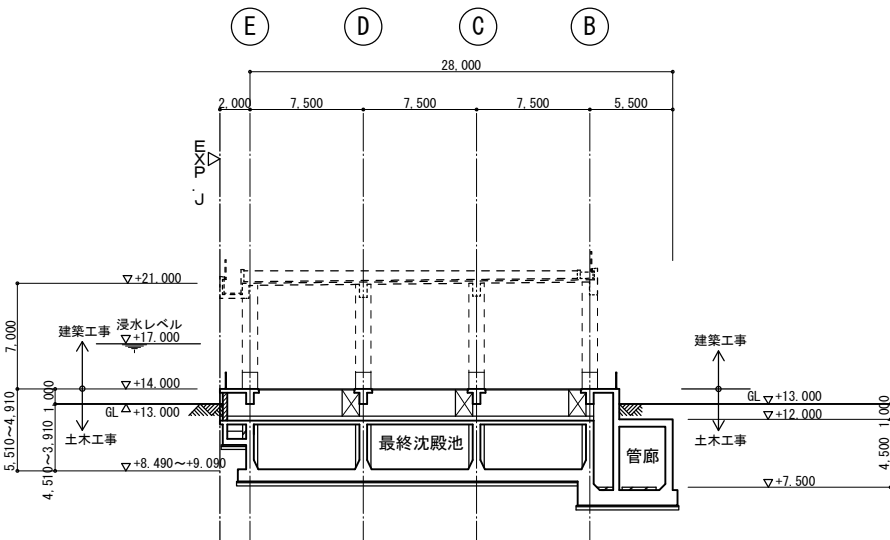
E-E断面図 1/250

反応槽



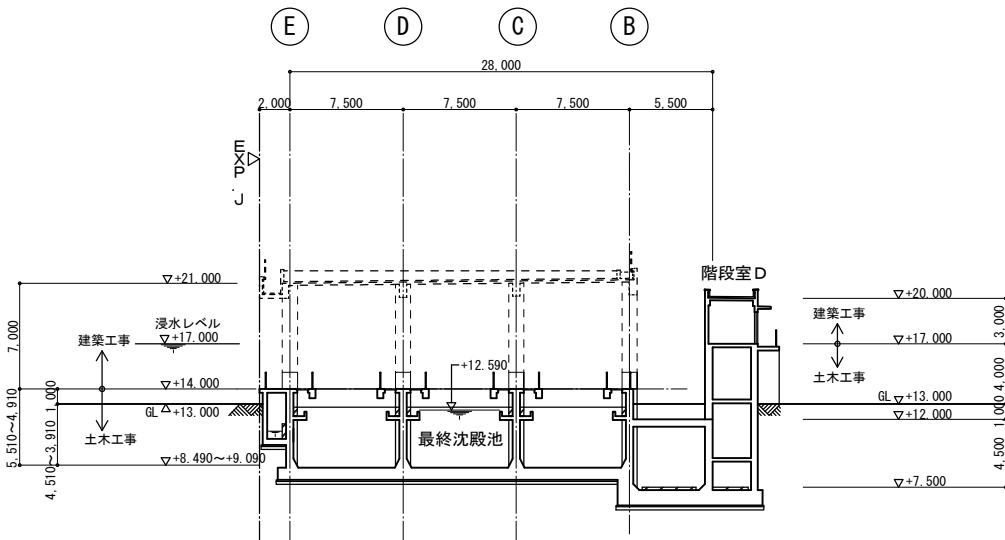
F-F断面図 1/250

最終沈殿池



G-G断面図 1/250

最終沈殿池

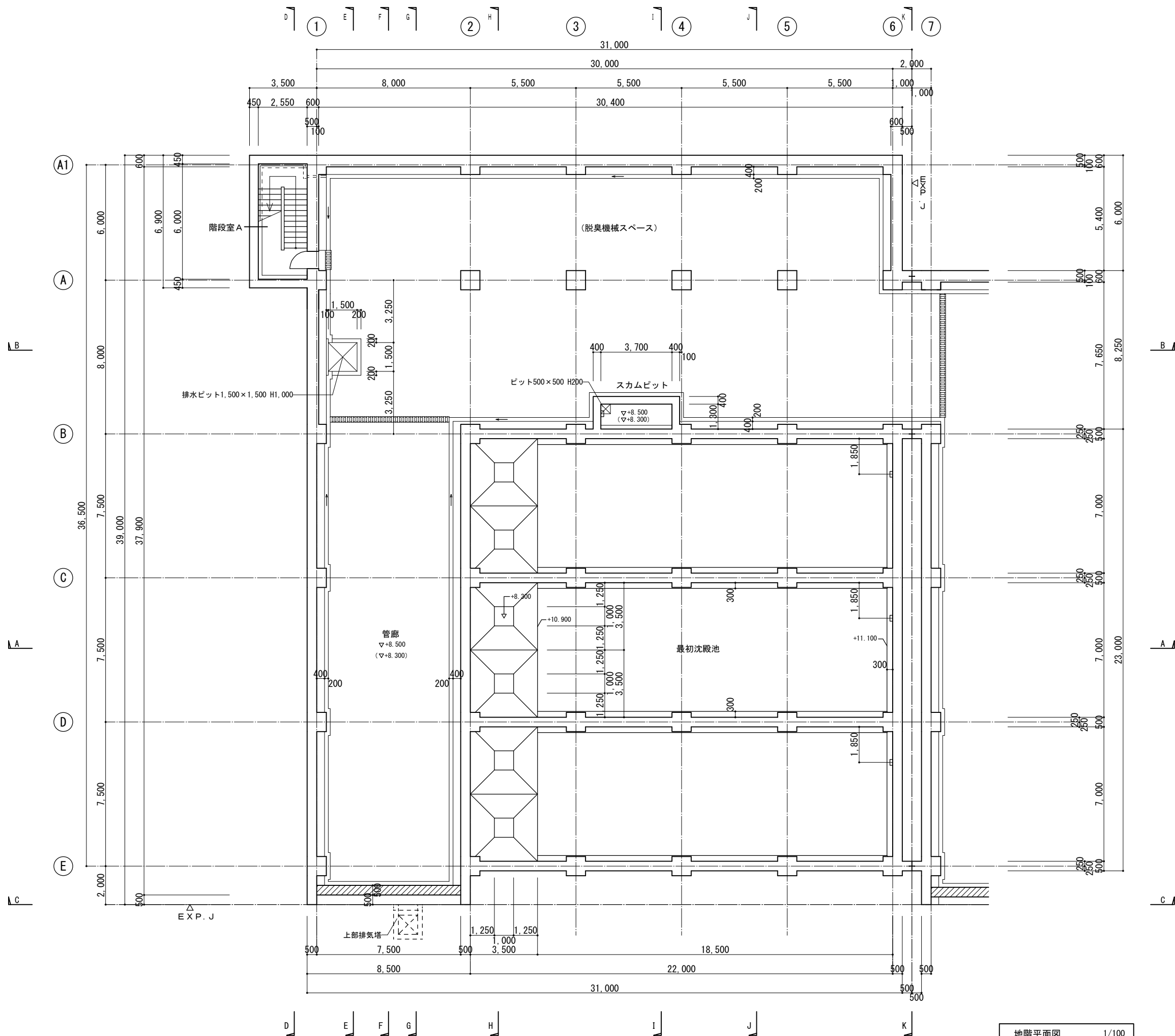


H-H断面図 1/250

注記) 記入レベルはT P表記とする。

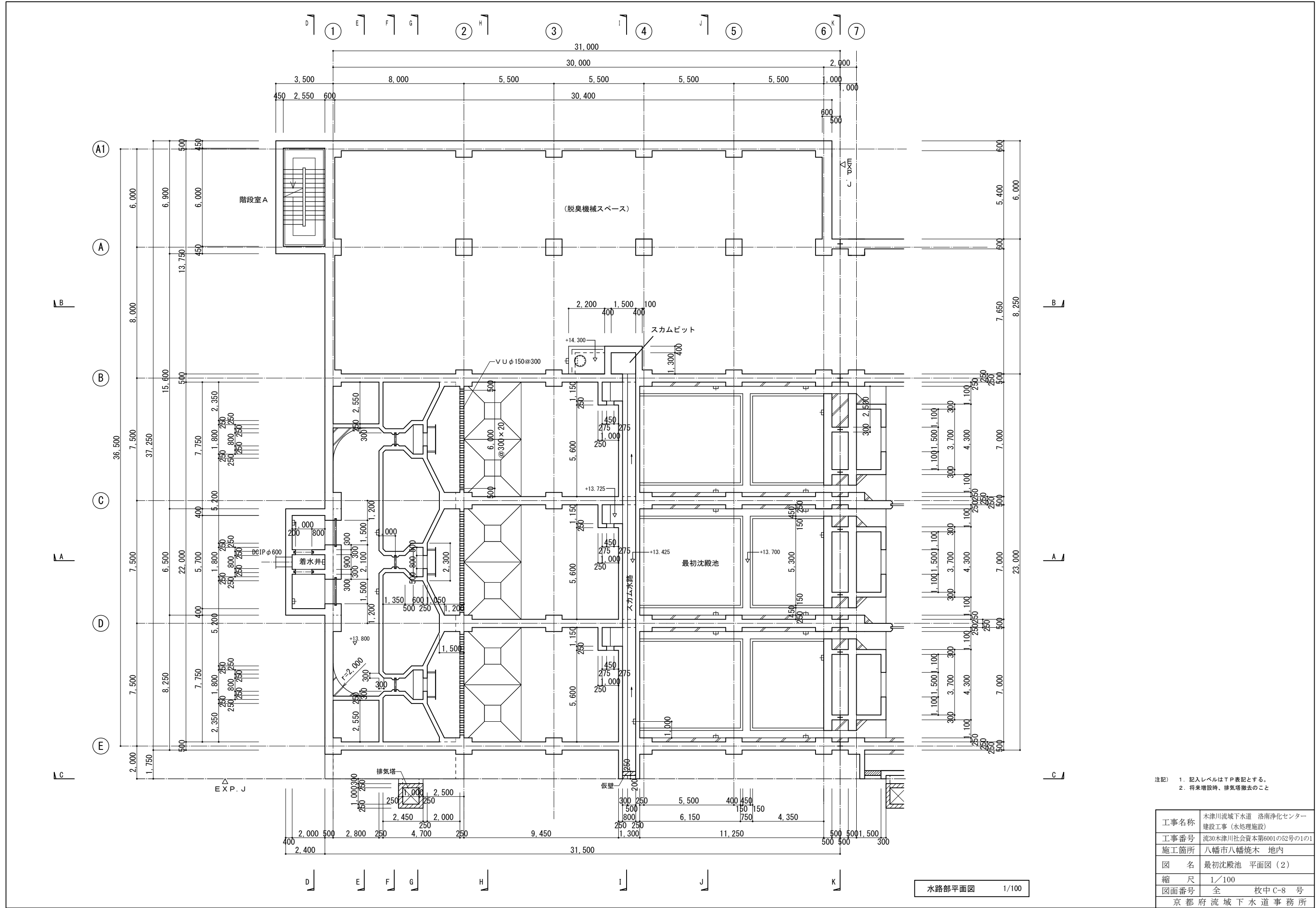
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 断面図 (2)
縮 尺	1/250
図面番号	全 枚中 C-6 号

京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



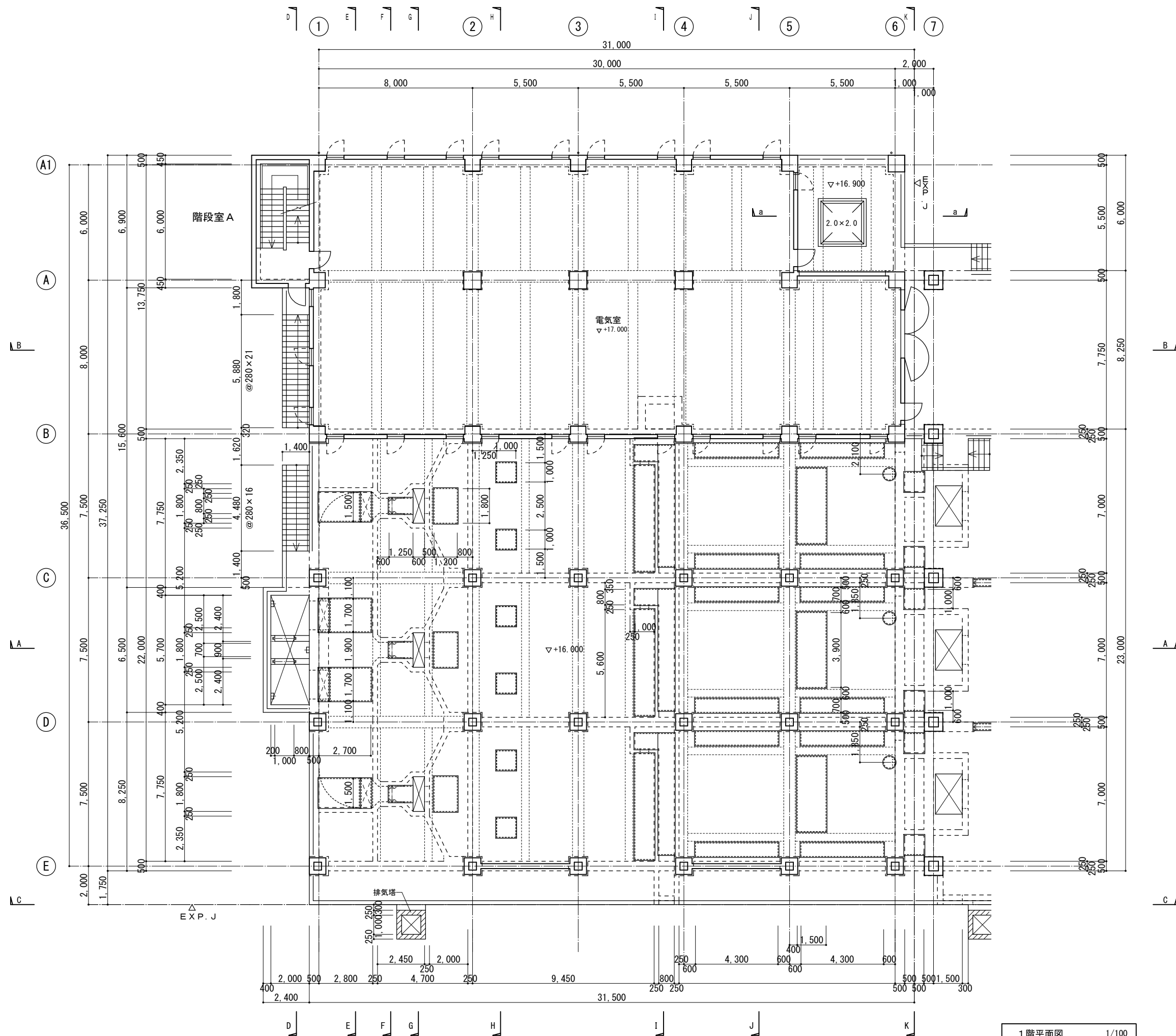
注記) 1. 記入レベルはT.P.表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 平面図 (1)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-7 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



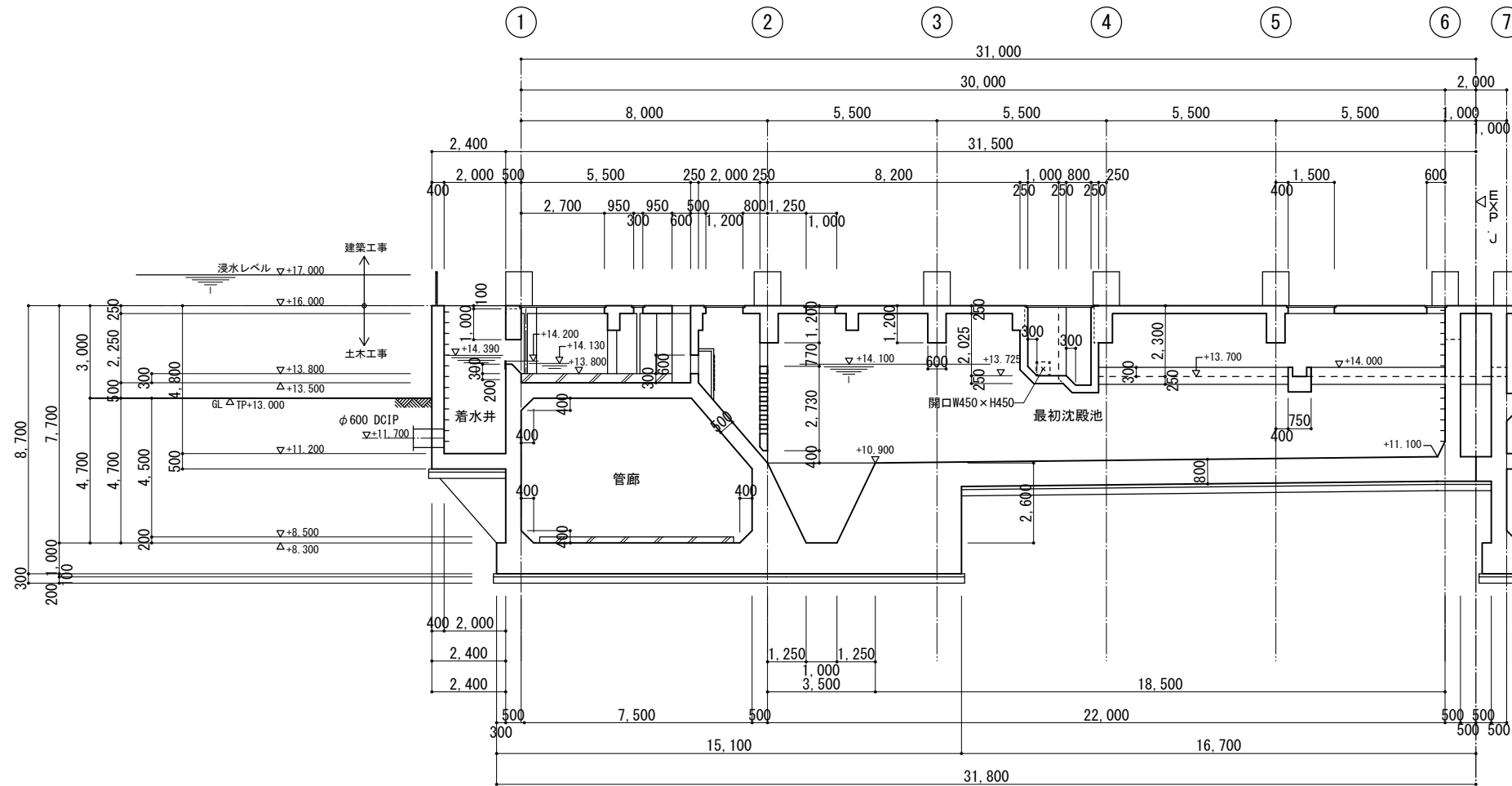
注記) 1. 記入レベルはT.P表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最初沈殿池 平面図（2）		
縮 尺	1／100		
図面番号	全	枚中 C-8	号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			

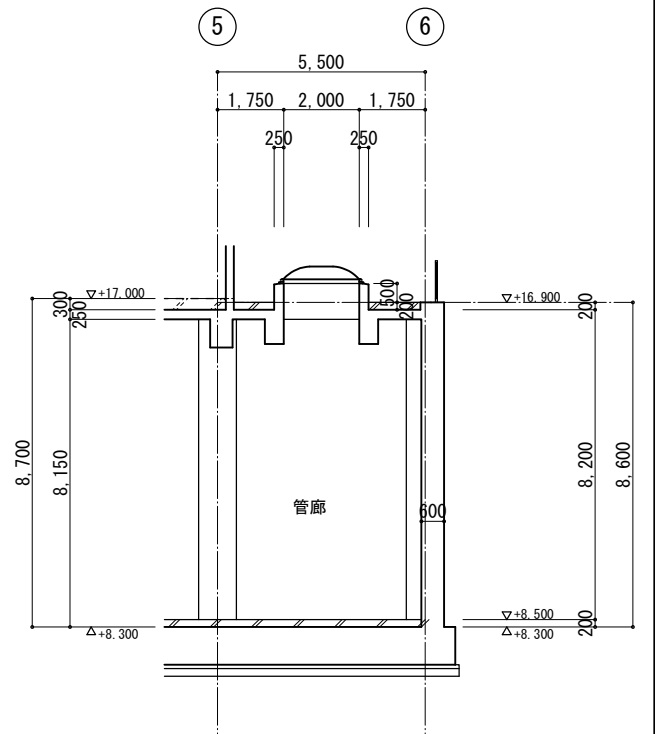


注記) 1. 記入レベルはT.P.表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと

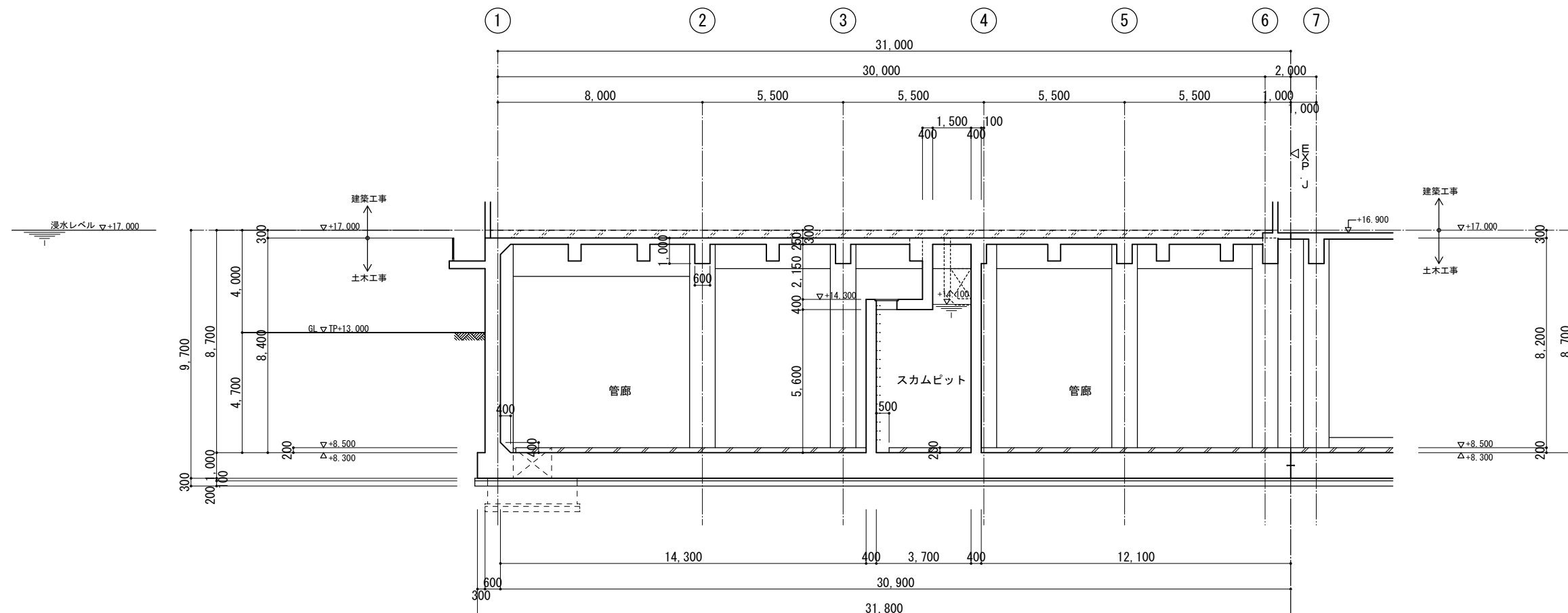
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 平面図（3）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-9 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



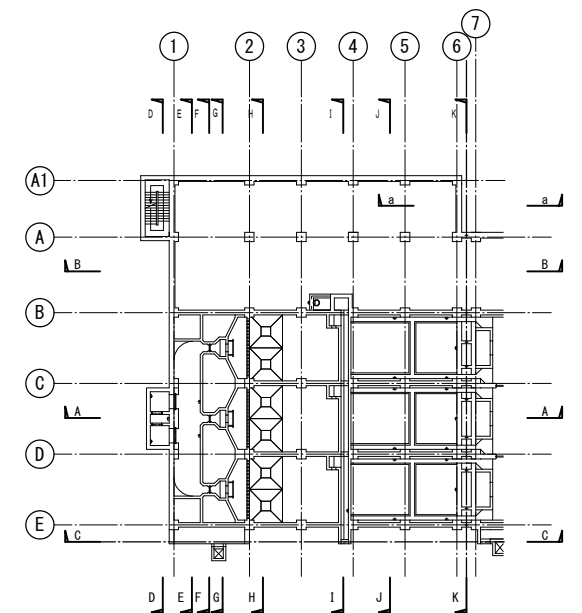
A-A断面図 1/100



a-a断面図 1/100



B-B断面図 1/100

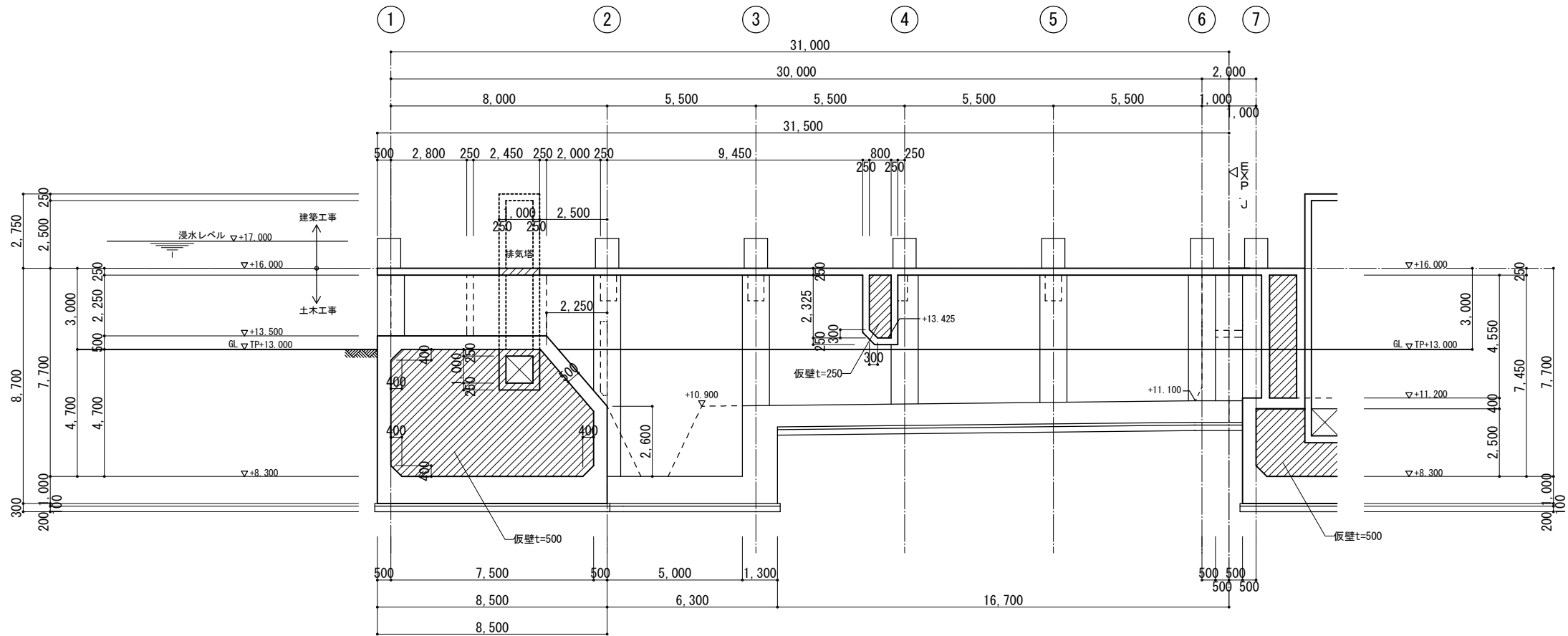


KEY PLAN

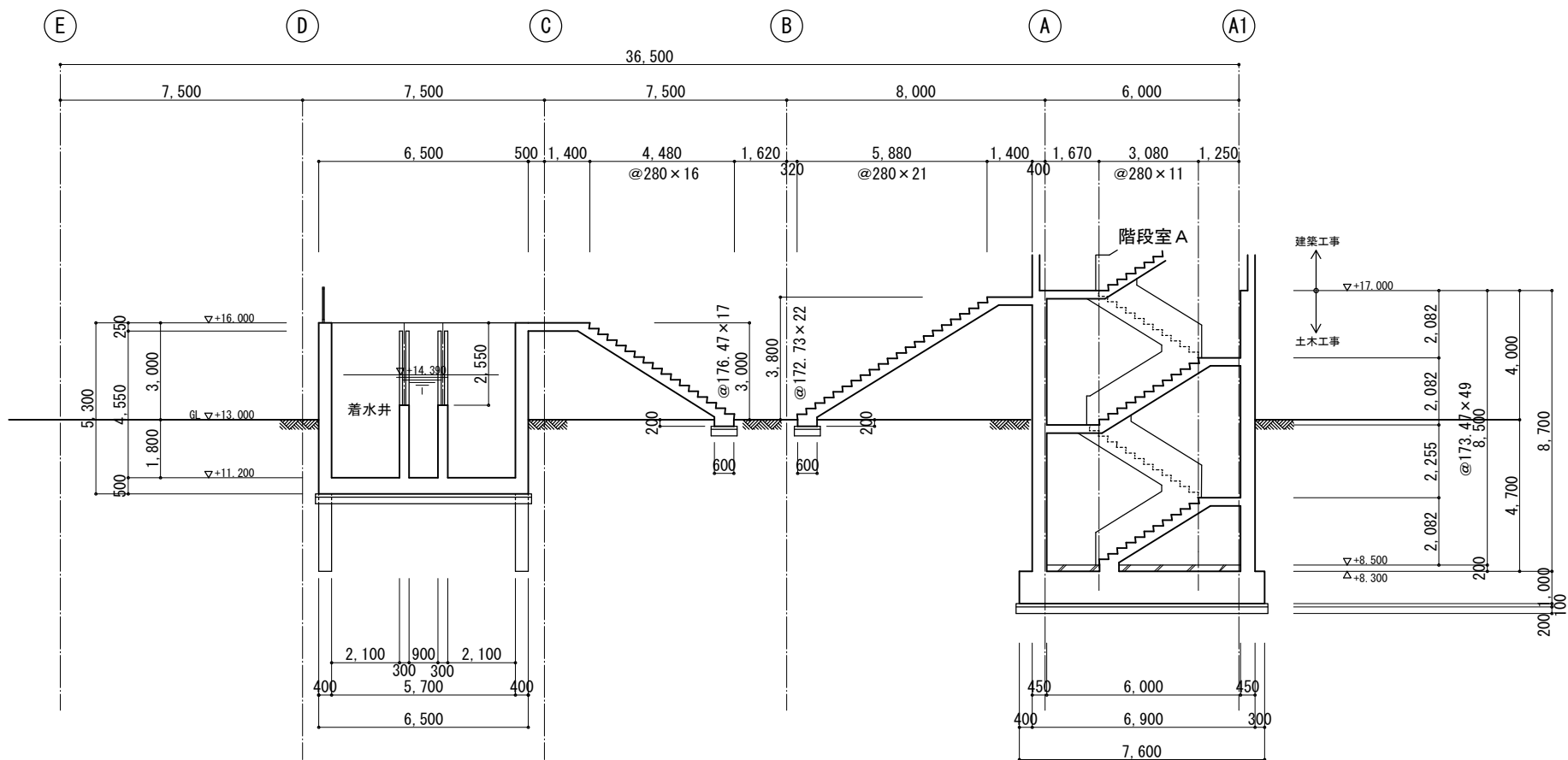
注記) 記入レベルはTP表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最初沈殿池 断面図(1)
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-10 号

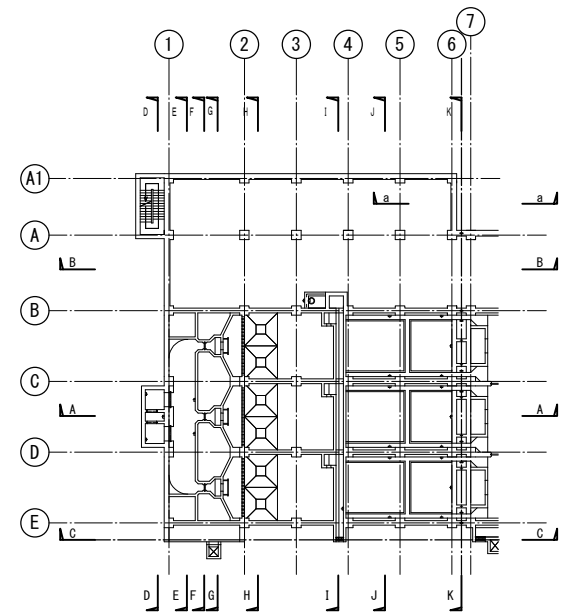
京都府流域下水道事務所



C-C断面図 1/100



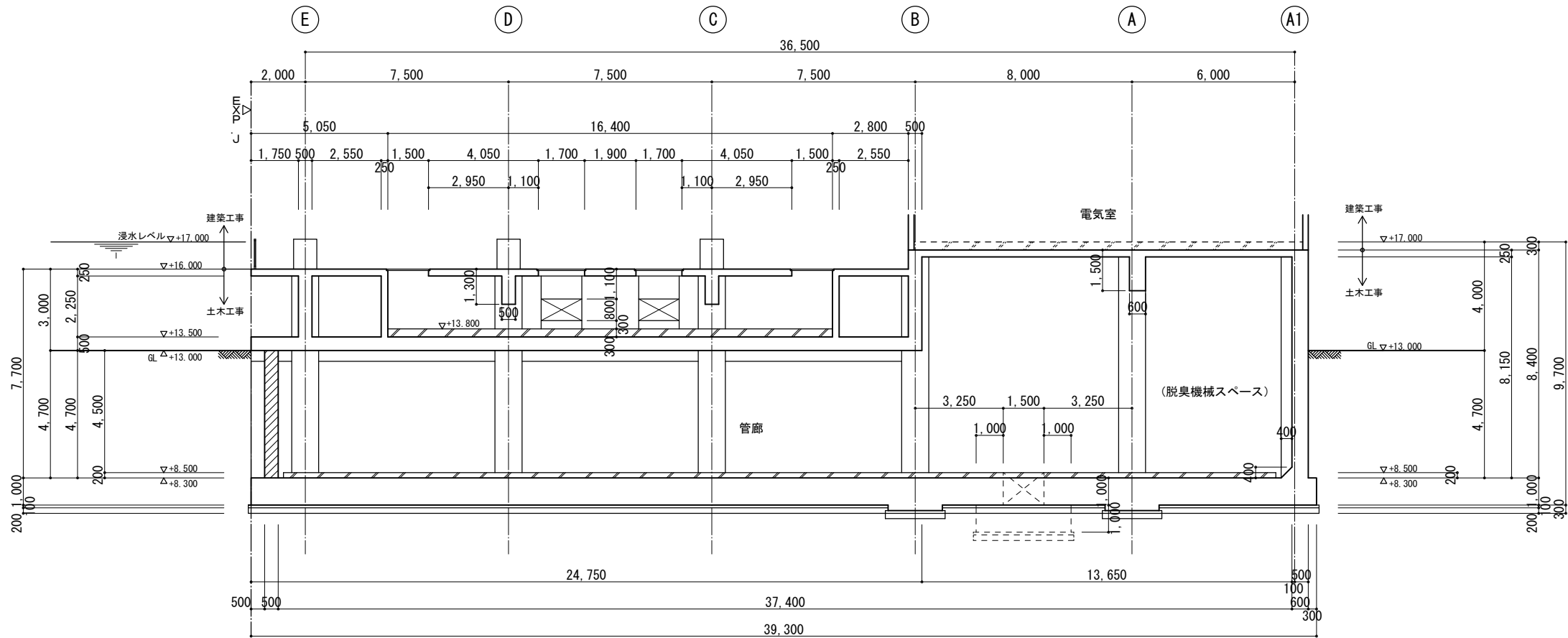
D-D断面図 1/100



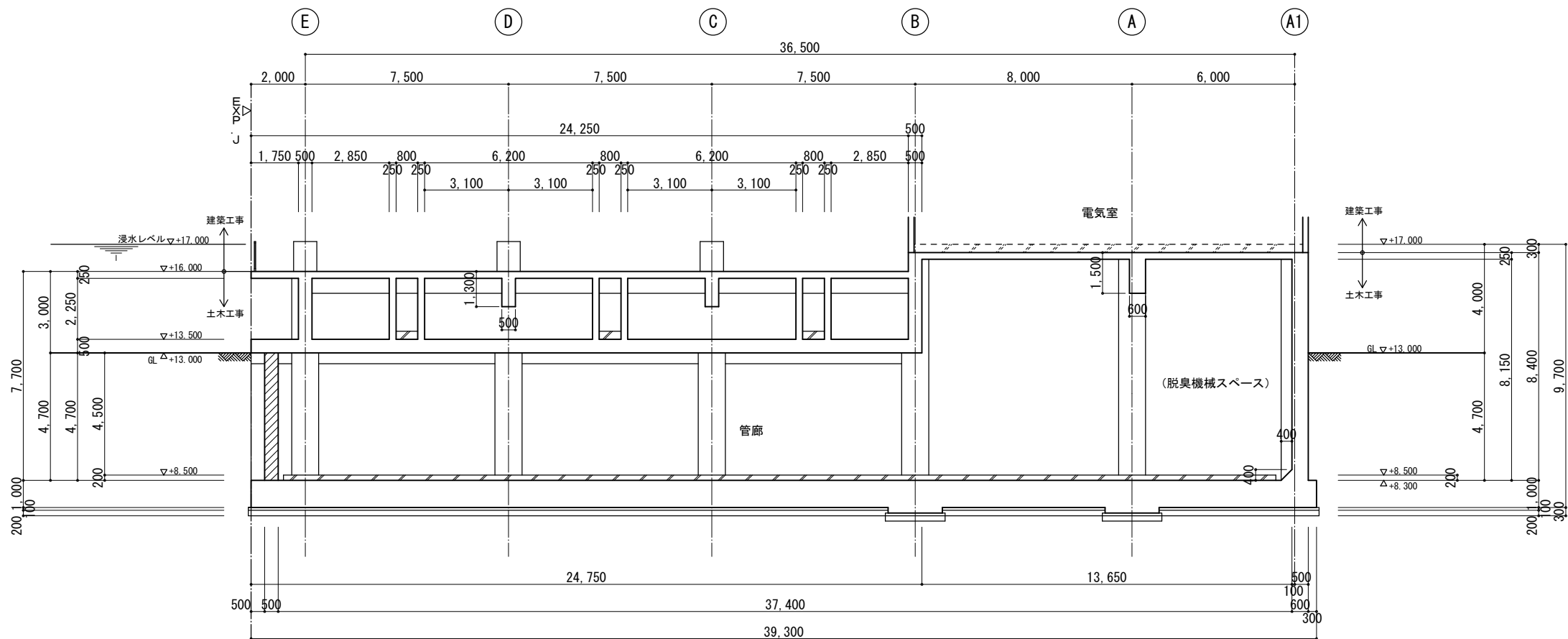
KEY PLAN

注記) 1. 記入レベルはT.P表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと

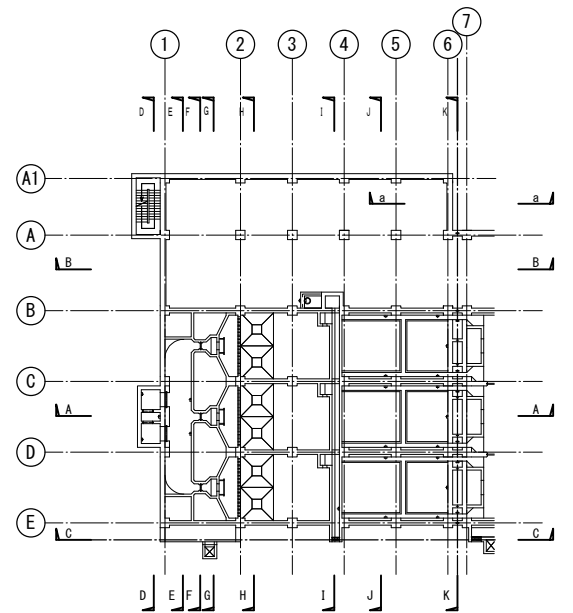
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 断面図(2)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-11 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



E-E断面図 1/100



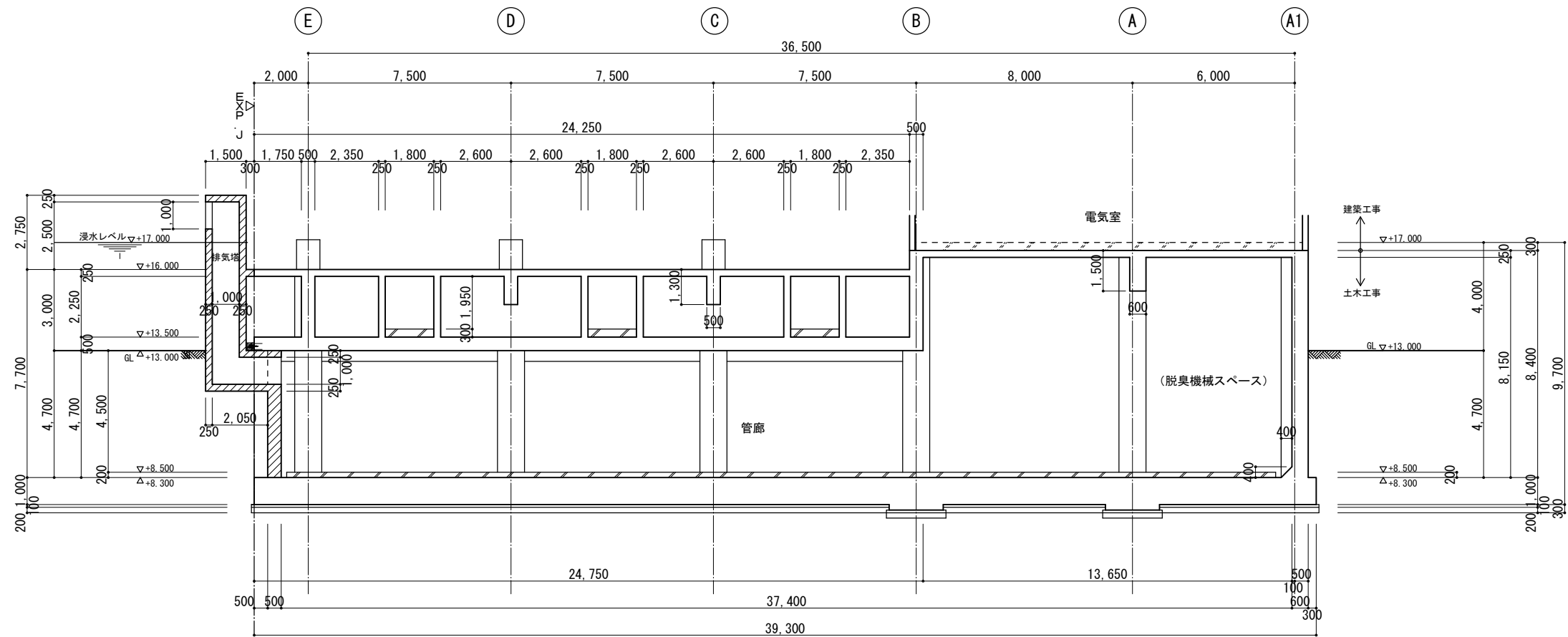
F-F断面図 1/100



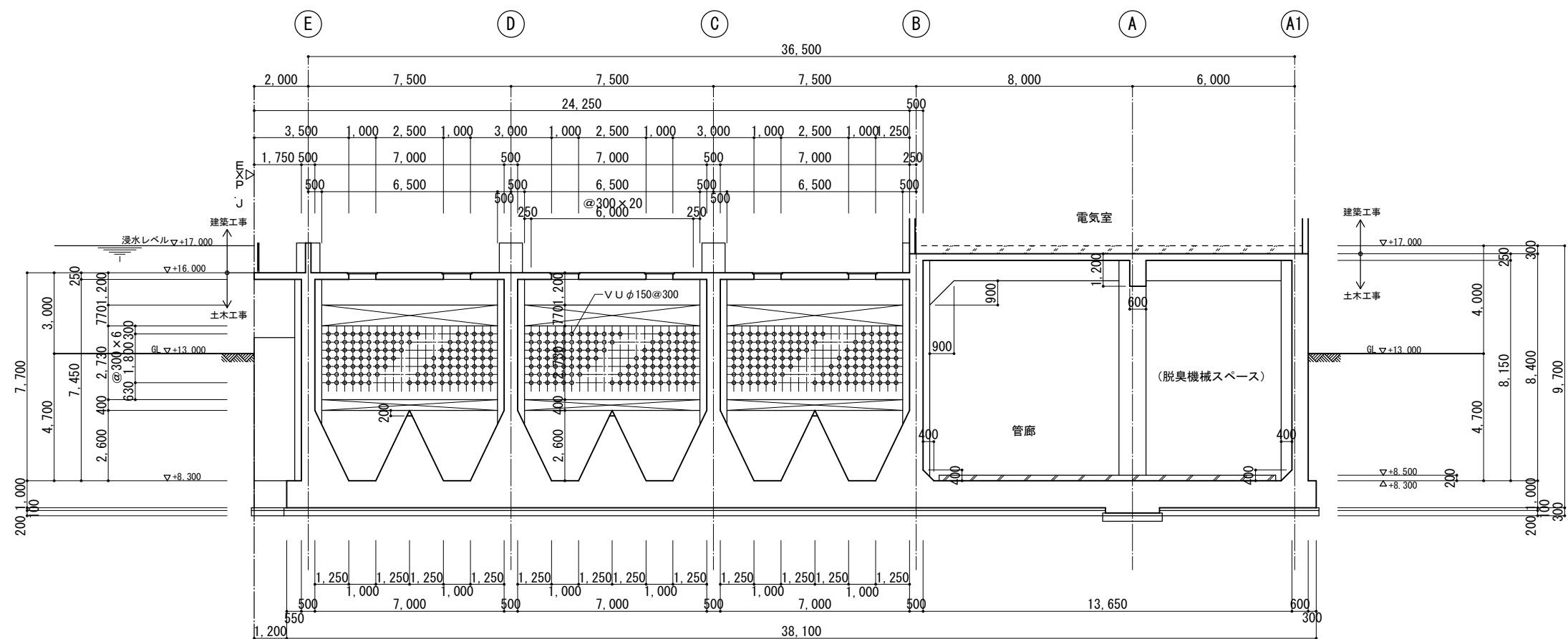
KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

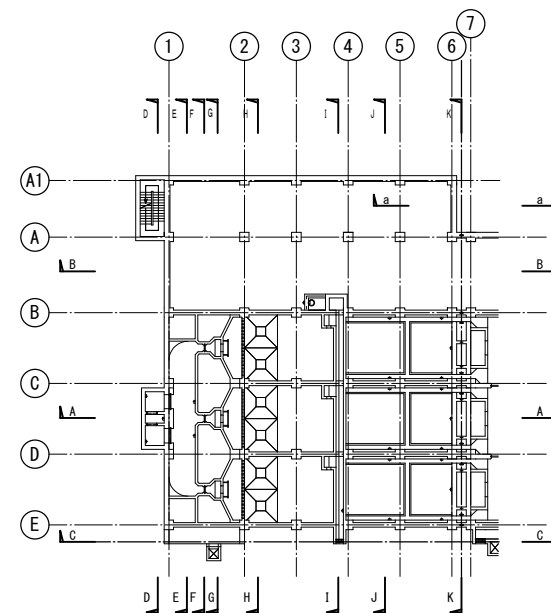
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 断面図(3)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-12 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



G-G断面図 1/100



H-H断面図 1/100

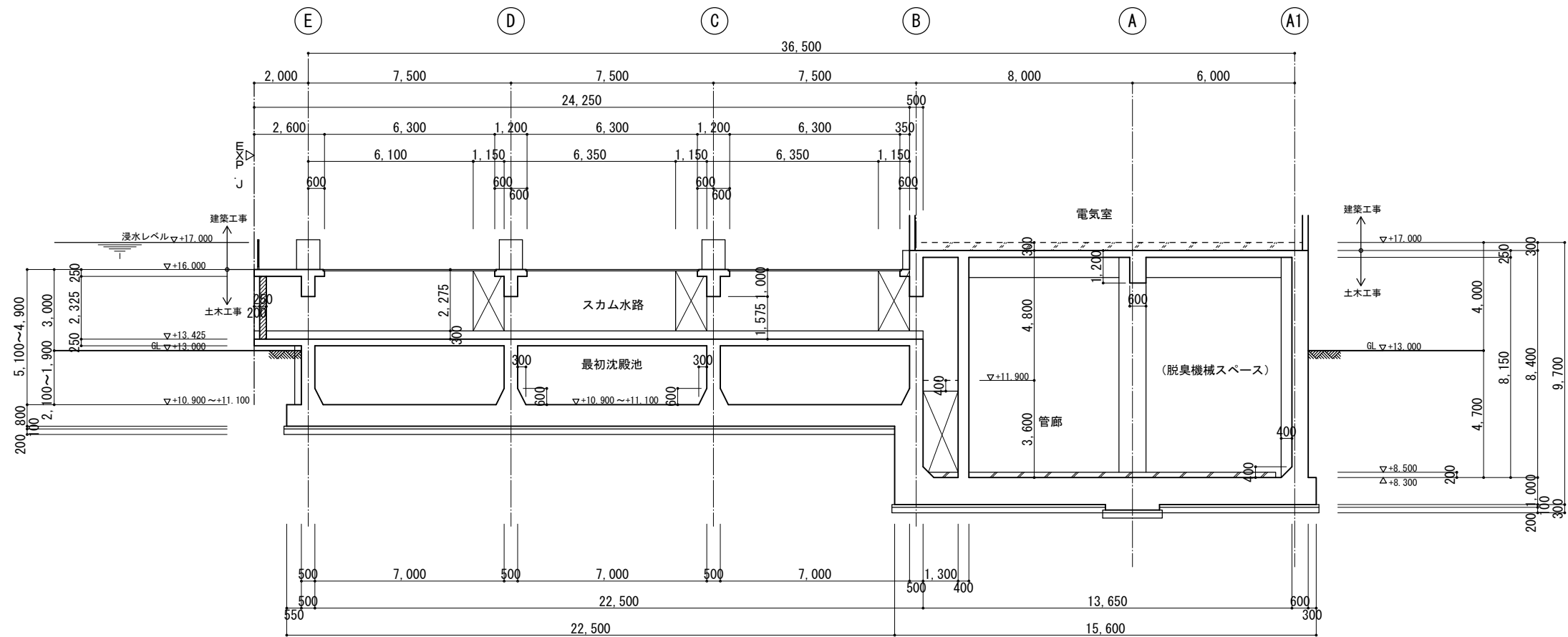


KEY PLAN

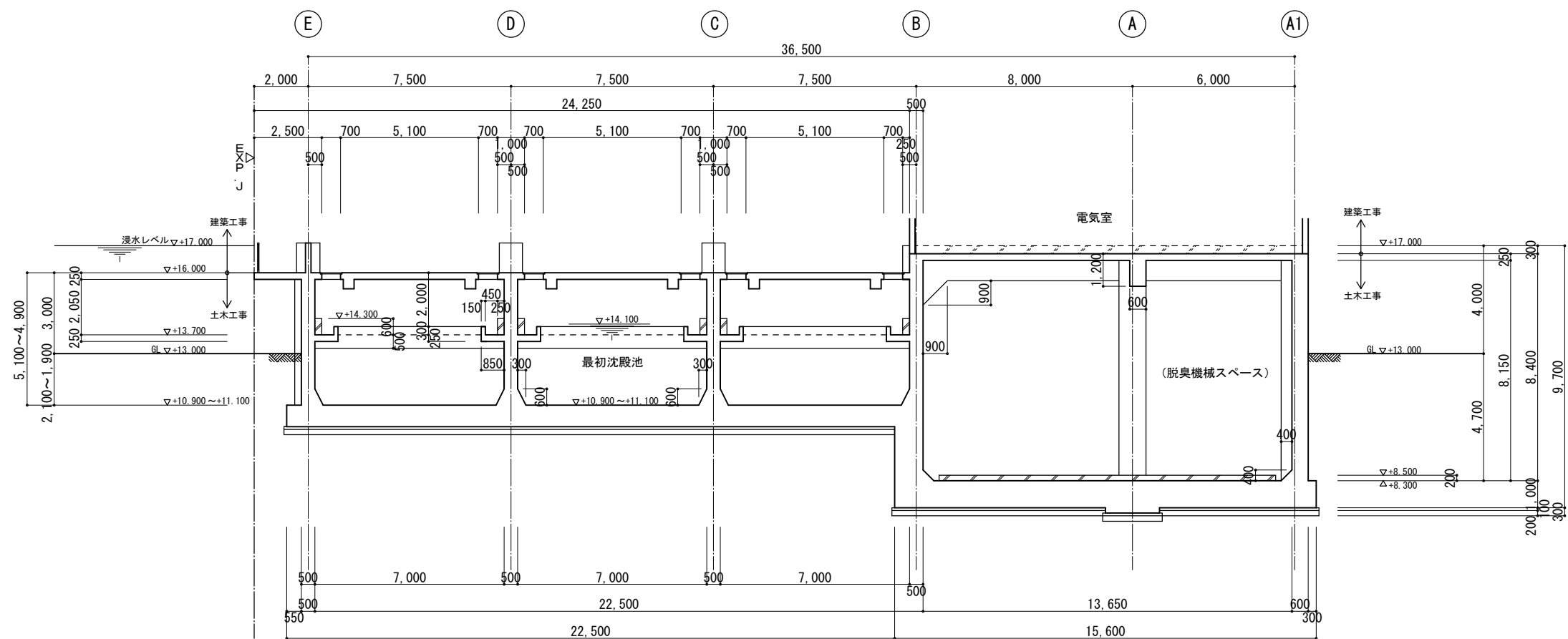
注記) 1. 記入レベルはT.P.表記とする。
2. 将来増設時、排水塔撤去のこと

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 断面図（4）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-13 号

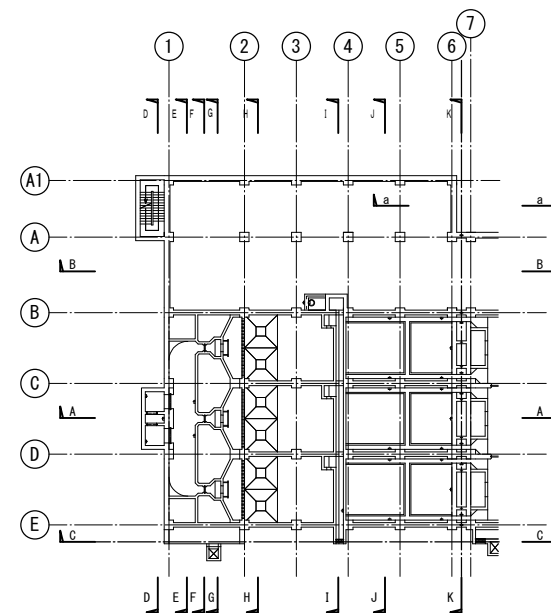
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



I - I 断面図 1/100



J - J 断面図 1/100

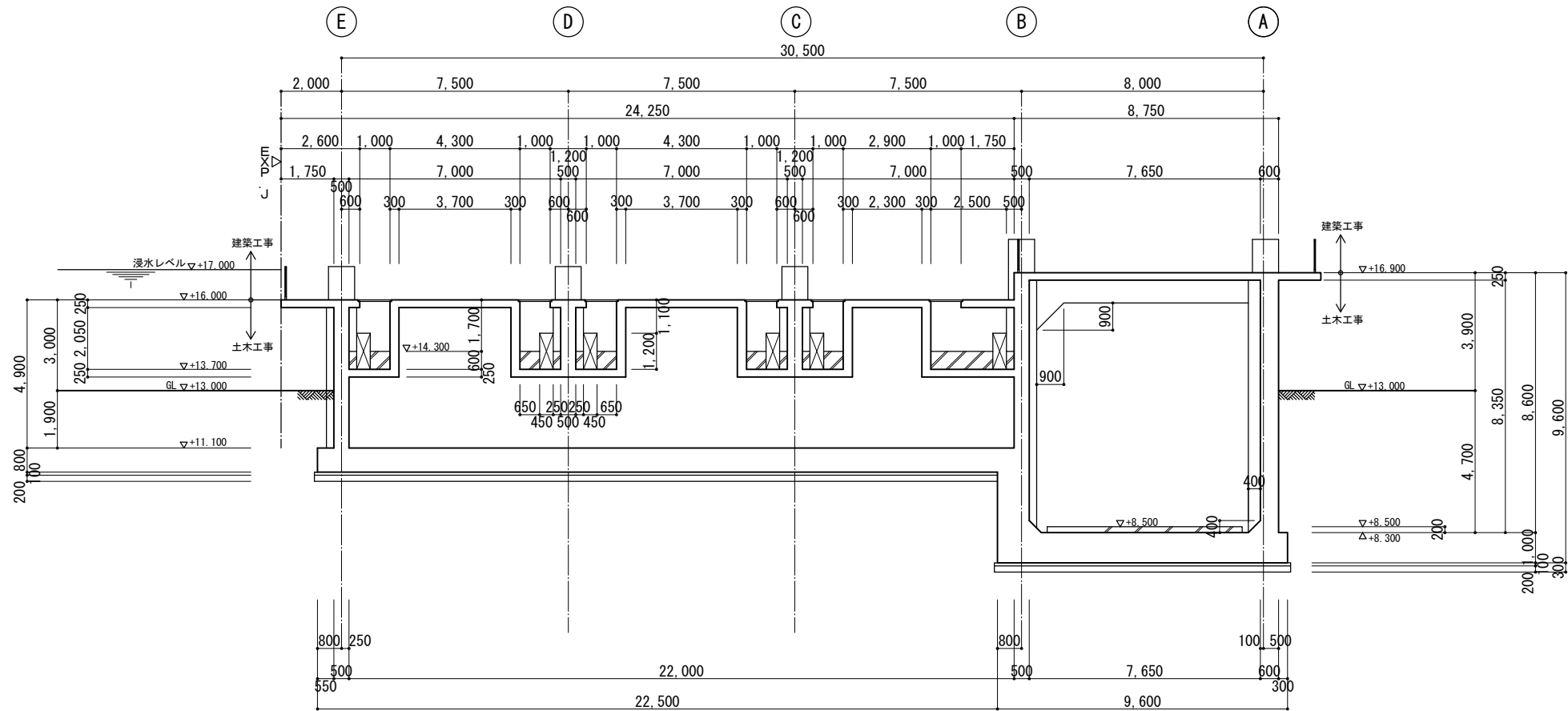


KEY PLAN

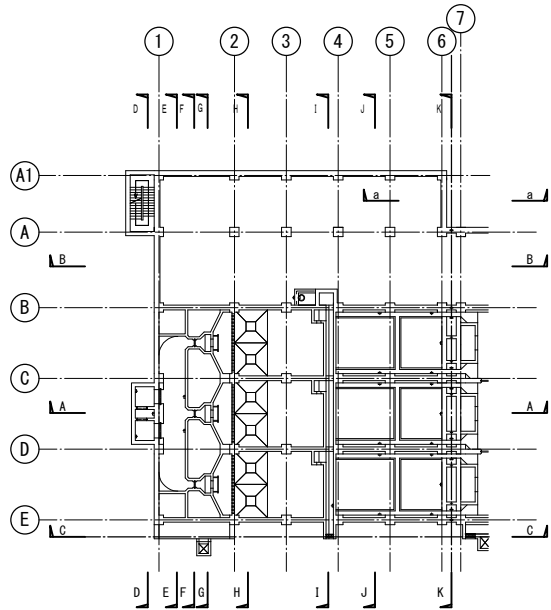
注記) 記入レベルはTP表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 断面図(5)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-14 号

京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



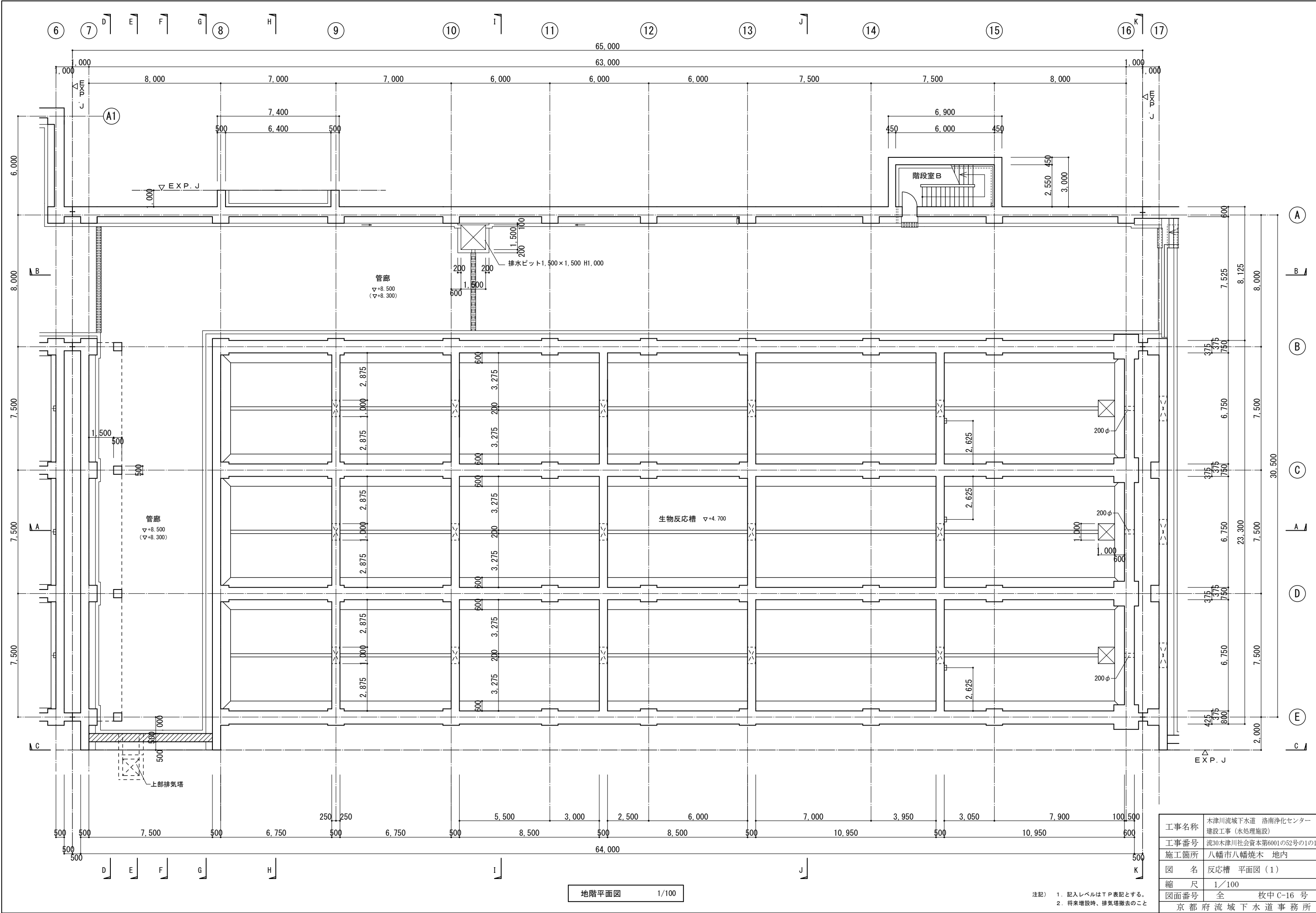
K-K断面図 1/100



KEY PLAN

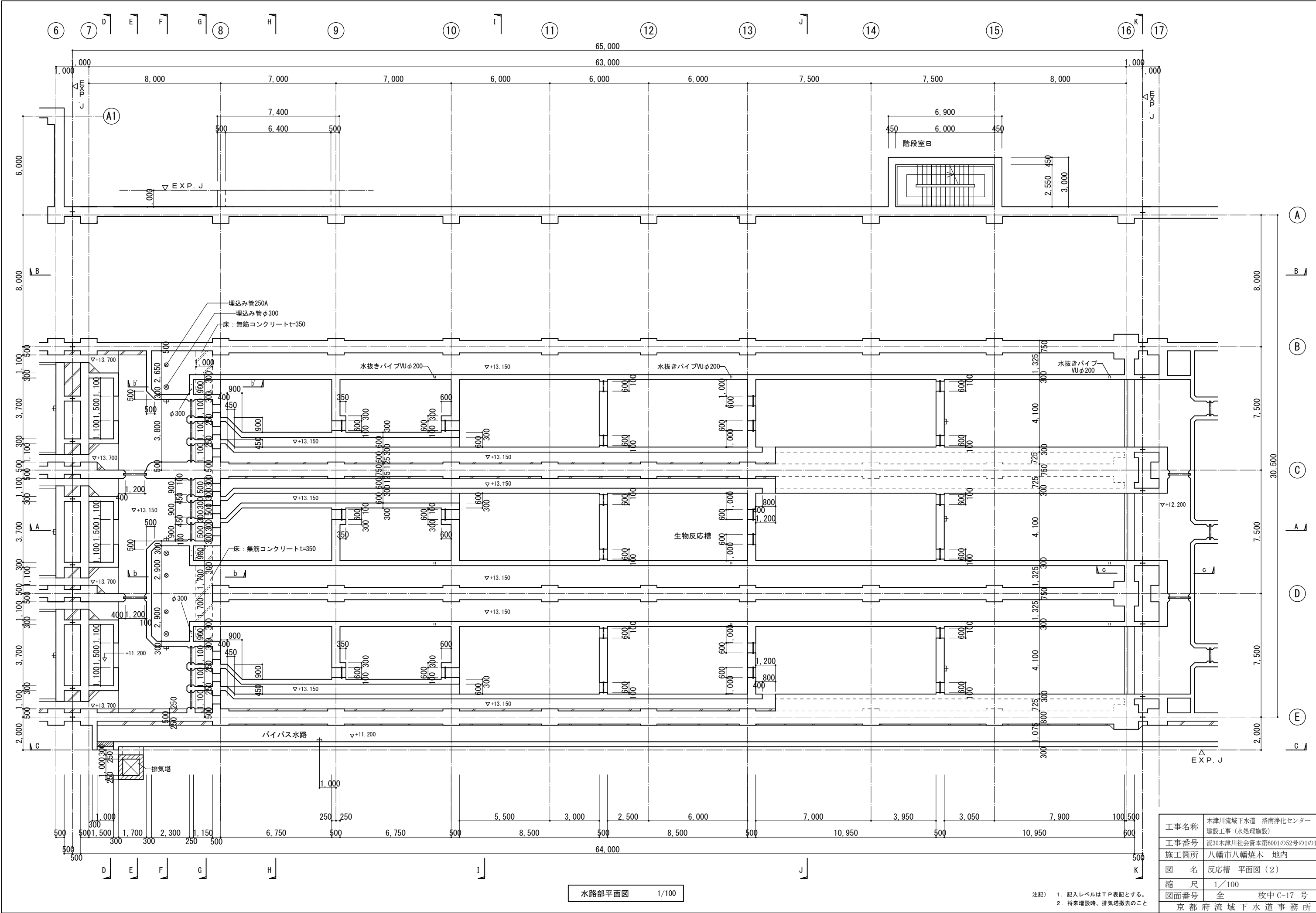
注記) 記入レベルはT P表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 断面図（6）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 C-15 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



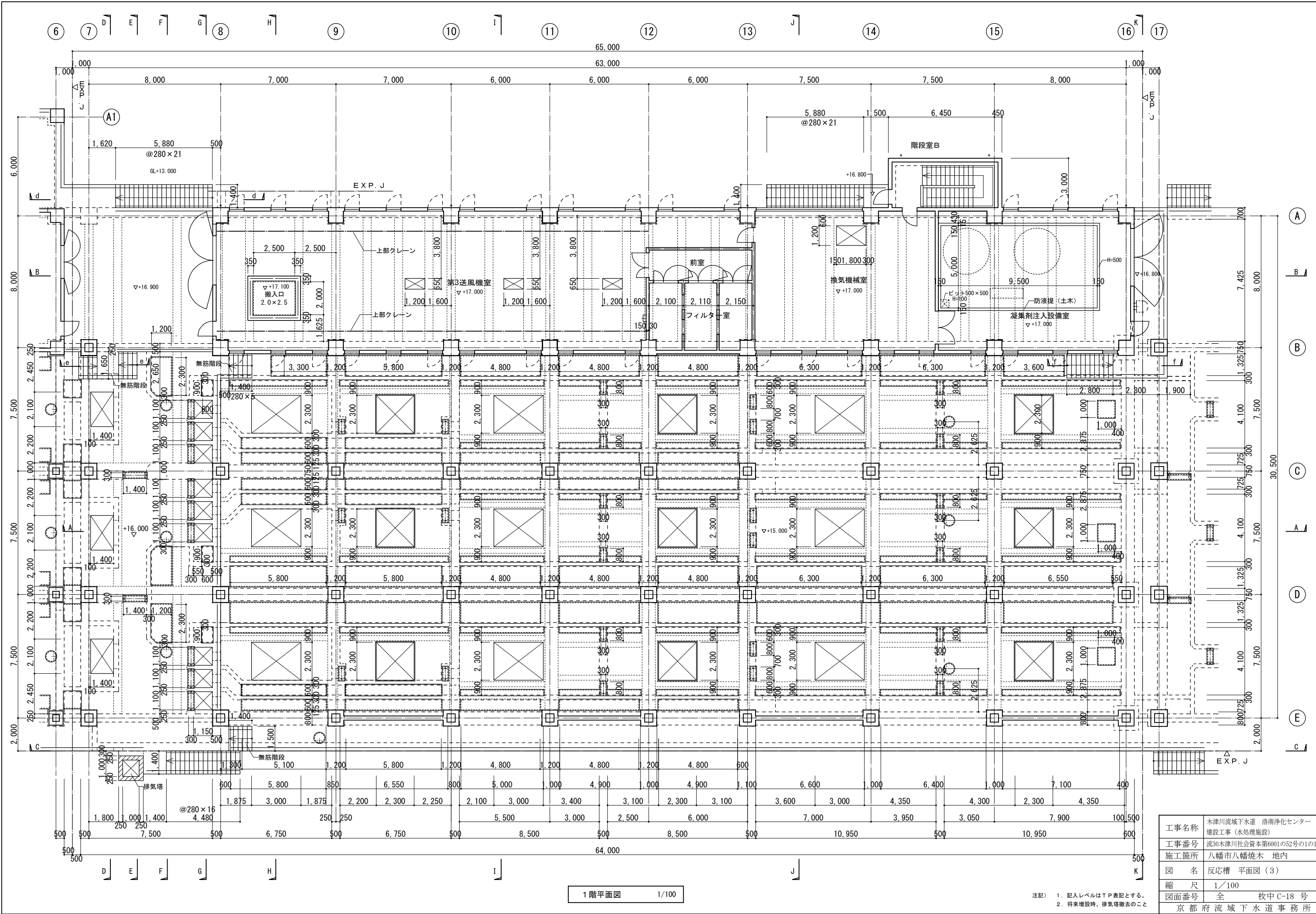
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	反応槽 平面図（1）		
縮 尺	1／100		
図面番号	全	枚中	C-16 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			

注記） 1. 記入レベルはT P表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	反応槽 平面図（2）		
縮 尺	1／100		
図面番号	全	枚中	C-17 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			

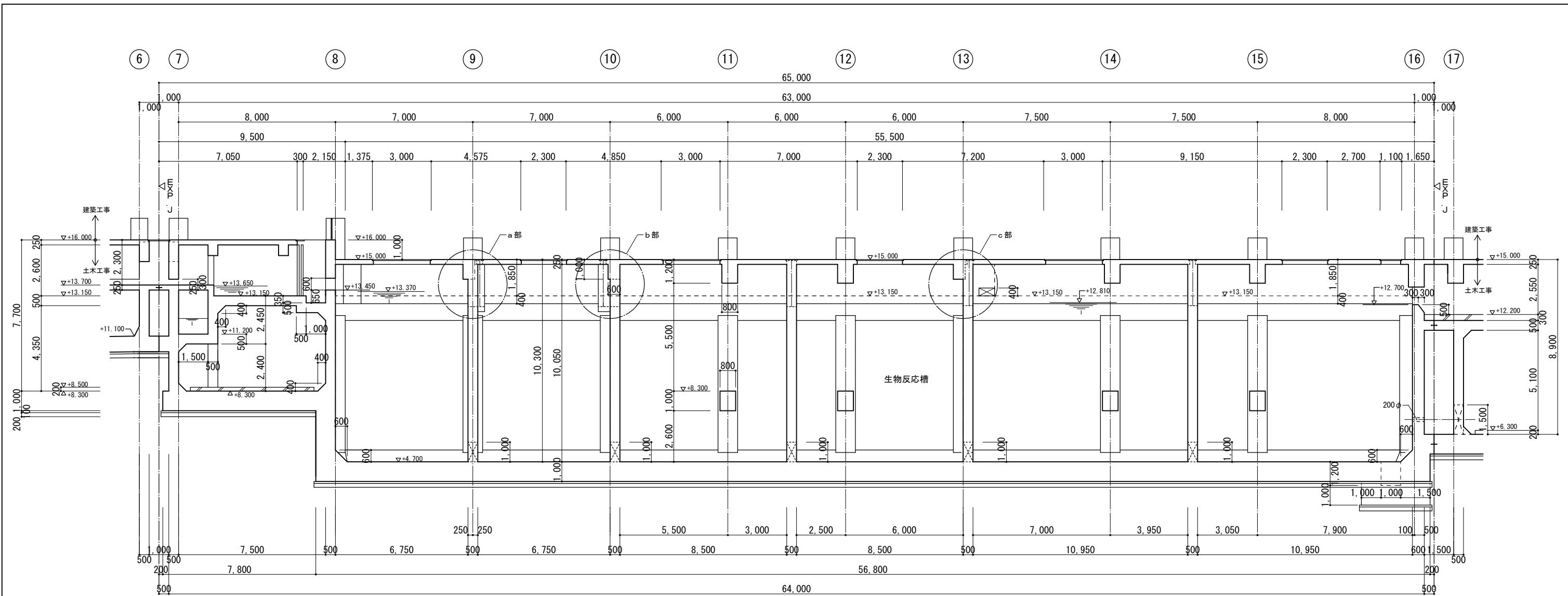
注記） 1. 記入レベルはT P表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと



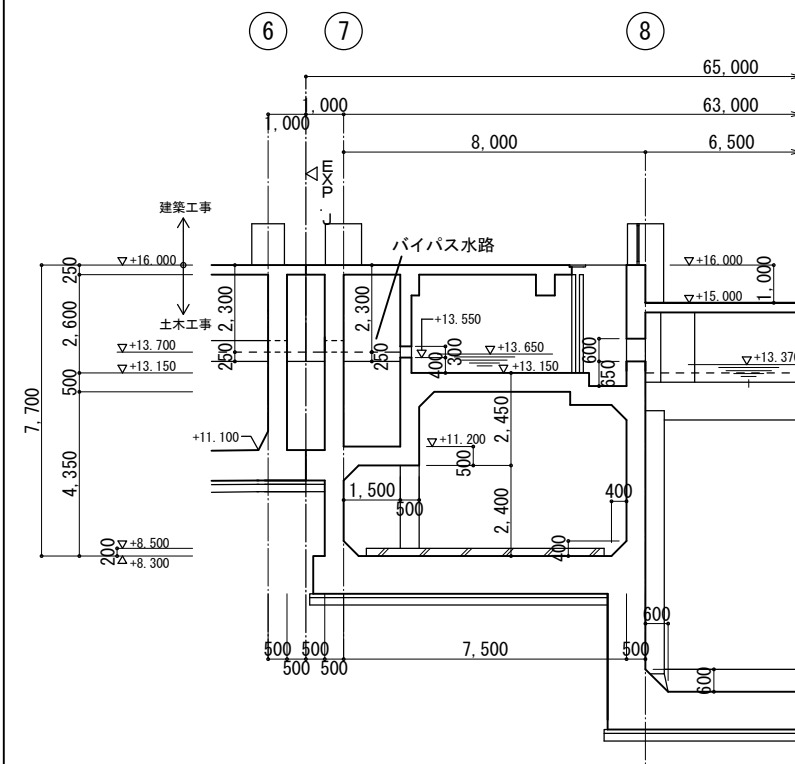
1階平面図 1/100

注記) 1. 記入レベルはT.P.表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと

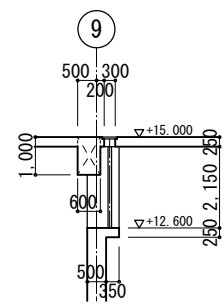
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	反応槽 平面図（3）		
縮 尺	1/100		
図面番号	全	枚中	C-18 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



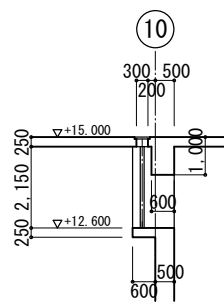
A-A断面図 1/100



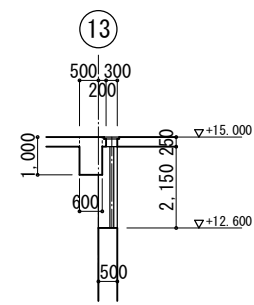
a-a断面図 1/100



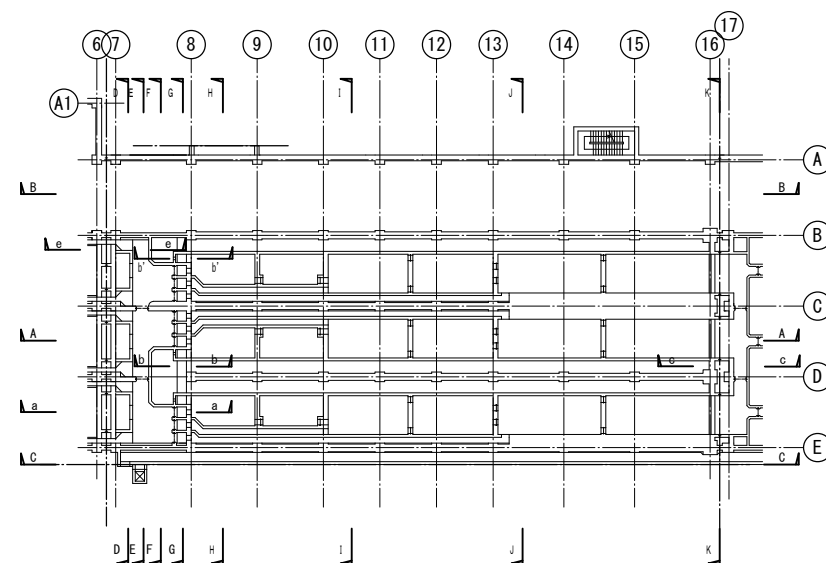
a部断面図 1/100



b部断面図 1/100



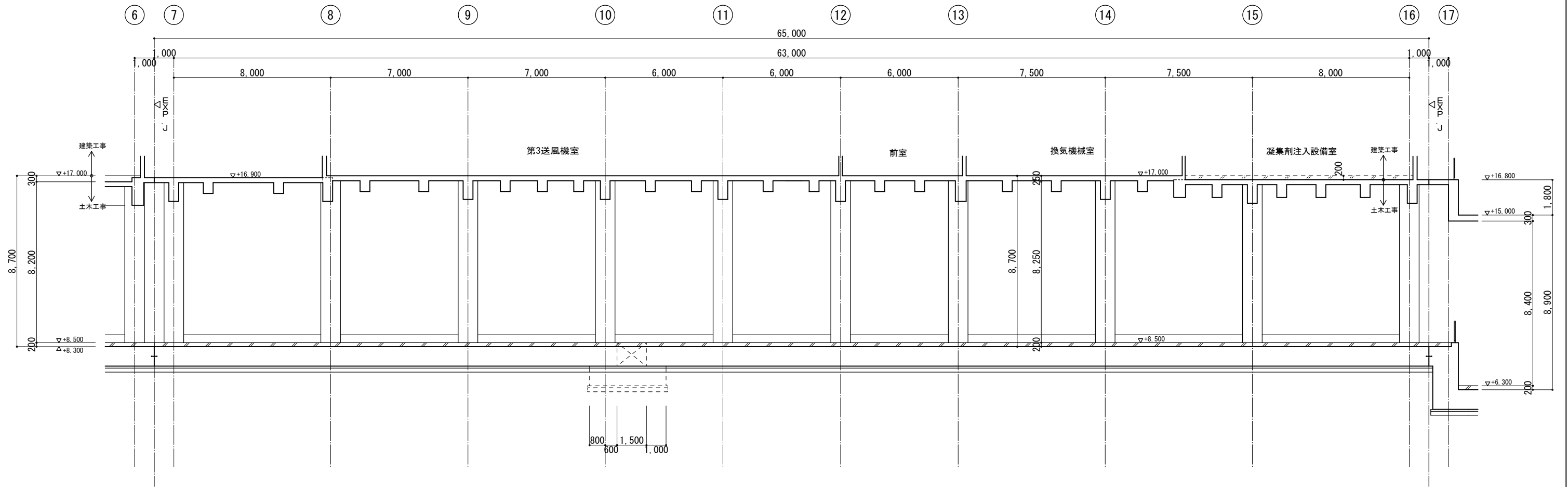
c部断面図 1/100



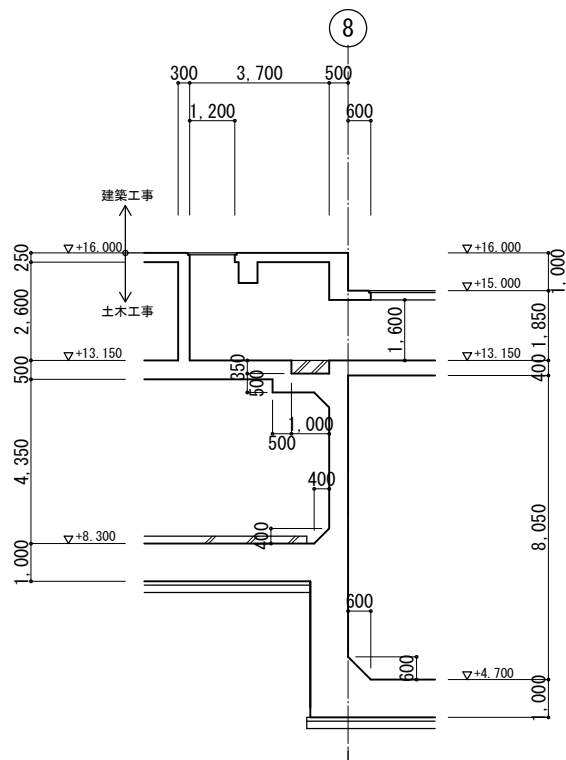
KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

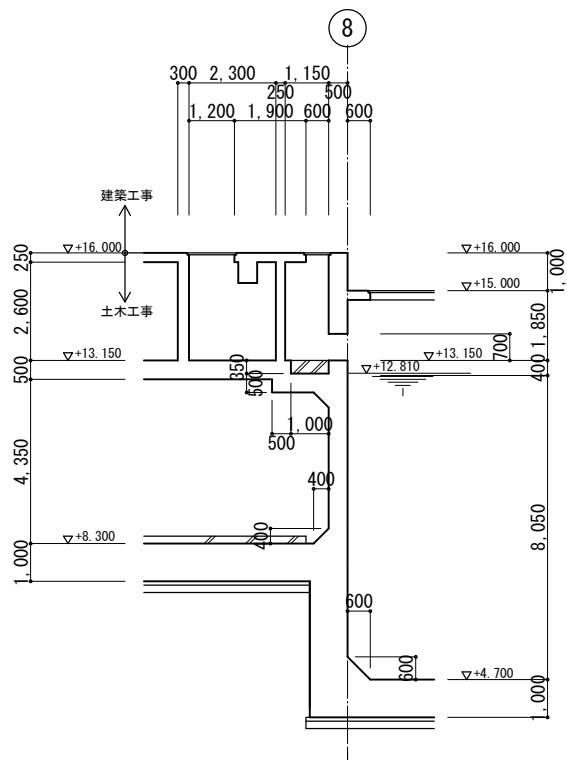
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 断面図（1）
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-19 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



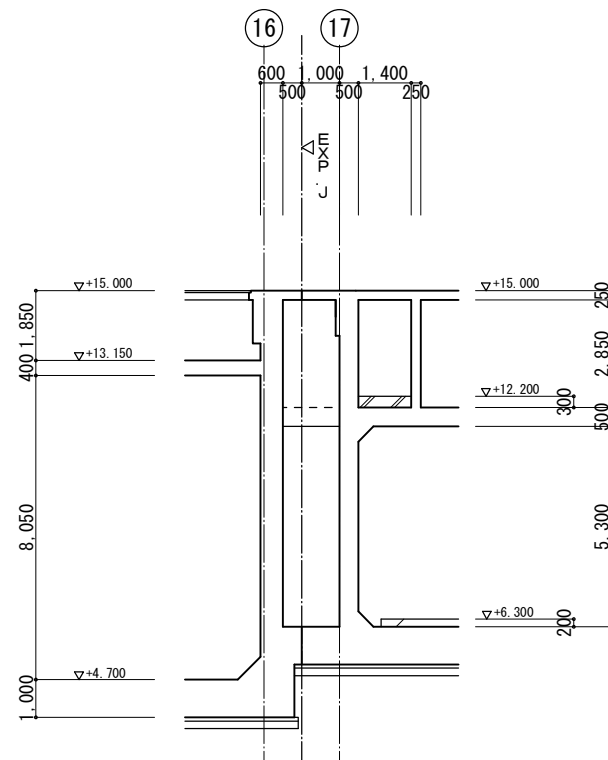
B-B断面図 1/100



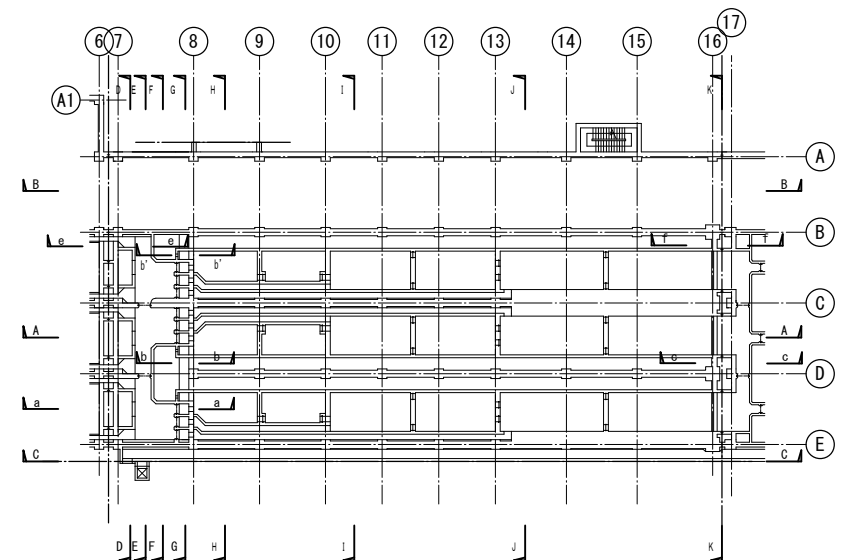
b-b断面図 1/100



b'-b'断面図 1/100



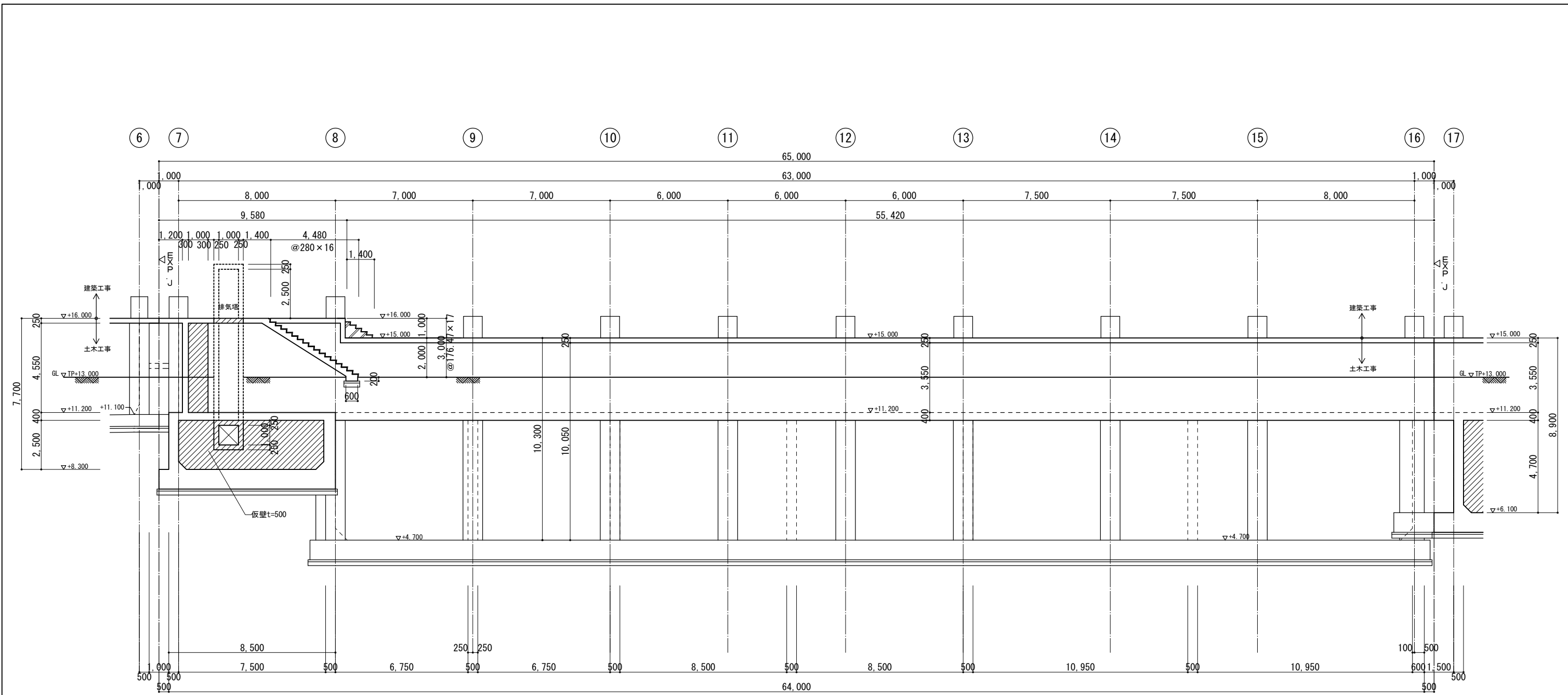
c-c断面図 1/100



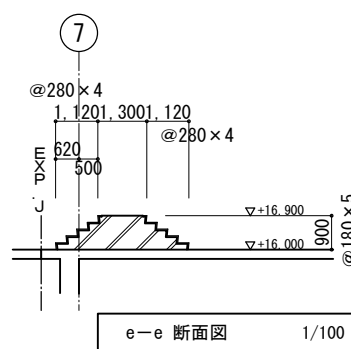
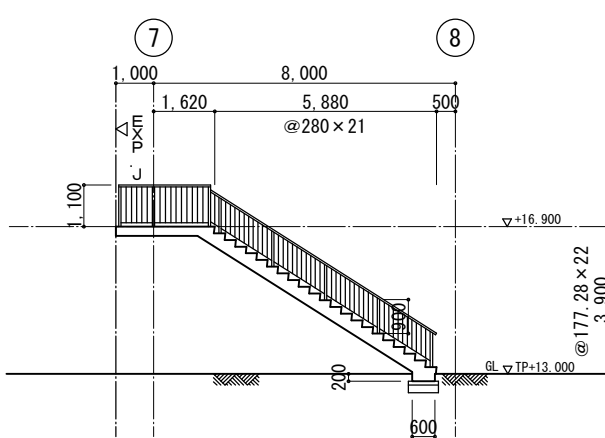
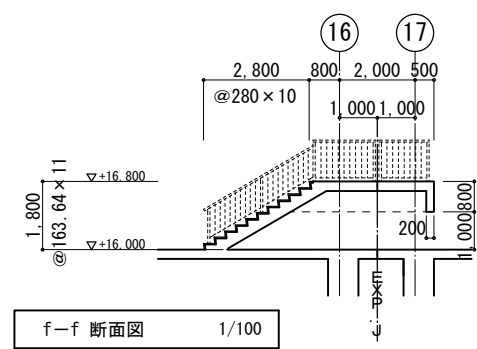
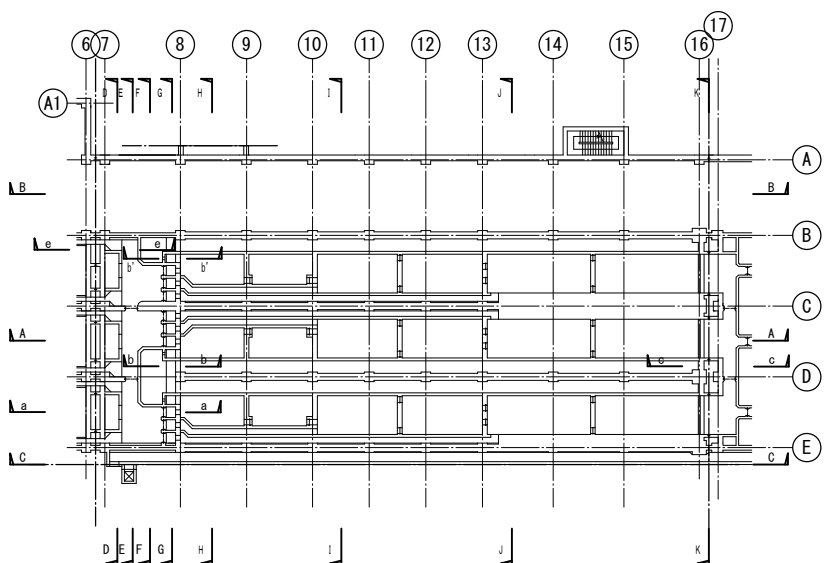
KEY PLAN

注記) 記入レベルはT P表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 断面図 (2)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-20 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

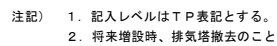
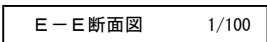
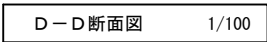


C-C断面図 1/100

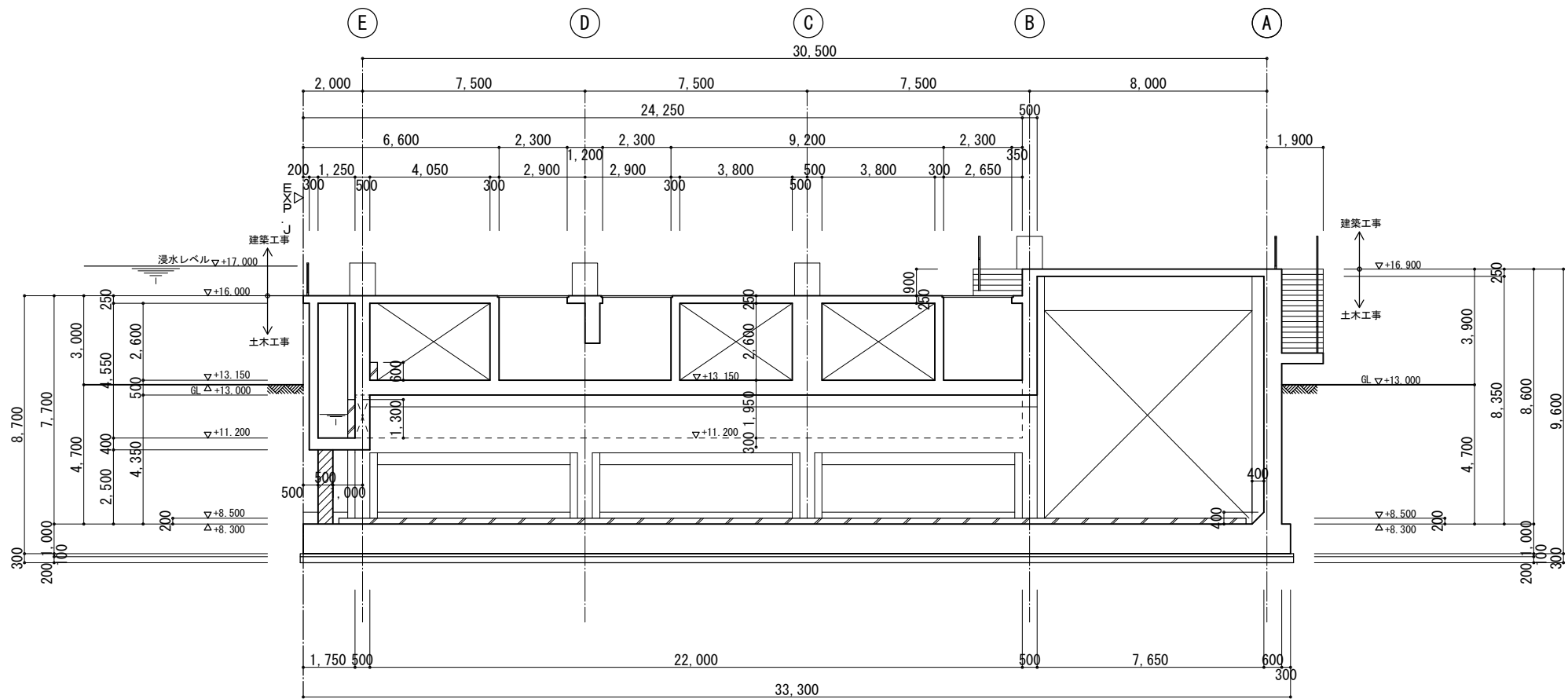


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 断面図 (3)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-21 号

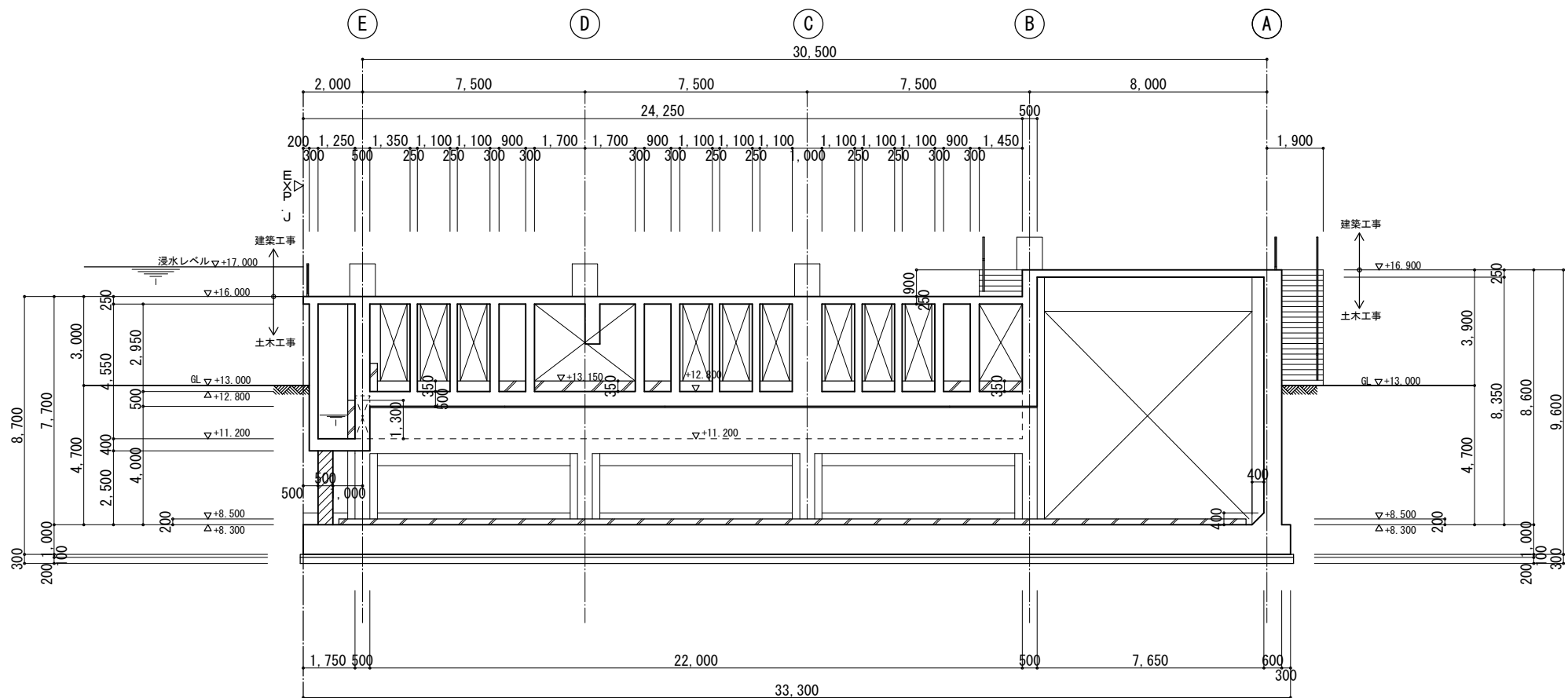
注記) 1. 記入レベルはTP表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと



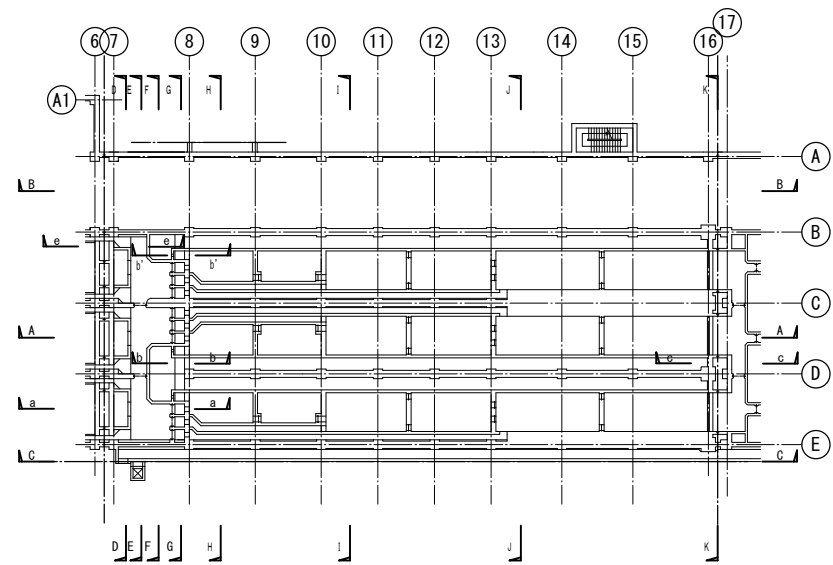
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 断面図（4）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-22 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



F - F断面図 1/100

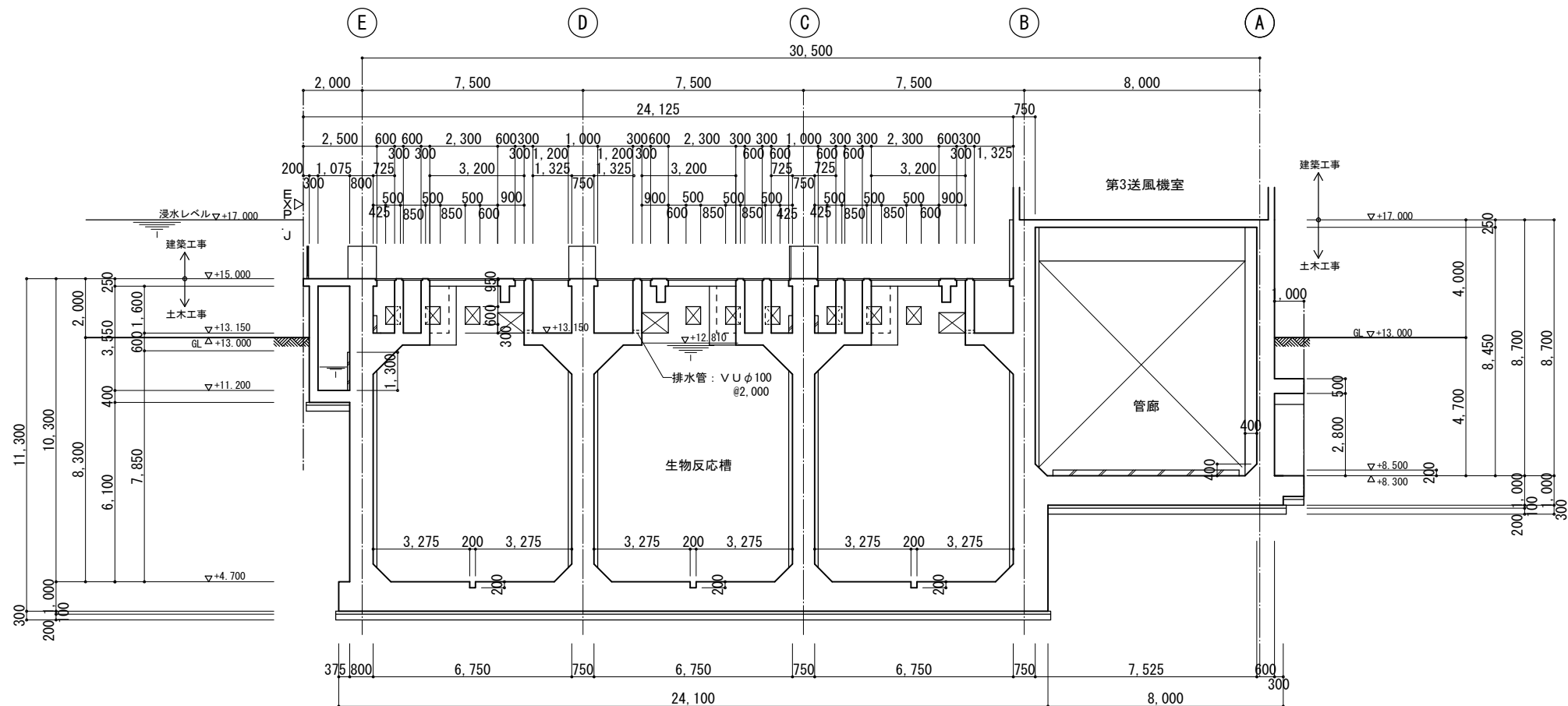


G - G断面図 1/100

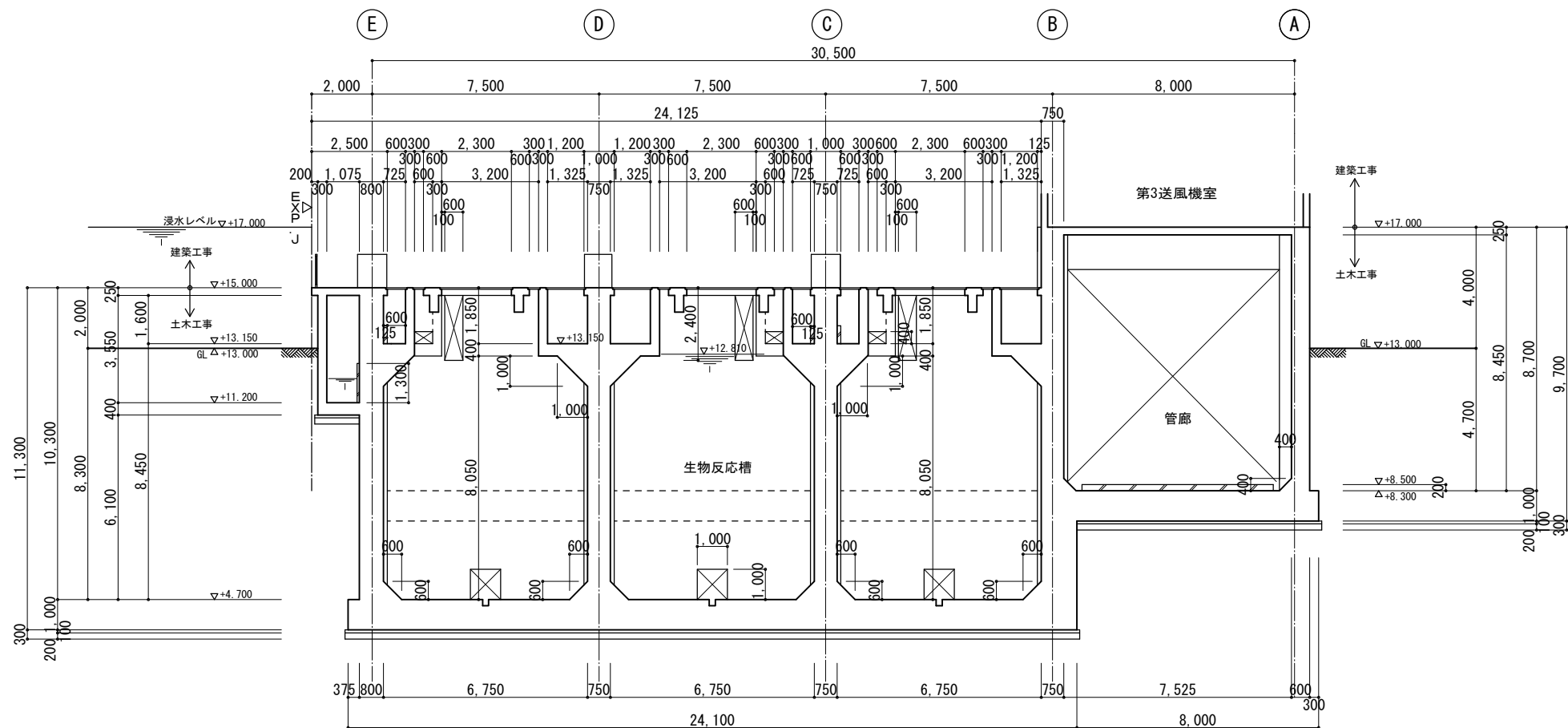


注記) 記入レベルはTP表記とする。

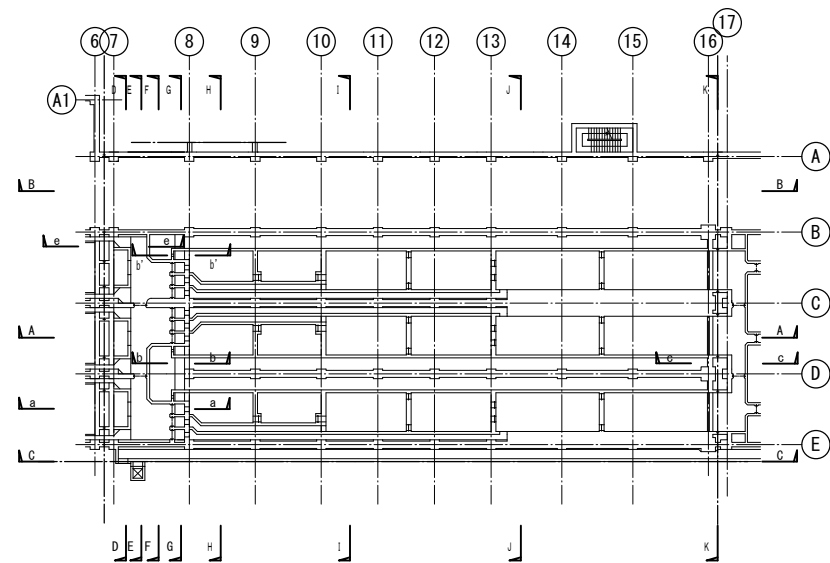
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 断面図 (5)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-23 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



H-H断面図 1/100



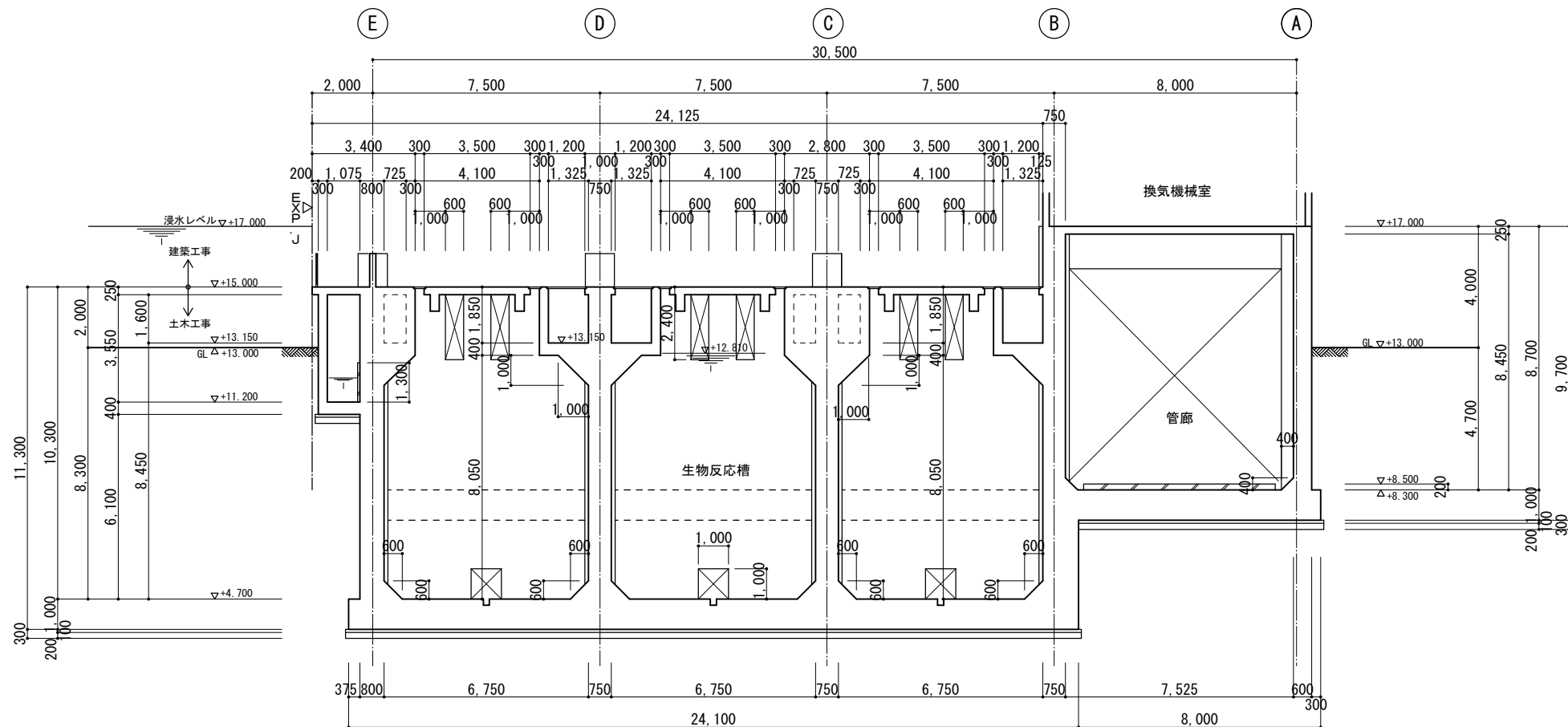
I-I断面図 1/100



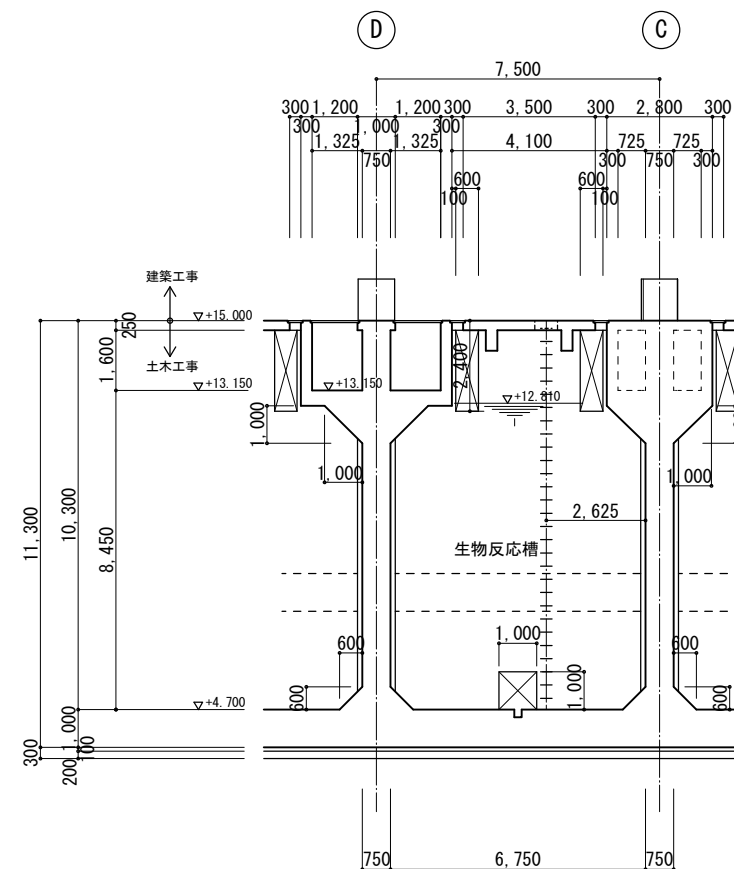
注記) 記入レベルはTP表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 断面図(6)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-24 号

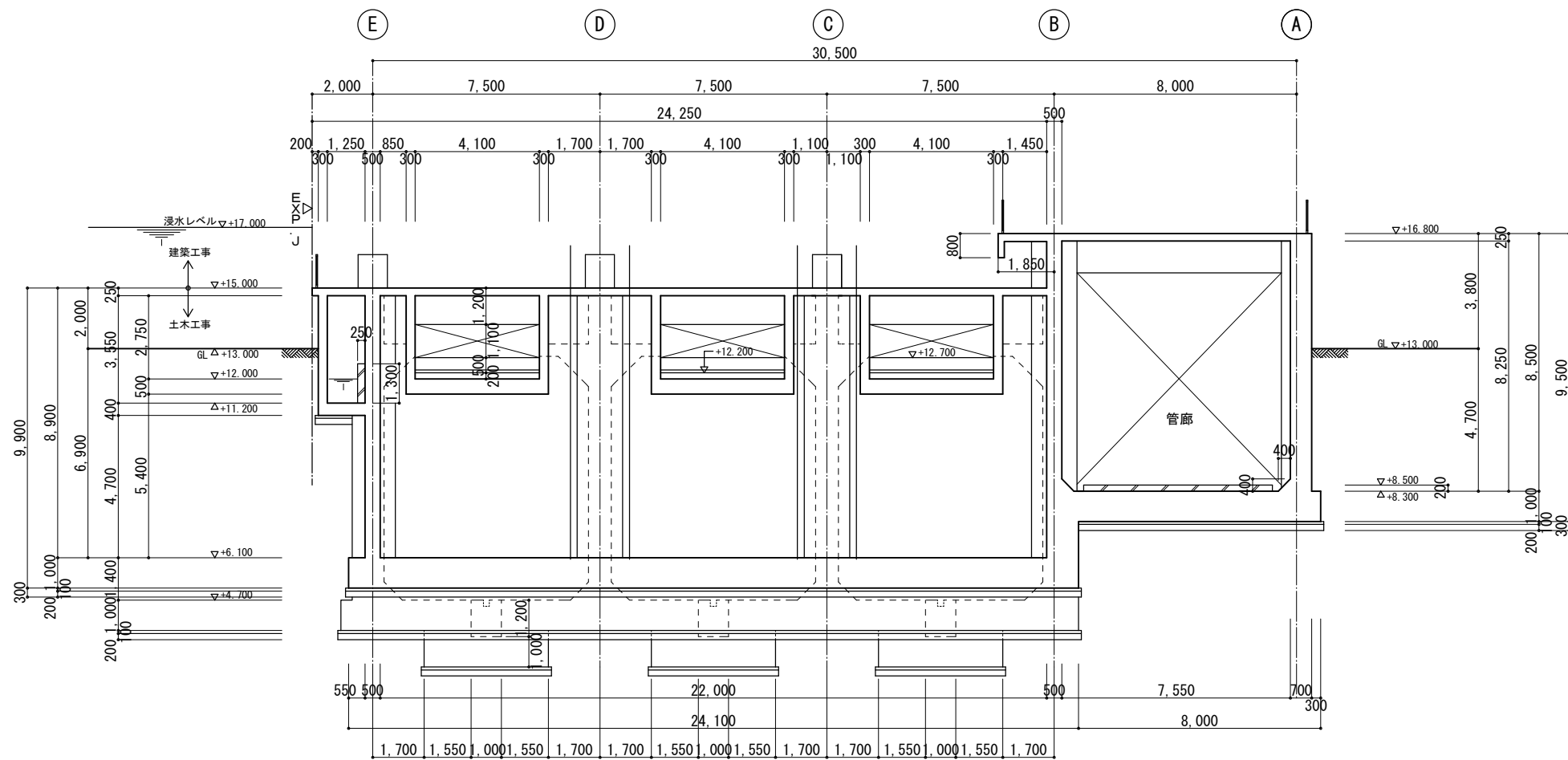
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



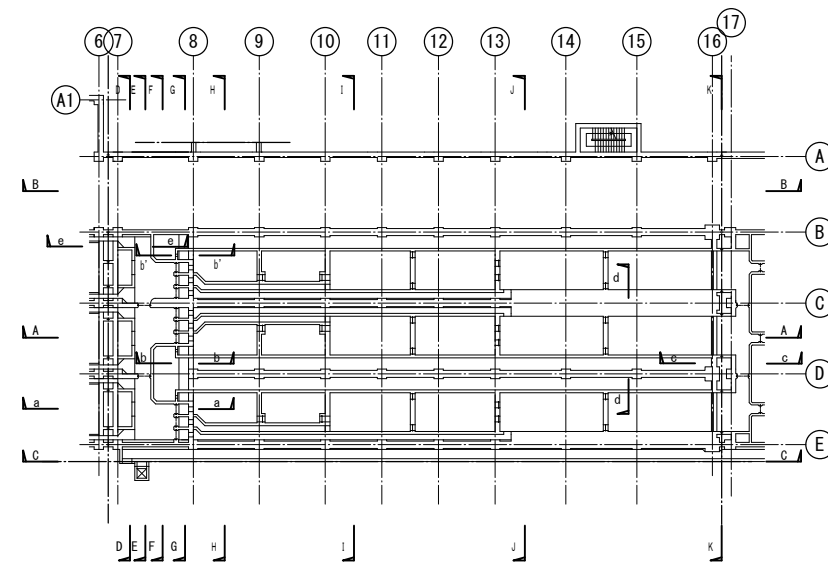
J-J 断面図 1/100



d-d 断面図 1/100



K-K 断面図 1/100

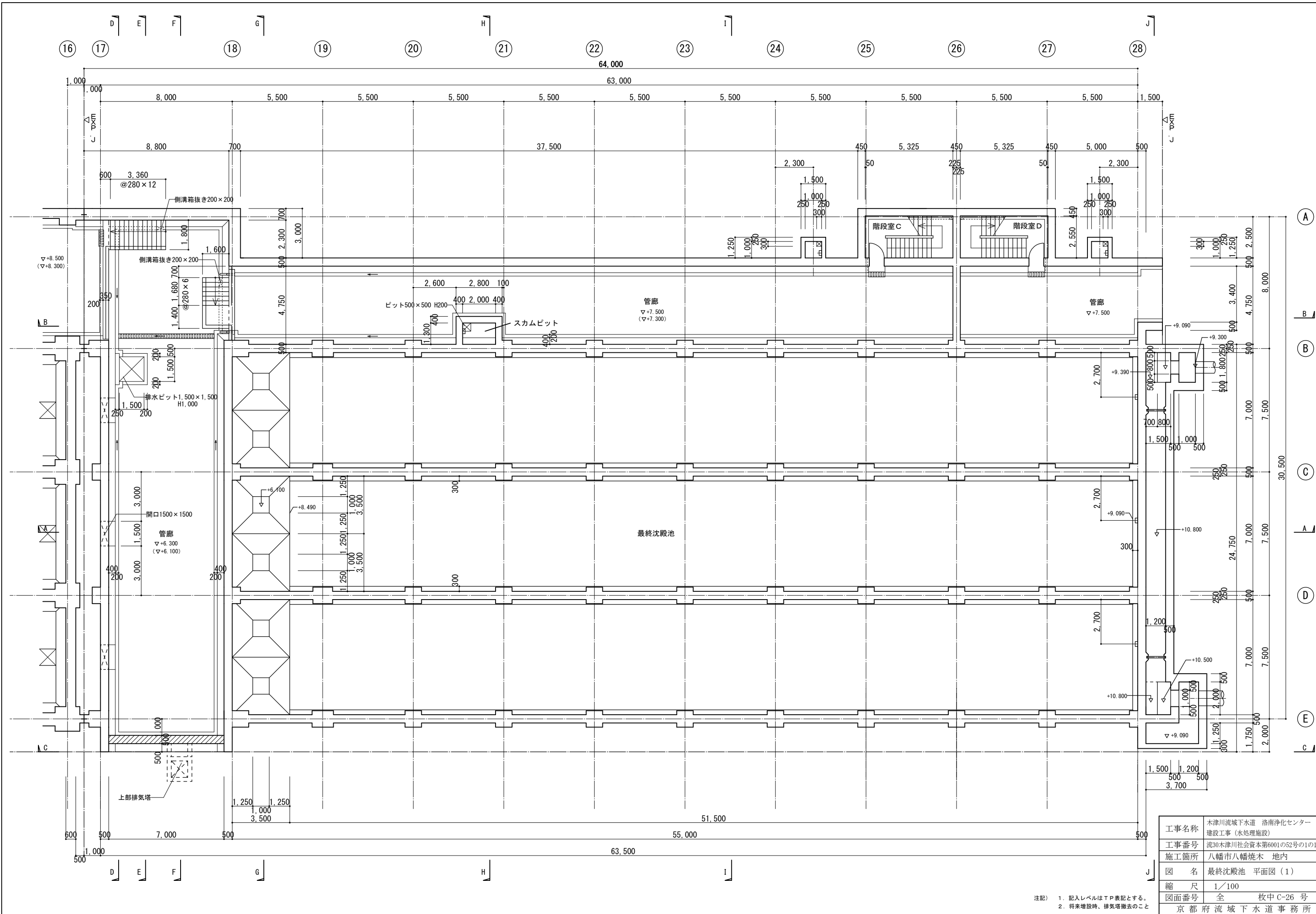


KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

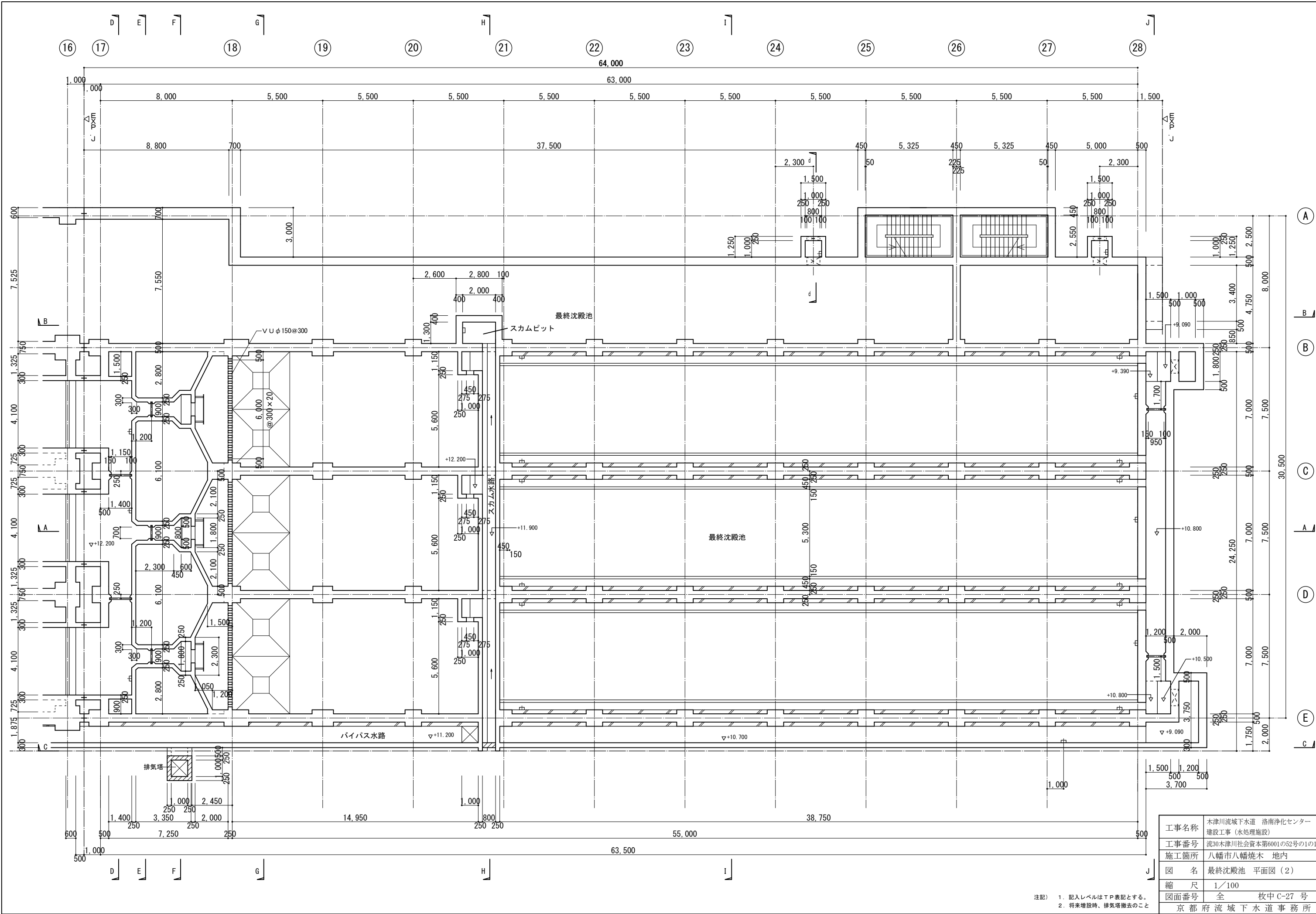
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 断面図 (7)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-25 号

京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



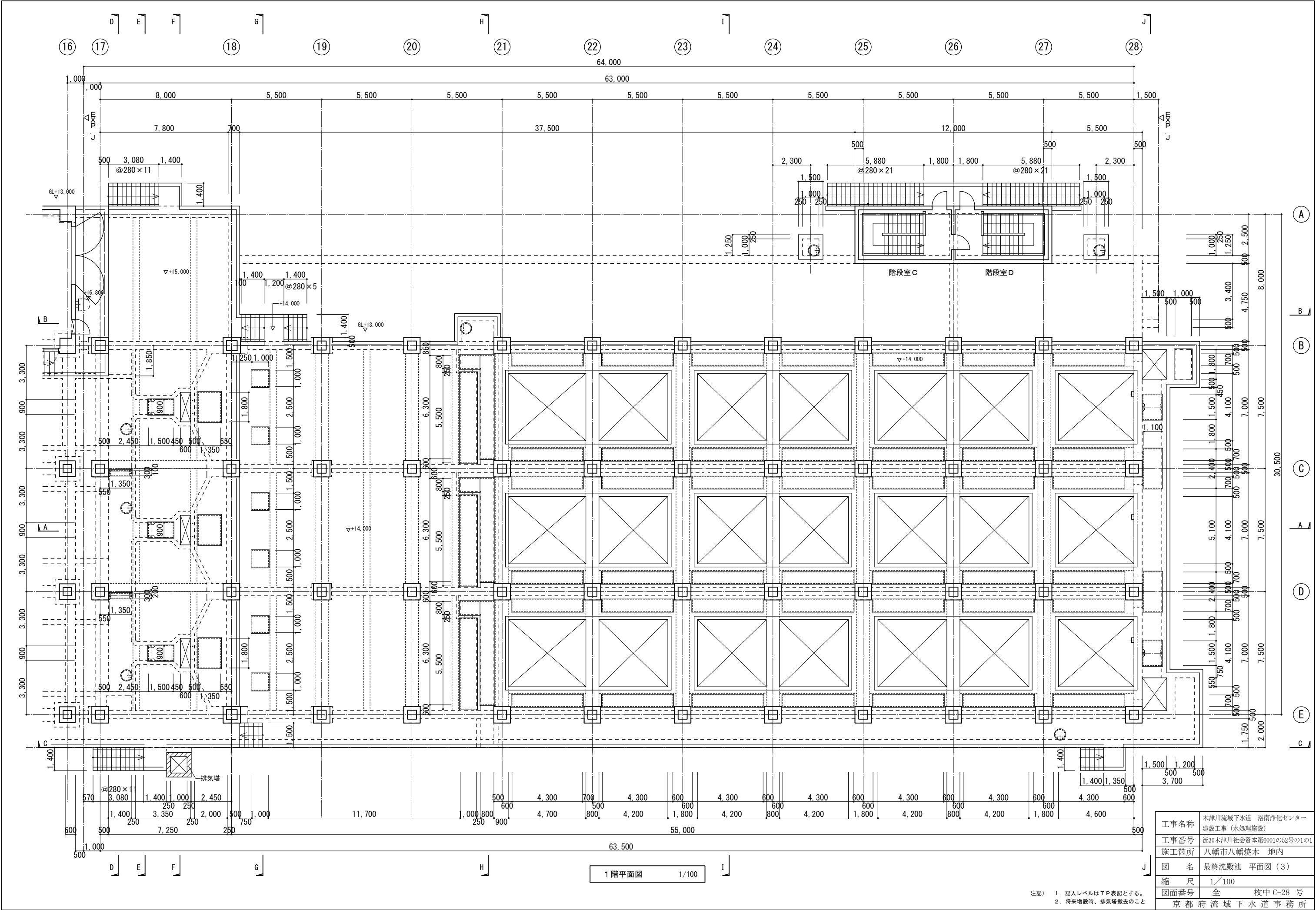
注記) 1. 記入レベルはT.P.表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図名	最終沈殿池 平面図 (1)		
縮尺	1/100		
図面番号	全	枚中	C-26 号
京都府流域下水道事務所			



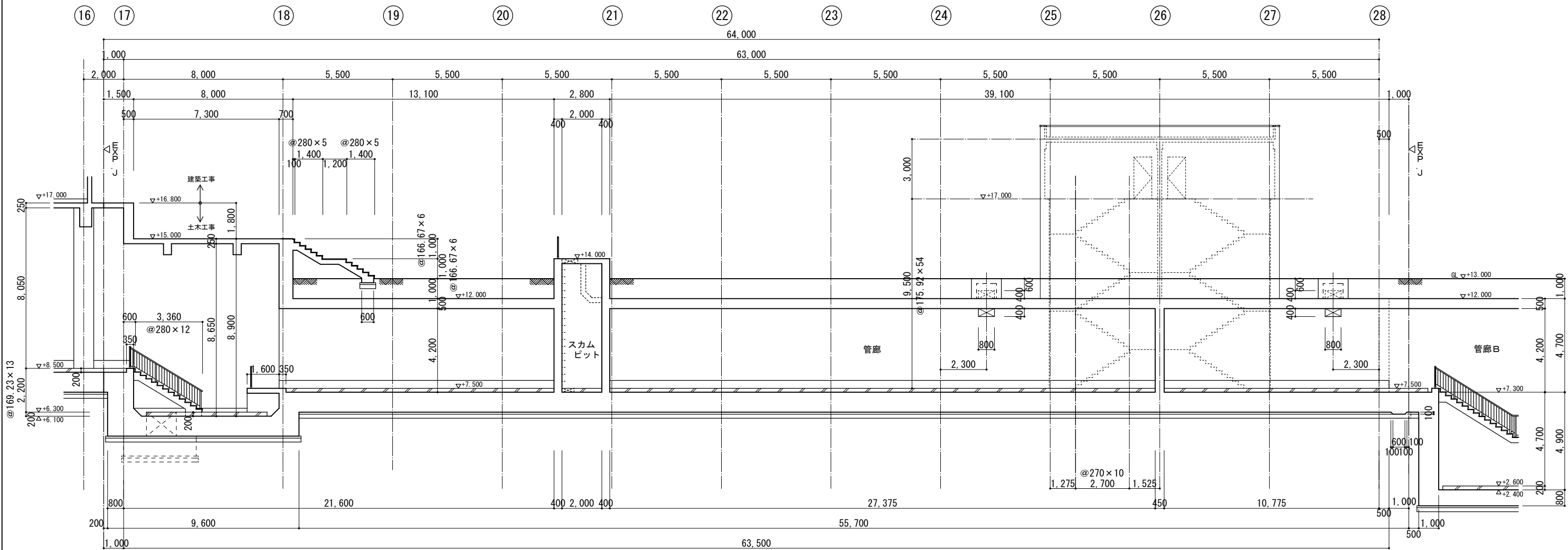
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図名	最終沈殿池 平面図 (2)		
縮尺	1/100		
図面番号	全	枚中	C-27 号
京都府流域下水道事務所			

注記) 1. 記入レベルはT.P.表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと

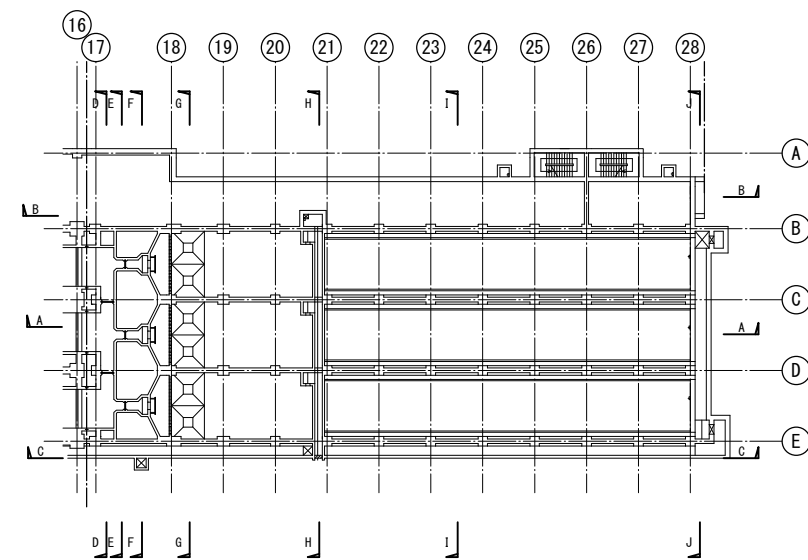


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最終沈殿池 平面図（3）		
縮 尺	1／100		
図面番号	全	枚中	C-28 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			

注記） 1. 記入レベルはT.P.表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと



B-B断面図 1/100

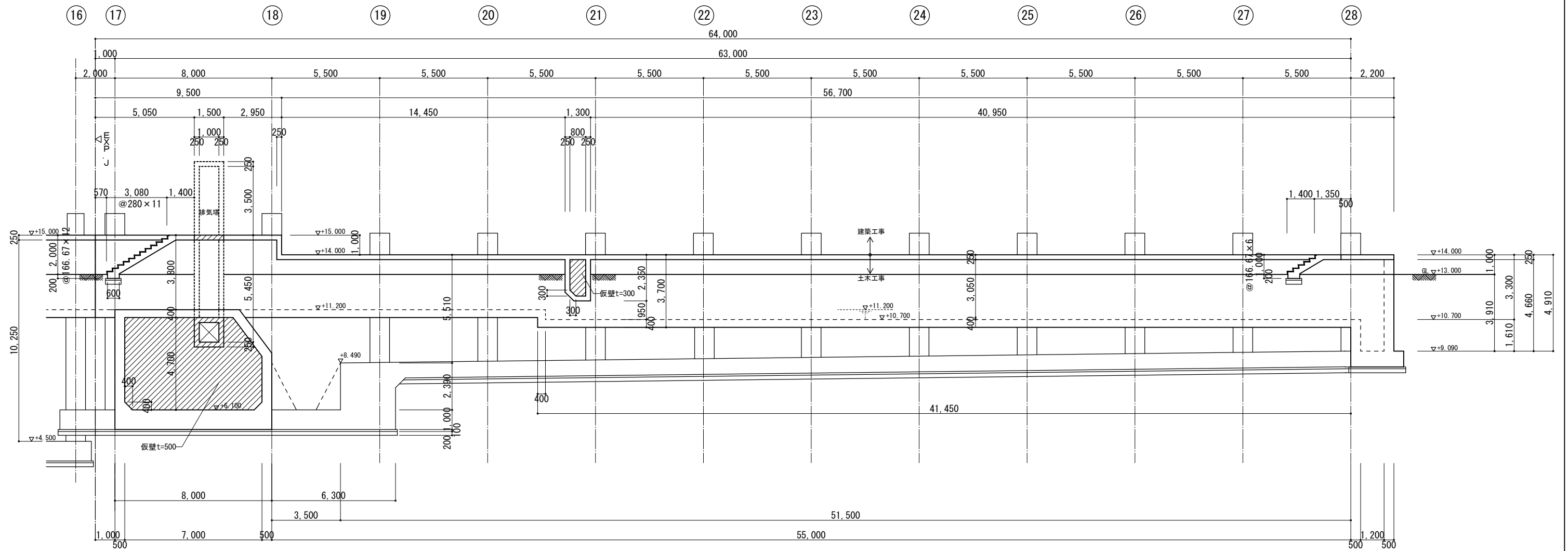


KEY PLAN

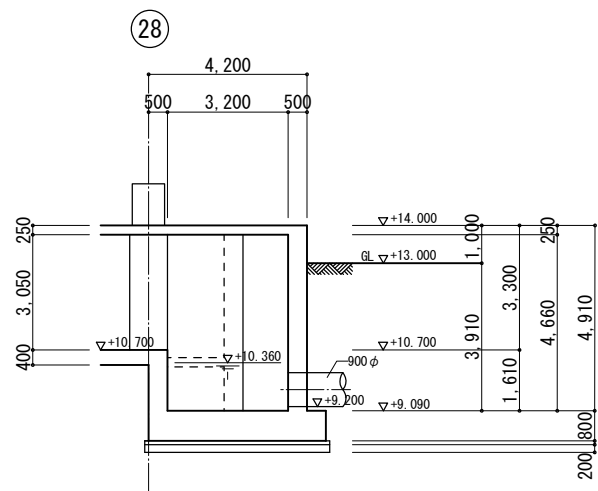
注記) 記入レベルはTP表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 断面図（2）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-30 号

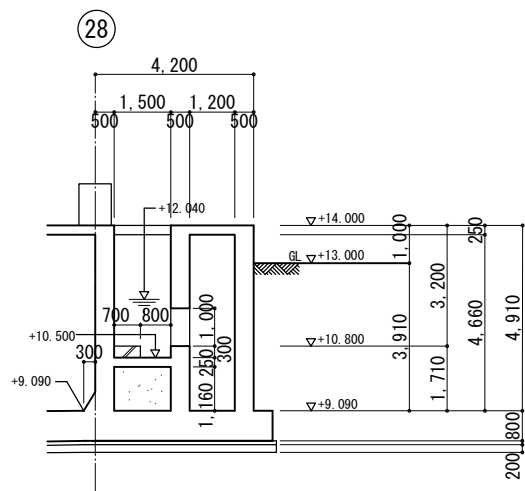
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



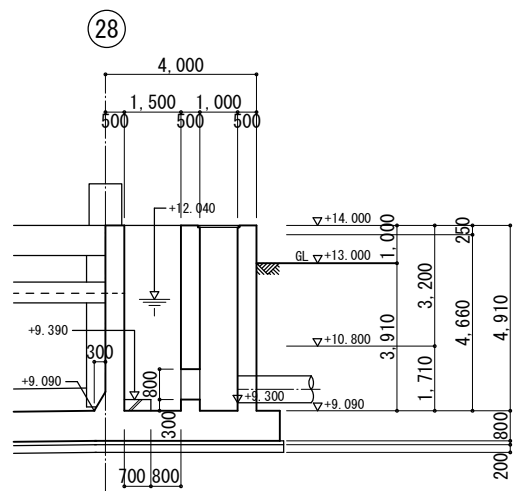
C-C断面図 1/100



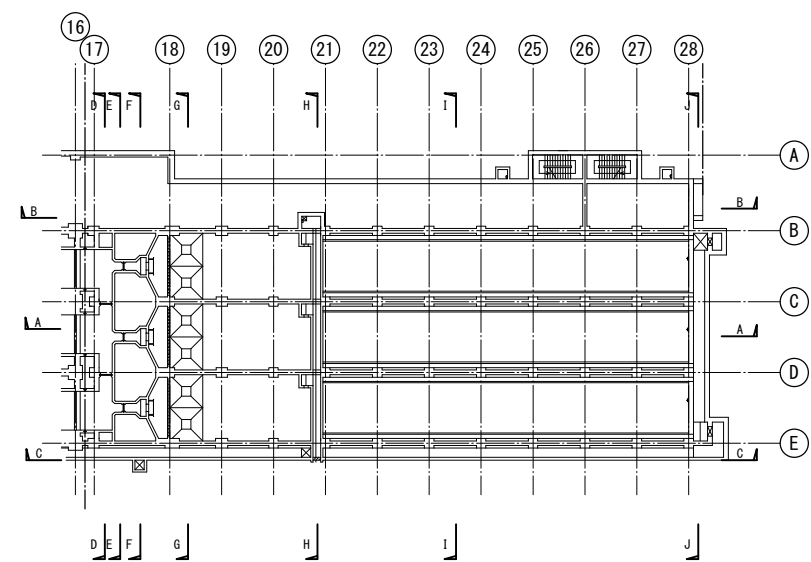
a-a断面図 1/100



b-b断面図 1/100



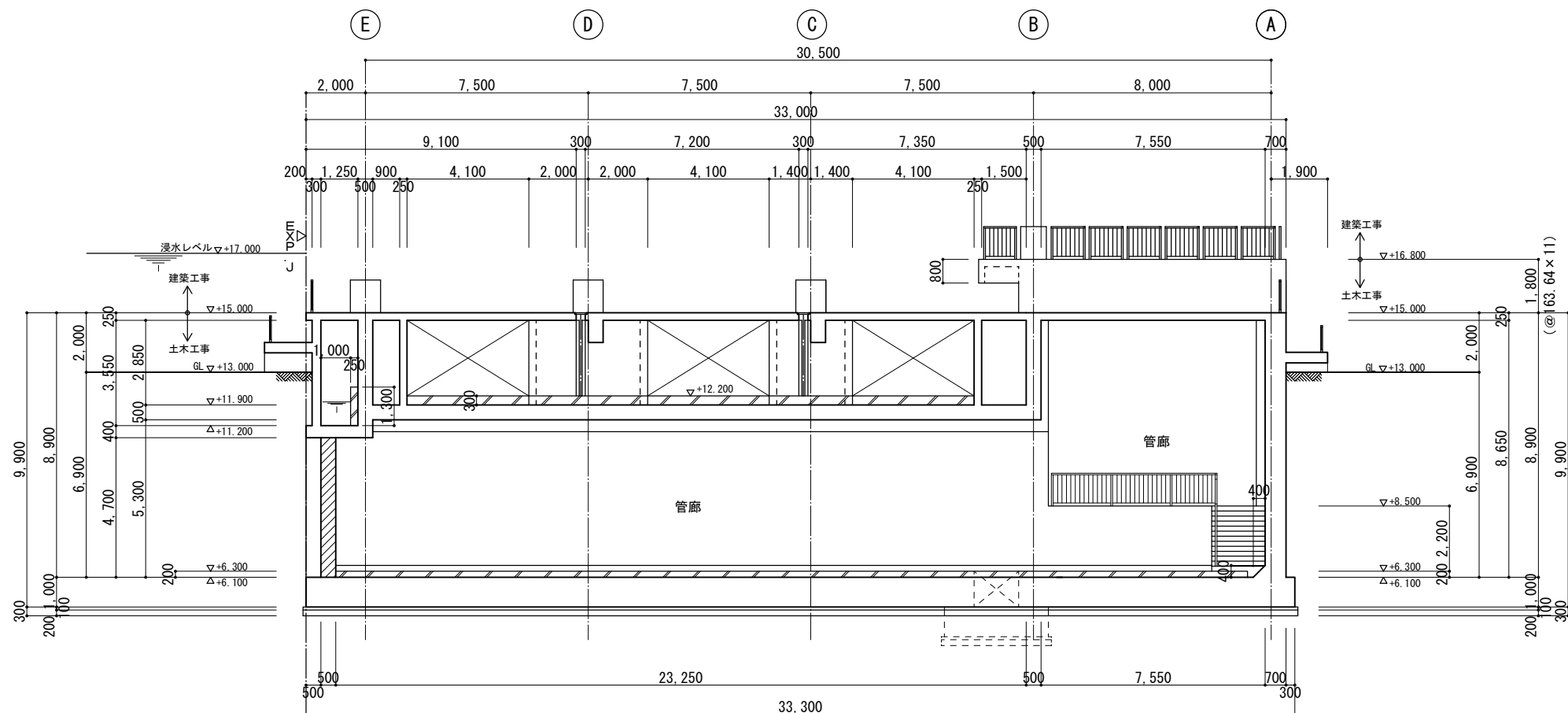
c-c断面図 1/100



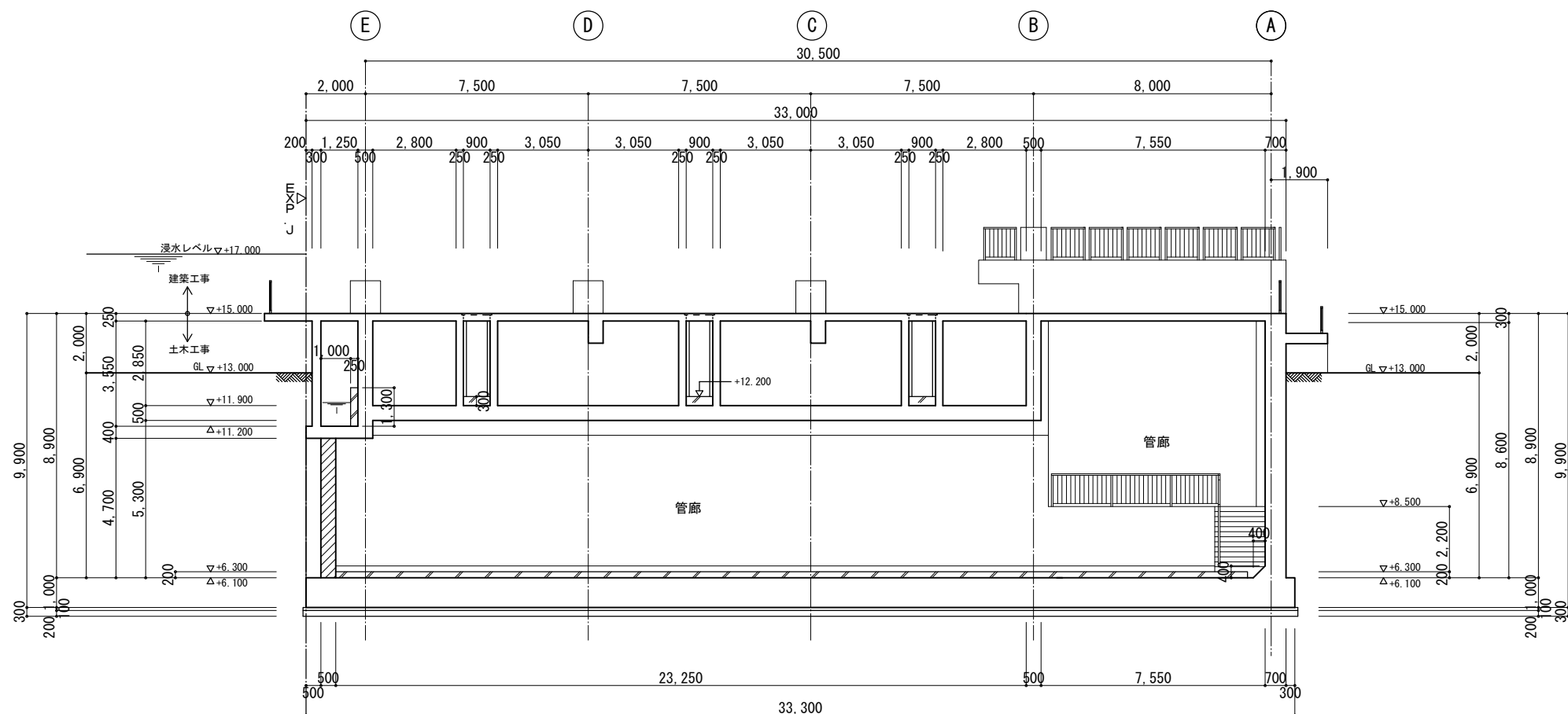
KEY PLAN

注記) 1. 記入レベルはT P表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと

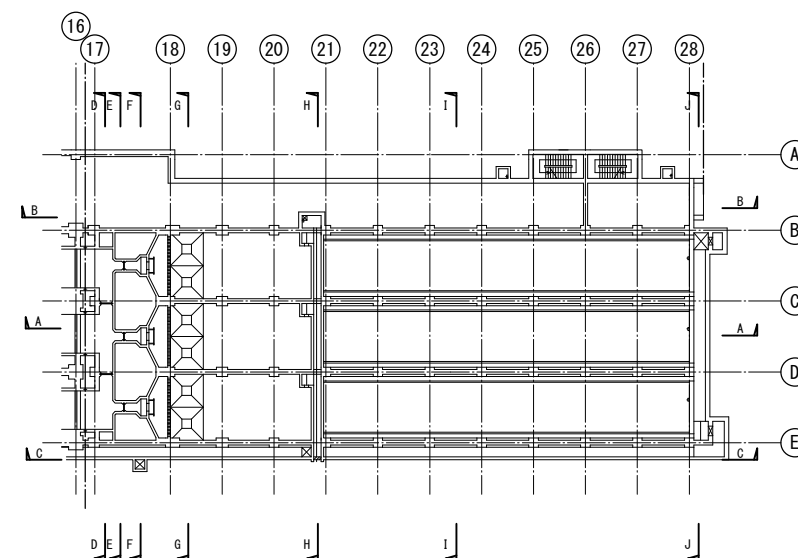
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最終沈殿池 断面図(3)
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-31 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



D-D断面図 1/100



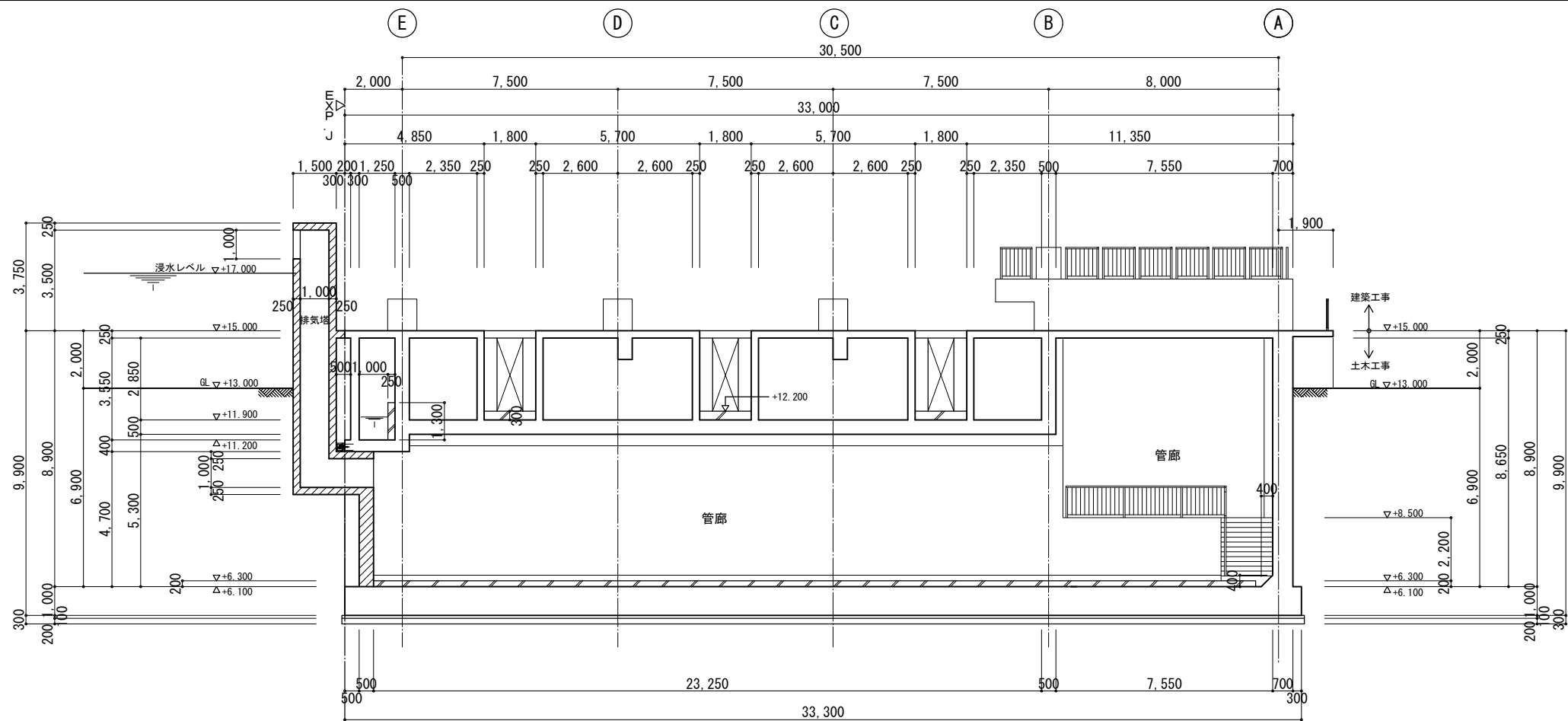
E-E断面図 1/100



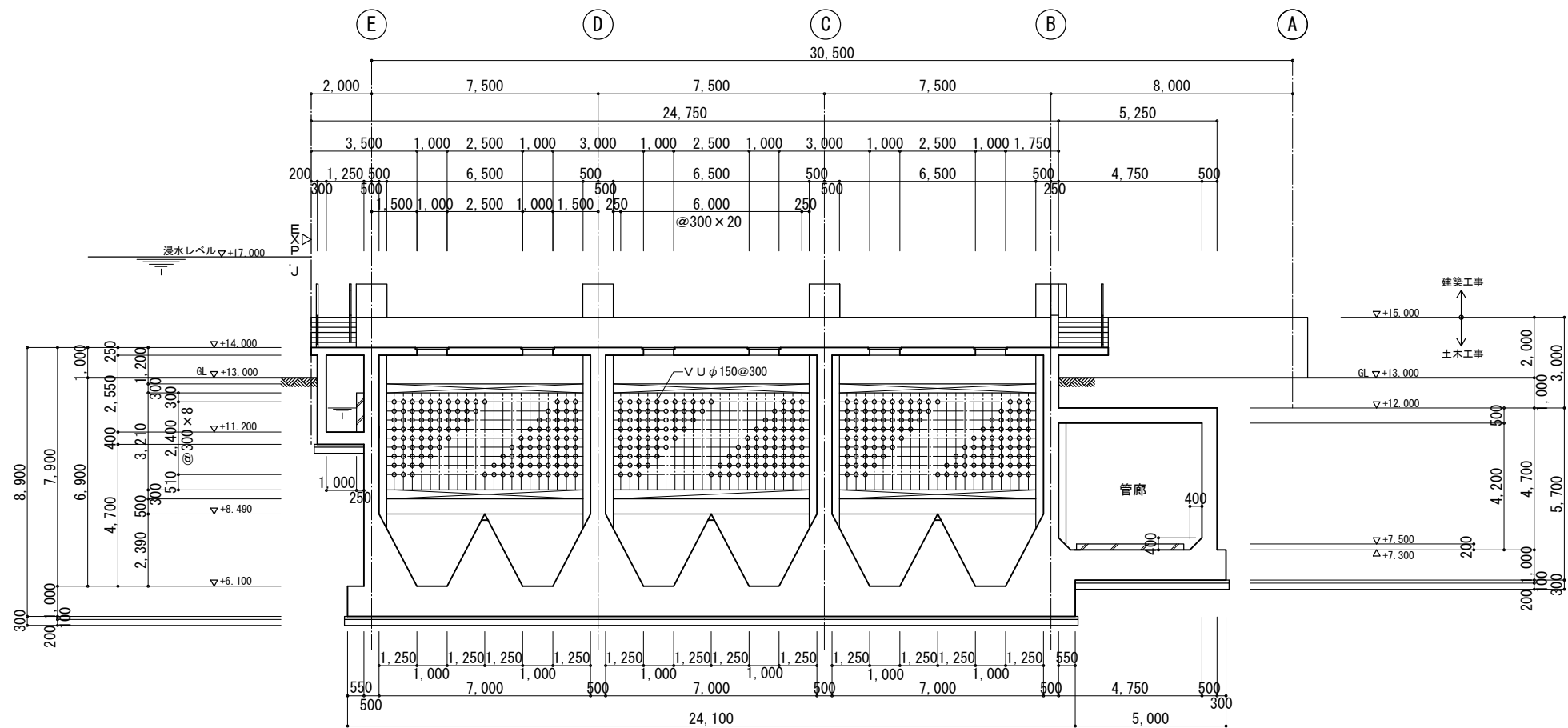
KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

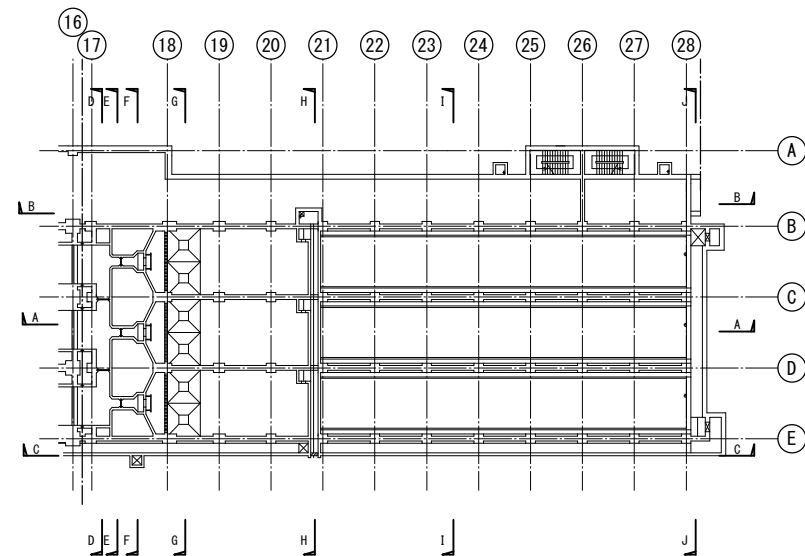
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 断面図 (4)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-32 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



F - F 断面図 1/100

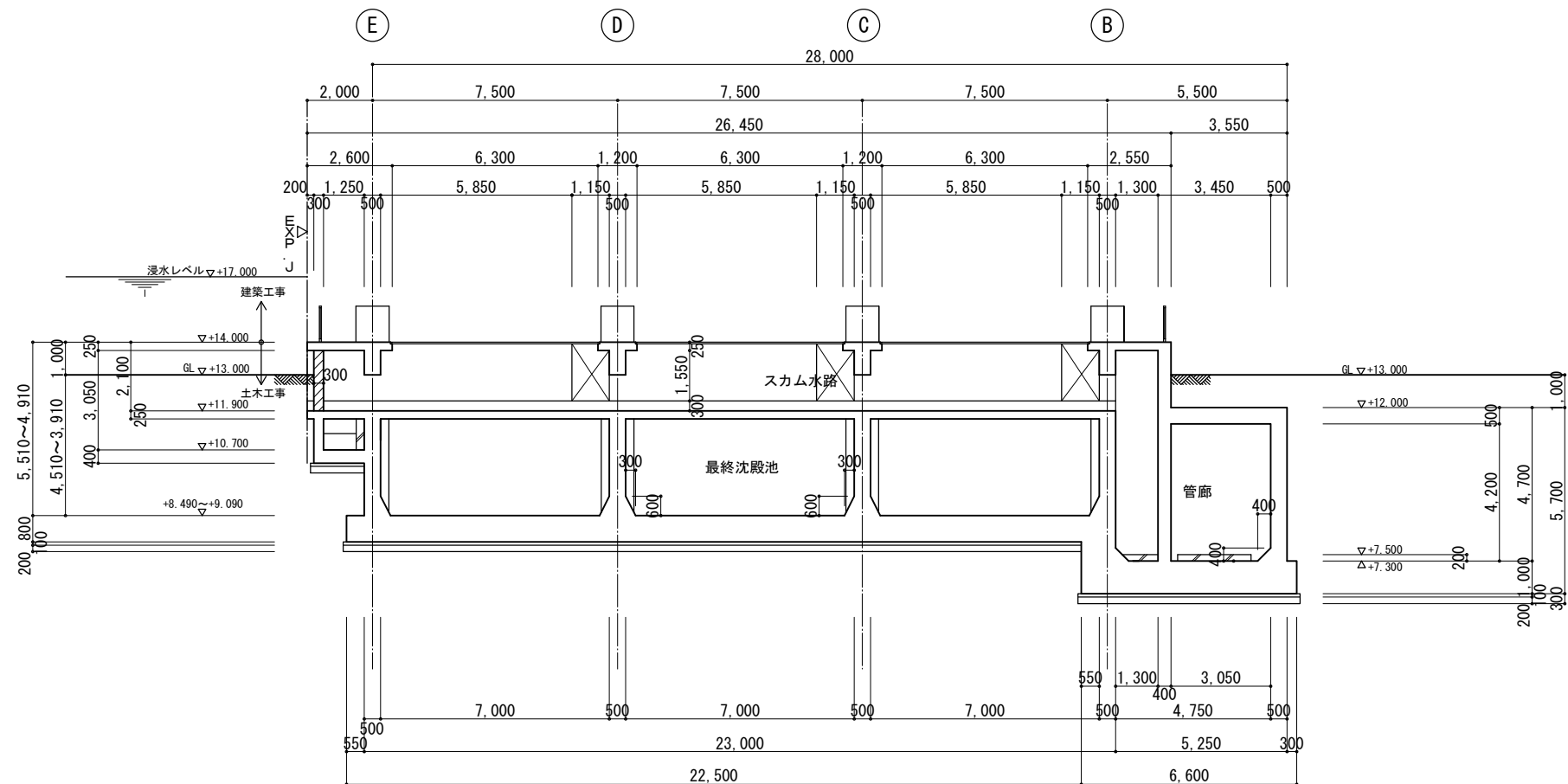


G - G 断面図 1/100

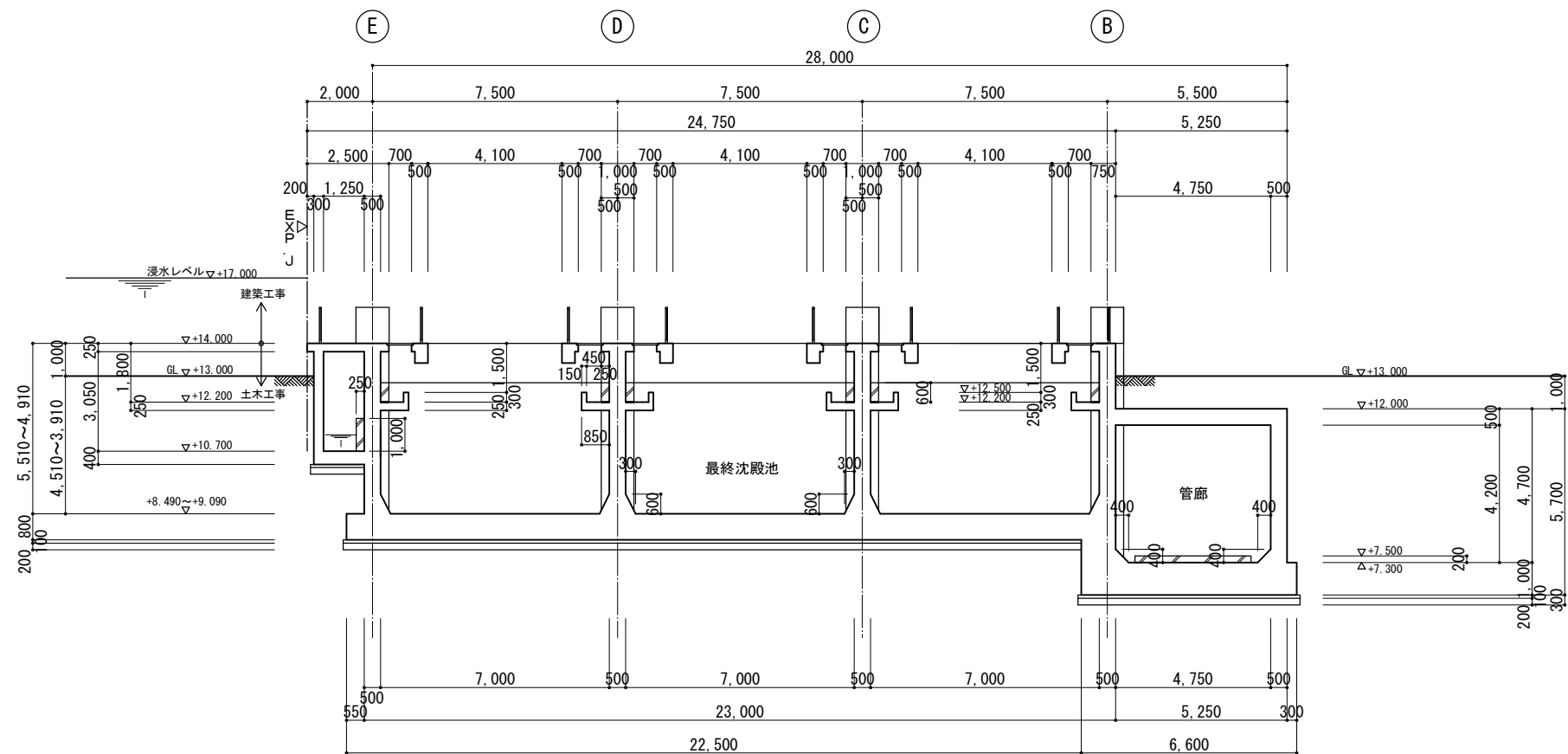


注記) 1. 記入レベルはT P表記とする。
2. 将来増設時、排気塔撤去のこと

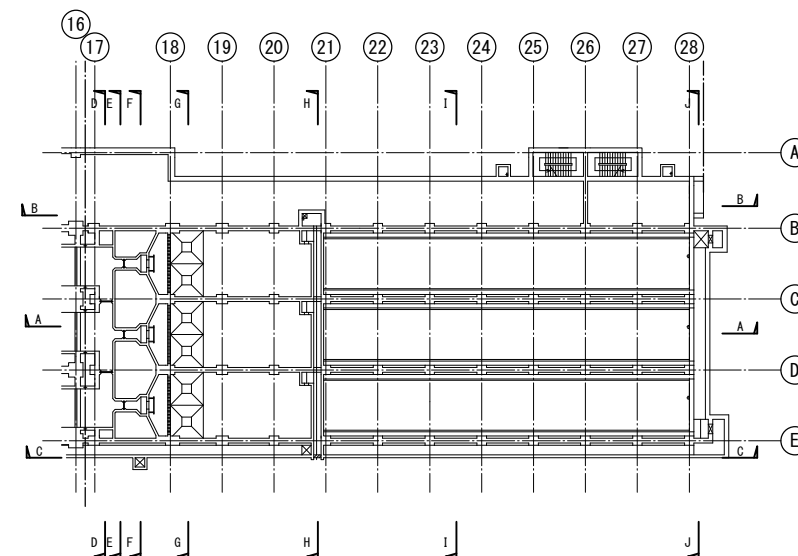
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 断面図 (5)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-33 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



H-H断面図 1/100



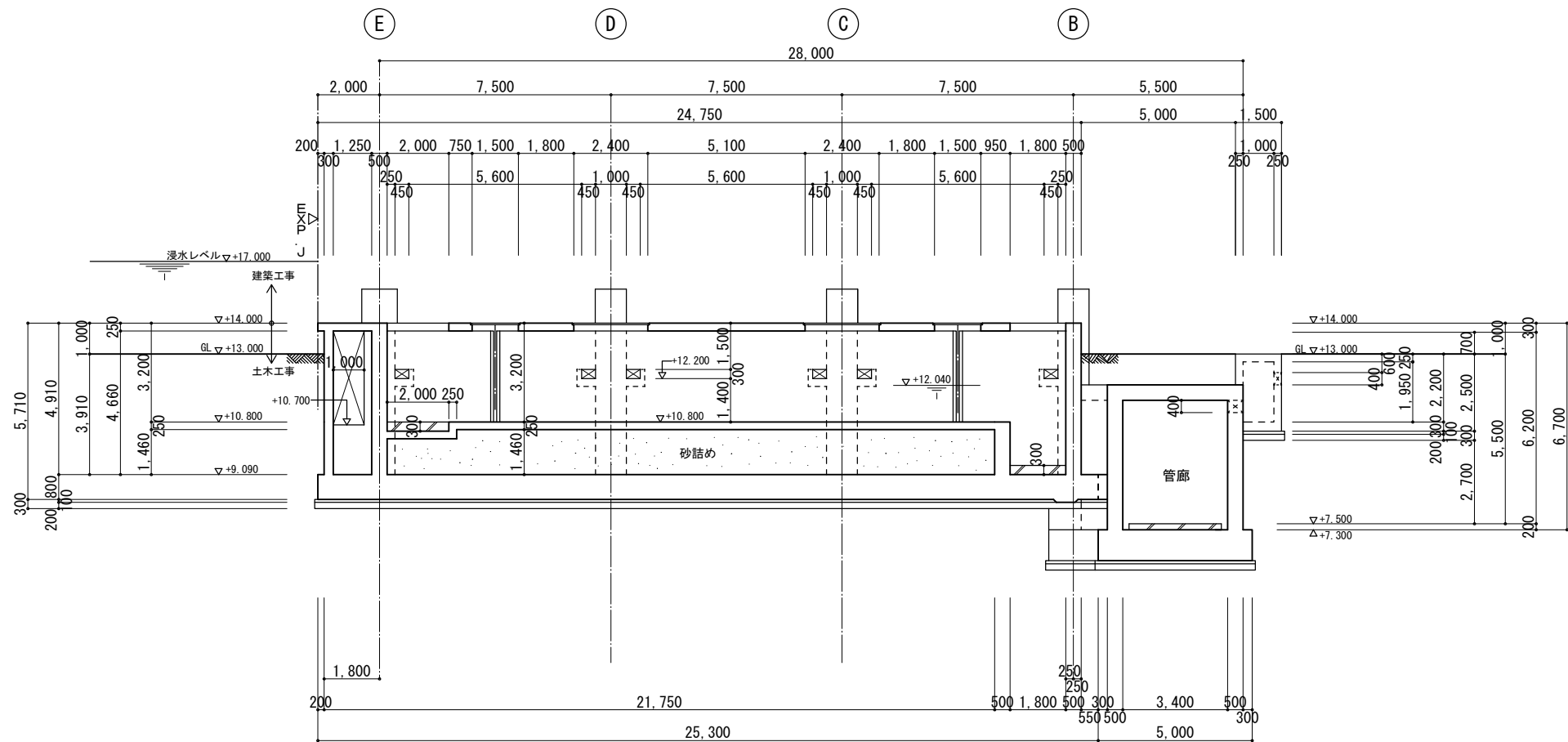
I-I断面図 1/100



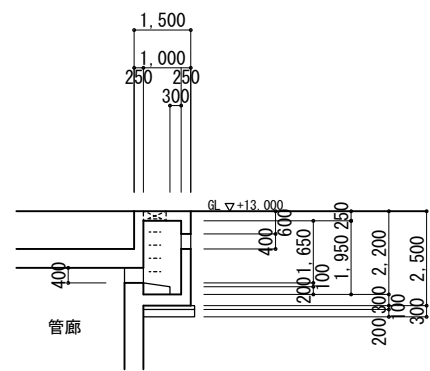
KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

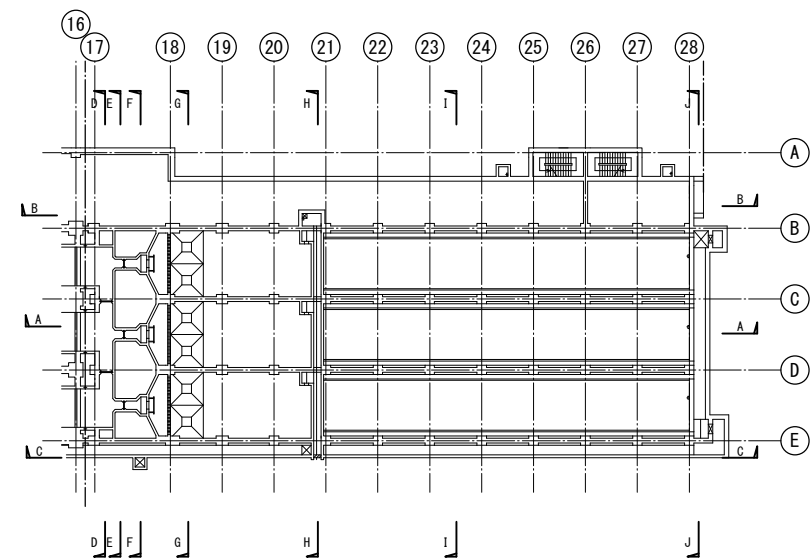
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 断面図（6）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 C-34 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



J-J断面図 1/100



d-d断面図 1/100

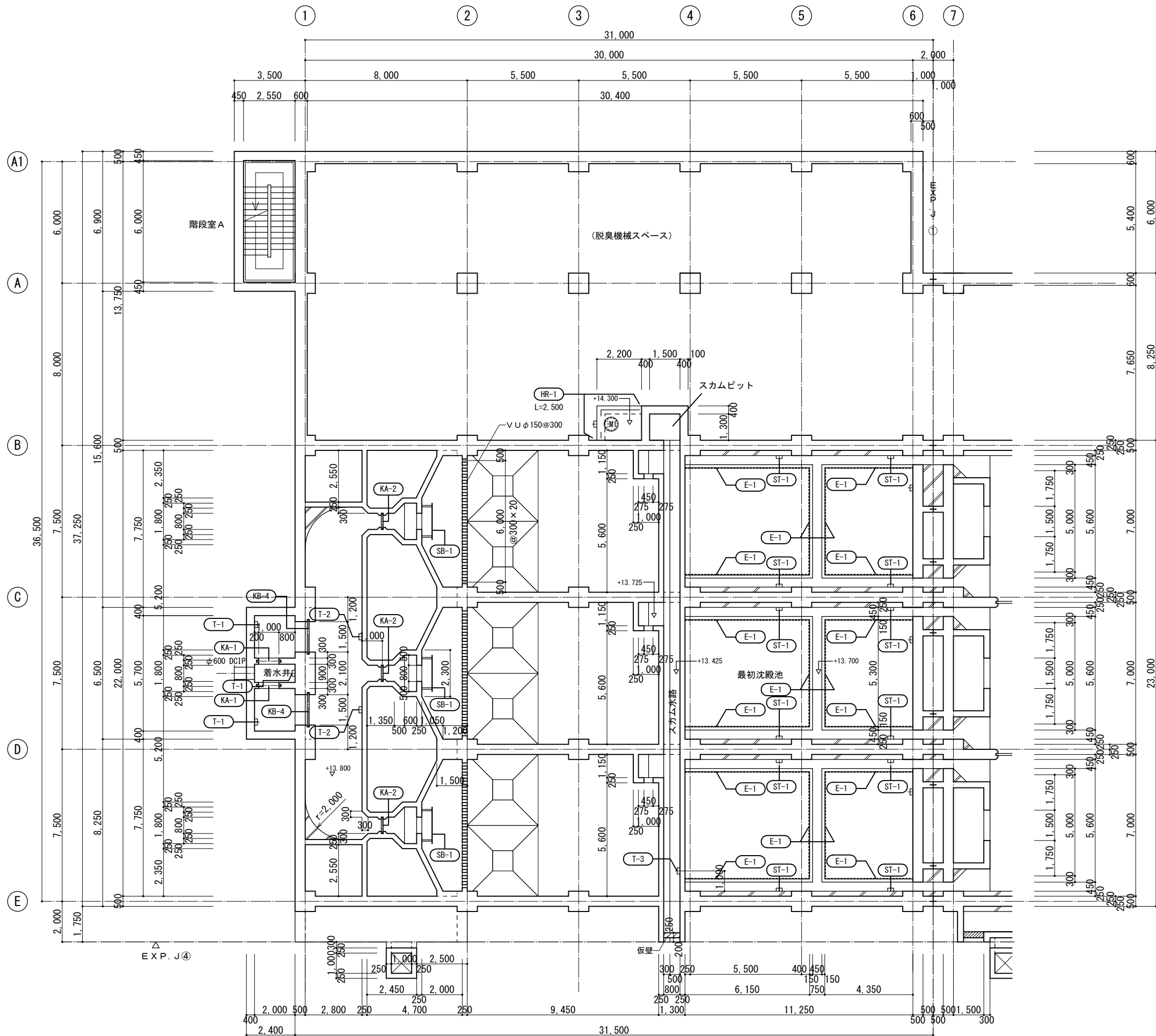


KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 断面図 (7)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-35 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

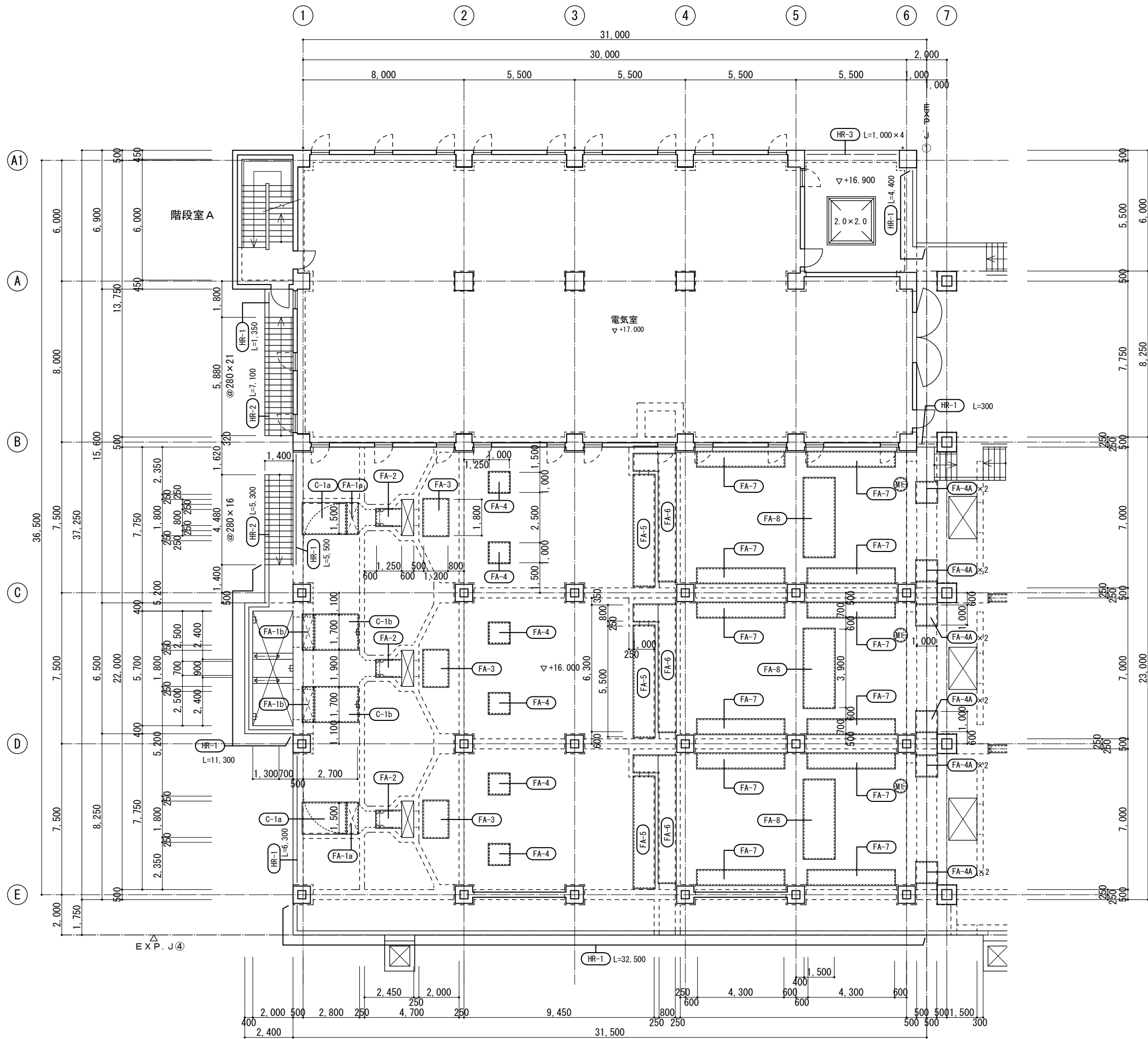
地階平面図 1/100



水路部平面図 1/100

注記) 記入レベルはTP表記とする。

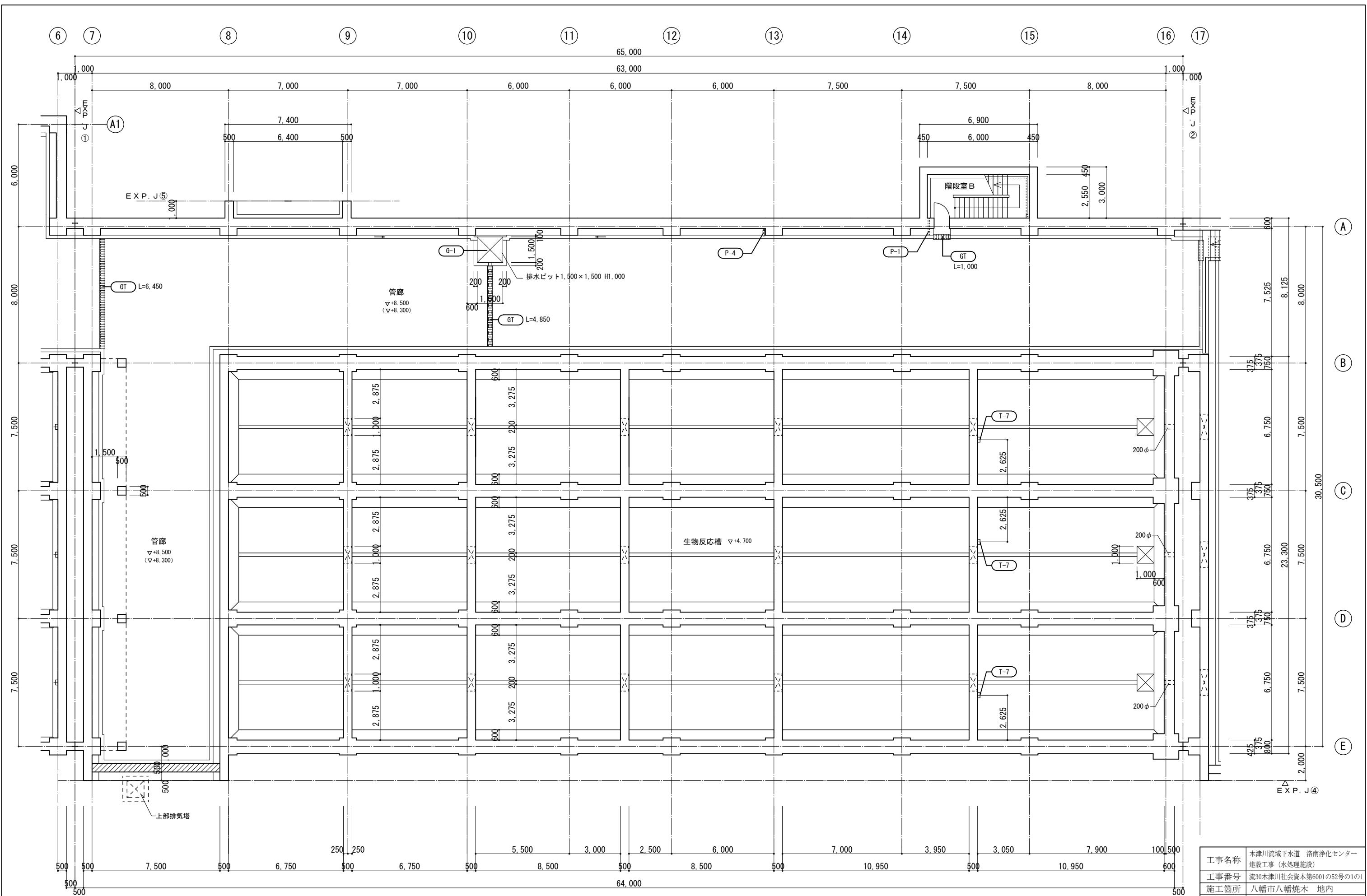
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 付帯配置図(2)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-37 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



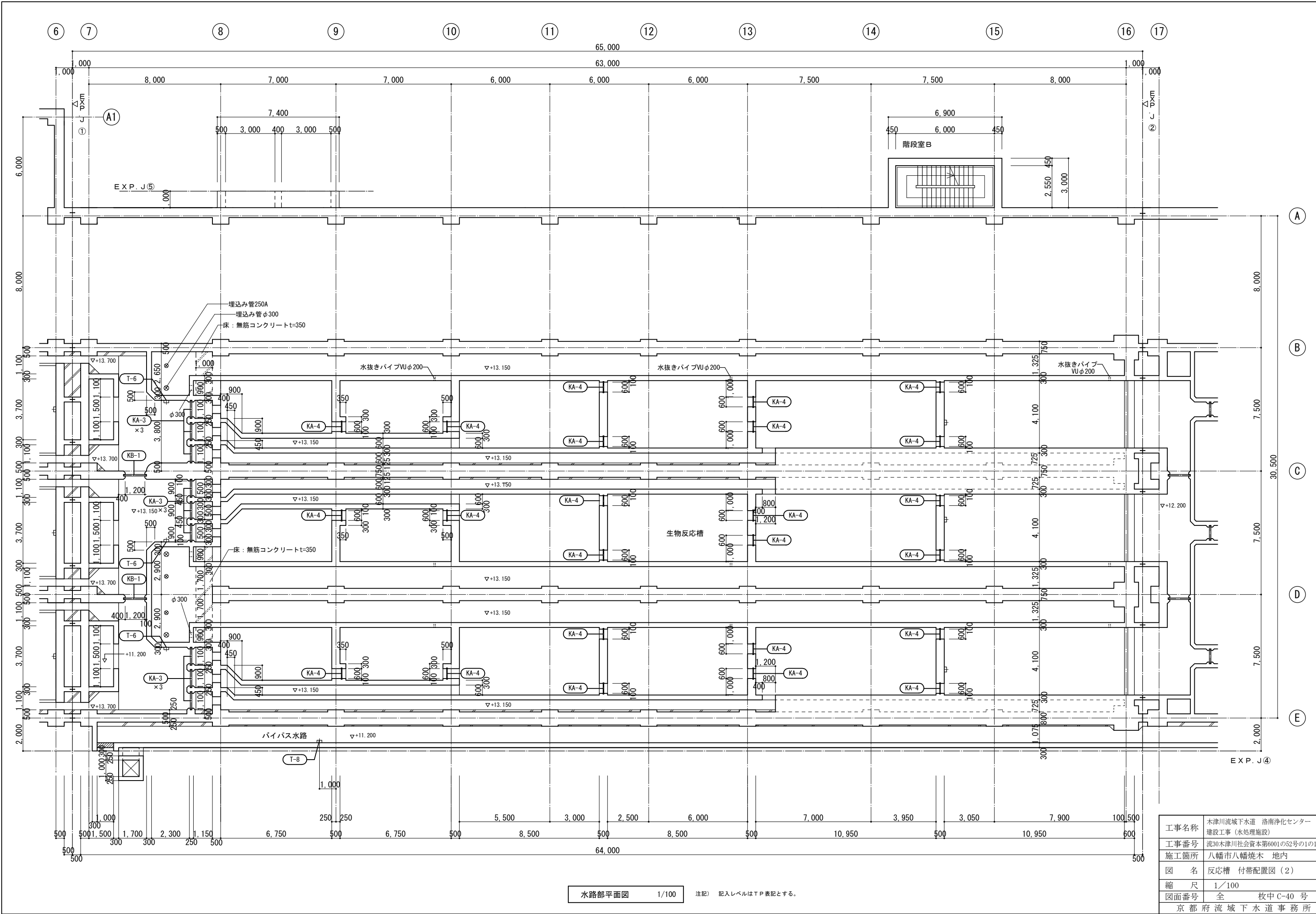
1階平面図 1/100

注記) 記入レベルはT P表記とする。

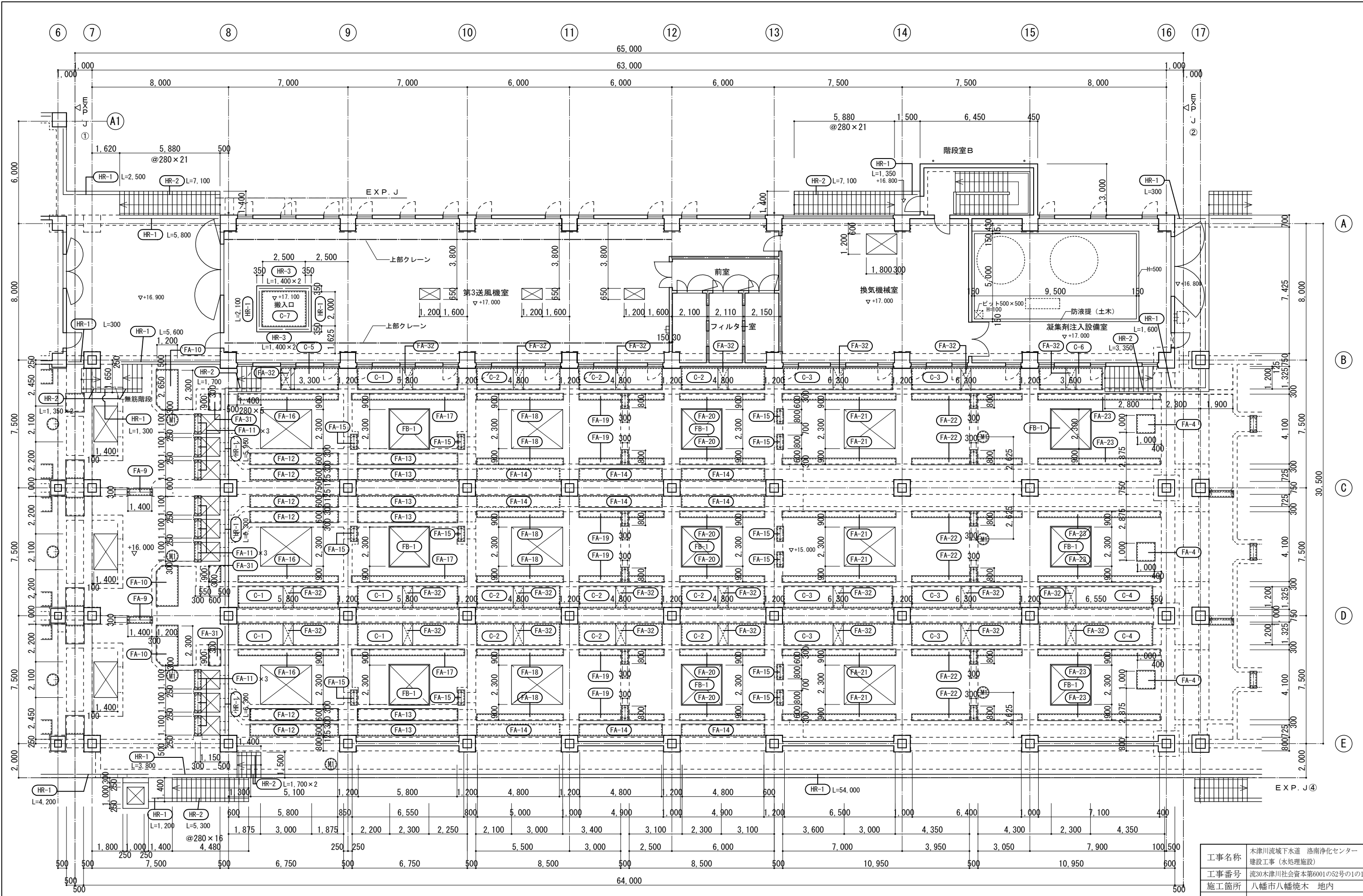
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 付帯配置図 (3)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-38 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 付帯配置図（1）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-39 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



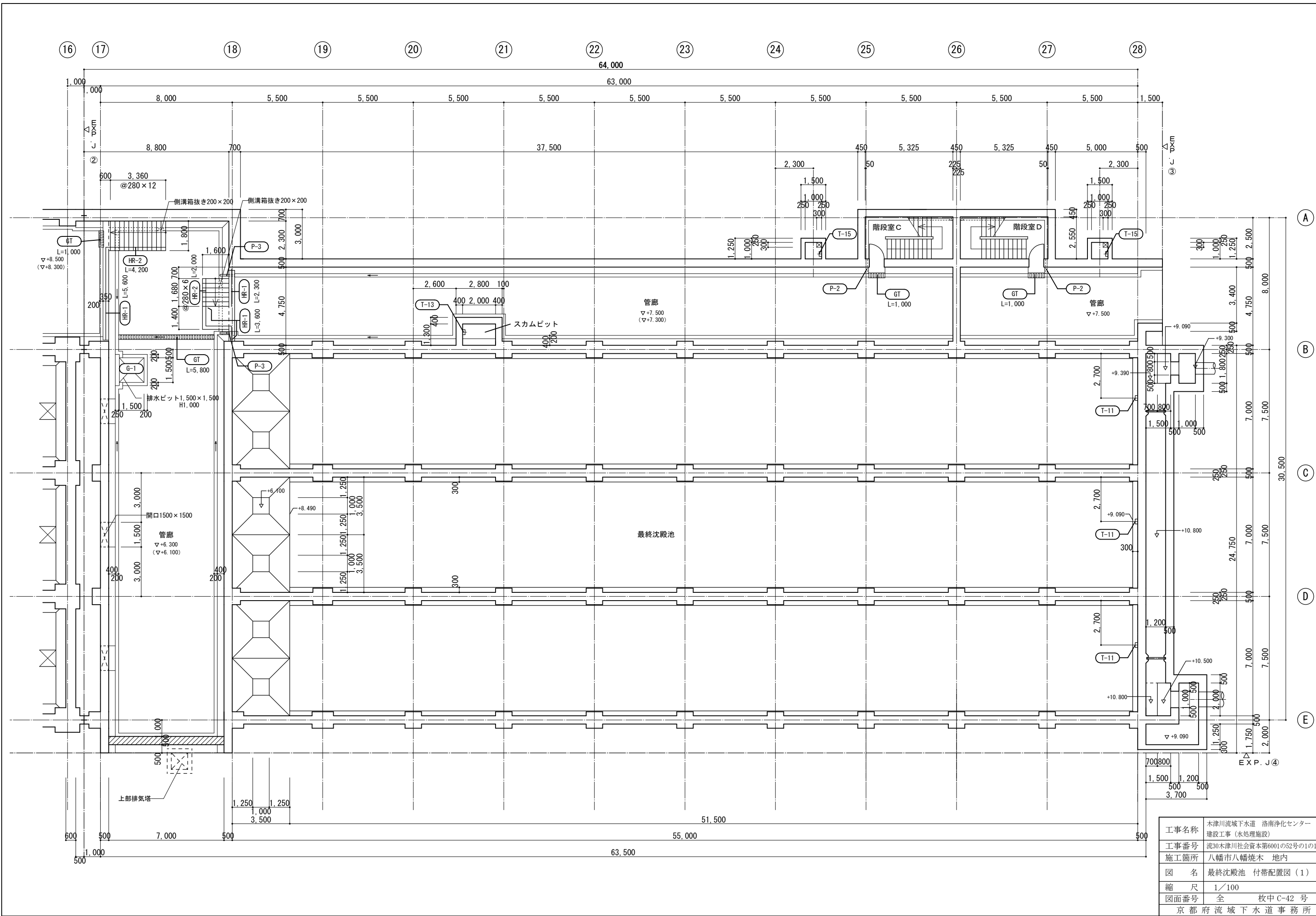
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	反応槽 付帯配置図（2）		
縮 尺	1／100		
図面番号	全	枚中	C-40 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



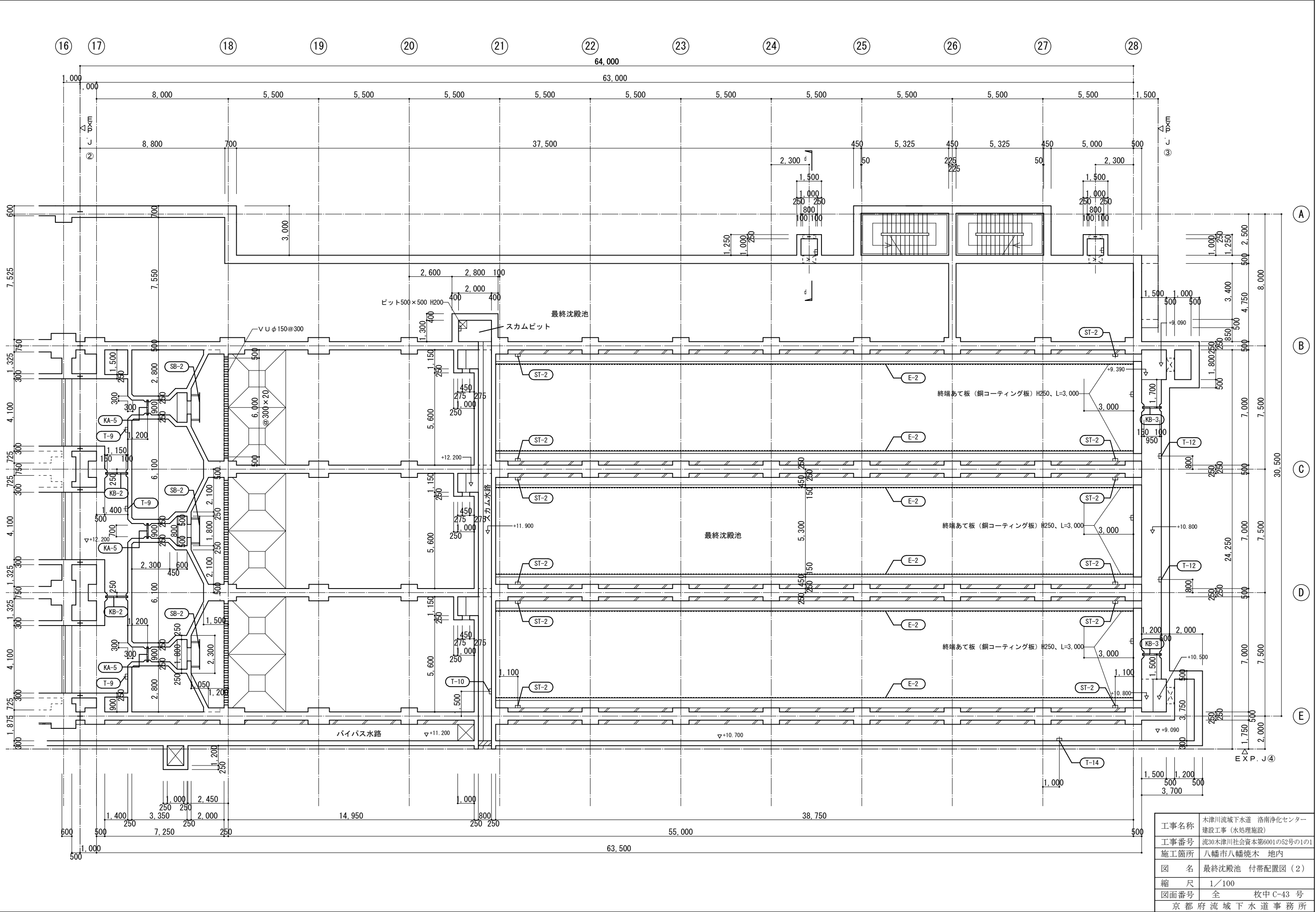
1 階平面図 1/100

注記) 記入レベルはT.P.表記とする。

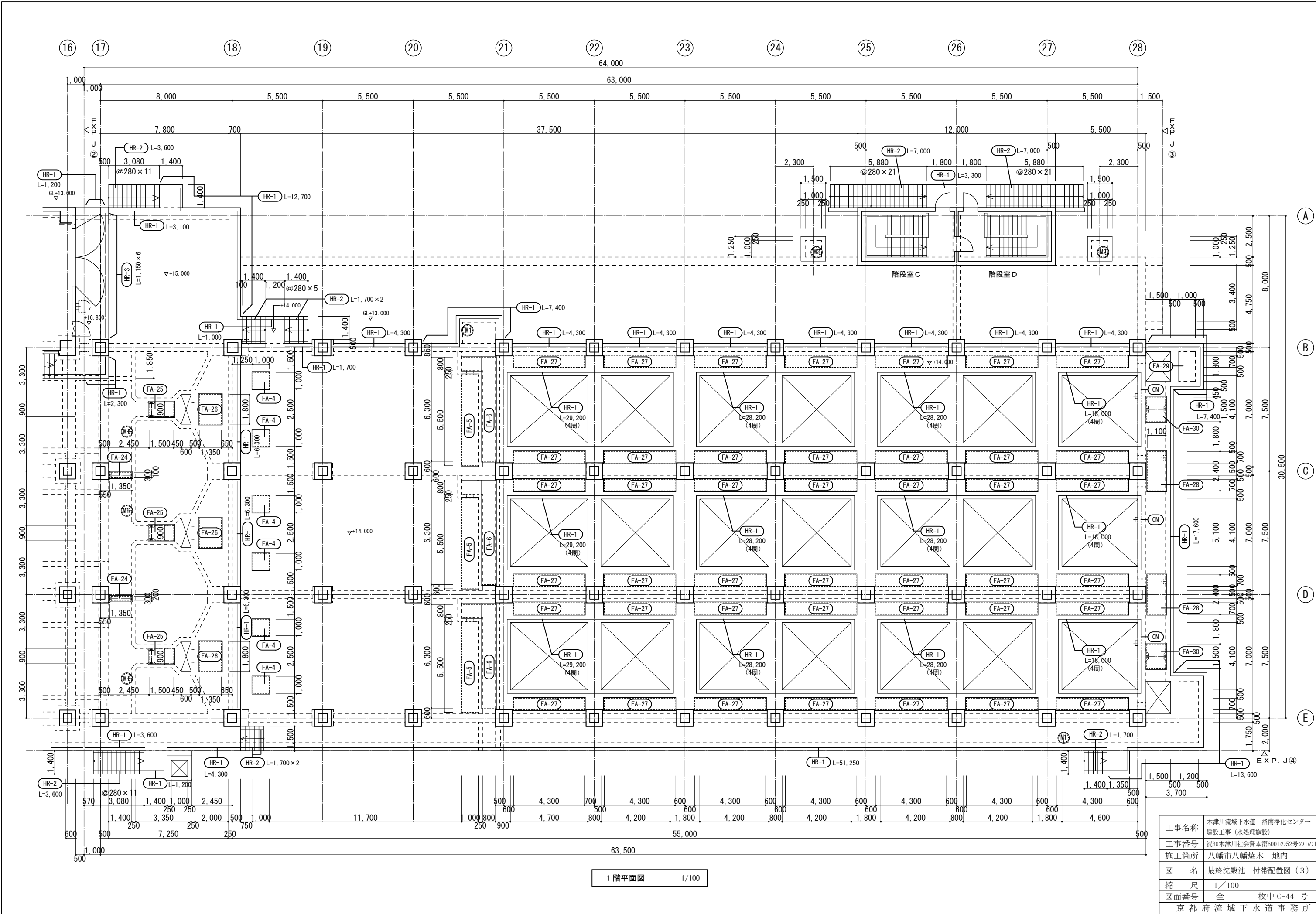
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 付帯配置図(3)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-41 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



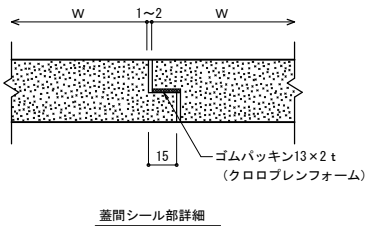
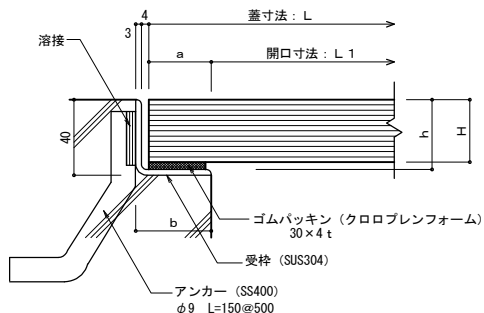
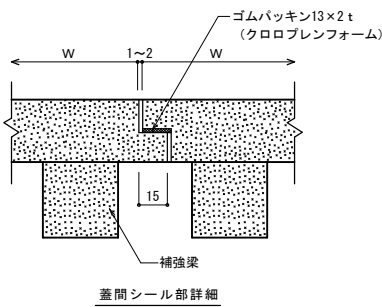
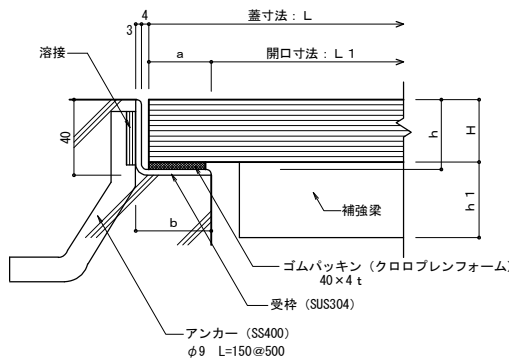
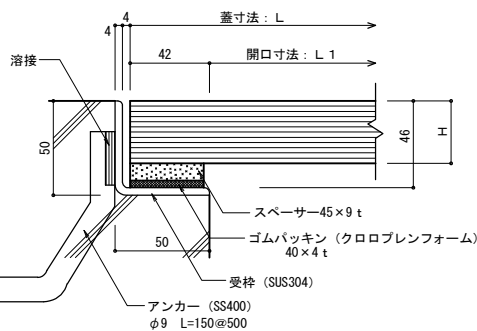
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事 (水処理施設)		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最終沈殿池 付帯配置図 (1)		
縮 尺	1/100		
図面番号	全	枚中 C-42	号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



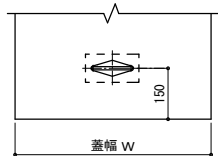
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最終沈殿池 付帯配置図 (2)		
縮 尺	1/100		
図面番号	全	枚中 C-43	号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



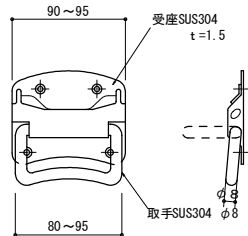
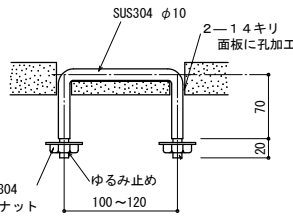
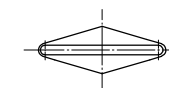
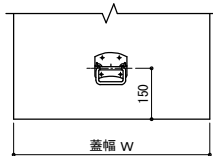
蓋形式：タイプⅠ

蓋形式：タイプⅡ
単板蓋（補強梁付きの場合）参考図－1
単板蓋（受枠50mmの場合）

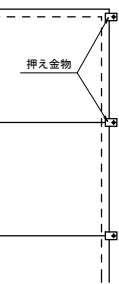
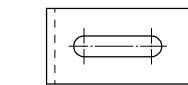
落下込み取手詳細図



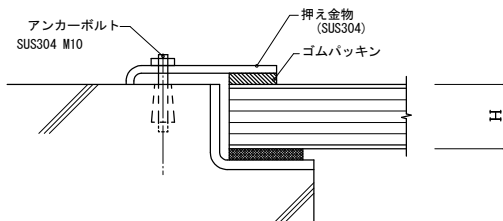
回転取手詳細図



押え金物



押さ金物の取付位置の例



注記

- 押え金物の形状寸法は、製造メーカーの仕様による。
- 屋外に設置する軽量蓋は、強風による蓋の飛散防止を行う。
- ボルト・ナット類には、焼き付き防止を講じること。

合成木材製蓋リスト

(単板蓋タイプ)

符 号	開口寸法		蓋寸法		a	h	H	割付枚数 (参考)	箇所数	蓋形式 タイプ 区分	300角 点検査		取手 (2個/組)		飛散防止金具		箇所数			備 考
	L1	B1	L	B							1箇所 当り	合計	1箇所 当り	合計	1箇所 当り	合計	初 沈	生物反応槽	終 沈	
FA-1a	600	1,500	666	1,566	33	37	33.5	2	2	I ①	—	—	2	4	6	12	2	—	—	
FA-1b	600	1,700	666	1,766	33	37	33.5	2	2	I ①	—	—	2	4	6	12	2	—	—	
FA-2	800	1,250	866	1,283	33	37	33.5	2	3	I ①	—	—	2	6	6	18	3	—	—	三方枠
FA-3	1,200	1,800	1,266	1,866	33	37	33.5	4	3	I ②	—	—	4	12	10	30	3	—	—	
FA-4	1,000	1,000	1,066	1,066	33	37	33.5	2	15	I ①	—	—	2	30	6	90	6	3	6	
FA-4A	1,000	500	1,066	533	33	37	33.5	1	12	I ①	—	—	1	12	4	48	12	—	—	三方枠
FA-5	1,000	5,500	1,066	5,566	33	37	33.5	10	6	I ①	—	—	10	60	22	72	3	—	3	
FA-6	図示				33	37	33.5	10	6	I ①	—	—	10	60	22	132	3	—	3	
FA-7	700	4,300	766	4,366	33	37	33.5	6	12	I ①	—	—	6	72	14	168	12	—	—	
FA-8	1,500	3,900	1,566	3,966	33	37	33.5	6	3	II ③	—	—	6	18	14	42	3	—	—	
FA-9	300	1,400	366	1,466	33	37	33.5	2	2	I ①	—	—	2	4	6	12	—	2	—	
FA-10	1,200	2,300	1,266	2,366	33	37	33.5	5	3	I ②	—	—	5	15	12	36	—	3	—	
FA-11	300	1,100	366	1,166	33	37	33.5	1	9	I ①	—	—	1	9	4	36	—	9	—	
FA-12	600	5,100	666	5,166	33	37	33.5	6	6	I ①	—	—	6	36	14	84	—	6	—	
FA-13	600	5,800	666	5,866	33	37	33.5	7	6	I ①	—	—	7	42	16	96	—	6	—	
FA-14	600	4,800	666	4,866	33	37	33.5	6	9	I ①	—	—	6	54	14	126	—	9	—	
FA-15	300	800	366	866	33	37	33.5	1	12	I ①	—	—	1	12	4	48	—	12	—	
FA-16	300	5,800	366	5,866	33	37	33.5	6	3	I ①	—	—	6	18	14	42	—	3	—	
FA-17	300	6,550	366	6,616	33	37	33.5	7	3	I ①	—	—	7	21	16	48	—	3	—	
FA-18	300	5,000	366	5,066	33	37	33.5	6	6	I ①	—	—	6	36	14	84	—	6	—	
FA-19	図示				33	37	33.5	7	6	I ①	—	—	7	42	16	96	—	6	—	
FA-20	300	4,900	366	4,966	33	37	33.5	5	6	I ①	—	—	5	30	12	72	—	6	—	
FA-21	300	6,600	366	6,666	33	37	33.5	7	6	I ①	—	—	7	42	16	96	—	6	—	
FA-22	図示				33	37	33.5	8	6	I ①	—	—	8	48	18	108	—	6	—	
FA-23	300	7,100	366	7,166	33	37	33.5	8	6	I ①	—	—	8	48	18	108	—	6	—	
FA-24	300	1,350	366	1,416	33	37	33.5	2	2	I ①	—	—	2	4	6	12	—	—	2	
FA-25	900	1,500	966	1,566	33	37	33.5	3	3	I ①	—	—	3	9	8	24	—	—	3	
FA-26	1,350	1,800	1,416	1,866	33	37	33.5	5	3	II ③	—	—	5	15	12	36	—	—	3	
FA-27	700	4,300	766	4,366	33	37	33.5	6	42	I ①	—	—	6	252	14	588	—	—	42	
FA-28	1,100	2,400	1,166	2,466	33	37	33.5	5	2	I ②	—	—	5	10	12	24	—	—	2	
FA-29	1,000	1,800	1,066	1,866	33	37	33.5	3	1	I ①	—	—	3	3	8	8	—	—	1	
FA-30	1,150	1,500	1,216	1,566	33	37	33.5	3	2	I ②	—	—	3	6	8	16	—	—	2	
FA-31	600	900	666	966	33	37	33.5	1	3	I ①	—	—	1	3	4	12	—	3	—	
FA-32	1,200	600	1,300	600	33	37	33.5	1	24	II ③	—	—	1	24	4	96	—	24	—	受枠： C蓋受枠

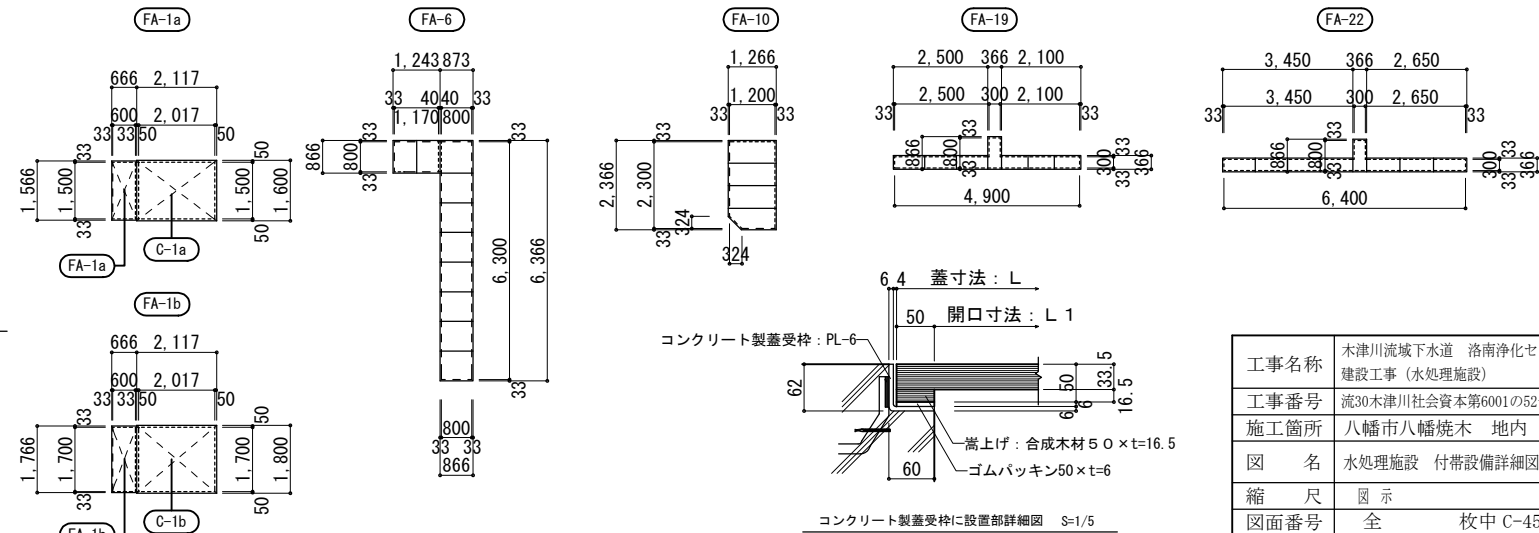
合成木材製蓋（単板蓋）形式選定表

タイプ 区分		蓋 形 式 (L × W × H)	開口寸法 L1 (mm)	受枠寸法					参考 蓋重量 (kg/㎡)
				a	h	h1	b	t	
Ⅰ	①	(~1,066) × 600 × 33.5	~1,000	33	37	—	40	3	20
	②	(1,067 ~ 1,266) × 600 × 33.5	1,001 ~ 1,200	33	37	—	40	3	22
Ⅱ 補強梁付	③	(1,267 ~ 1,666) × 600 × 33.5	1,201 ~ 1,600	33	37	40	40	3	23
	④	(1,667 ~ 2,066) × 600 × 33.5	1,601 ~ 2,000	33	37	60	40	3	24

- 注
- 受枠寸法のhにはパッキン厚を含む。
 - 蓋幅は、標準 600mm とし、調整用は 300~600mm とする。
 - 受枠が L50×50×4 t の場合、蓋裏面にスペーサー (W45×9 t) を接着して対応する。(参考図－1参照)
 - タイプ②については、補強梁付きも可能とする。(タイプⅡ参照)

注記

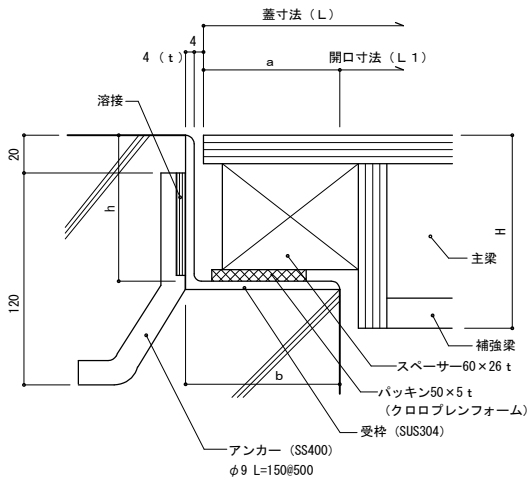
- 受枠は、アンカー筋(φ9mm)で躯体の鉄筋に溶接して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に1点ずつ、辺については500mm以内の等間隔とする。
- 蓋には荷重表示(N、T)を行う。
- 蓋にはすべり止め加工を行う。
- 設計荷重は、3.5kN/m²又は中央部集中荷重1.0kN/枚のいずれか大きい荷重とする。
- 許容たわみ量は、L/200以下とする。
- 板厚は、単板部分33.5mmを基本とする。
- 可動式の場合は、中央線荷重1.0kN/mにおいて、十分な破壊安全率を有し、脱輪を起こさないこと。
- 屋外設置の場合、強風による蓋の飛散防止を行う。(A-12参照)
- 開閉時の作業の安全性を確認する。
- 1) 受枠下のコンクリートの厚み等の安全性を確認する。



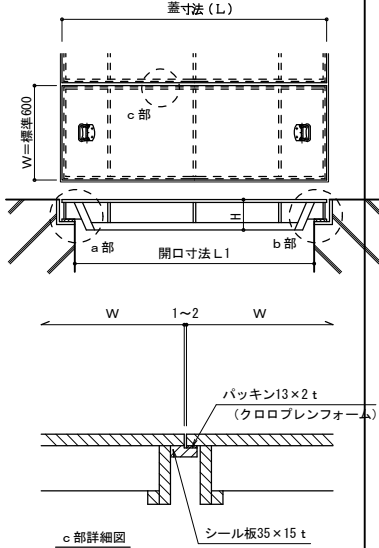
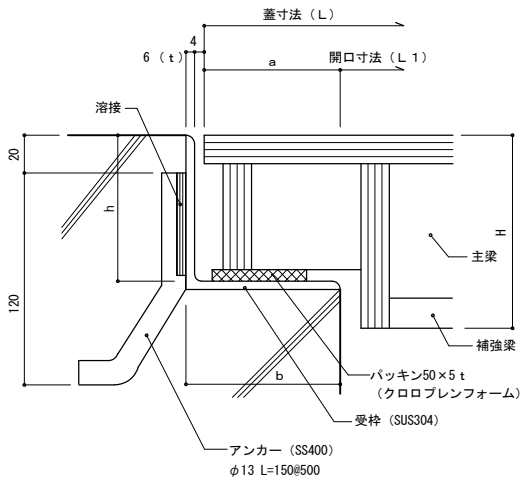
コンクリート製蓋受枠に設置部詳細図 S-1/5

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 付帯設備詳細図（1）
縮 尺	図 示
図面番号	全 枚中 C-45 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

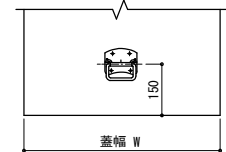
蓋形式：タイプⅢ a



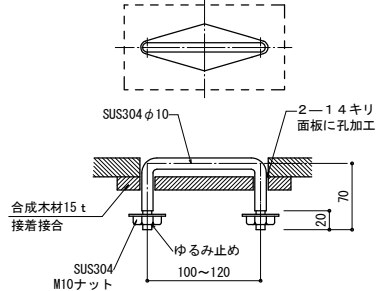
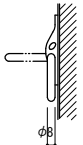
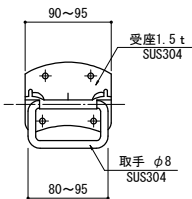
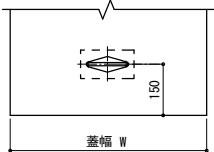
蓋形式：タイプⅣ b



回転取手詳細図



差し込み取手詳細図



合成木材蓋（組立蓋タイプ）形式選定表

タイプ 区分		蓋 形 式 (L × W × H)	開口寸法 L1 (mm)	受枠寸法				参考 蓋重量 (kg/m2)
				a	h	b	t	
Ⅲ	①	(2. 085～2. 184) × 600 × 110	2. 001～2. 100	42	46	50	4	14
Ⅳ	②	(2. 231～2. 630) × 600 × 130	2. 101～2. 500	65	69	75	6	15
	③	(2. 631～3. 130) × 600 × 160	2. 501～3. 000	65	69	75	6	17
	④	(3. 131～4. 130) × 600 × 210	3. 001～4. 000	65	69	75	6	19
	⑤	(4. 131～5. 130) × 600 × 310	4. 001～5. 000	65	69	75	6	24

- 注 1) タイプⅢは短スパン用組立蓋を表す。
2) 受枠寸法のhにはパッキン厚を含む。
3) 蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300～600mmとする。
4) 開口スパンが5000mmを超える場合は、主梁の高さ及び板厚を変えその都度計算する。

注記 仕様

- 1) 受枠は、アンカー筋（受枠～t 5まではφ 9mm、t 6はφ 13mm）で
躯体の鉄筋に溶接して固着する。固着点は、隅角部については、
角を構成する辺に1点ずつ、辺については500mm以内の等間隔とする。
2) 蓋には荷重表示（N、T）を行う。
3) 蓋にはすべり止め加工を行う。

特記事項

- 1) 蓋の選定は、形式選定表による。
2) 合成木材は、ガラス繊維強化硬質発泡ウレタン樹脂製の素材を示す。

設計注意事項

- 1) 設計荷重は、3.5kN/m²又は中央部集中荷重1.0kN/枚の
いずれか大きい荷重とする。
2) 許容たわみ量は、L/200以下とする。
3) 板厚は、15mmを基本とする。
4) 可動式の場合は、中央線荷重1.0kN/mにおいて、十分な破壊
安全率を有し、脱輪を起こさないこと。
5) 屋外設置の場合、強風による蓋の飛散防止を行う。（A-12参照）
6) 開閉時の作業の安全性を確認する。
7) 受枠下のコンクリートの厚み等の安全性を確認する。

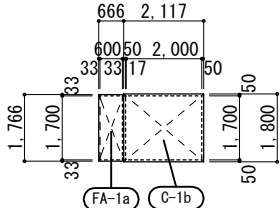
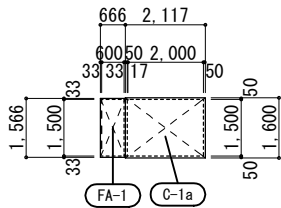
合成木材製蓋リスト

（組立蓋タイプ）

符 号	開口寸法		蓋寸法		a	h	H	割付枚数 (参考)	箇所数	蓋形式 タイプ 区分	300角 点検査		取手 (2個/組)		飛散防止金具		箇所数			備 考
	L1	B1	L	B							1箇所 当り	合計	1箇所 当り	合計	1箇所 当り	合計	初 沈	生物反応槽	終 沈	
FB-1	2,300	2,300	2,430	2,430	65	69	130	(4)	9	Ⅳ ②	—	—	(4)	(36)	(10)	(90)	—	9	—	枠：土木 蓋：PM

コンクリート製蓋リスト

符 号	開口寸法		蓋寸法		h	割付枚数 (参考)	箇所数	取手（組）		箇所数			備 考
	L1	B1	L	B				1箇所 当り	合計	初 沈	生物反応槽	終 沈	
C-1	1,200	5,800	1,300	5,900	50	20	5	20	100	—	5	—	蓋1枚（600）合成木材蓋とする
C-2	1,200	4,800	1,300	4,900	50	17	9	17	153	—	9	—	蓋1枚（600）合成木材蓋とする
C-3	1,200	6,300	1,300	6,400	50	22	6	22	132	—	6	—	蓋1枚（600）合成木材蓋とする
C-4	1,200	6,550	1,300	6,650	50	23	2	23	46	—	2	—	蓋1枚（600）合成木材蓋とする
C-5	1,200	3,300	1,300	3,400	50	12	1	12	12	—	1	—	蓋1枚（600）合成木材蓋とする
C-6	1,200	3,600	1,300	3,700	50	13	1	13	13	—	1	—	蓋1枚（600）合成木材蓋とする
C-7	2,000	2,500	2,100	2,600	70	9	1	9	9	—	1	—	
C-1a	1,500	2,000	1,600	2,100	50	7	2	7	14	2	—	—	FFU蓋受枠とコンクリート蓋受枠は溶接すること。
C-1b	1,700	2,000	1,800	2,100	50	7	2	7	14	2	—	—	



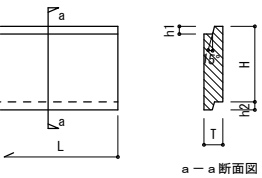
注記 仕様

- 1) 蓋の製作はコンクリート標準方書または公共建築標準仕様書による。
2) 短スパン（約1m以内）は、プレストレスが実際に導入されないため、
鉄筋コンクリート板とする。
3) 受枠はアンカー筋で躯体の鉄筋に溶接して固着する。
固着点は、隅角部については、角を構成する辺に1点ずつ、
辺については、500mm以内の等間隔とする。
4) 受枠及び継手は、JIS H8641 2種55の溶融亜鉛めっきとする。
（SS400の場合）
5) 取手は、2個/枚とする。
6) 蓋には荷重表示（N、T）を行う。

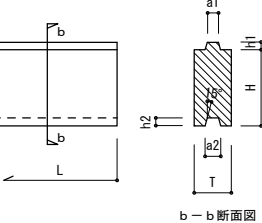
- 1) 設計荷重は、3.5kN/m²又は中央部集中荷重1.0kN/枚の
いずれか大きい荷重とする。
2) 許容たわみ量は、L/400以下とする。
3) 取手及び受枠の材質は、耐食性を考慮する。場合、SUS304とする。
4) 蓋表面をスリップ防止処理をする場合、別途に考慮する。
5) 取手の設置間隔については、1枚当たりの重量及び取り外し頻度
に応じて検討する。
6) 開閉時の作業の安全性を確認する。
7) 受枠下のコンクリートの厚み等の安全性を確認する。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 付帯設備詳細図（2）
縮 尺	図 示
図面番号	全 枚中 C-46 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

厚み50mm以下（タイプA）



厚み59mm以上（タイプB）



注記 仕様

1) 合成木材は、ガラス繊維強化硬質発泡ウレタン樹脂の材質を示す。

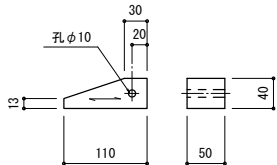
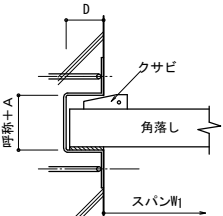
特記事項

1) 角落しの比重

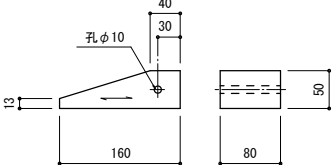
設計注意事項

- 1) 許容たわみ量は、L/200以下とする。
2) 浮力防止クサビ用を、最上段部に使用する。

浮力防止用クサビ



角落し呼称140mm以下用



角落し呼称150mm以上用

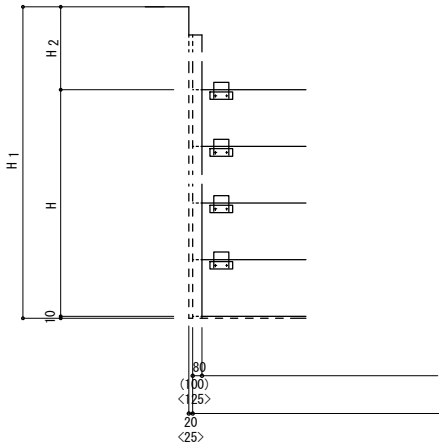
厚み選定表（許容たわみ率より算定）

（単位mm）

スパンW 水深H	750	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000
1000	49	49	59	78	98	118	138	138	157	177	197	207	227	247	257	277
1500	49	49	69	98	118	138	138	157	177	197	217	237	257	277	297	317
2000	49	49	69	98	118	138	157	177	197	217	237	267	287	307	327	347
2500	49	49	78	98	118	147	167	197	217	237	257	287	307	327		
3000	49	59	78	118	138	177	177	197	227	247	277	297	327	347		
3500	49	59	98	118	138	177	187	207	237	267	287	317	347			
4000	49	59	98	118	138	177	197	217	247	277	307	327				
4500	49	59	98	118	147	177	197	227	257	287	317	347				
5000	49	69	98	138	147	177	207	237	267	297	327					
5500	49	69	98	138	177	197	217	247	277	307	337					
6000	49	69	98	138	177	197	217	257	287	317	347					
6500	59	69	98	138	177	197	227	257	287	327						
7000	59	69	118	138	177	197	237	267	297	327						
7500	59	69	118	138	177	207	237	267	307	337						
8000	59	78	118	138	177	207	247	277	317	347						
8500	59	78	118	147	177	217	247	287	317							
9000	59	78	118	147	197	217	257	287	327							
9500	59	78	118	147	197	217	257	297	327							
10000	59	78	118	177	197	227	267	297	337							

材 質 （太枠内：比重＝0.5）

比重＝0.74



注－（ ）内寸法は呼称150以上の場合を示す
＜ ＞内寸法は呼称260以上の場合を示す

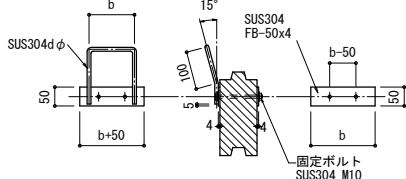
形状寸法表

タイプ	寸法 呼称	板厚 T	はめあい溝				有効高さ H	長さ L	参考質量（kg/m ² ）			受枠寸法			取手タイプ	
			a1	a2	h1	h2			比重	比重	比重	内幅 呼称＋A	A	奥行き D	H-09参照	
									0.5	0.74	1.0				I	II
A	50	49	—	—	20	20	170-600	W＋160	25.0	37.0	50.0	75	25	100	○	—
	60	59	20	20.5	20	21	170-600		30.0	44.4	60.0	85	25	100	○	—
	70	69	25	25.5	20	21	170-600		35.0	51.8	70.0	95	25	100	○	—
	80	78	25	25.5	20	21	170-600		39.0	57.7	78.0	105	25	100	○	—
	100	98	35	35.5	20	21	170-600		49.0	72.5	98.0	125	25	100	○	○
	120	118	40	40.5	20	21	170-600		59.0	87.3	118.0	145	25	100	○	○
	140	138	45	45.5	30	31	160-600		69.0	102.1	138.0	165	25	100	○	○
	150	147	45	45.5	30	31	160-300		73.5	108.7	147.0	175	25	120	○	○
B	160	157	50	50.5	30	31	160-300	W＋200	78.5	116.2	157.0	185	25	120	○	○
	180	177	55	55.5	30	31	160-300		88.5	131.0	177.0	205	25	120	○	○
	200	197	65	65.5	30	31	160-300		98.5	145.8	197.0	225	25	120	○	○
	210	207	70	70.5	30	31	160-300		103.5	153.2	207.0	235	25	120	○	○
	220	217	70	70.5	30	31	200-400		108.5	160.6	217.0	250	30	120	—	○
	230	227	75	75.5	30	31	250-400		113.5	168.0	227.0	260	30	120	—	○
	240	237	80	80.5	30	31	250-400		118.5	175.4	237.0	270	30	120	—	○
	250	247	85	85.5	35	36	250-400		123.5	182.8	247.0	280	30	120	—	○
	260	257	90	90.5	35	36	250-400	W＋250	128.5	190.2	257.0	290	30	150	—	○
	270	267	95	95.5	35	36	250-400		133.5	197.6	267.0	300	30	150	—	○
	280	277	100	101	35	36	250-400		138.5	205.0	277.0	310	30	150	—	○
	290	287	105	106	35	36	300-400		143.5	212.4	287.0	320	30	150	—	○
	300	297	110	111	35	36	300-400		148.5	219.8	297.0	340	40	150	—	○
	310	307	115	116	35	36	300-400		153.5	227.2	307.0	350	40	150	—	○
	320	317	120	121	35	36	300-400		158.5	234.6	317.0	360	40	150	—	○
	330	327	120	121	40	41	350-500		163.5	242.0	327.0	370	40	150	—	○
	340	337	120	121	40	41	350-500		168.5	249.4	337.0	380	40	150	—	○
	350	347	120	121	40	41	350-500		173.5	256.8	347.0	390	40	150	—	○

- 注 1) 合成木材を貼り合わせ接合する場合は、エポキシ系接着剤を使用する。
2) 参考質量は、金物（引き上げ用取手）の重量を含まない。
3) 製品比重は、0.5及び0.74を標準とする。（形状寸法表内の太枠は、厚み選定表範囲外を示す）
4) 製品比重1.0は、比重調整用重り（SUS製）を本体外に組み込み作製する。
5) 角落し厚み350mmを超える場合はスパン（W1）と水深（H）より都度設計する。

手掛金物標準図

タイプ（I）



取手寸法表

呼称	寸法		サイズmm	
	d φ	b		
～ 80	10	120		
100 ～ 140	12	120		
150 ～ 210	16	140		

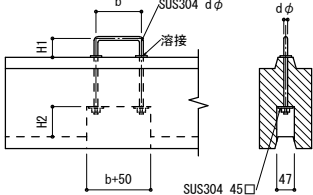
注記 仕様

- 1) 取手の材質は、SUS304φ10を基本とする。
2) 受枠は、SUS304製とし、アンカー（SS400）φ13×150Lを
受枠に溶接する。
3) アンカーは、躯体の鉄筋に溶接して固着する。

設計注意事項

- 1) 上部に吊フックを設ける。
2) 開閉時の作業の安全性を確認する。
3) 受枠下のコンクリートの厚み等の安全性を確認する。

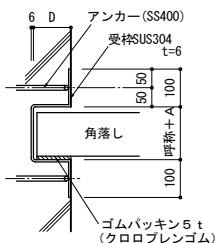
タイプ（II）



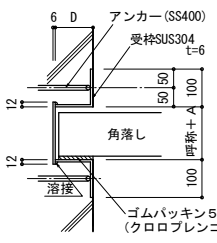
取手寸法表

呼称	寸法	サイズmm			
		d φ	b	H1	H2
100 ～ 140	12	120	50	80	
150 ～ 210	16	140	50	80	
220 ～ 310	18	140	70	120	
320 ～ 350	20	140	70	120	

受枠標準図



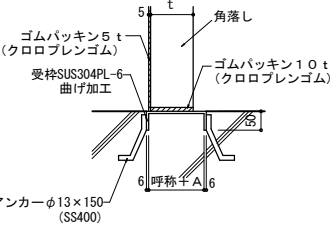
壁部（曲げ加工タイプ）



壁部（溶接タイプ）

(D)
呼称 ～140：100mm
～250：120mm
～350：150mm

(A)
呼称 ～210：25mm
～290：30mm
～350：40mm

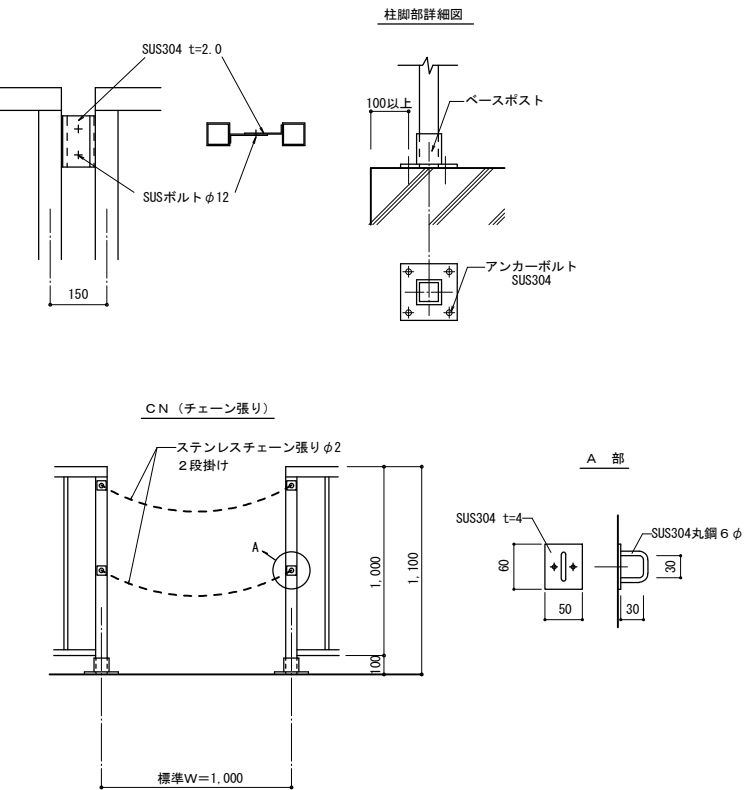
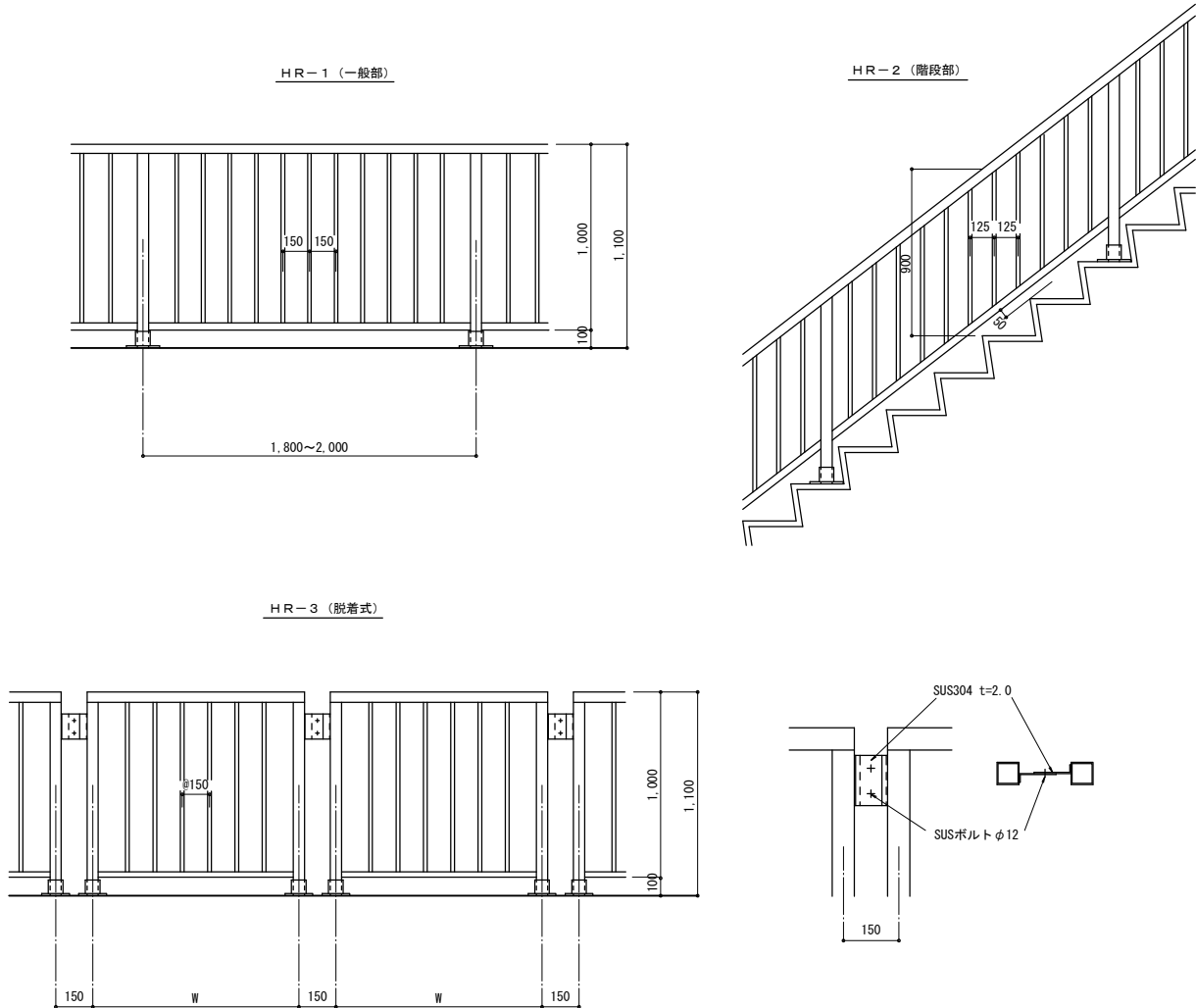


底部敷金物

合成木材製角落しリスト

符 号	水路寸法		角落し寸法		H 2	壁厚 t	割付枚数 （参考）	設計水深	箇所数			備 考
	W1	H1	W	H					初 沈	生物反応槽	終 沈	
KB-1	1,200	2,850	1,360	800	2,040	59	3	500	—	2	—	本体：2カ所・受枠：2カ所 スラブ厚250
KB-2	1,150	2,800	1,310	750	2,040	59	3	440	—	—	2	本体：2カ所・受枠：2カ所 スラブ厚250
KB-3	950	3,200	1,110	1,650	1,540	49	3	1,350	—	—	2	本体：2カ所・受枠：2カ所 スラブ厚250
KB-4	1,500	2,200	1,660	650	1,540	59	3	330	2	—	—	本体：2カ所・受枠：2カ所 スラブ厚250

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 付帯設備詳細図（3）
縮 尺	図 示
図面番号	全 枚中 C-47 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



注記

- 1) 材種は、JIS H 4100によるA6063S-T5またはA6063S-T6またはA6061S-T6とし押出し形材を使用する
- 2) 表面処理は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）14.2.1表のB-1種とする
- 3) 支柱、笠木、控柱には補強材を使用しない。その他の部位に使用する補強材はJIS G 3101によるSS400とし垂鉛メッキはJIS H 8610の5級（クロメート被膜はJIS H 8625のCM2C）以上とする
- 4) 小ネジの類はステンレス製（SUS304、SUS305J1またはSUSXM7）とする
- 5) 現場取付作業以外の組立などは工場製作とする。伸縮目地は必要に応じて設ける
- 6) 切断面の処置はバリ等を適切な方法で除去する。端部の小口は同材にてふたをして仕上げる
- 7) 設計耐力及びたわみ量は、工場にて試験を行い監督職員に報告する。なお、公的試験場の試験成績書をもって、これに代える事が出来る
- 8) 柱脚部はベースポストタイプとする。仕様は、製造メーカーの仕様によるものとする。

材料

- 1) 材種は、JIS H 4100によるA6063S-T5またはA6063S-T6またはA6061S-T6とし押出し形材を使用する。
- 2) 設計条件

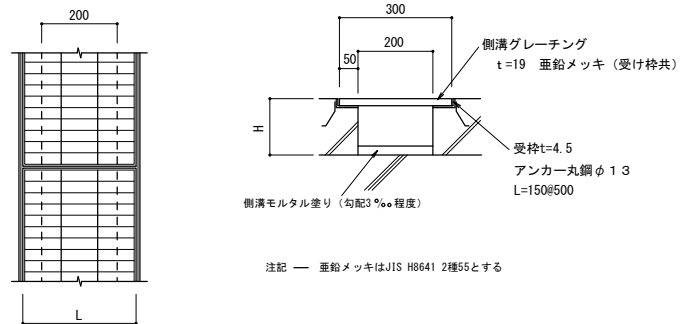
部材名	荷重方向	設計条件	
		設計耐力	1. 5 kN/m
笠木	水平方向	たわみ量	500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力	1. 0 kN/m
支柱	水平方向	たわみ量	500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力	2. 7 kNまたは3. 0 kN

- 3) 表面処理は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）14.2.1表のB-1種とする。
- 4) 支柱、笠木、控柱には補強材は使用しない。その他の部位に使用する補強材はJIS G 3101によるSS400とし垂鉛めっきはJIS H 8610の5級（クロメート被膜はJIS H 8625のCM2C）以上とする。
- 5) 小ネジの類はステンレス製（SUS304、SUS305J1またはSUSXM7）とする。

取付・その他

1) 形状 (単位mm)						
	支柱間隔	笠木	手摺子間隔	高さ	下部の隙間	控柱
廊下・バルコニー	1,800 又は2,000	—	@150	1,100	100	—
屋上	1,800 又は2,000	—	@150	1,100	100	@3,600
階段	1,500内外	—	@125以内	900	50	—
部材厚	3mm以上	3mm以上	—	—	—	3mm以上

- 2) 現場取付作業以外の組立などは工場製作とする。伸縮目地は必要に応じて設ける。
- 3) 切断面の処置はバリ等を適切な方法で除去する。端部の小口は同材にてふたをして仕上げる。
- 4) 設計耐力及びたわみ量は、工場にて試験を行い監督職員に報告する。なお、公的試験場の試験成績書をもって、これに代える事が出来る。



注記 ー 垂鉛メッキはJIS H8641 2種55とする

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	水処理施設 付帯設備詳細図（6）
縮尺	図示
図面番号	全 枚中 C-50 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

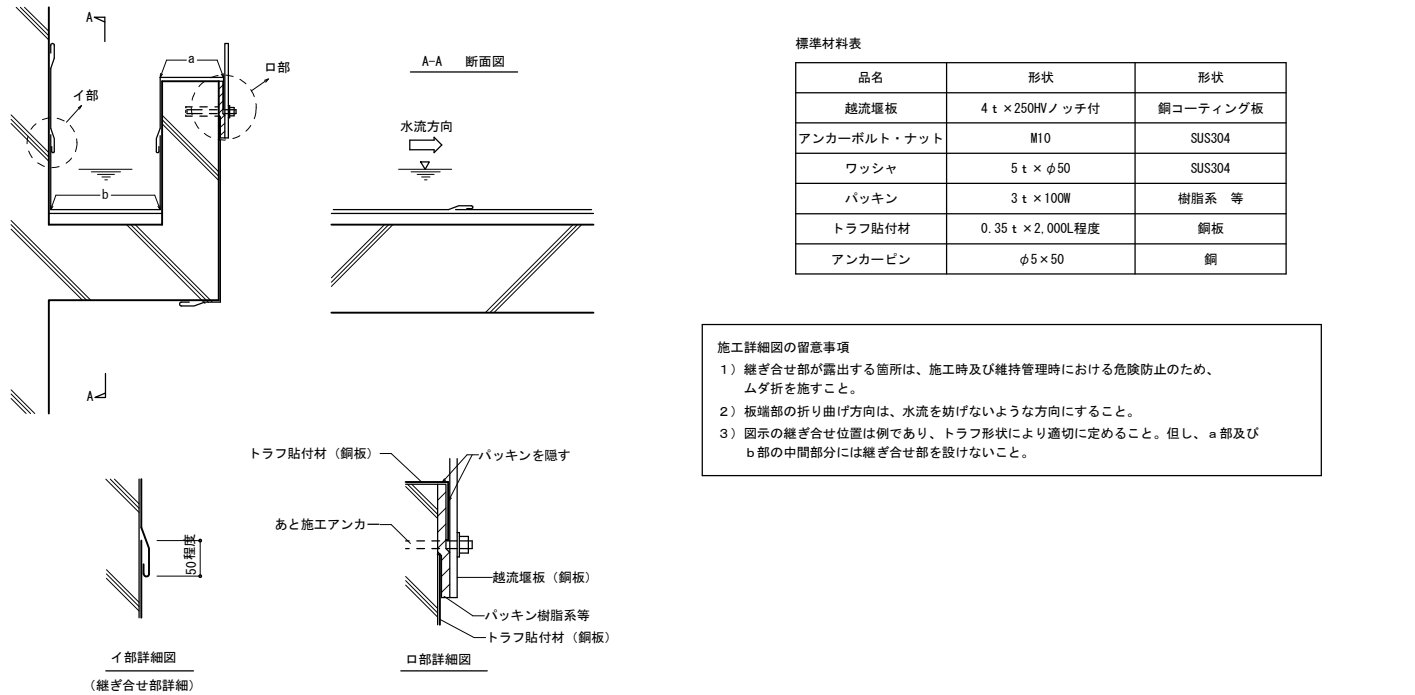
E-1

FRP製越流堰板標準図



E-2

越流堰板（防藻タイプ）及びトラフ銅板貼標準図

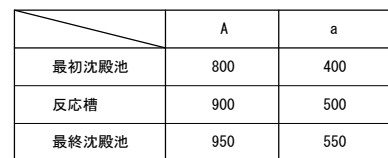


$P -$

排水管標準図

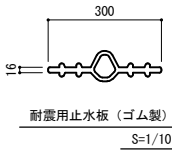
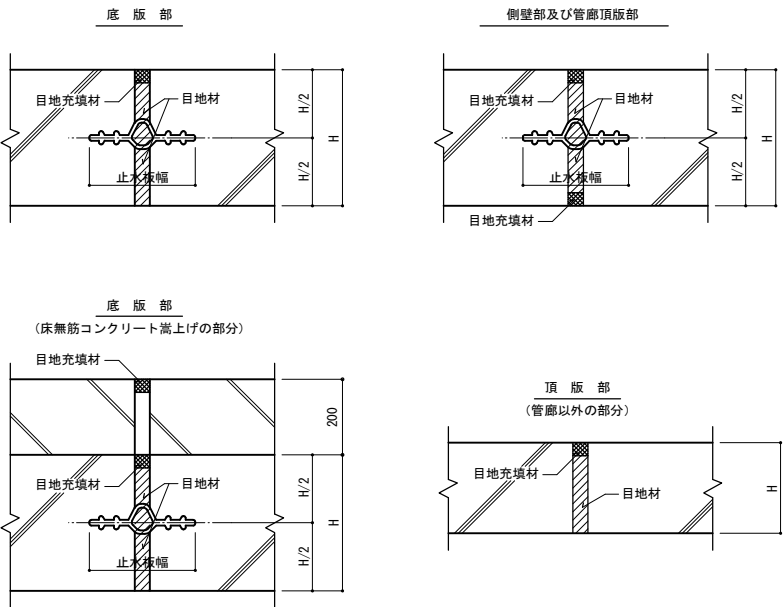


建築柱増築継手保護詳細図

$$S=1/40$$


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 付帯設備詳細図（7）
縮 尺	図 示
図面番号	全 枚中 C-51 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

一般部（耐震用止水板）



部材の形状と材質

品名	形状	材質
止水板	耐震型	ゴム系
目地材	t = 20 mm	樹脂発泡体系
目地充填材	w = 20 mm	樹脂系

特記事項

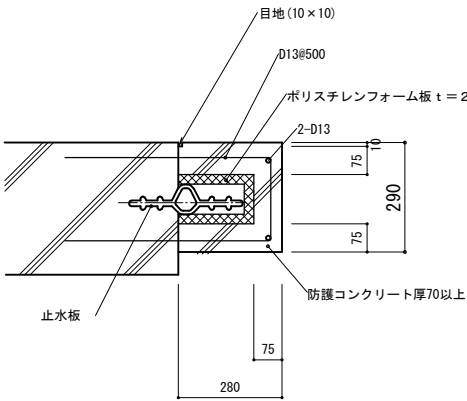
- 沈下量100mmとする。
- 長時間露出する場合には防護を施すこと

注記 仕様

- 止水板の形状はセンターバルブ型又はアンカット型コルゲートを標準とし、材質はゴム製又は塩ビニール樹脂製とする。
- 耐震型止水板の材質はゴム製とし、沈下量は 100mm とする。
- 目地材の材質は樹脂発泡体系又はアスファルト形とする。
- 目地充填材は材質は樹脂系とする。

止水板幅及び厚さの標準

形状	コンクリート厚	止水板幅	厚さ
センターバルブ型	300mm未満	200mm以上	6mm以上
アンカット型	300mm以上	300mm以上	7mm以上
耐震型	300mm以上	300mm以上	16mm以上



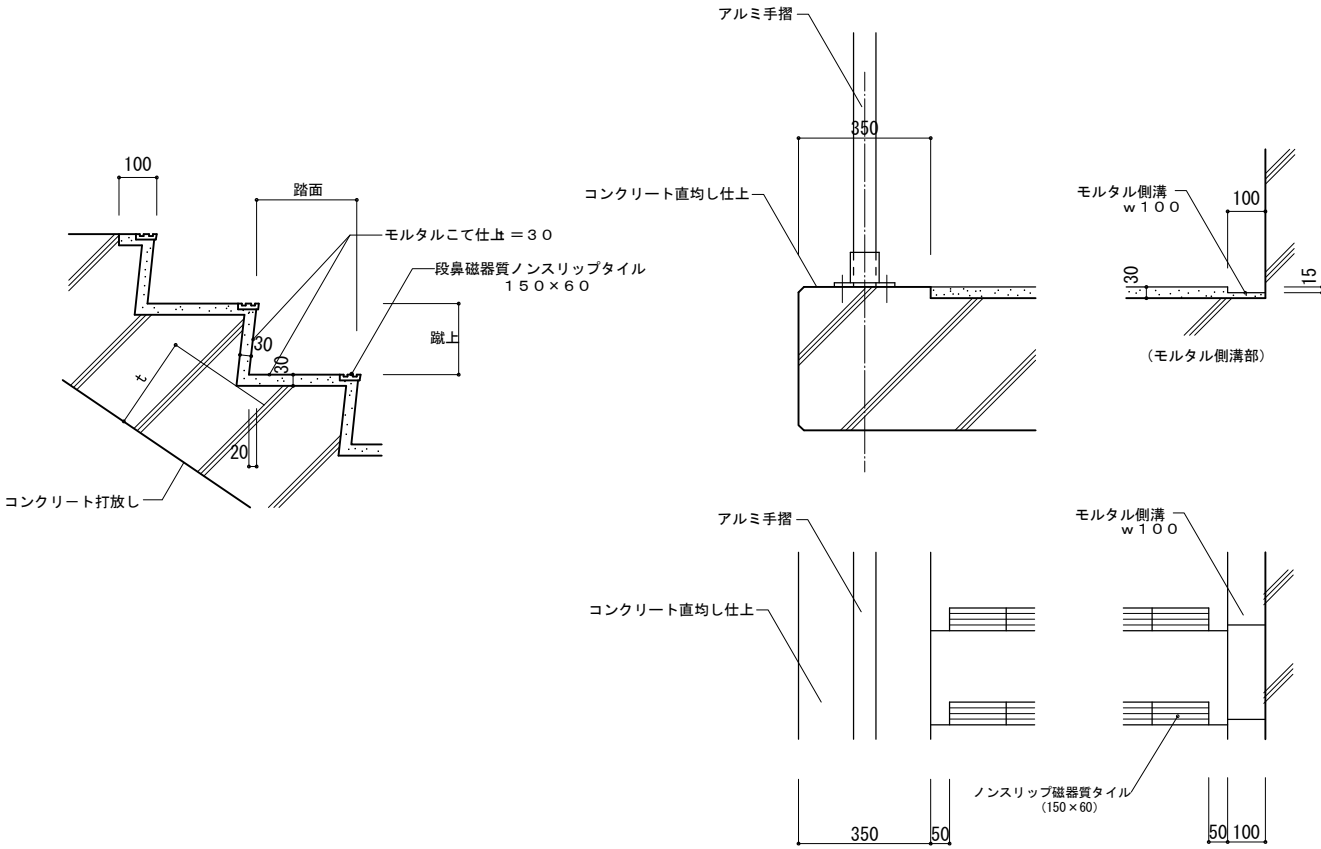
止水板保護部詳細図

1/10

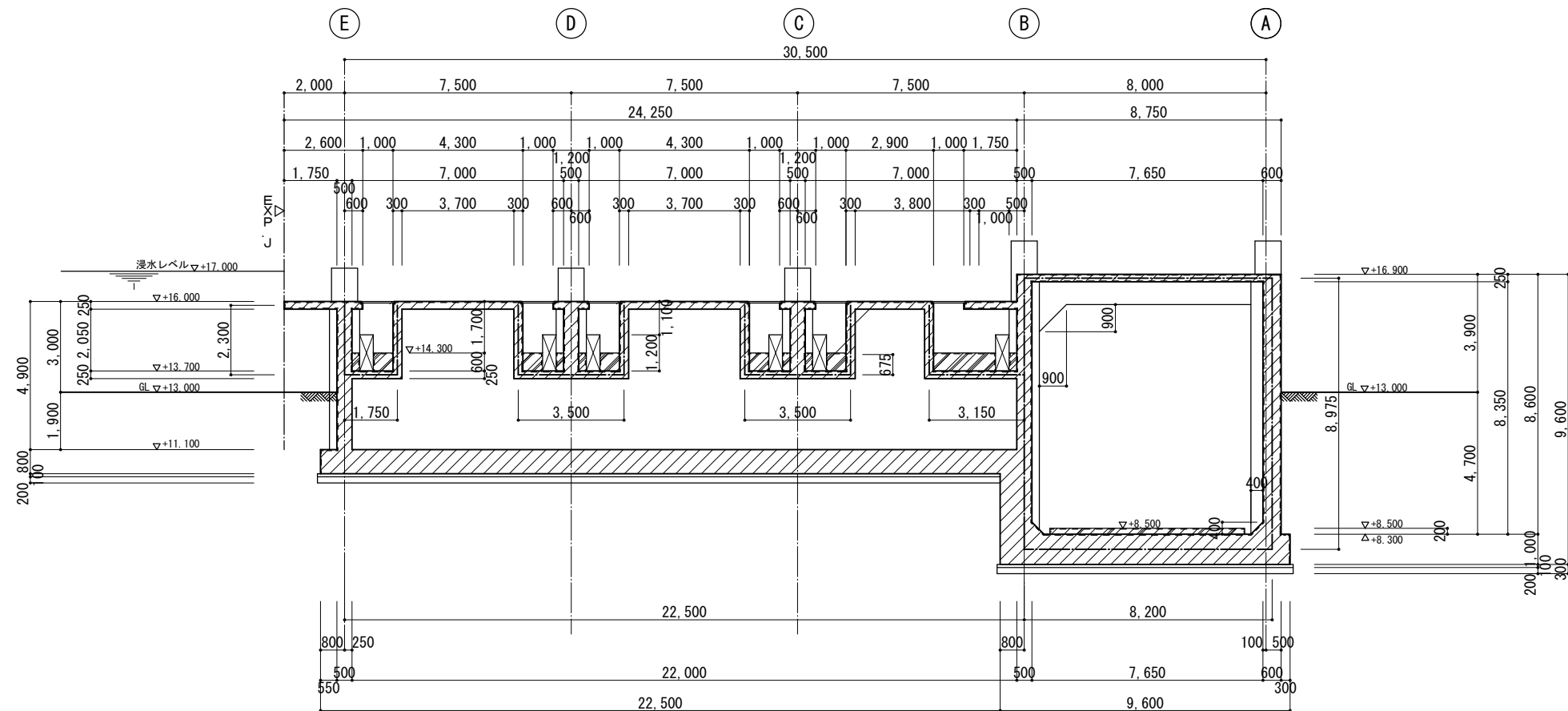
注記 仕様

- 防護コンクリートは、Fc=18N/mm2を標準とする。

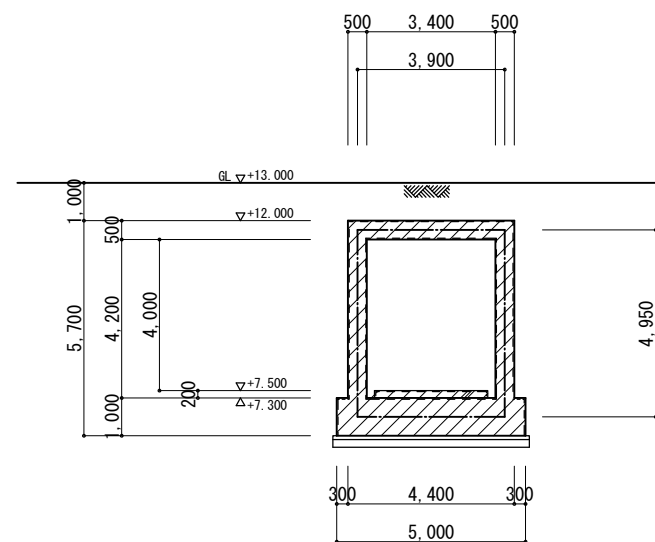
S=1/10



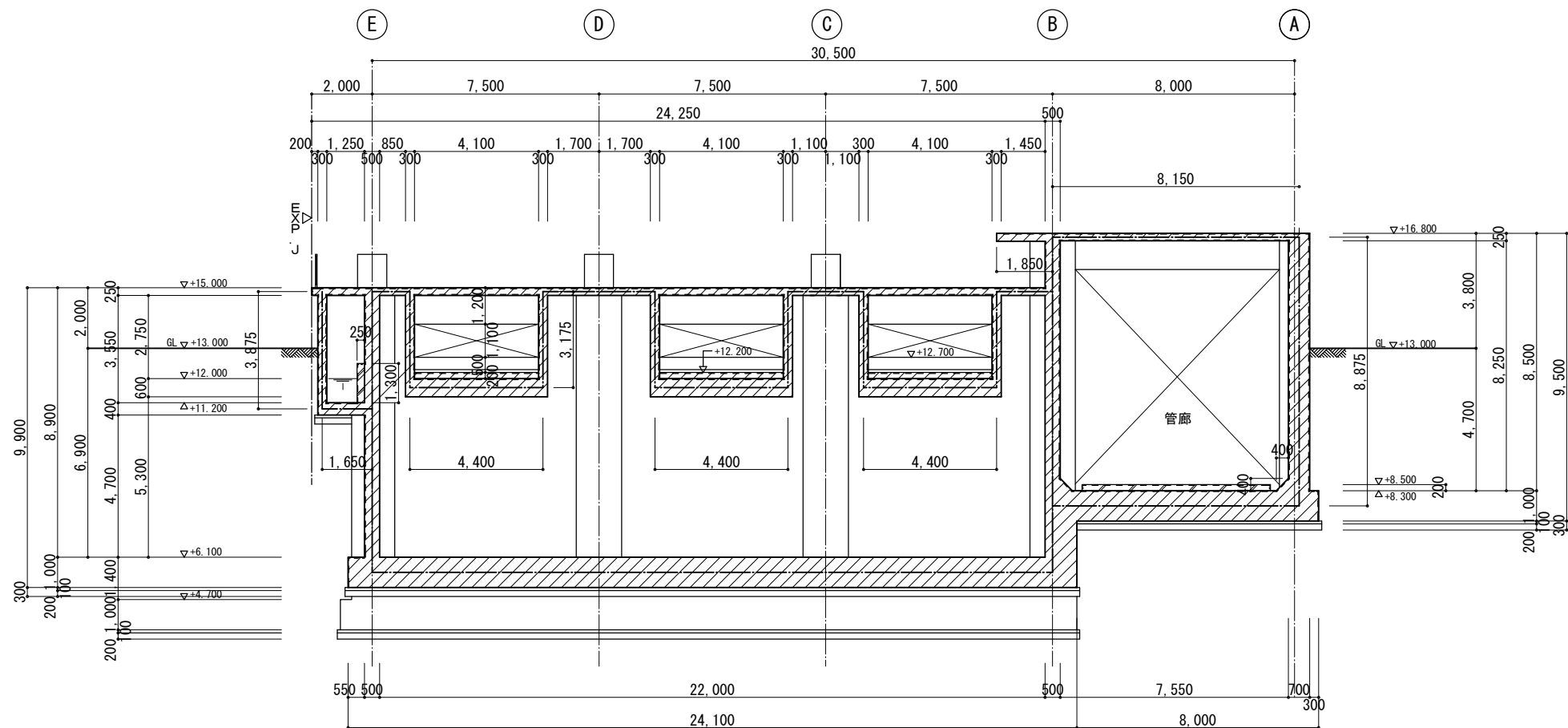
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 付帯設備詳細図（8）
縮 尺	図 示
図面番号	全 枚中 C-52 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



EXP. J ① 断面図 1/100



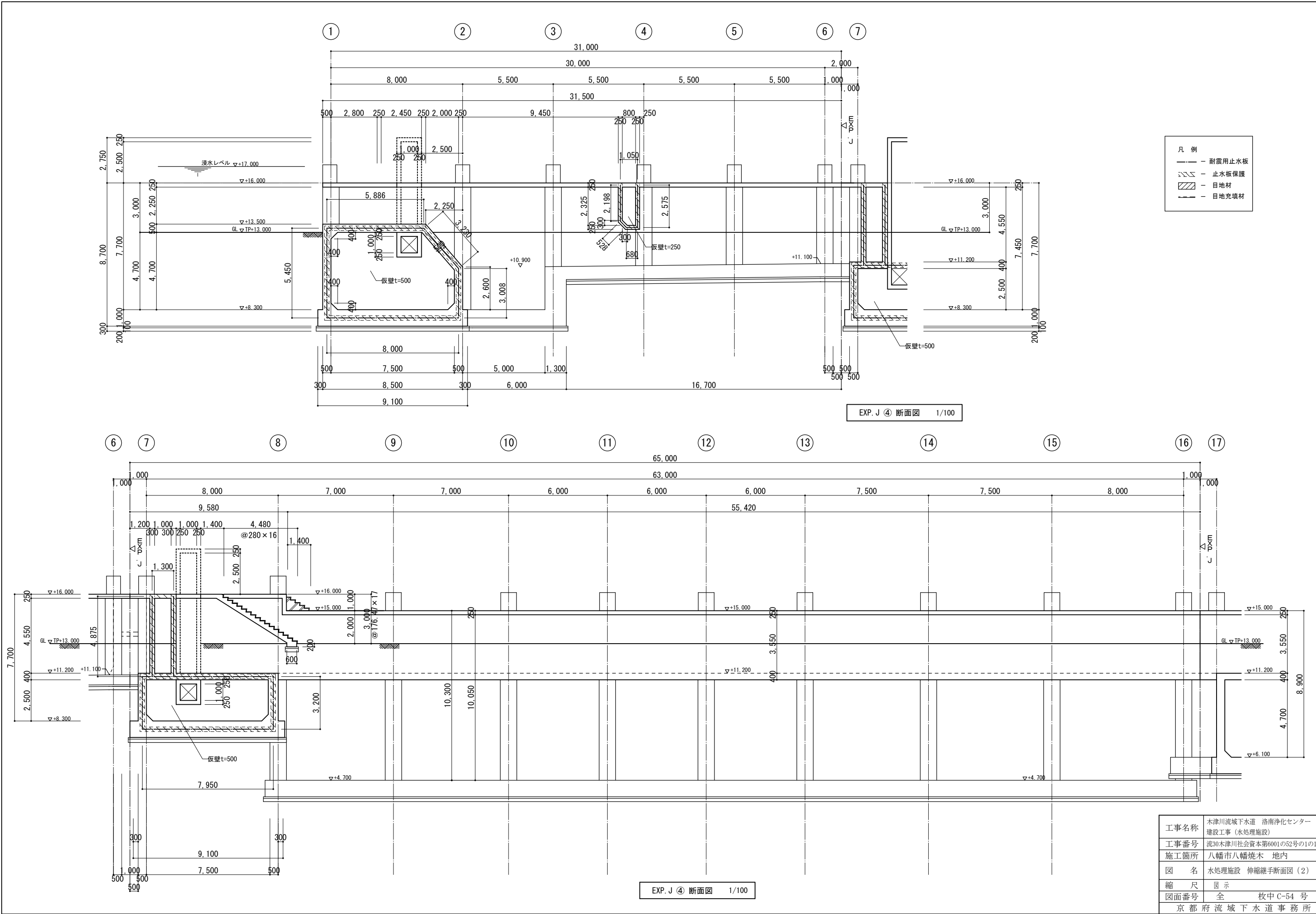
EXP. J ③ 断面図 1/100



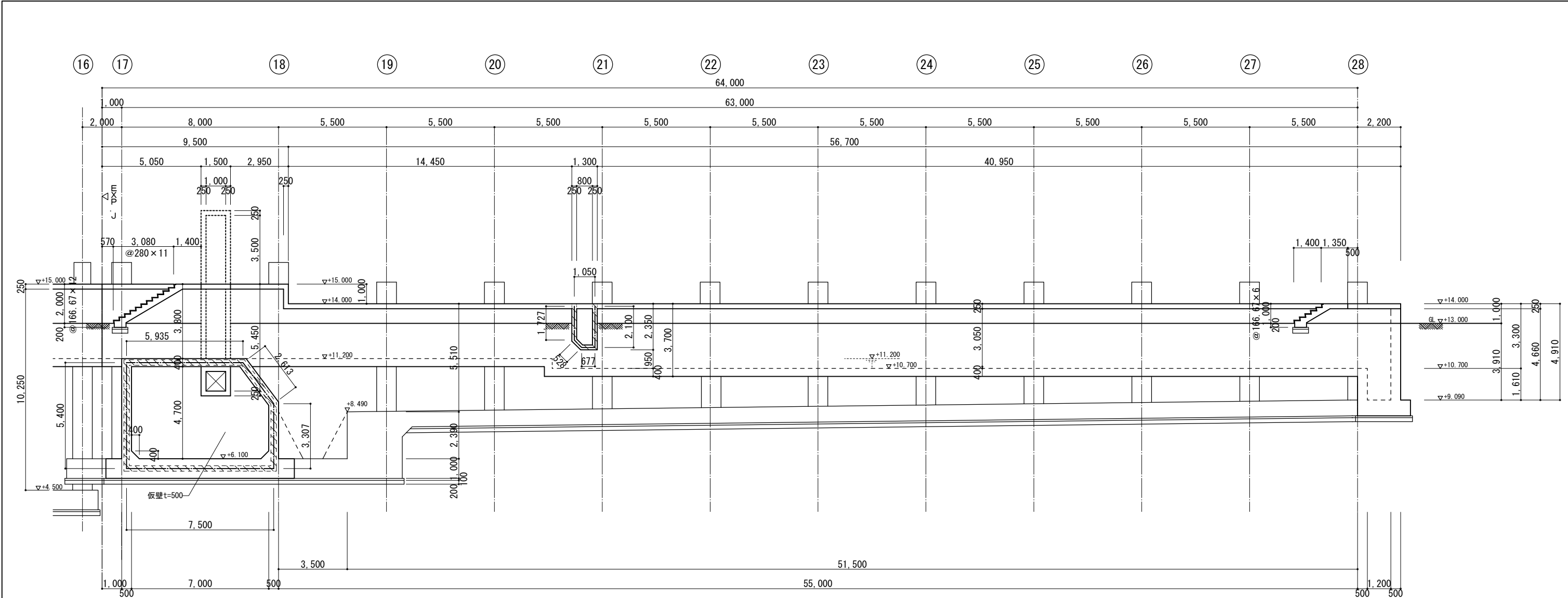
EXP. J ② 断面図 1/100

凡 例
— 耐震用止水板
— 止水板保護
— 目地材
— 目地充填材

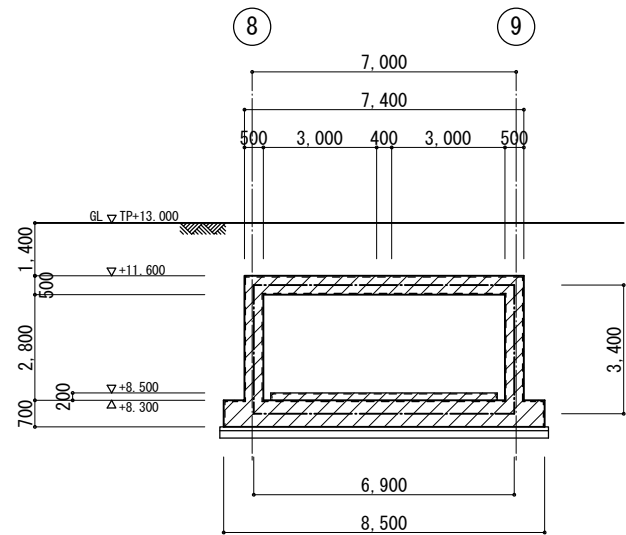
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 伸縮継手断面図（1）
縮 尺	図 示
図面番号	全 枚中 C-53 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	水処理施設 伸縮継手断面図（2）		
縮 尺	図 示		
図面番号	全	枚中 C-54 号	
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



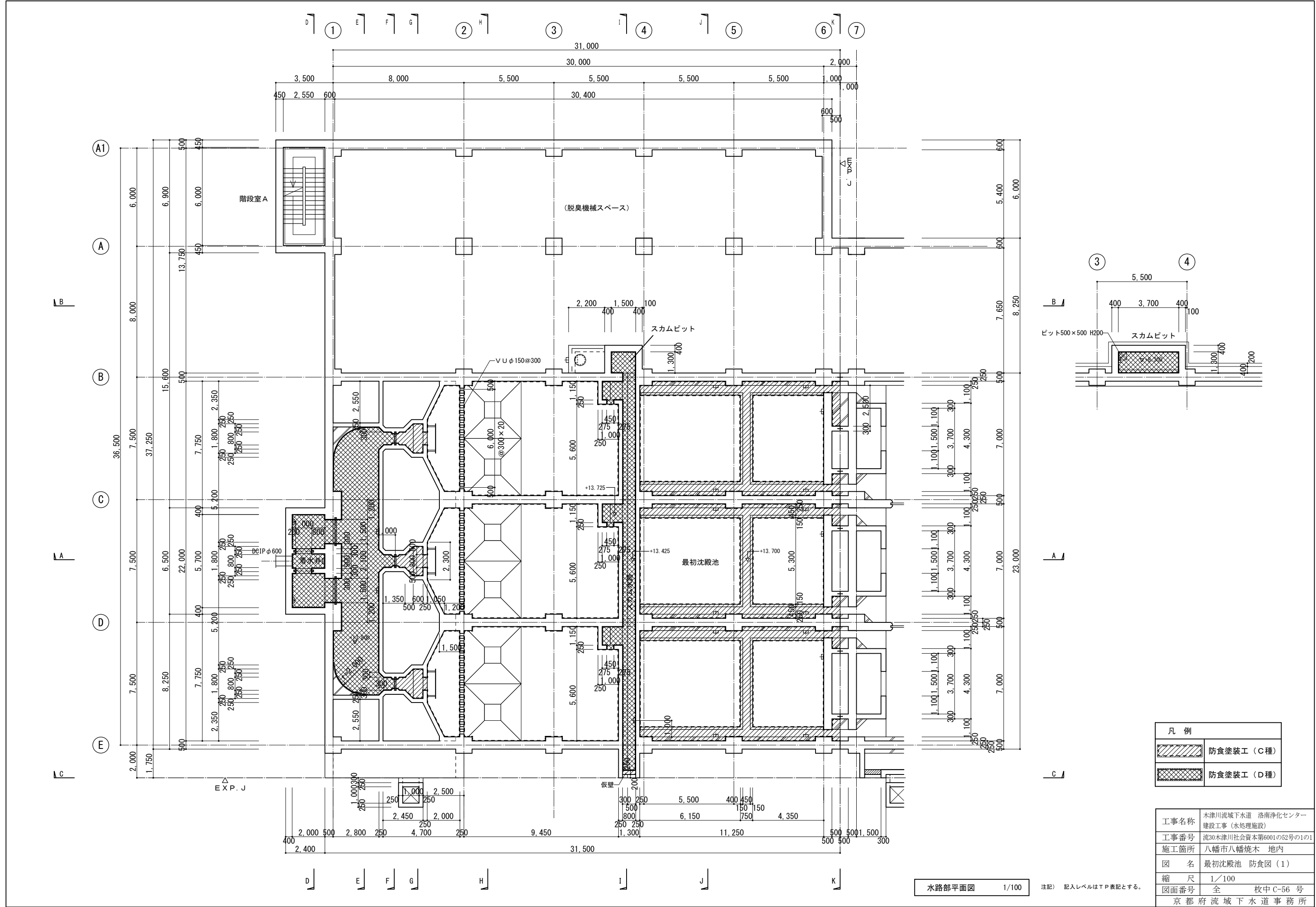
EXP. J ④ 断面図 1/100

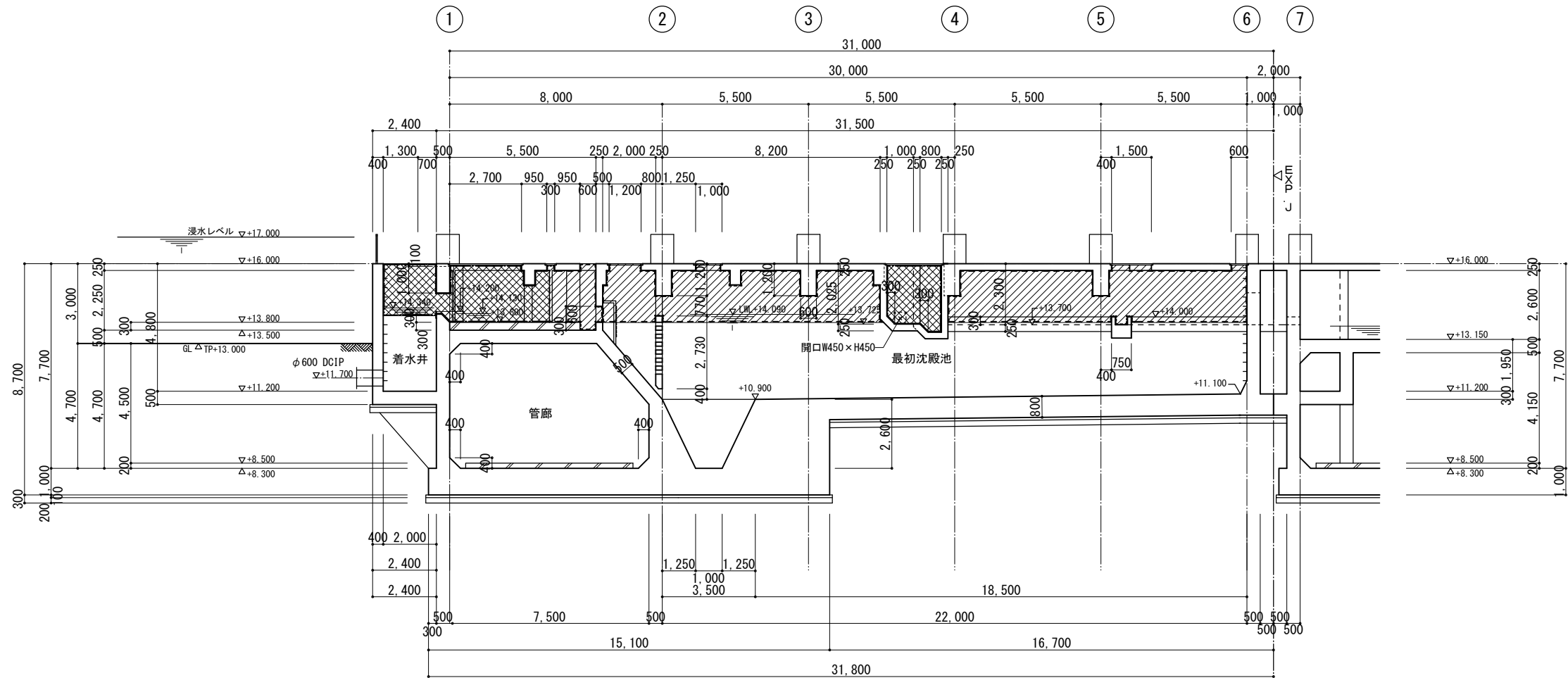


EXP. J ⑤ 断面図 1/100

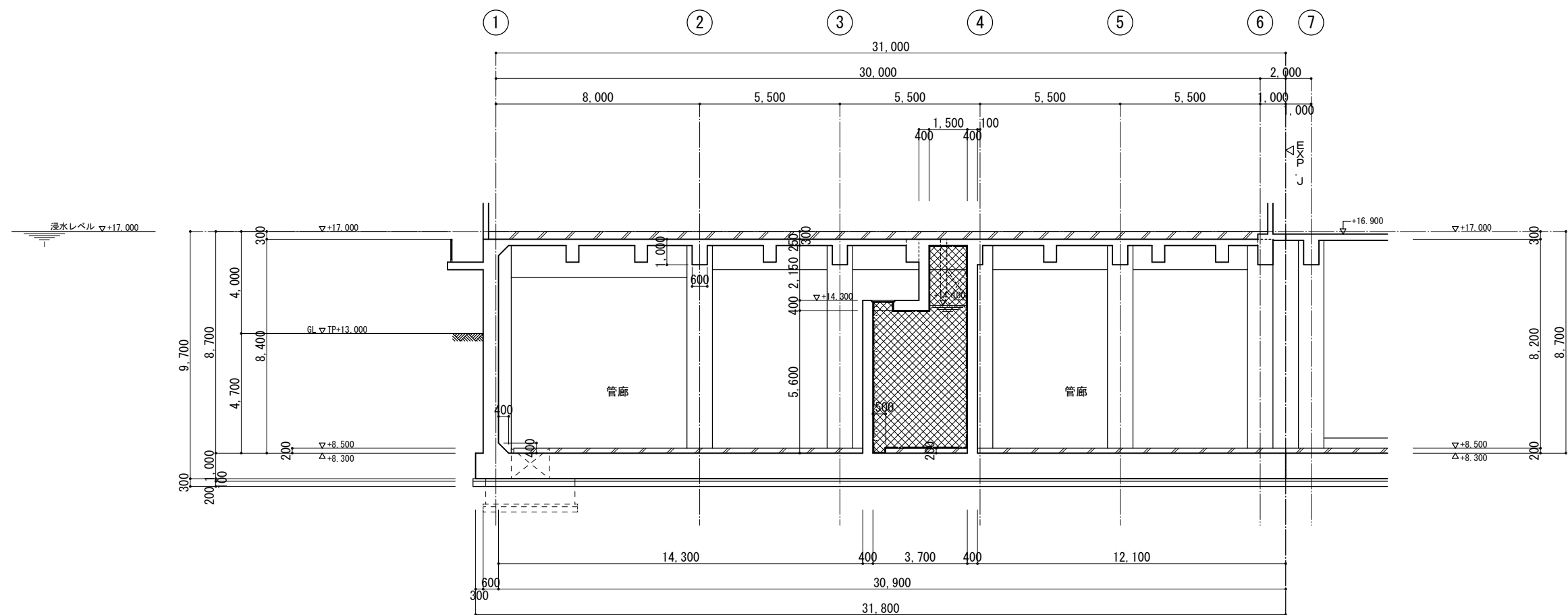
凡 例
— 耐震用止水板
— 止水板保護
— 目地材
— 目地充填材

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	水処理施設 伸縮継手断面図（3）
縮 尺	図 示
図面番号	全 枚中 C-55 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

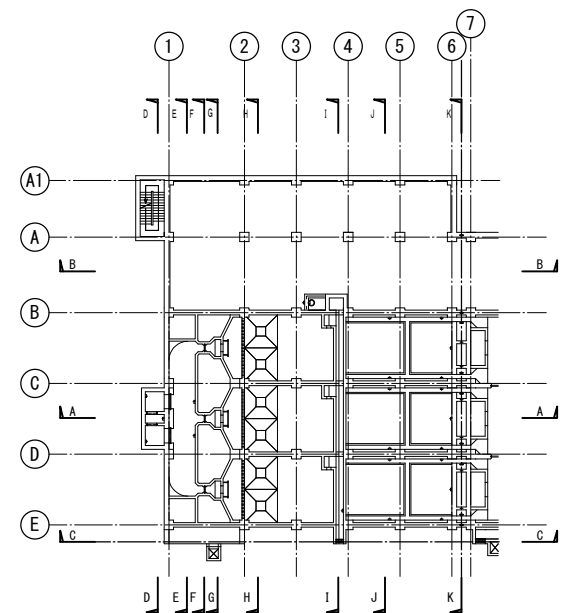




A-A断面図 1/100



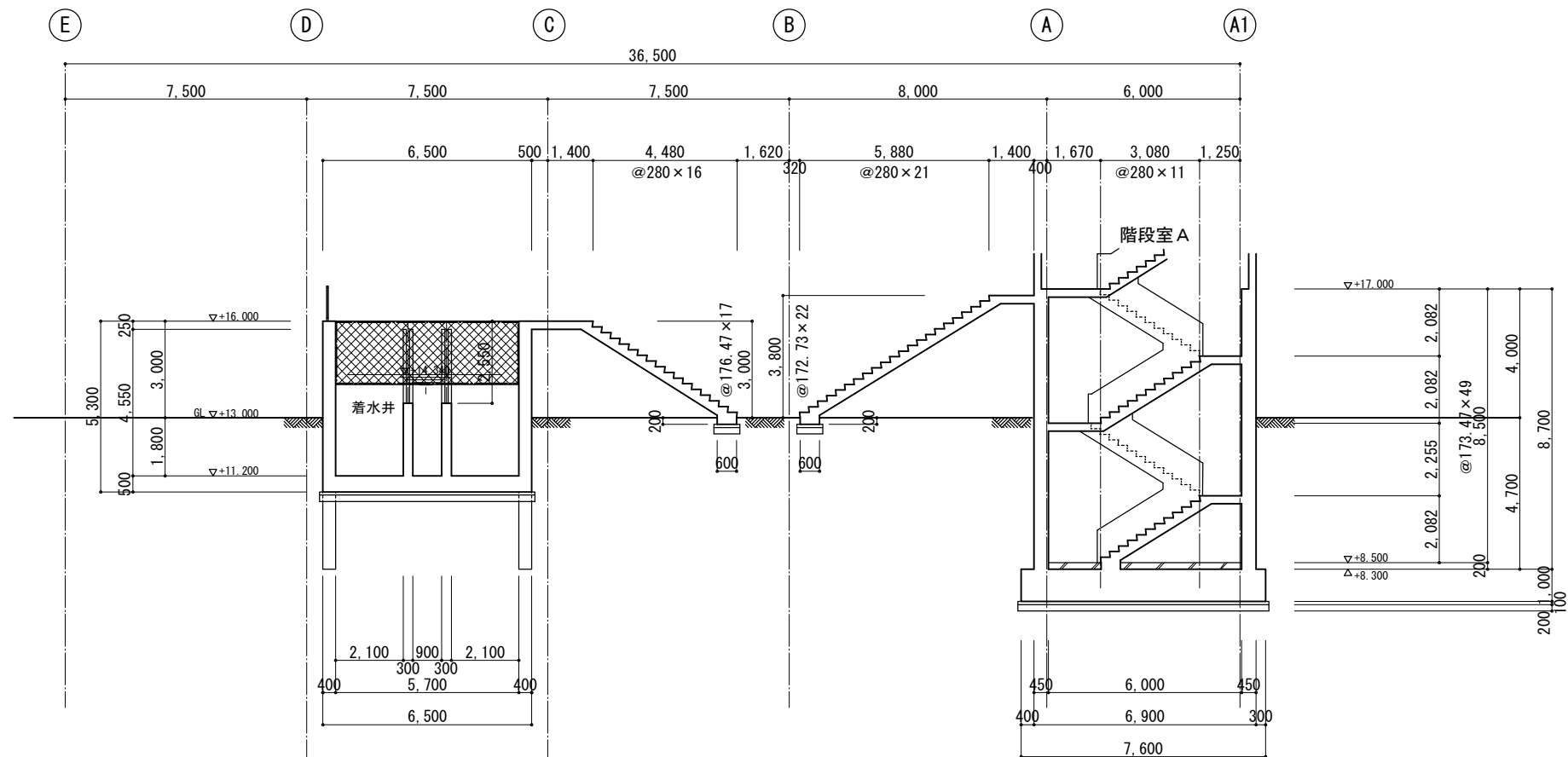
B-B断面図 1/100



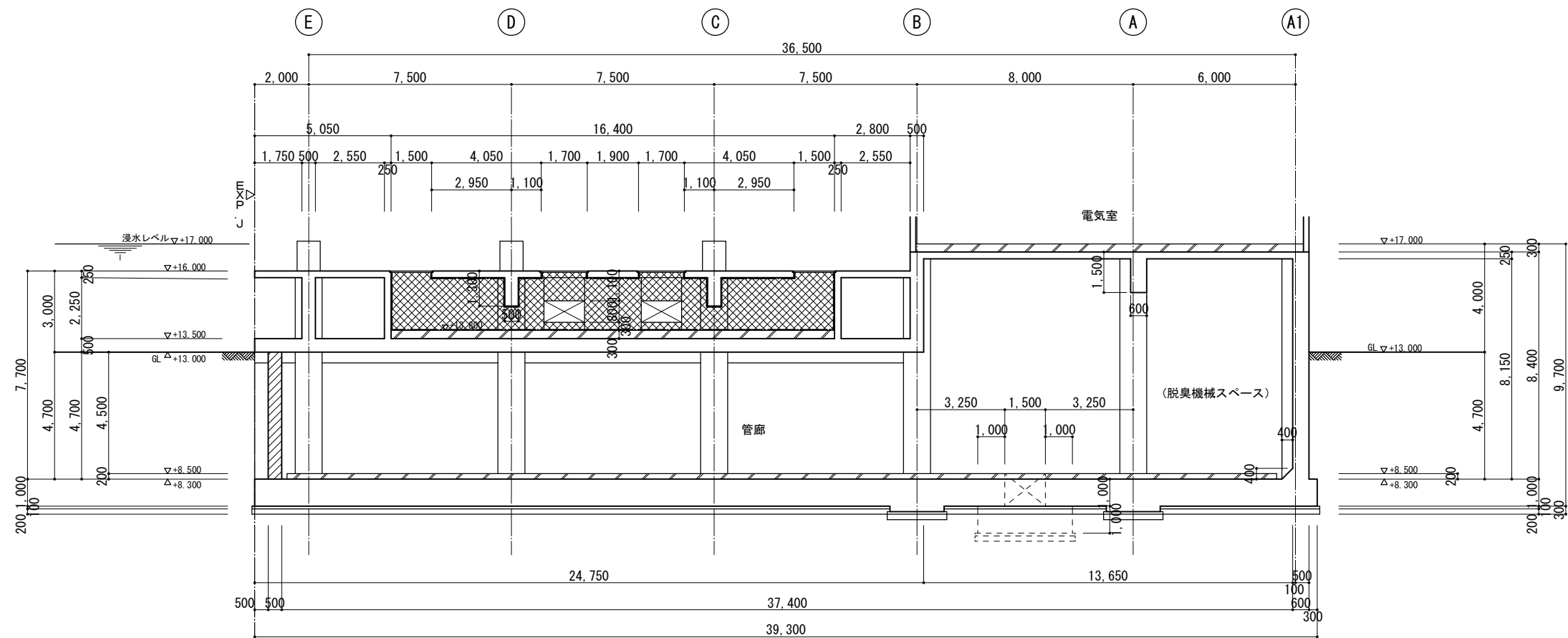
KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

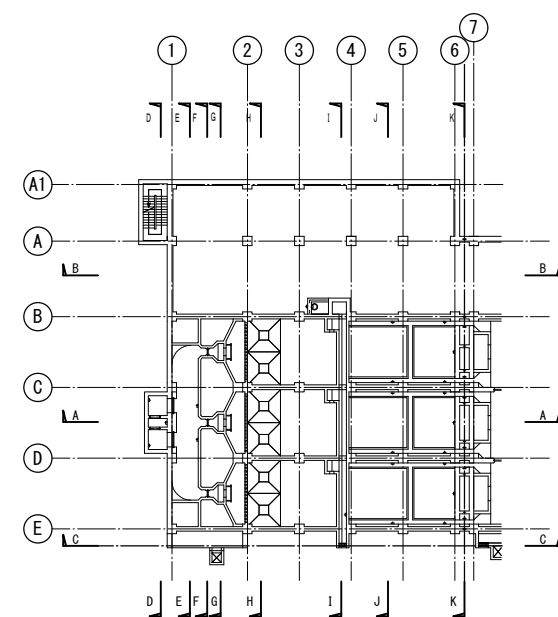
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 防食図(2)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-57 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



D-D断面図 1/100



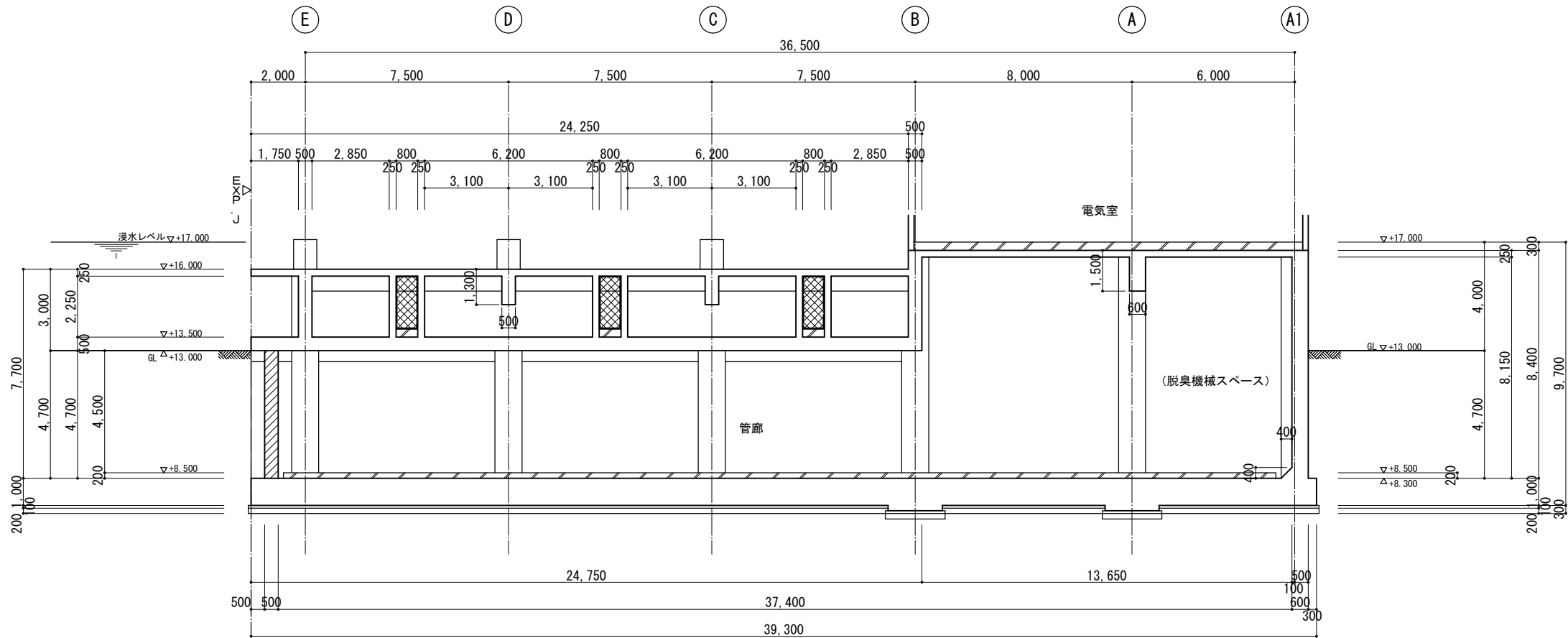
E-E断面図 1/100



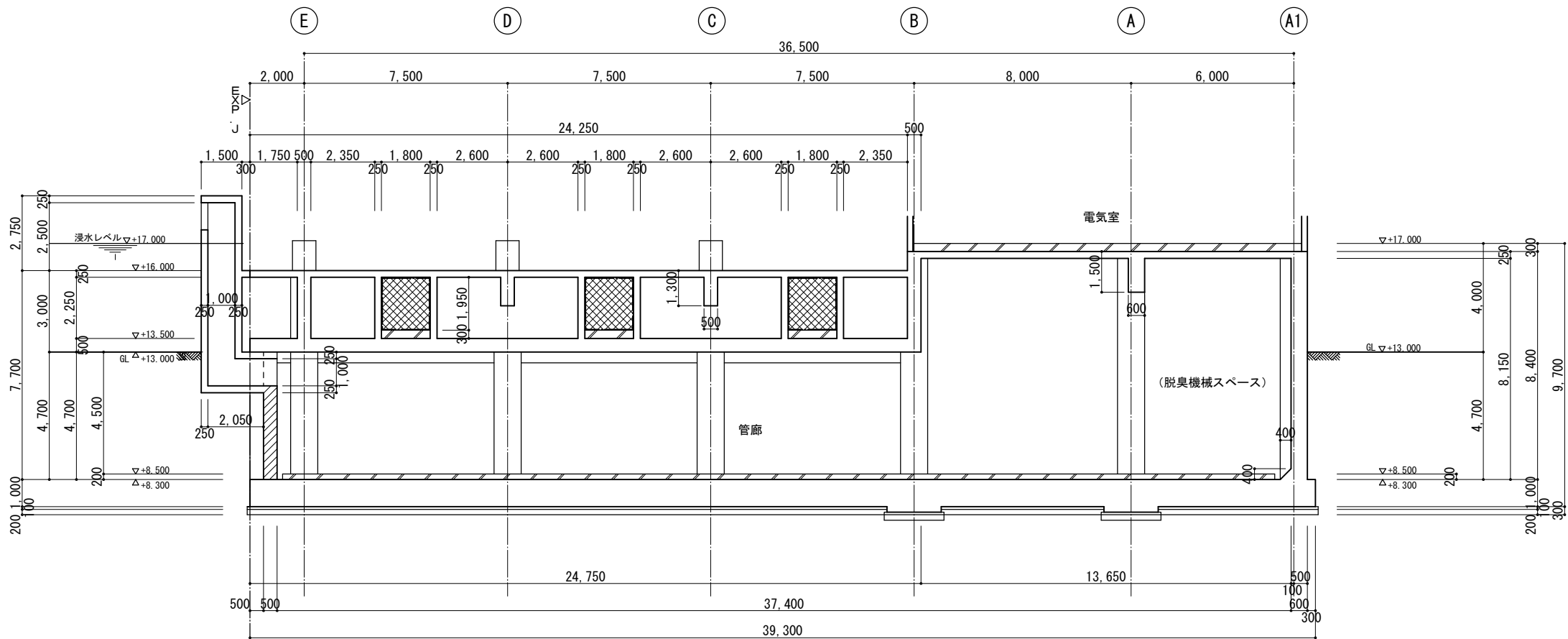
KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

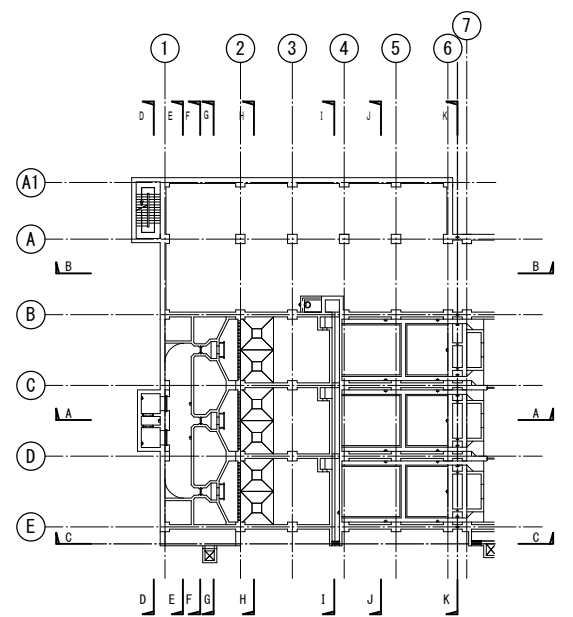
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 防食図(3)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-58 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



F-F断面図 1/100



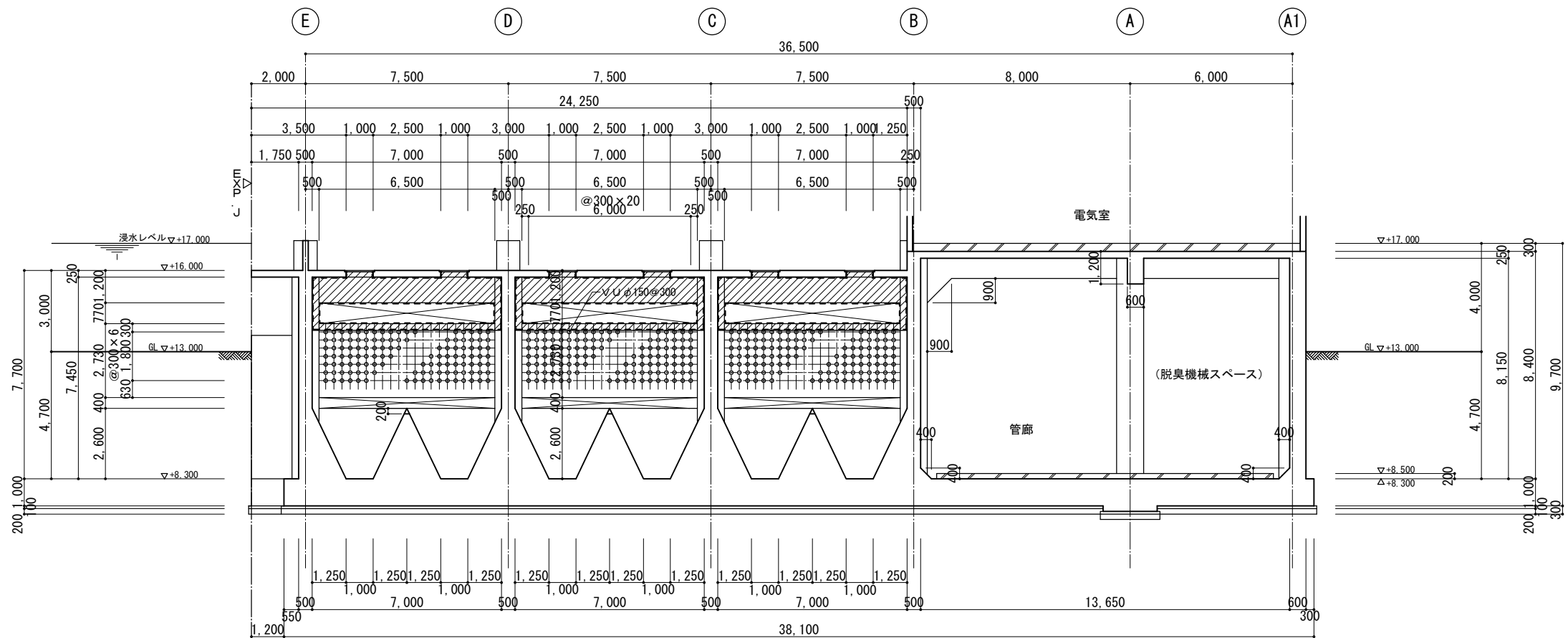
G-G断面図 1/100



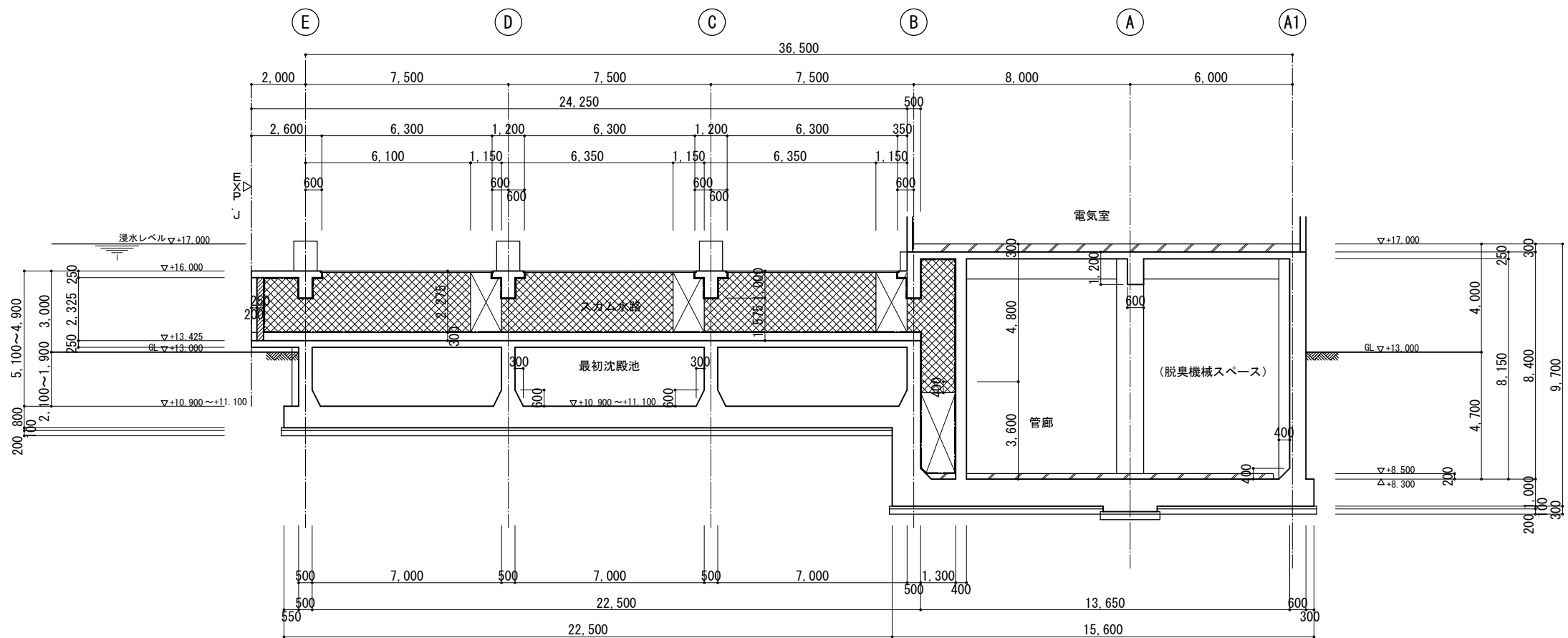
KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

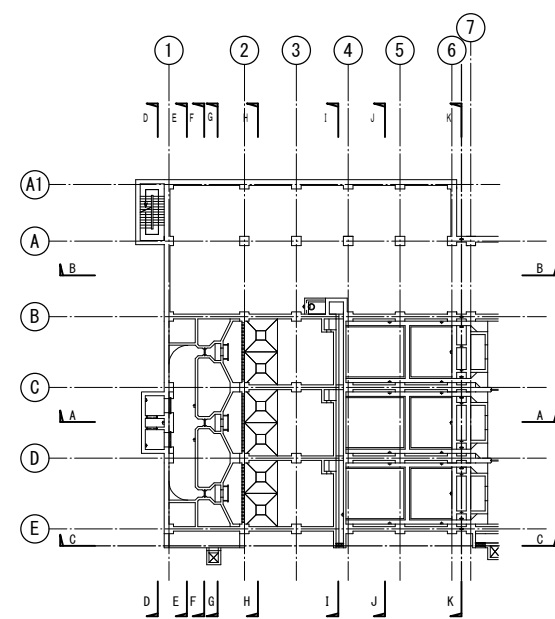
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 防食図(4)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-59 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



H-H断面図 1/100



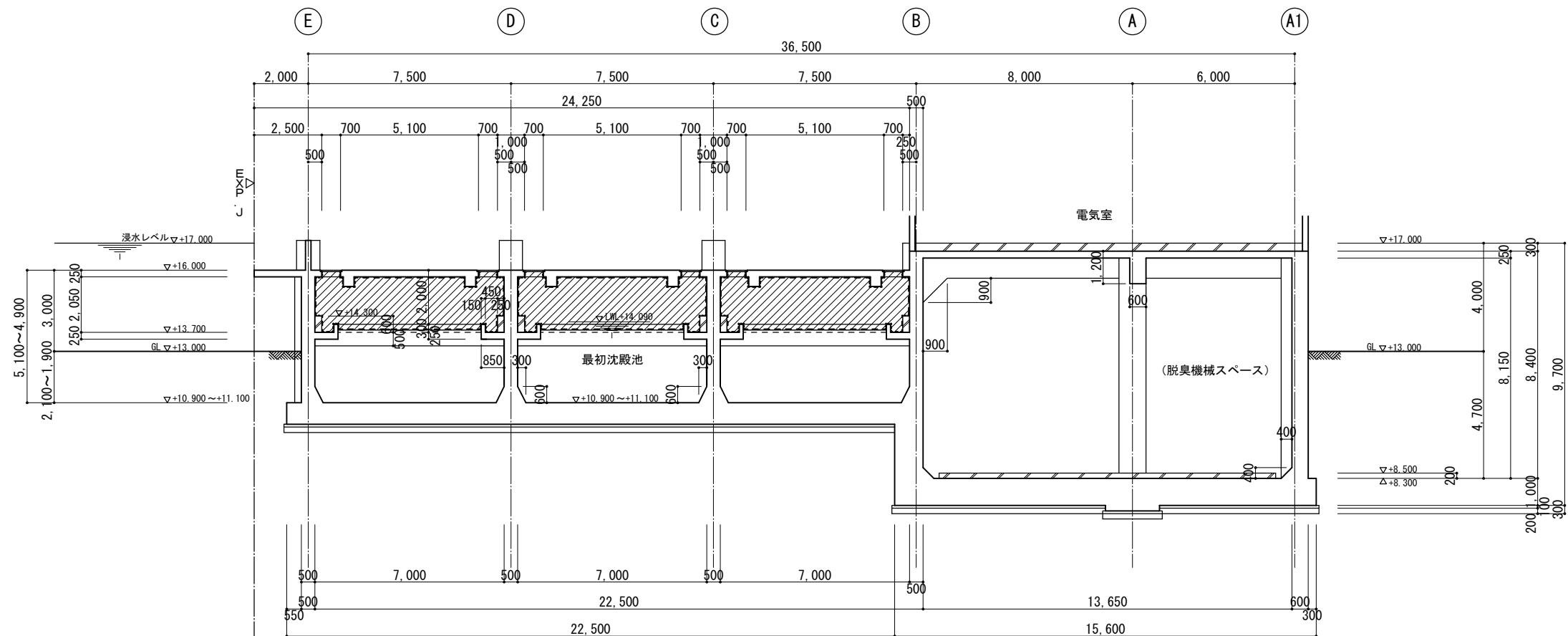
I-I断面図 1/100



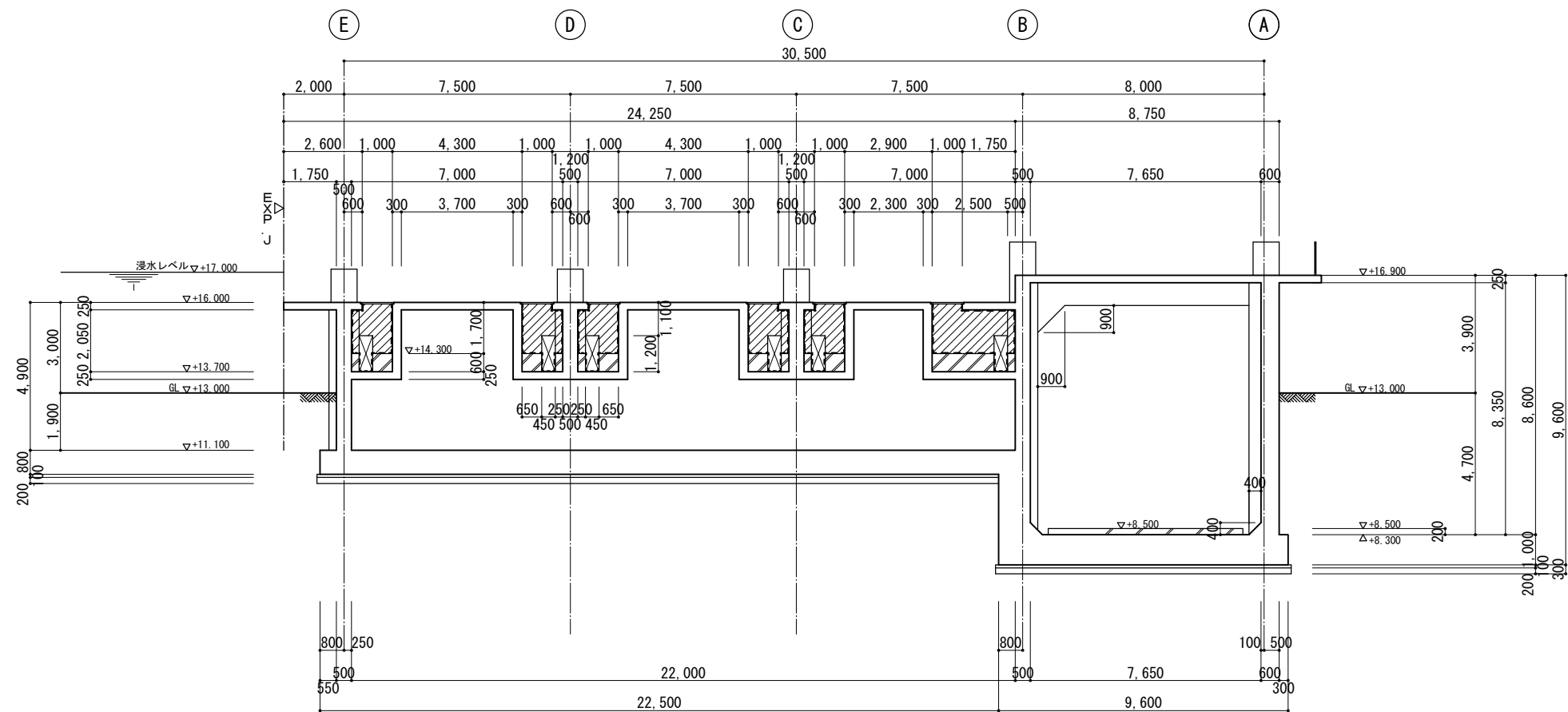
KEY PLAN

注記) 記入レベルはTP表記とする。

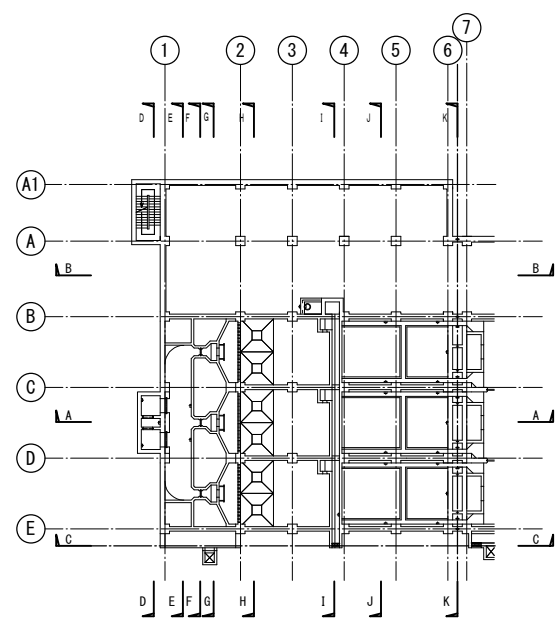
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 防食図(5)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-60 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



J-J断面図 1/100



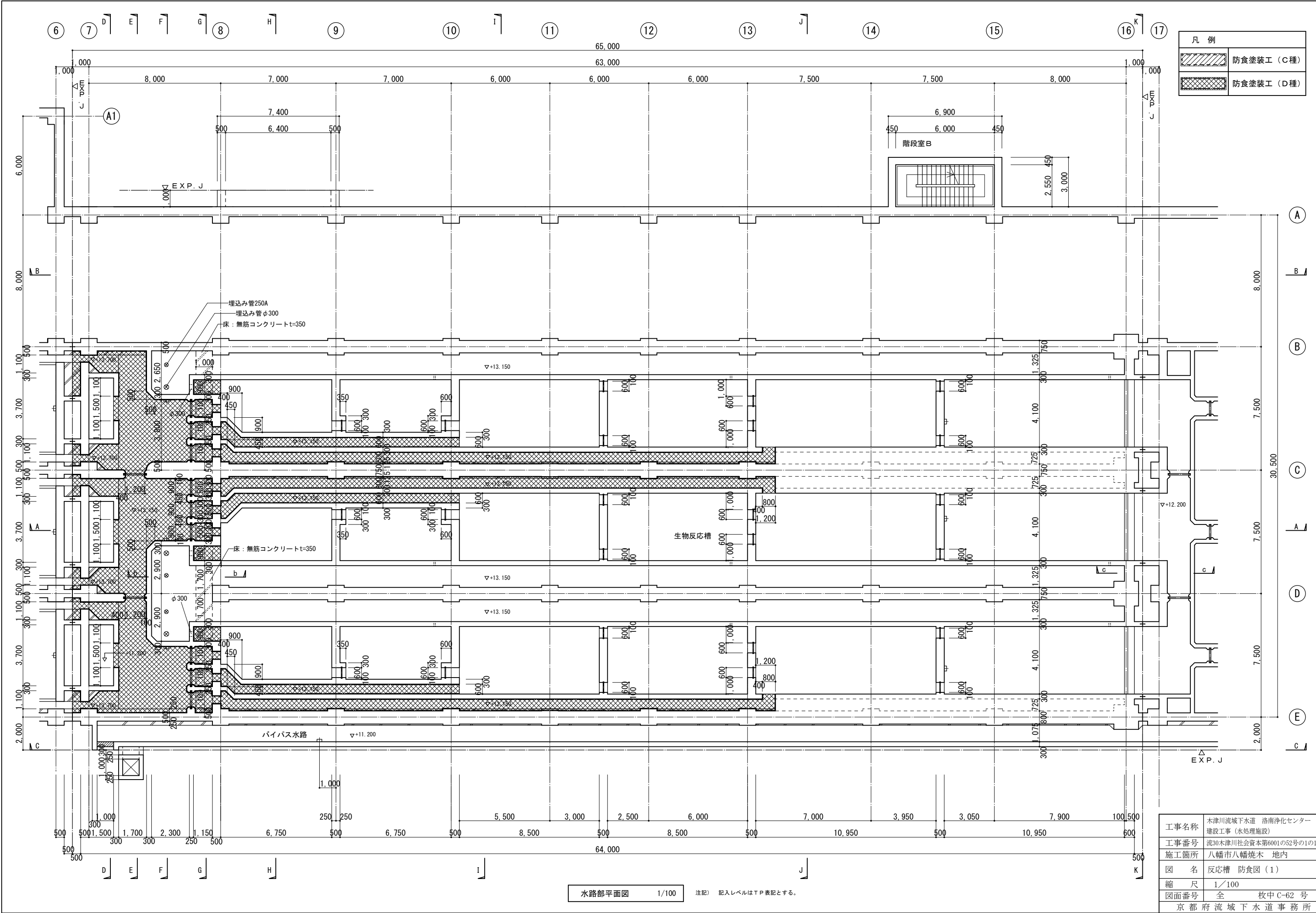
K-K断面図 1/100



KEY PLAN

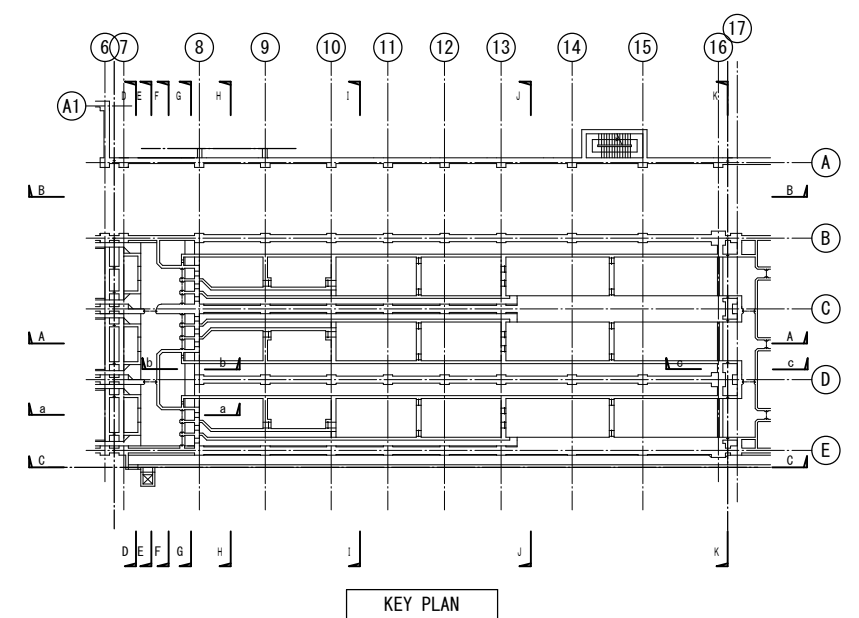
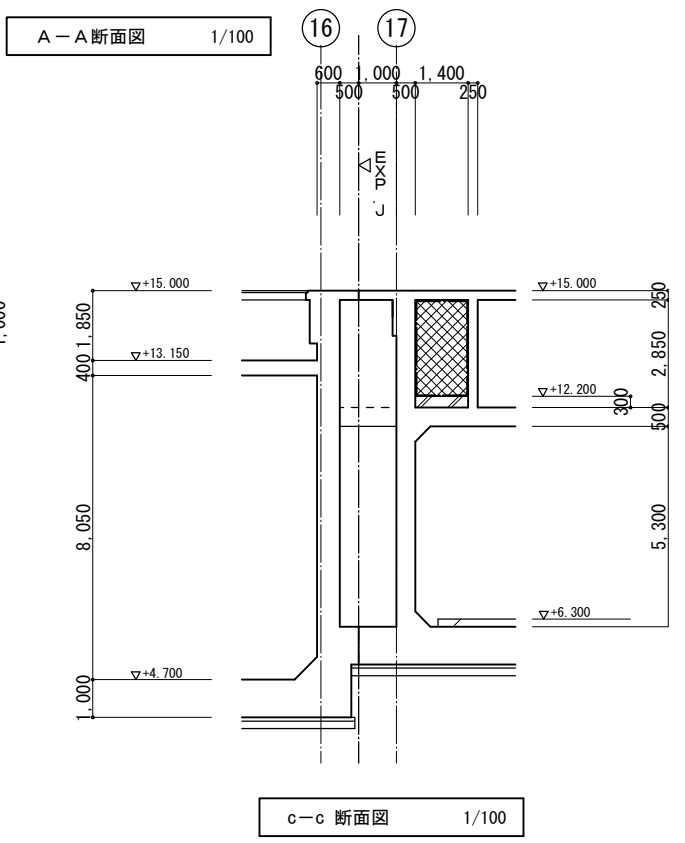
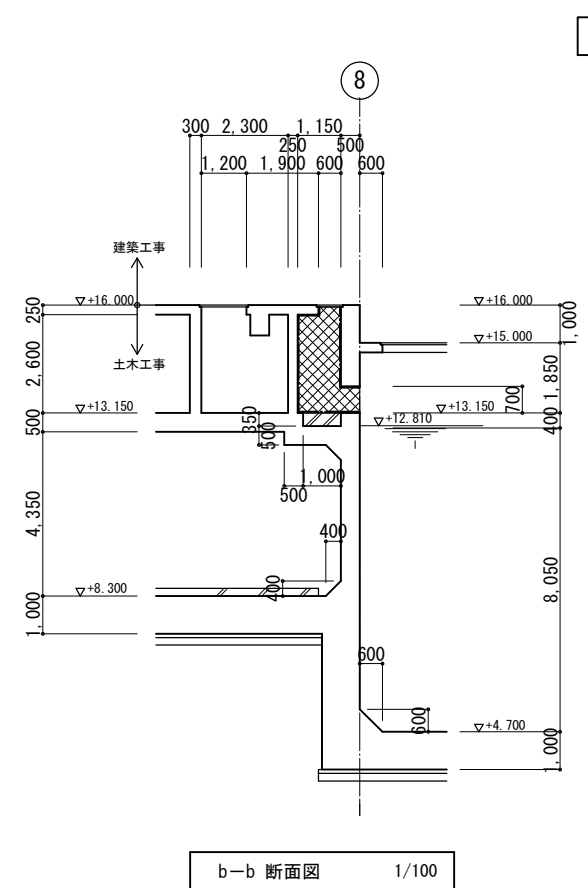
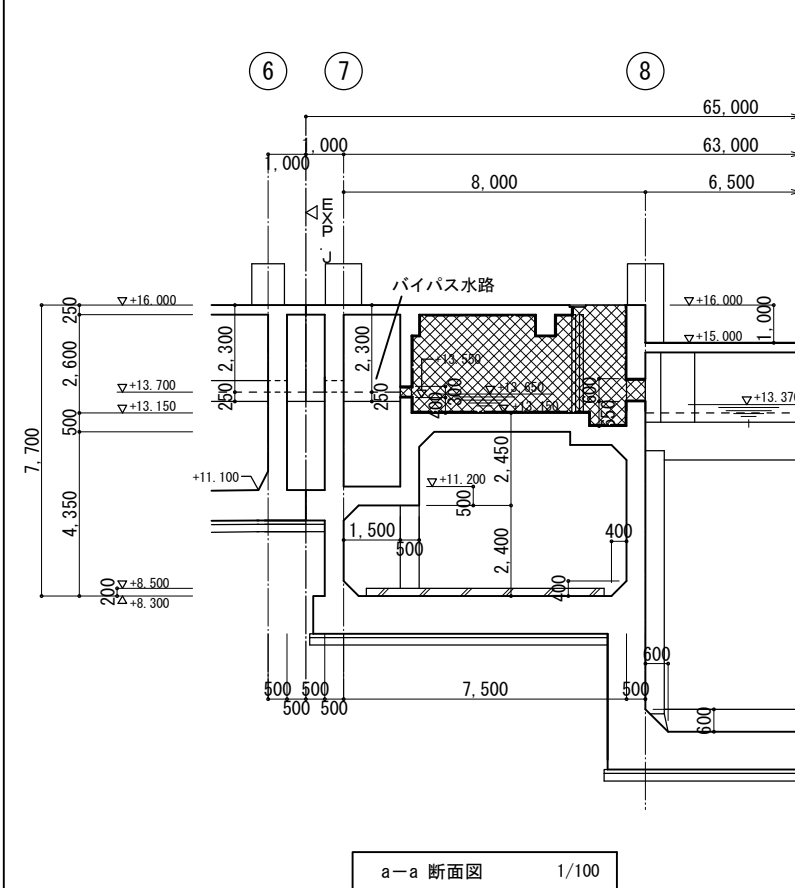
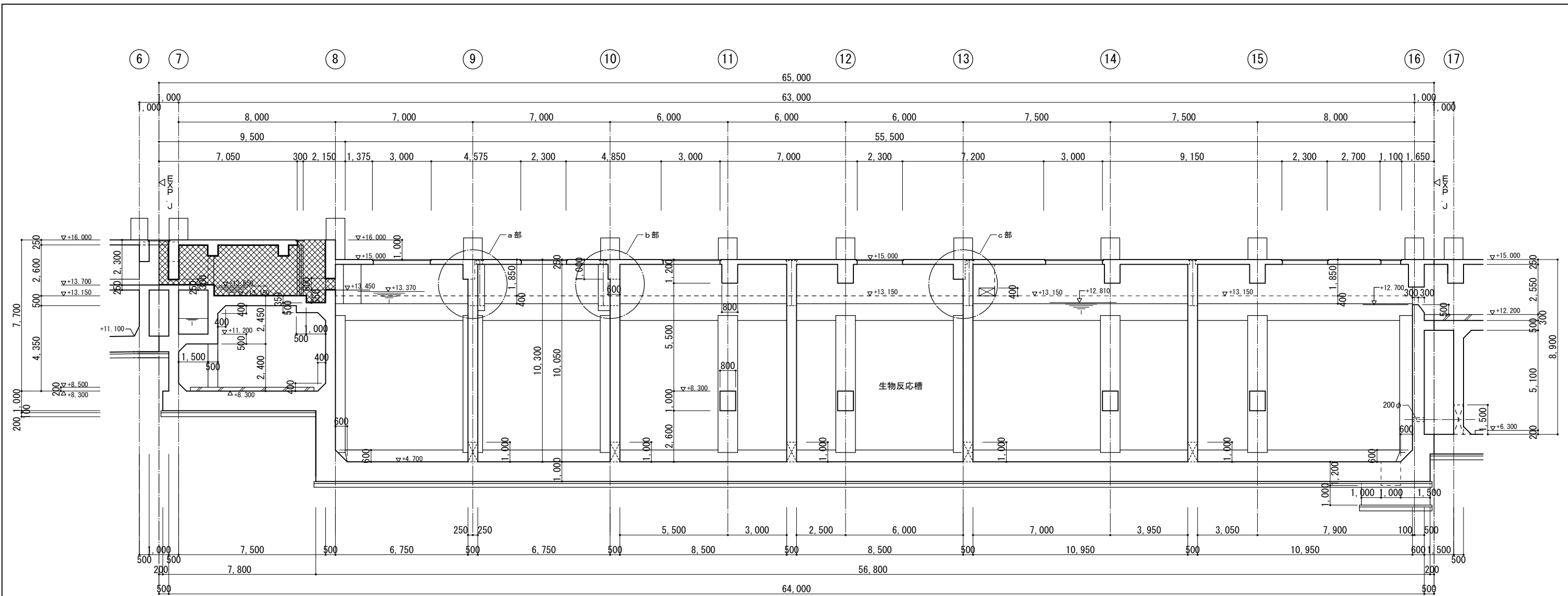
注記) 記入レベルはTP表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 防食図(6)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-61 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



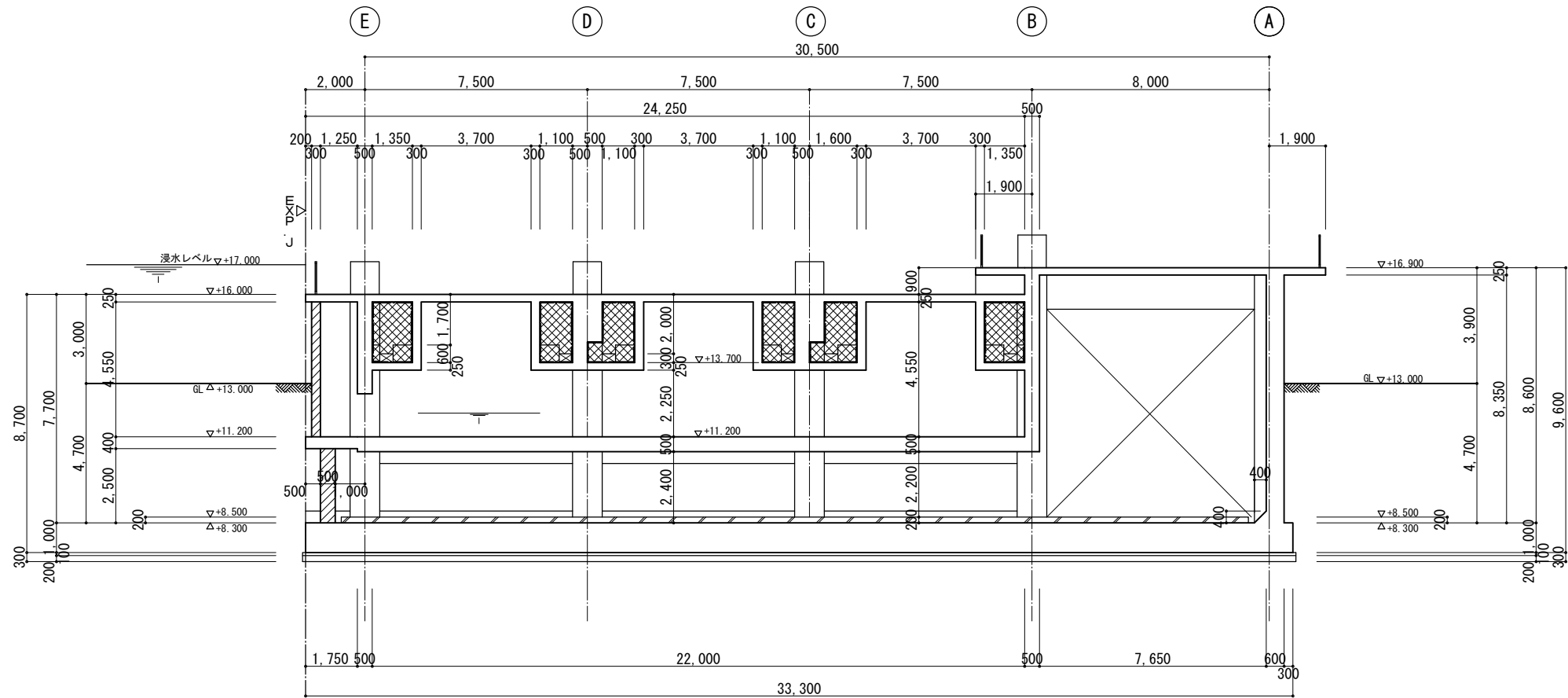
凡 例	
	防食塗装 (C種)
	防食塗装 (D種)

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 防食図 (1)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-62 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

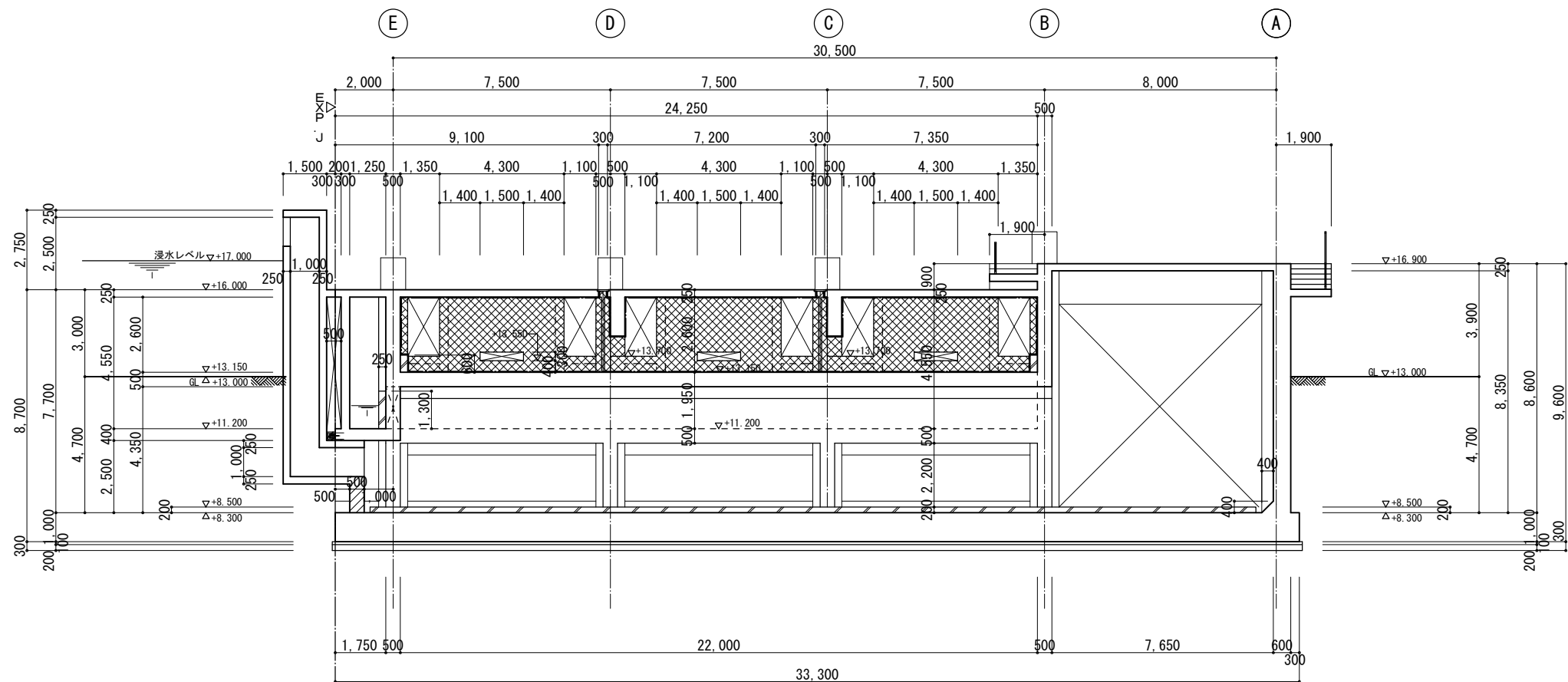


注記) 記入レベルはT P表記とする。

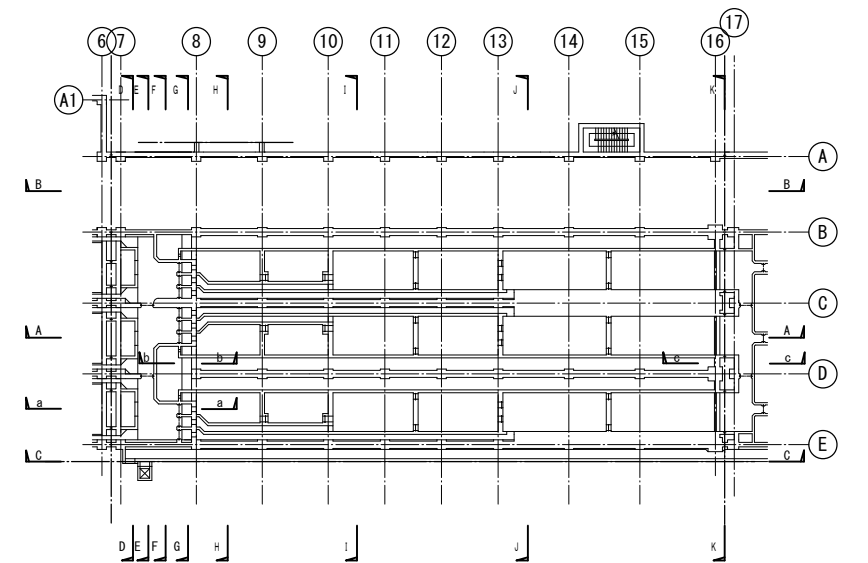
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 防食図 (2)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-63 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



D-D断面図 1/100



E-E断面図 1/100

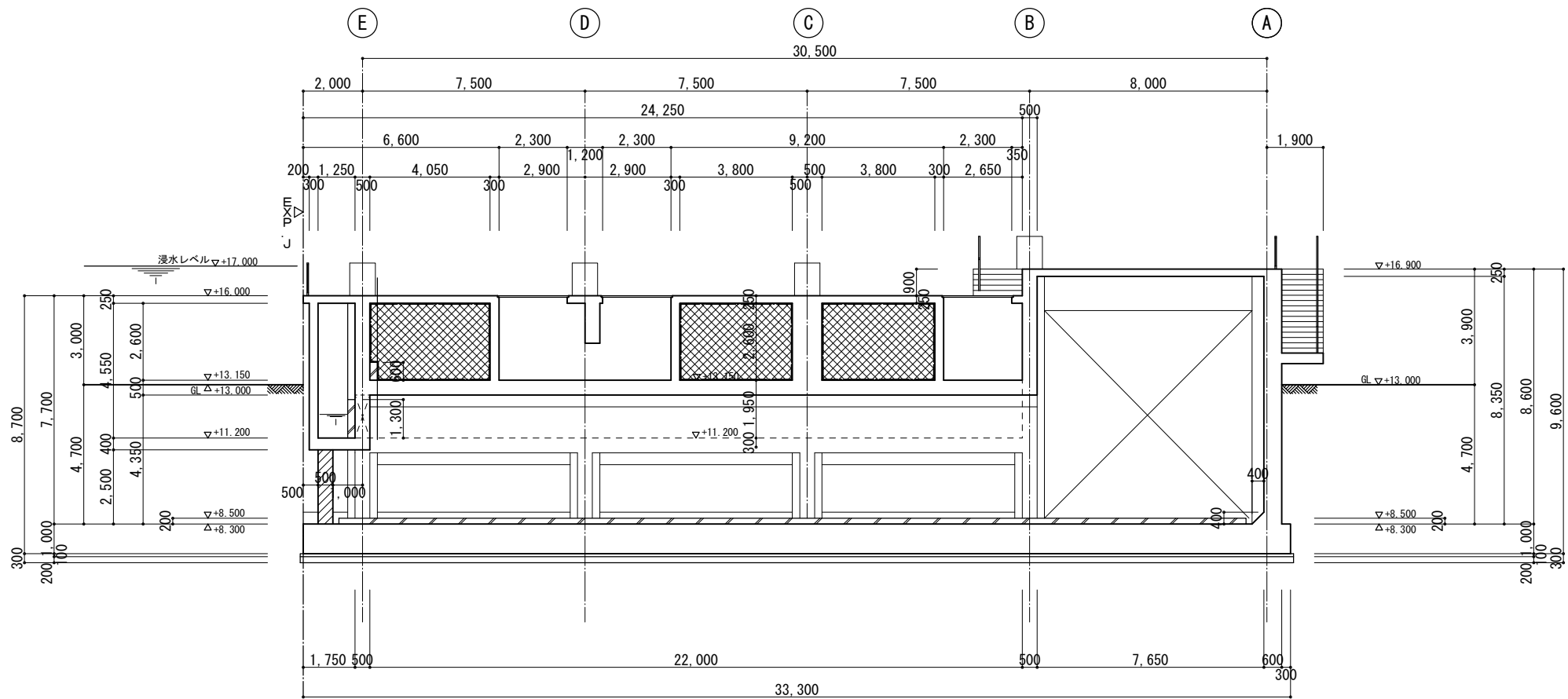


KEY PLAN

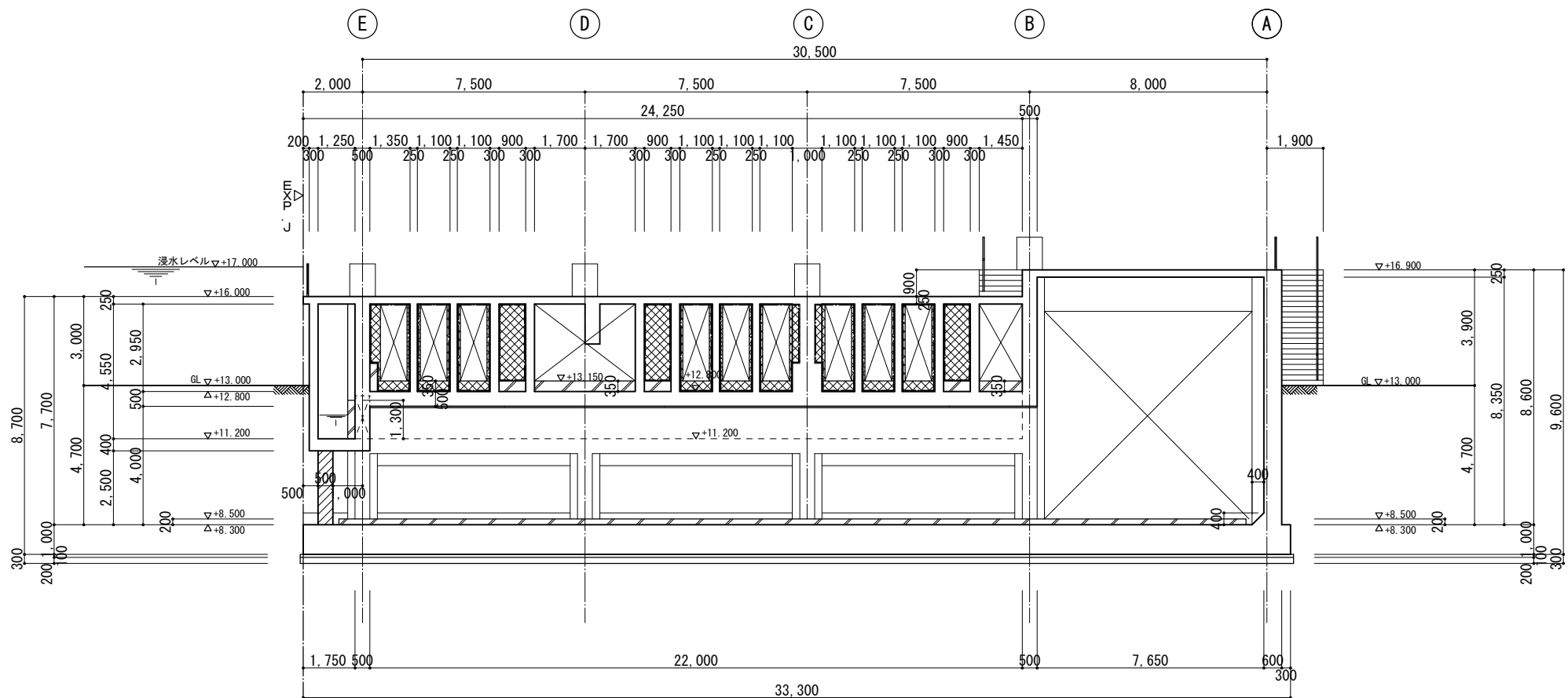
注記) 記入レベルはTP表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	反応槽 防食図(3)		
縮 尺	1/100		
図面番号	全	枚中	C-64 号

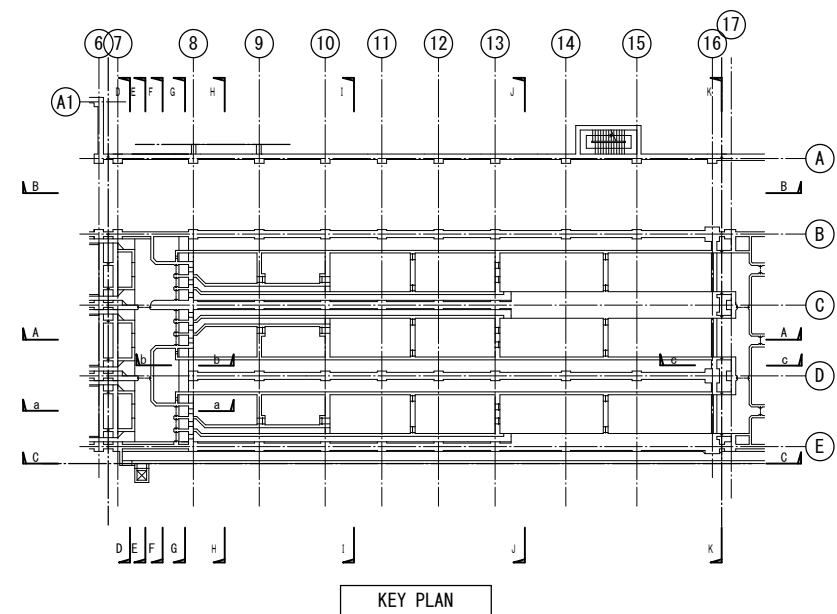
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



F - F 断面図 1/100

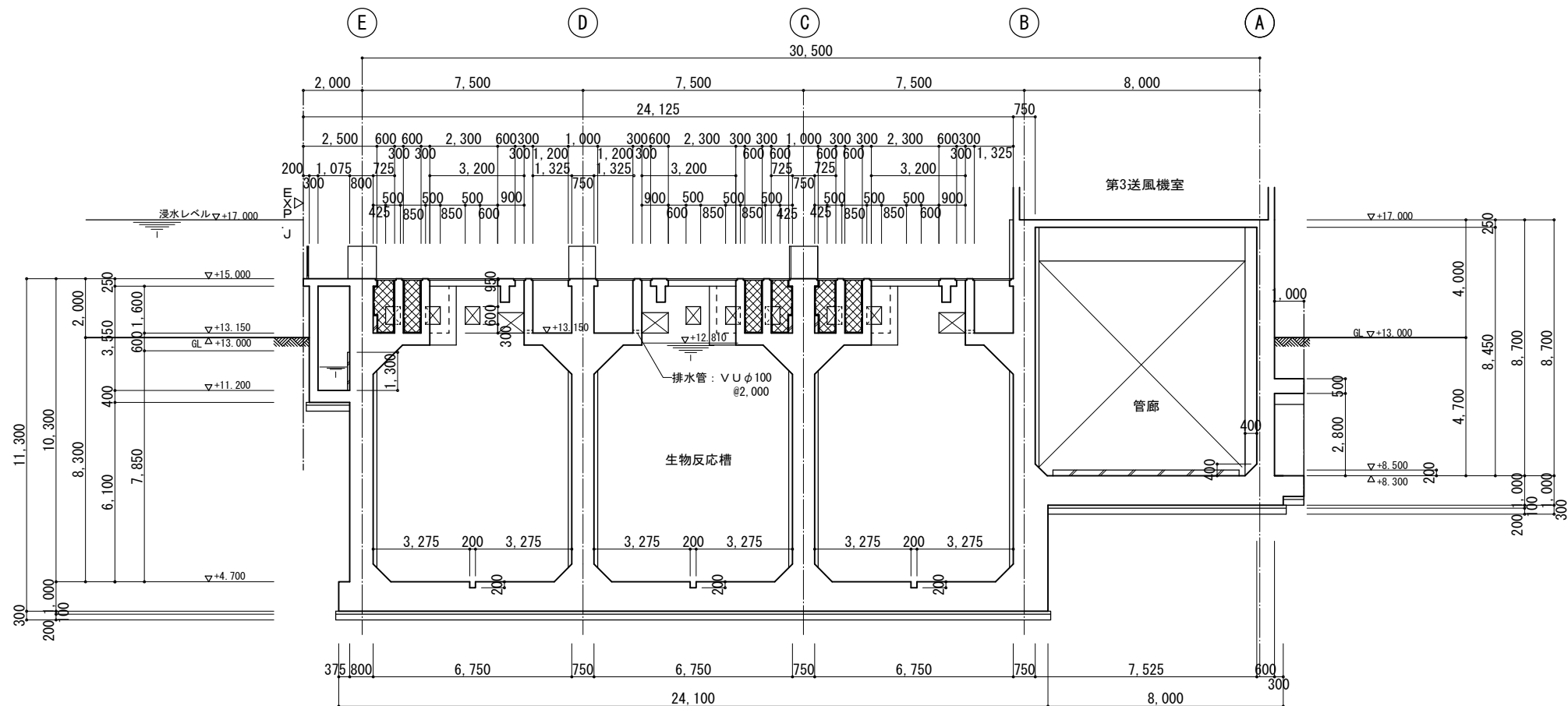


G - G 断面図 1/100

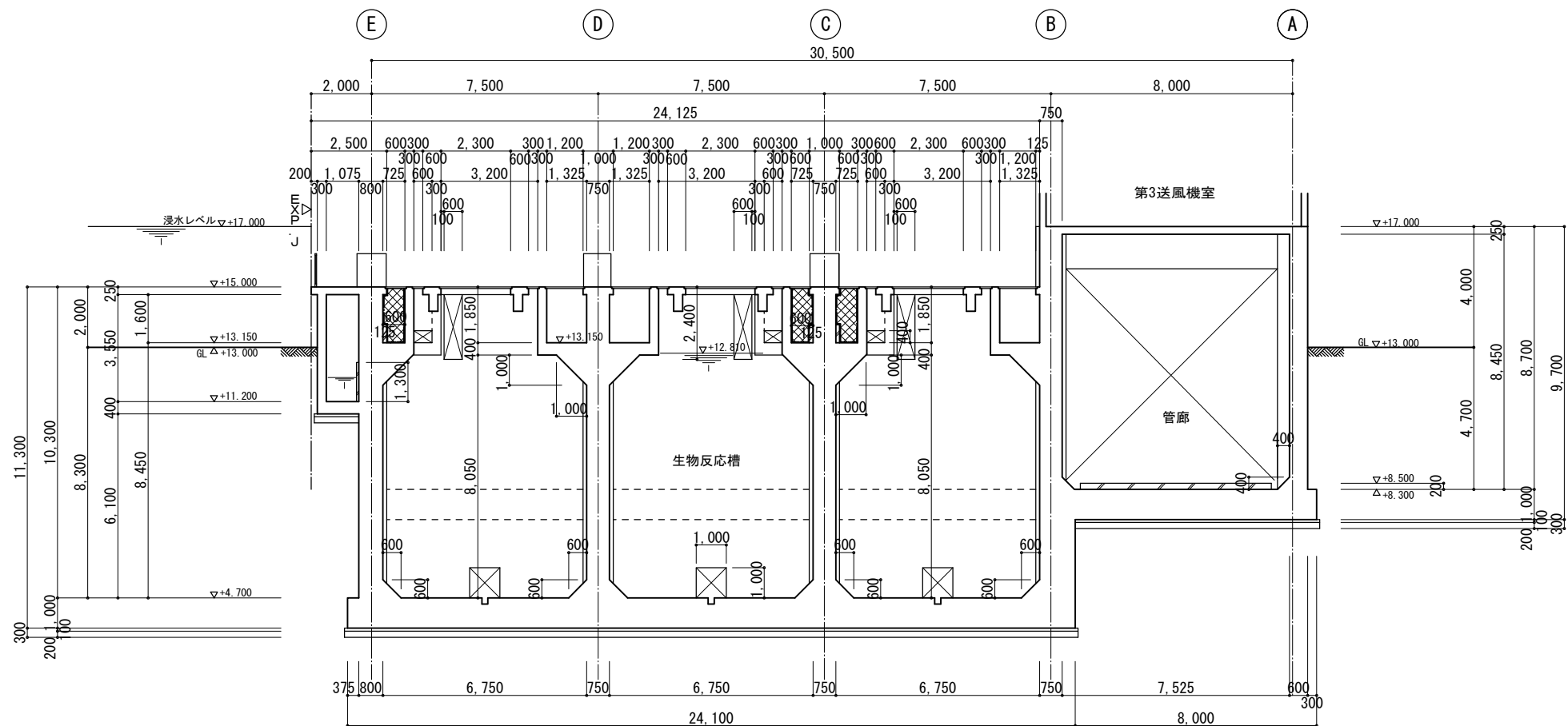


注記) 記入レベルは T P 表記とする。

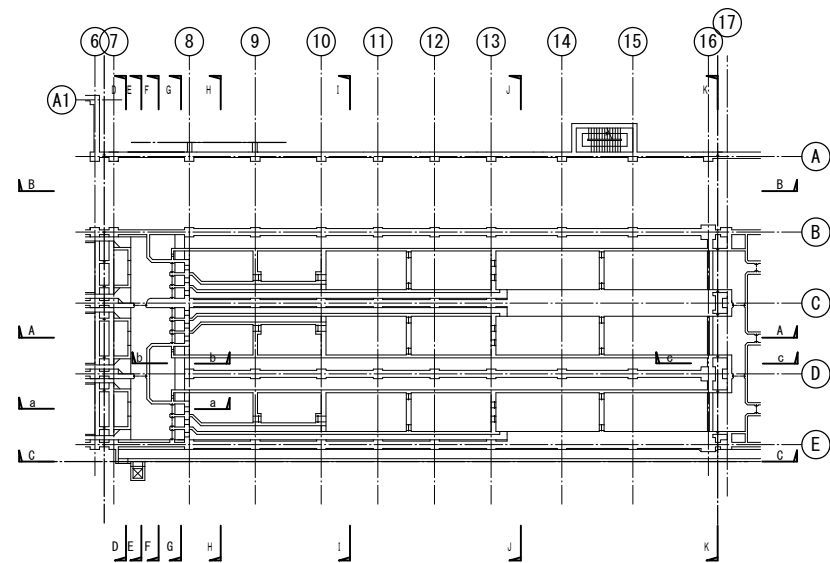
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 防食図 (4)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-65 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



H-H断面図 1/100

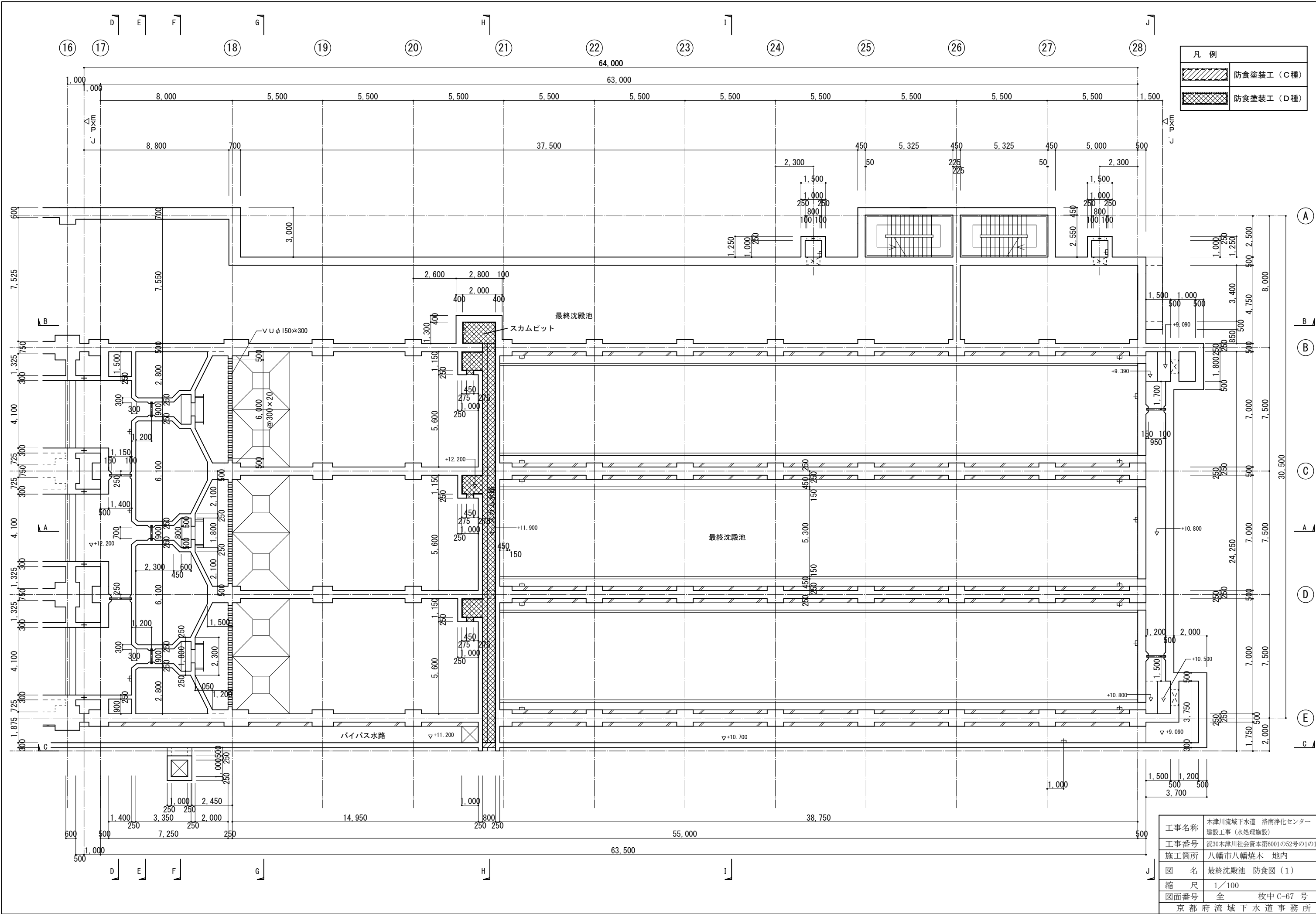


I-I断面図 1/100



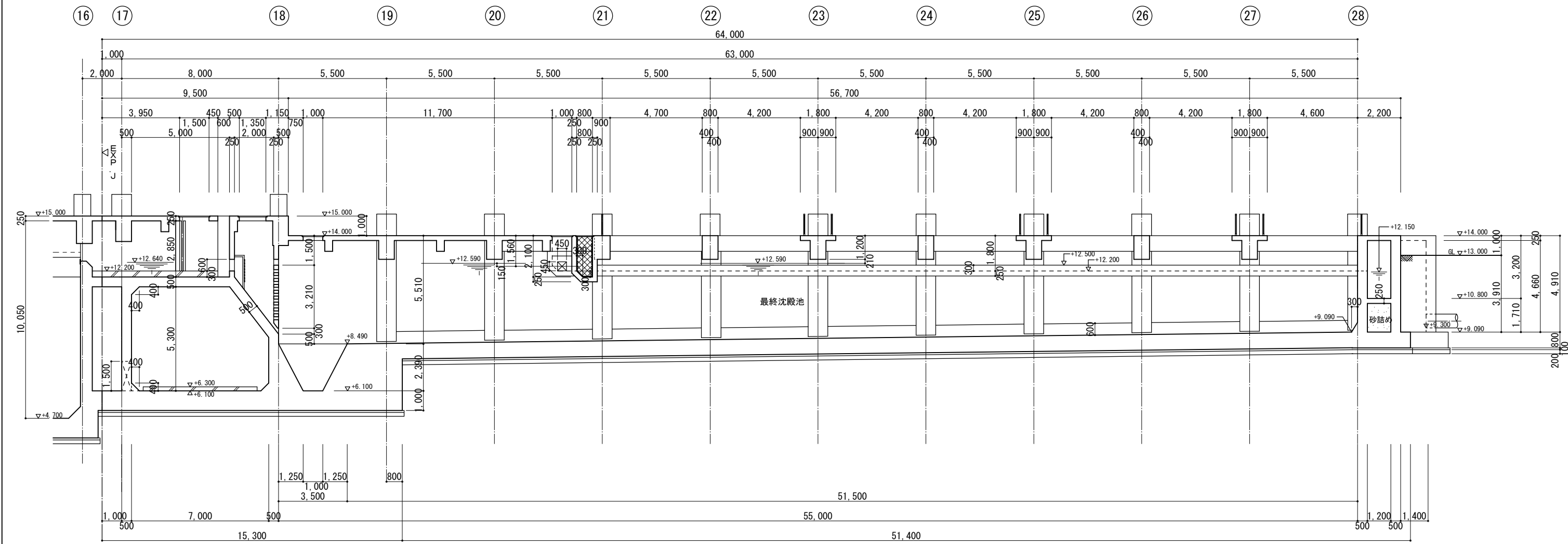
注記) 記入レベルはTP表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 防食図(5)
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-66 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

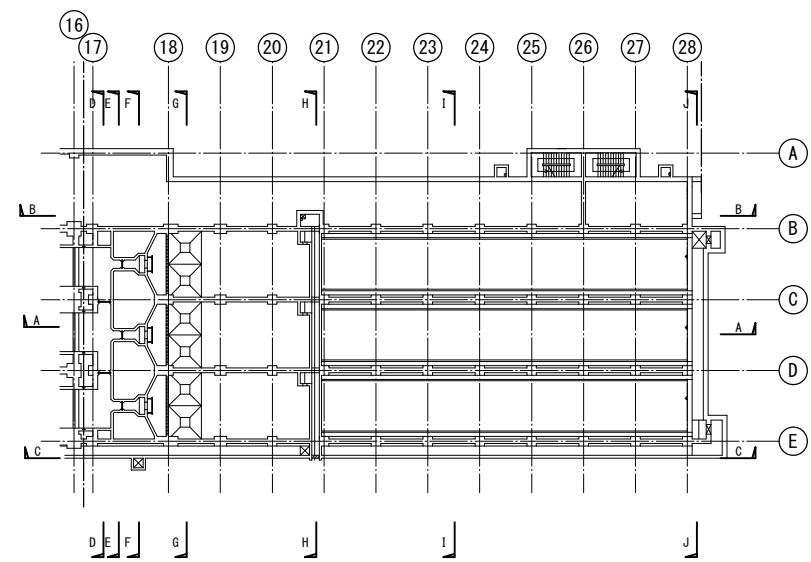
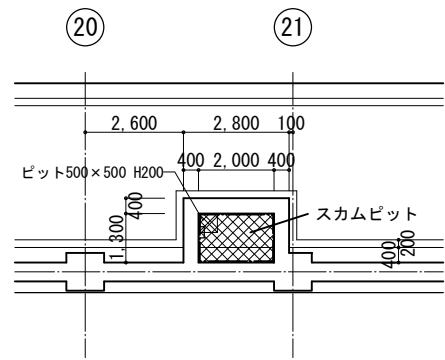


凡 例	
	防食塗装工（C種）
	防食塗装工（D種）

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最終沈殿池 防食図（1）		
縮 尺	1／100		
図面番号	全	枚中	C-67 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



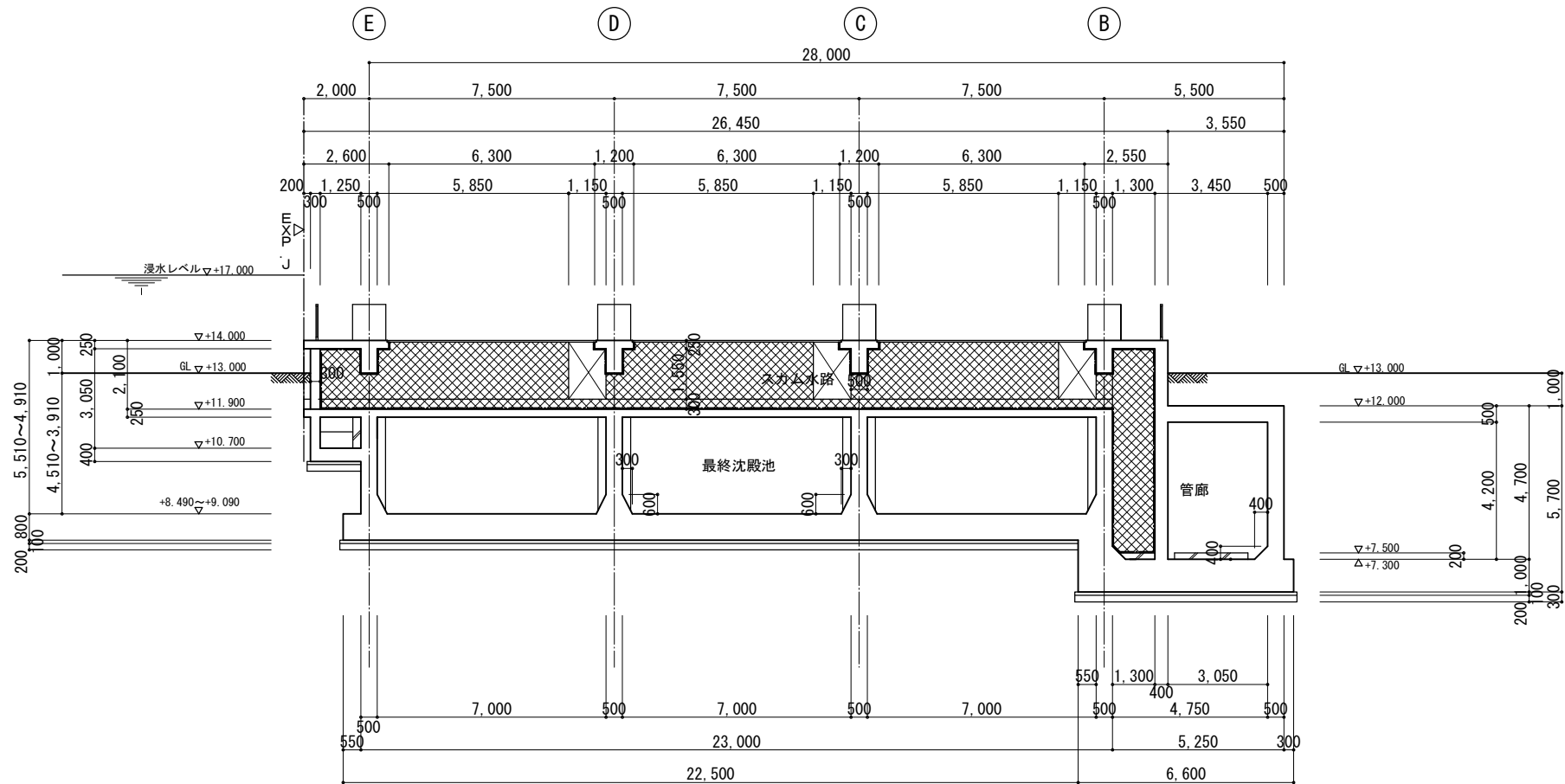
A-A断面図 1/100



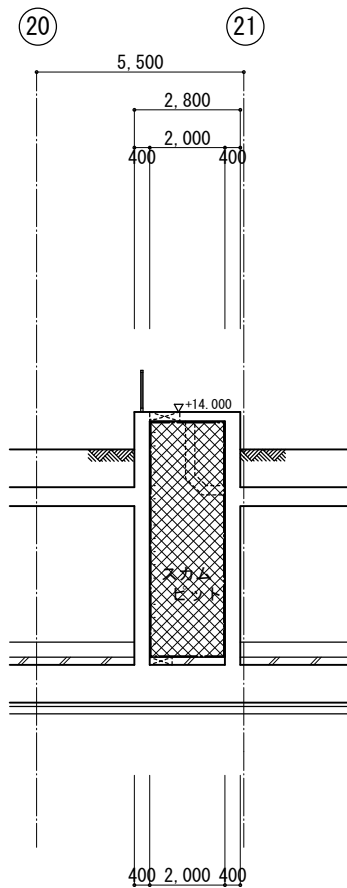
注記) 記入レベルはTP表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 防食図(2)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-68 号

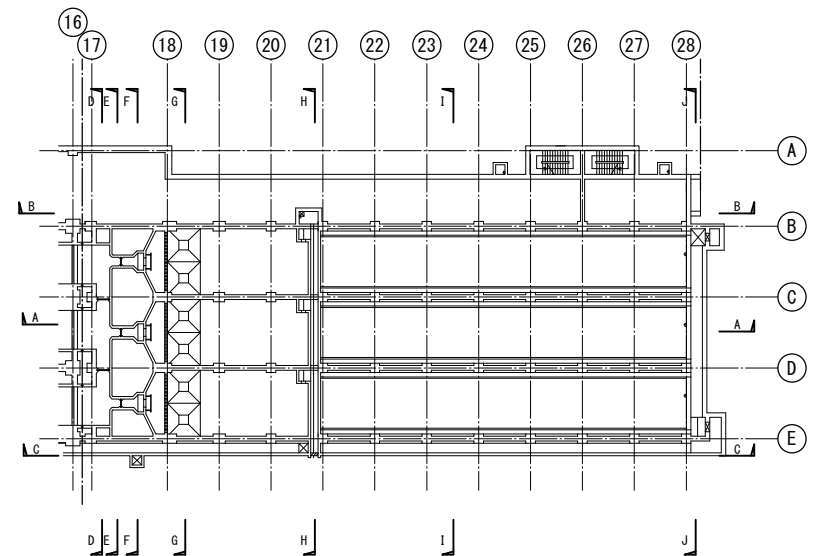
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



H-H断面図 1/100



B-B断面図 1/100



KEY PLAN

注記) 記入レベルはT P表記とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 防食図(3)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 C-69 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

貫通孔・埋込管 及び 機器基礎仕様書

節

項

目

特 記 事 項

1.

1. 適用基準

国土交通大臣官房官庁営繕部 監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成 年度」（以下、「標準仕様書」という）
日本下水道事業団制定「下水道施設標準図（詳細）土木・建築・建築設備（機械）編 平成 年度」
日本下水道事業団制定「機械設備工事一般仕様書（平成 年度）」

2. 施工図等

配管・配線系統を打ち合せ、位置・寸法及び方向を検討し、施工図を速やかに監督員に提出し、承諾を受ける。

3. 発生材の処理

工事特記仕様書による。

4. 符 号

各設備に用いる符号は下記とする。
(例) AM・S-1 → 通し番号
↓
貫通孔の形状の符号
S・・・貫通孔
P・・・埋込管
B・・・基礎
↓
各設備の符号
AM・・・建築機械設備
AE・・・建築電気設備
PM・・・プラント機械設備
PE・・・プラント電気設備

5. 開口補強

a) 開口補強方法については、標準仕様書別図各部配筋による。
1 壁開口補強は、4.2 による。 ・A形 ※B形
但し、耐震壁は図示による。
2 床版開口補強は、5.3による。
3 梁貫通孔の補強は特記による。特記がなければ、7.1により、配筋種別は特記による。

6. 工 法

a) 貫通孔、埋込管は、寸法・位置に充分注意して堅固に取り付ける
b) 埋込管を水槽・外壁に取付けける場合は、漏水のないように、充分考慮し施工する。

7. 特 記 事 項

a) ○印のついたものを適用する。○印のない場合は※印のあるものを適用する。又、○印と ※印のある場合は共に適用する。

貫通孔

2.

1. 材料、材質

a) 貫通孔に用いる材料は下記による。

記号	S1	S2	S3	S4
材料	鋼管	硬質塩ビ管	溶融亜鉛めっき鋼板	つば付鋼板

a) 次期発注の外壁・床版貫通孔及び仮補強筋は、下記による。

壁 部

床版部

L/2

外側

仮補強筋

内側

上部

下部

L/2

B

L/2

仮補強筋

B	壁部	床版部
1. 500未満	D13~200@シングル	構造体配筋に同じ

コンクリート強度：構造体強度に同じ
▽：シーリング（10×10）

b) 土圧・水圧等を受ける場合は、B-04-1を標準とし、その仕様は特記による。

埋込管

3.

1. 材料、材質

a) 埋込管に用いる材料は、下記のものとする。
埋込管の材料

記号	P1	P2	P3	P4	P5
材料	ステンレス管	鋼 管	鋼 鉄 管	塩 ビ 管	亜鉛鉄管

b) 埋込管の材質については、下記による。
1) ステンレス管・・・JIS 0.98MPa (SUS304) 鋼管差し込み溶接フランジ規格 ※ C-1 sch 20S ・ C-2 sch 40
2) 鋼 管・・・JIS G ※ 3452 (SGP) ※3442 (SGPW)
3) 鋼鉄管・・・※ JSWAS G-1 ・JDPAG 1025 1026
4) 塩ビ管・・・JIS K 6741 ※ VP ・VU
5) 亜鉛鉄管・・・JIS G 3302 ※ 4mm以上 ・6mm以上
c) 埋込管の塗装は、「機械設備工事一般仕様書」の定めに従準する。

機器基礎

4.

機 器 基 礎

a) 鋼鉄管のパドル付規格管を使用する場合

b) 規格外のパドル付短管を使用する場合

c) フランジ穴取付け位置は、下表による。
(鋼鉄管：JIS K、ステンレス管・銅管：JIS 10Kの場合)

口 径	θ	ボルトの呼び径	ボルト数
φ75~100	45°	φ75~200 M16	4
φ150	30°		6
φ200~250	22.5°	φ250~300 M20	8
φ300~350	18°	φ350~400 M22	10
φ400~500	15°	φ450~600 M24	12
φ600~700	11.25°	φ700~1100 M30	16
φ800~900	9°		20
φ1000~1100	7.5°		24
10~65A	45°	10~20A M12	4
80~150A	22.5°	25~100A M16	8
200~250A	15°	125~200A M20	12
300~400A	11.25°	250~350A M22	16
450~550A	9°	400~500A M24	20
600~750A	7.5°	550~900A M30	24
800~1000A	6.42°		28
1200A	5.625°	1000~1200A M36	32

a) 基礎の分類は下記による
基礎の分類

記号	形 状
B1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎
B2	無筋コンクリート部分等の基礎
B3	防水層部分の立ち上り基礎
B4	土木・建築で差し筋のみを施す場合

B1

鉄筋コンクリート床

B2

無筋コンクリート床等

鉄筋コンクリート床

B3

防水押えコンクリート

その他

5.

そ の 他

1. リスト記入方法
a) 符号は 1. 一般事項 4. 符号による。
b) 形状寸法
1) 貫通孔については、形状寸法を記入する。
(例) 400φ 300×500^H
2) 埋込管については、形状寸法を記入する。
(例) 400φ × 800^H
3) 基礎については、形状寸法及び仕上り面よりの立ち上り高さを記入する。又、B4無筋コンクリートを抜く場合は、形状寸法及び無筋コンクリート厚さを記入する。
(例) 500^V×400^V×100^H
c) 材料・形式は一印の前に材料を、後に形式を記入する。
(例) S1ー P1ーFIー B1
d) 床・壁の区分
1) 壁部分は壁に○印を、床部分の場合は床に○印を記入する。
e) 位置の表示は、下記による。
1) 壁部分の位置・・・平面は、最寄り通り芯よりの寸法を記入し高さは、基準面（※TP・YP・AP）より高さ表示とする。
(例) ② → ① 800 ○ → ○ +8,500
2) 床部分の位置表示は、最寄り通り芯よりの寸法を記入する。
(例) ④ → ③ 2,400 ③ → ○ 2800
3) 位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。
f) 用途には配管系統（污水管、脱臭ダクト等）を記入する。
g) 備考には、施工部位、工事区分、その他特記すべき事項を記入する。
h) その他
1) 埋込管にフランジ蓋を設ける場合は、備考欄に特記する。
2) 埋込管にフランジ規格の呼び圧力は次の場合を示す。
鋼鉄管：JIS 7.5K
ステンレス管・銅管：JIS 10K
上記以外は特記する。
3) 貫通孔に仮壁を設ける場合は備考欄に特記する。
4) 将来使用する開口については、仮壁、仮蓋等を施すものとし、備考欄に特記する。

工事名称

木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）

工事番号

流30木津川社会資本第6001の52号の101

施工箇所

八幡市八幡焼木 地内

図 名

貫通孔・埋込管及び機器基礎仕様書（1）

縮 尺

一

図面番号

全 枚中 H-1 号

京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所

貫通孔、埋込管 及び 機器基礎リスト

符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材 料－形 式	位 置		備 考	符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材 料－形 式	位 置		備 考		
PM・B－1	1000 × 1000 × 600H	・	○	初沈汚泥 引抜ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－29	250A × 900	・	○	空気管	P1－F4	○→○	図示	○→○	パドル付
PM・B－2	1000 × 1000 × 600H	・	○	初沈汚泥 引抜ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－30	φ300 × 900	・	○	返送汚泥管	P3－F4	○→○	図示	○→○	パドル付
PM・B－3	1000 × 1000 × 600H	・	○	初沈池排水ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－31	φ300 × 900	・	○	返送汚泥管	P3－F4	○→○	図示	○→○	パドル付
PM・B－4	1000 × 1000 × 500H	・	○	初沈スカム 移送ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－32	φ300 × 900	・	○	返送汚泥管	P3－F4	○→○	図示	○→○	パドル付
PM・B－5	1000 × 1000 × 500H	・	○	初沈スカム 移送ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－33	φ300 × 650	○	・	返送汚泥管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+14. 850	パドル付
PM・B－6	1000 × 1000 × 400H	・	○	スカム分離液 移送ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－34	φ300 × 650	○	・	返送汚泥管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+14. 850	パドル付
PM・B－7	1000 × 1000 × 400H	・	○	スカム分離液 移送ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－35	φ300 × 650	○	・	返送汚泥管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+14. 850	パドル付
PM・B－8	2200 × 2200 × 400H	・	○	スカム分離液 貯留槽	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－36	φ300 × 1700	○	・	汚泥引抜管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+7. 100	パドル付
PM・B－9	950 × 550 × 500H	・	○	水処理系 脱臭ファン	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－37	φ300 × 1700	○	・	汚泥引抜管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+7. 100	パドル付
PM・B－10	1500 × 1500 × 500H	・	○	水処理系 活性炭吸着塔	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－38	φ300 × 1700	○	・	汚泥引抜管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+7. 100	パドル付
・－	×	・	・		－	○→○		○→○		PM・P－39	φ300 × 1700	○	・	汚泥引抜管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+7. 100	パドル付
PM・B－12	φ2800 × 450H	・	○	PAC貯留タンク	－ B4	○→○	図示	○→○		PM・P－40	φ300 × 1700	○	・	汚泥引抜管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+7. 100	パドル付
PM・B－13	φ2800 × 450H	・	○	PAC貯留タンク	－ B4	○→○	図示	○→○		PM・P－41	φ300 × 1700	○	・	汚泥引抜管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+7. 100	パドル付
PM・B－14	2000 × 600 × 450H	・	○	PAC注入ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○		PM・P－42	φ200 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+6. 550	パドル付
PM・B－15	800 × 1750 × 530H	・	○	返送汚泥ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－43	φ200 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+6. 550	パドル付
PM・B－16	800 × 1750 × 530H	・	○	返送汚泥ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－44	φ200 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+6. 550	パドル付
PM・B－17	800 × 1750 × 530H	・	○	返送汚泥ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－45	φ200 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+6. 550	パドル付
PM・B－18	1000 × 1000 × 600H	・	○	余剰汚泥ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－46	φ200 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+6. 550	パドル付
PM・B－19	1000 × 1000 × 600H	・	○	余剰汚泥ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－47	φ200 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+6. 550	パドル付
PM・B－20	1050 × 1100 × 550H	・	○	余剰汚泥ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－48	φ150 × 800	○	・	終沈スカム移送管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+8. 200	パドル付
PM・B－21	1000 × 1000 × 500H	・	○	終沈スカム 移送ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－49	φ150 × 850	○	・	余剰汚泥管	P3－F4	○→○	図示	○→○BOP▽+9. 800	パドル付
PM・B－22	1000 × 1000 × 500H	・	○	移送ポンプ	－ B4	○→○	図示	○→○	無筋コン t=200	PM・P－50	φ150 × 850	○	・	初沈汚泥管	P3－F4	○→○	図示	○→○BOP▽+9. 800	パドル付
・－	×	・	・		－	○→○		○→○		PM・P－51	φ150 × 850	○	・	余剰汚泥管(将来)	P3－F4	○→○	図示	○→○BOP▽+9. 800	パドル付
・－	×	・	・		－	○→○		○→○		PM・P－52	200A × 850	○	・	消泡水管	P1－F4	○→○	図示	○→○BOP▽+9. 800	パドル付
・－	×	・	・		－	○→○		○→○		PM・P－53	80A × 850	○	・	床排水管	P1－F4	○→○	図示	○→○BOP▽+10. 400	パドル付
・－	×	・	・		－	○→○		○→○		PM・P－54	100A × 4000	・	○	消泡水管	P1－	○→○	図示	○→○	パドル付
・－	×	・	・		－	○→○		○→○		PM・P－55	100A × 4000	・	○	消泡水管	P1－	○→○	図示	○→○	パドル付
PM・P－1	φ150 × 1700	○	・	初沈汚泥管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+8. 750	パドル付	PM・P－56	100A × 4000	・	○	消泡水管	P1－	○→○	図示	○→○	パドル付
PM・P－2	φ150 × 1700	○	・	初沈汚泥管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+8. 750	パドル付	PM・P－57	φ150 × 800	○	・	終沈スカム移送管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+11. 250	パドル付
PM・P－3	φ150 × 1700	○	・	初沈汚泥管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+8. 750	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－4	φ150 × 1700	○	・	初沈汚泥管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+8. 750	パドル付	C・P－1	φ600 × 1000	・	・	流入管	P3－F1	○→○	図示	○→○COP▽+11. 700	
PM・P－5	φ150 × 1700	○	・	初沈汚泥管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+8. 750	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－6	φ150 × 1700	○	・	初沈汚泥管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+8. 750	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－7	φ150 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+9. 300	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－8	φ150 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+9. 300	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－9	φ150 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+9. 300	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－10	φ150 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+9. 300	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－11	φ150 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+9. 300	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－12	φ150 × 2100	○	・	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○COP▽+9. 300	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－13	φ150 × 800	○	・	初沈スカム移送管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+9. 300	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－14	φ150 × 800	○	・	初沈スカム移送管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+16. 150	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－15	φ125 × 600	○	・	脱臭ダクト	P1－F5	○→○	図示	○→○COP▽+16. 150	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－16	φ300 × 3400	・	○	脱臭ダクト	P1－	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－17	φ300 × 3400	・	○	脱臭ダクト	P1－	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－18	100A × 3400	・	○	床排水管	P1－	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－19	φ150 × 3400	・	○	余剰汚泥管	P3－	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－20	φ200 × 3400	・	○	池排水管	P3－	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－21	φ150 × 3400	・	○	余剰汚泥管(将来)	P3－	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－22	φ150 × 3400	・	○	終沈スカム移送管	P3－	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－23	φ150 × 3400	・	○	スカム分離液管	P3－	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－24	φ200 × 1000	○	・	池排水管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+6. 550	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－25	φ200 × 1000	○	・	池排水管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+6. 550	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－26	φ200 × 1000	○	・	池排水管	P3－F4	○→○	図示	○→○COP▽+6. 550	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－27	250A × 900	・	○	空気管	P1－F4	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	
PM・P－28	250A × 900	・	○	空気管	P1－F4	○→○	図示	○→○	パドル付	・－	×	・	・		－	○→○		○→○	

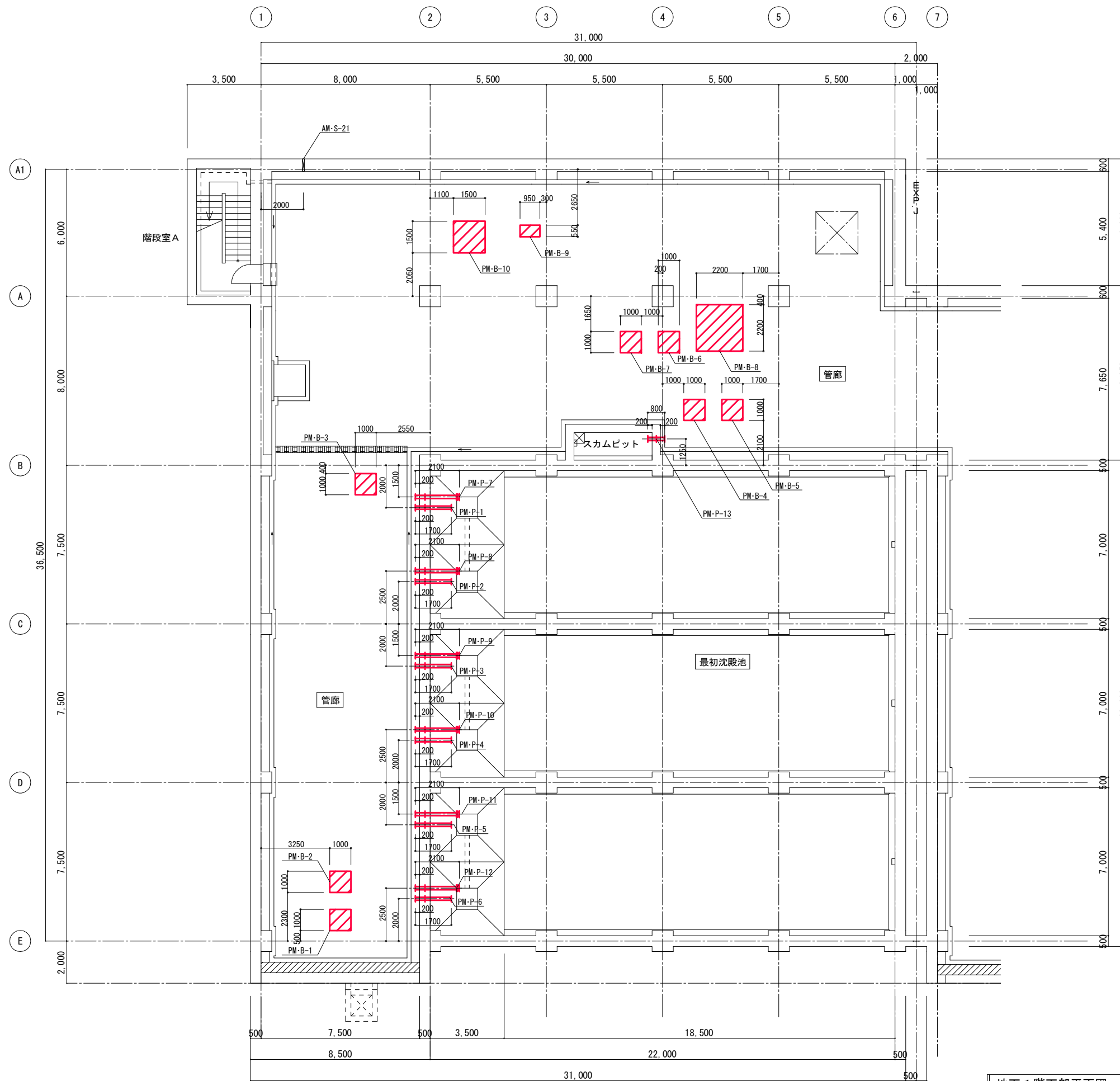
注記：PM・B については、無筋コンクリート部の箱抜きとする。（図面番号 H-1 B4参照）

差筋高さは、機械施工の仕上げ高さ（600H等）に合わせること。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	貫通孔・埋込管及び 機器基礎仕様書（2）
縮 尺	－
図面番号	全 枚中 H-2 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

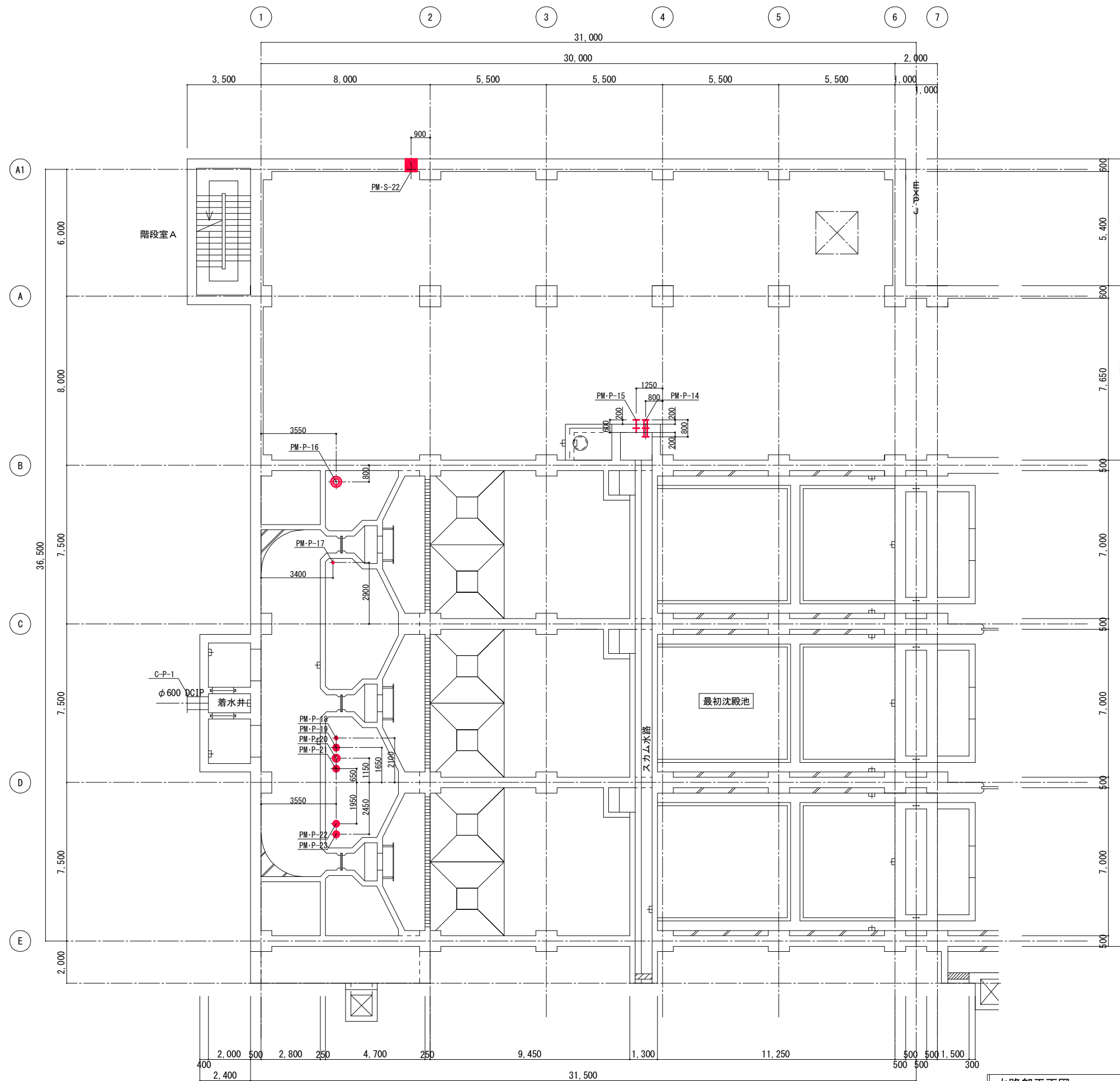
貫通孔、埋込管 及び 機器基礎リスト																	
符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材 料 ー 形 式	位 置		備 考	符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材 料 ー 形 式	位 置		備 考
・ -	×	・	・		—	○→○	○→○		PM・S - 56	500 × 200	○	・	PAC受入管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+17. 200
・ -	×	・	・		—	○→○	○→○		PM・S - 57	350 × 150	○	・	PAC注入管 消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+19. 500
・ -	×	・	・		—	○→○	○→○		PM・S - 58	φ300 ×	・	○	消泡水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 4	φ150 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 59	φ150 ×	・	○	PAC注入管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 5	φ150 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 60	φ300 ×	・	○	消泡水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 6	φ150 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 61	φ150 ×	・	○	PAC注入管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 7	φ150 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 62	φ300 ×	・	○	消泡水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 8	φ150 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 63	φ150 ×	・	○	PAC注入管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 9	φ150 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 10	φ100 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 11	φ100 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 12	φ100 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 67	φ200 ×	・	○	消泡水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 13	φ100 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 68	φ200 ×	・	○	消泡水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 14	φ100 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 69	φ200 ×	・	○	消泡水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 15	φ100 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 70	φ150 ×	・	○	終沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 16	φ350 ×	・	○	脱臭ダクト	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 71	φ150 ×	・	○	終沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 17	φ350 ×	・	○	脱臭ダクト	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 72	φ150 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 18	φ350 ×	・	○	脱臭ダクト	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 73	φ150 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○
・ -	×	・	・		—	○→○	○→○		PM・S - 74	φ150 ×	・	○	終沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 20	φ350 ×	・	○	池排水管	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 75	φ150 ×	・	○	終沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 21	φ350 ×	・	○	スカム分離液管	—	○→○	図示	○→○	PM・S - 76	φ100 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 22	φ550 ×	○	・	脱臭ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+15. 050	PM・S - 77	φ100 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 23	φ200 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	PM・S - 78	φ100 ×	・	○	初沈汚泥 かき寄せ機	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 24	φ200 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	PM・S - 79	φ300 ×	・	○	脱臭ダクト	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 25	φ250 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	PM・S - 80	φ300 ×	・	○	脱臭ダクト	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 26	φ250 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 27	φ250 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 28	φ200 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 29	φ200 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 30	φ250 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	AM・S - 1	φ200 ×	○	・	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+20. 200
PM・S - 31	φ250 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	AM・S - 2	φ200 ×	○	・	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+20. 200
PM・S - 32	φ250 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	AM・S - 3	φ200 ×	○	・	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+20. 200
PM・S - 33	φ200 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	AM・S - 4	φ200 ×	○	・	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+20. 200
PM・S - 34	φ200 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	AM・S - 5	φ200 ×	○	・	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+20. 200
PM・S - 35	φ250 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	AM・S - 6	φ200 ×	○	・	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+20. 200
PM・S - 36	φ250 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	AM・S - 7	φ200 ×	○	・	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+20. 200
PM・S - 37	φ250 ×	○	・	消泡水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 600	AM・S - 8	φ200 ×	○	・	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+20. 200
PM・S - 38	φ300 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+14. 200	AM・S - 9	φ100 ×	・	○	ドレン管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 39	φ300 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+14. 200	AM・S - 10	φ100 ×	・	○	ドレン管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 40	φ300 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+14. 200	AM・S - 11	φ100 ×	・	○	ドレン管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 41	φ200 ×	○	・	ドレン管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 350	AM・S - 12	φ100 ×	・	○	ドレン管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 42	φ300 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+14. 200	AM・S - 13	750 × 900	○	・	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○ COP▽+19. 950
PM・S - 43	φ300 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+14. 200	AM・S - 14	1800 × 1200	・	○	換気ダクト	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 44	φ300 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+14. 200	AM・S - 15	φ100 ×	・	○	給排水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 45	φ200 ×	○	・	ドレン管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 350	AM・S - 16	φ100 ×	・	○	給排水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 46	φ300 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+14. 200	AM・S - 17	φ100 ×	・	○	給排水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 47	φ300 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+14. 200	AM・S - 18	φ100 ×	・	○	給排水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 48	φ300 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+14. 200	AM・S - 19	φ100 ×	・	○	給排水管	—	○→○	図示	○→○
PM・S - 49	φ200 ×	○	・	ドレン管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+13. 350	AM・S - 20	φ100 ×	・	○	給排水管	—	○→○	図示	○→○
・ -	×	・	・		—	○→○	○→○		AM・S - 21	φ100 ×	○	・	給排水管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+15. 300
・ -	×	・	・		—	○→○	○→○		・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
・ -	×	・	・		—	○→○	○→○		・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 53	φ850 ×	・	○	空気管	—	○→○	図示	○→○	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 54	φ850 ×	○	・	空気管	—	○→○	図示	○→○ COP▽+18. 100	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○
PM・S - 55	φ850 ×	・	○	空気管	—	○→○	図示	○→○	・ -	×	・	・		—	○→○		○→○

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	貫通孔・埋込管及び 機器基礎仕様書（3）
縮 尺	—
図面番号	全 枚中 H-3 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



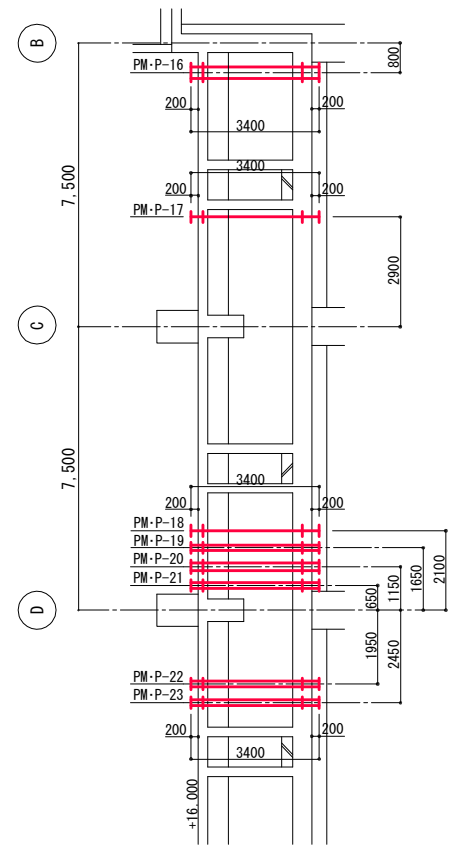
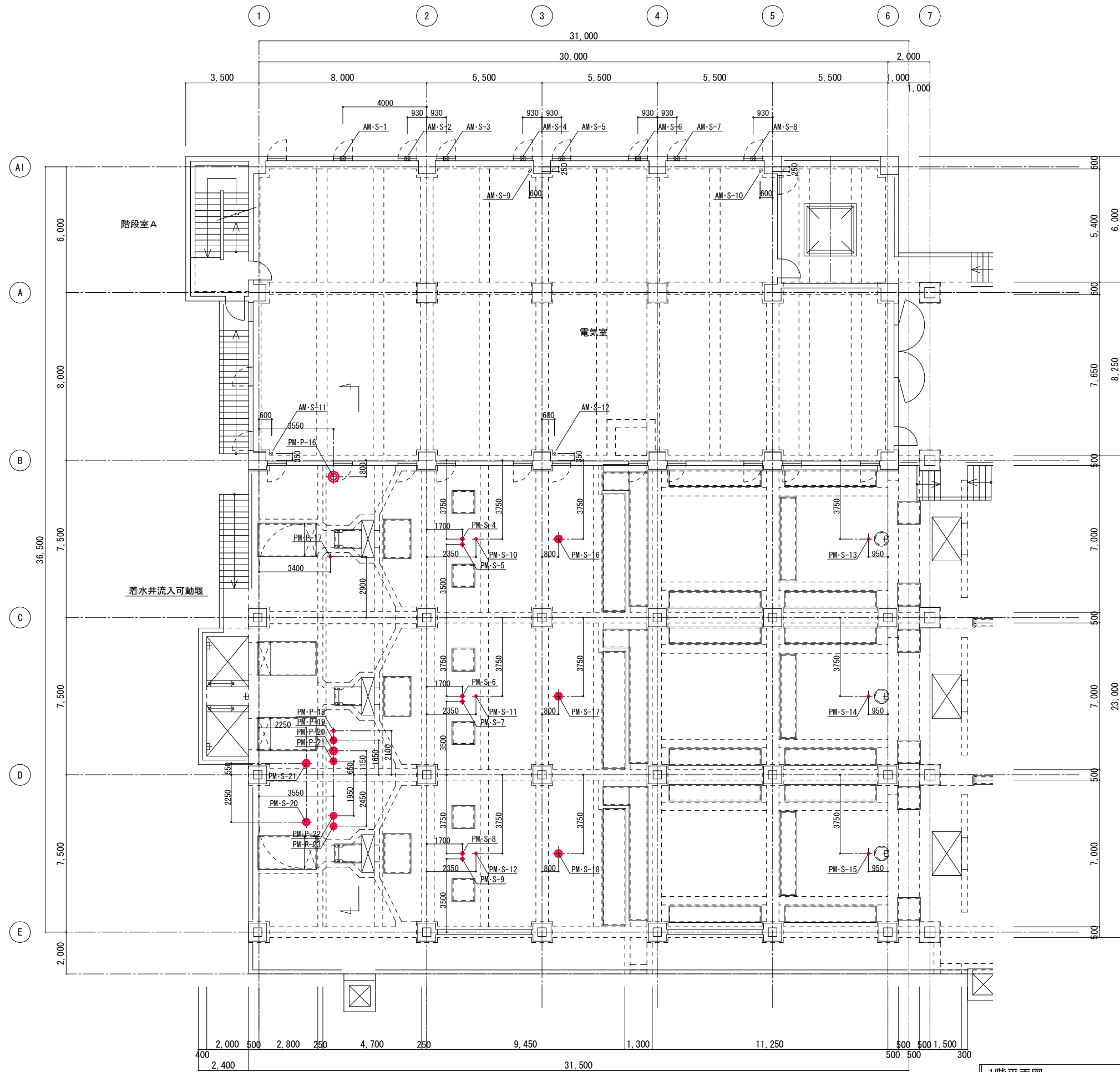
地下 1 階下部平面図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	箱抜及び埋込配管図（1）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 H-4 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



水路部平面図 1/100

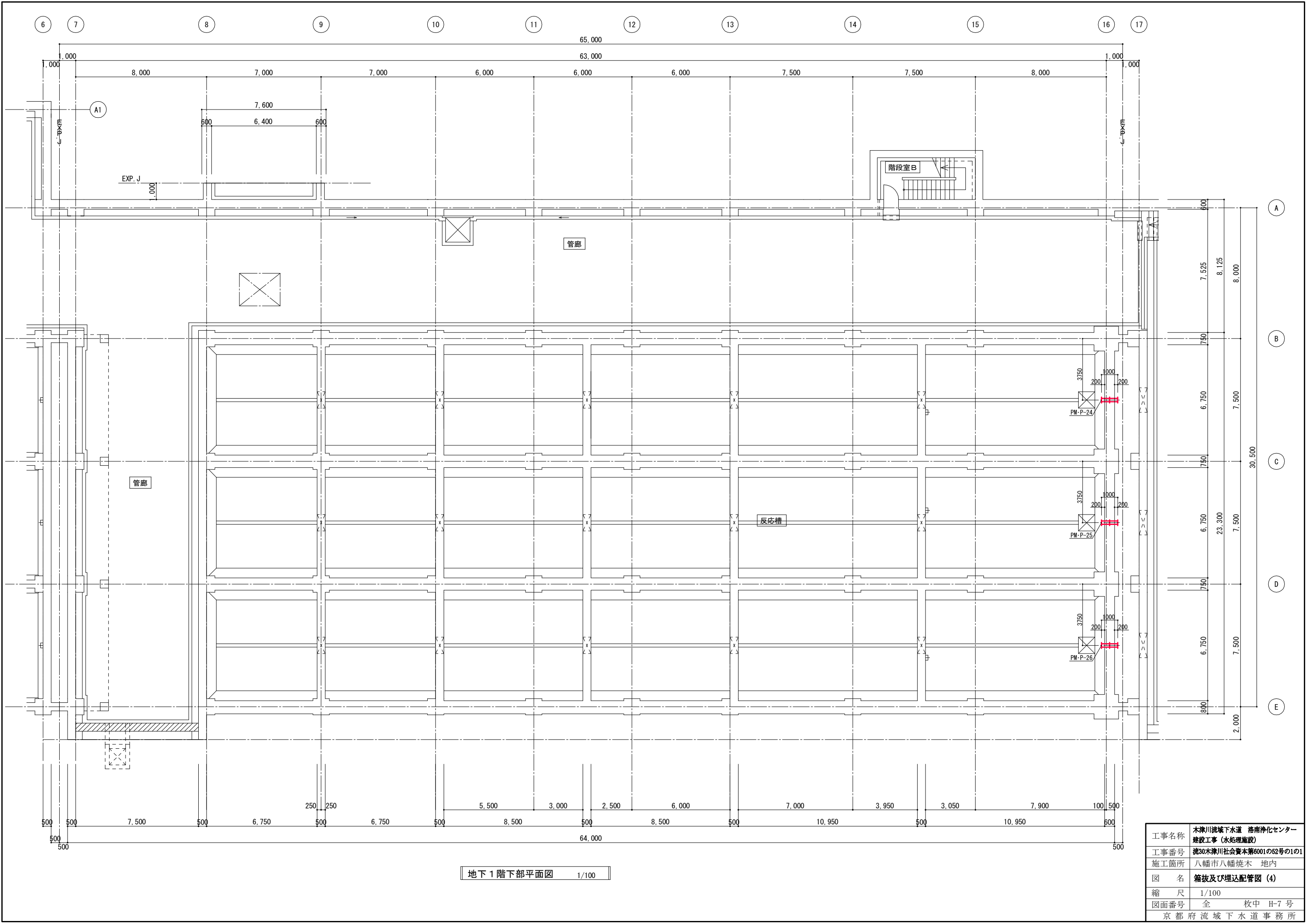
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	箱抜及び埋込配管図 (2)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 H-5 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



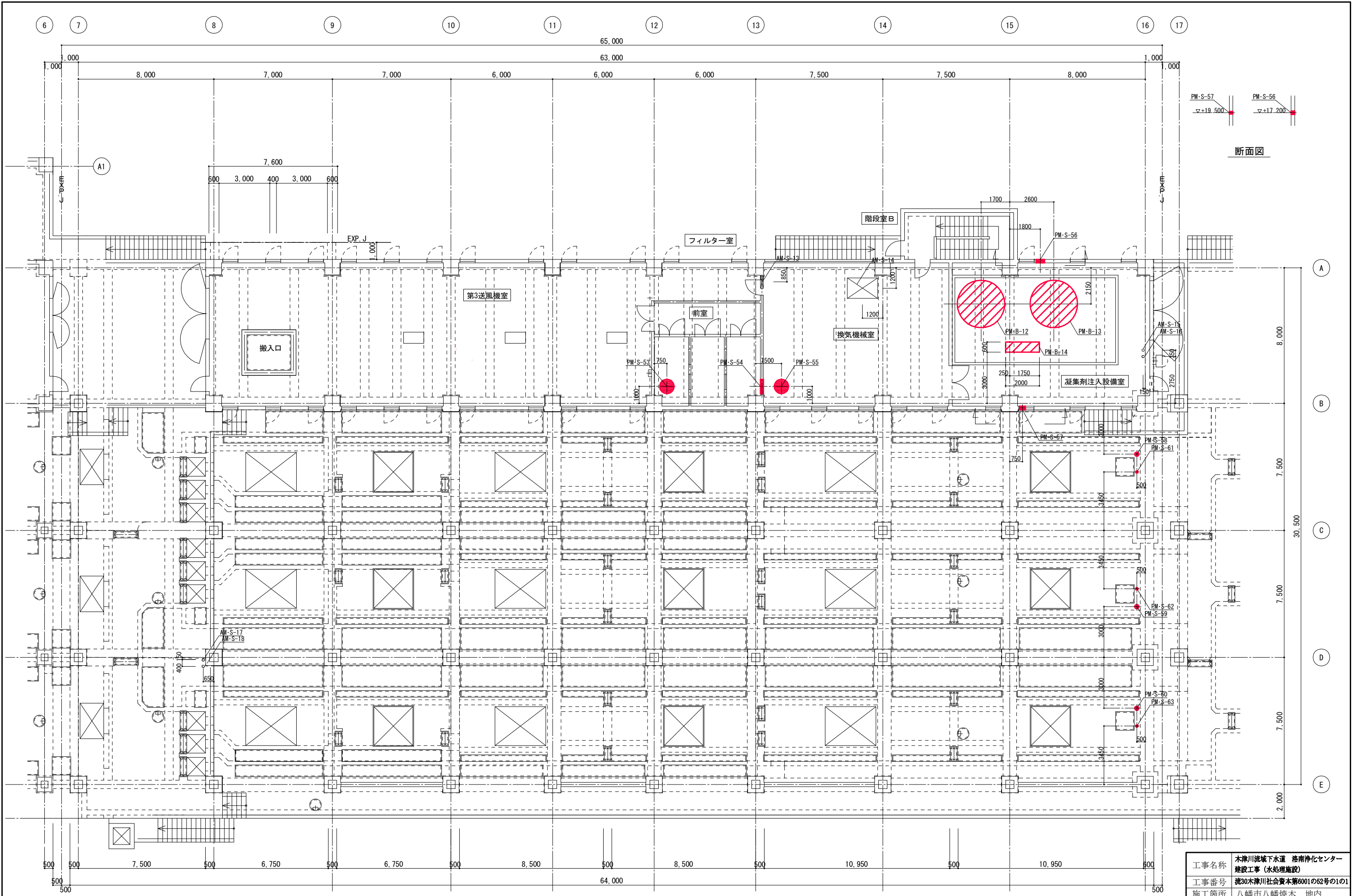
断面図

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	箱抜及び埋込配管図（3）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 H-6 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

1階平面図 1/100

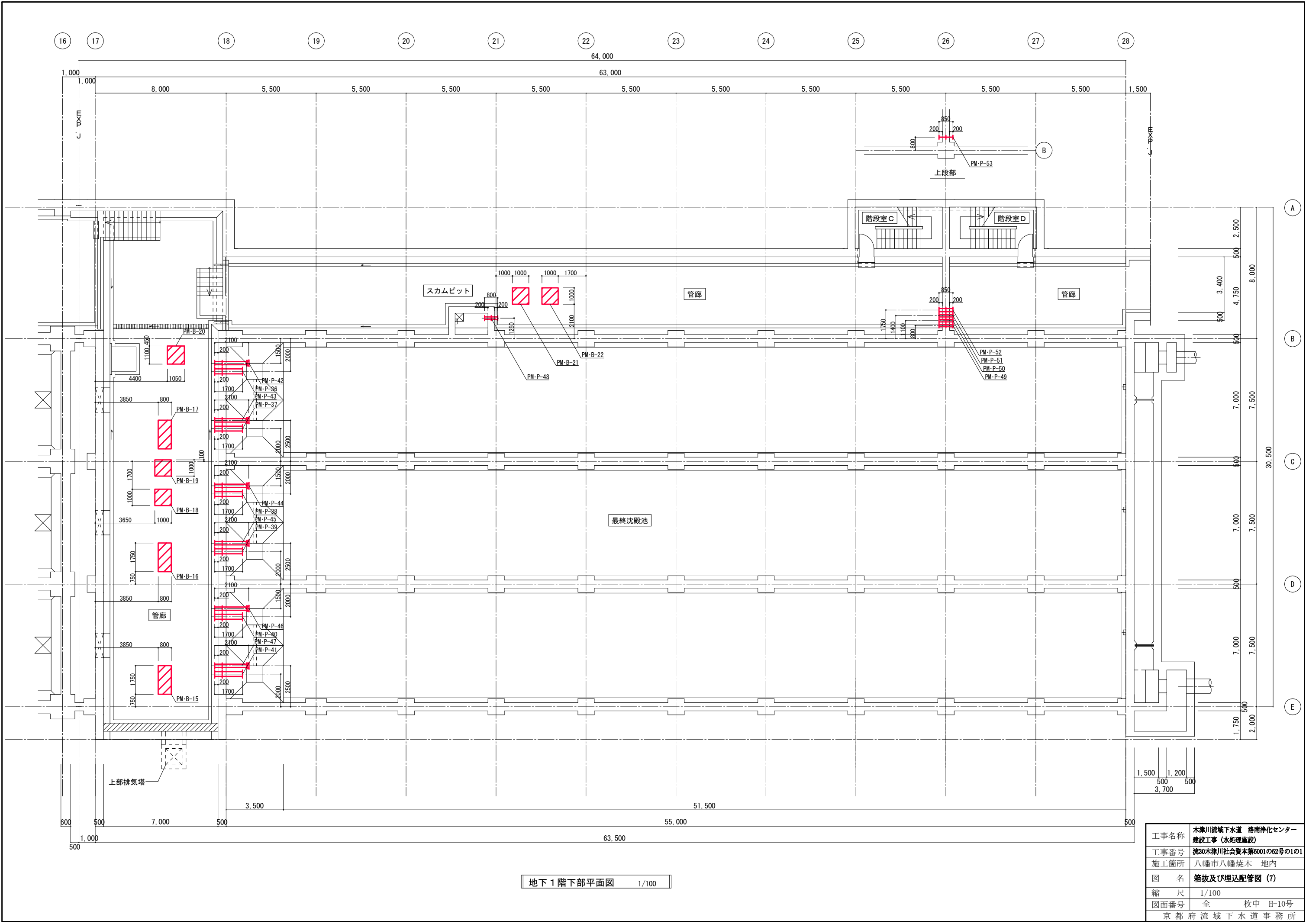


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	箱抜及び埋込配管図（4）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 H-7 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



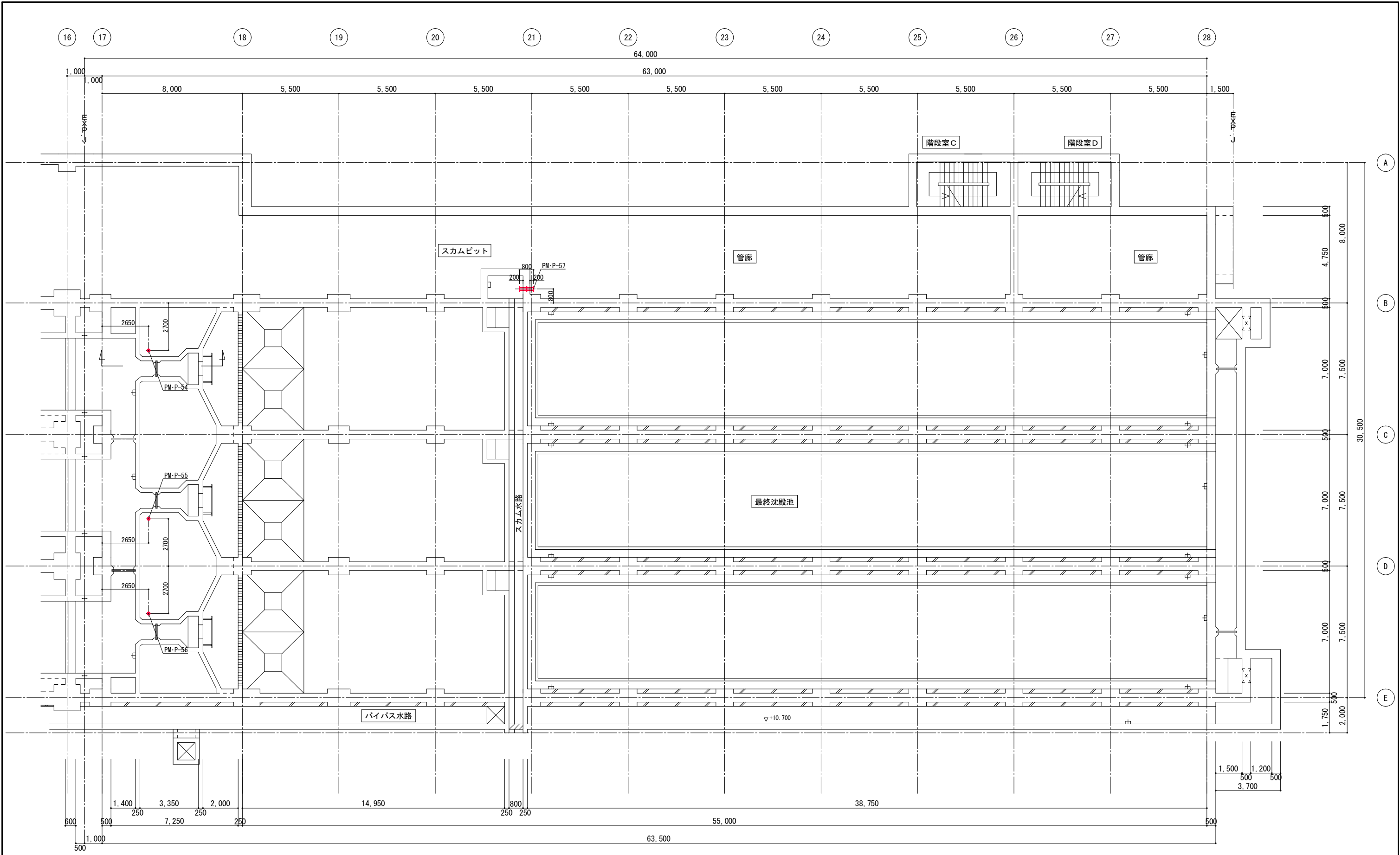
1階平面図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	箱抜及び埋込配管図（6）
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 H-9 号
京都府流域下水道事務所	

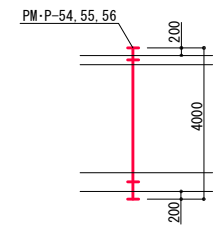


地下1階下部平面図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	箱抜及び埋込配管図 (7)
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 H-10号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

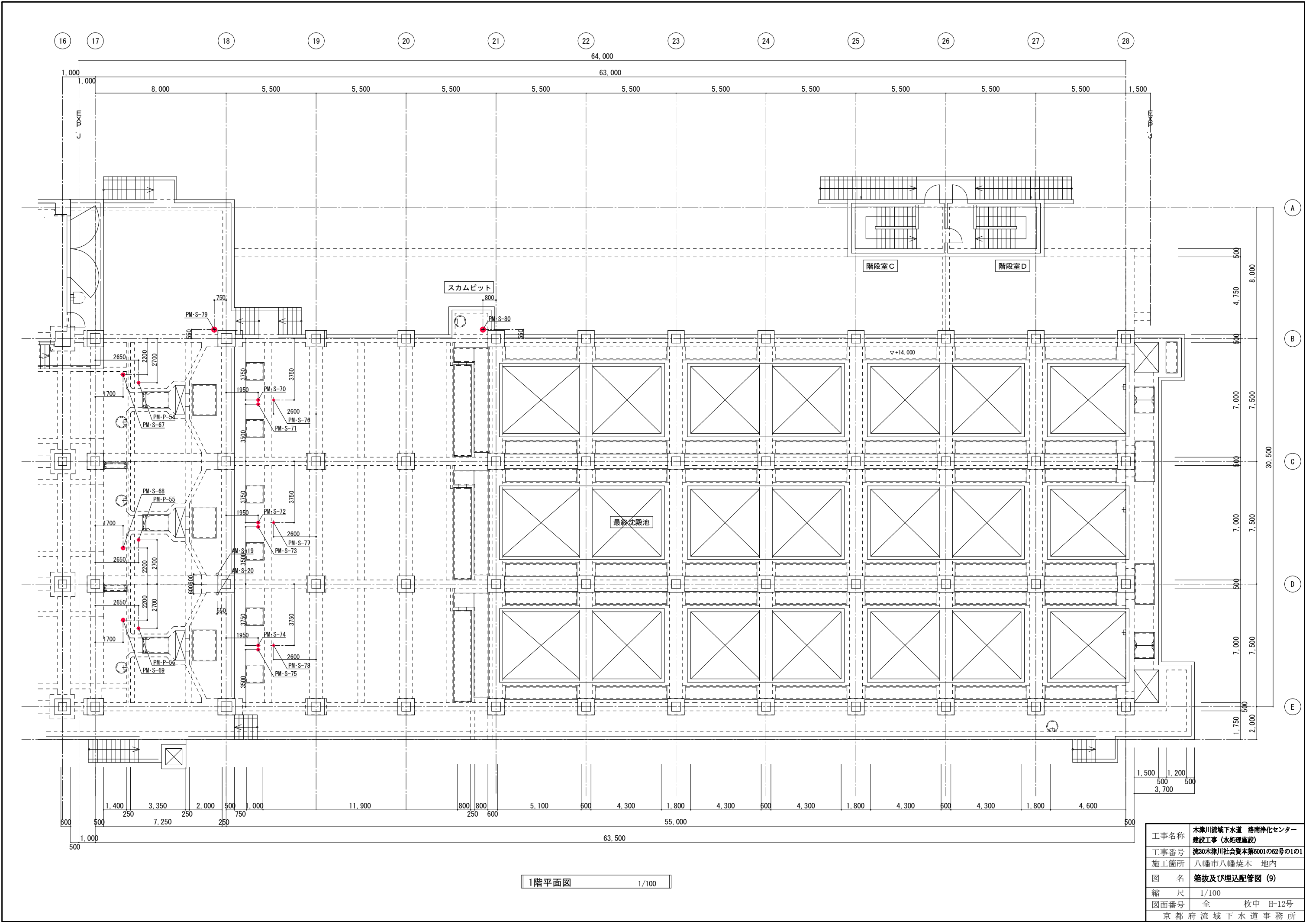


水路部平面図 1/100



断面図

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	箱抜及び埋込配管図 (8)
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 H-11号
京都府流域下水道事務所	



1階平面図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	箱抜及び埋込配管図（9）
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 H-12号
京都府流域下水道事務所	

構造細目共通図（複合構造物） ＜平成30年版＞ ※ 本図面は（一社）全国上下水道コンサルタント協会が著作権を有するものである。 使用にあたっては、上記協会への使用願いの提出と、配布番号の記載が必要である。 枠外右下の【協会員番号】と【配布番号】の記載が無い図面は無効とする。.....					
1 特記事項					
1. 1 適用範囲					
(1) 本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の複合構造物に適用する。 (2) 土木工事と建築工事の区分は図面による。 (3) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。					
土木工事	1) 土木工事特記仕様書 全国上下水道コンサルタント協会 2) 土木工事共通仕様書 国土交通省**地方整備局 3) コンクリート標準示方書・施工編 土木学会 4) コンクリート標準示方書・設計編 土木学会		(別紙による。) (平成 年版) (2012年版) (2012年版)		
建築工事	1) 建築工事特記仕様書 2) 建築工事一般仕様書 3) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通省大臣官房官庁営繕部		(別紙による。) (平成27年版) (平成28年版)		
(4) 項目は、○印のついたものを適用する。⊙印のない場合は、※印のあるものを適用する。⊙印と⊗印のある場合は、共に適用する。					
1. 2 鉄筋の仕様					
鉄筋の種類及び継手は1. 2. 1表による。					
1. 2. 1表 鉄筋の種類及び継手					
	種別	径			
		土木	建築		
鉄筋の種類	SD295A	_____	※D16以下 ・		
	※SD345 ・SD390 ・SD490	※D13以上 ・	_____		
	SD345	_____	※D19以上		
	鉄筋の継手	重ね継手	下記以外		
鉄筋の継手	ガス圧接	※D19以上の柱、梁主筋 ※D16以上の増設端の床、壁鉄筋 ・	※D19以上、D29以下の柱、梁主筋 ・		
	機械式継手	・図面による。			
1. 3 コンクリートの仕様					
コンクリートは1. 3. 1表による。					
1. 3. 1表 コンクリートの仕様					
分類		コンクリート種別	設計基準強度 (N/mm ² ・u2)	スラブ (cm)	セメントの種類
土木	鉄筋コンクリート	※普通コンクリート ・	※24 ・30	※12 ・	※高炉セメントB ・普通ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント
建築	鉄筋コンクリート	地上	※普通コンクリート ・	※24 ・	※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
		地下基礎、基礎梁	※普通コンクリート ・	※24 ・	※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
土木	無筋コンクリート	※普通コンクリート ・	※18 ・	※12 ・	※高炉セメントB ・普通ポルトランドセメント
建築	無筋コンクリート	※普通コンクリート ・	※18 ・	※15 ・	・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB
注1：無筋コンクリートには均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。					

1. 4 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリート	
砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは1. 4. 1表による。	
1. 4. 1表 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの仕様	
部 位	種 別
土 木 工 事	砂利または砕石
	均しコンクリート
建 築 工 事	砂利または砕石
	捨てコンクリート
2 共通事項	
2. 1 記号及び符号	
設計図中で使用する記号及び符号は、2. 1. 1表及び2. 1. 2表を標準とする。	
2. 1. 1表 鉄筋の断面表示	
区分	径
D 10	D 13
D 16	D 19
D 22	D 25
D 29	D 32
建 築	・
土 木	×
	∅
	●
	○
	⊙
	⊗
	⊕
・ 又は建築による。	
2. 1. 2表 一般凡例	
記 号 符 号	内 容
F ※	フーチング断面種別
※ 1 C ※ 2	※ 1 階数 ※ 2 その階の番号
※ 1 G ※ 2	※ 1 階数、地中大梁はFとする ※ 2 その階の番号 X 方向 1, 2, 3 - - - Y 方向 A, B, C - - -
C G ※	片持大梁断面種別
※ 1 B ※ 2	※ 1 地中小梁のみFとする ※ 2 階別区部はしない 地中小梁を除く
C B ※	片持小梁断面種別
※ 1 W ※ 2	※ 1 E：耐震壁、K：階段壁 D：土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない ※ 2 壁厚 (cm)
※ 1 S ※ 2 ※ 3	※ 1 片持床版のみCとする ※ 2 床版厚 (cm) ※ 3 配筋種別 (英大文字) 階別区分はしない
※ 1 K ※ 2	※ 1 A：片持床版形 B：二辺固定床版形 ※ 2 配筋種別 (数字) 階別区分はしない
C B ※	コンクリートブロック壁
打ち増し範囲	
梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの＋、－に応じた凡例により表示
(※)	床用積載荷重
STP	あばら筋、スターラップ
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ
S. HOOP	スパイラル筋、らせん筋
幅止筋	幅止め筋
組立筋	組立て筋
(用語の定義)	
・ 床版とは、常時荷重及び地震時荷重を負担する主部材をいう。壁式構造のボックスカルバートやラーメン構造の頂版や底版がある。	
・ スラブとは、常時荷重のみを負担する梁に支持される副部材をいう。	
2. 2 一般注意事項	
(1) 設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。 変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。	

3 土木工事

3. 1 鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、3. 1. 1表及び3. 1. 2表を標準とする。

(1) Dは、折曲げ内法直径を示す。

(2) dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。

3. 1. 1表 鉄筋曲げ加工（1）

位 置	曲げ 角度	折曲げ図及び 折曲げ後の余長	曲げ内法 直径	使 用 箇 所	
末端部	180°	 4 d 以上かつ 60 mm 以上	5 d 以上	定着末端部	
	135°	 6 d 以上かつ 60 mm 以上	5 d 以上	スターラップ、 帯鉄筋、 フープ筋 等	
	90°	 12 d 以上	5 d 以上		
	90° 135°	 4 d 以上	5 d 以上	梁	幅止め鉄筋
	90°	 100 mm		壁	
		 100 mm (馬筋) 直交方向に 90°		床版 底版	
中間部	90°	 D	5 d 以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋	
	$\theta < 90^\circ$	 D θ	10 d 以上	折曲げ鉄筋	

3. 1. 2表 鉄筋曲げ加工（2）

位 置	曲げ 角度	折曲げ図	曲げ内法 直径	使 用 箇 所	
最上階	90°	 D	20 d 以上	ラーメン隅角部	
一般階	90°	 D	5 d 以上		

3. 2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、3. 2. 1表によりフックを設ける。

3. 2. 1表 フックを設ける位置

部 位		継手方式		備 考
		重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	—	1) 最上階の柱頭	3.2.1 図の●印 3.8.1 図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	—	1) 下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部	3.2.1 図の●印 3.8.2 図参照
	帯筋(HOOP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	3.9.1 図参照
梁	あばら筋(STP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	3.12.1 図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底版筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	3.25.1 図参照
煙突の鉄筋		1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋		—	—	3.1.1 表参照

平面	
3. 2. 1図 異形鉄筋の末端部	
3. 3 鉄筋のかぶり及び間隔	
3. 3. 1 かぶり厚さ かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋を除く）の外面から躯体面までの距離（3. 3. 1図）をいう。 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。	
柱	梁
基礎	
a 部	
3. 3. 1図 鉄筋のかぶり厚さ	
3. 3. 2 最小かぶり厚さ 最小かぶり厚さは、3. 3. 1表による。 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。	
3. 3. 1表 鉄筋の最小かぶり厚さ (mm)	
※ 通常の施工の場合	
環 境	部 位
大気中	床版・スラブ・梁
水中・土中等	柱・壁
	底版・フーチング
・ 塩害対策地域の施工の場合	
対策区分	環 境
I	大気中
	水中・土中等
II, III	大気中
	水中・土中等
1：部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。 2：杭基礎の底版・フーチング下端筋のかぶり厚さは、7. 杭基礎の補強を参照する。	
〔注〕梁：大梁、小梁、基礎梁、片持梁をいう。	
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図（複合構造物）（1）
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-1 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	
AWS C J（第3版）－064－003	

3 土木工事

3. 4 鉄筋相互のあき

3. 4. 1 梁・壁・床版

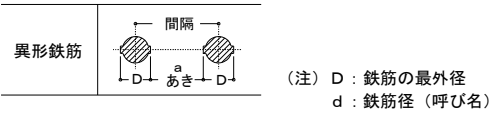
鉄筋相互のあきは、下記（１）、（２）、（３）の最大値以上とする。

- （１）粗骨材の最大寸法の4／3倍
（２）最小のあき25mm
（３）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の1.5倍

3. 4. 2 柱

鉄筋相互のあきは、下記（１）、（２）、（３）の最大値以上とする。

- （１）粗骨材の最大寸法の4／3倍
（２）最小のあき40mm
（３）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の1.5倍



3. 4. 1 図 鉄筋のあき

3. 4. 1 表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 (mm)		鉄筋相互のあき：a			最小鉄筋芯間隔	
鉄筋径 d	最外径 D	(1) 粗骨材径×4/3倍	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5	(梁) a＋D	(柱) a＋D
D13	14	33mm 粗骨材 最大径 25mm の場合	梁：25mm 柱：40mm	20mm	47mm	54mm
D16	18			24mm	51mm	58mm
D19	21			29mm	54mm	61mm
D22	25			33mm	58mm	65mm
D25	28			38mm	66mm	68mm
D29	33			44mm	77mm	77mm

3. 5 鉄筋の継手及び定着

3. 5. 1 継手長及び定着長の基本

- （１）鉄筋の重ね継手長さは3.5.1表、定着の長さは3.5.2表による。
① 本表の適用は、鉄筋種類SD345、鉄筋径D13～D32とする。
② 定着長は折曲げ加工後の直線部分で確保する。
③ 壁、床版、底版の主鉄筋の中心間隔が100mm未満の場合は、別途図示による。

3. 5. 1 表 鉄筋の重ね継手長さ

鉄筋の種 類	鉄筋径	設計基準強度	S [^] d1：重ね継手長			
			鉄筋中心間隔200mm以上	100mm以上200mm未満	フックなし	フックあり
SD345	D16以下	24以上 27未満 (N/mm ²)	40・d	30・d	50・d	40・d
	D19～D22		45・d	35・d	60・d	50・d
	D25～D32		50・d	40・d	65・d	55・d

3. 5. 2 表 鉄筋の定着長さ

鉄筋の種 類	鉄筋径	設計基準強度	S [^] d2：定着長		S [^] d3：定着長		S [^] d4：定着長	
			フックなし	フックあり	フックなし	フックあり	フックなし	フックあり
SD345	D16以下	24以上 27未満 (N/mm ²)	40・d	30・d	35・d	25・d	35・d	25・d
	D19～D22		50・d	40・d	40・d	30・d	35・d	25・d
	D25～D32		60・d	50・d	45・d	35・d	35・d	25・d

- （２）S[^]d2、S[^]d3、S[^]d4の適用区分を以下に記す。

S[^]d2：（最上層）大梁上端、基礎梁上端、床版（壁構造）、床版上端（ラーメン構造）、底版。

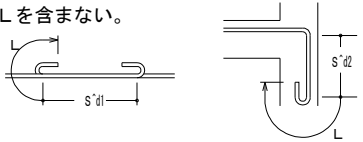
S[^]d3：柱、壁、（中間層）大梁上端、大梁下端、床版下端（ラーメン構造）、基礎梁下端。

S[^]d4：小梁、スラブ（地震力を受けない部材）。

- （３）径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。

- （４）継手は相互にずらすことを原則とする。

- （５）フックのある場合の継手長及び定着長には、3.5.1図に示すようにフック部分しを含まない。

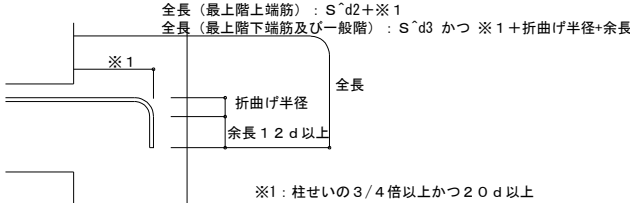


3. 5. 1 図 フックのある場合の継手及び定着要領

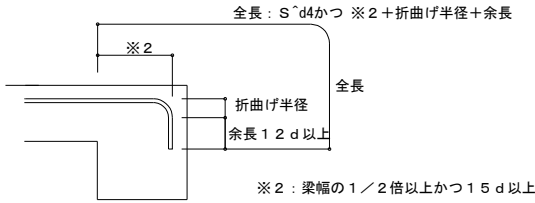
3. 5. 2 継手の特記事項

- （１）継手は極力応力の小さい位置に設ける。
（２）異なる径の鉄筋をガス圧接する場合、鉄筋径の差が5mmを超える圧接をしてはならない。

3. 5. 3 梁主筋の柱内定着



3. 5. 2 図 梁主筋の柱内定着要領

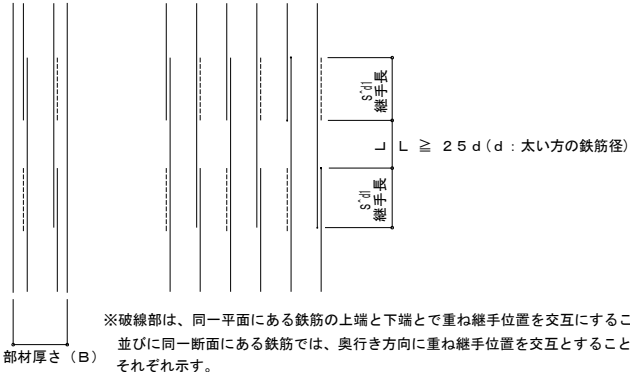


3. 5. 3 図 小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着要領

3. 6 隣り合う継手の位置

3. 6. 1 鉄筋の重ね継手

- （１）同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。
（２）ずらす距離（L）は、太いほうの鉄筋径の25倍以上とする。
（３）前記（２）を確保できない場合等は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。
（４）継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。

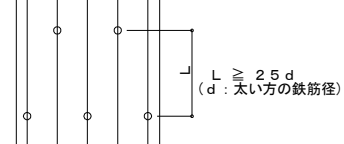


3. 6. 1 図 重ね継手工法

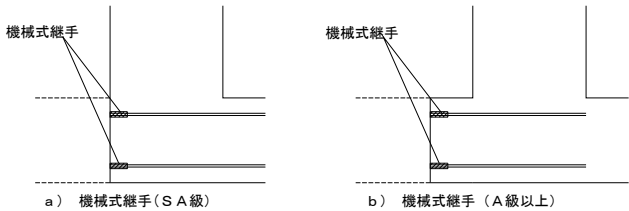
3. 6. 2 鉄筋のガス圧接および機械式継手

鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は「鉄筋定着・継手指針[2007年版]」（土木学会）による。機械式継手は、ねじふし鉄筋継手工法とする。また、ねじふし鉄筋工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

- （１）同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。
（２）ガス圧接の場合のずらす距離（L）は、太い方の鉄筋径の25倍以上とする。
（３）機械式継手の場合のずらす距離（L）は、太いほうの鉄筋径の25倍以上とする。
（４）機械式継手をイモ継ぎ部に使用する場合、継手性能はSA級かつ継手信頼度をI種とする。なお、3.6.3図 b）に示すように、隅角端部から継手位置まで必要な離間を確保した場合はA級を選定することができる。詳細は「鉄筋定着・継手指針[2007年版]」（土木学会）による。



3. 6. 2 図 ガス圧接継手工法及び機械式継手工法

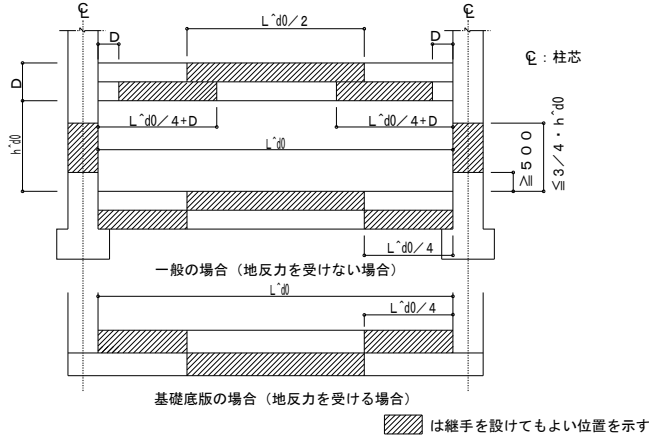


3. 6. 3 図 機械式継手におけるイモ継手位置

3. 7 継手及び圧接中心位置（柱、大梁）

継手及び圧接中心位置は図面がない場合は、3.7.1図による。

- （１）柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ3／4h[^]d0（h[^]d0は柱の内法高さ）以下とする。
（２）梁の継手及び圧接中心位置は下記による。
上端筋 中央：L[^]d0／2以内
下端筋 両端：柱面より梁せい（D）以上離し、L[^]d0／4を加えた範囲以内
（３）通常の応力と異なる場合の継手位置は、3.7.1図によらず図面による。

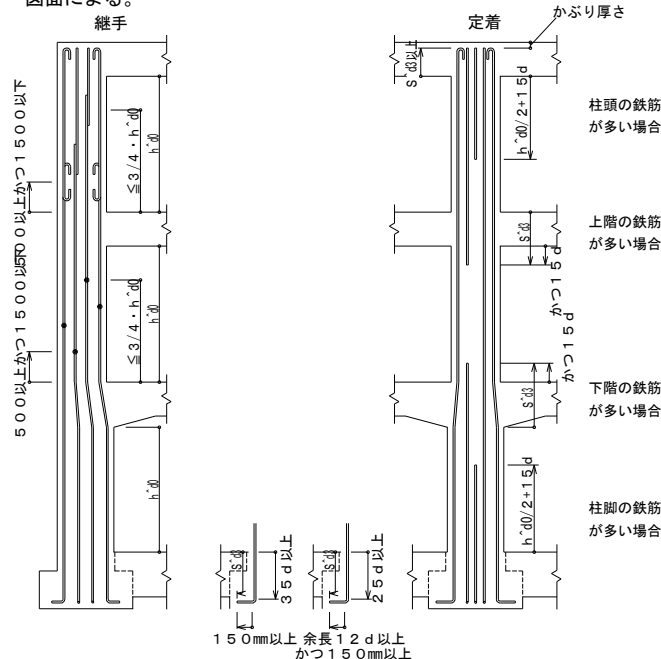


3. 7. 1 図 継手及び圧接中心位置

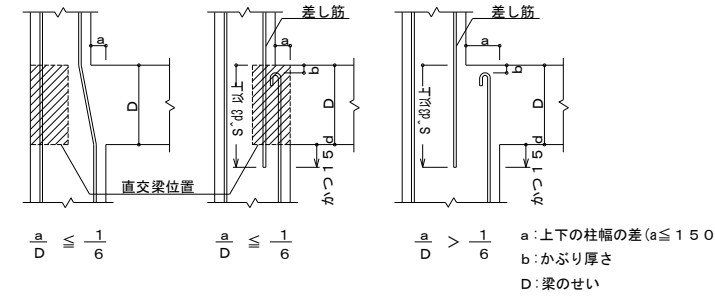
3. 8 柱筋の継手及び定着

3. 8. 1 一般事項

- （１）継手長さはS[^]d1とし、定着及び余長は、3.8.1図による。
（２）柱頭定着長さS[^]d3が確保出来ない場合は、図面による。
（３）上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、3.8.2図による。
（４）柱脚定着長さ25d（余長12d以上）または35dが確保出来ない場合は、図面による。



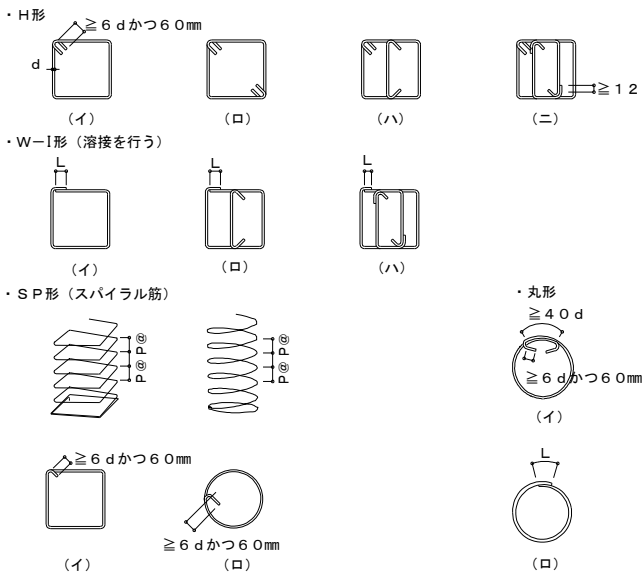
3. 8. 1 図 柱主筋の継手、定着及び余長



3. 8. 2 図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

3. 9 帯筋の形状

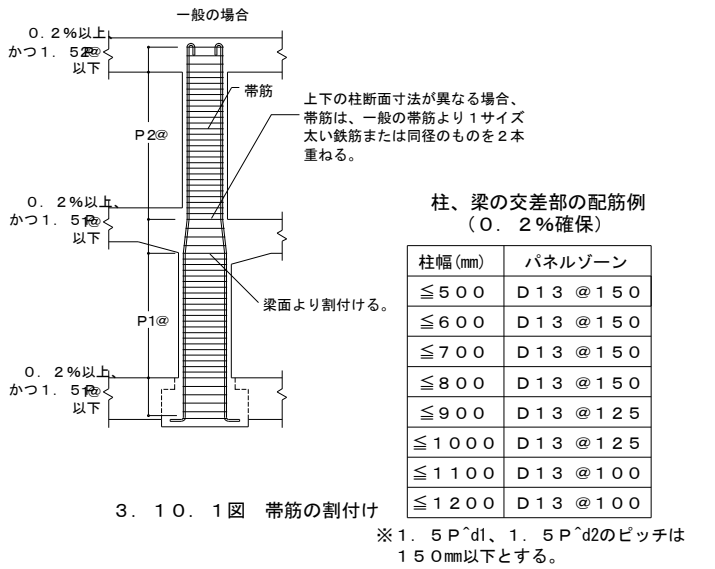
- （１）帯筋の形状は、3.9.1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
（ａ）H形とする。
（ｂ）H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
（ｃ）溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
（ｄ）SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



3. 9. 1 図 帯筋組立の形

3. 10 帯筋の割付け

- （１）フック及び継手の位置は交互とする。
（２）帯筋の割付けは、3.10.1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
（３）柱、梁の交差部（パネルゾーン）の帯筋のせん断補強比は、0.2％以上を確保し、補強筋間隔は1.5P以下とする。



3. 10. 1 図 帯筋の割付け

※1.5P[^]d1、1.5P[^]d2のピッチは150mm以下とする。

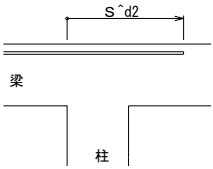
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図（複合構造物）（2）
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-2 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

3 土木工事

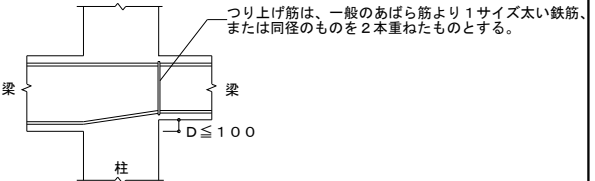
3. 1 1 大梁筋の継手及び定着

3. 1 1. 1 一般事項

- (1) 継ぎ手長さ、定着長さ及び余長は、3. 1 1. 1 図から3. 1 1. 1 0 図による。
- (2) 梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3. 5. 2 図のように柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、3. 1 1. 1 図による。
- (3) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
下端筋：原則として曲げ上げる。
上端筋：曲げ下ろす
梁主筋のみ込み長さは、柱せいの3／4倍以上かつ2 0 d 以上を確保する。
(※ 1) 梁主筋の柱内定着は、3. 5. 2 図による。
- (4) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ1：4 とする。
- (5)  印は、継ぎ手及び余長を示す。
- (6) 破線は柱内定着の場合を示す。
- (7) 3. 2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。
- (8) 段違い梁は3. 1 1. 2 図による。



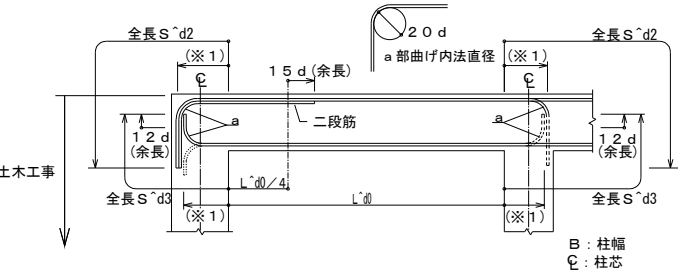
3. 1 1. 1 図 梁主筋を梁内定着



3. 1 1. 2 図 段違い梁

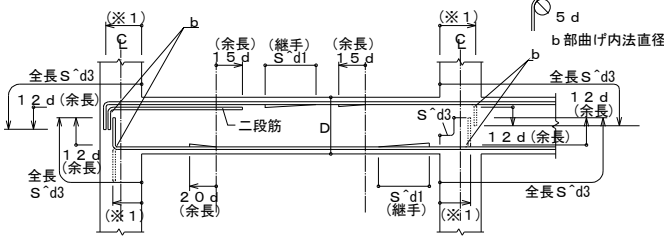
3. 1 1. 2 ハンチのない場合

(1) 最上階の場合

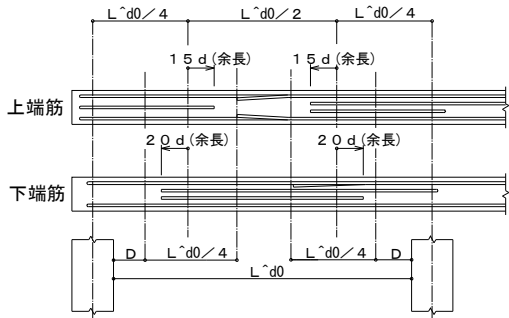


3. 1 1. 3 図 大梁の重ね継手、定着及び余長（最上階）

(2) 一般階の場合



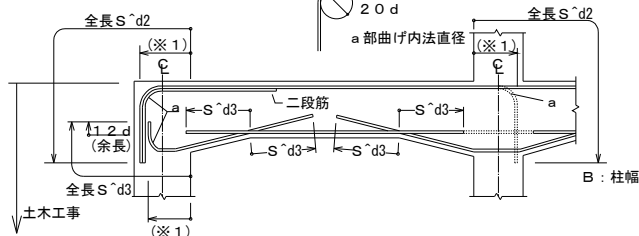
3. 1 1. 4 図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その1）



3. 1 1. 5 図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その2）

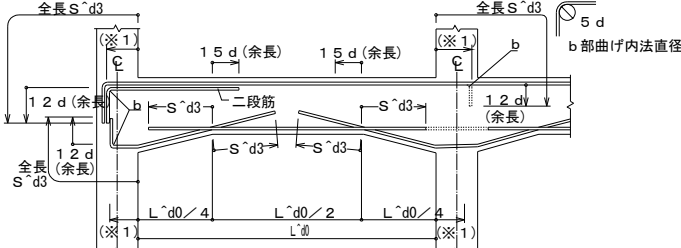
3. 1 1. 3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



3. 1 1. 6 図 ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）

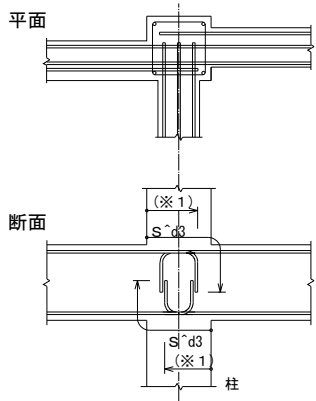
(2) 一般階の場合



3. 1 1. 7 図 ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

3. 1 1. 4 水平段差のある場合

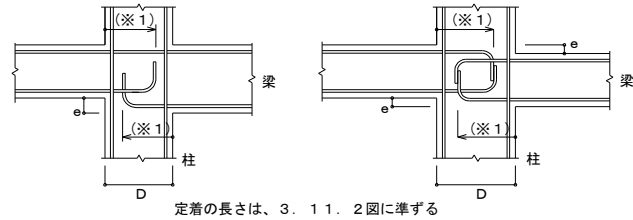
(1) 水平段差のある場合



3. 1 1. 8 図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

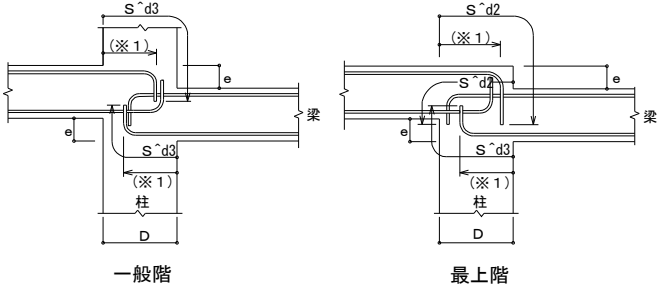
3. 1 1. 5 鉛直段差（e）のある場合

(1) e／D ≤ 1／6 の場合



3. 1 1. 9 図 鉛直段差梁（その1）

(2) e／D > 1／6 の場合



3. 1 1. 10 図 鉛直段差梁（その2）

3. 1 2 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

3. 1 2. 1 一般事項

- (1) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、1 5 0 mm程度とする。
- (2) 壁梁の場合、腹筋の継手長さはS[^]d1、定着長さをS[^]d3 とする。
- (3) 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- (4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D 1 3－1 0 0 0 mmピッチ程度とする。
- (5) 破線は柱内定着の場合を示す。

3. 1 2. 2 あばら筋組立の形及びフックの位置

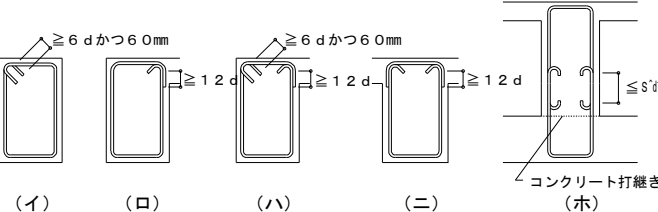
(1) 形は、3. 1 2. 1 図（イ）を標準とする。

ただし（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。

- a. 床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）
b. 床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）

(2) フックの位置

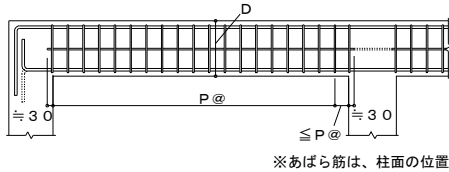
- a. （イ）の場合は交互とする。
b. （ロ）の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側、床版が両側に付く場合は交互
c. （ハ）の場合は床版の付く側を9 0 ° 折曲げる。
d. （ホ）は梁の上下にスラブが付く場合で、かつ梁せいが1. 5 m以上の場合に適用することが出来る。（基礎梁）



3. 1 2. 1 図 あばら筋組立の形及びフックの位置

3. 1 2. 3 あばら筋の割付け

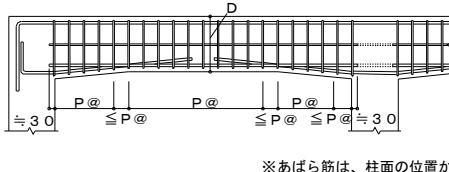
(1) 間隔が一樣でハンチのない場合



※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3. 1 2. 2 図 あばら筋の割付け（その1）

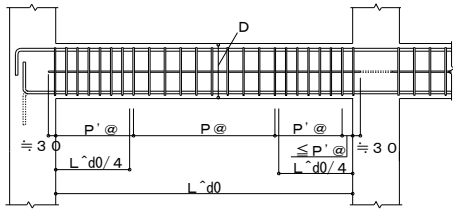
(2) 間隔が一樣でハンチのある場合



※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3. 1 2. 3 図 あばら筋の割付け（その2）

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



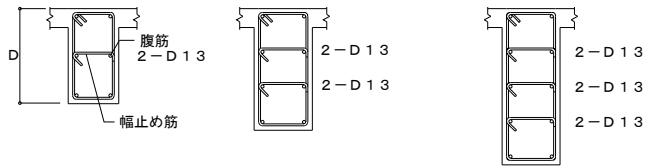
※あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

3. 1 2. 4 図 あばら筋の割付け（その3）

3. 1 2. 4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



6 0 0 ≤ D < 9 0 0 9 0 0 ≤ D < 1, 2 0 0 1, 2 0 0 ≤ D ≤ 1, 5 0 0

3. 1 2. 5 図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

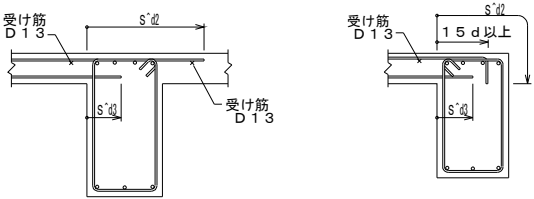
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図（複合構造物）（3）
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-3 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

3 土木工事

3. 1 8 床の配筋要領

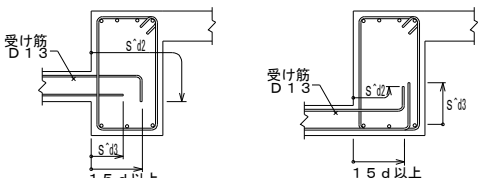
3. 1 8. 1 一般事項

- (1) 鉄筋の継手長さは、 $S^{\wedge}d1$ とする。
- (2) ラーメン構造の床版の定着長さ及び受け筋は、3. 1 8. 1 図による。ただし、引き通すことができない場合は、3. 1 8. 2 図、3. 1 8. 3 図により梁内に定着する。なお、スラブ筋の場合は、3. 1 8. 1 図～3. 1 8. 3 図の定着長さ $S^{\wedge}d2$ 、 $S^{\wedge}d3$ を、 $S^{\wedge}d4$ と読み替える。
- (3) 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。図面になれば3. 2 0. 5 図による。



一般部

3. 1 8. 1 図 床版筋の定着長さ 3. 1 8. 2 図 床版筋の定着長さ及び受け筋 (その1) 3. 1 8. 3 図 床版筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

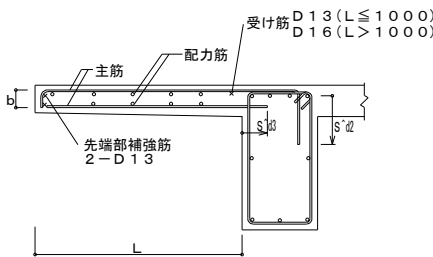


一般床版

3. 1 8. 3 図 床版筋の定着長さ及び受け筋 (その3)

3. 1 8. 2 片持床版

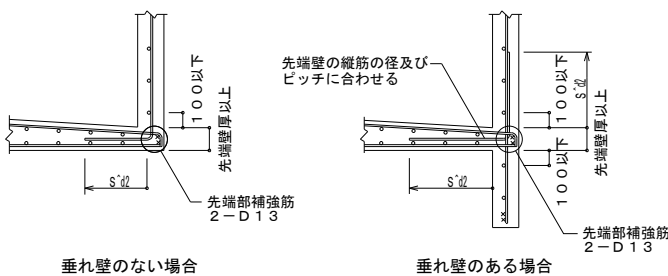
(1) 片持床版の配筋



※片持スラブの場合は、3. 1 8. 4 図及び図3. 1 8. 5 図の定着長さ $S^{\wedge}d2$ 、 $S^{\wedge}d3$ を、 $S^{\wedge}d4$ と読み替える。
※先端の折り曲げ長さ b は、片持部材の厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
※床版に段差のない場合は、主筋を引き通して床版またはスラブに定着してもよい。

3. 1 8. 4 図 片持床版の配筋

(2) 先端に小梁がなく壁が取り付く場合



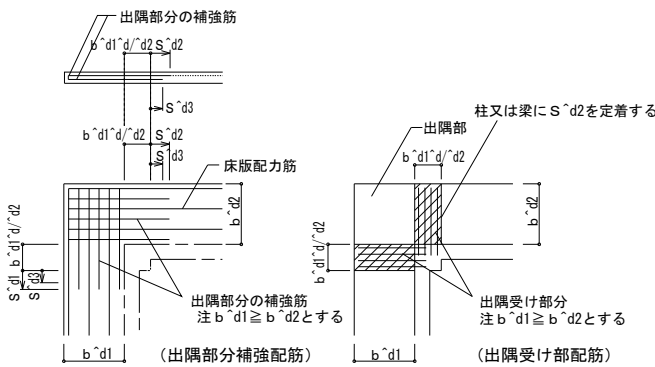
垂れ壁のない場合

垂れ壁のある場合

3. 1 8. 5 図 先端に壁が付く場合の配筋

3. 1 8. 3 出隅部の配筋方法

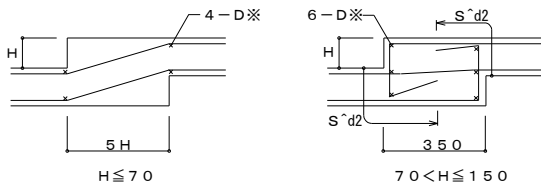
- (1) 補強の配筋は図面による。配筋方法は、3. 1 8. 6 図による。特記にない場合は、 $D13@100$ ダブル程度とする。
- (2) 出隅受け部分 (図のハッチ部分) の配筋は、図面 (幅は $b^{\wedge}d1 / 2$ とする) による。
- (3) 片持スラブの場合は、3. 1 8. 6 図の定着長さ $S^{\wedge}d2$ 、 $S^{\wedge}d3$ を、 $S^{\wedge}d4$ と読み替える場合は、 $D13@100$ ダブル程度とする。



3. 1 8. 6 図 片持床版出隅部の補強配筋

3. 1 8. 4 段差床版の補強

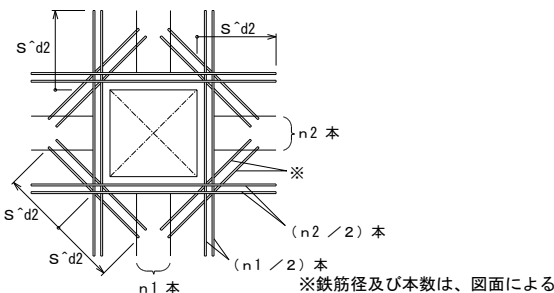
- (1) 同一床版に段差がある場合、3. 1 8. 7 図の補強を行う。ただし、 $H > 150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。
- (2) 段差スラブの場合は、3. 1 8. 7 図の定着長さ $S^{\wedge}d2$ 、 $S^{\wedge}d3$ を、 $S^{\wedge}d4$ と読み替える。



3. 1 8. 7 図 段差のある床版の補強配筋

3. 1 8. 5 床版及びスラブ開口部の補強

- (1) 開口の最大径 ≤ 700 の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する (3. 1 8. 8 図)。開口の最大径 > 700 の場合は図面による。

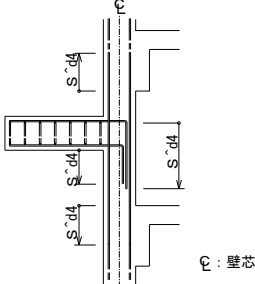


3. 1 8. 8 図 床版及びスラブ開口部の補強配筋

- (2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋を出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3. 1 9 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、図面による。
- (2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。



3. 1 9. 1 図 片持スラブ形階段配筋の定着

3. 2 0 柱及び梁の増し打ち要領

3. 2 0. 1 柱

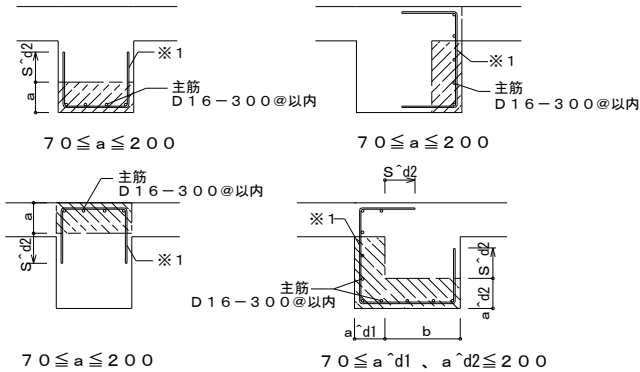
- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、3. 2 0. 1 図による。ただし、 $a < 70$ の場合は補強は行わない。
- ※1. 帯筋と同径・同ピッチとする。

3. 2 0. 1 図 柱の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 $S^{\wedge}d2$ 以上とする。
- (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

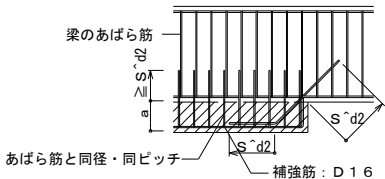
3. 2 0. 2 梁

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、3. 2 0. 2 図による。ただし、 $a < 70$ の場合、補強は行わない。



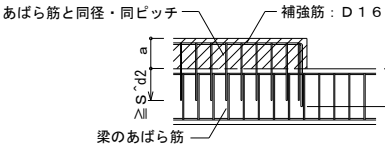
3. 2 0. 2 図 梁の増し打ち補強配筋

- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。
- (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 $S^{\wedge}d2$ 以上とする。
- (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合。



3. 2 0. 3 図 梁の上下の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

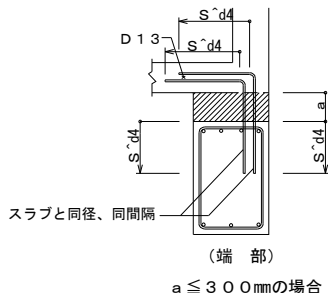
- (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合。



3. 2 0. 4 図 梁の側面の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

3. 2 0. 3 土間スラブの打継ぎ補強

- (1) 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合。

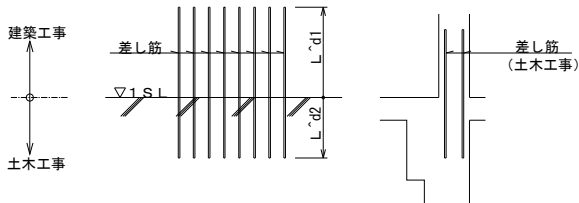


3. 2 0. 5 図 土間スラブの打継ぎ補強配筋 (ダブル)

3. 2 1 土木部分と建築部分の取り合い

3. 2 1. 1 壁縦筋の取り合い

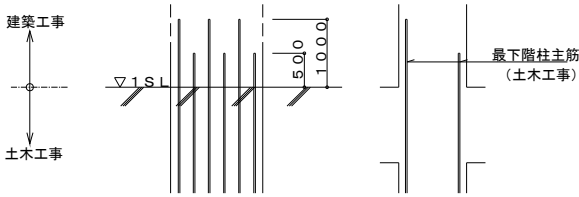
- (1) 差し筋の仕様は建築工事仕様とする。(径は図面による)
- (2) $L^{\wedge}d1$ 及び $L^{\wedge}d2$ は4. 5. 1 表による。



3. 2 1. 1 図 壁縦筋の取り合い差し筋

3. 2 1. 2 柱主筋の取り合い

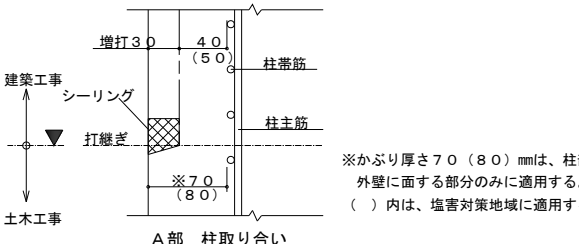
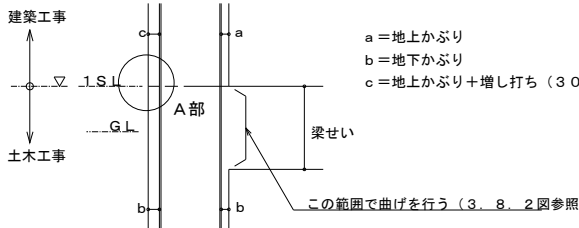
- (1) 最上部の柱主筋は、1 階建築部分の柱断面に応じ、3. 2 1. 2 図の圧接位置まで延ばすこと。



3. 2 1. 2 図 柱主筋の取り合い差し筋

3. 2 1. 3 柱主筋かぶり厚の取り合い

- (1) 土木工事の外壁に面する柱主筋のかぶり厚は、3. 3. 1 表によらず、3. 2 1. 3 図による。



3. 2 1. 3 図 柱主筋かぶり厚の取り合い

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図 (複合構造物) (5)
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-5 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

3 土木工事

3. 2 6 耐震補強

3. 2 6. 1 適用範囲

- (1) 本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の土木構造物の耐震補強に適用する。
- (2) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

1) 土木工事特記仕様書	全国上下水道コンサルタント協会	(別紙による。)
2) 土木工事共通仕様書	国土交通省 ** 地方整備局	(平成 年版)
3) コンクリート標準示方書・施工編	土木学会	(2012年版)
4) コンクリート標準示方書・構造性能照査編	土木学会	(2002年版)
5) 官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説 建築保全センター		(平成 8年版)
6) 鉄筋定着・継手指針	土木学会	(2007年版)
7) 2001年 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説	日本建築防災協会	(2001年版)
8) あと施工アンカー連続繊維補強設計・施工指針	国土交通省	(2006年版)

3. 2 6. 2 鉄筋の仕様及び継手

鉄筋の種類及び継手は3. 2 6. 1 表による。

3. 2 6. 1 表 鉄筋の種類及び継手

	種 別	径
鉄筋の種類	※SD 3 4 5	※D1 以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外
	※1) ガス圧接	・ D1 9 以上の柱、梁主鉄筋 ・ D1 6 以上の増設端の床・壁鉄筋
	フレアー溶接	・ D1 3 以上
	機械式継手	・ 図面による

※1) 既存の鉄筋種別がSR235、295及びSD295Aの場合は、SD材との継手にガス圧接を使用してはならない。

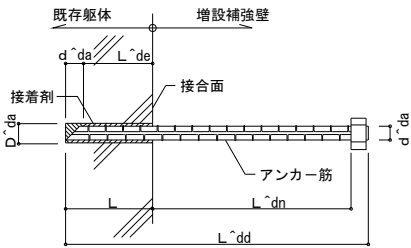
3. 2 6. 3 鉄筋の継手長及び定着長

SD345以外の鉄筋との継手長・定着長については図面による。

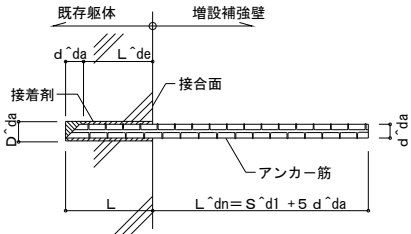
3. 2 6. 4 あと施工アンカー（接着系）

- (1) アンカー径は、D13以上、D22以下とする。
- (2) アンカーの打設は、増設壁が接合する四周の柱、梁に行うことを原則とする。
- (3) アンカーの埋め込み・定着長さを3. 2 6. 2表に示す。

(ナット付き)



(ナットなし)



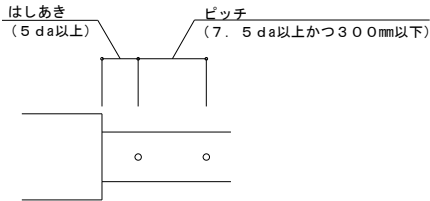
L : コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ
L^de : アンカーの有効埋め込み長さ
L^dd : アンカー筋の全長
L^dn : 有効定着長さ
D^da : 既存コンクリート躯体への穿孔径
d^da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名
S^dl : 補強筋との継手長

3. 2 6. 1 図 あと施工アンカー埋め込み・定着図

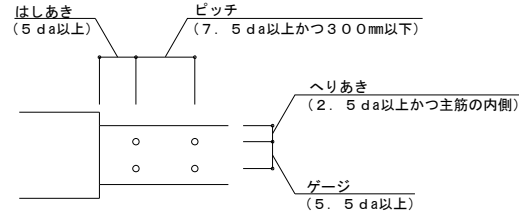
3. 2 6. 2 表 あと施工アンカー埋め込み・定着長さ

区 分	位 置	用 途	長 さ	備 考
有効埋め込み長 (L^de)	一般部	曲げモーメント	12・da	先端形状45° カット
		せん断力	7・da	
	開口補強部	曲げモーメント	12・da	
		せん断力	10・da	
有効定着長 (L^dn)	一般部	-	20・da	ナットあり
	開口補強部	-	S^dl+ 5・da	ナットなし

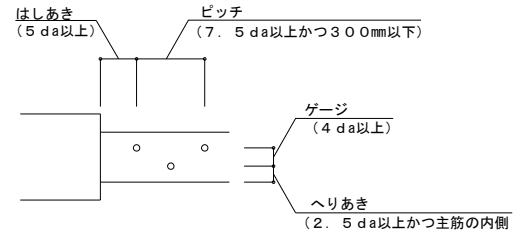
(あと施工アンカーの位置と間隔)



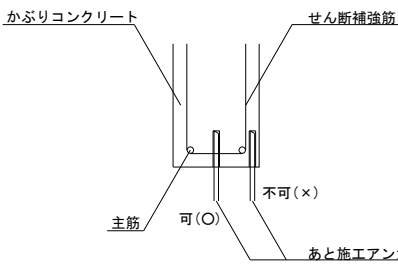
(a) シングル配置



(b) ダブル配置



(c) 千鳥状配置

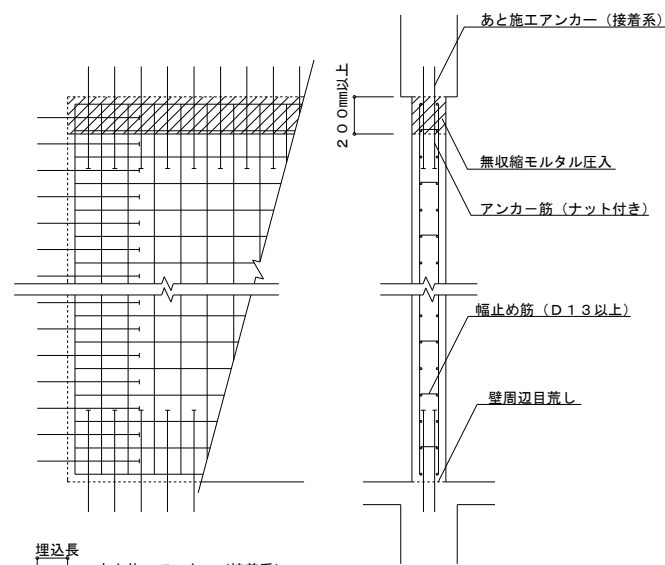


(d) 断面配置

3. 2 6. 2 図 あと施工アンカー配置図

3. 2 6. 5 新設補強壁

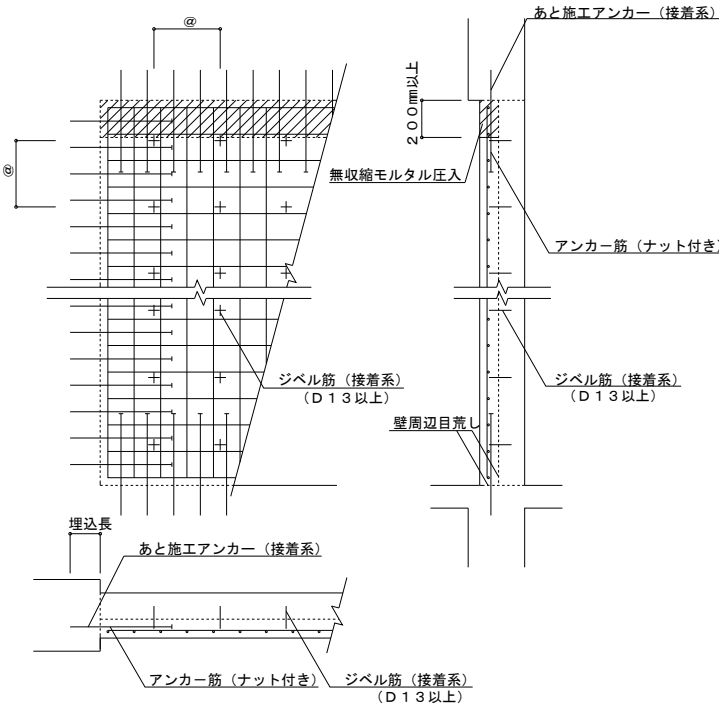
- (1) 新設補強壁の配筋は3. 2 6. 3図を標準とする。
- (2) 新設部と接する既存の壁面には目荒しを施す。
- (3) あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。
- (4) 新設壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。



3. 2 6. 3 図 新設補強壁要領図

3. 2 6. 6 増打ち補強壁ほか

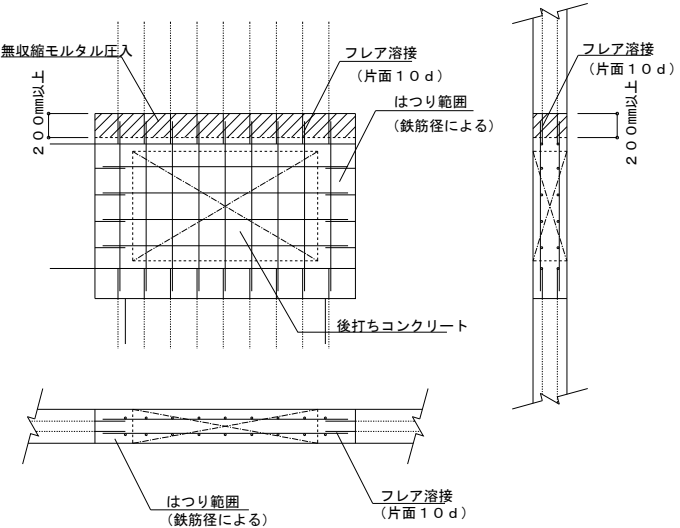
- (1) 増打ち補強壁の配筋は3. 2 6. 4図を標準とする。
- (2) あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。
- (3) 増打ち部と接する既存の壁面を目荒しするほか、新旧の壁面にジベル筋を設けるものとし、配置間隔は図面による。
- (4) 増打ち壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。
- (5) 梁下端部や垂れ壁下端部の施工では、コンクリートのブリーディングや沈下を考慮して、打継目が一体となるように留意する。



3. 2 6. 4 図 増打ち補強壁要領図

3. 2 6. 7 開口閉塞

- (1) 既存壁と増設壁との接合は、開口周囲のコンクリートをはつり、鉄筋同士をフレア溶接で行う。
- (2) 閉塞部分が既存梁、柱と接する部位は全てあと施工アンカーで接合する。
- (3) 閉塞部分の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。

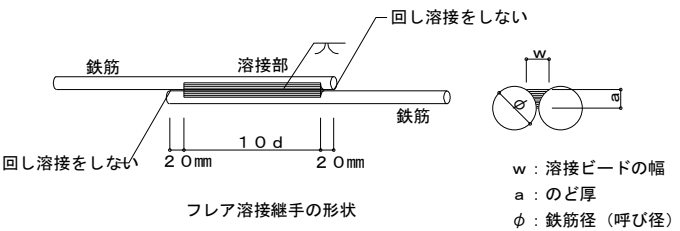


はつり範囲例 mm	
壁の鉄筋径	はつり幅
D13	200
D16	200
D19	300
D22	300
D25	300

3. 2 6. 5 図 開口閉塞要領図

3. 2 6. 8 フレア溶接

- (1) 特記なき鉄筋のフレア溶接の継手形状を3. 2 6. 6図に示す。
(詳細は「鉄筋定着・継手指針[2007年版]」(土木学会)による。)
- (2) 継手長さは鉄筋径の10倍とし、回し溶接は行わない。



3. 2 6. 6 図 フレア溶接継手形状

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図(複合構造物) (7)
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-7 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

4 建築工事

4. 1 鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、4. 1. 1 表及び4. 1. 2 表を標準とする。

(1) Dは、折曲げ内法直径を示す。

(2) dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。

4. 1. 1 表 鉄筋の折曲げ形状及び寸法（末端部）

曲げ 角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径（D）		使 用 箇 所
		SD295A, SD345 D16 以下	D19 ～D38	
180°		3d以上	4d以上	柱、梁の主筋 D16以上の鉄筋
135°		3d以上	4d以上	D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、スパイラル筋
90°		3d以上	4d以上	T形及びL形の梁の あばら筋
135° 90°		3d以上	4d以上	 幅止め筋

(注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

2. 90°未満の折曲げの内法直径は図示による。

4. 1. 2 表 鉄筋の折曲げ形状及び寸法(中間部)

曲げ 角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径（D）			使 用 箇 所
		SD295A, SD345 D16 以下	D19 ～D25	D29 ～D38	
90° 以下		3d以上	4d以上	—	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
		4d以上	6d以上	8d以上	その他の鉄筋

4. 2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、4. 2. 1 表によりフックを設ける。

4. 2. 1 表 フックを設ける位置

部 位		継手方式		備 考
		重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	—	1) 最上階の柱頭部	4.2.1 図の●印 4.7.1 図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	—	1) 下階の柱主筋を引き通すことができない柱頭部	4.2.1 図の●印 4.7.2 図参照
	帯筋(HOOP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	4.8.1 図参照
梁	あばら筋(STP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	4.11.1
煙突の鉄筋		1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる場合を含む図参照
幅止め筋		—	—	4.1.1 表参照

柱 壁
平面

4. 2. 1 図 異形鉄筋の末端部

4. 3 鉄筋のかぶり及び間隔

4. 3. 1 かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋、組立筋を除く）の外面から躯体面までの距離（4. 3. 1 図）をいう。

鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚さに許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。

柱 梁

かぶり厚さ a 部

4. 3. 1 図 鉄筋のかぶり厚さ

4. 3. 2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、4. 3. 1 表による。

(1) 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。

(2) 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保して最小かぶり厚さを定める。

(3) 溶接金網にも適用する。

4. 3. 1 表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

塩害区分		※ 通常の施工の場合	・ 塩害対策を必要とする場合
構造部分の種別			
一 般	床、耐力壁以外の壁	30	40
	柱、梁、耐力壁	40	50
	底版	40	50
土、水に接する部分	柱、梁、床、壁	40	50
	底版、基礎	60	70
煙突等高熱を受ける部分		60	70

1：打継目地部分は目地底より最小かぶり厚さを確保する。
2：仕上なしの場合を標準とする。

4. 4 鉄筋相互のあき

鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手のあきは、図面による。

(1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍

(2) 最小のあき25mm

(3) 異形鉄筋の直径（呼び径）の1.5倍以上

異形鉄筋

間隔 a

D あき D

(注) D：鉄筋の最外径 d：鉄筋直径（呼び名）

4. 4. 1 図 鉄筋のあき

4. 4. 1 表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径(mm)		鉄筋相互のあき：a			最小鉄筋芯間隔 a＋D
鉄筋径 d	最外径 D	(1) 粗骨材径×1.25	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5	
D10	11	31mm	25mm	15mm	42mm
D13	14			20mm	45mm
D16	18			24mm	49mm
D19	21			29mm	52mm
D22	25			33mm	58mm
D25	28			38mm	66mm
D29	33			44mm	77mm

粗骨材
最大径
25mm
の場合

4. 5 鉄筋の継手及び定着

4. 5. 1 鉄筋の重ね継手

(1) 鉄筋の重ね継手及び定着の長さは、4. 5. 1 表による。

(2) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

(3) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40dとする。

ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

4. 5. 1 表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の 種 別	コンクリートの 設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L [^] d1 (フックなし)		L [^] d1 [^] dh (フックあり)	
		24	27	35d	25d
SD295A	24 27	30	35d	35d	25d
SD345	24 27	30	40d	35d	25d

(注) 1. L[^]d1、L[^]d1[^]dh：フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ

2. フックありの場合のL[^]d1[^]dhは、4. 5. 1 図に示すようにフック部分Lを含まない。

4. 5. 1 図

4. 5. 2 継手の特記事項

(1) 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。

(2) 異径径の鉄筋をガス圧接する場合は、鉄筋径の直近の範囲内とする。

4. 5. 3 鉄筋の定着

(1) 鉄筋の定着の長さは、4. 5. 2 表による。

4. 5. 2 表 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の 種 別	コンクリートの 設計基準強度 Fc (N/mm ²)	フックなし				フックあり			
		L [^] d1		L [^] d2		L [^] d3		L [^] d3 [^] dh	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	24, 27	35d	30d	20d	10d かつ 150mm 以上	25d	20d	10d	—
	30	35d	30d		25d	20d			
SD345	24, 27	40d	35d	20d	10d かつ 150mm 以上	30d	25d	10d	—
	30	35d	30d		25d	20d			

(注) 1. L[^]d1、L[^]d1[^]dh：2. 以外の直線定着の長さ及びフックありの長さ

2. L[^]d2、L[^]d2[^]dh：割裂破壊の恐れのない個所への直接定着の長さ及びフックありの定着の長さ

3. L[^]d3：小梁及びスラブの下端筋の直筋の直線定着長さ(基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。)

なお、片持小梁及び片持スラブの場合は20d及び10dを25d以上とする。

4. L[^]d3[^]dh：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ

5. フックありの定着の場合は、4. 5. 2 図(イ)に示すようにフック部分bを含まない。また中間部での折曲げは行わない。

4. 5. 4 定着の方法

定着の方法は4. 5. 2 図による。

なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、4. 5. 2 表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を4. 5. 2 表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを4. 5. 3 表に示す長さをのみ込ませる。

(注) 1. L[^]da、L[^]dblは、4. 5. 3 表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記の条件を満たすものとする。

- ・ 梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3／4倍以上
- ・ 小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅の1／2倍以上
- ・ スラブの梁内定着においては、原則として梁幅の1／2倍以上

4. 5. 3 表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の 種 別	コンクリートの 設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L [^] da	L [^] db
SD295A	24 27	15d	15d
	30	15d	15d
SD345	24 27	20d	15d
	30	15d	15d

(注) 1. L[^]a：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ
(基礎梁、片持ちスラブを含む。)

2. L[^]b：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ
(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

4. 5. 4 定着の方法

定着起点

L[^]d1、L[^]d2又はL[^]d3

全長

L[^]da (ただし、柱せいの3／4倍以上)

余長

フックなし

梁主筋の柱内曲げ定着

定着起点

L[^]d1[^]dh、L[^]d2[^]dh又はL[^]d3[^]dh

全長

L[^]db (ただし、梁幅の1／2倍以上)

余長

フックあり

小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着

(イ) 直線定着 (ロ) 折曲げ定着

4. 5. 4 定着の方法

定着の方法は4. 5. 2 図による。

なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、4. 5. 2 表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を4. 5. 2 表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを4. 5. 3 表に示す長さをのみ込ませる。

(注) 1. L[^]da、L[^]dblは、4. 5. 3 表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記の条件を満たすものとする。

- ・ 梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3／4倍以上
- ・ 小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅の1／2倍以上
- ・ スラブの梁内定着においては、原則として梁幅の1／2倍以上

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図（複合構造物）（8）
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-8 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

AWSCJ（第3版）－064－003

4 建築工事

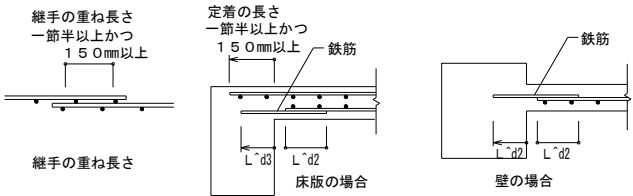
4. 5. 5 隣り合う継手の位置及び定着

隣り合う継手の位置は、4. 5. 4表により、a寸法を守ること。
ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

4. 5. 4表 隣り合う継手の位置

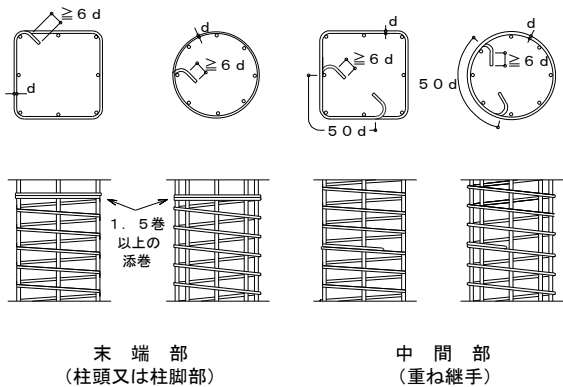
条 件		重ねる場合	離す場合
重ね継手	フック有りの場合		$a \geq 0.5 L'd1'dh$
	フックなしの場合		$a \geq 0.5 L'd1'dh$
圧接継手			$a \geq 400\text{mm}$

(1) 溶接金網の継手及び定着



4. 5. 3図 溶接金網の継手及び定着要領

(2) スパイラル筋の継手及び定着



4. 5. 4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

4. 6 柱筋の継手位置

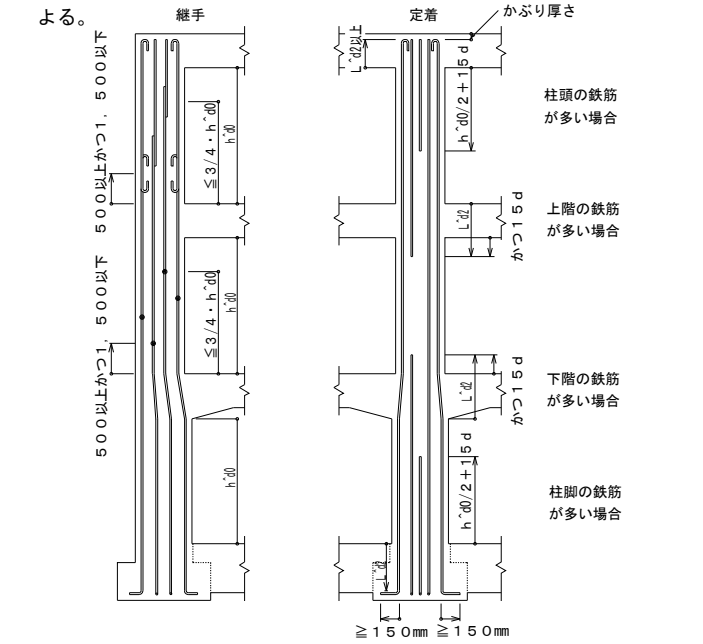
4. 6. 1 継手及び圧接中心位置

(1) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ $3/4 h^d0$ (h^d0 は柱の内法高さ) 以下とする。

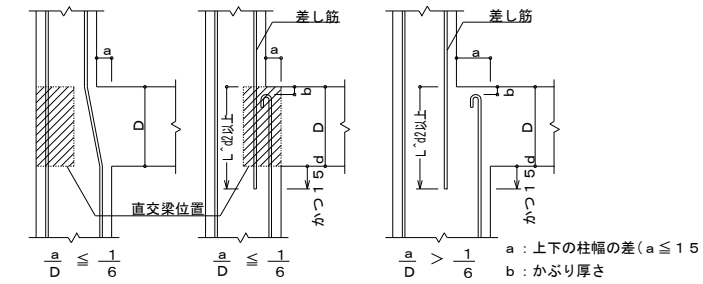
4. 7 柱筋の継手及び定着

4. 7. 1 隣り合う継手の位置及び定着

(1) 継手長さは L^d1 とし、定着及び余長は、4. 7. 1図による。
(2) 柱頭定着長さ L^d2 が確保出来ない場合は、図面による。
(3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、4. 7. 2図による。



4. 7. 1図 柱主筋の継手、定着及び余長

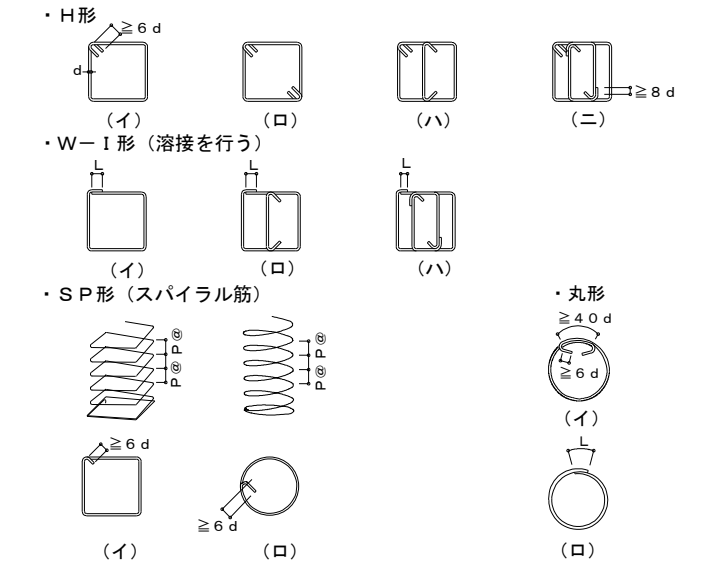


4. 7. 2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

4. 8 帯筋

4. 8. 1 帯筋の形状

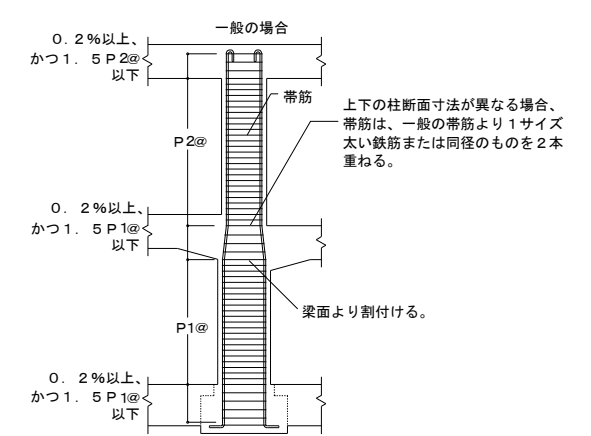
(1) 帯筋の形状は、4. 8. 1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
(a) H形を標準とする。
(b) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
(c) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
(d) SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



4. 8. 1図 帯筋組立の形

4. 9 帯筋の割付け

(1) フック及び継手の位置は交互とする。
(2) 帯筋の割付けは、4. 9. 1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
(3) 柱、梁の交差部（パネルゾーン）の帯筋のせん断補強比は、0.2%以上を確保し、補強筋間隔 $\leq 1.5P$ とする。



4. 9. 1図 帯筋の割付け

柱、梁の交差部の配筋例（0.2%確保）

柱幅 (mm)	パネルゾーン
≤ 500	D10 @ 125
≤ 600	D10 @ 100
≤ 700	D10 @ 100
≤ 800	D13 @ 150
≤ 900	D13 @ 125
≤ 1000	D13 @ 125
≤ 1100	D13 @ 100
≤ 1200	D13 @ 100

※1. $5P^d1$ 、 $1.5P^d2$ のピッチは150mm以下とする。

4. 10 大梁筋の継手及び定着

4. 10. 1 大梁（基礎梁以外の大梁に限る）主筋の継手、定着及び余長

(1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
a. 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。
ただし、やむ得ず梁内に定着する場合は、4. 10. 1図による。



4. 10. 1図 梁主筋の梁内定着

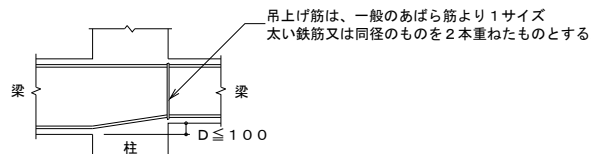
b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。

なお、定着の方法は、4. 5. 4による。

上端筋：曲げ下ろす。

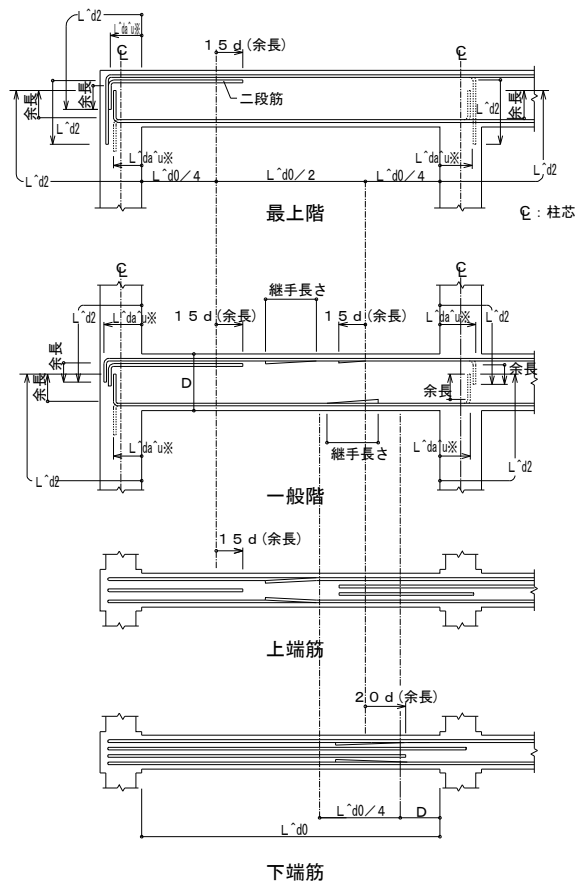
下端筋：原則として曲げ上げる。

c. 段違い梁は4. 10. 2図による。



4. 10. 2図 段違い梁

4. 10. 2 ハンチのない場合

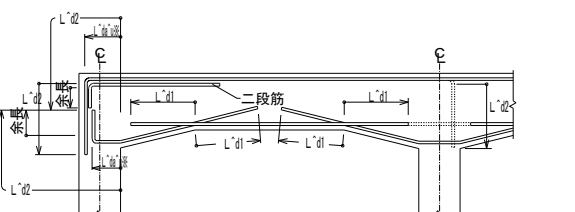


(注) 1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 $L^d0/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せい(D)以上離し、 $L^d0/4$ を加えた範囲以内
2. 4. 2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。
3. 印は、継手及び余長を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L^d1 は、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 3図 大梁の重ね継手、定着及び余長

4. 10. 3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



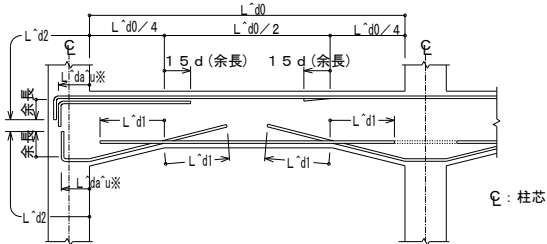
※ L^d1 は、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 4図 ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図（複合構造物）（9）
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-9 号
京都府流域下水道事務所	

4 建築工事

(2) 一般階の場合

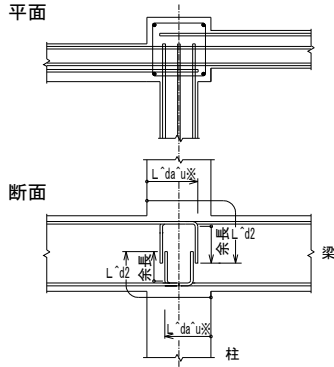


4. 10. 5図 ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

- (注) 1. 4. 2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、のように引き通すことができる。
4. 破線は、梁内定着の場合を示す。
※ L^aは、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 4 水平段差のある場合

(1) 水平段差のある場合

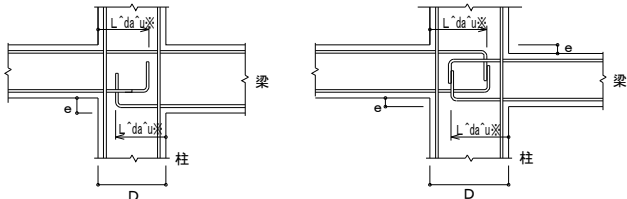


- ※ L^aは、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 6図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

4. 10. 5 鉛直段差（e）のある場合

(1) e/D ≤ 1/6 の場合

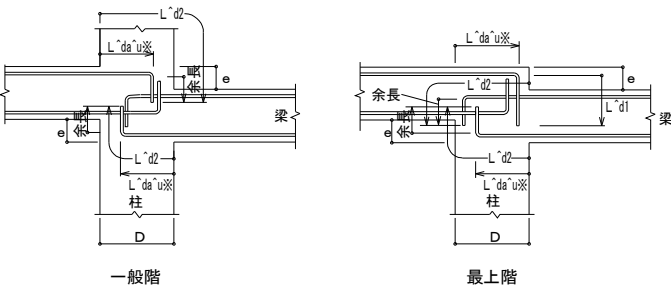


定着の長さは、4. 10. 2図に準ずる

- ※ L^aは、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 7図 鉛直段差梁（その1）

(2) e/D > 1/6 の場合



- ※ L^aは、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 8図 鉛直段差梁（その2）

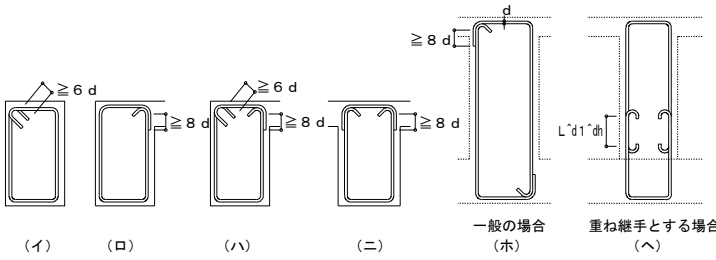
4. 1 1 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

4. 1 1. 1 一般事項

- (1) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
(2) 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、L^d2とする。
(3) 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
(4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10ー1000mmピッチ程度とする。

4. 1 1. 2 あばら筋組立の形及びフックの位置

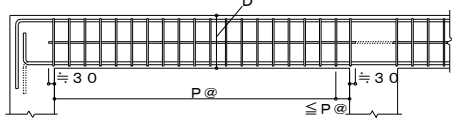
- (1) 形は、4. 1 1. 1図（イ）を標準とする。
ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。
a. 床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）
b. 床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）
(2) フックの位置
a. （イ）の場合は交互とする。
b. （ロ）の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側
床版が両側に付く場合は交互
c. （ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げ、8d確保する。
d. （ホ）（ヘ）の場合は梁の上下にスラブが付く場合でかつ、梁せいが1.5m以上の場合に適用する事ができる。（基礎梁）



4. 1 1. 1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

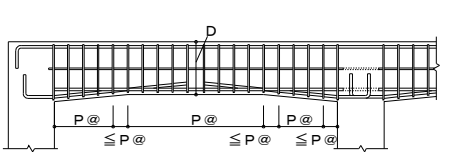
4. 1 1. 3 あばら筋の割付け

(1) 間隔が一樣でハンチのない場合



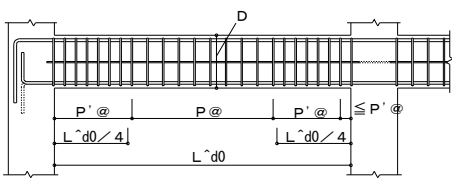
- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
4. 1 1. 2図 あばら筋の割付け（その1）

(2) 間隔が一樣でハンチのある場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割付ける。
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
4. 1 1. 3図 あばら筋の割付け（その2）

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



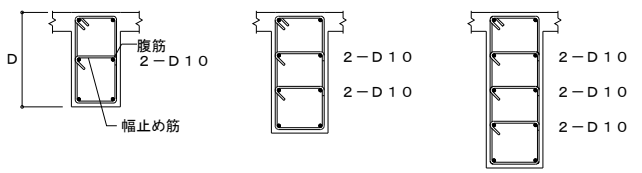
- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2. 図中のP@、P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

4. 1 1. 4図 あばら筋の割付け（その3）

4. 1 1. 4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



4. 1 1. 5図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

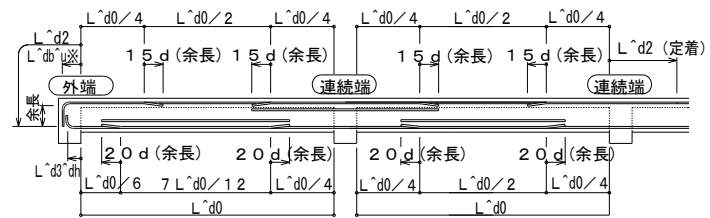
4. 1 2 小梁及び片持梁の配筋要領

4. 1 2. 1 一般事項

- (1) 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋の項に準ずる。
(2) 印は、継手及び余長を示す。

4. 1 2. 2 小 梁

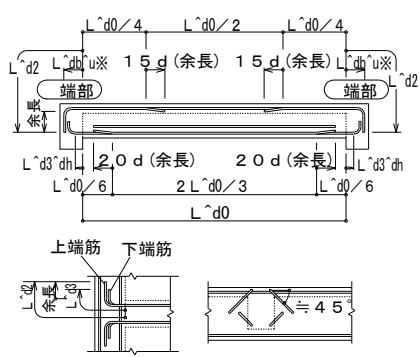
(1) 連続小梁の場合



- ※ L^bの数値は、原則として、4. 5. 3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4. 1 2. 1図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

(2) 単独小梁の場合



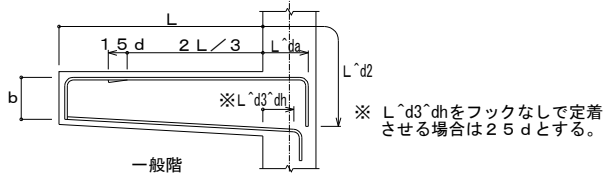
4. 1 2. 2図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2）

- (注) 1. 印は、継手及び余長を示す。
2. 梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
※ L^bは、原則として、4. 5. 3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4. 1 2. 3 片持梁筋の定着

(1) 先端に小梁のない場合

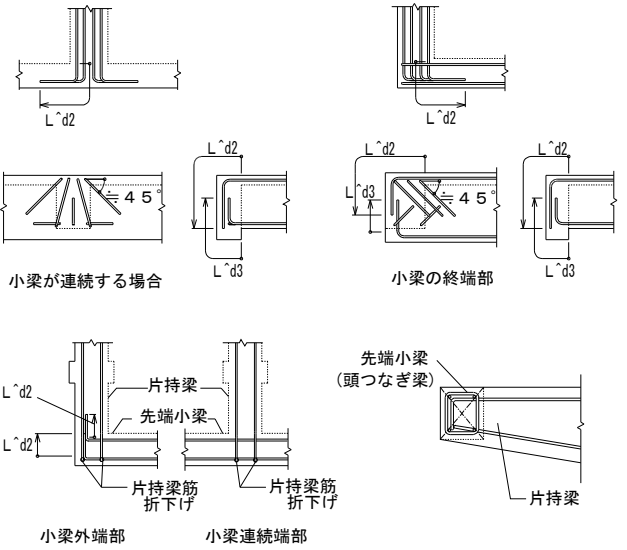
- a. 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



4. 1 2. 3図 片持梁主筋の定着及び余長（先端に小梁のない場合）

(2) 先端に小梁がある場合

- a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



4. 1 2. 4図 片持梁主筋の定着

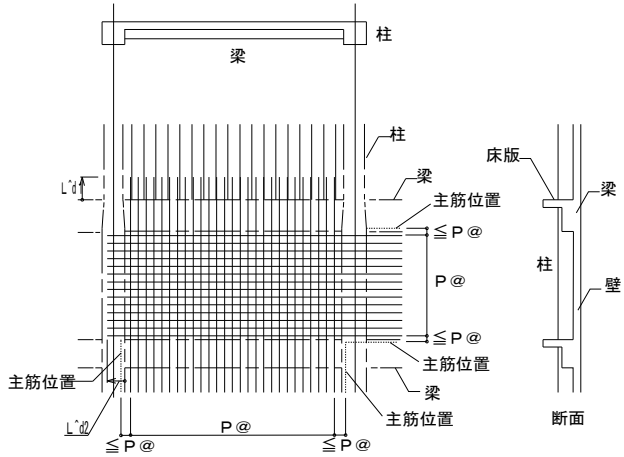
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図（複合構造物）（10）
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-10 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

4 建築工事

4. 1 3 壁の配筋要領

4. 1 3. 1 一般事項

- (1) 壁配筋の継手の長さは $L^{\wedge}d1$ 、及び定着の長さは、 $L^{\wedge}d2$ とする。
- (2) 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さを $L^{\wedge}d1$ 、定着長さを $L^{\wedge}d2$ とする。ただし、耐力壁の重ね継手の長さは $4.0d$ とし、 $SD390$ 、 $SD490$ を使用する場合は特記による。
- (3) 幅止め筋は、縦、横とも $D10\text{--}@1000$ を標準とする。
- (4) 一般部壁筋は、4. 1 3. 1 図による。



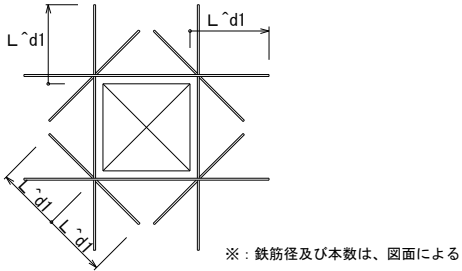
4. 1 3. 1 図 壁の配筋

4. 1 3. 2 耐震壁の開口

- (1) 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
- (2) やむを得ず開口をあける場合は、 $H19$ 国土交通省告示 593 号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

4. 1 3. 3 壁開口部の補強

- (1) 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、4. 1 3. 3 図を標準とする。



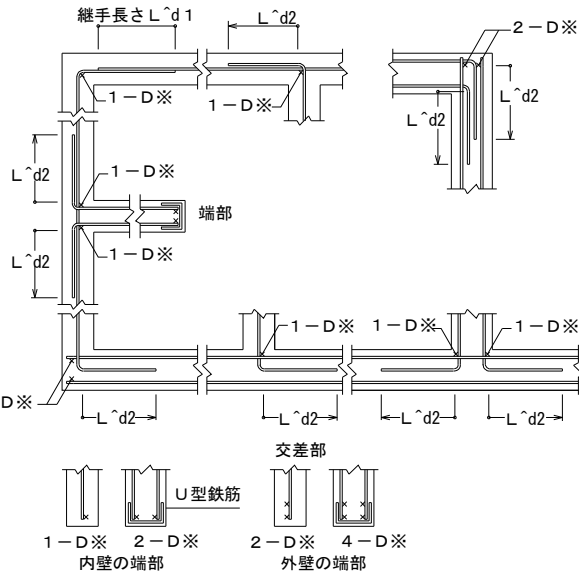
4. 1 3. 3 図 壁開口部の補強の定着長さ

- (2) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることににより開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

4. 1 3. 4 壁の交差部及び端部

壁と壁の交差部は、4. 1 3. 4 図による。

- a. 交差部補強筋 $D\text{※}$ は $D13$ 以上、かつ壁主筋と同径とする。
- b. 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。

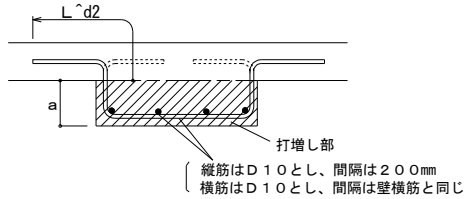


4. 1 3. 4 図 壁の交差部及び端部の配筋

※壁構造の場合は、「壁構造配筋指針・同解説」（建築学会）に基づき図面による。

4. 1 4 壁の打増し要領

コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、4. 1 4. 1 図による。打増し厚さの a が 50mm 以上、 200mm 以下に適用する。 200mm を越える場合は、特記による。

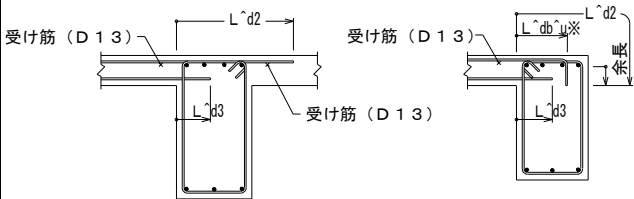


4. 1 4. 1 図 壁の打増し補強配筋

4. 1 5 床の配筋要領

4. 1 5. 1 一般事項

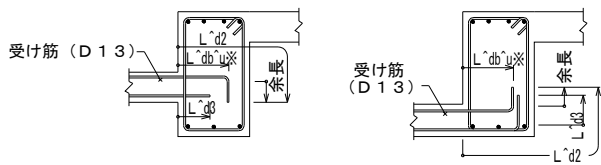
- (1) 鉄筋の継手長さは、 $L^{\wedge}d1$ とする。
- (2) 定着長さ及び受け筋は、4. 1 5. 1 図による。ただし、引き通すことができない場合は、4. 1 5. 2 図、4. 1 5. 3 図により梁内に定着する。
- (3) 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。



※ $L^{\wedge}db$ の数値は、原則として、6. 3 表の数値かつ梁幅の $1/2$ 倍以上とする。

4. 1 5. 1 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その1）

4. 1 5. 2 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その2）

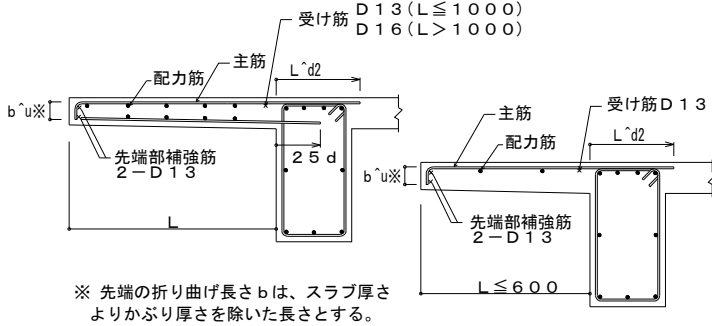


※ 原則として $L^{\wedge}db$ は、4. 5. 3 表の数値かつ梁幅の $1/2$ 倍以上とする。

4. 1 5. 3 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その3）

4. 1 5. 2 片持スラブ

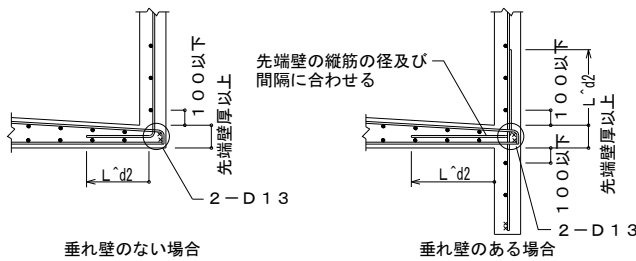
(1) 片持スラブの配筋



※ 先端の折り曲げ長さ b は、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

4. 1 5. 4 図 片持スラブの配筋

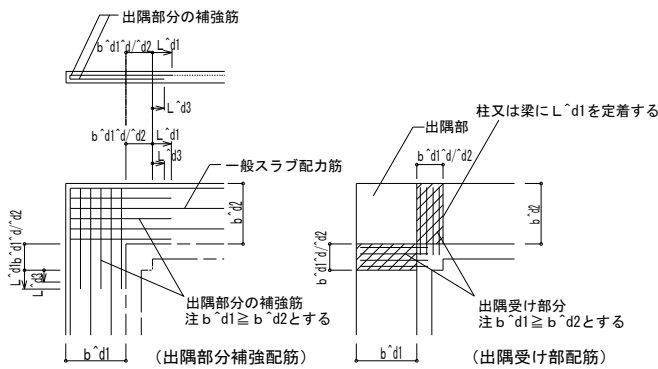
(2) 先端に小梁がなく壁が取り付く場合



4. 1 5. 5 図 先端に壁が付く場合の配筋

4. 1 5. 3 出隅部の配筋方法

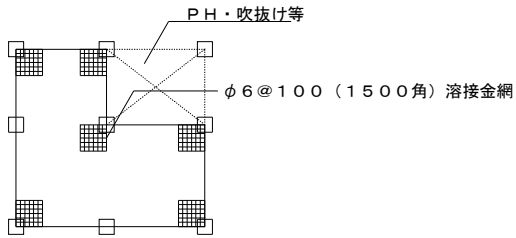
- (1) 補強の配筋は図面による。配筋方法は、4. 1 5. 6 図による。特記にない場合は、 $D10\text{@}100$ ダブルとする。
- (2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅は $b^{\wedge}d1/2$ とする)による。



4. 1 5. 6 図 片持スラブ出隅部の補強配筋

4. 1 5. 4 地上部最上階の屋根床版

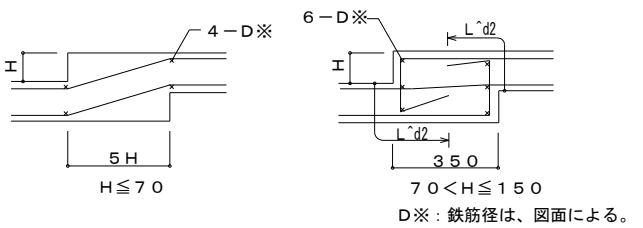
- (1) 出隅及び入隅部分には、4. 1 5. 7 図により、補強筋（溶接金網）を上端筋の下側に配筋する。
- (2) 陸屋根、勾配屋根共通とする。



4. 1 5. 7 図 出隅及び入隅部分の補強配筋

4. 1 5. 5 段差床版の補強

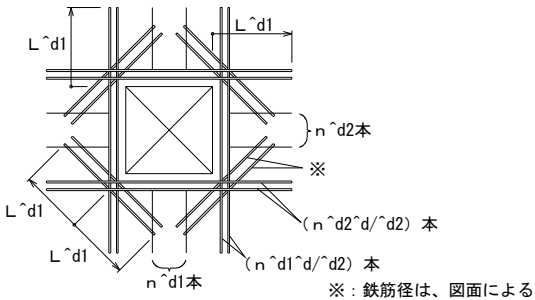
- (1) 同一床版に段差がある場合、4. 1 5. 8 図の補強を行う。ただし、 $H>150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。



4. 1 5. 8 図 段差のある床版の補強配筋

4. 1 5. 6 床版開口部の補強

- (1) 開口の最大径 ≤ 700 の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(4. 1 5. 9 図)開口の最大径 >700 の場合は図面による。



4. 1 5. 9 図 床版開口部の補強配筋

- (2) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることににより開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図（複合構造物）（11）
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-11 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

4 建築工事

4. 1 7 階段の配筋要領

(1) 壁配筋は、図面による。

(2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。

4. 1 7. 1 図 片持スラブ形階段配筋の定着

4. 1 8 柱及び梁の増し打ち要領

4. 1 8. 1 柱

(1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 1 8. 1 図による。ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。

4. 1 8. 1 図 柱の増し打ち補強配筋

(2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。

(3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 L^d2 以上とする。

(4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。

(5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合

4. 1 8. 3 図 梁の上下の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

(6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合

4. 1 8. 4 図 梁の側面の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

4. 1 8. 2 梁

(1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 1 8. 2 図による。ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。

4. 1 8. 2 図 梁の増し打ち補強配筋

(2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。

(3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 L^d2 以上とする。

(4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。

(5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合

4. 1 8. 3 図 梁の上下の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

(6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合

4. 1 8. 4 図 梁の側面の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)

4. 1 9 勾配屋根の取り合い

4. 1 9. 1 斜め柱・斜め梁の取り合い

(1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。

(2) 1. 5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし@100以下とする。

(3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔p以下とする。

a) 柱幅と斜材 (柱又は梁) 幅が同一 b) 柱幅と斜材幅が異なる

c) 柱脚で斜材となる d) 柱頭で斜材となる上端筋は、連続筋とする。

e) 梁が斜材となる上端筋は、連続筋とする。

f) 斜め大梁に小梁が接する場合 g) 大梁に斜め小梁が接する場合

柱筋は a) , b) に倣う。

4. 1 9. 1 図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

4. 1 9. 2 梁と床版の取り合い

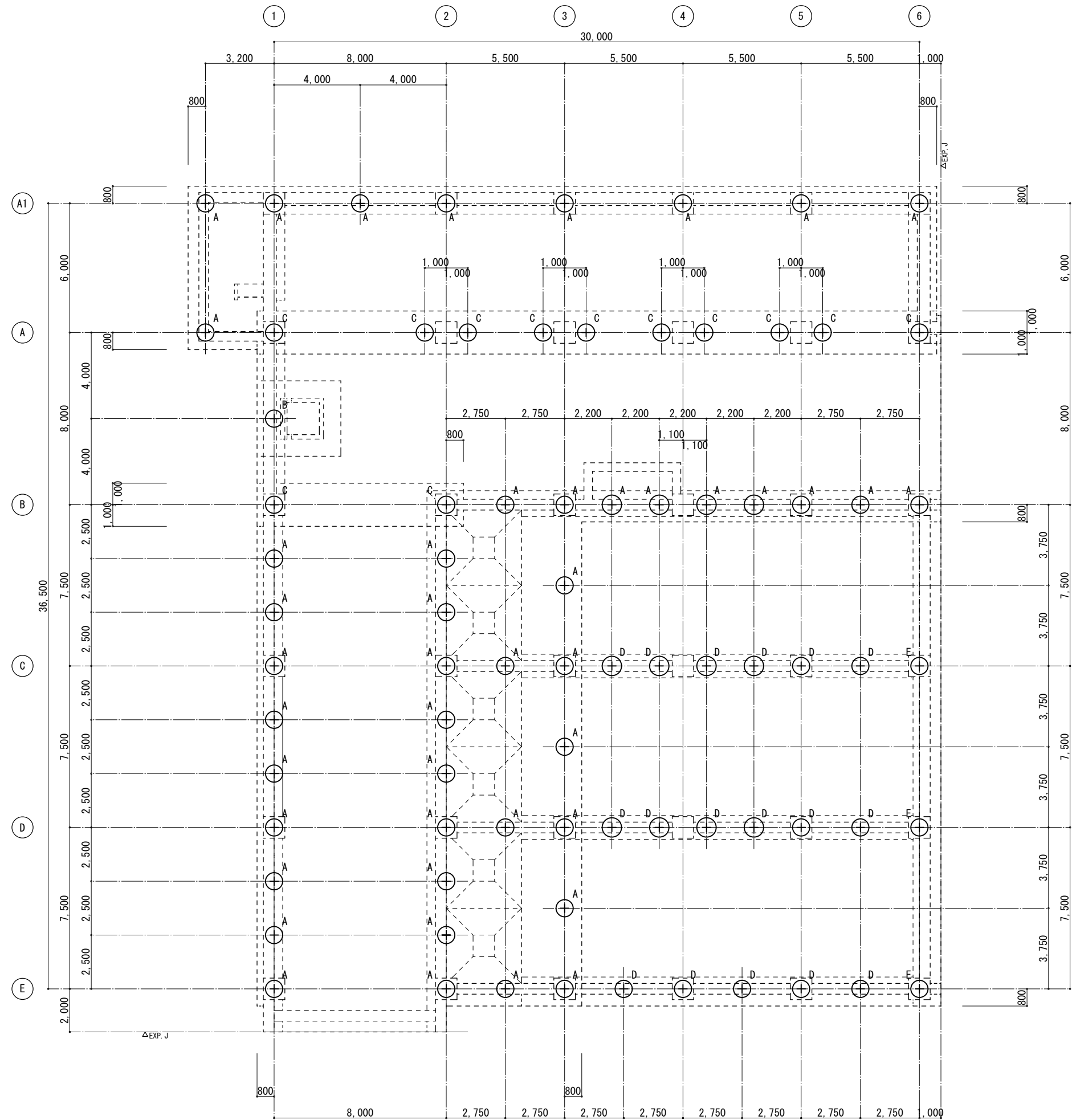
増し打ち補強要領は、4. 1 9. 2 図による。

4. 1 9. 2 図 梁と床版の取り合い配筋

4. 1 9. 3 円柱の取り合い

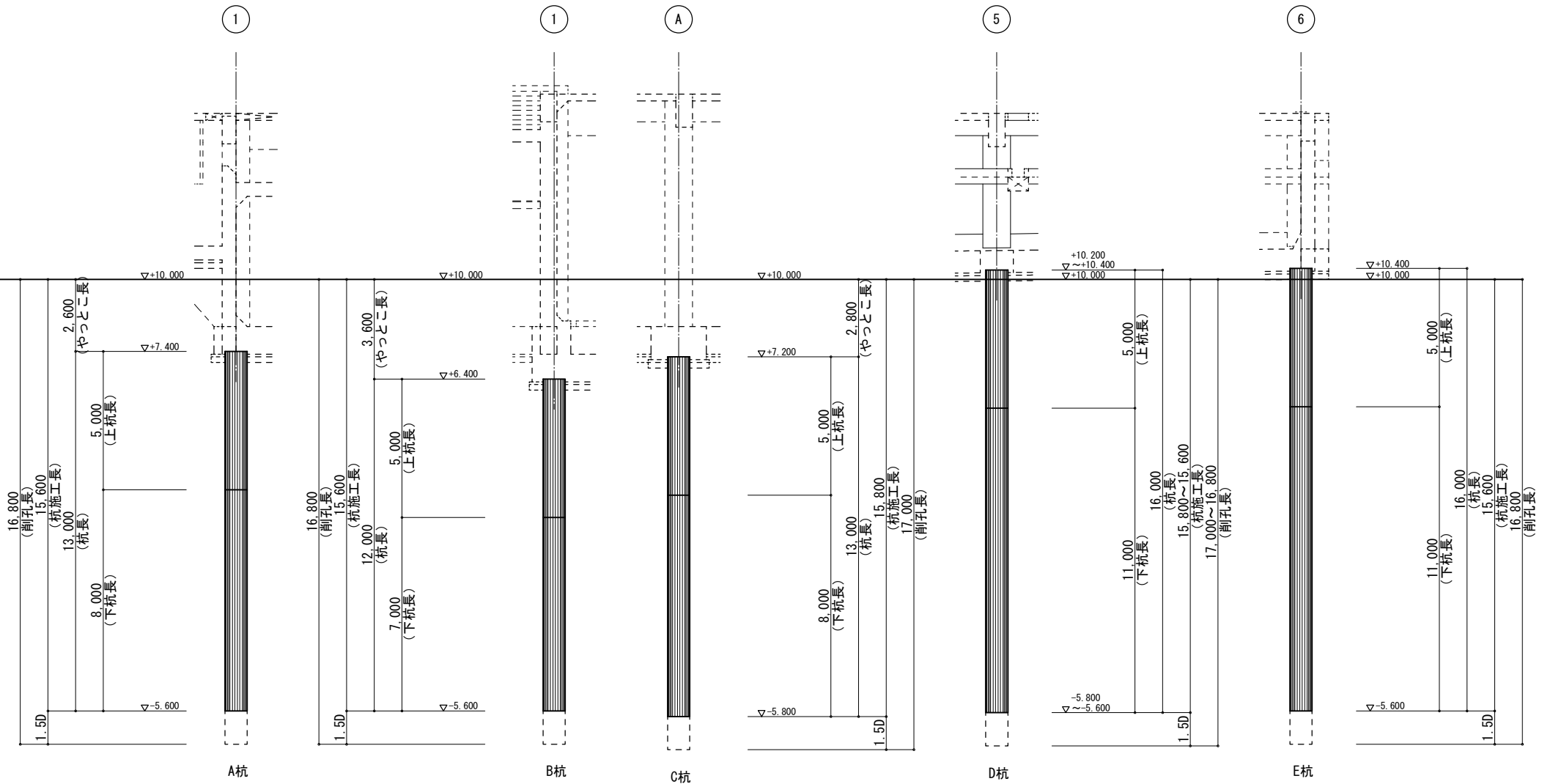
4. 1 9. 3 図 円柱の取り合い配筋

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	構造細目共通図 (複合構造物) (12)
縮 尺	—
図面番号	全 一 枚中 S-12 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



杭伏図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 杭伏図
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 1S-1 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



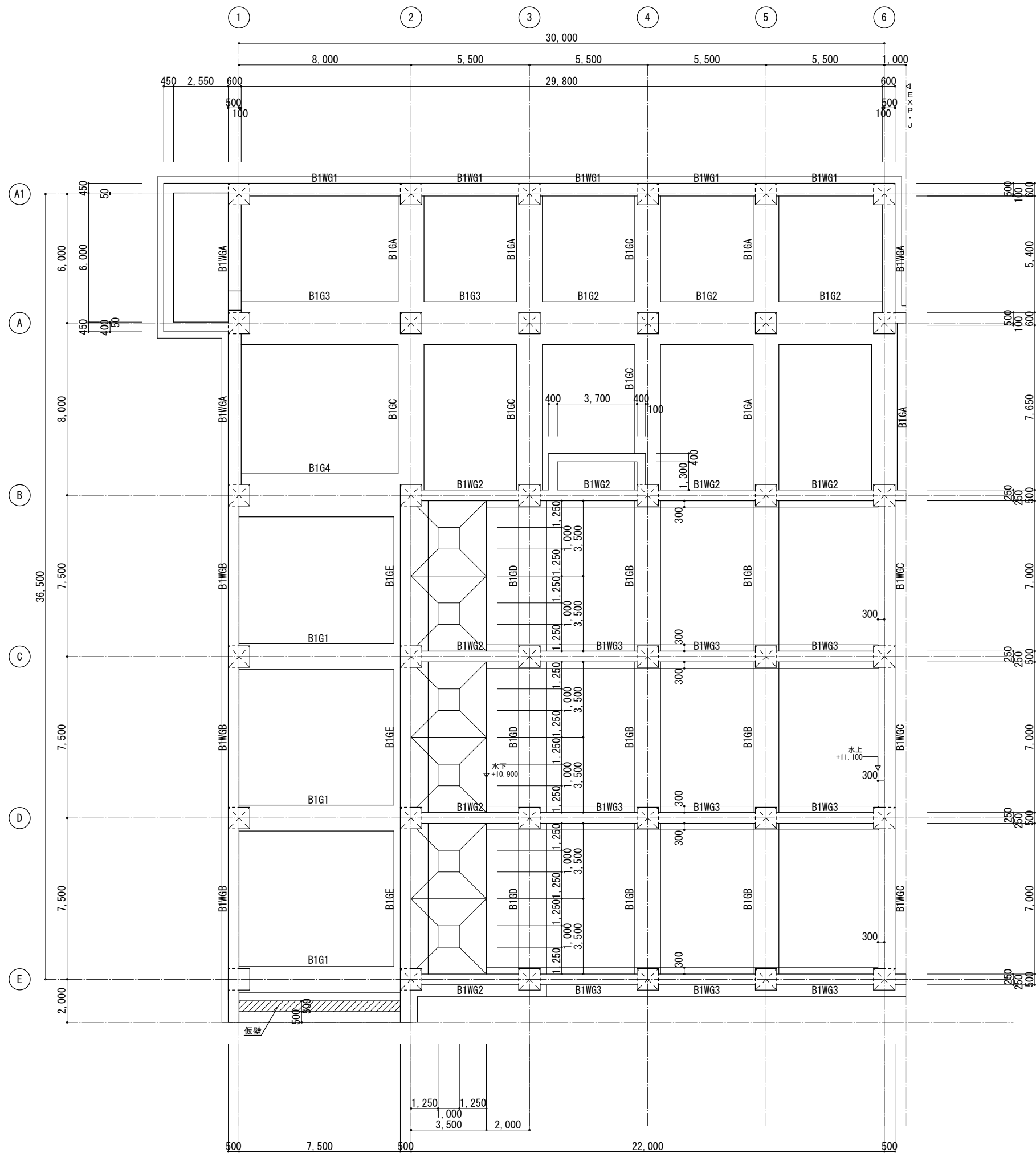
特記なき限り（共通事項）
1. Dは、杭径とする。

Technical drawing of a vertical pile foundation. The drawing includes a top view and a side view.

Top View: Shows a circular pile with an outer diameter of 800φ and an inner diameter of 580φ. The pile is labeled "O-D13@150".

Side View: Shows the pile with a total length of 2,100. The pile is divided into sections: a top section of 1,520, a middle section of 1,130, and a bottom section of 2,100. The pile is labeled "SC杭 (SKK490 t=9.0)" and "中詰コンクリート". The pile is shown with reinforcement bars (18-D25) and a pile cap (型枠).

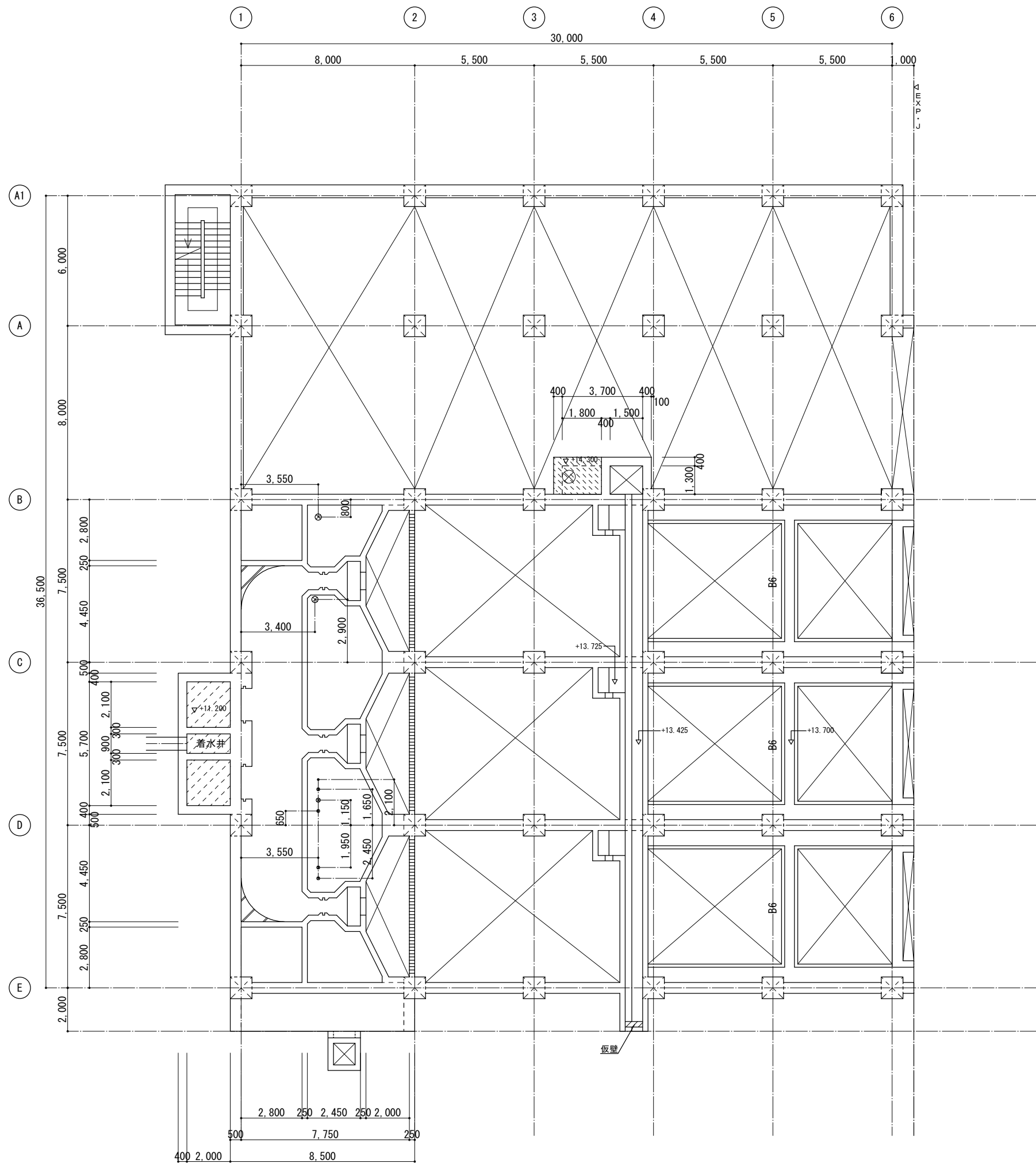
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡橋木 地内
図 名	最初沈殿池 杭リスト・断面図
縮 尺	1/100・1/30
図面番号	全 枚中 1S-2 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



B1階 伏図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. SLはTP=+8.300とする。

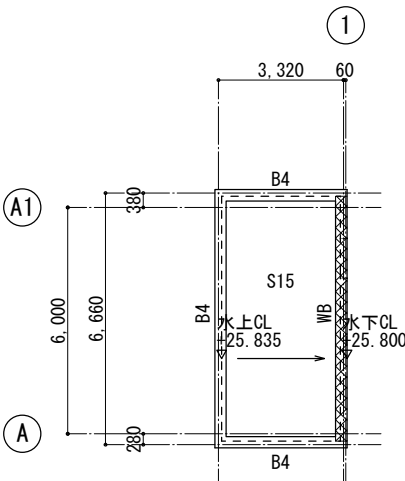
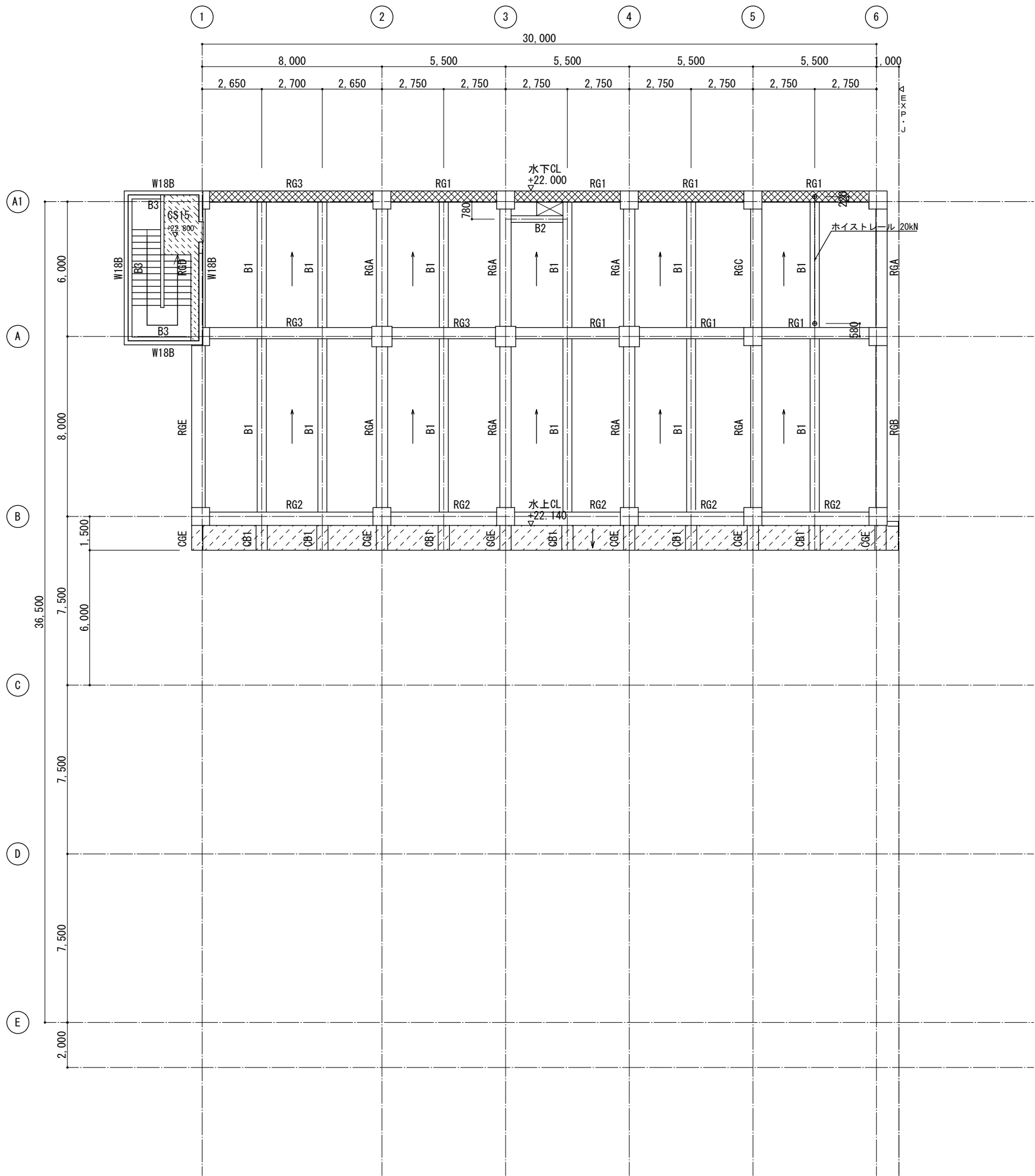
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 伏図（1）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-3 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



水路部伏図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. SLはTP=+13.500とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 伏図（2）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-4 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



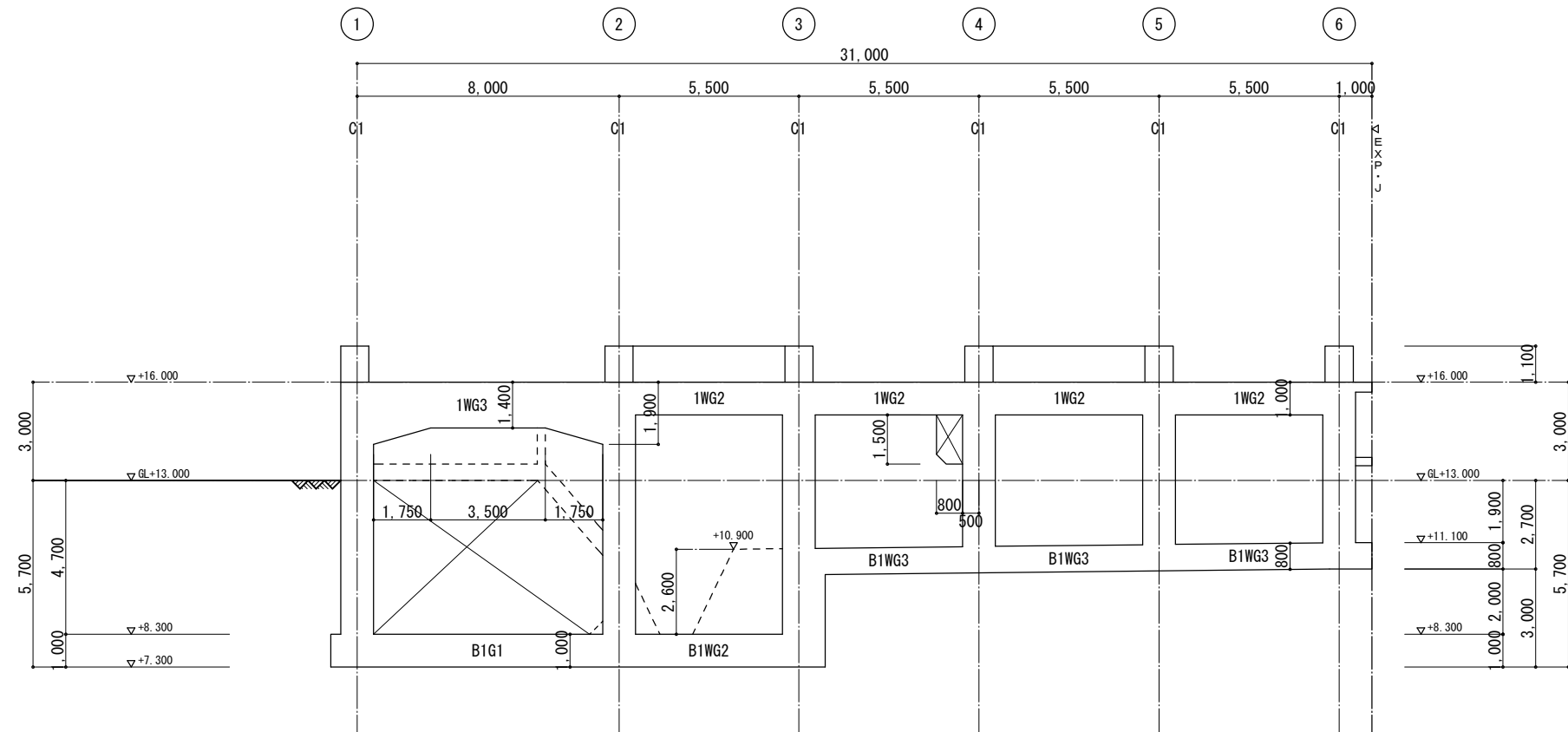
PHR階 伏図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. 水CL=+25.800
 2. 床版、梁コンクリート天端は水勾配に合わせる。
 3. 床版の梁天端はTP+25.700とし、増打ち厚は100とする。

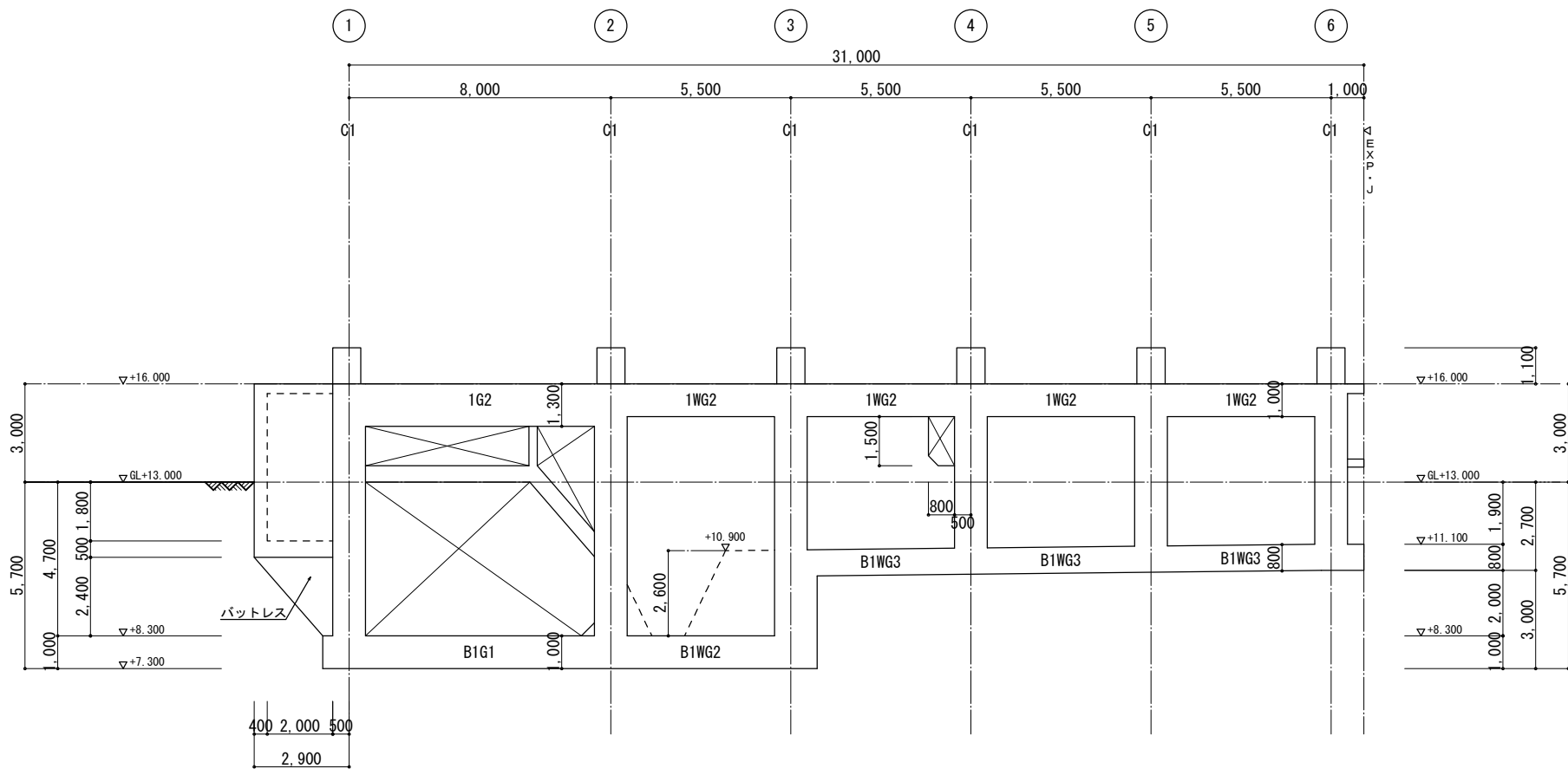
R階 伏図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. 水CL=+22.000
 2. 床版は、S15とする。
 3. 床版、梁コンクリート天端は水勾配に合わせる。
 4. 床版の梁天端はTP+21.900とし、増打ち厚は100とする。
 5. 床版の水CLはCL=+21.225、水CLはCL=+21.214とし、床版はS20とする。
 6. ④は、アンカーボルト取付位置を示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最初沈殿池 伏図（4）
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 1S-6 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



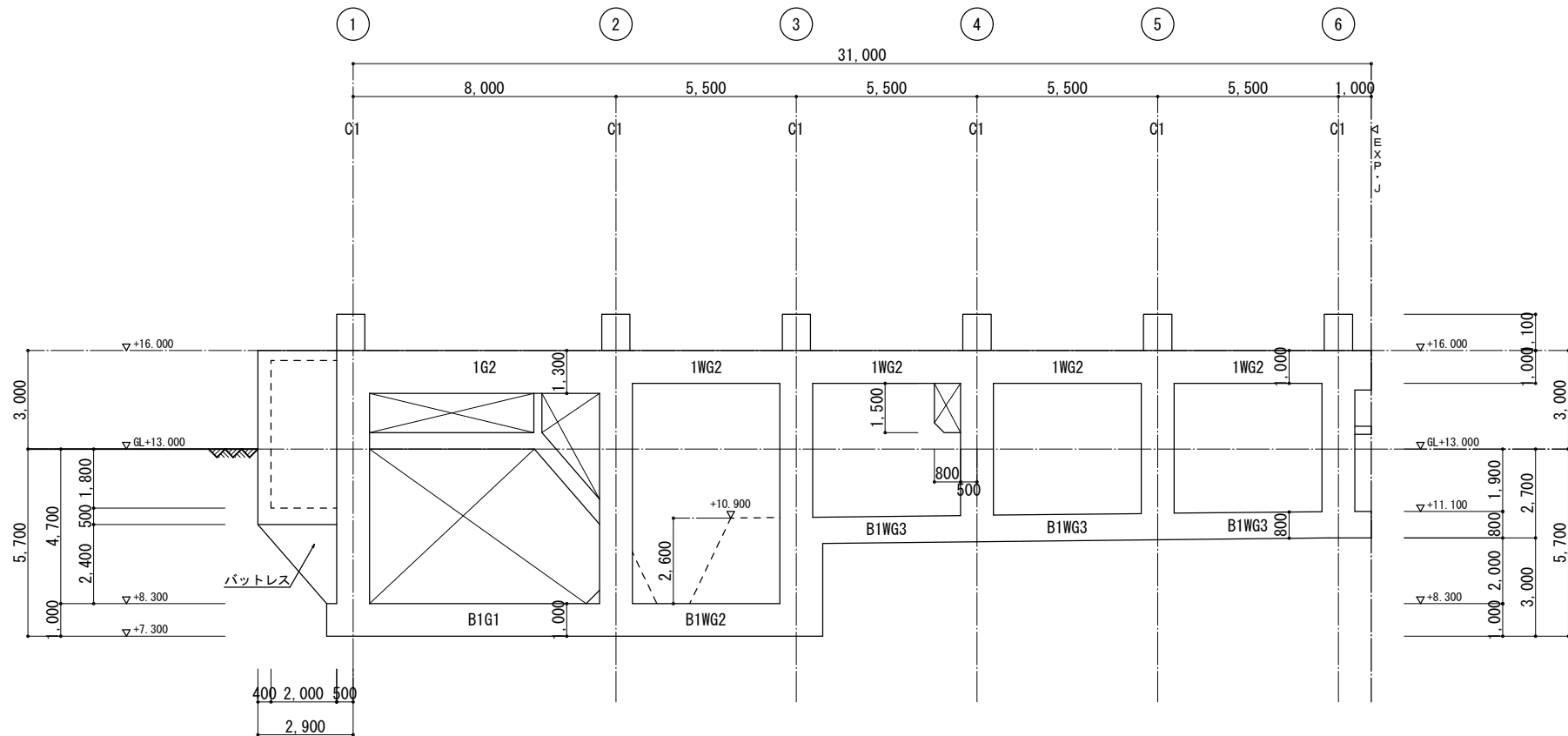
E通 軸組図 1/100



D通 軸組図 1/100

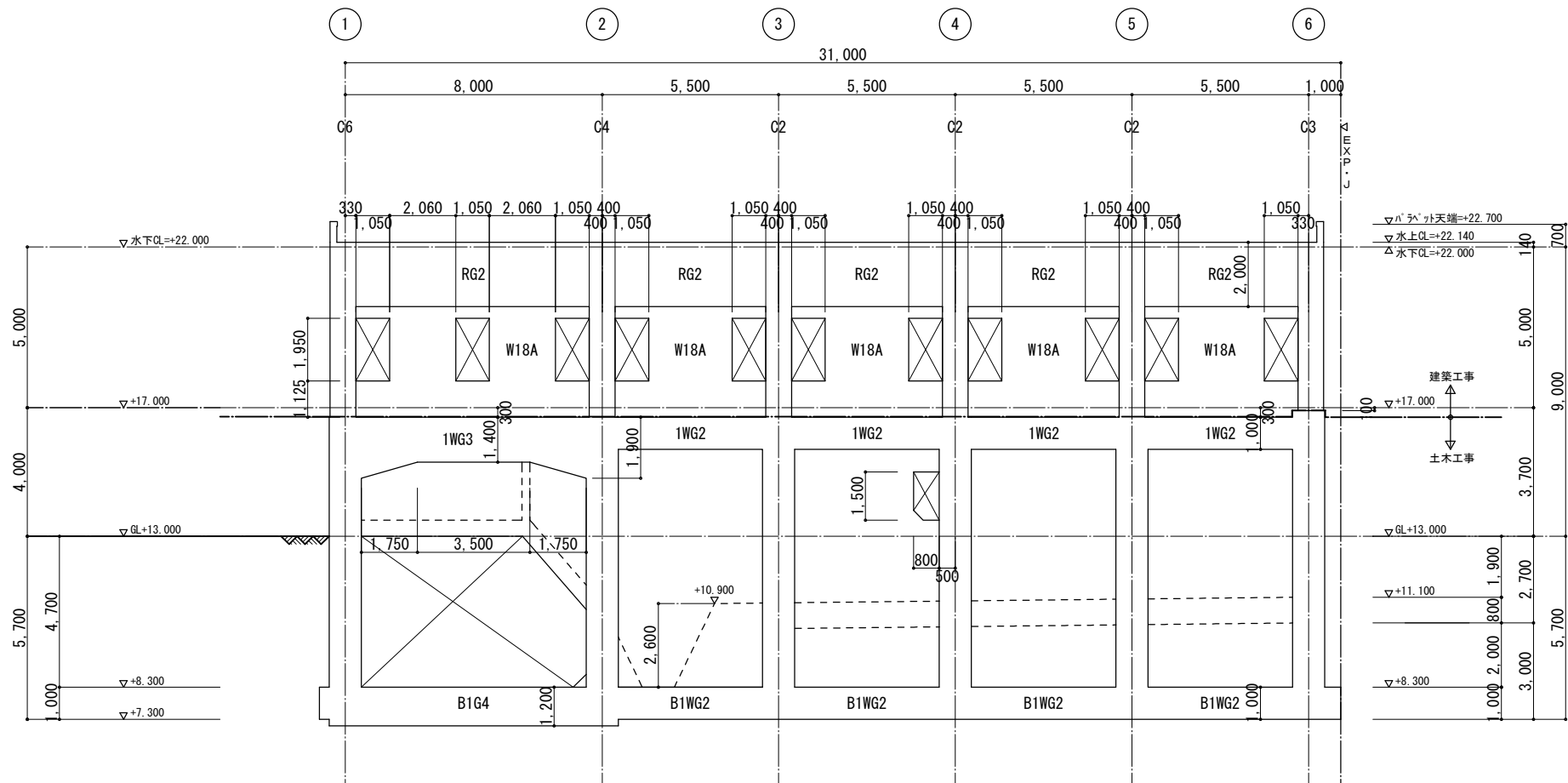
特記なき限り（共通事項）
1. バットレスの配筋は配筋詳細図による。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 軸組図（1）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-7 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



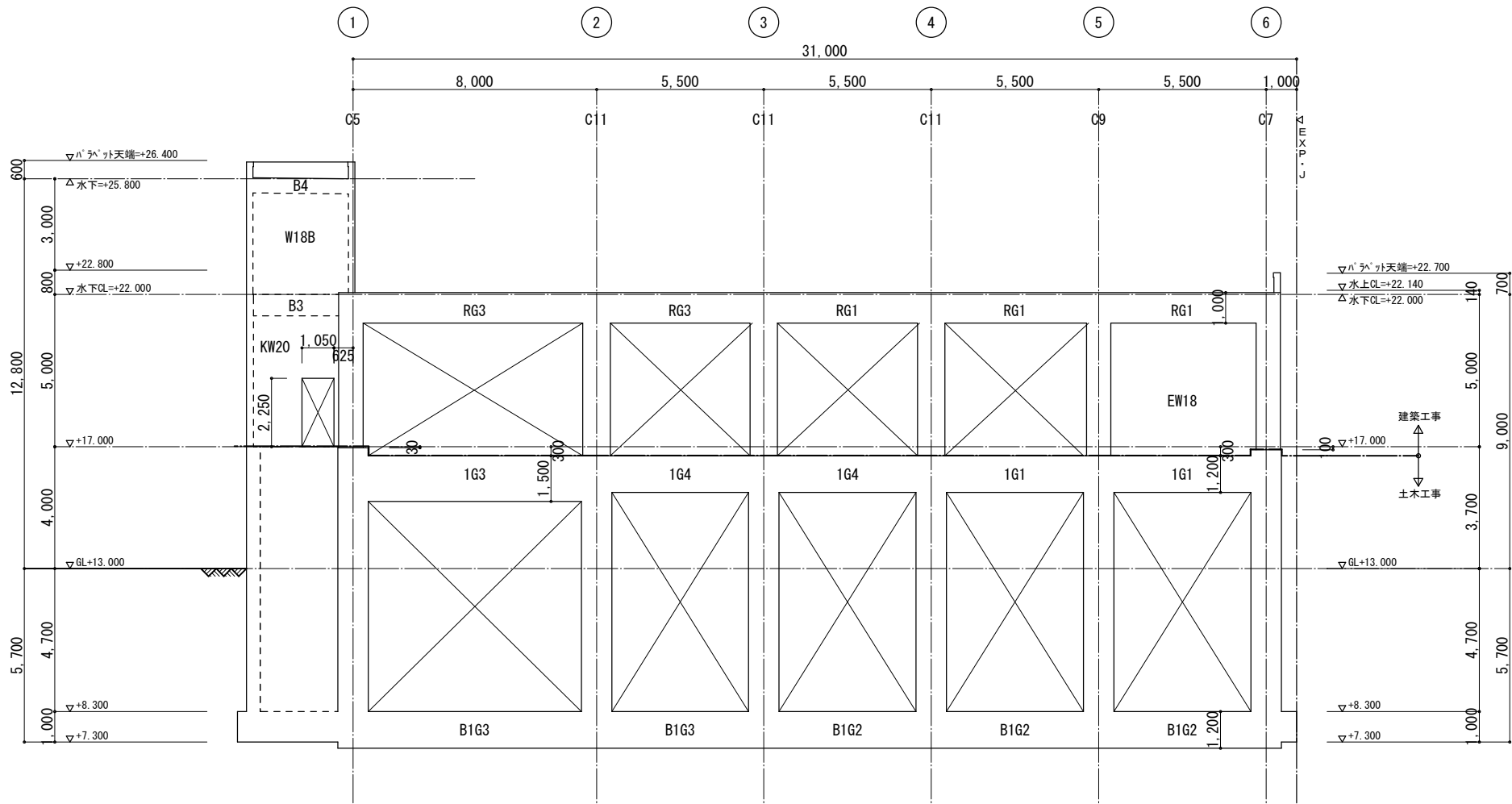
C通 軸組図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. バットレスの配筋は配筋詳細図による。



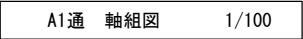
B通 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 軸組図（2）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-8 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

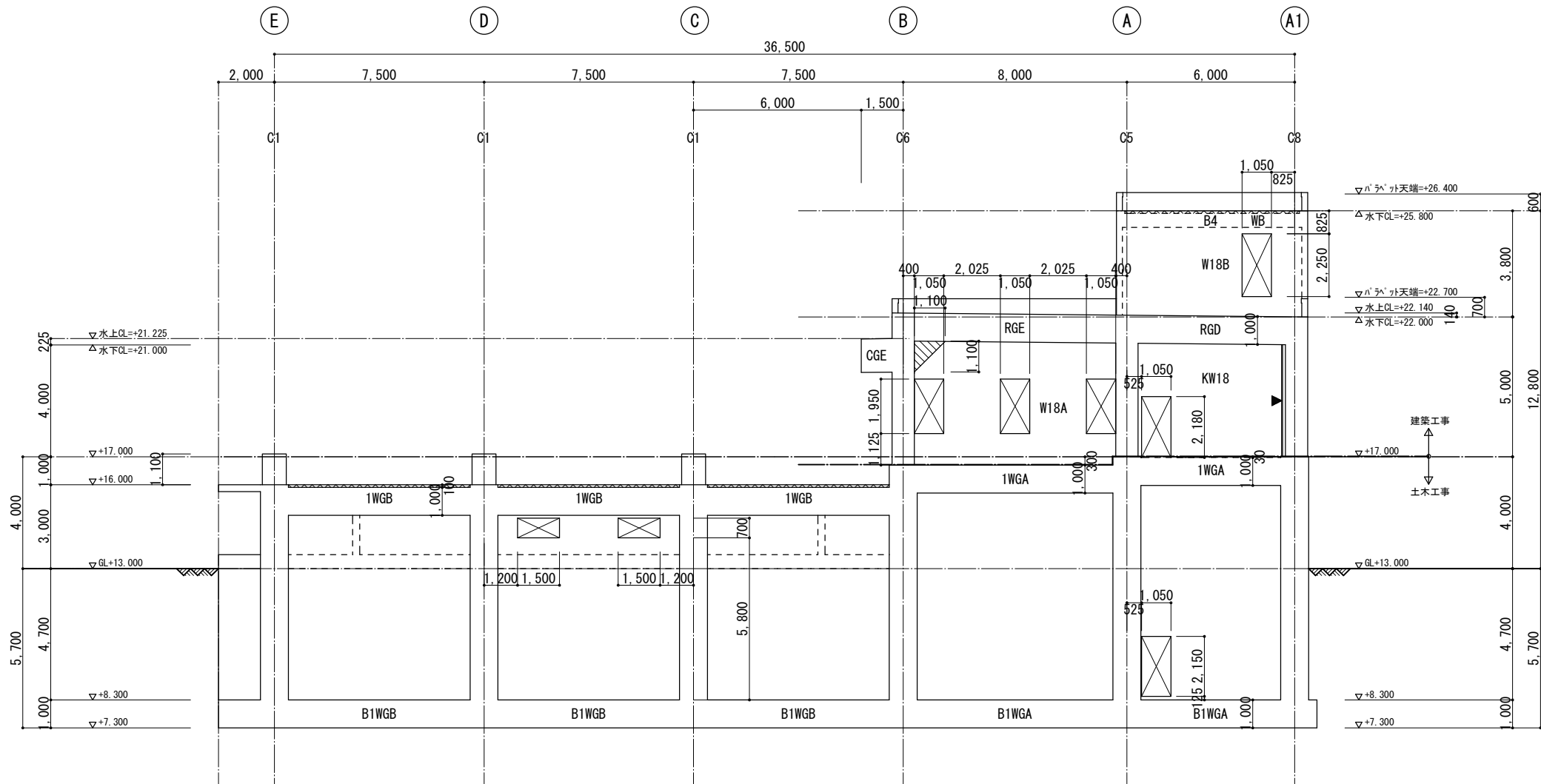


A通 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 軸組図（3）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-9 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



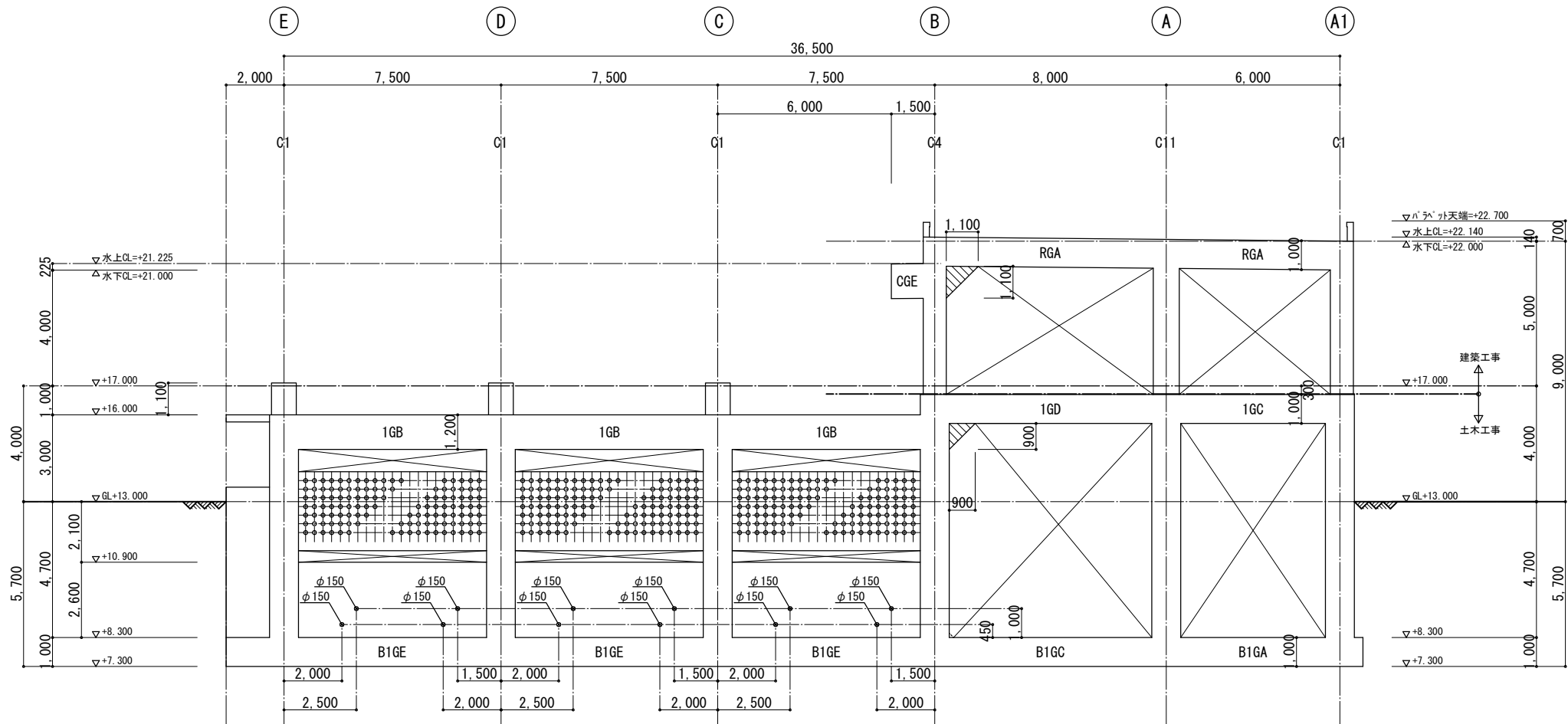
工事名称	米津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30米津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡橋木 地内
図 名	最初沈殿池 軸組図（4）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 1S-10号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



1 通 軸組図 1/100

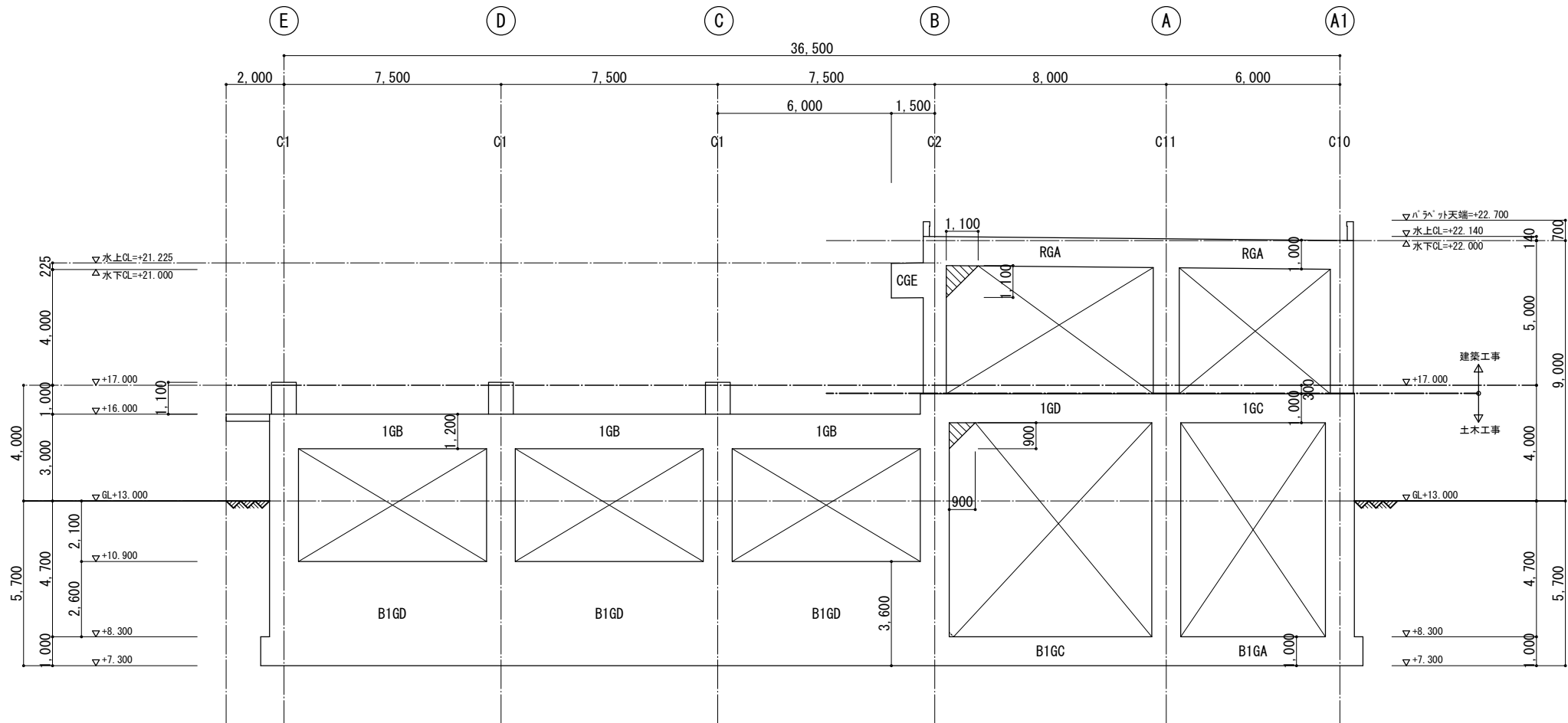
- 特記なき限り（共通事項）
1. 部は梁上増打ちを示す。
 2. 部は梁下増打ちを示し、厚さは梁幅とする。
 3. 印は、構造スリットを示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 軸組図（5）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-11 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



2通 軸組図 1/100

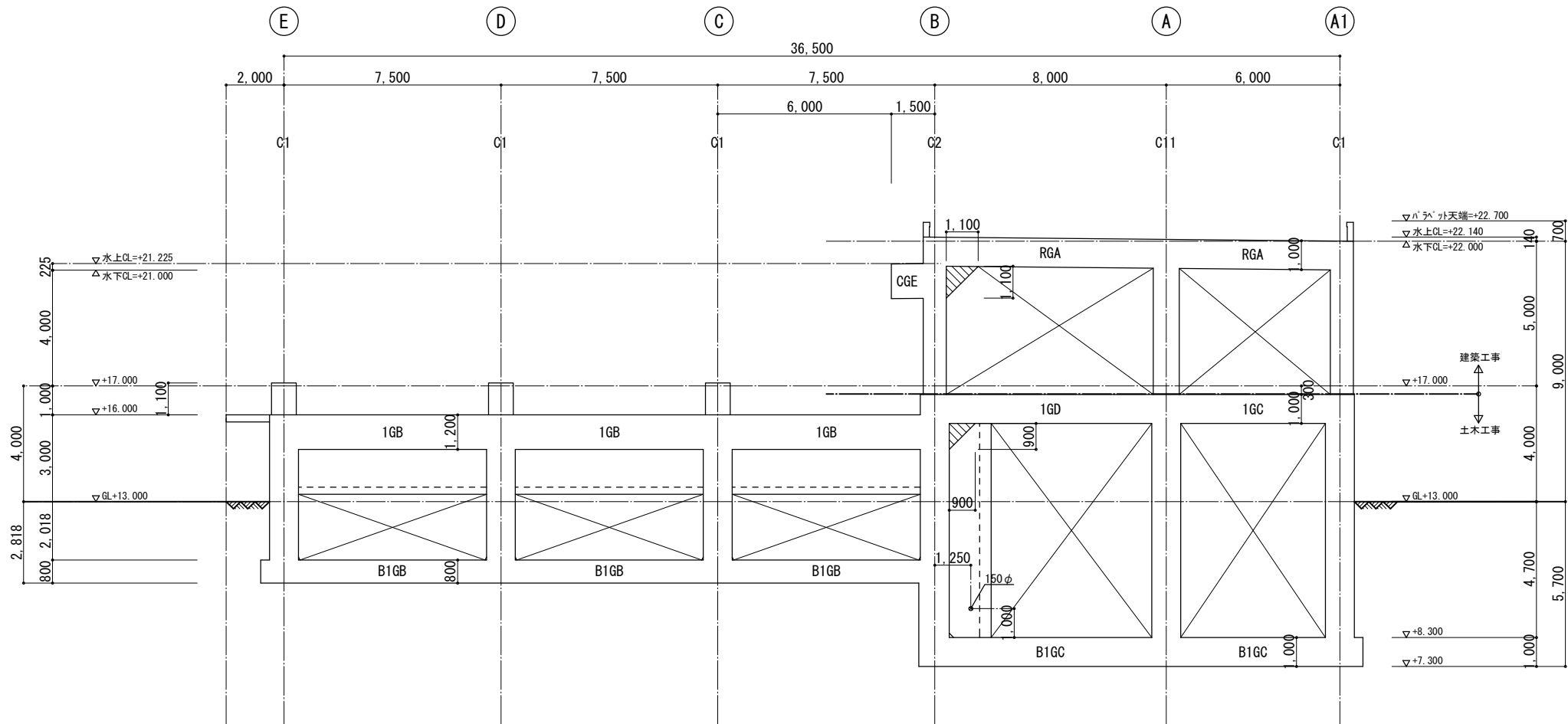
特記なき限り（共通事項）
1. 部は梁下増打ちを示し、厚さは梁幅とする。



3通 軸組図 1/100

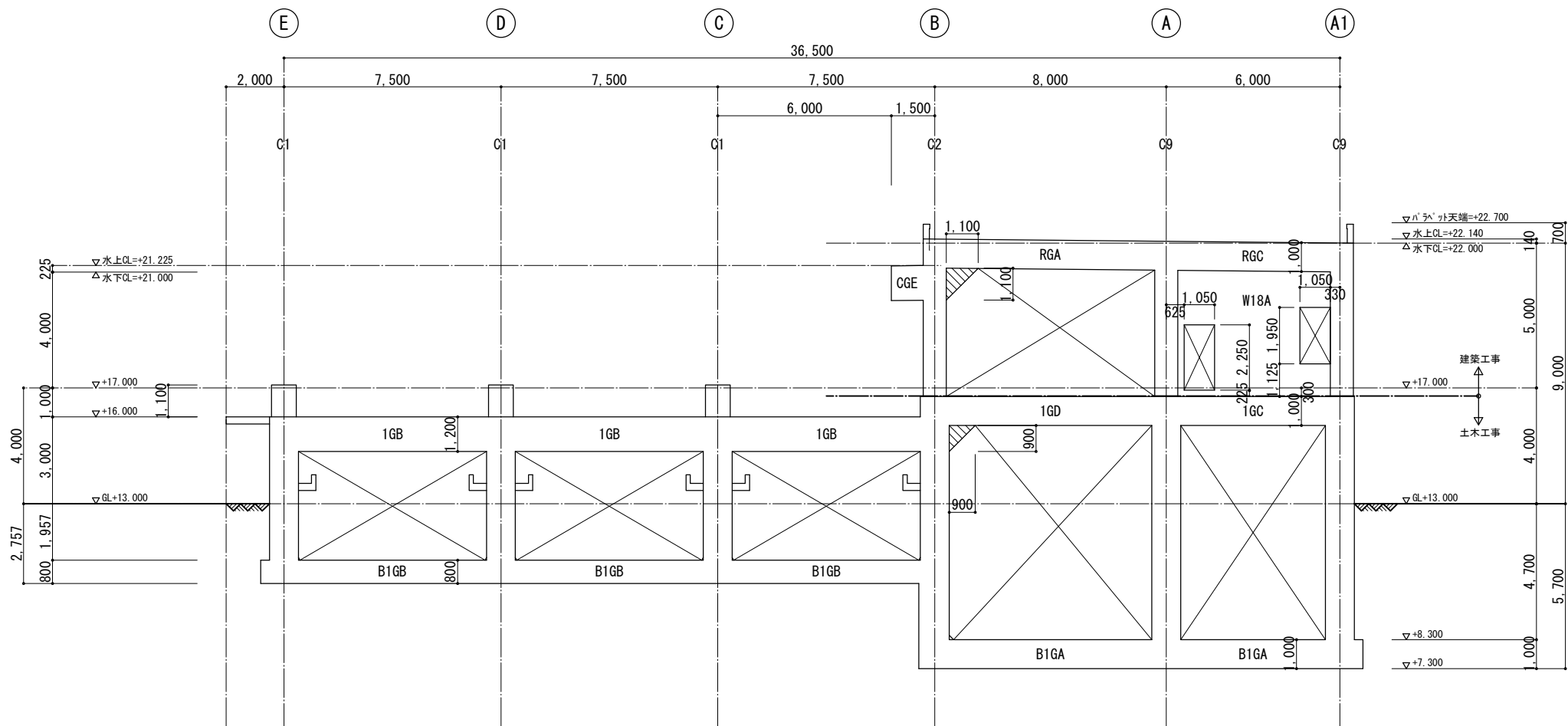
特記なき限り（共通事項）
1. 部は梁下増打ちを示し、厚さは梁幅とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 軸組図（6）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-12号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



4 通 軸組図 1/100

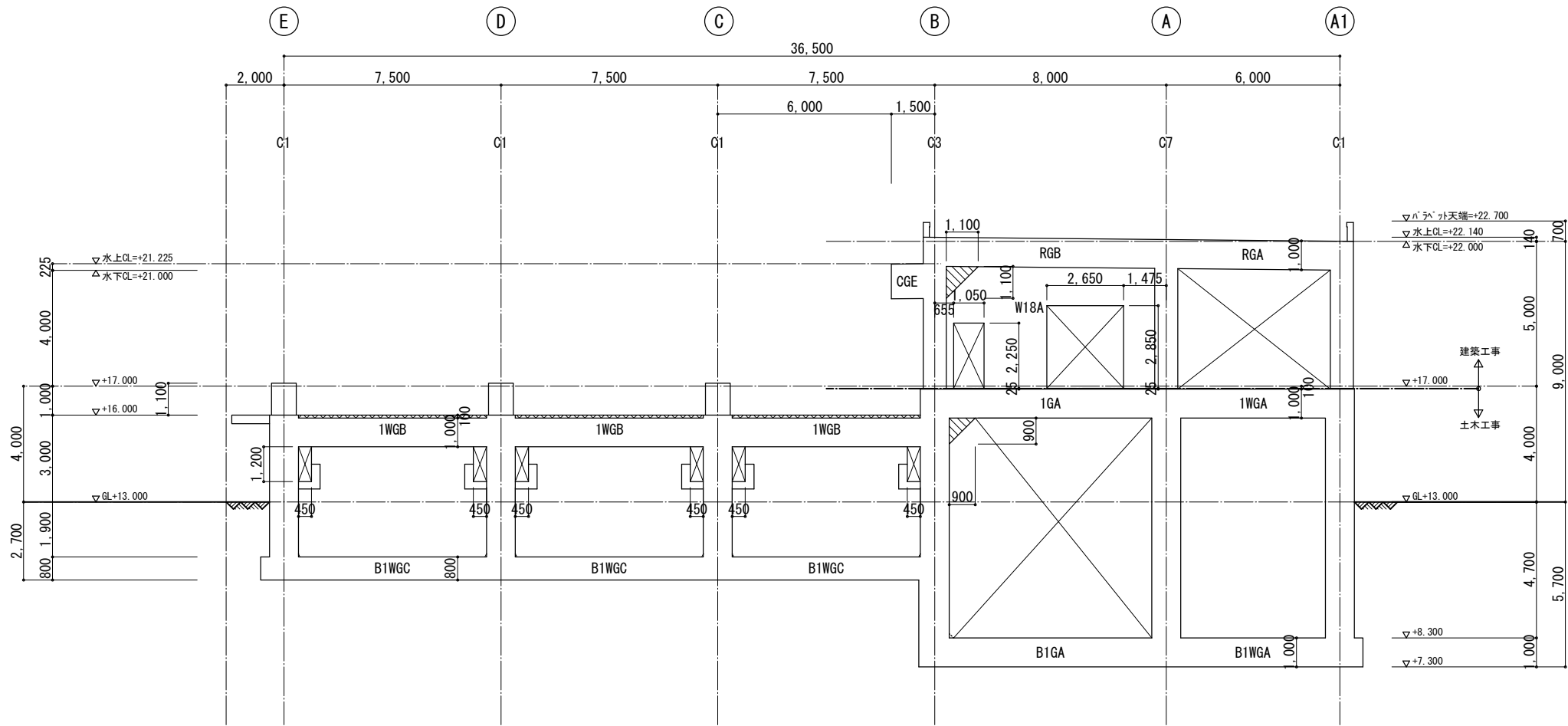
特記なき限り（共通事項）
1. 部は梁下増打ちを示し、厚さは梁幅とする。



5 通 軸組図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. 部は梁下増打ちを示し、厚さは梁幅とする。

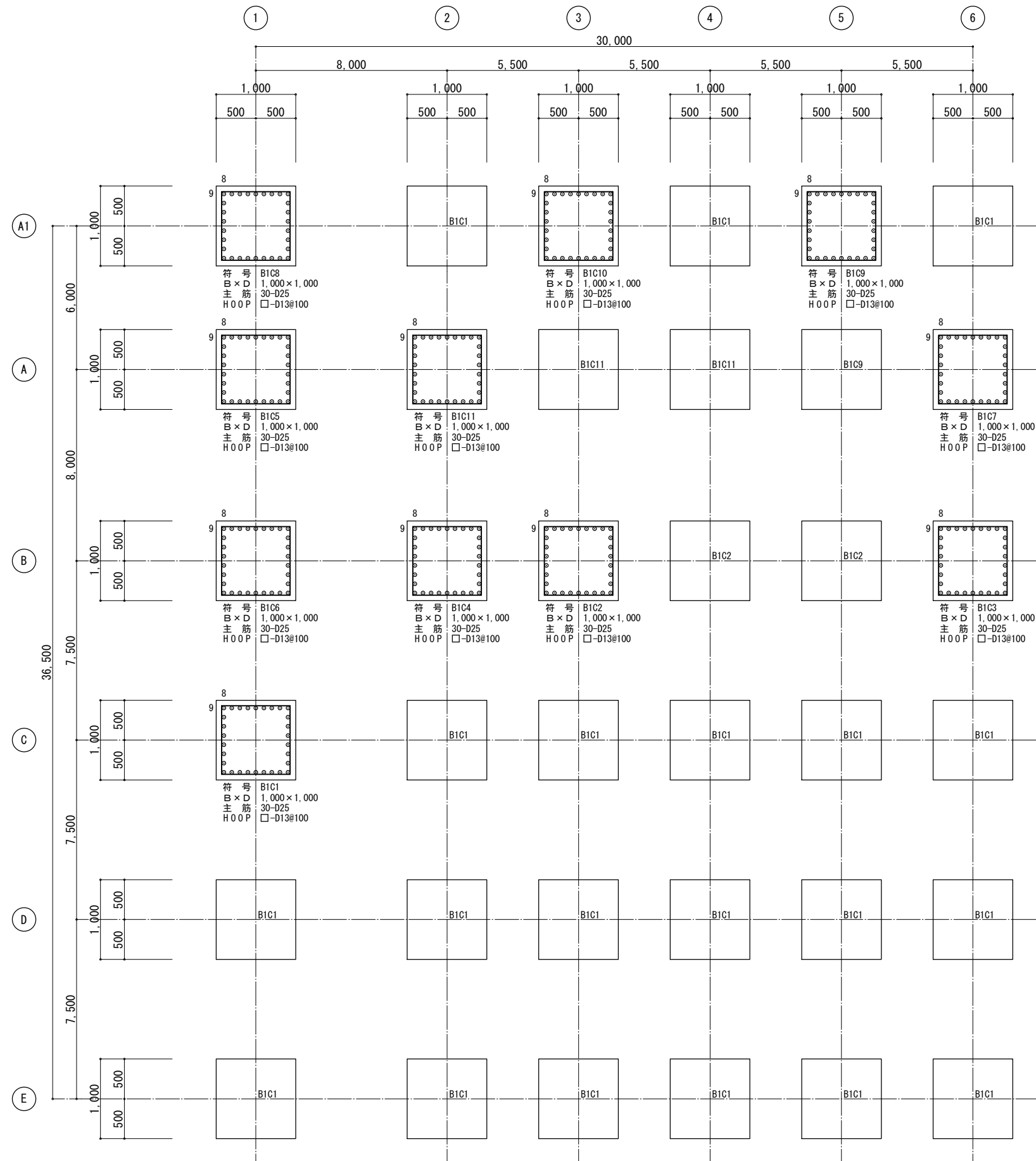
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 軸組図（7）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-13 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



6 通 軸組図 1/100

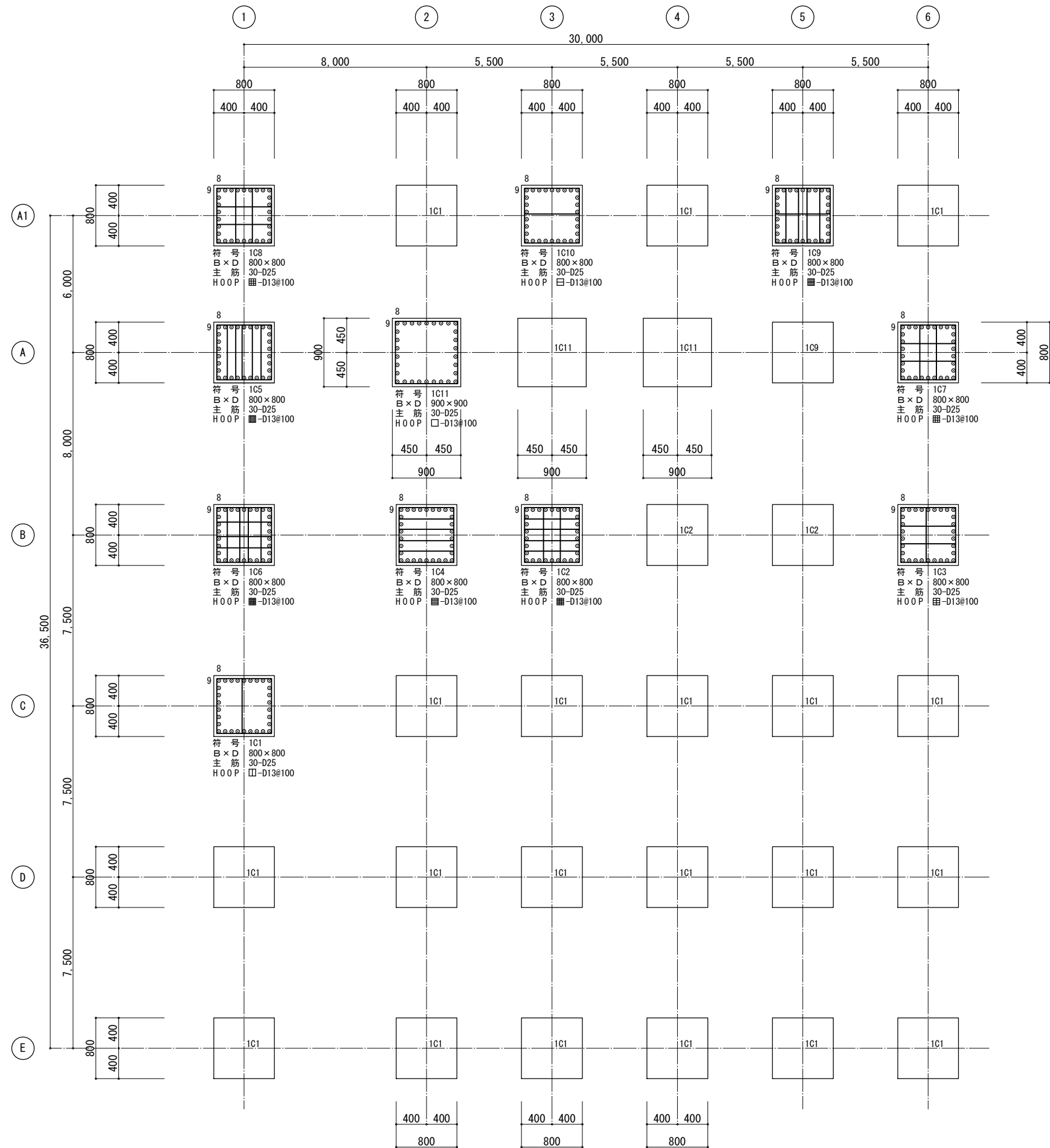
特記なき限り（共通事項）
1. 部は梁上増打ちを示す。
2. 部は梁下増打ちを示し、厚さは梁幅とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 軸組図（8）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-14 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



B階 柱リスト 1/30

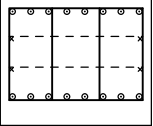
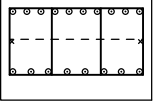
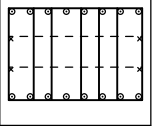
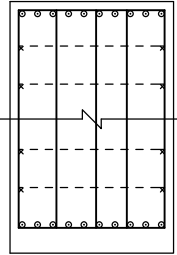
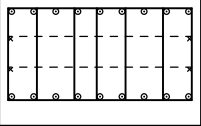
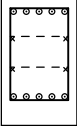
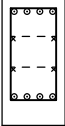
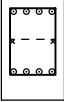
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 柱リスト（1）
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 1S-15 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

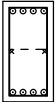
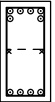
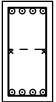
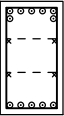
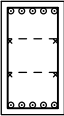
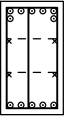
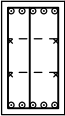


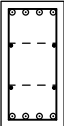
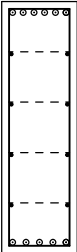
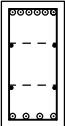
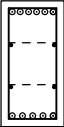
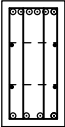
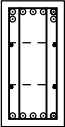
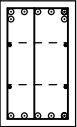
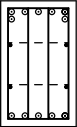
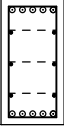
1階 柱リスト 1/30

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 柱リスト（2）
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 1S-16 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

階	符 号	1G1	1G2	1G3	1G4	1WG1	1WG2	1WG3		
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	両端部	中央部	
1	断 面									
	B × D	600×1,200	500×1,300	600×1,500	600×1,200	600×1,000	500×1,000	500×1,900	500×1,400	
	上 端 筋	6-D25	7-D25	8-D25	6-D25	4-D25	4-D25	7-D25	7-D25	
	下 端 筋	5-D25	4-D25	7-D25	5-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	
	スターラップ	▣ 4-D13@200	▣ 4-D13@200	▣ 4-D16@200	▣ 5-D16@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	▣ 5-D13@200		
	腹 筋	6-D13	6-D13	8-D13	6-D13	4-D13	4-D13	10-D13	6-D13	
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		
1	階 符 号	1GA	1GB	1GC	1GD		1WGA	1WGB		
	位 置	全断面	全断面	全断面	A通端・中央部	B通端部	全断面	全断面		
	断 面									
	B × D	600×1,000	600×1,200	600×1,000	600×1,000		600×1,000	500×1,000		
	上 端 筋	5-D25	6-D25	6-D25	6-D25	8-D25	4-D25	4-D25		
	下 端 筋	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		
	スターラップ	□ 3-D13@200	▣ 4-D13@200	□ 3-D13@200	□ 3-D16@200		□ 2-D13@200	□ 2-D13@200		
B1	腹 筋	4-D13	6-D13	4-D13	4-D13		4-D13	4-D13		
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		
	階 符 号	B1G1	B1G2	B1G3	B1G4		B1WG1	B1WG2	B1WG3	
	位 置	全断面	全断面	全断面	外端・中央部		内端部	全断面	全断面	全断面
	断 面									
	B × D	1,200×1,000	2,000×1,200	2,000×1,200	2,000×1,200		600×1,000	500×1,000	500×800	
	上 端 筋	8-D25	12-D25	18-D25	10-D25	15-D25	5-D25	4-D25	4-D25	
	下 端 筋	8-D25	8-D25	16-D25	10-D25	10-D25	5-D25	4-D25	4-D25	
	スターラップ	□□ 4-D13@200	▣▣▣ 7-D13@150	▣▣▣▣ 8-D13@100	▣▣▣▣ 6-D13@150		□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	
	腹 筋	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13		4-D13	4-D13	2-D13	
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	

階	符 号	B1GA	B1GB	B1GC	B1GD	B1GE	B1WGA	B1WGB	B1WGC
B1	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断 面								
	B × D	1,200×1,000	1,200×800	1,200×1,000	1,300×3,600	1,600×1,000	600×1,000	500×1,000	500×800
	上 端 筋	8-D25	10-D25	8-D25	10-D25	9-D25	5-D25	4-D25	4-D25
	下 端 筋	8-D25	8-D25	8-D25	10-D25	9-D25	5-D25	4-D25	4-D25
	スターラップ	□□ 4-D13@200	□□□ 4-D13@200	□□□□ 7-D13@100	□□□□ 5-D13@200	□□□□ 7-D16@100	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200
	腹 筋	4-D13	2-D13	4-D13	20-D13	4-D13	4-D13	4-D13	2-D13
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000

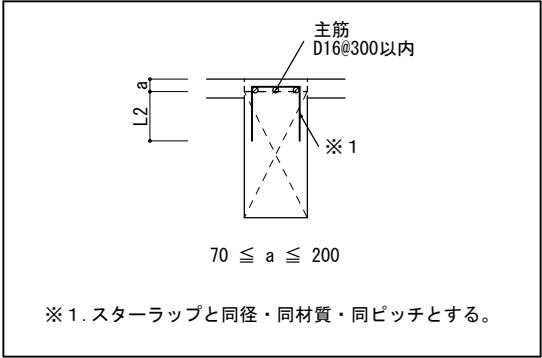
符 号	B1	B2	B3		B4		B5		B6		
位 置	全断面	全断面	B通端部	C通端・中央部	内端部	外端・中央部	A通端部	B通端・中央部	全断面		
断 面											
B × D	400×600	400×800	400×800		500×900		500×900		750×500		
上 端 筋	3-D25	4-D25	6-D25	4-D25	7-D25	5-D25	7-D25	5-D25	4-D19		
下 端 筋	3-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	4-D19		
スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200		□ 2-D13@200		□□ 3-D13@200		□ 2-D13@200		
腹 筋	2-D13	2-D13	2-D13		4-D13		4-D13		—		
幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000		————		

階	符 号	RG1	RG2	RG3		
	位 置	全断面	全断面	全断面		
R	断 面					
	B × D	500×1,000	600×2,000	500×1,000		
	上 端 筋	4-D25	6-D25	6-D25		
	下 端 筋	4-D25	5-D25	4-D25		
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200		
	腹 筋	4-D10	8-D10	4-D10		
	幅 止 筋	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000		
階	符 号	RGA	RGB	RGC	RGD	RGE
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
R	断 面					
	B × D	500×1,000	500×1,000	500×1,000	600×1,000	600×1,000
	上 端 筋	6-D25	6-D25	7-D25	7-D25	7-D25
	下 端 筋	5-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25
	スターラップ	□ 2-D13@200	▣ 4-D13@200	▣ 4-D13@100	□ 3-D13@200	▣ 4-D13@100
	腹 筋	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10
	幅 止 筋	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000
階	符 号	CGE				
	位 置	全断面				
R	断 面					
	B × D	500×1,200				
	上 端 筋	5-D25				
	下 端 筋	5-D25				
	スターラップ	□ 2-D13@200				
	腹 筋	6-D10				
	幅 止 筋	↗ -D10@1,000				

階	符 号	B1	B2	B3	B4	WB	CB1	
R	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	
	断 面							
	B × D	400×800	300×600	350×700	300×500	300×500	500×1,100	
	上 端 筋	3-D25	3-D19	3-D22	3-D16	3-D16	5-D25	
	下 端 筋	3-D25	3-D19	3-D22	3-D16	3-D16	5-D25	
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D10@200	□ 2-D10@200	□ 2-D10@200	□ 2-D10@200	□ 2-D13@200	
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	-	-	4-D10	
	幅 止 筋	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	

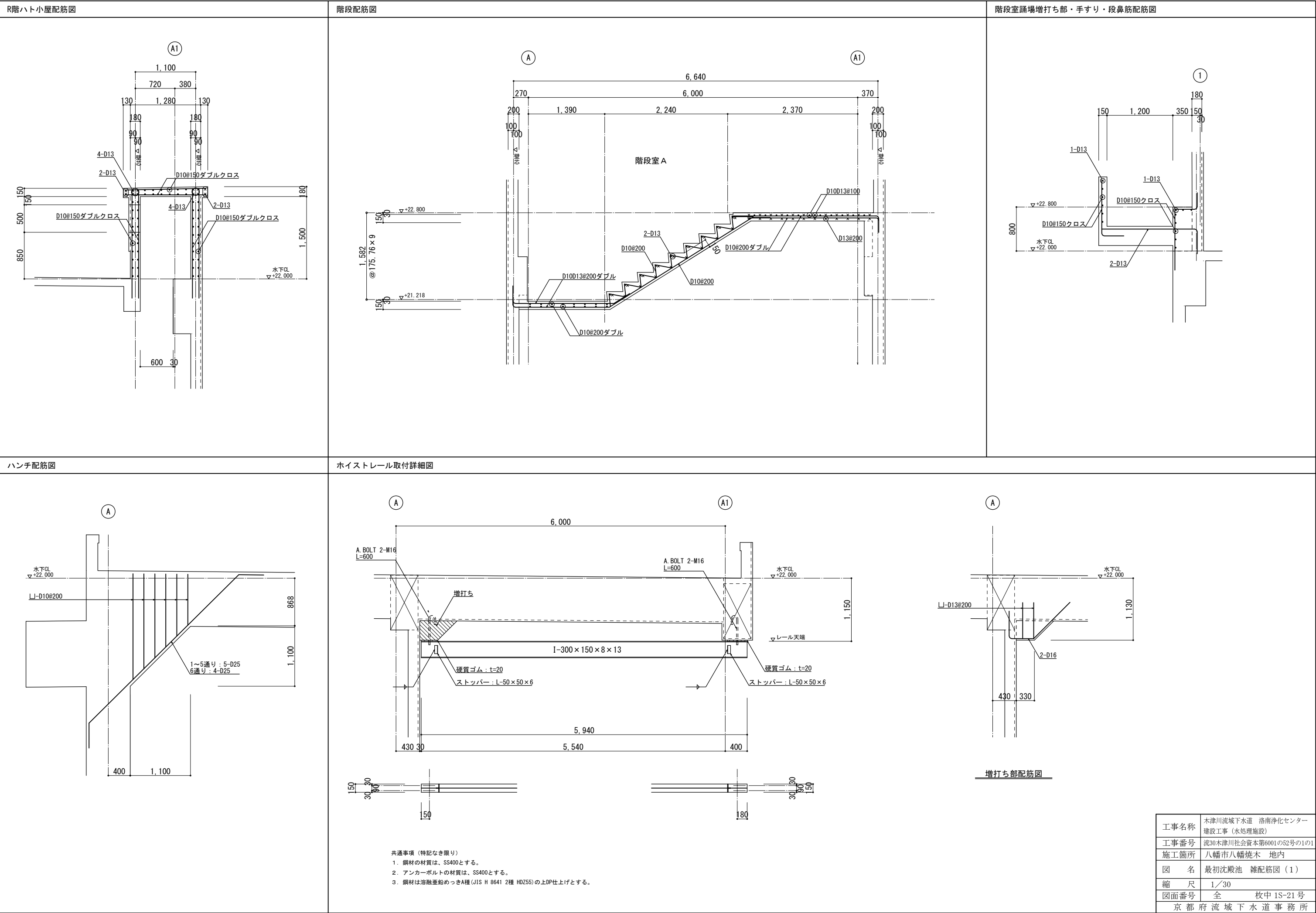
符 号	W18A	W18B	KW18	EW18	KW20
断 面					
壁 厚	180	180	180	180	200
縦 筋	D10@150	D10@150	D13@150	D10@150	D13@150
横 筋	D10@150	D10@150	D10@150	D10@150	D10@150
開口部 補強筋	縦	4-D13	4-D13	-	4-D13
	横	4-D13	4-D13	-	4-D13
	斜め	2-D13	2-D13	-	2-D13
巾 止 筋	D10@900	D10@900	D10@900	D10@900	D10@900
備 考		配筋順序は、縦筋を外側、横筋を内側とする。	配筋順序は、縦筋を外側、横筋を内側とする。		配筋順序は、縦筋を外側、横筋を内側とする。

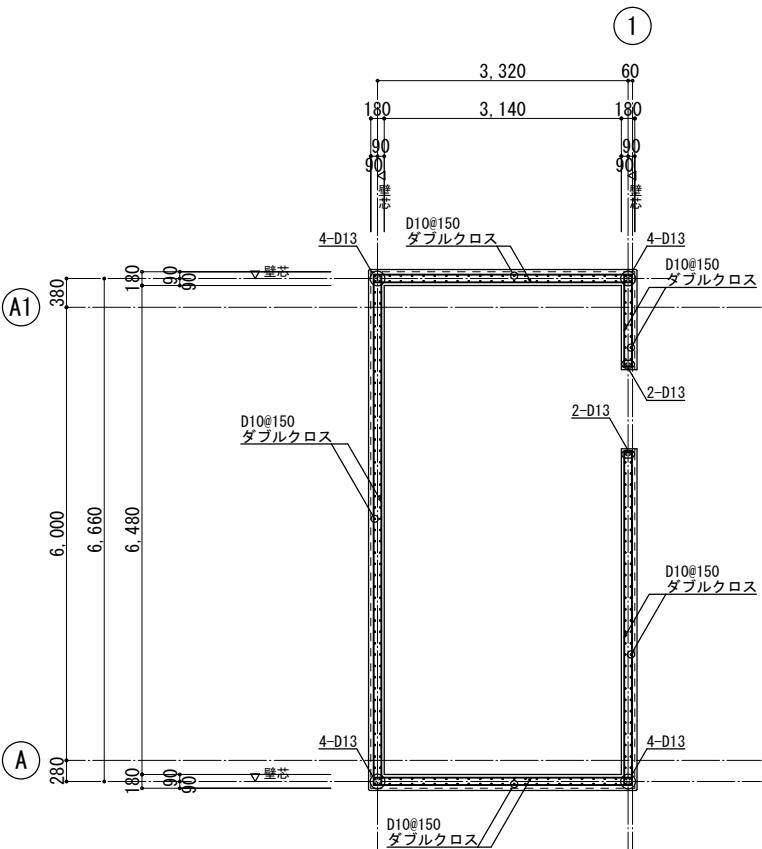
符 号	版 厚	位 置	主筋方向（短辺）		配力筋方向（長辺）		備 考
			端 部	中央部	端 部	中央部	
S15	150	上端筋	D10D13@200	↗	D10@200	↗	
		下端筋	D10D13@200	↗	D10@200	↗	
CS15	150	上端筋	D10D13@100	↗	D10@200	↗	
		下端筋	D13@200	↗	D10@200	↗	
S20	200	上端筋	D10D13@200	↗	D13@200	↗	
		下端筋	D10D13@200	↗	D13@200	↗	
共 通 事 項							



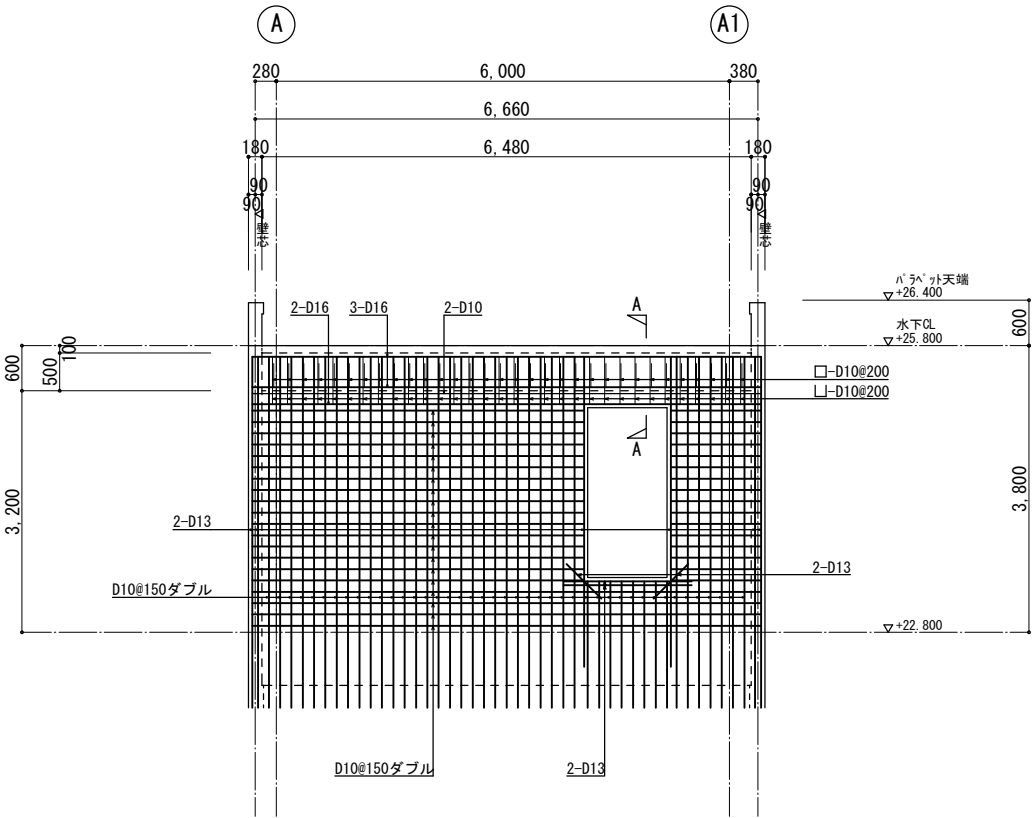
R階パラペット配筋図	PH階パラペット配筋図	庇配筋図

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 床版、壁リスト
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 1S-20 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

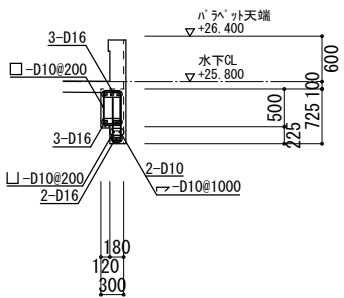




平断面配筋図 1/50

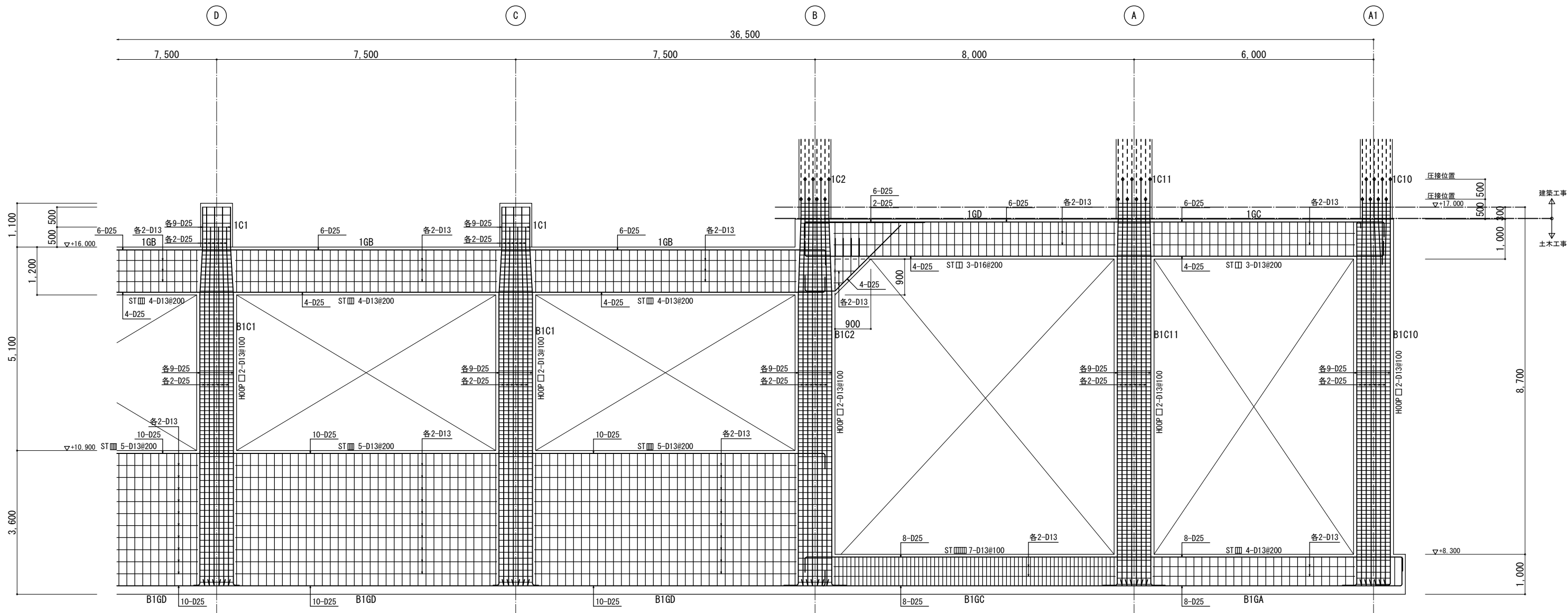


1通り架構配筋図 1/50



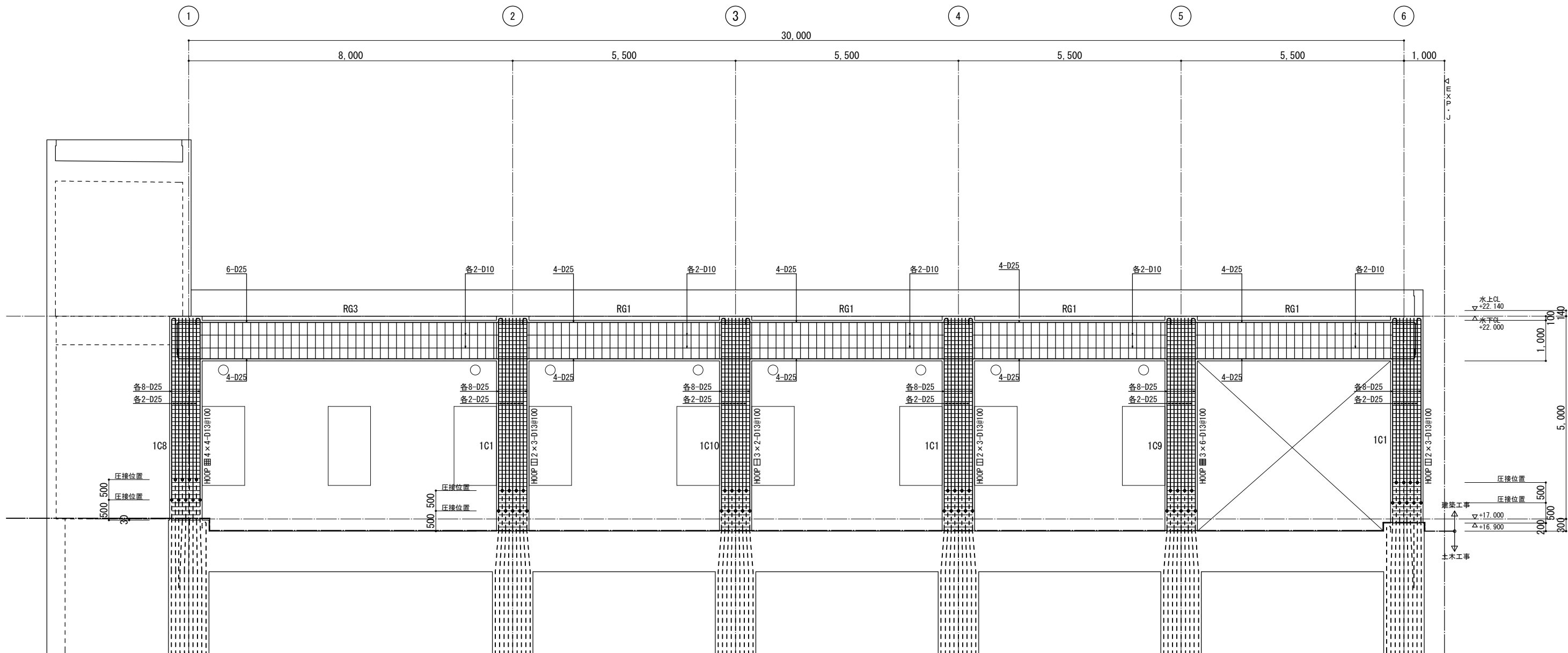
A-A断面配筋図 1/50

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 雑配筋図（2）
縮 尺	1／50
図面番号	全 枚中 1S-22 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



3通 架構配筋図 1/50

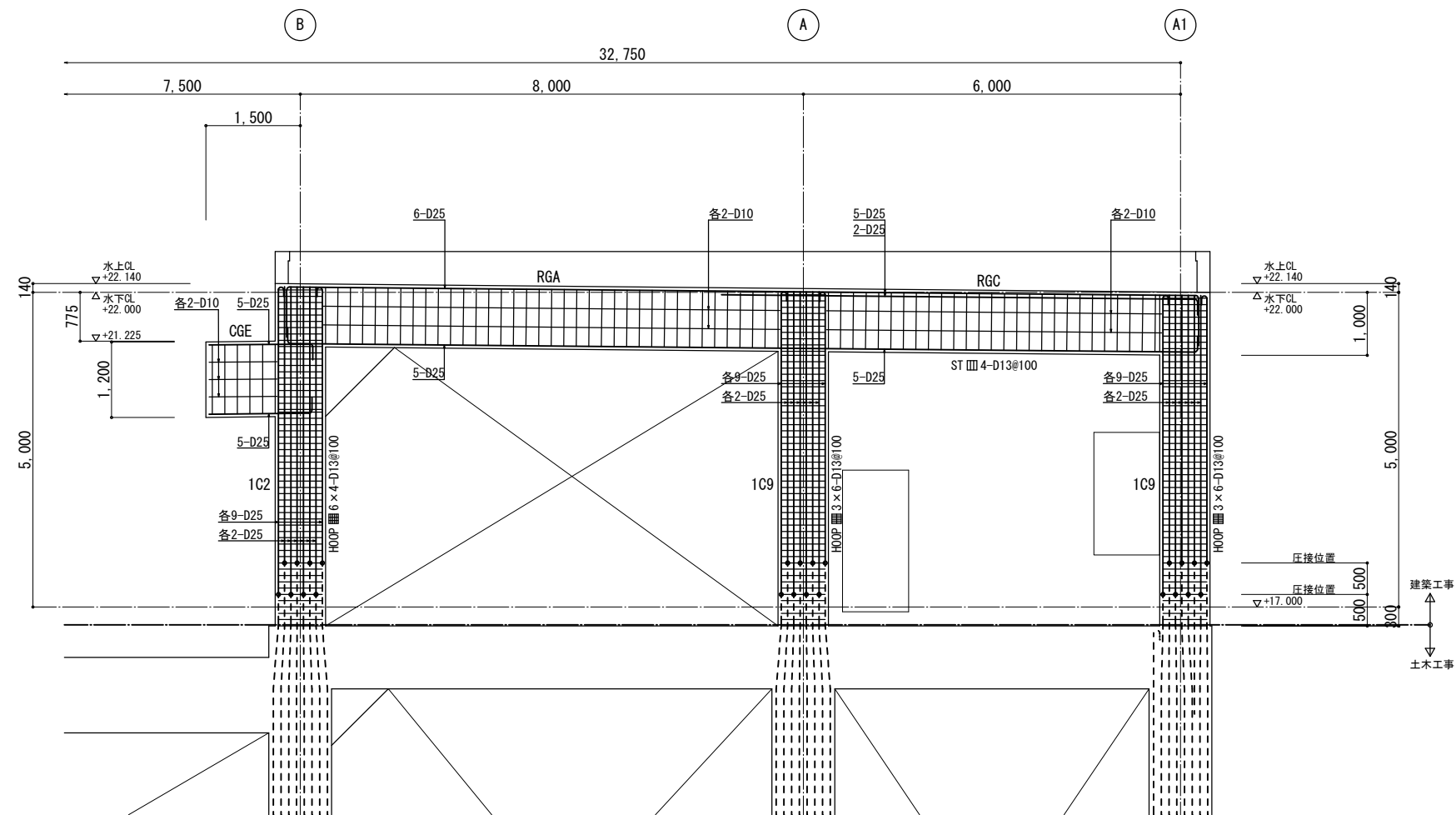
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 架構配筋図(2)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 15-24号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A 1 通 架構配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. STは、□2-D13@200とする。
2. パネルゾーンのHDPは、□-D10@100とする。

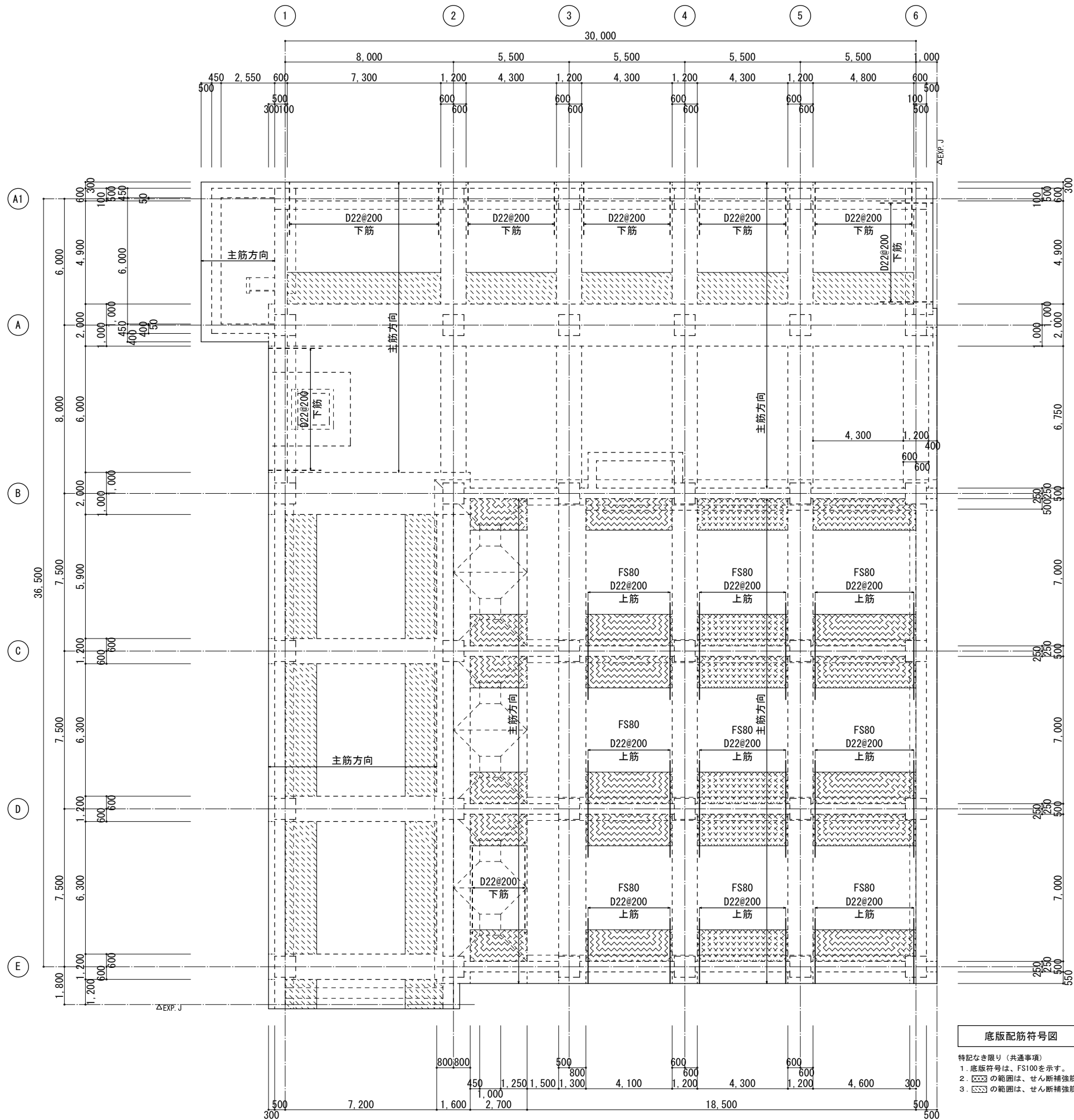
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 架構配筋図（3）
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-25 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



5通 架構配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. STは、□2-D13@200とする。
2. パネルゾーンのHDPは、□-D10@100とする。

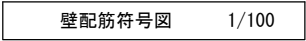
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 架構配筋図（4）
縮 尺	1／50
図面番号	全 枚中 1S-26号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



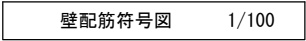
底板配筋符号図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. 底板符号は、FS100を示す。
2. の範囲は、せん断補強筋D13@200×200を示す。
3. の範囲は、せん断補強筋D13@400×400を示す。

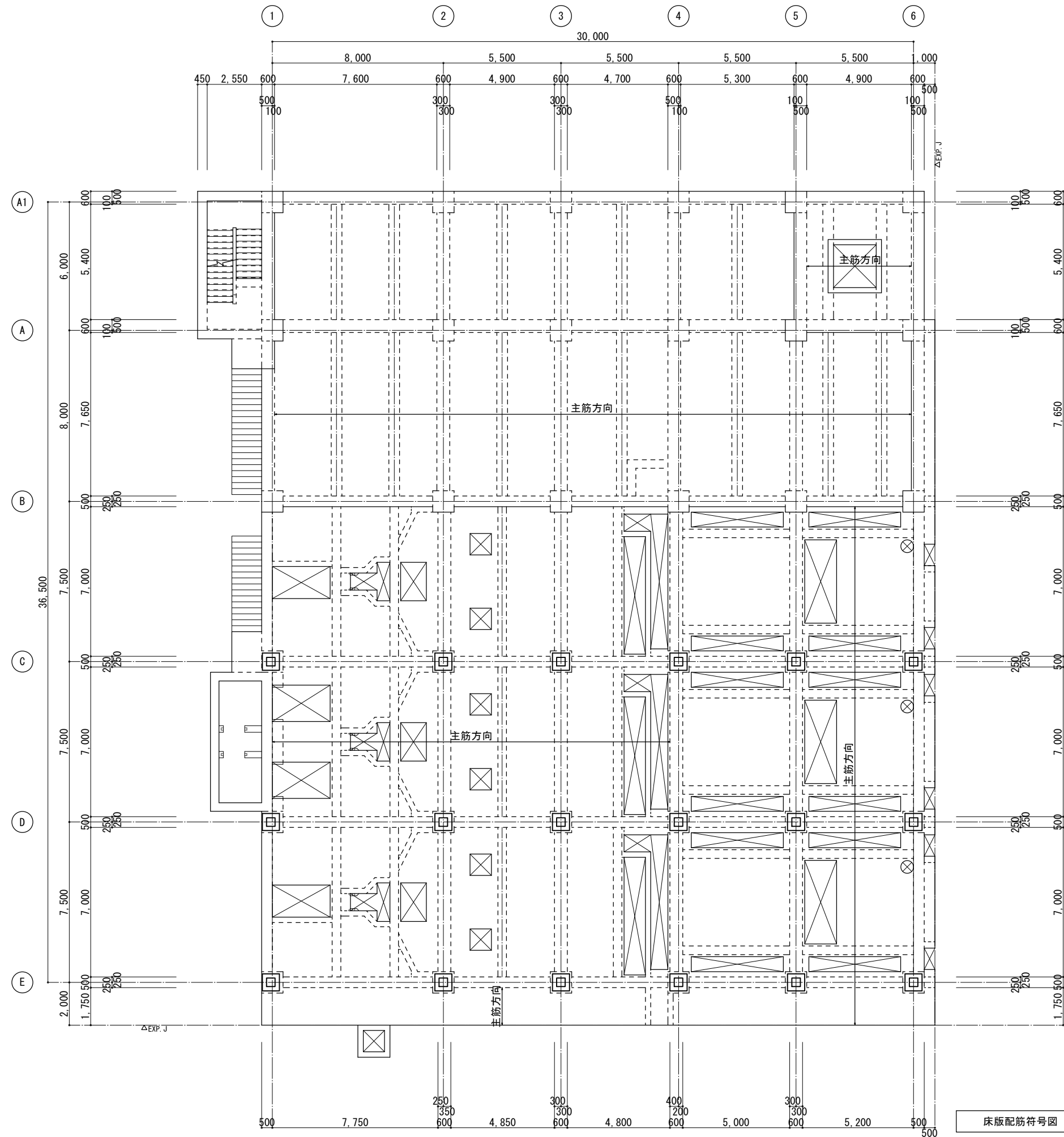
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 配筋リスト（1）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 15-27号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	米津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30米津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 配筋リスト（2）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 1S-28号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



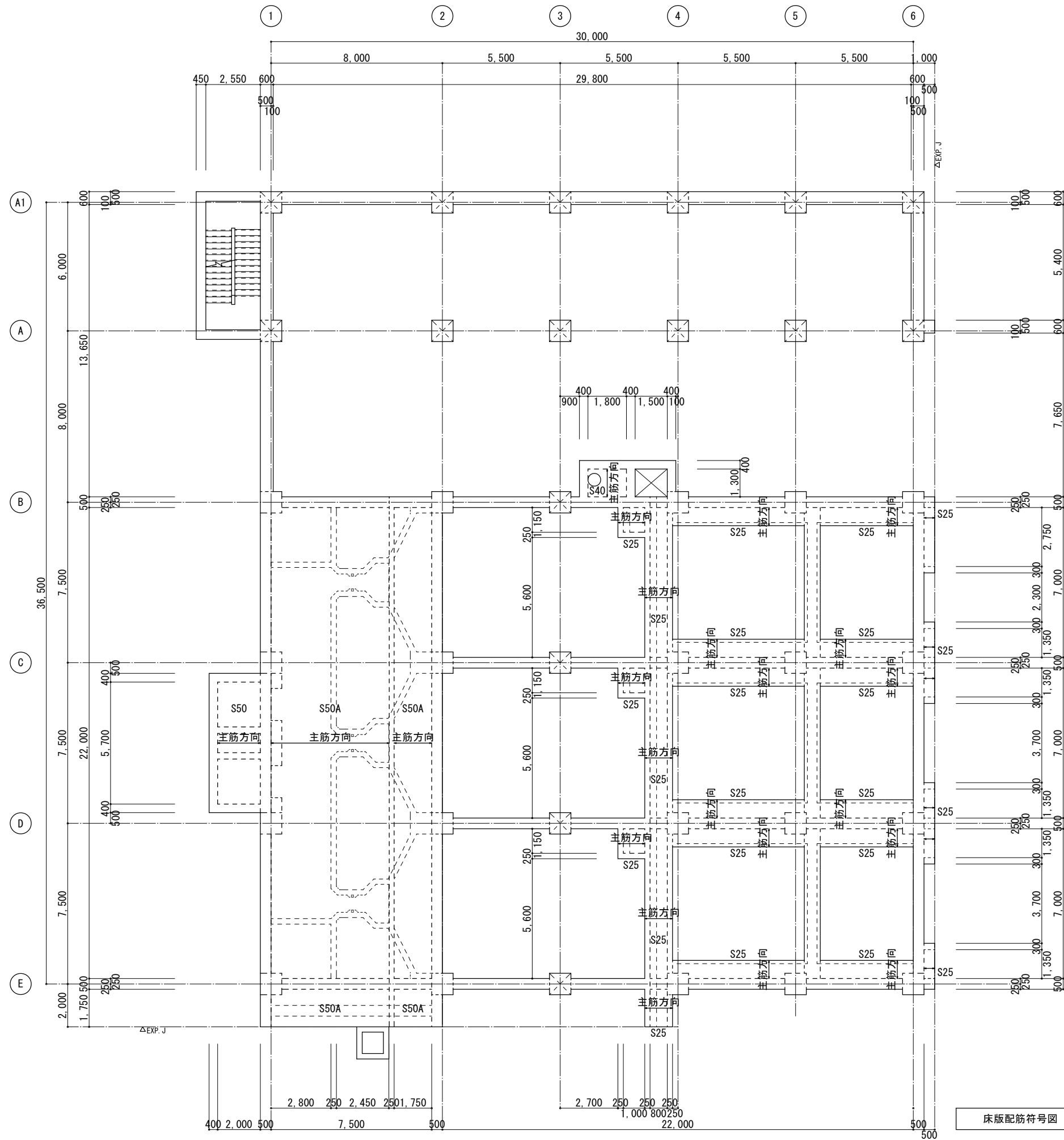
工事名称	米津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30米津川社会資本第6001の52号の101
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 配筋リスト（3）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 1S-29号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



床版配筋符号図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. S25を示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最初沈殿池 配筋リスト（4）
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 1S-30 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 配筋リスト（5）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 1S-31 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

底版リスト

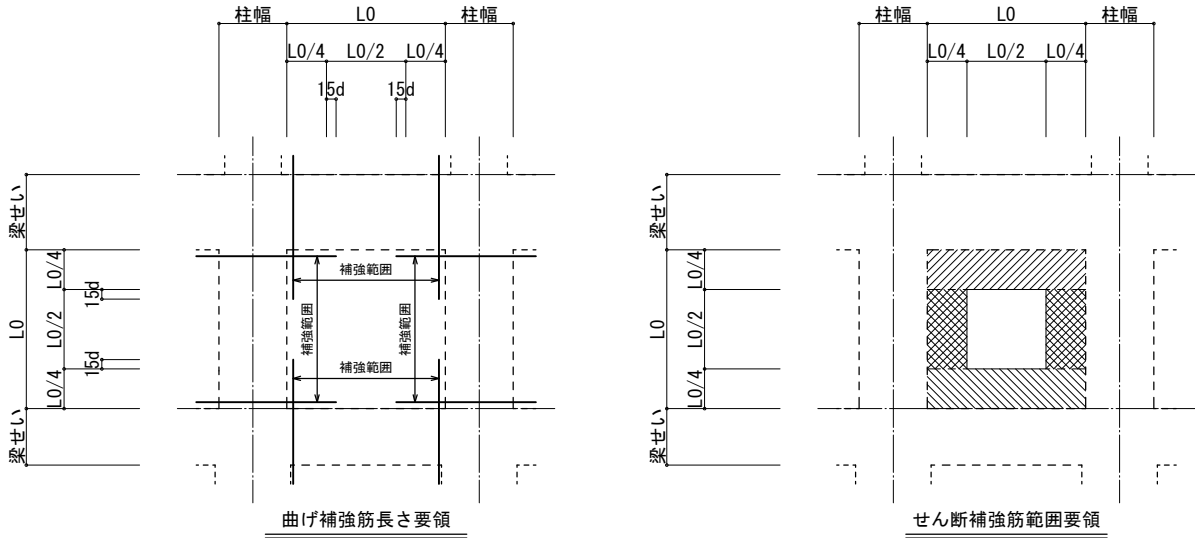
符号	版厚	位置	主筋方向（短辺）			配力筋方向（長辺）			せん断補強筋（主筋方向）			せん断補強筋（配力筋方向）			備 考
			外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	
FS80	800	両面	D25@200			D22@200			—	—	—	—	—	—	曲げ・せん断補強筋は、 底版配筋符号図参照
FS100	1000	両面	D25@200			D25@200			—	—	—	—	—	—	
共通事項			符号なき底版は、配筋図参照とする。 補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。												

壁リスト

符号	壁厚	位置	縦筋			横筋		開口部補強筋 縦横斜め	せん断補強筋		
			上部	中央部	下部	中央部	両端部		縦筋上部	縦筋下部	横筋両端部
W25	250	両面	D13@200			D13@200		4-D16	—	—	—
W30	300	両面	D13@200			D13@200		—	—	—	—
W40	400	両面	D16@200			D16@200		—	—	—	—
W40A	400	両面	D16@200			D16@200		—	—	D13@200×200	D13@200×200
W45	450	外面	D22@200			D22@200		—	—	—	—
		内面	D19@200			D19@200					
W45A	450	外面	D22@200			D22@200		—	—	D13@200×400	D13@200×400
		内面	D19@200			D19@200					
W50	500	両面	D19@200			D16@200		—	—	—	—
W50A	500	外面	D19@200			D16@200		4-D22	—	D13@400×400	—
		内面	D19@200		D16D19@100	D16@200					
W50B	500	両面	D19@200		D16D19@100	D16@200		4-D22	—	—	—
W50C	500	両面	D19@200			D16@200		4-D22	—	D13@400×400	—
W50D	500	外,3通側	D25@200			D16@200		4-D29	—	—	—
		内,1通側	D22@200			D16@200					
W50E	500	両面	D19@200			D19@200		4-D22	—	—	—
W60	600	両面	D22@200			D16@200		4-D25	—	—	—
W60A	600	外面	D22@200		D22@100	D16@200		—	—	D13@200×200	—
		内面			D22@200		D16@200				
W105	1050	両面	D25@200			D25@200		—	—	—	—
W105	1050	両面	D25@200			D25@200		—	D13@400×400	D13@400×400	—
共通事項			符号なき壁は、配筋図参照とする。 補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 壁幅止め筋は、↗-D13@1,000×1,000程度とする。但し、せん断補強筋は、幅止め筋を兼用とする。 せん断補強筋表示は、縦筋の場合：D**@P×P=鉄筋径@縦方向ピッチ×横方向ピッチとし 横筋の場合：鉄筋径@横方向ピッチ×縦方向ピッチとする。								

床版リスト

符号	版厚	位置	主筋方向（短辺）		配力筋方向（長辺）		開口部補強筋	せん断補強筋（主筋方向）		せん断補強筋（配力筋方向）		備 考
			端部	中央部	端部	中央部		縦横斜め	外端部	内端部	外端部	
S25	250	両面	D13@200		D13@200		4-D16	—	—	—	—	
S40	400	両面	D16@200		D16@200		4-D19	—	—	—	—	
S50	500	両面	D19@200		D19@200		—	—	—	—	—	
S50A	500	上面	D25@200		D16@200		—	—	—	—	—	
		下面	D22@200		D16@200							
階段 段部	250	上面	2-D13		D13@200		—	—	—	—	—	
		下面	1-D13		D13@200							
共通事項			補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 床版（厚300以上）組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。									

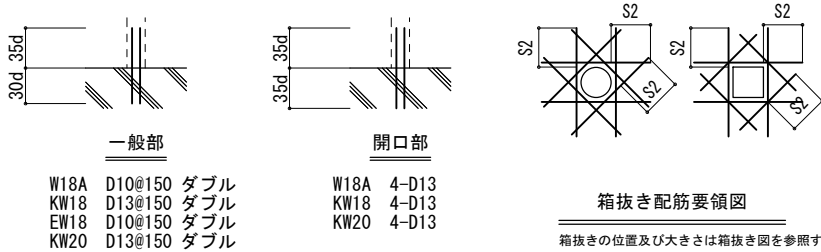


曲げ補強筋長さ要領

特記なき限り（共通事項）

1. 余長として、100mm単位で切り上げること。

せん断補強筋範囲要領



一般部

開口部

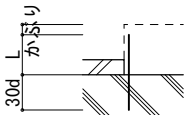
- W18A D10@150 ダブル
KW18 D13@150 ダブル
EW18 D10@150 ダブル
KW20 D13@150 ダブル

- W18A 4-D13
KW18 4-D13
KW20 4-D13

差し筋要領図

特記なき限り（共通事項）

1. 開口位置は、建築図を参照。



機器基礎差し筋要領図

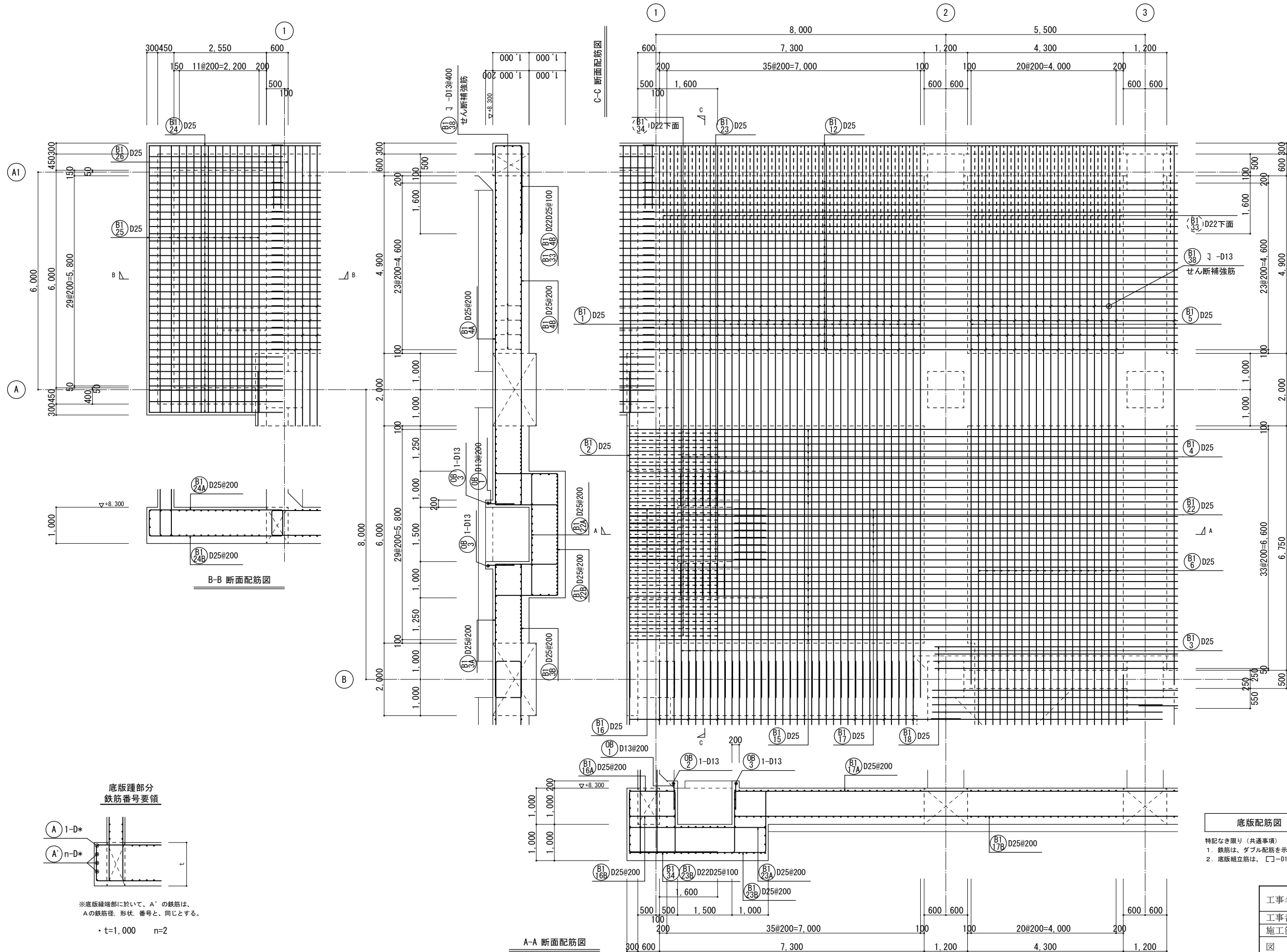
特記なき限り（共通事項）

1. 鉄筋は、SD295A D13@200とする。
1. 機器基礎の位置及び大きさは、箱抜き図を参照。
2. Lは、機器基礎天端から、かぶりを引いた長さとする。

箱抜き配筋要領図

箱抜きの位置及び大きさは箱抜き図を参照する。
補強筋径は主筋サイズの1ランク上の径を使用する。
200φ以下は補強筋は不要とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最初沈殿池 配筋リスト（6）		
縮 尺	—		
図面番号	全	枚中	1S-32号



底版踵部分
鉄筋番号要領

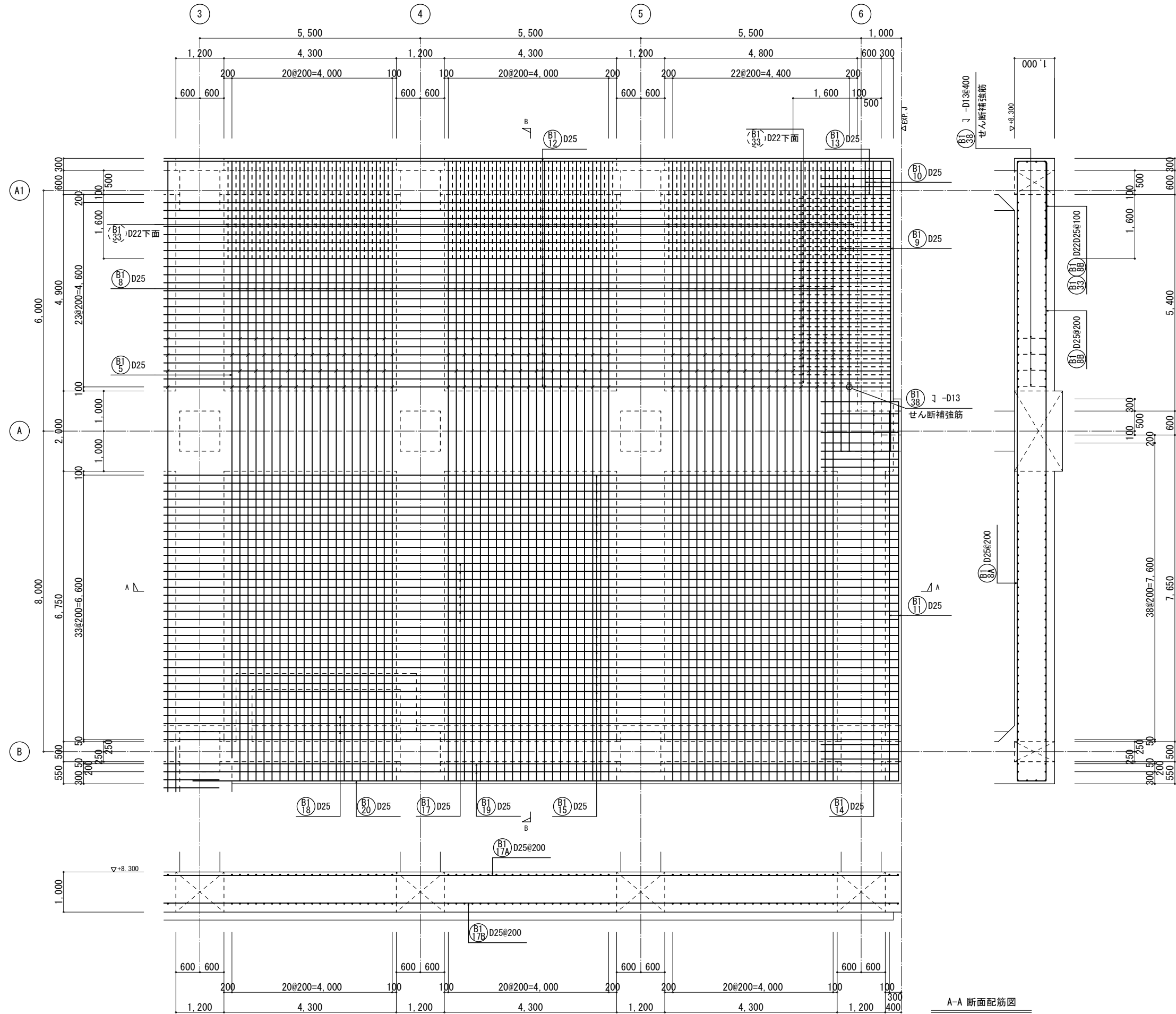
※底版縁端部に於いて、A'の鉄筋は、
Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

・t=1,000 n=2

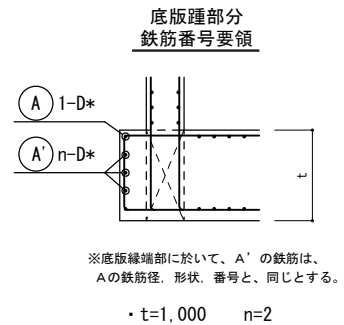
底版配筋図 1/50 B1

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 底版配筋図(1)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 15-33号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



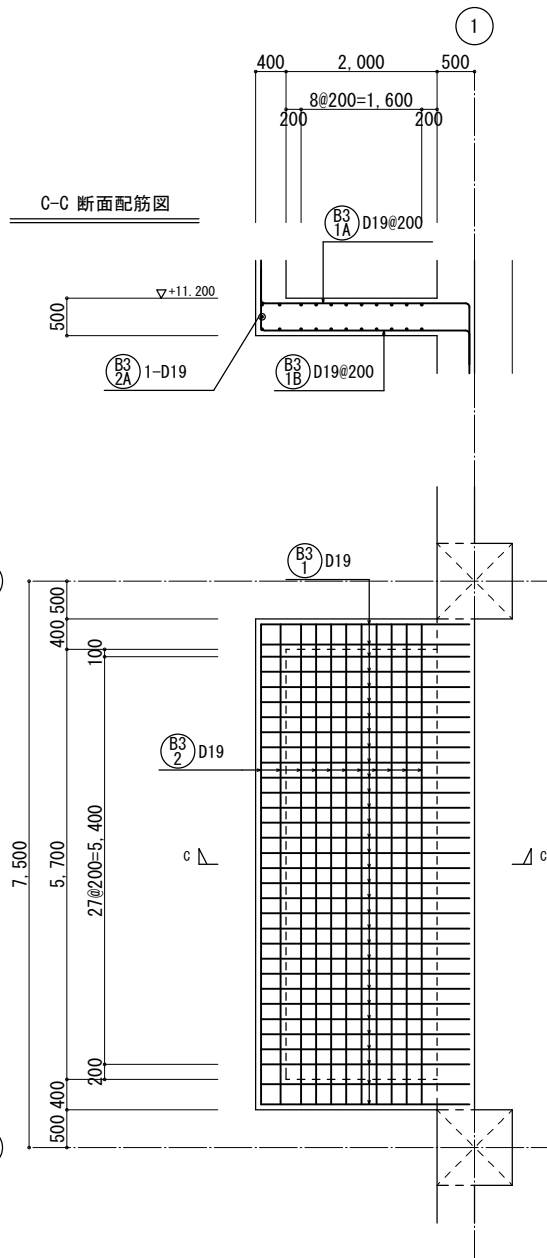
B-B 断面配筋図



底版配筋図 1/50 B1

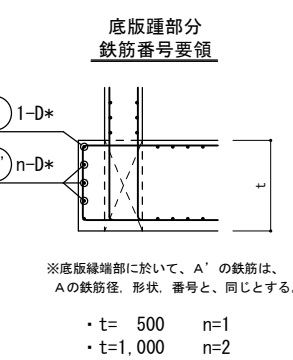
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 底版配筋図(2)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 15-34 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



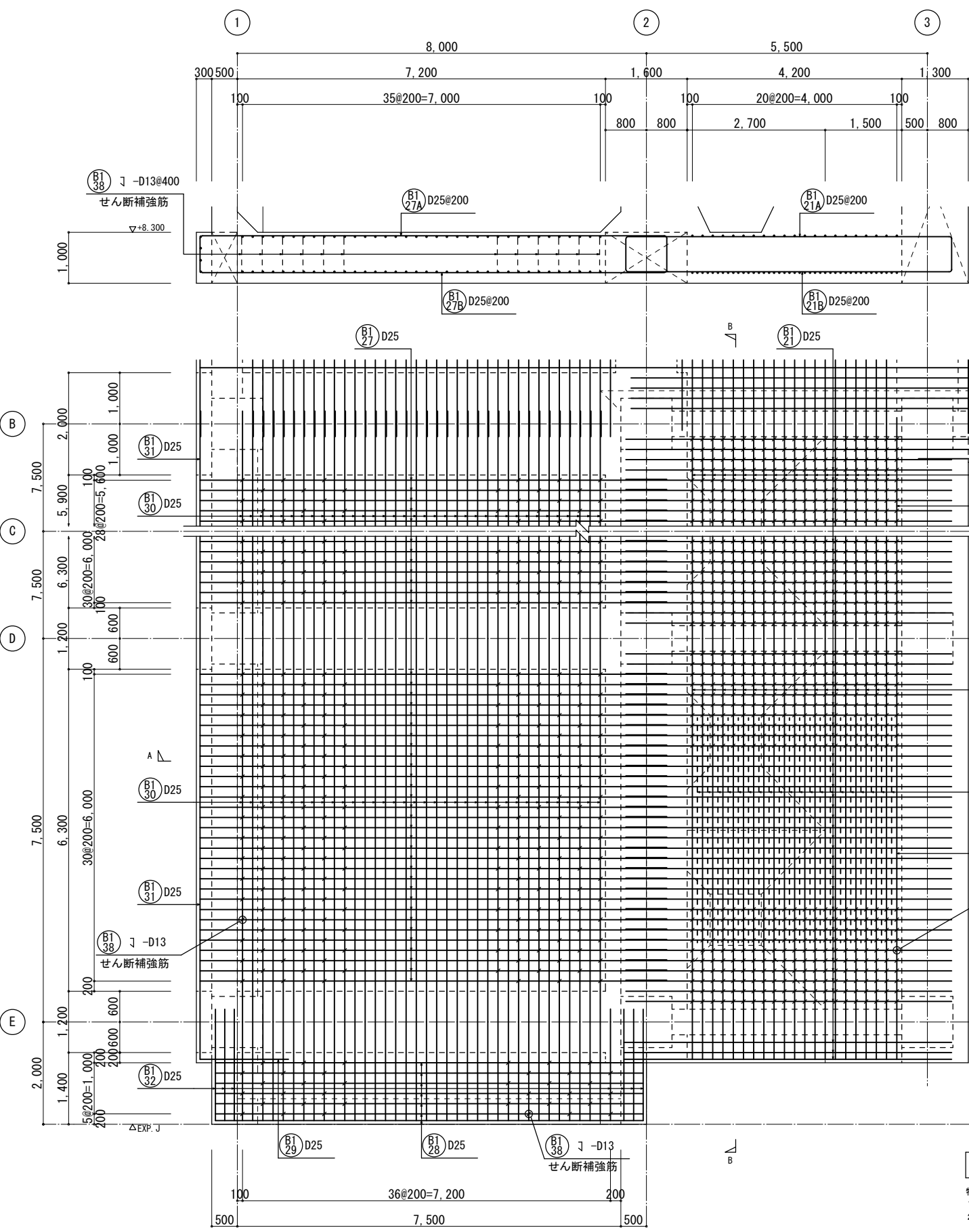
底版配筋図 1/50 B3

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

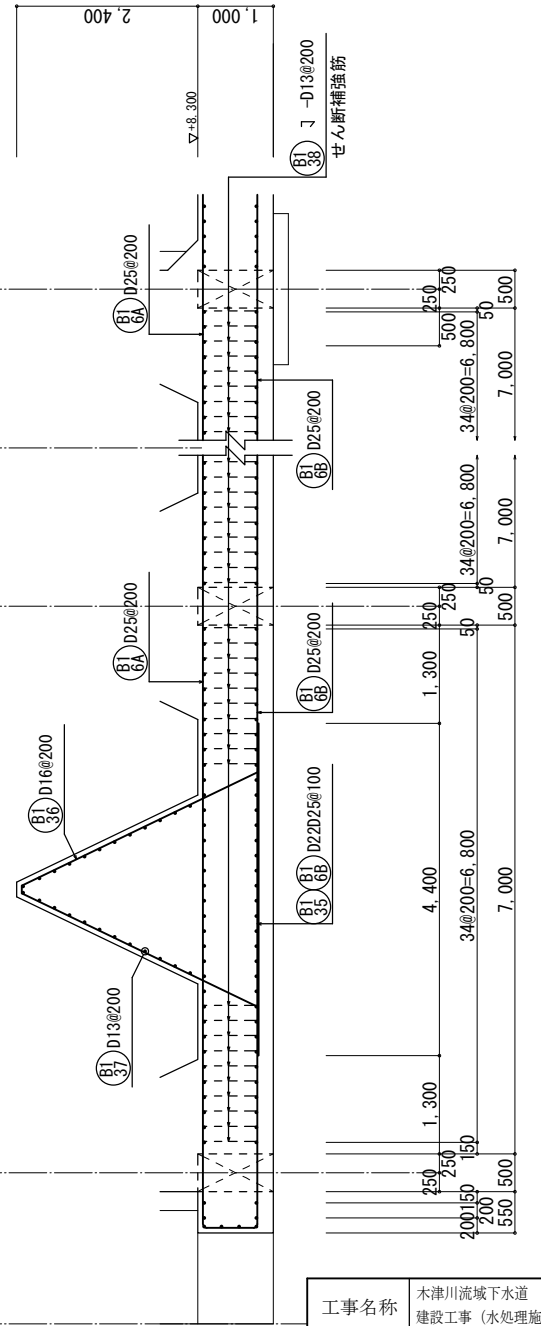


※底版縁端部に於いて、A'の鉄筋は、
Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

・t= 500 n=1
・t=1,000 n=2



A-A 断面配筋図

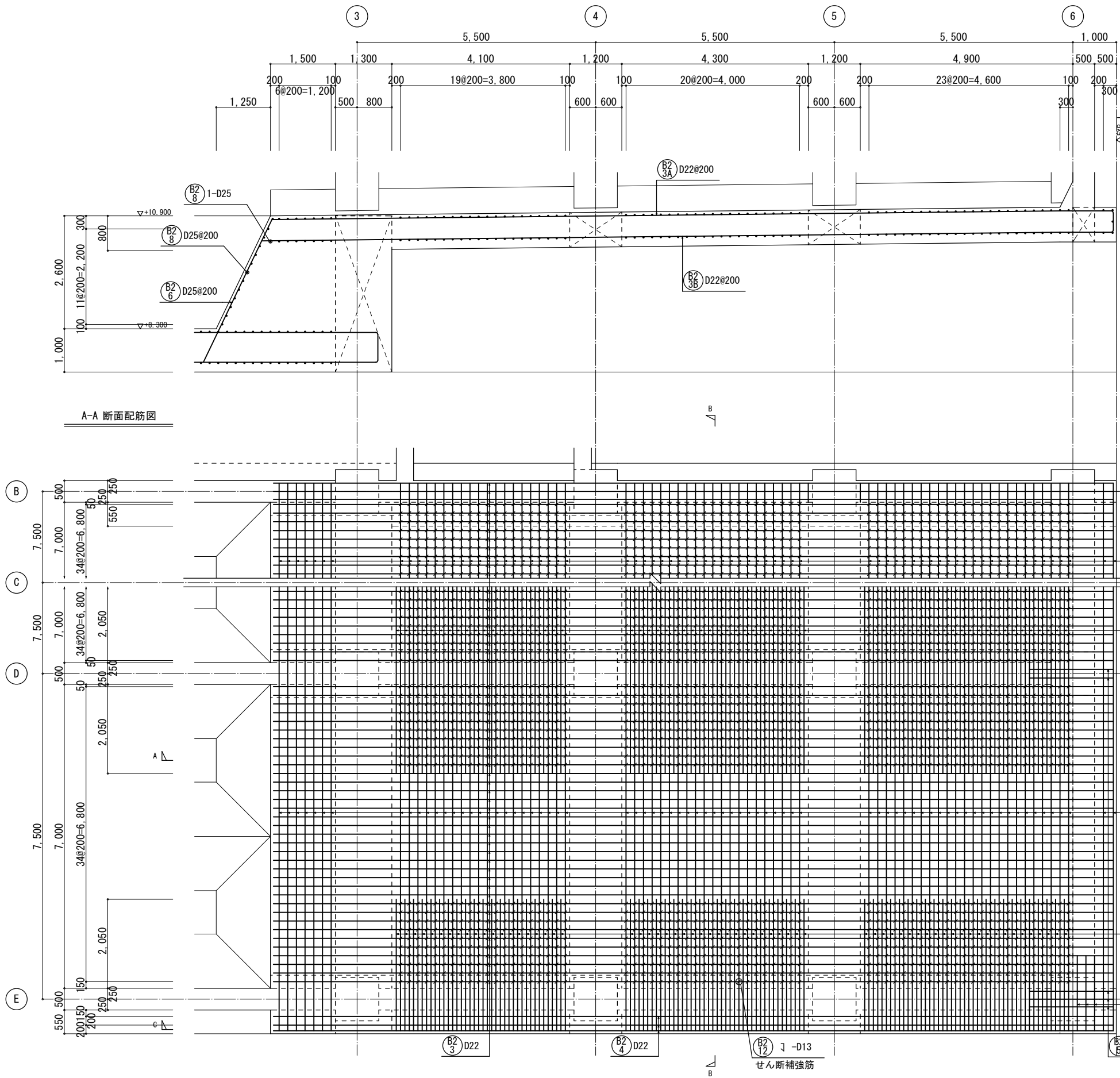


B-B 断面配筋図

底版配筋図 1/50 B1

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 底版配筋図(3)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-35号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

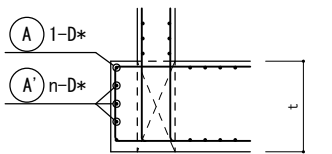


A-A 断面配筋図

C-C 断面配筋図

B-B 断面配筋図

底板踵部分
鉄筋番号要領



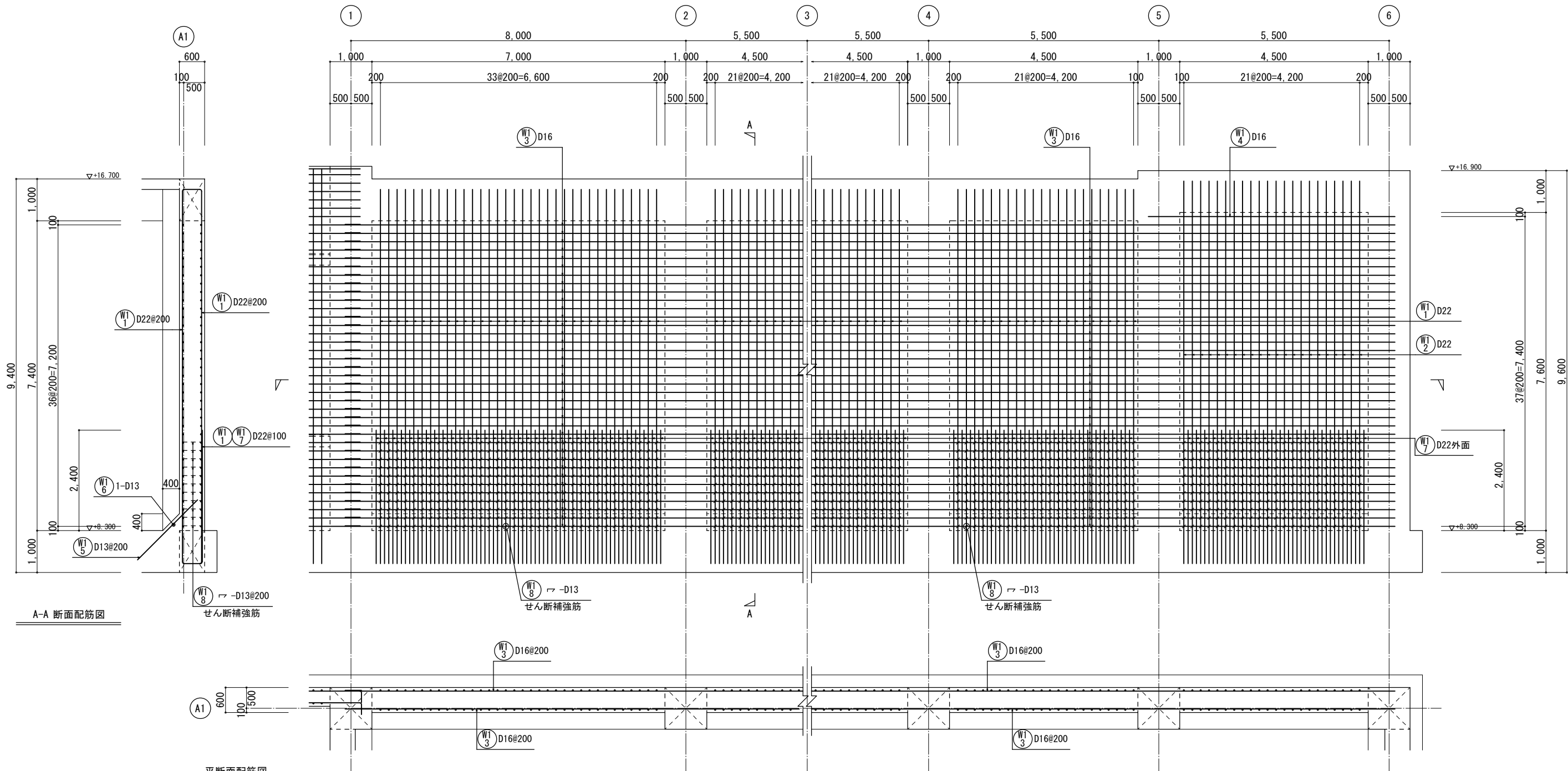
※底板縁端部に於いて、A' の鉄筋は、
Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

- ・t= 800 n=1
- ・t=1,000 n=2

底板配筋図 1/50 B2

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 底板組立筋は、□J-D13@1,000×1,000程度とする。
 - C通りの配筋は、D通りの配筋と同様とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 底板配筋図(4)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-36号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

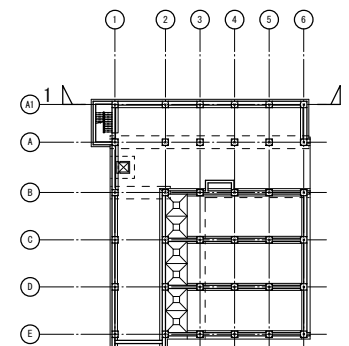


A-A 断面配筋図

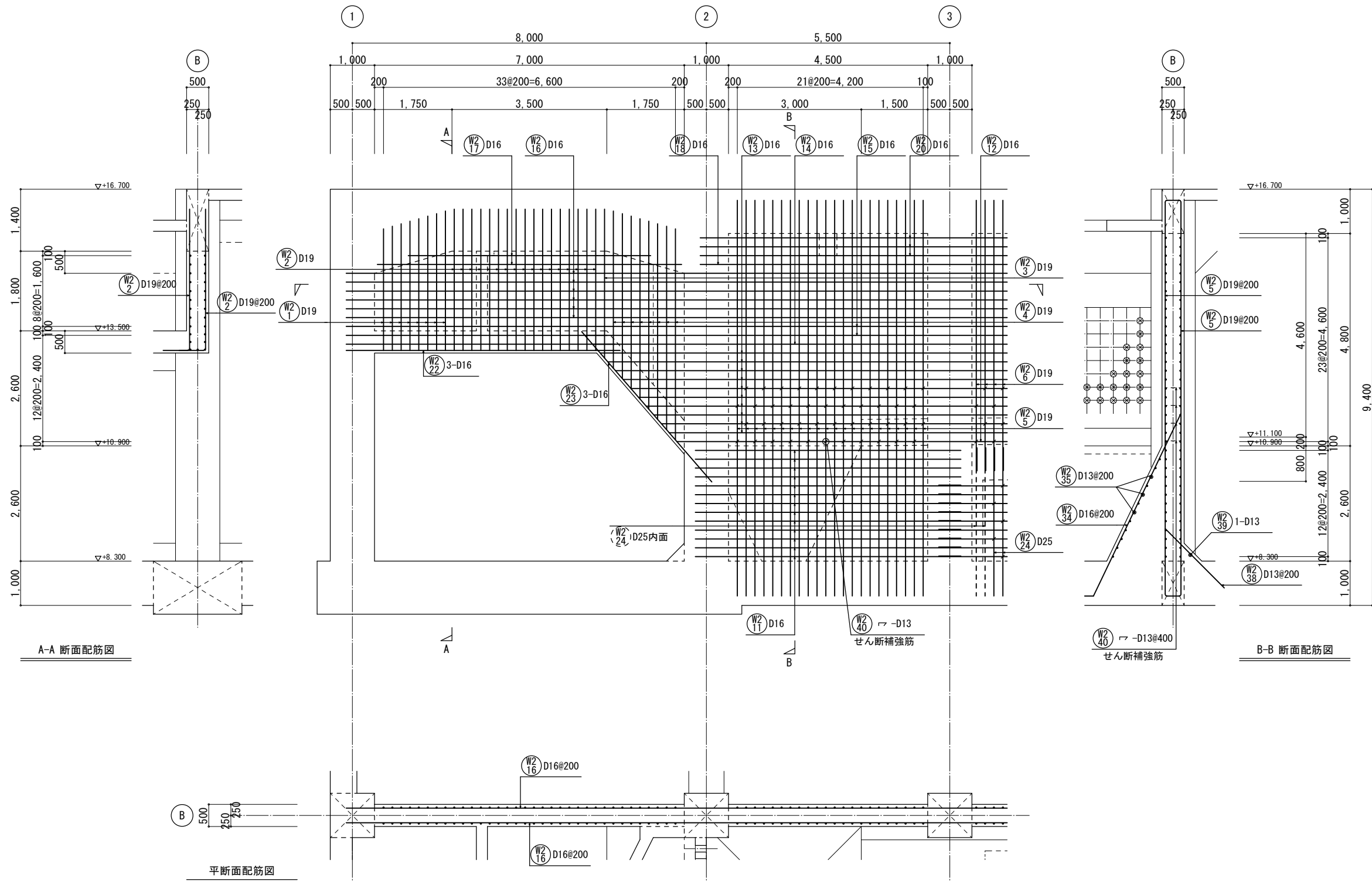
平断面配筋図

1-1 壁配筋図 1/50 W1

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

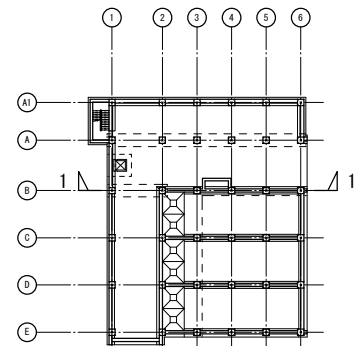


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(1)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-37号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

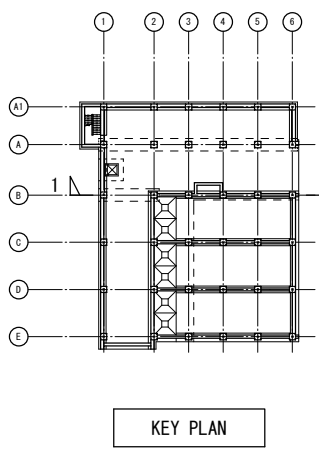
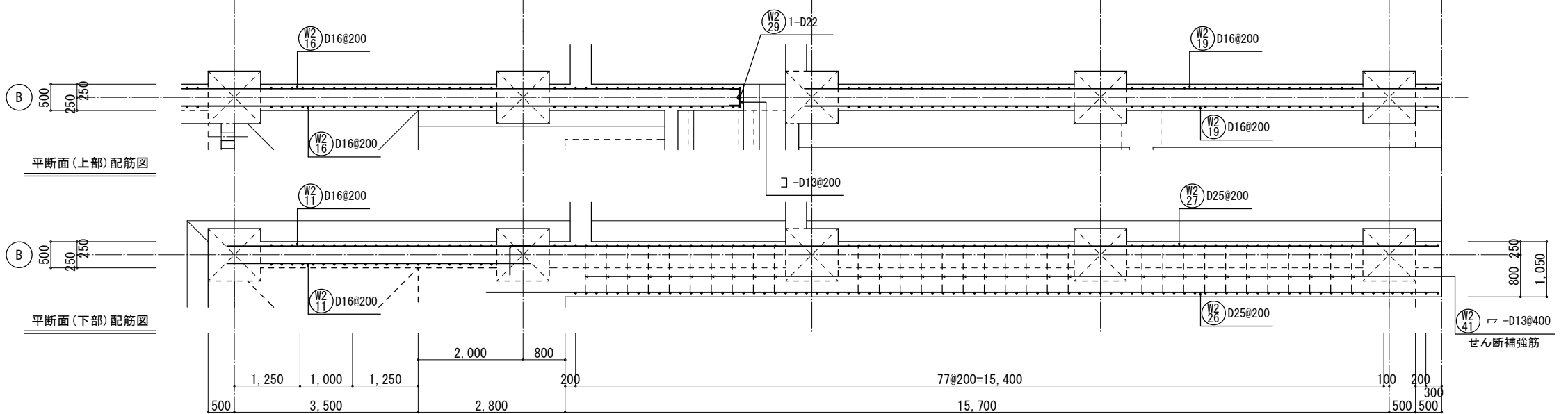
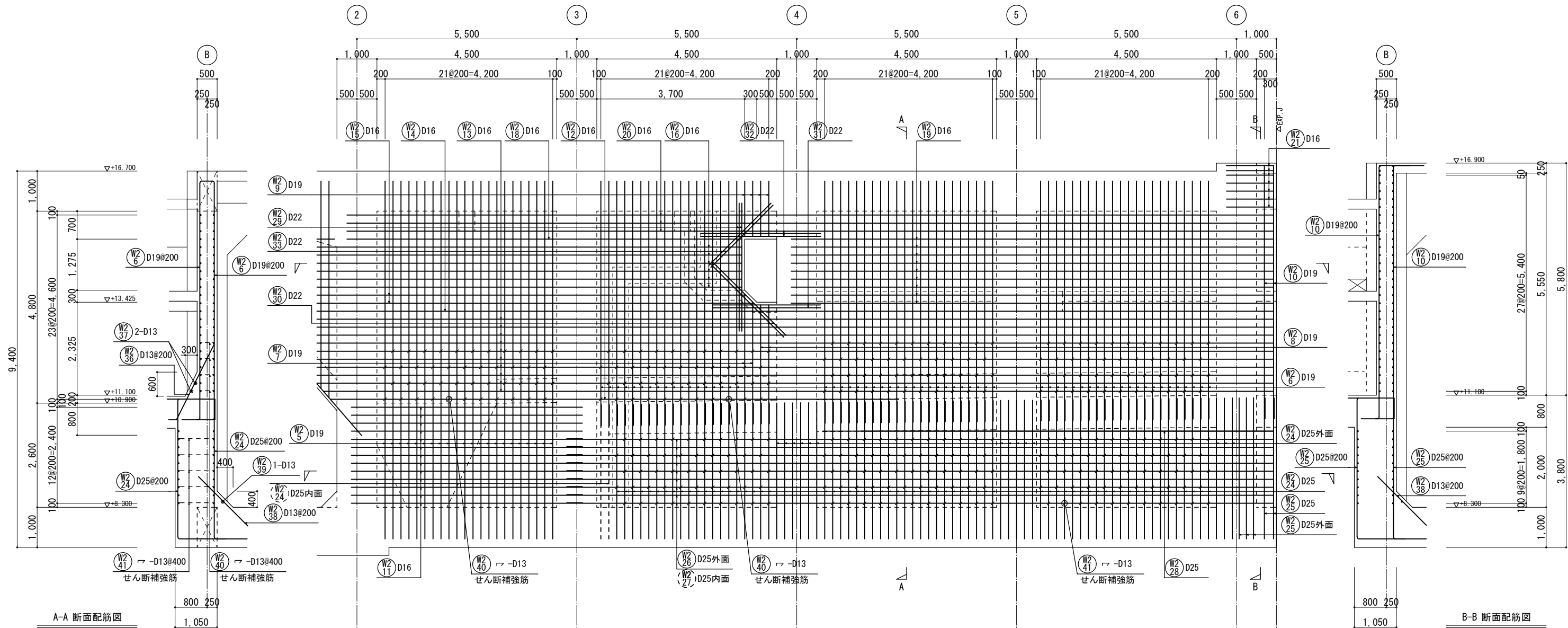


1-1 壁配筋図 1/50 W2

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ W-D13@1,000×1,000程度とする。
但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(2)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 15-38号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



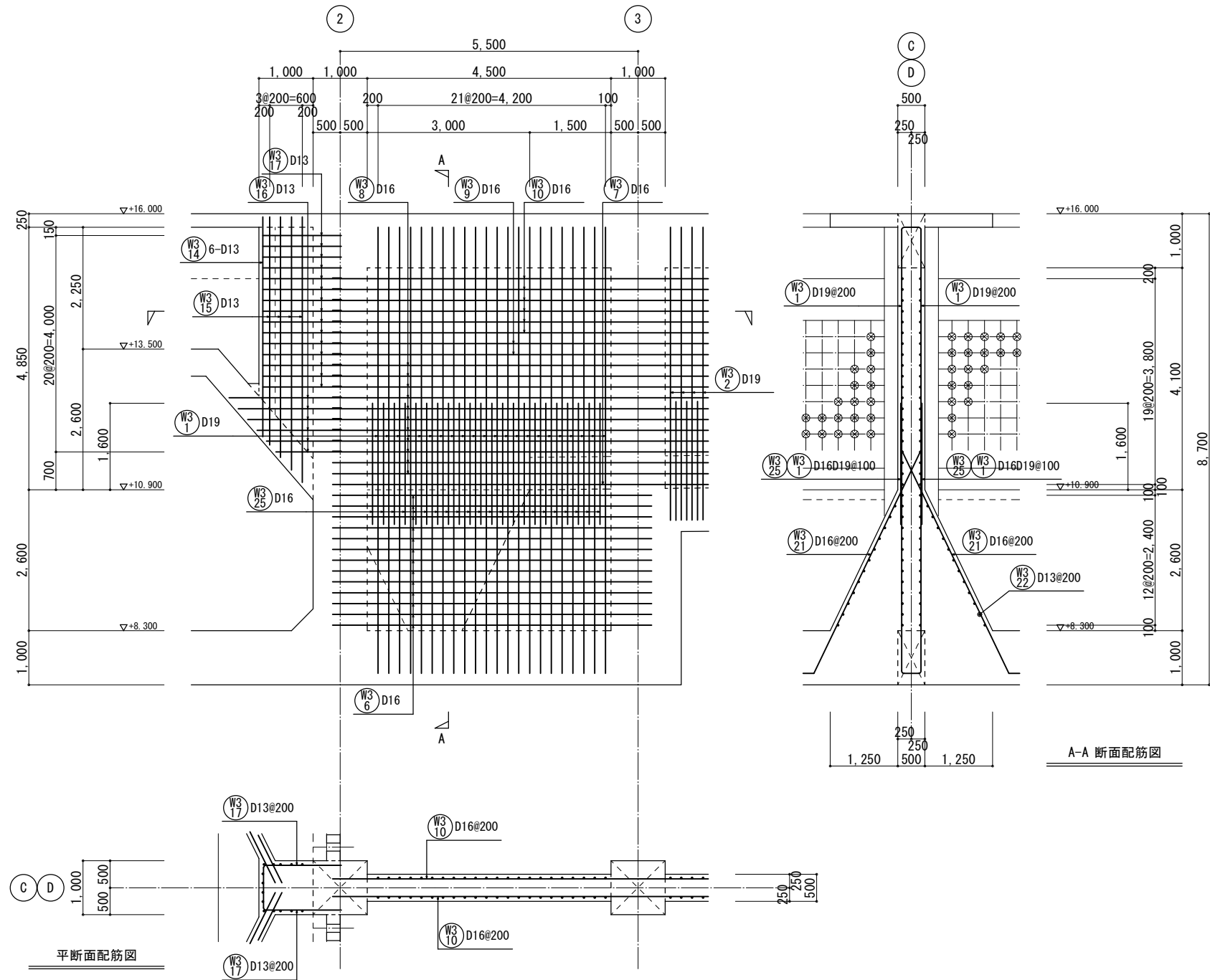
開口補強筋要領

- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。

1-1 壁配筋図 1/50 W2

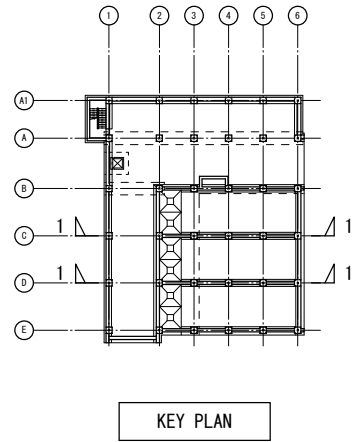
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(3)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-39号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

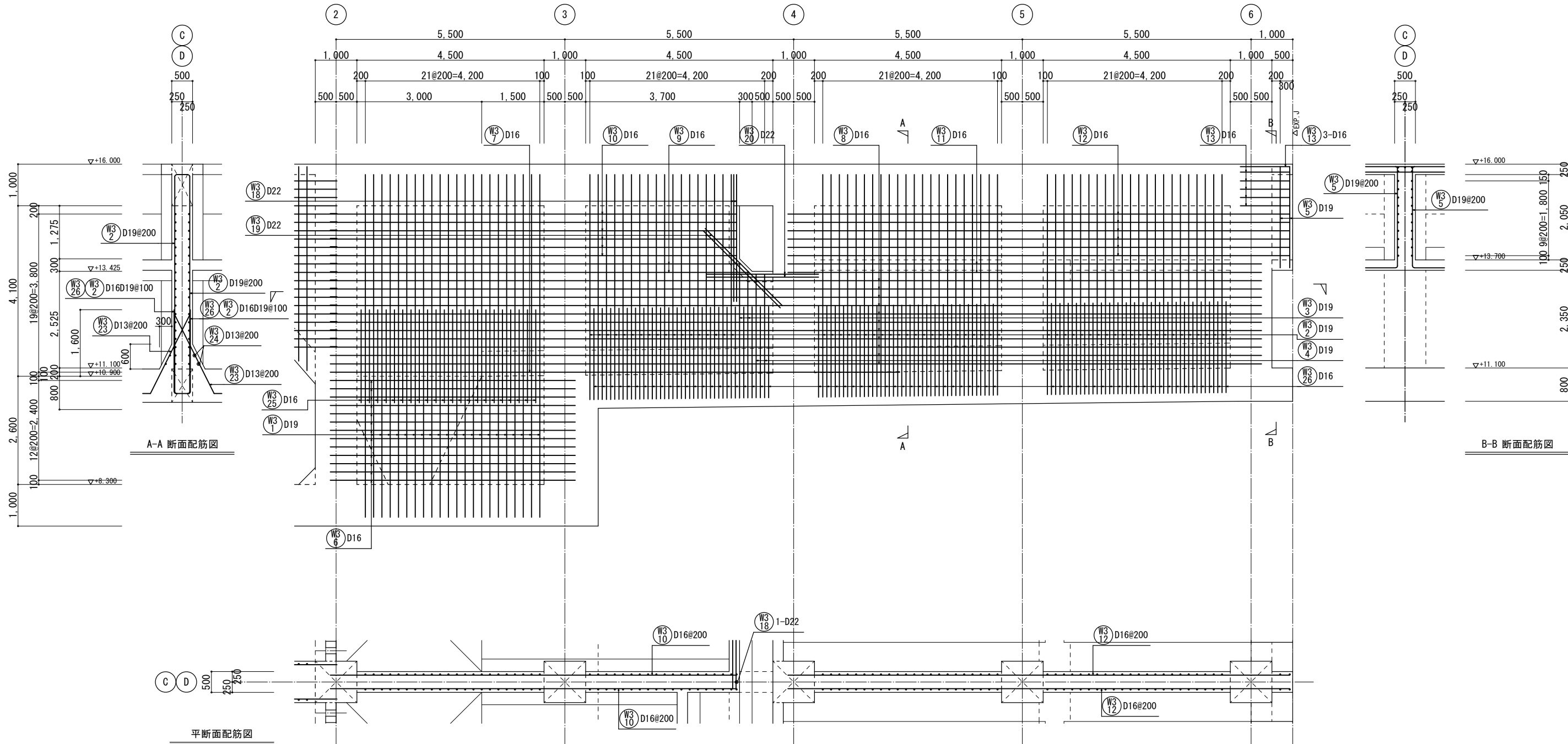


1-1 壁配筋図 1/50 W3

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\square$ W-D13@1,000×1,000程度とする。

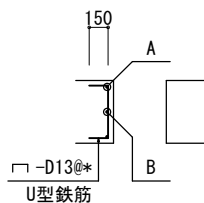


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(4)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-40 号



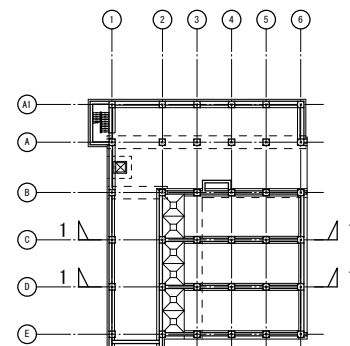
1-1 壁配筋図 1/50 W3

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ —D13@1,000×1,000程度とする。



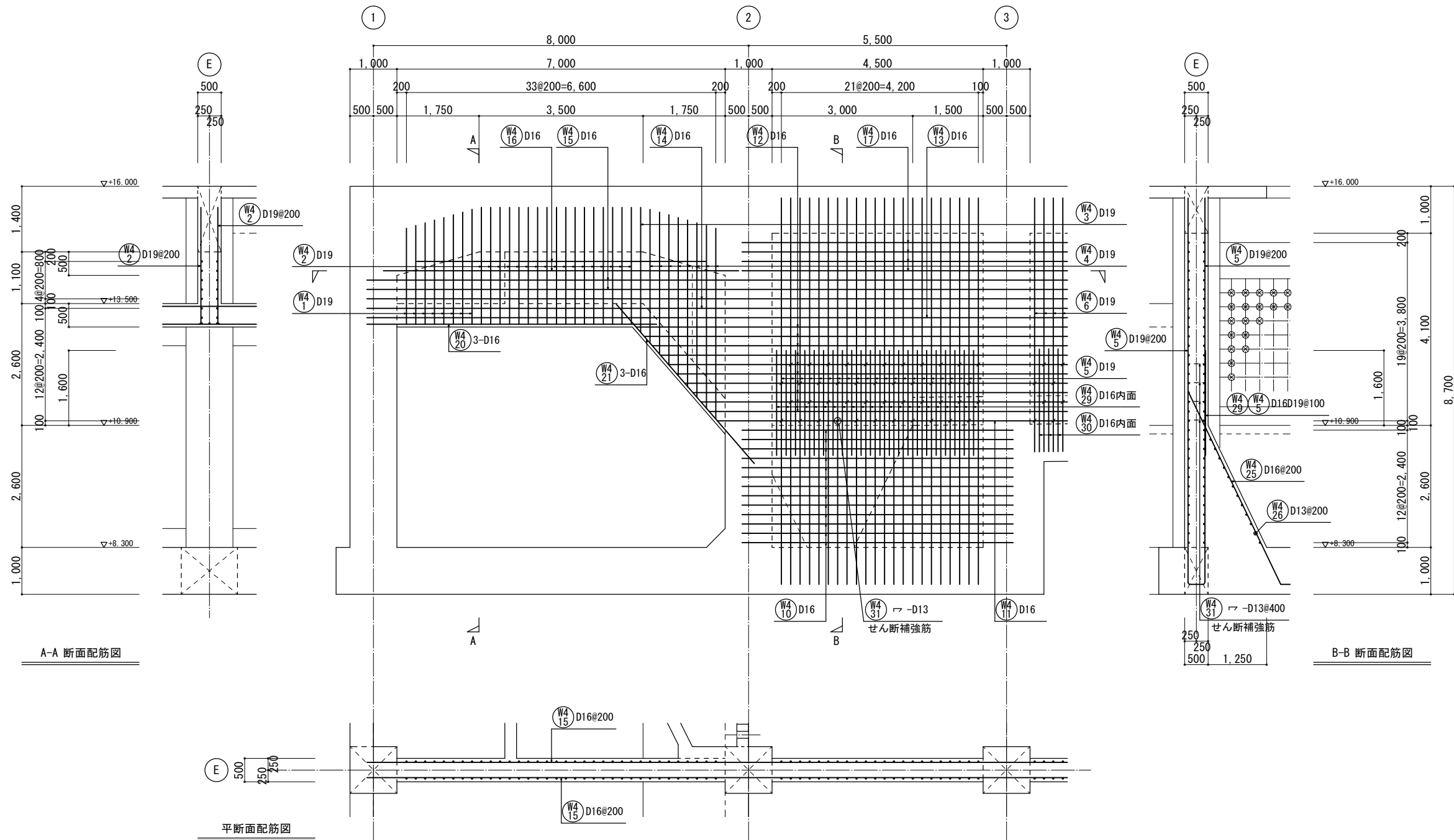
開口補強筋要領

- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。



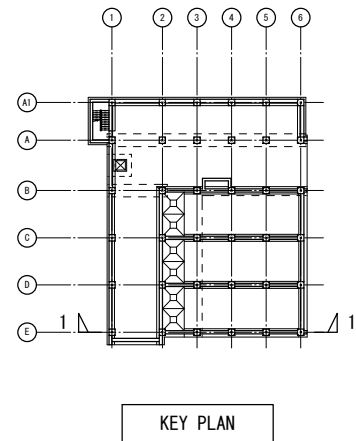
KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(5)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-41 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

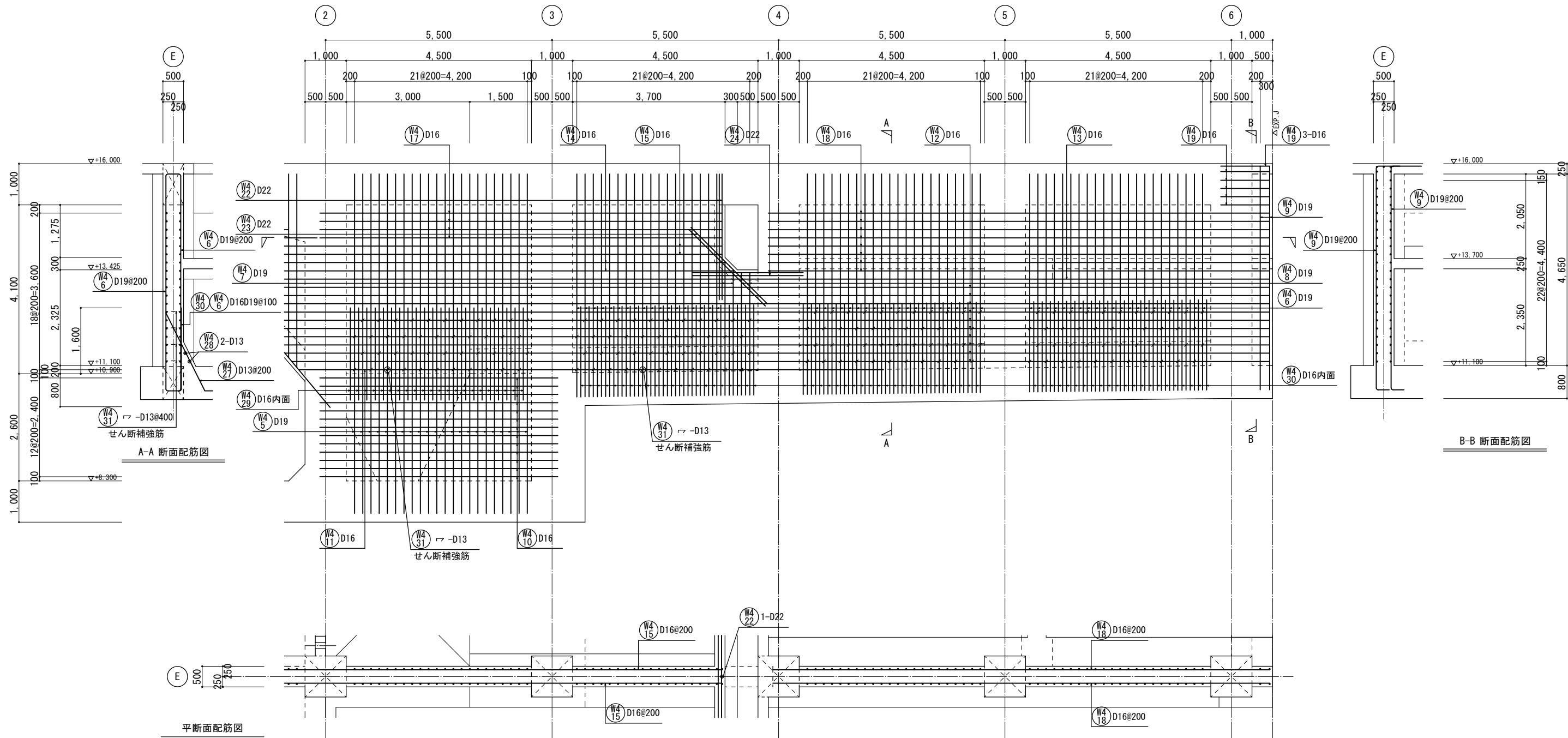


1-1 壁配筋図 1/50 W4

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(6)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-42 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



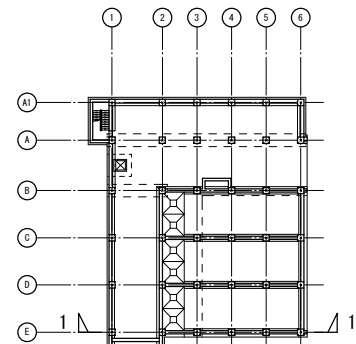
断面配筋図

B-B 断面配筋図

平断面配筋図

1-1 壁配筋図 1/50 W4

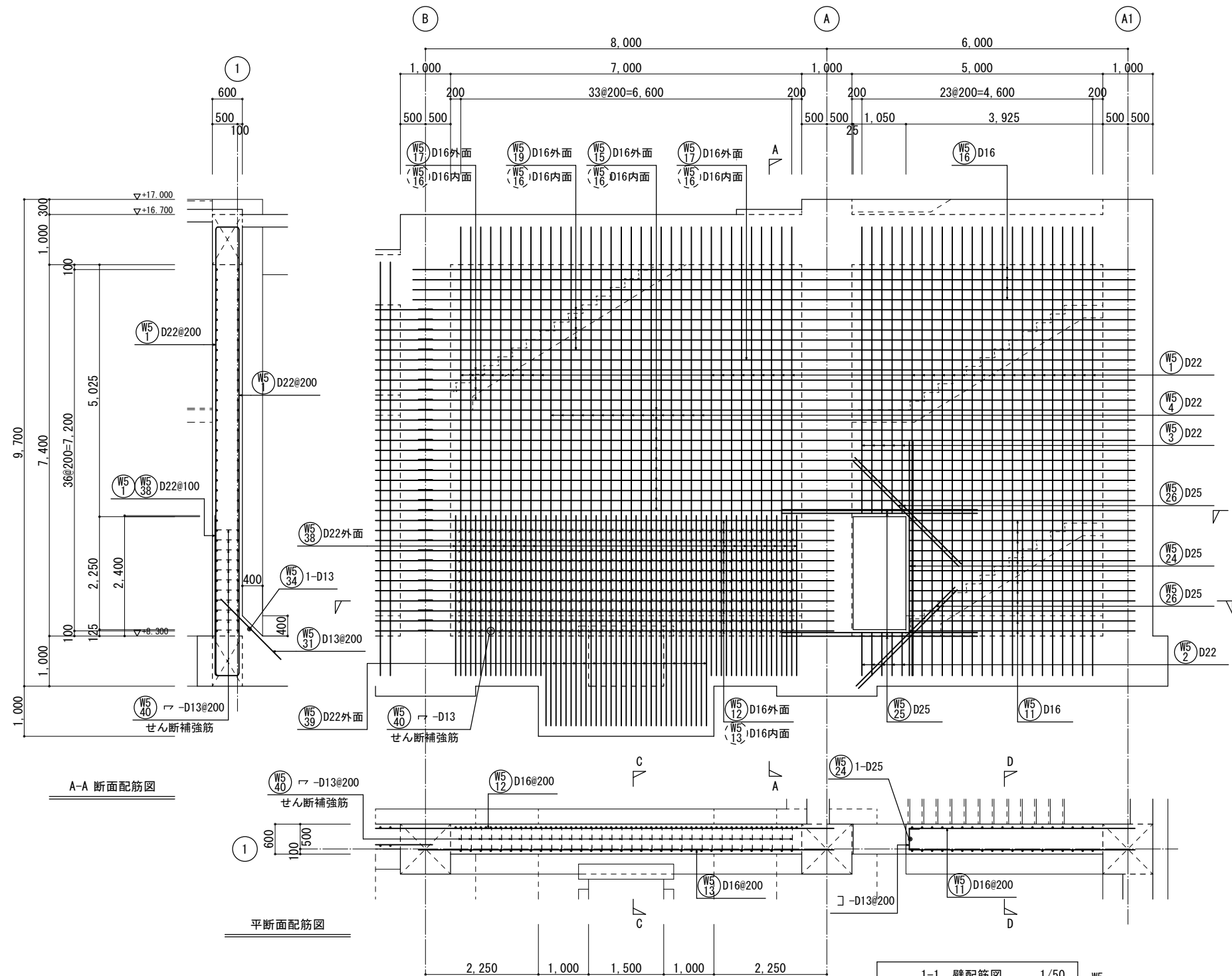
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



KEY PLAN

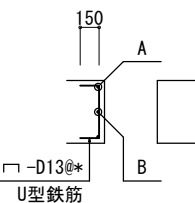
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最初沈殿池 壁配筋図(7)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-43号

京都府流域下水道事務所



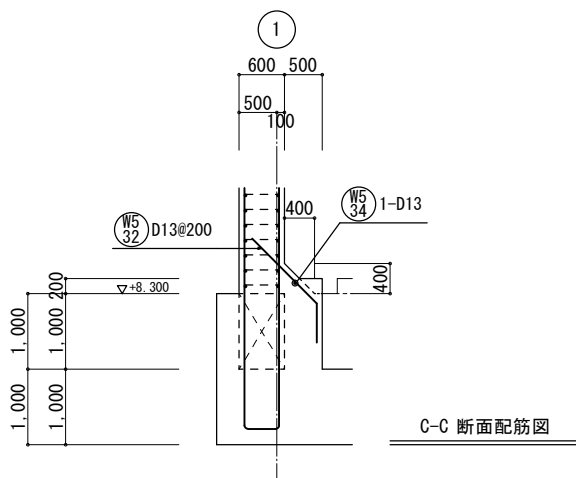
A-A 断面配筋図

平断面配筋図

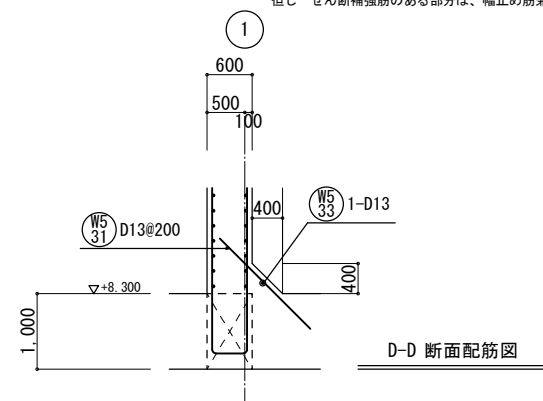


開口補強筋要領

- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。



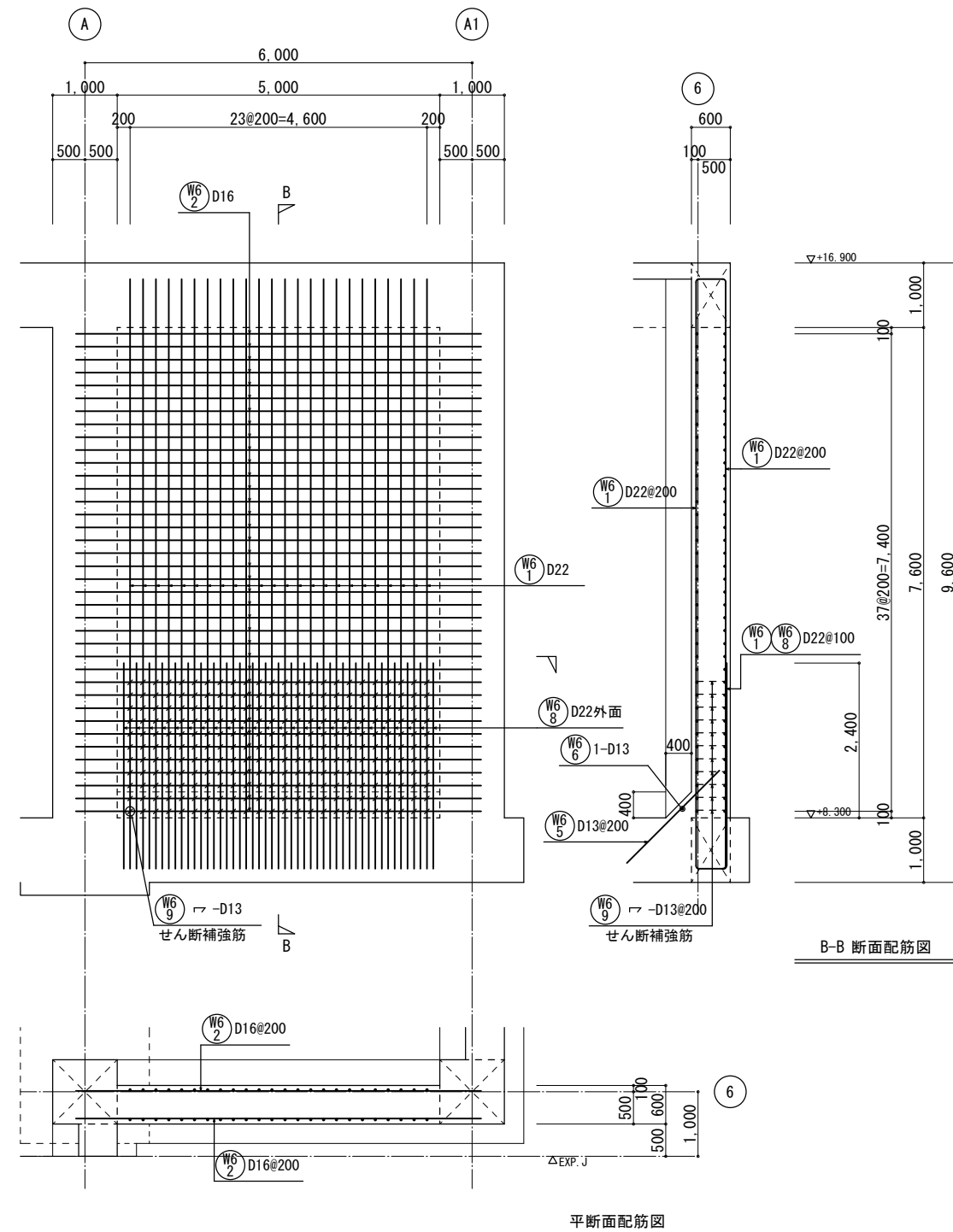
C-C 断面配筋図



D-D 断面配筋図

1-1 壁配筋図 1/50 W5

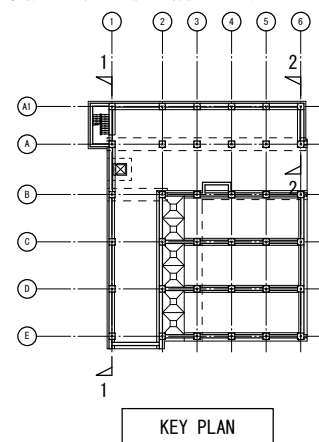
- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg\neg$ -D13 ϕ 1,000 $\times$ 1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



B-B 断面配筋図

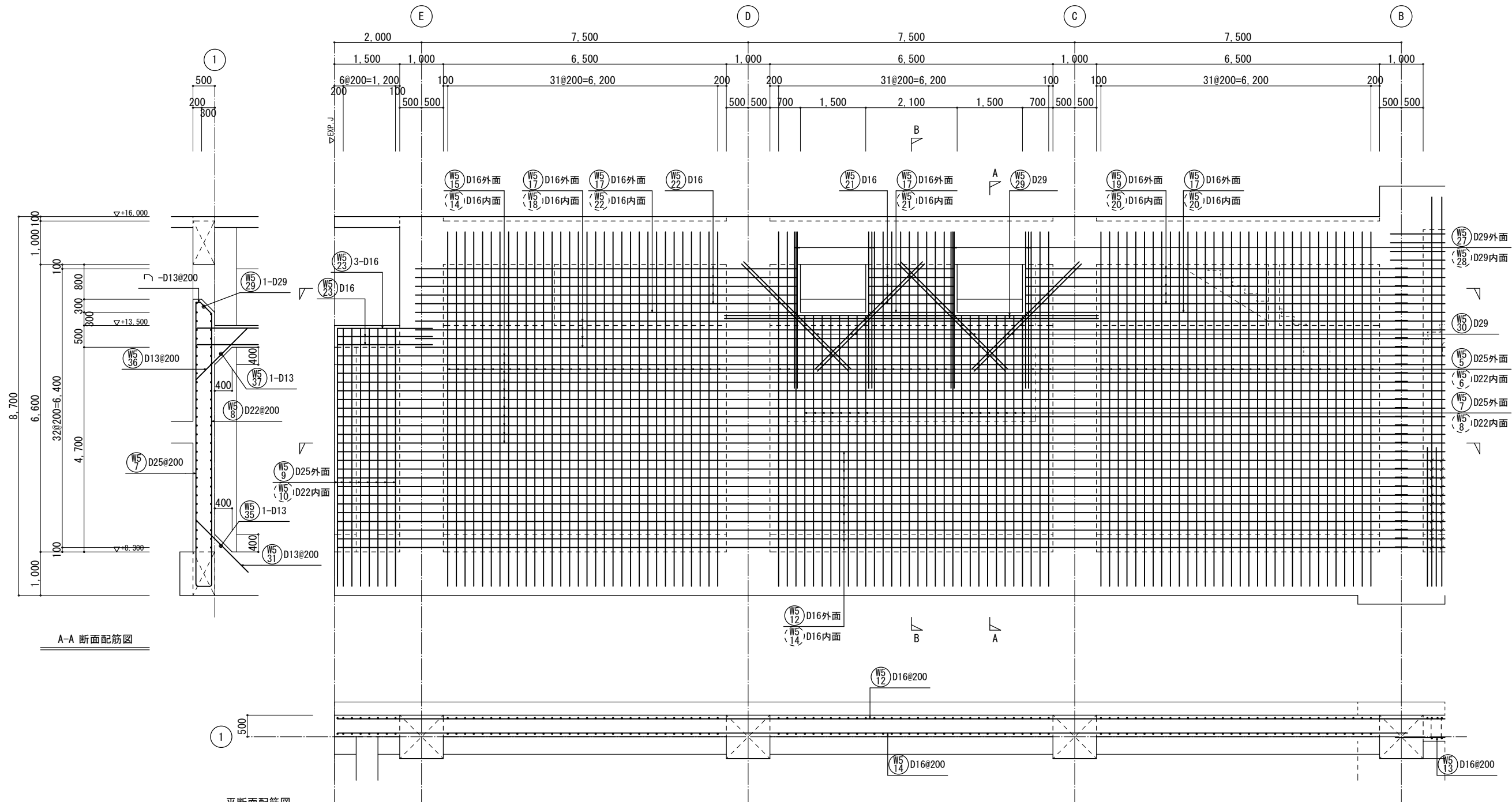
2-2 壁配筋図 1/50 W6

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg\neg$ -D13 ϕ 1,000 $\times$ 1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(8)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-44 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

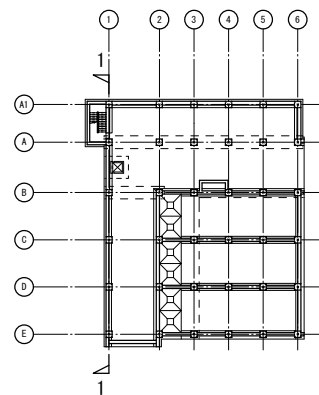
平断面配筋図

B-B 断面配筋図

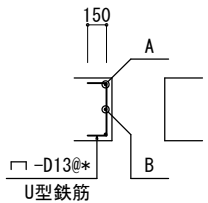
平断面配筋図

1-1 壁配筋図 1/50 W5

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\sqcap$ -D13@1,000×1,000程度とする。



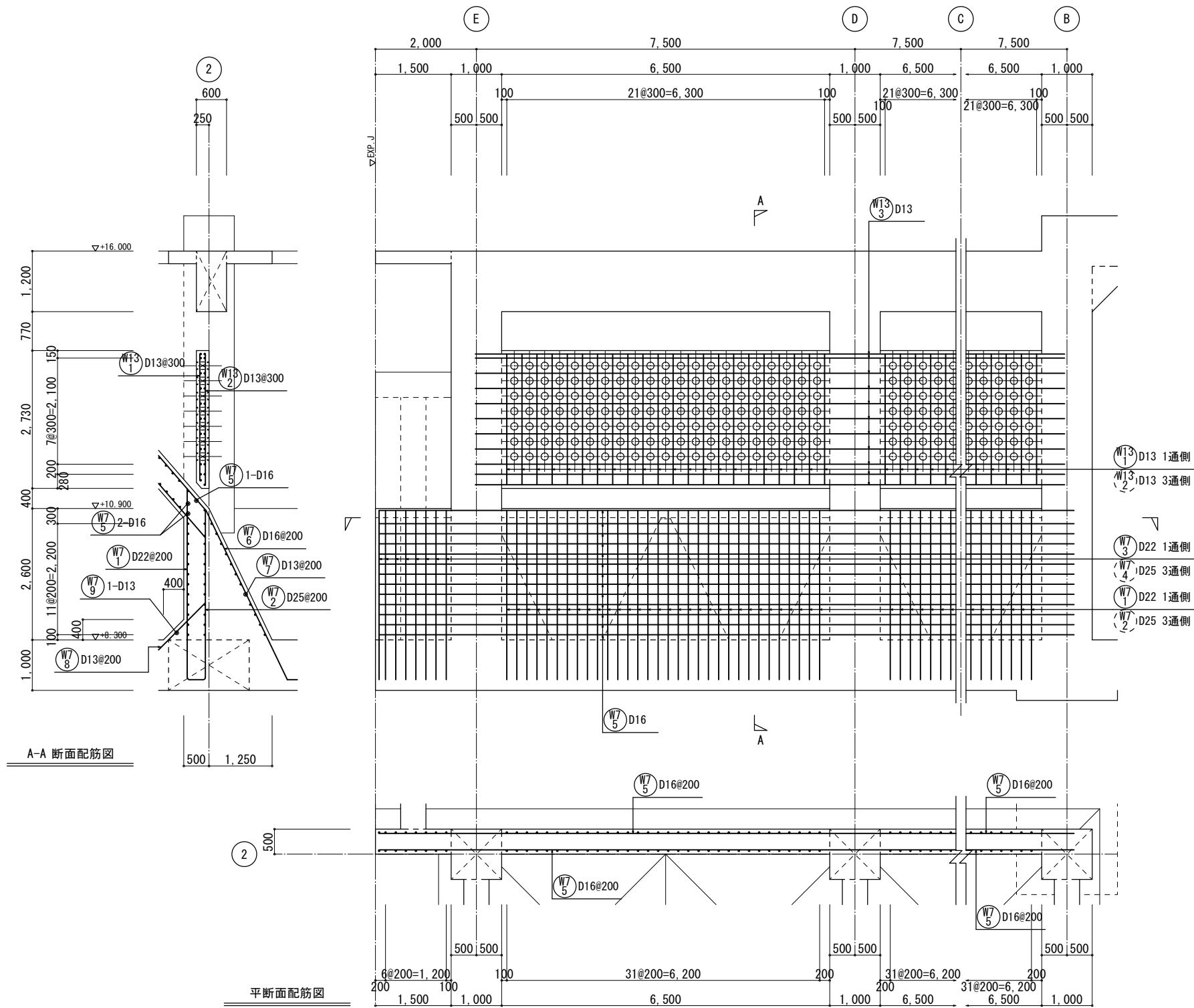
KEY PLAN



開口補強筋要領

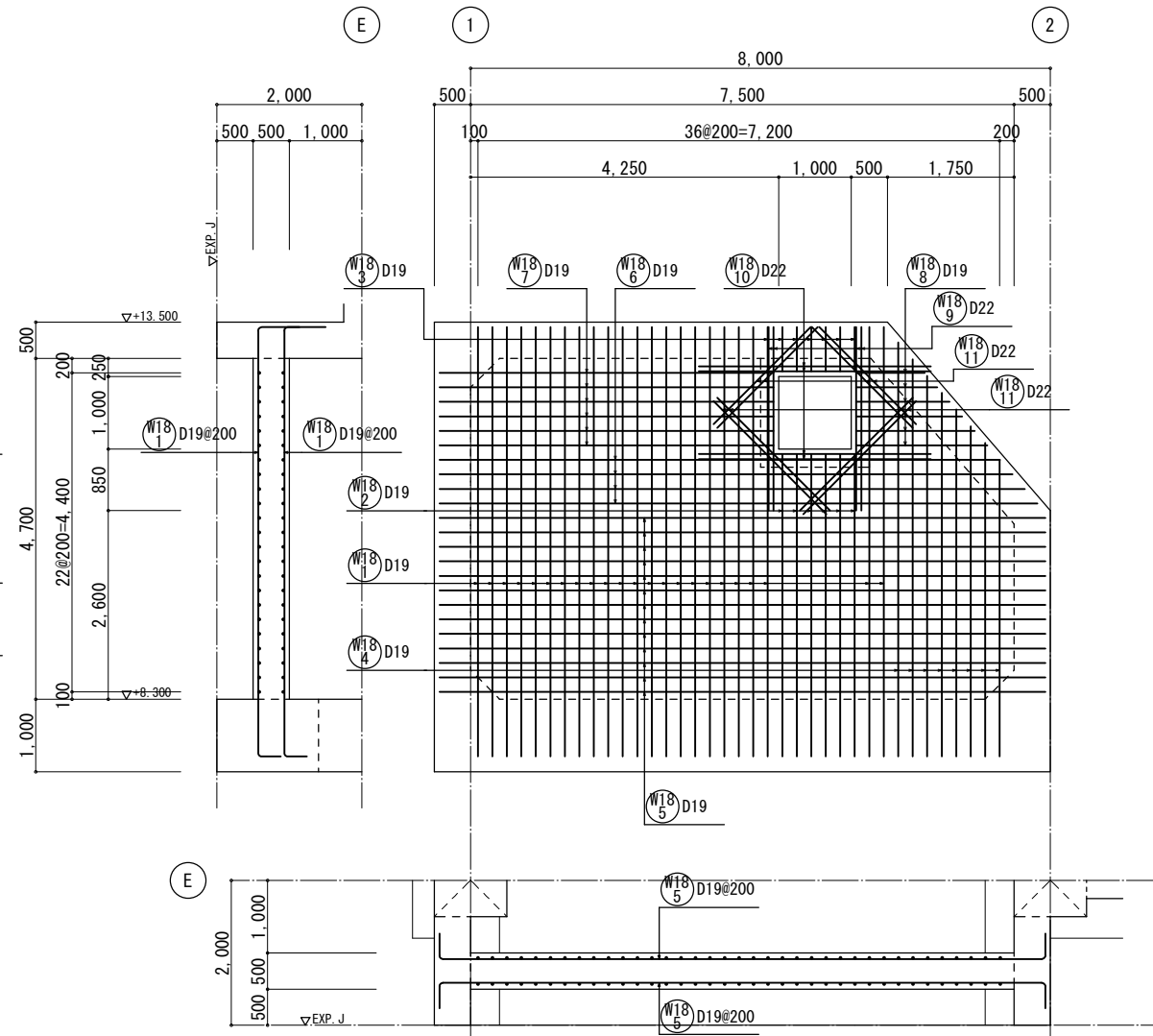
- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最初沈殿池 壁配筋図(9)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-45号
京都府流域下水道事務所	



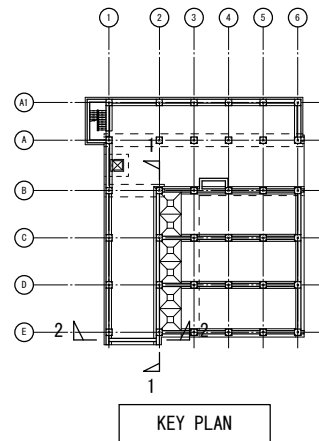
1-1 壁配筋図 1/50 W7 W13

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ W-D13@1,000×1,000程度とする。

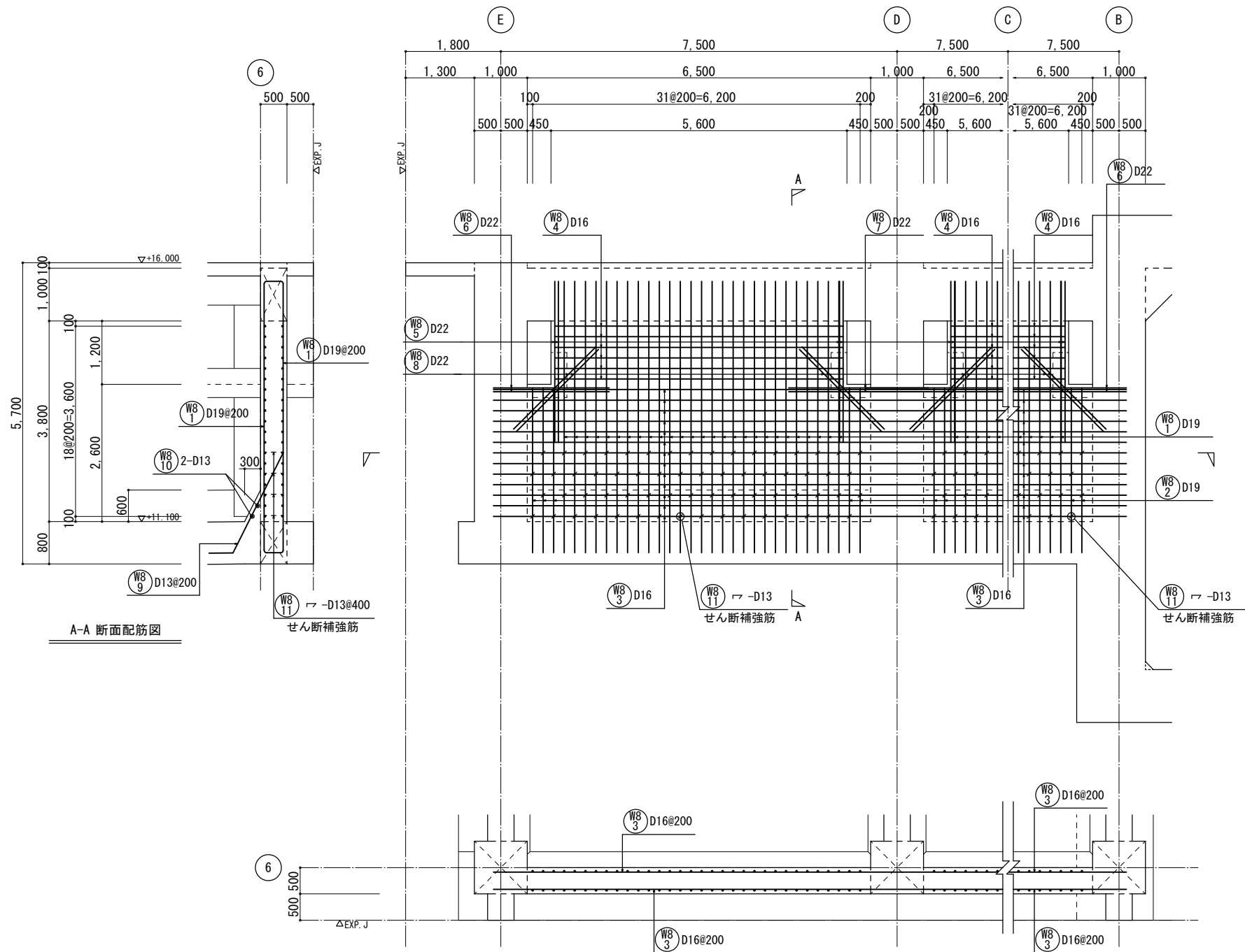


2-2 壁配筋図 1/50 W18

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ W-D13@1,000×1,000程度とする。



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(10)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-46号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

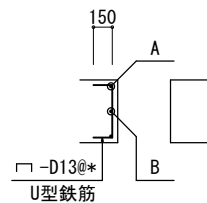
平断面配筋図

1-1 壁配筋図

1/50

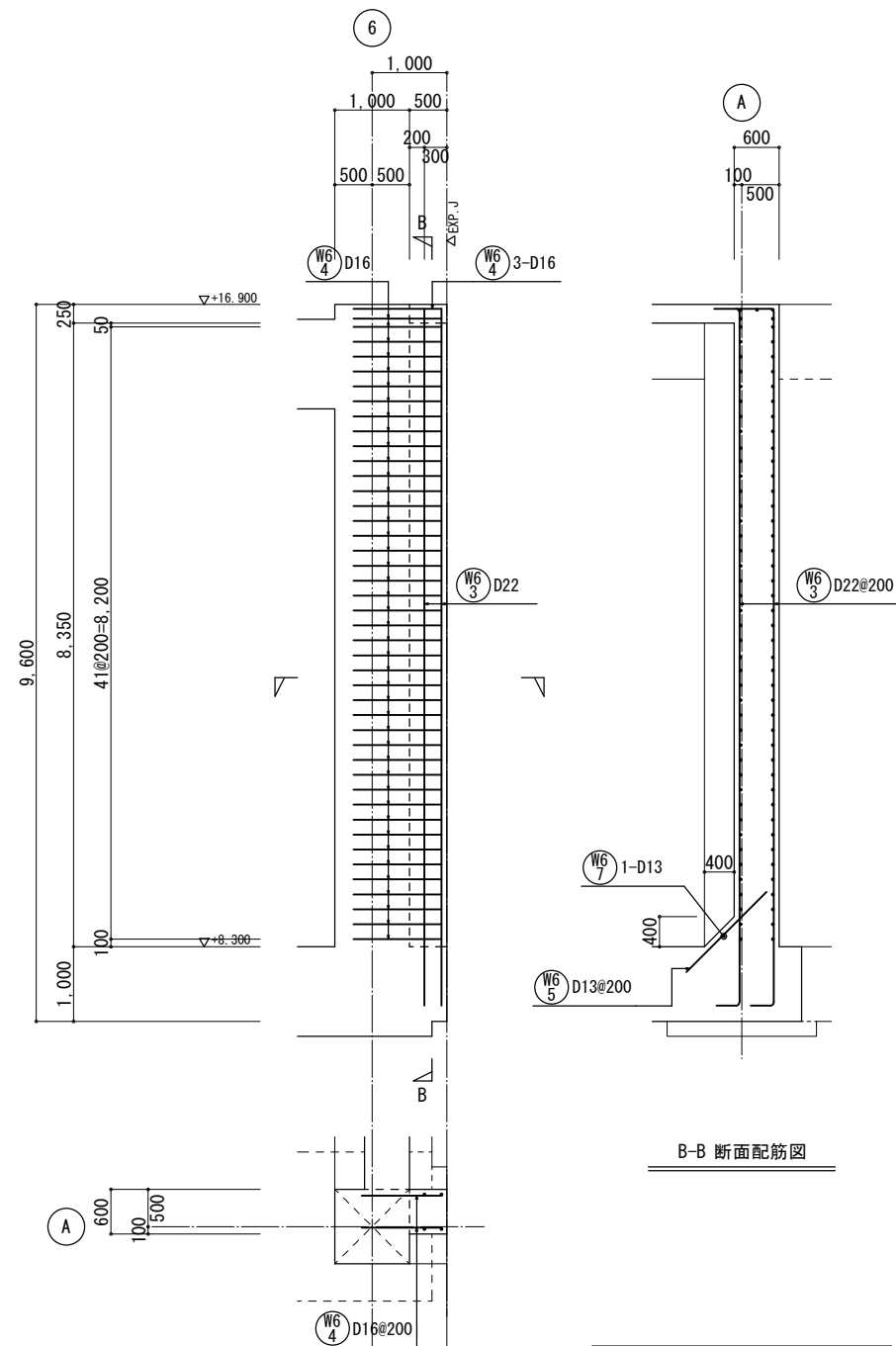
W8

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



開口補強筋要領

- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。



B-B 断面配筋図

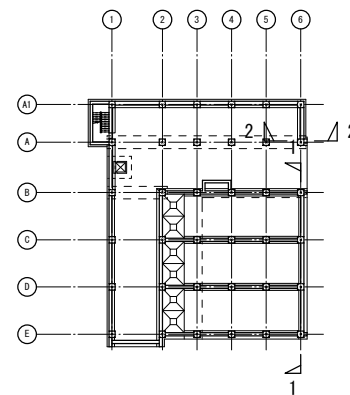
平断面配筋図

2-2 壁配筋図

1/50

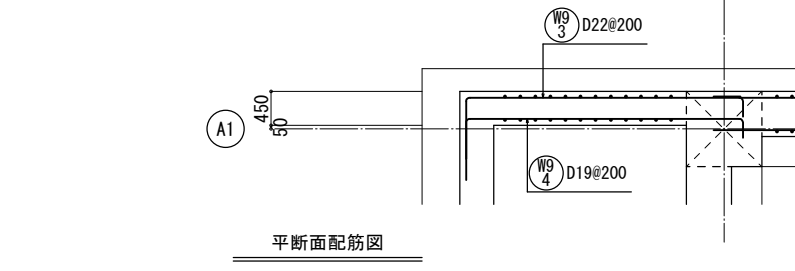
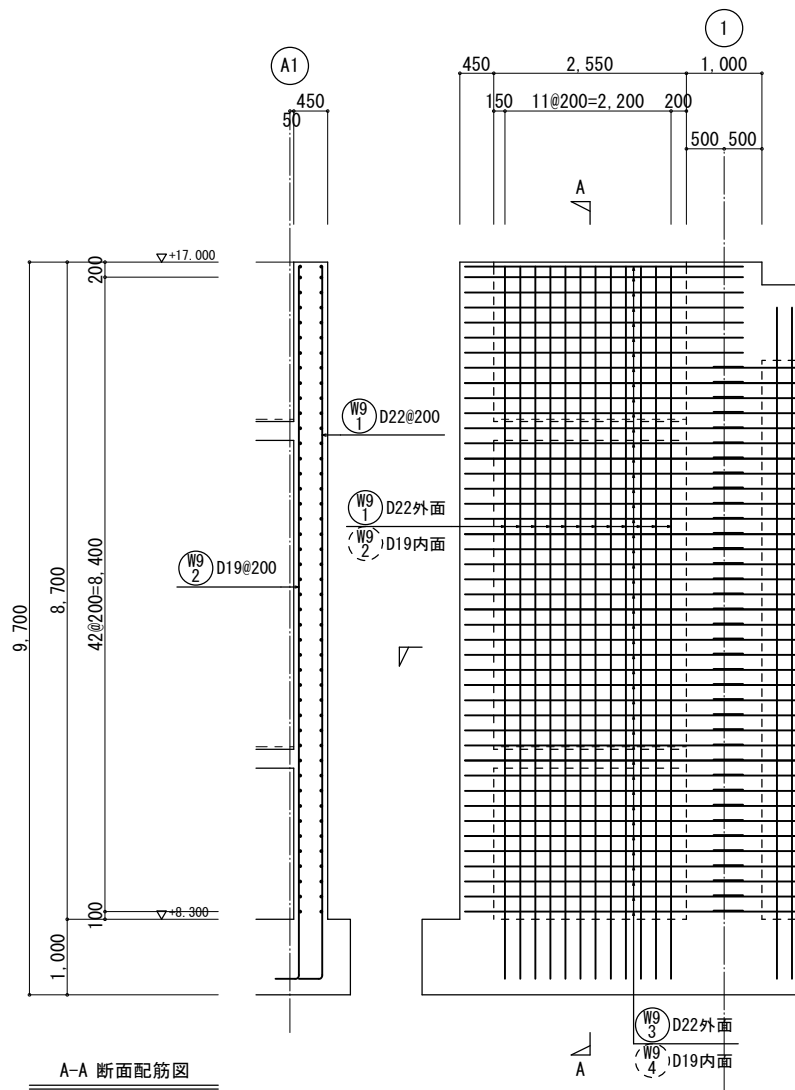
W6

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。



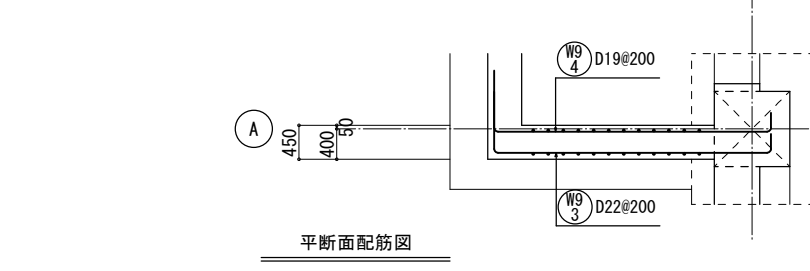
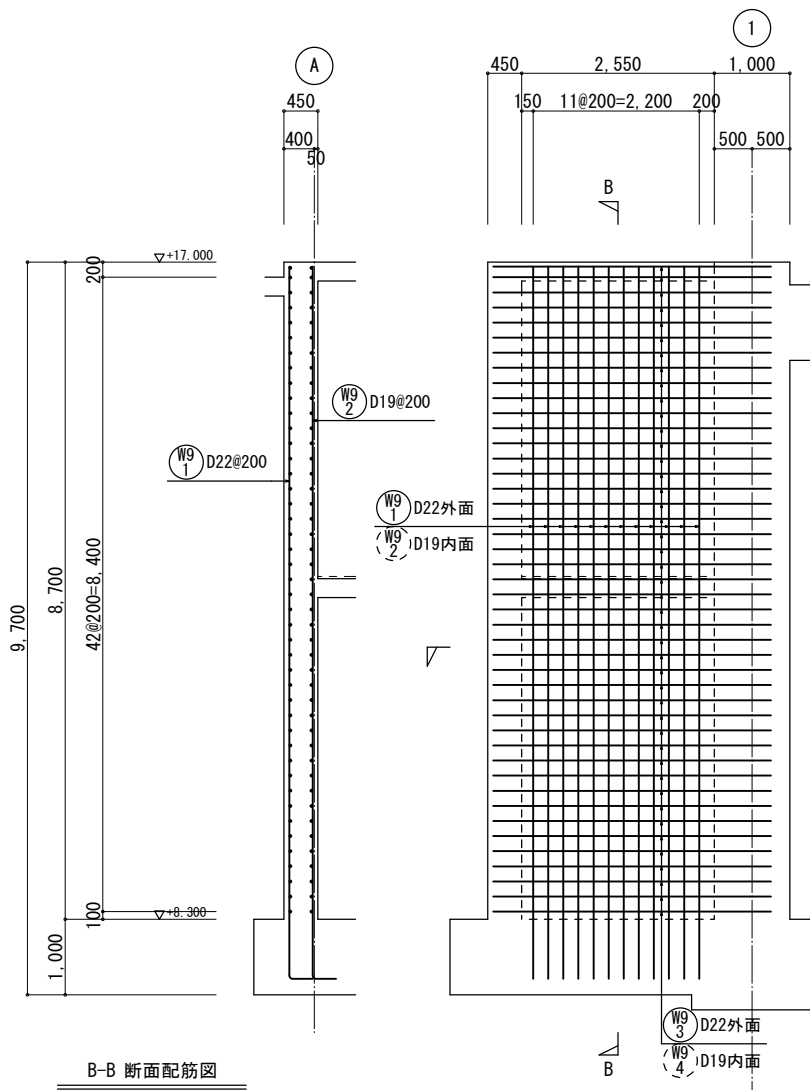
KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(11)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 15-47 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



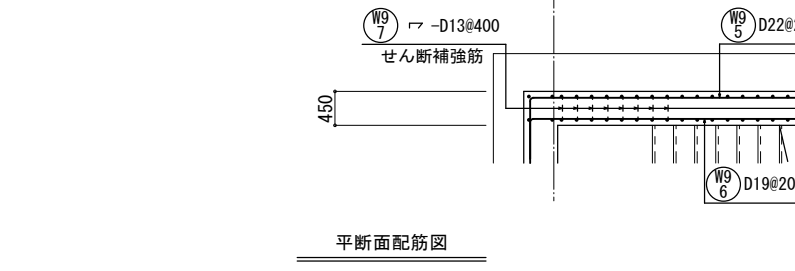
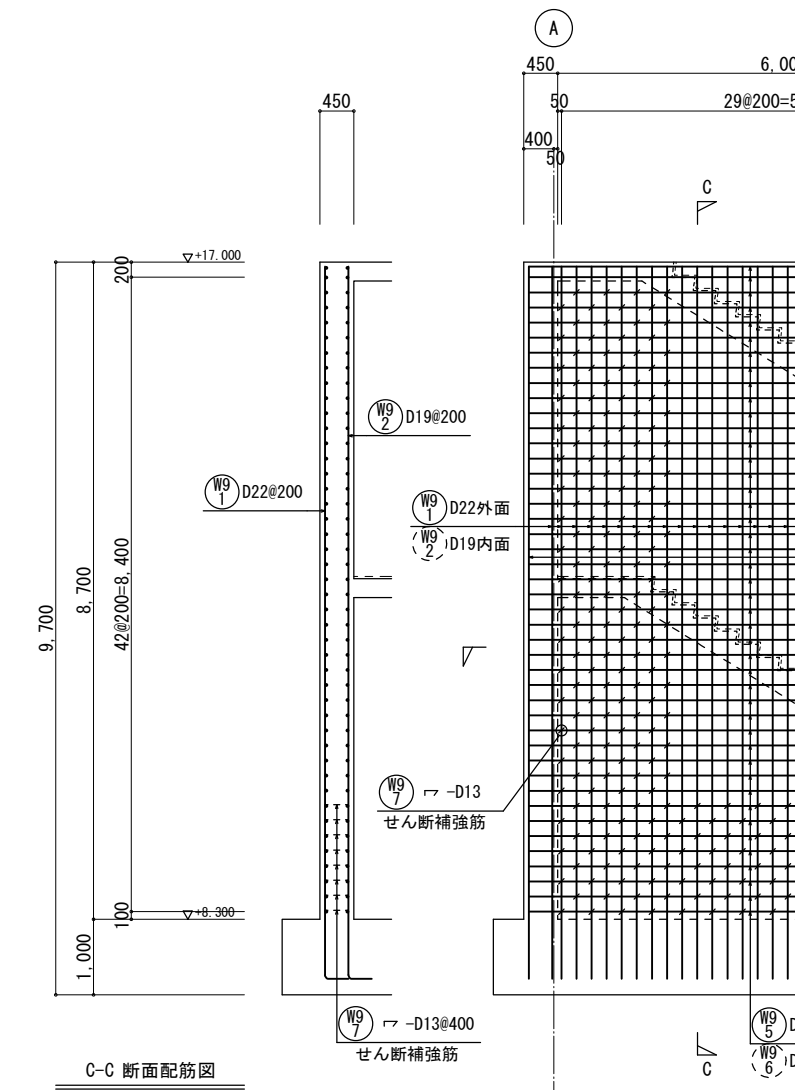
1-1 壁配筋図 1/50 W9

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ D13@1,000×1,000程度とする。



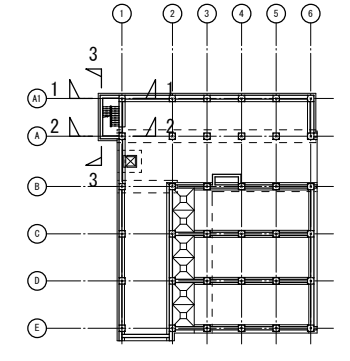
2-2 壁配筋図 1/50 W9

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ D13@1,000×1,000程度とする。



3-3 壁配筋図 1/50 W9

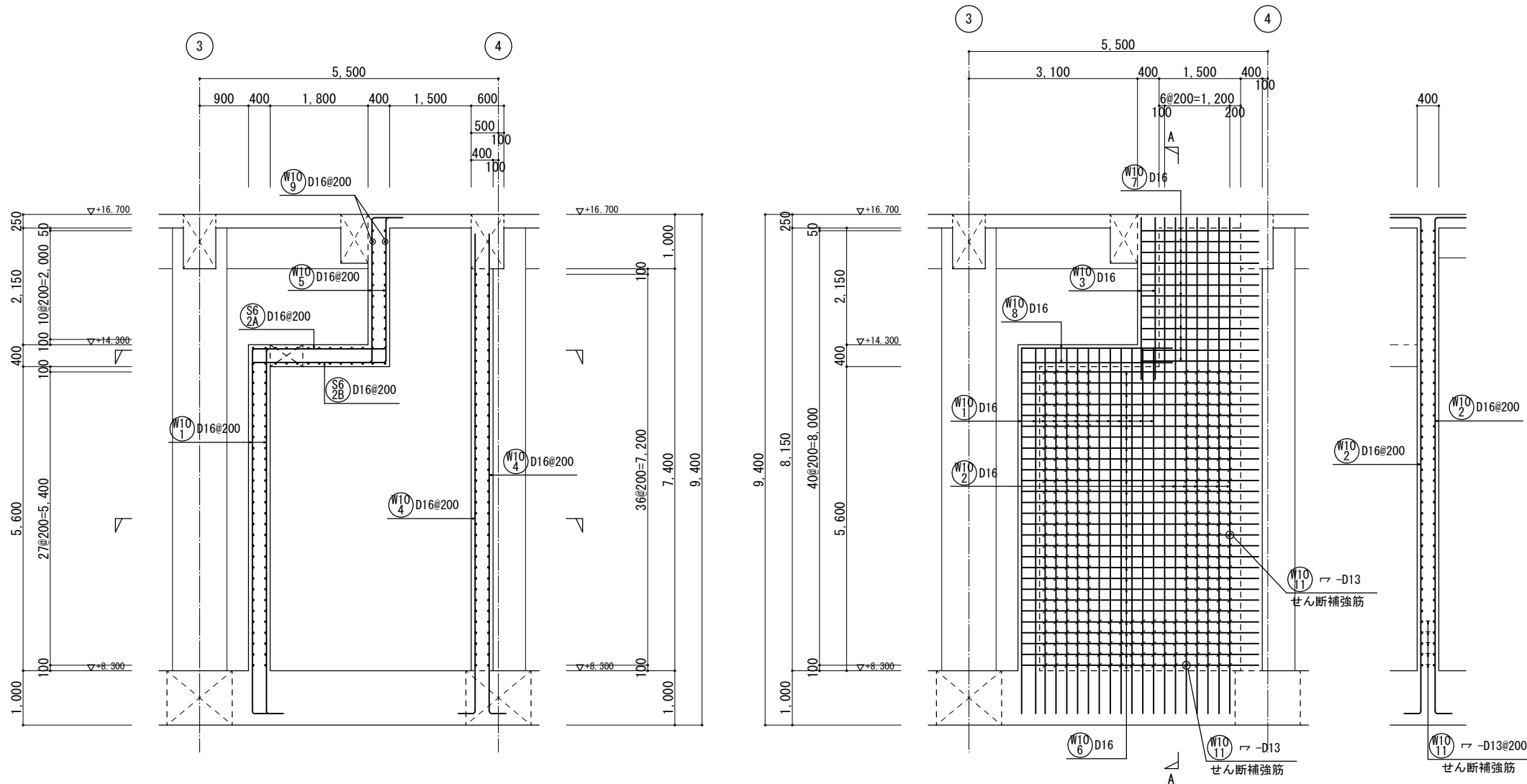
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(12)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 15-48号

京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所

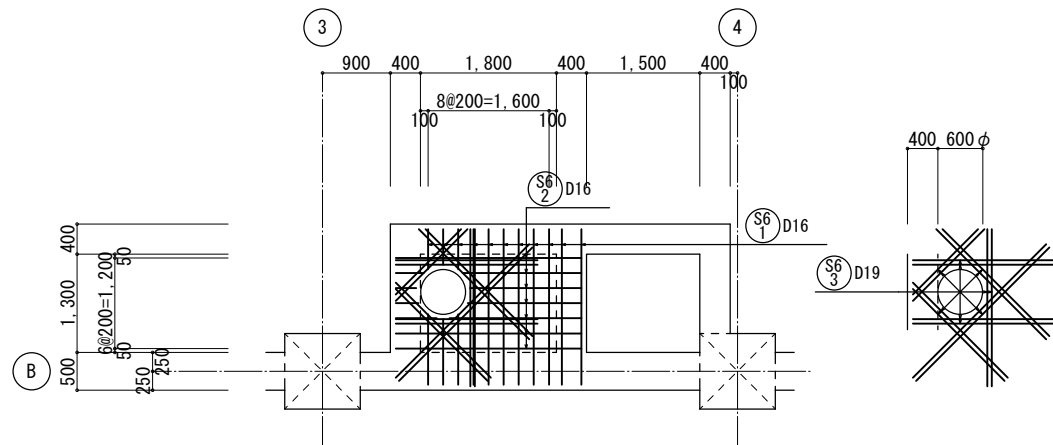


A-A 断面配筋図 1/50

1-1 壁配筋図 1/50

A-A 断面配筋図

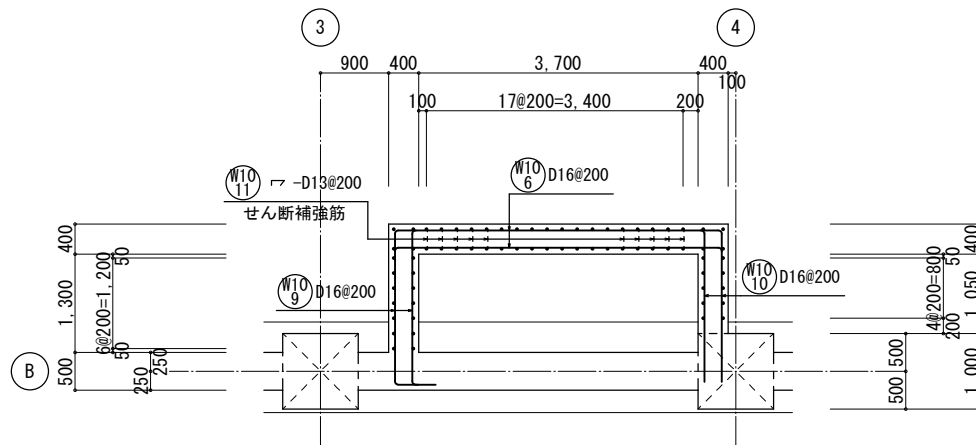
- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



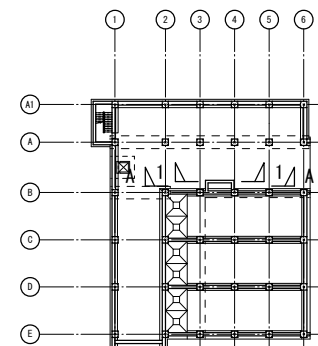
床版配筋図 S6

開口部補強筋

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 床版組立筋は、 $\neg$ D13@1,000×1,000程度とする。

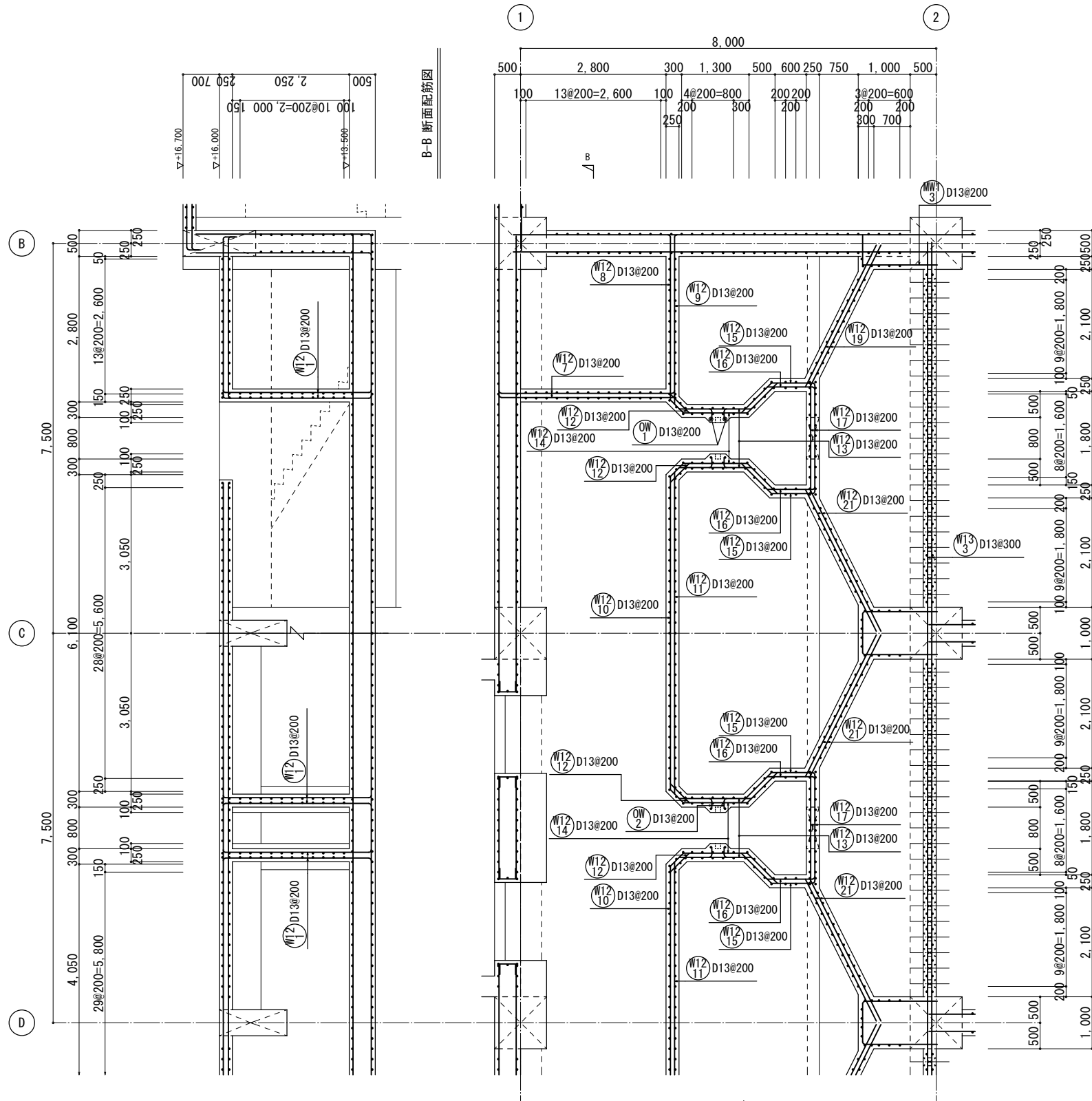


平断面配筋図



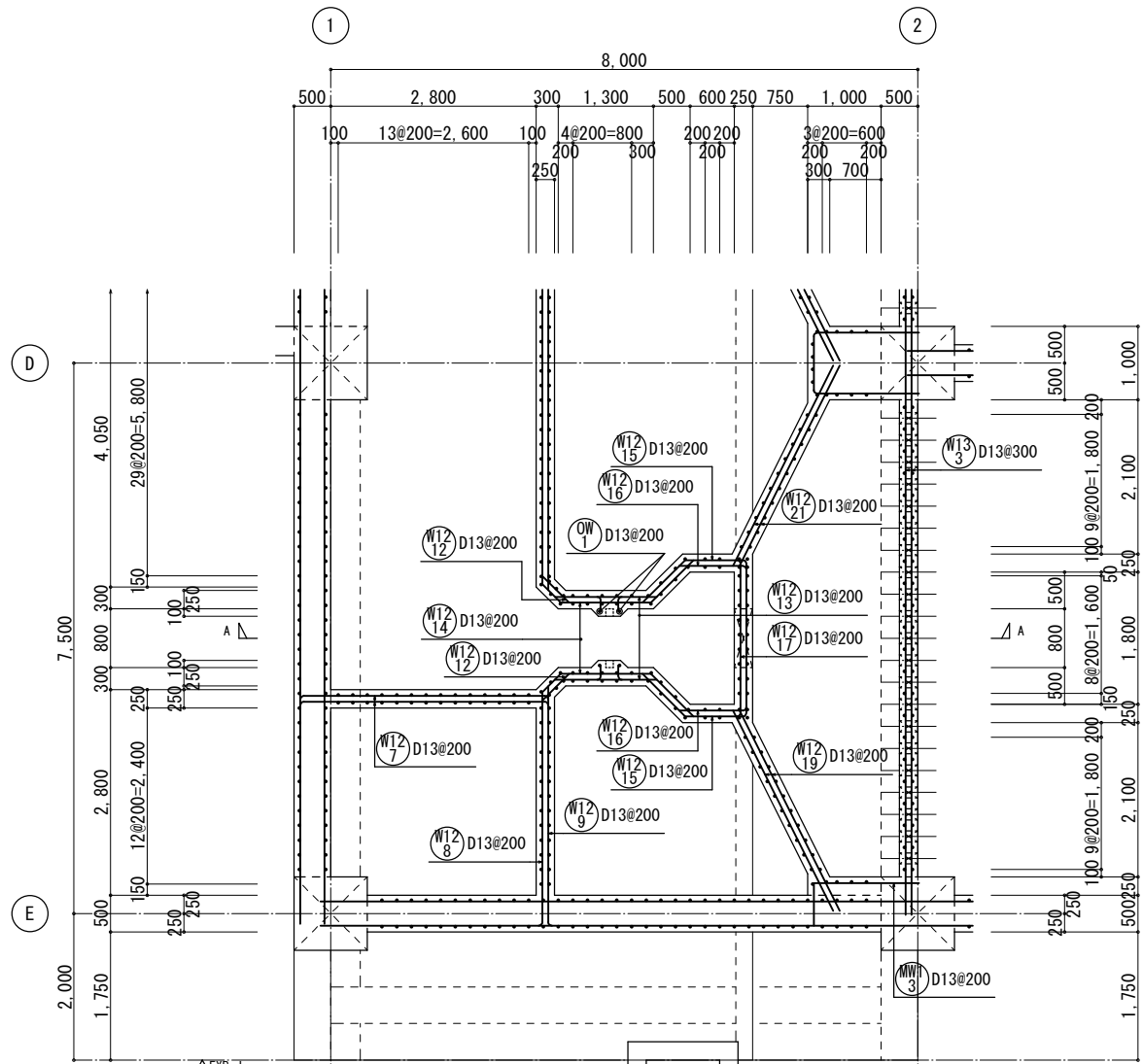
KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(13)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-49号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



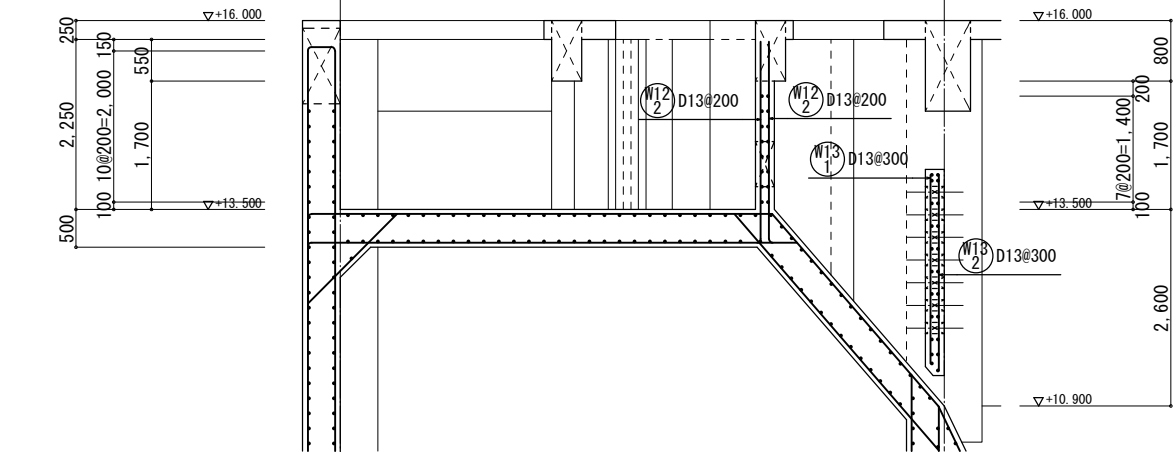
壁平面配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、 $\neg$ —D13@1,000×1,000程度とする。



壁平面配筋図 1/50

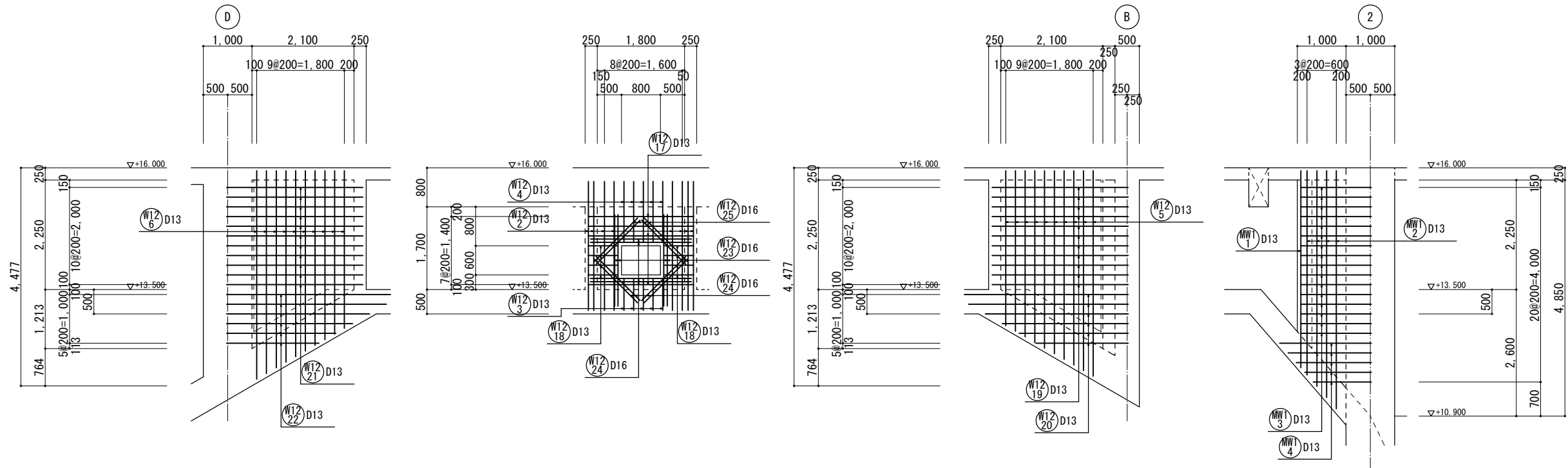
特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、 $\neg$ —D13@1,000×1,000程度とする。



A-A 断面配筋図

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最初沈殿池 壁配筋図(14)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 15-50号

京都府流域下水道事務所



1-1 壁配筋図 1/50 W12

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ W-D13@1,000×1,000程度とする。

2-2 壁配筋図 1/50 W12

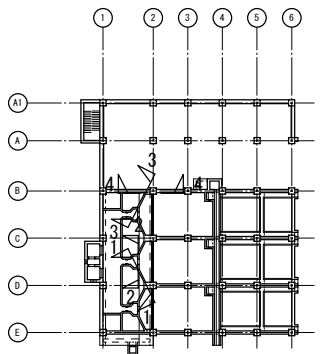
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ W-D13@1,000×1,000程度とする。

3-3 壁配筋図 1/50 W12

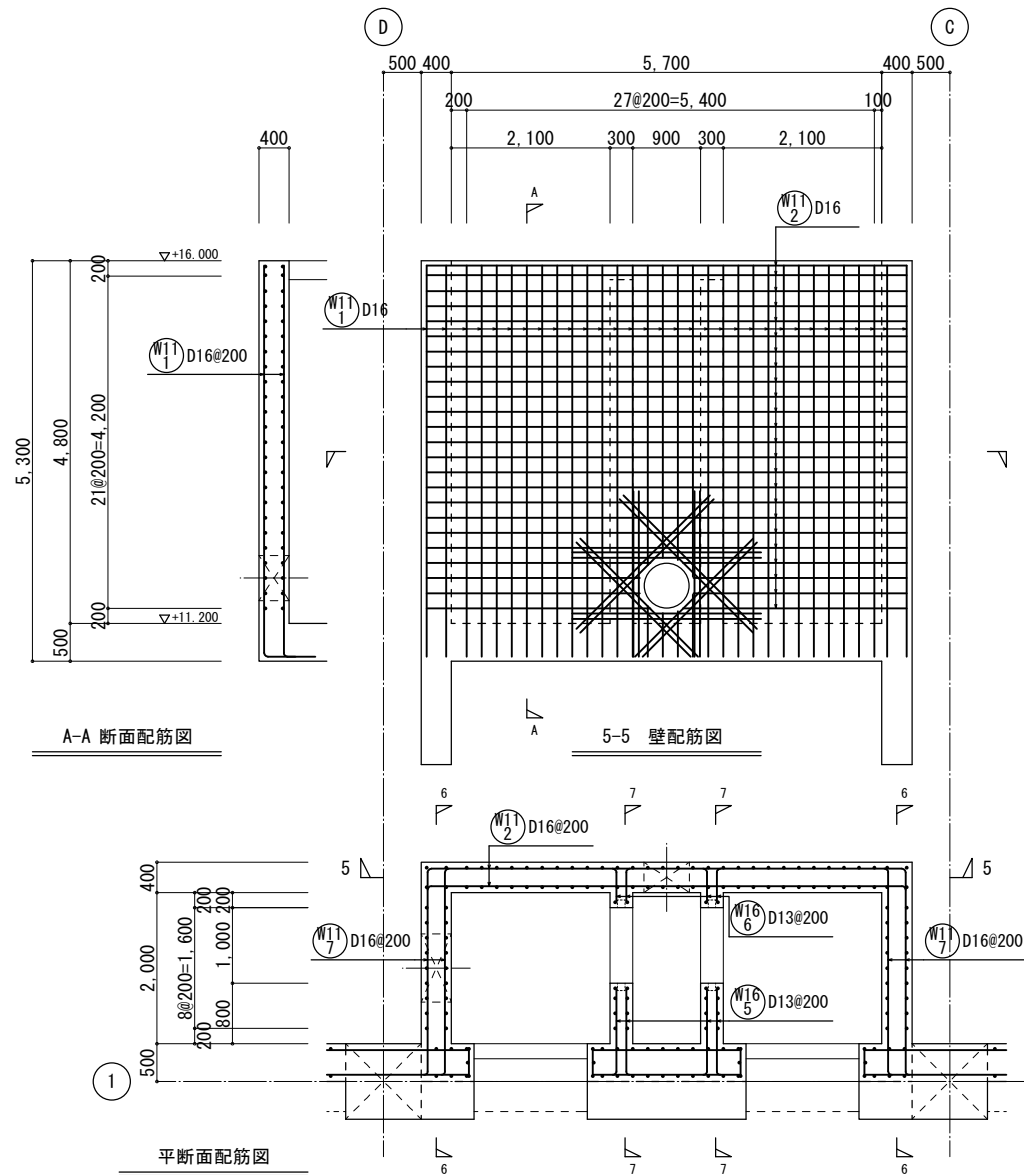
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ W-D13@1,000×1,000程度とする。

4-4 壁配筋図 1/50 MW1

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。

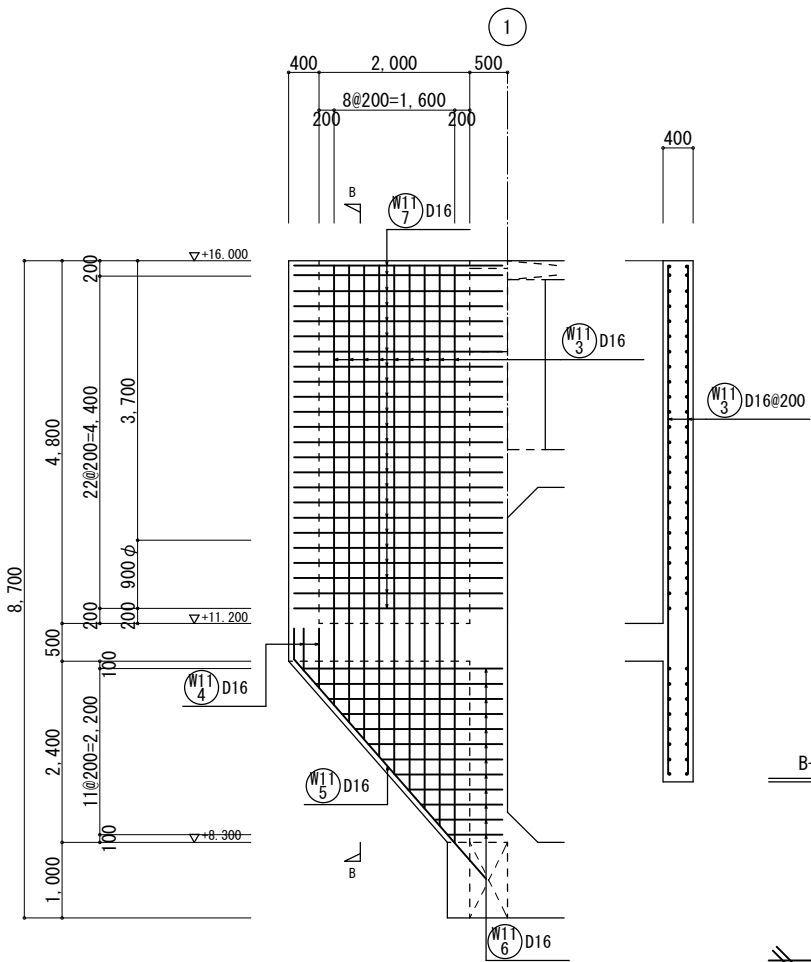


KEY PLAN



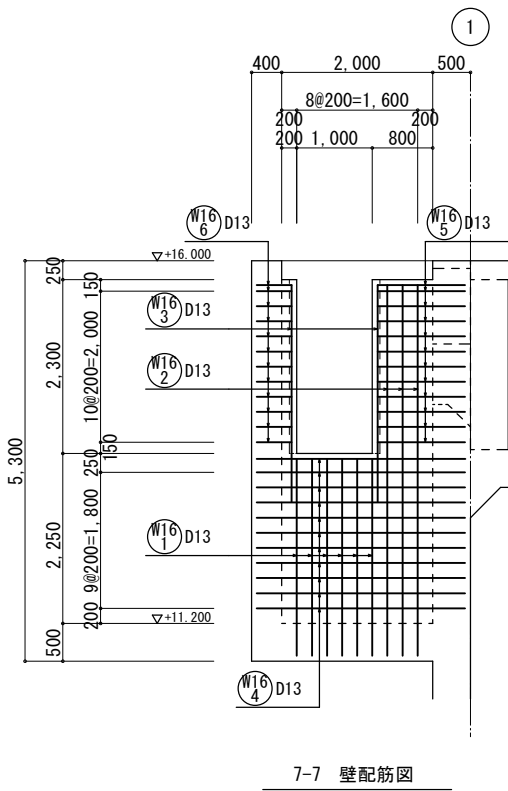
A-A 断面配筋図

5-5 壁配筋図

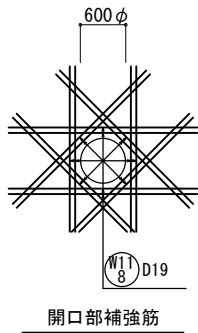


6-6 壁配筋図

B-B 断面配筋図



7-7 壁配筋図

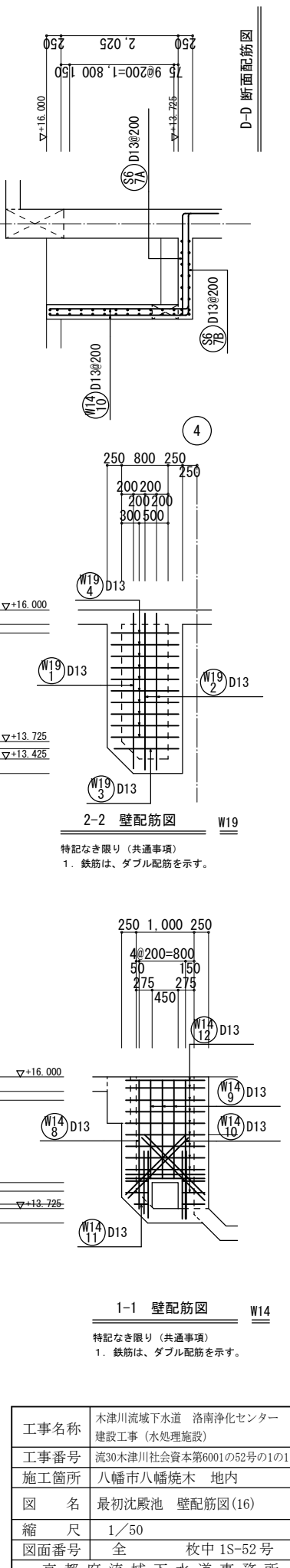
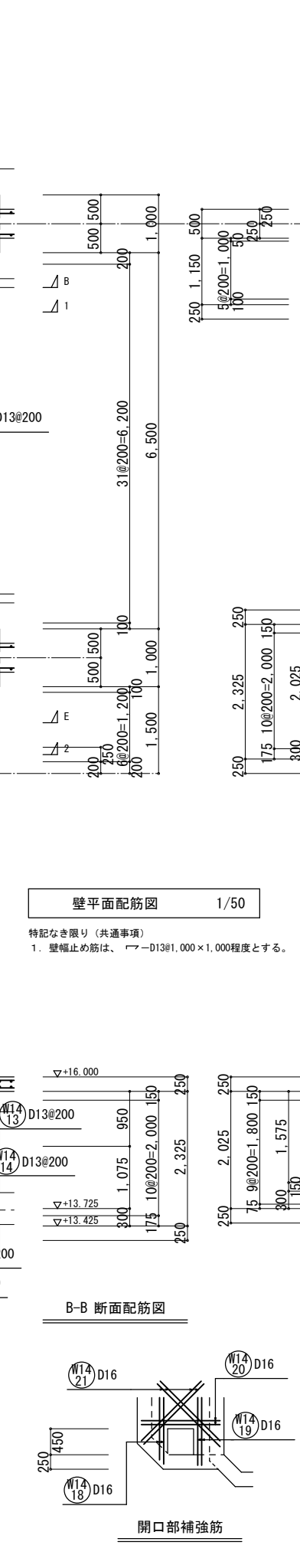
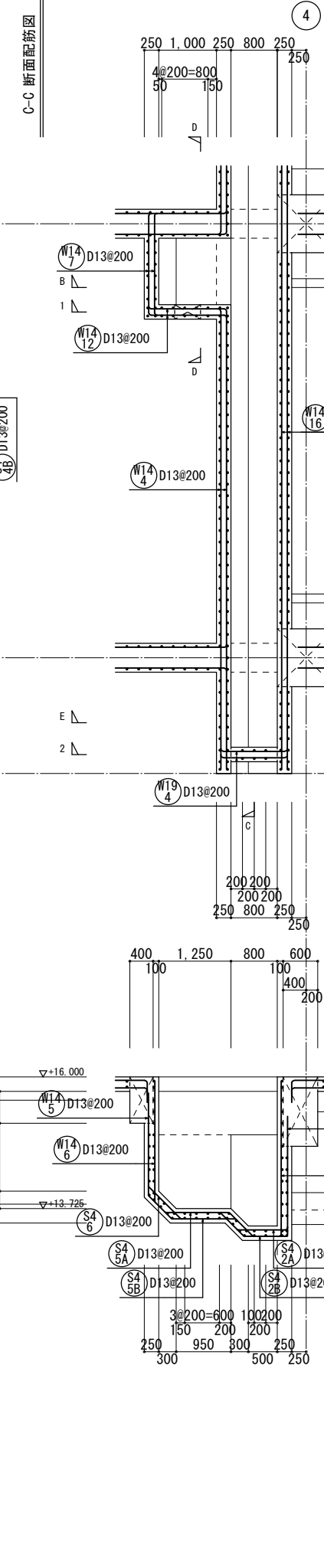
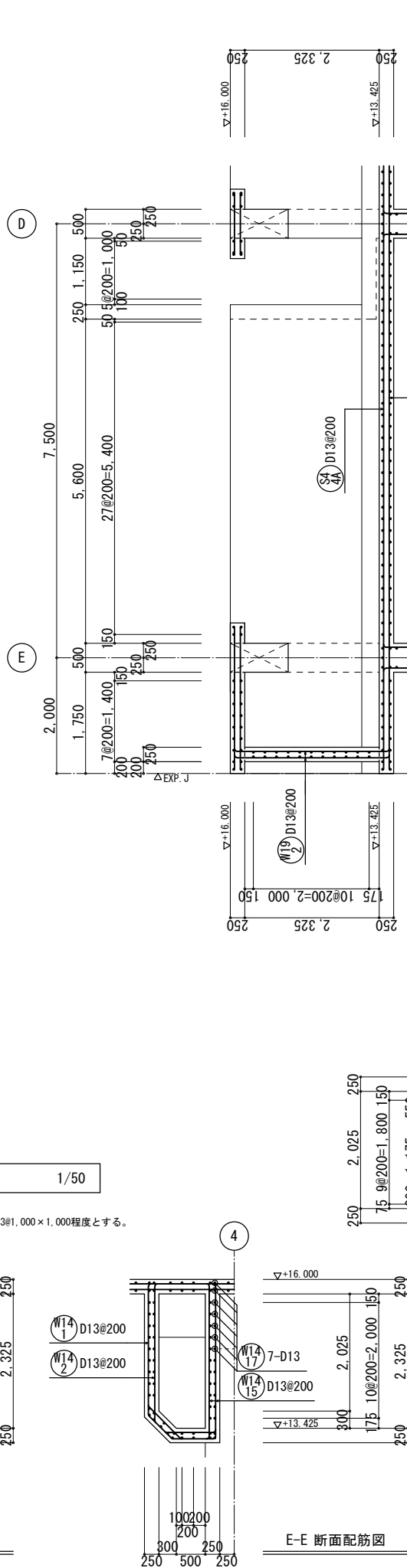
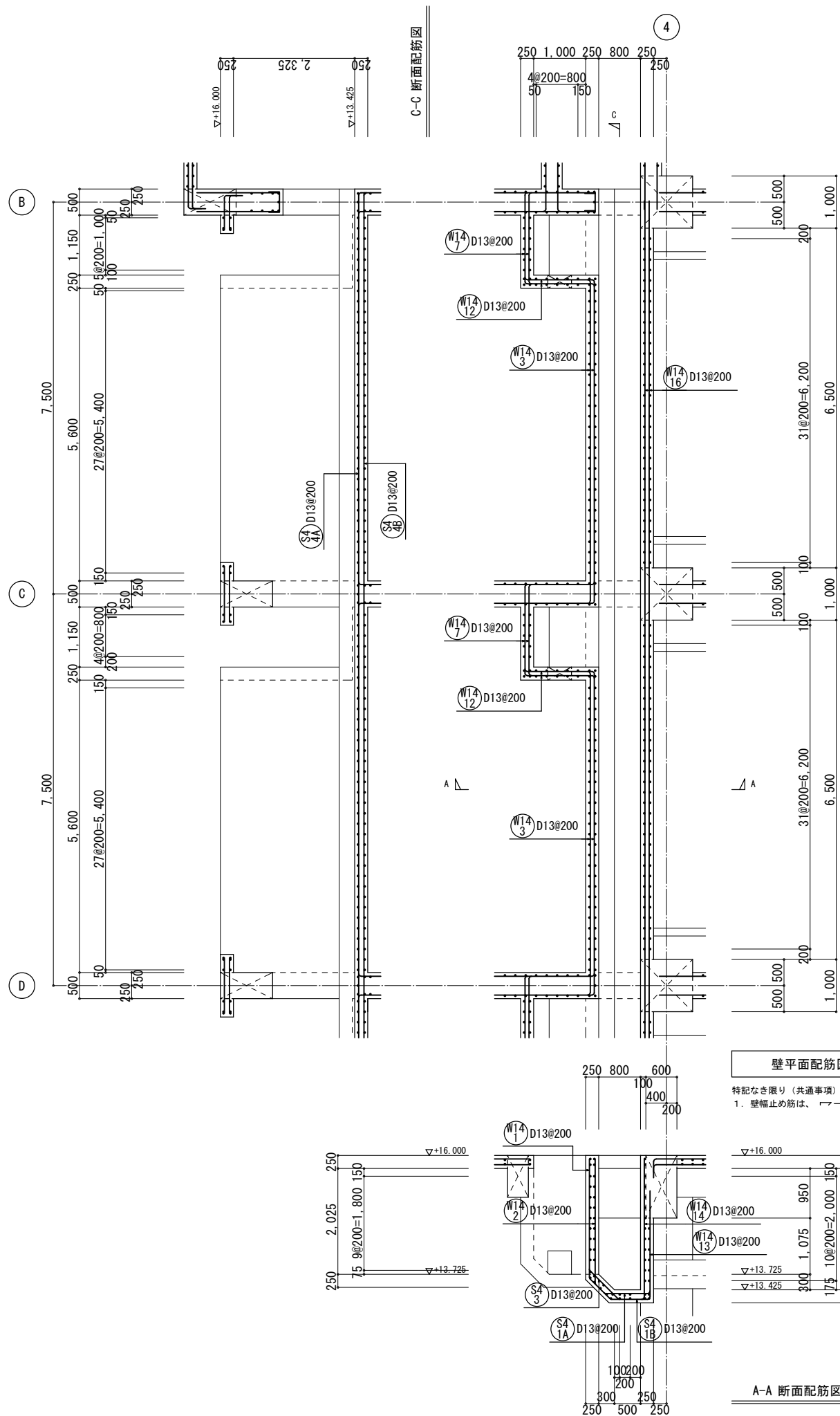


開口部補強筋

着水井廻り配筋図 1/50 W11 W16

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ W-D13@1,000×1,000程度とする。

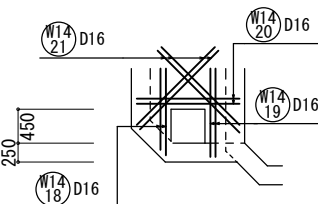
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(15)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-51号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



壁平面配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、 $\neg$ —D13@1,000×1,000程度とする。

B-B 断面配筋図

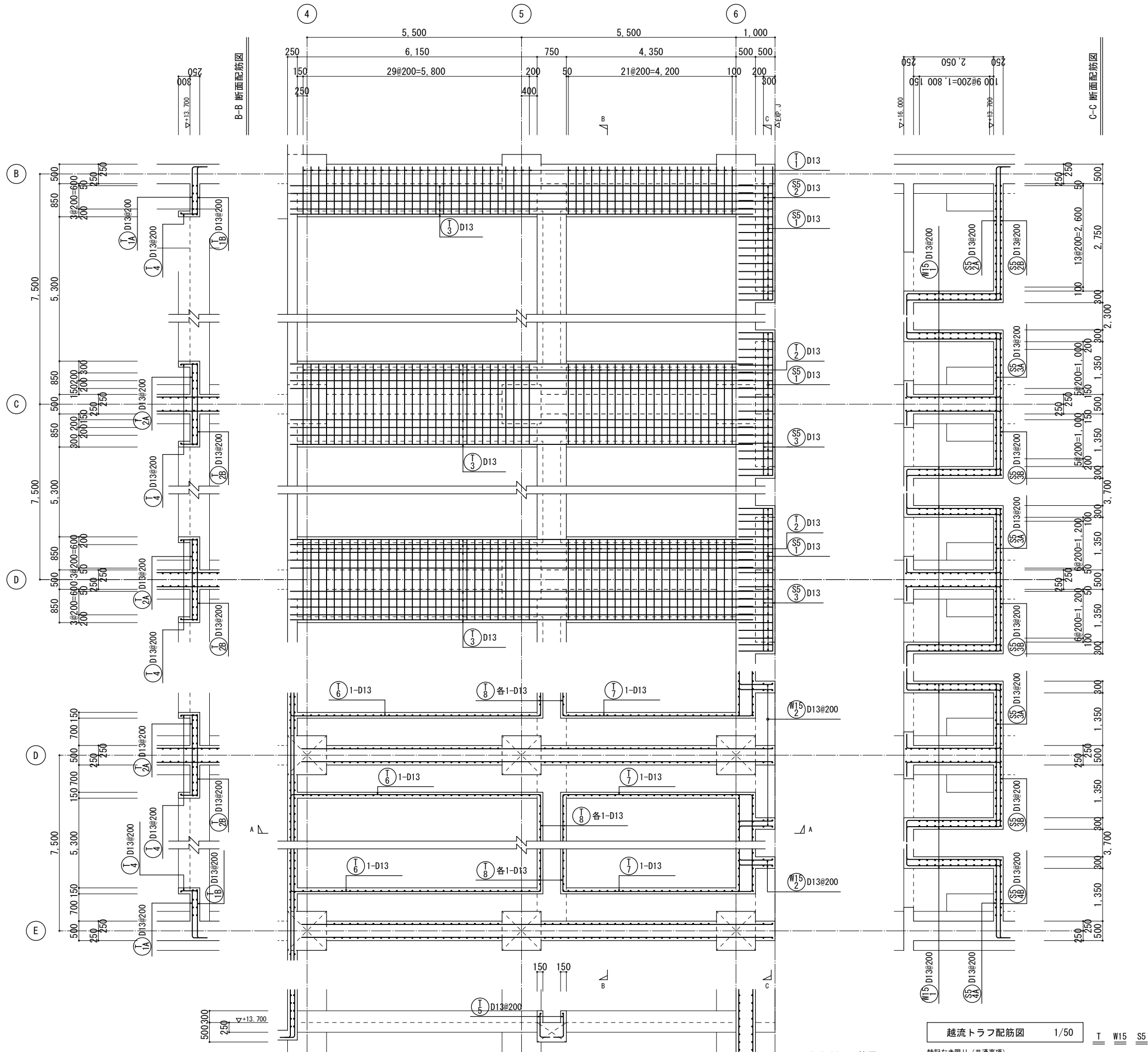


開口部補強筋

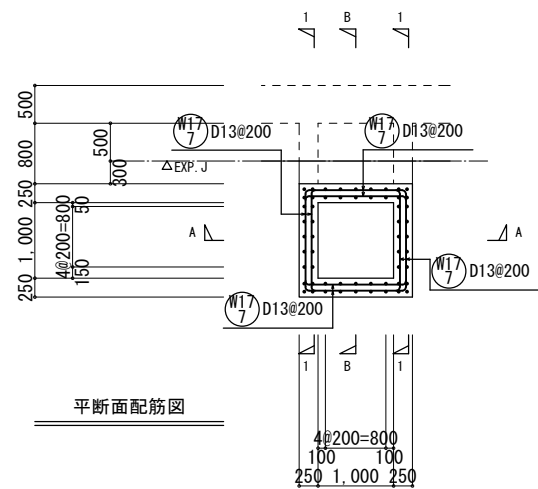
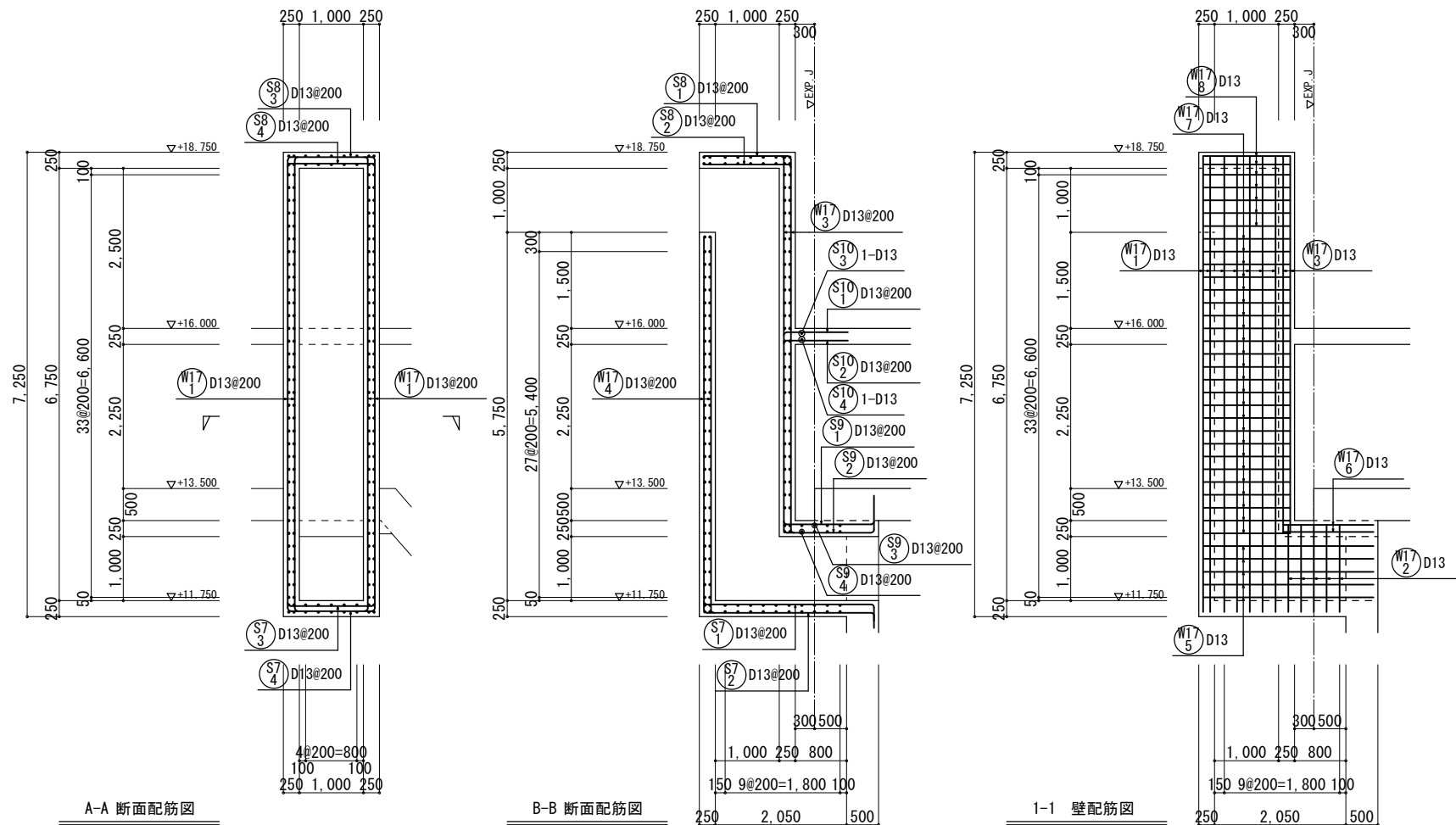
1-1 壁配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最初沈殿池 壁配筋図(16)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-52号
京都府流域下水道事務所	

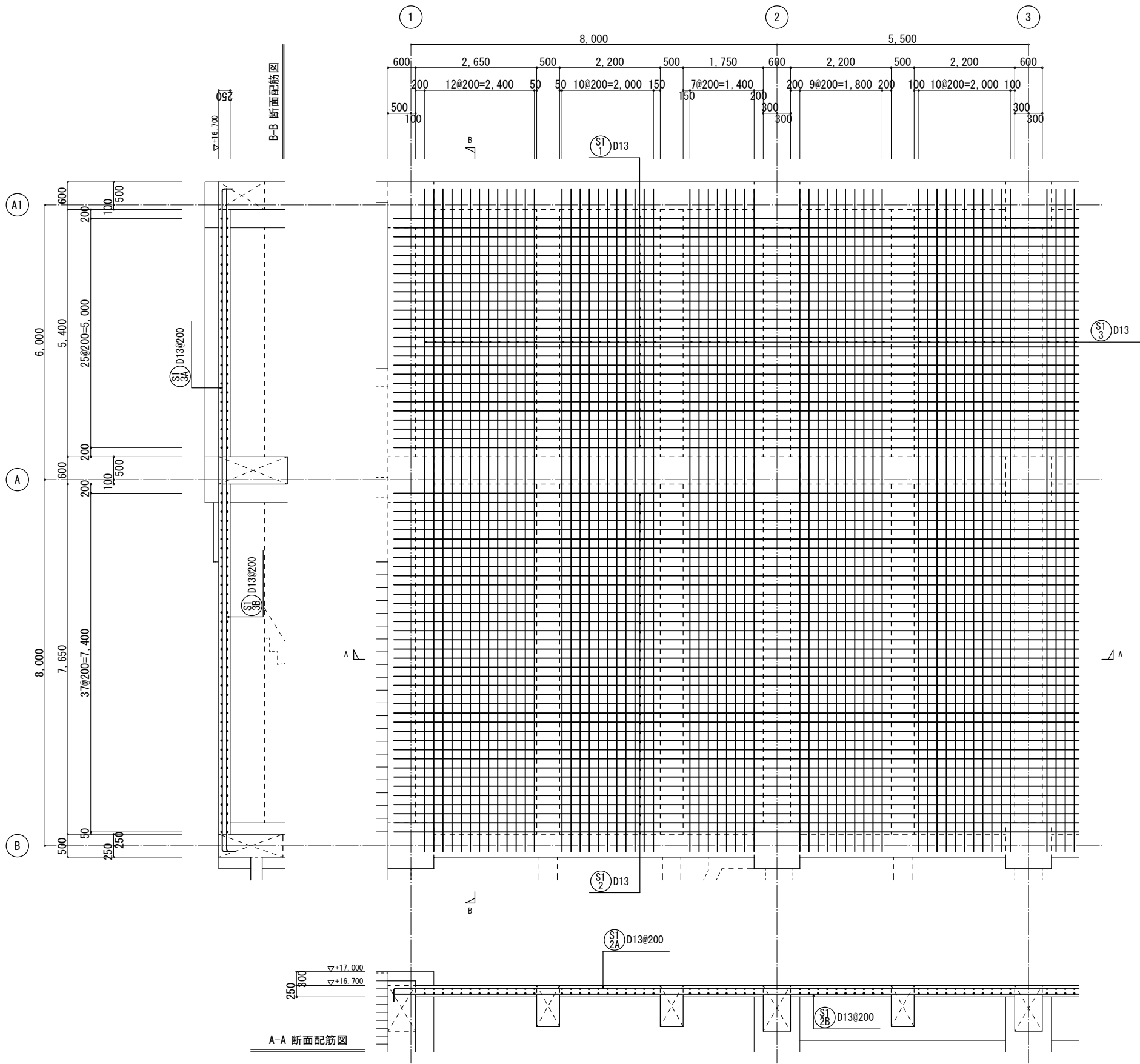


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(17)		
縮 尺	1/50		
図面番号	全	枚中	1S-53号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



排気塔廻り配筋図 1/50

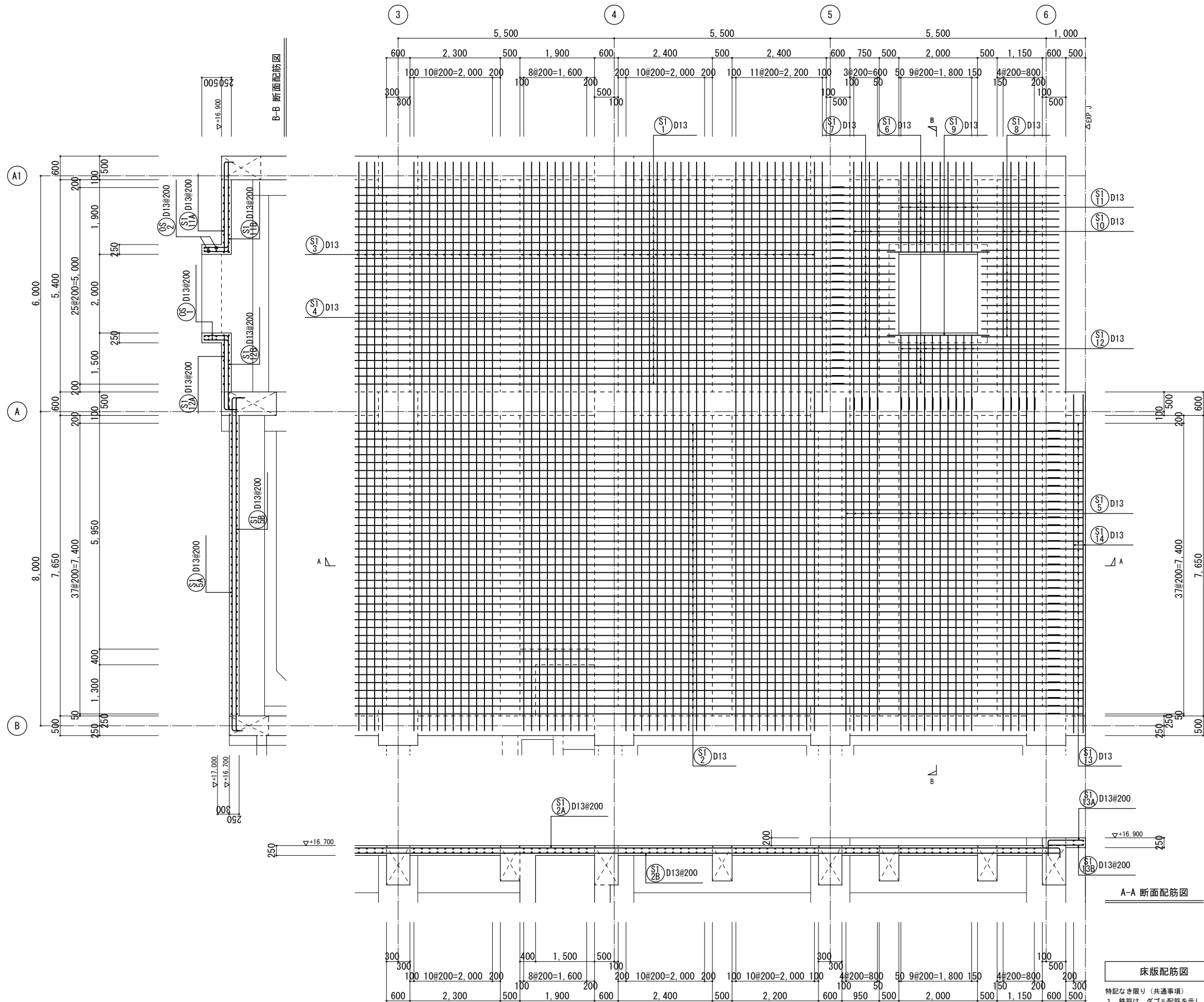
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 壁配筋図(18)
縮 尺	1／50
図面番号	全 枚中 1S-54号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



床版配筋図 1/50 S1

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

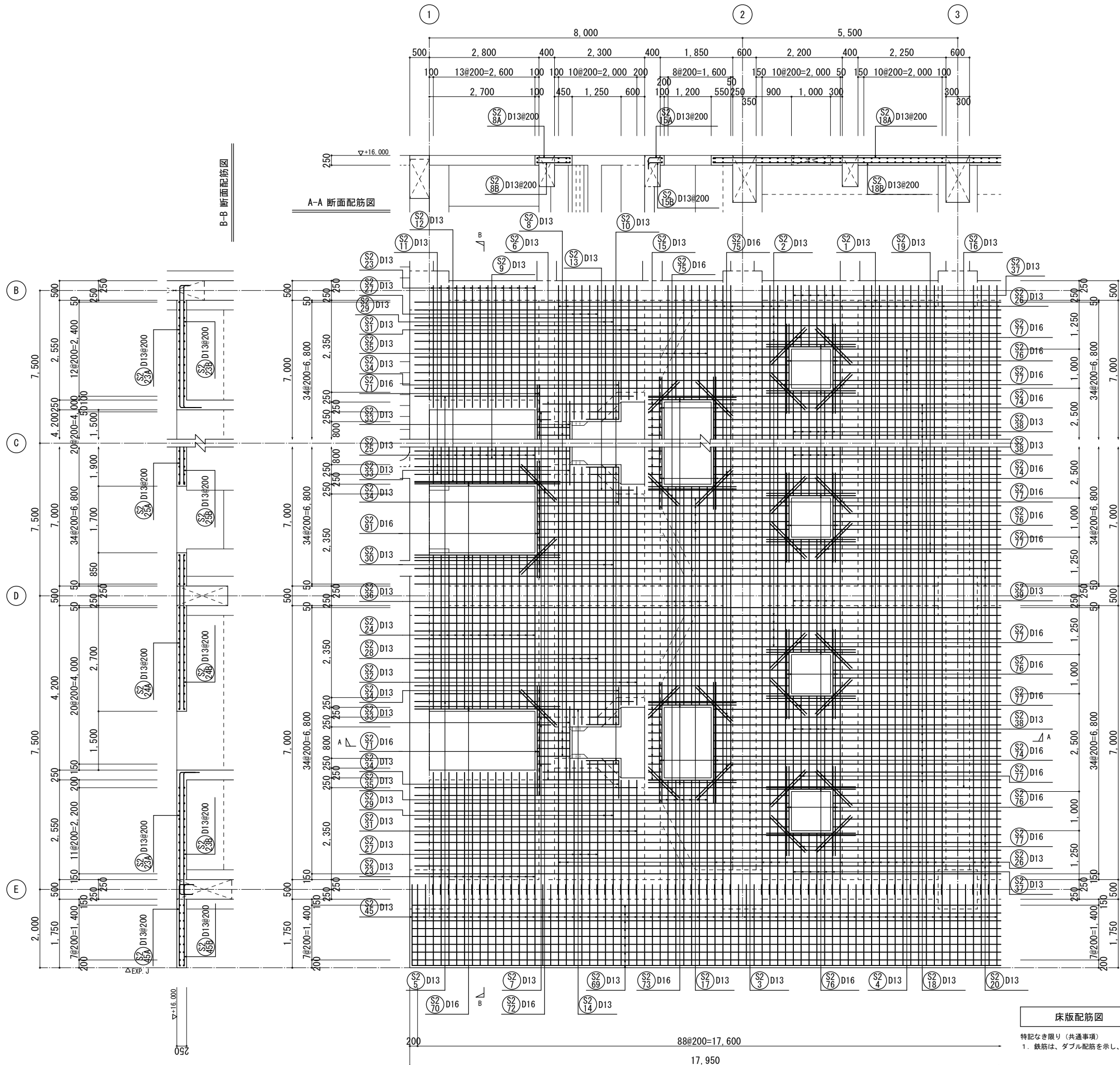
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 床版配筋図(1)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-55号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



床版配筋図 1/50 S1

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

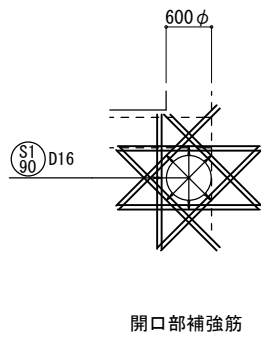
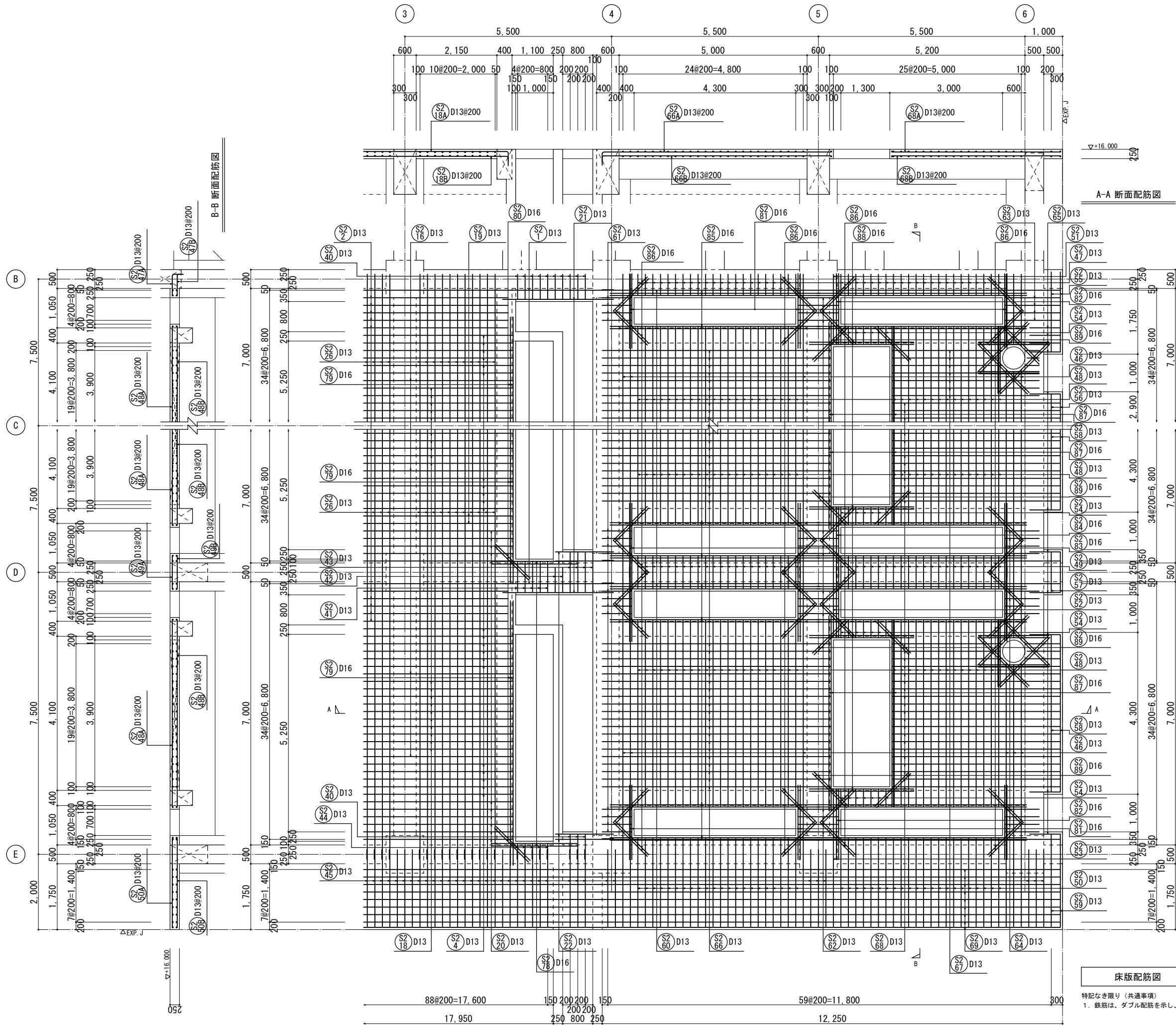
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 床版配筋図(2)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-56号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



床版配筋図 1/50 S2

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

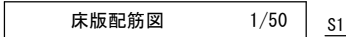
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 床版配筋図(3)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-57号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



床版配筋図 1/50 S1

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

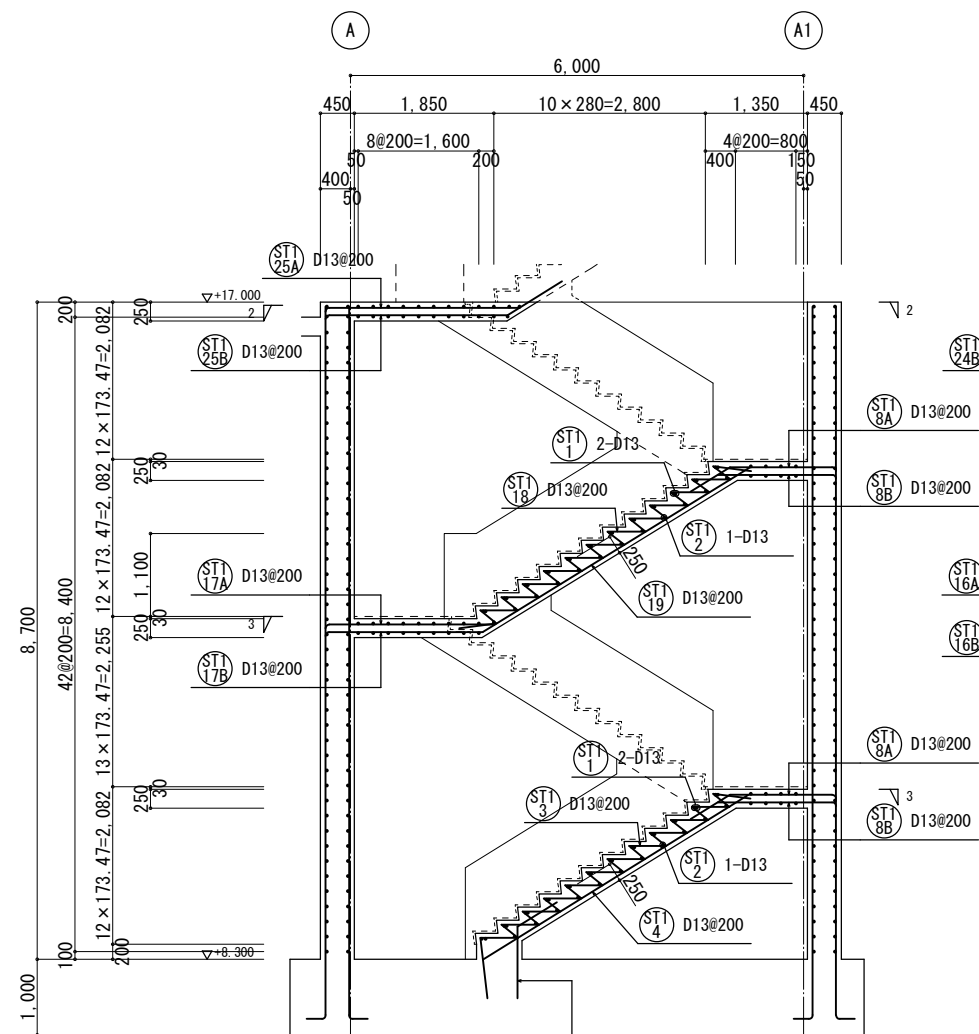
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 床版配筋図(4)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-58号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



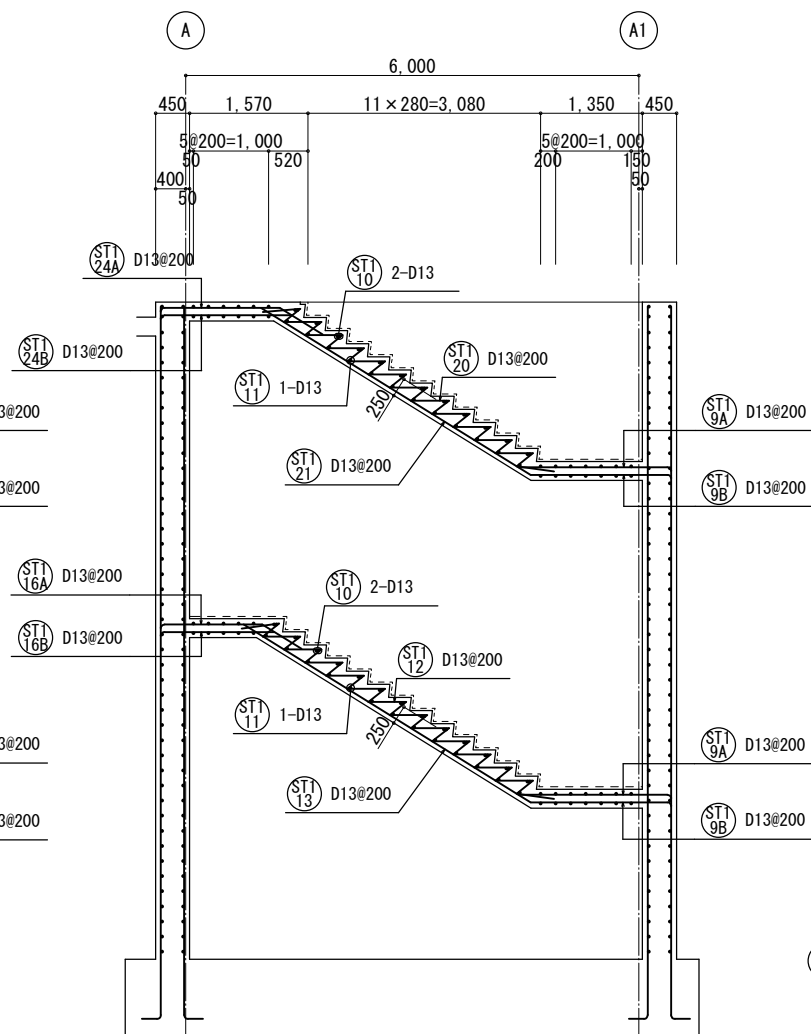
特記なき限り（共通事項）

- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
- 床版組立筋は、 $\square - D13@1,000 \times 1,000$ 程度とする。

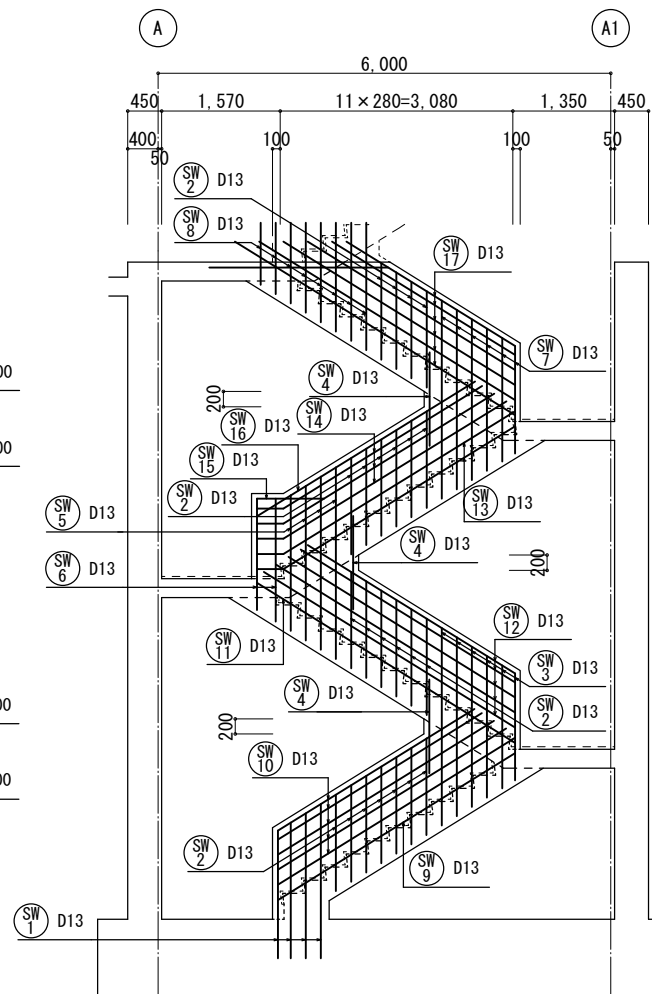
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 床版配筋図(5)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-59 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

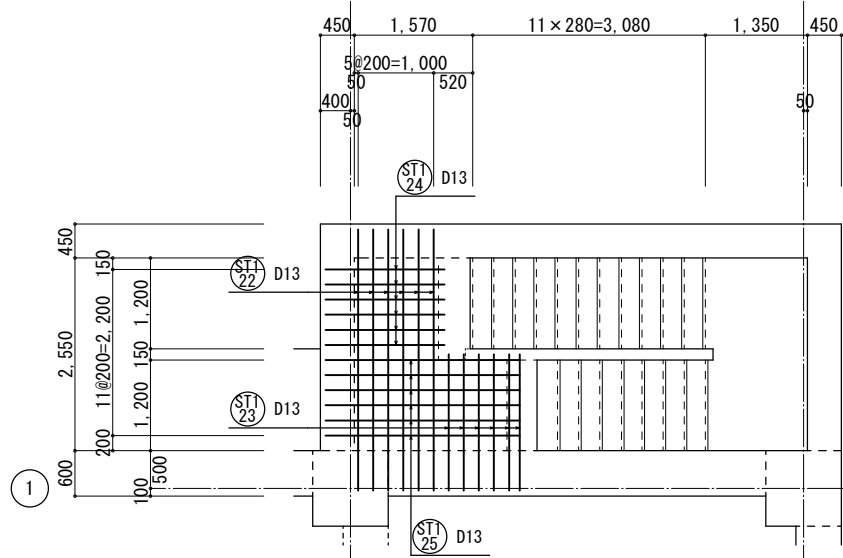


B-B 断面配筋図



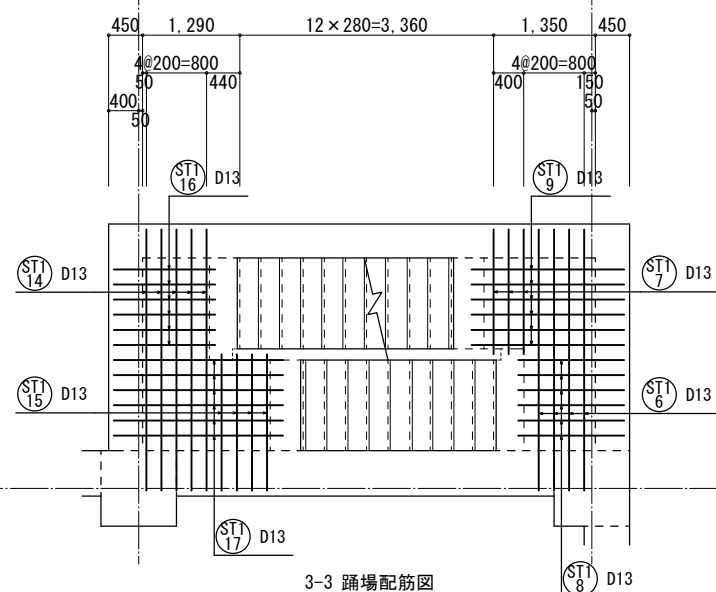
1-1 手摺配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。



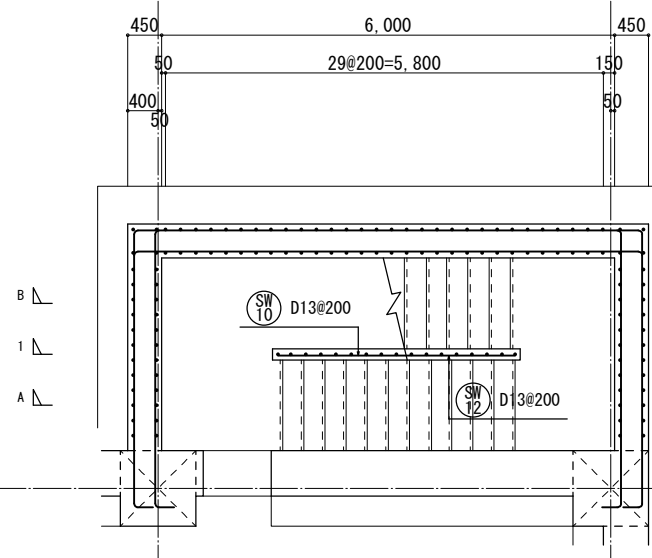
2-2 踊場配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



3-3 踊場配筋図

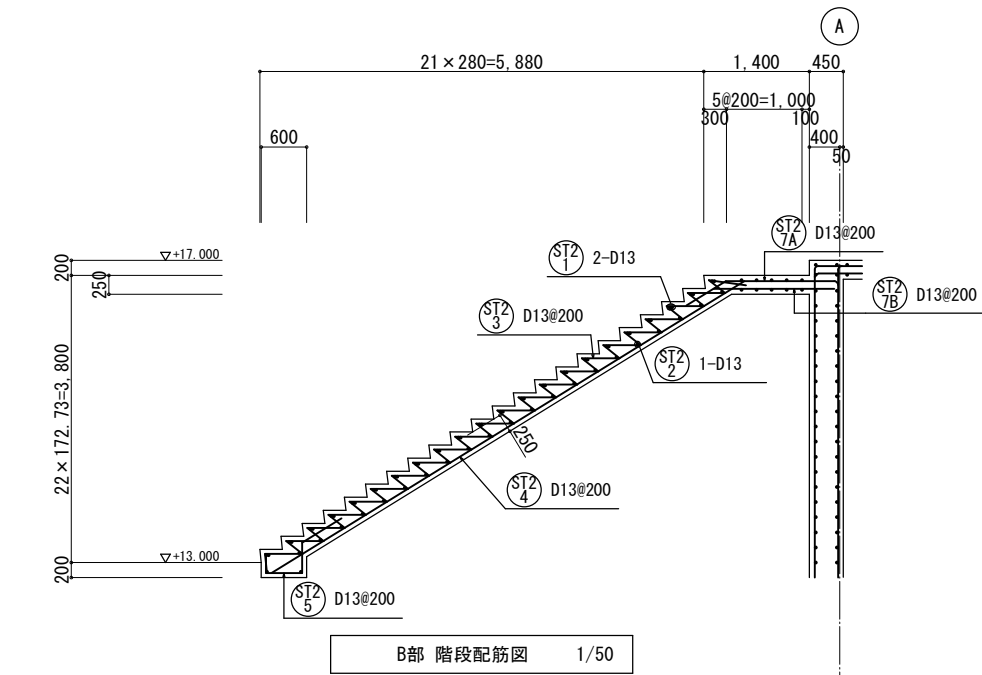
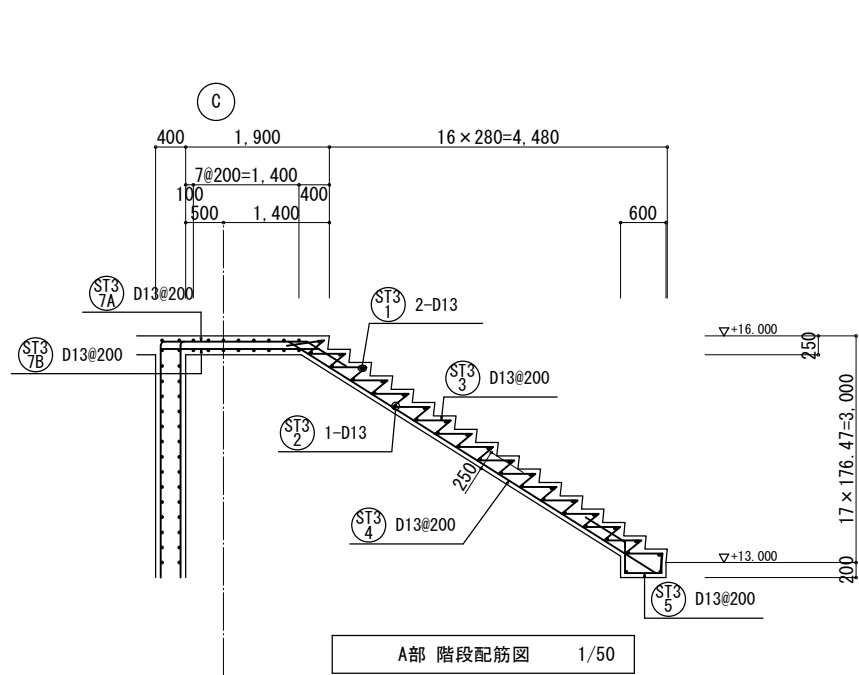
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



壁平面配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、 ∇ ア-D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 床版配筋図(6)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-60 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

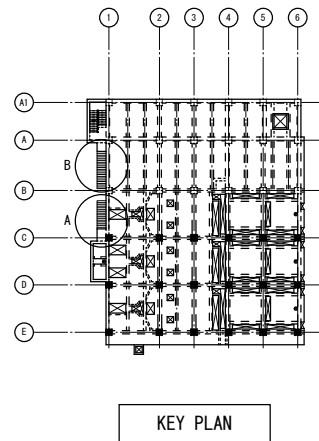


踊場配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

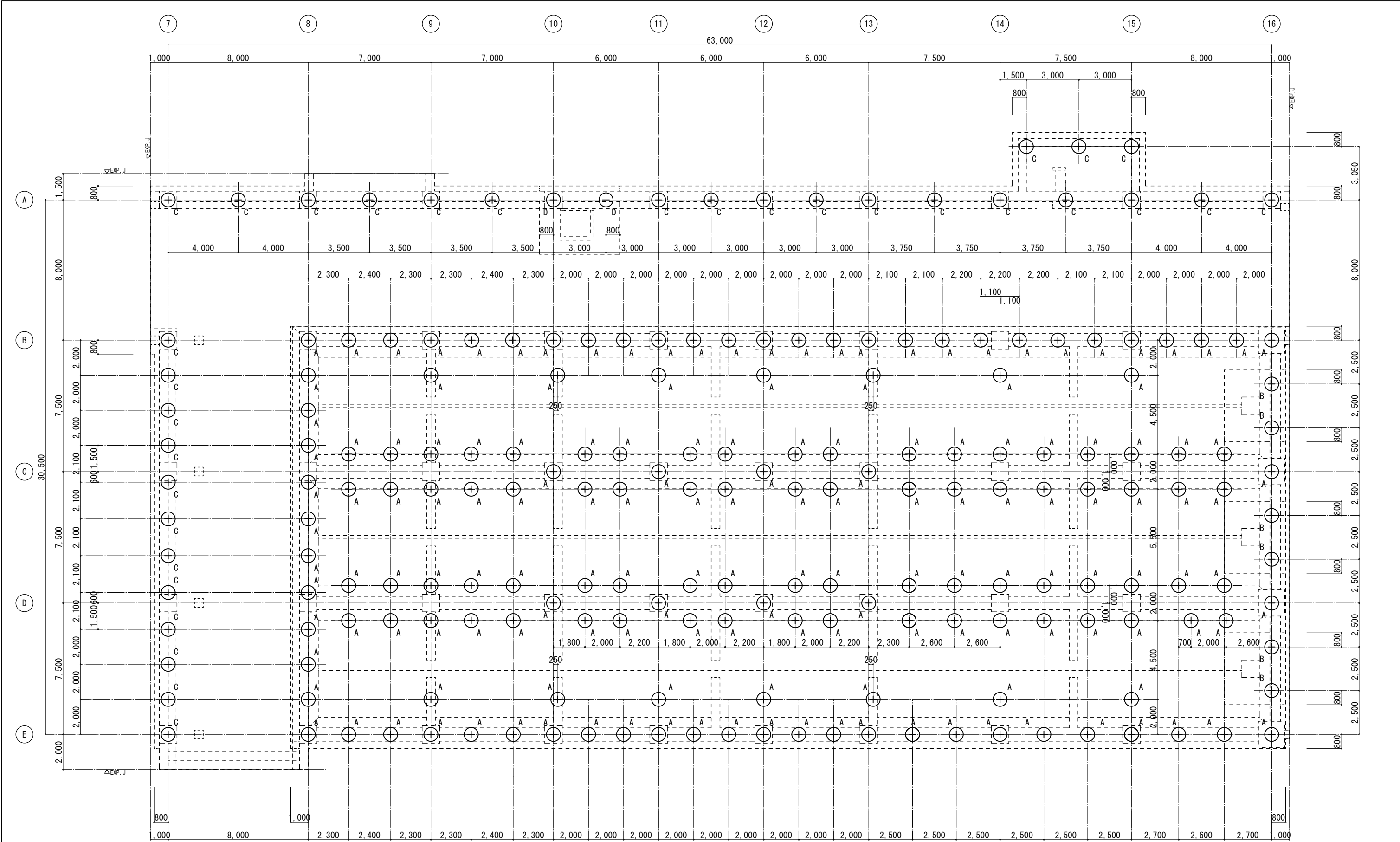
踊場配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



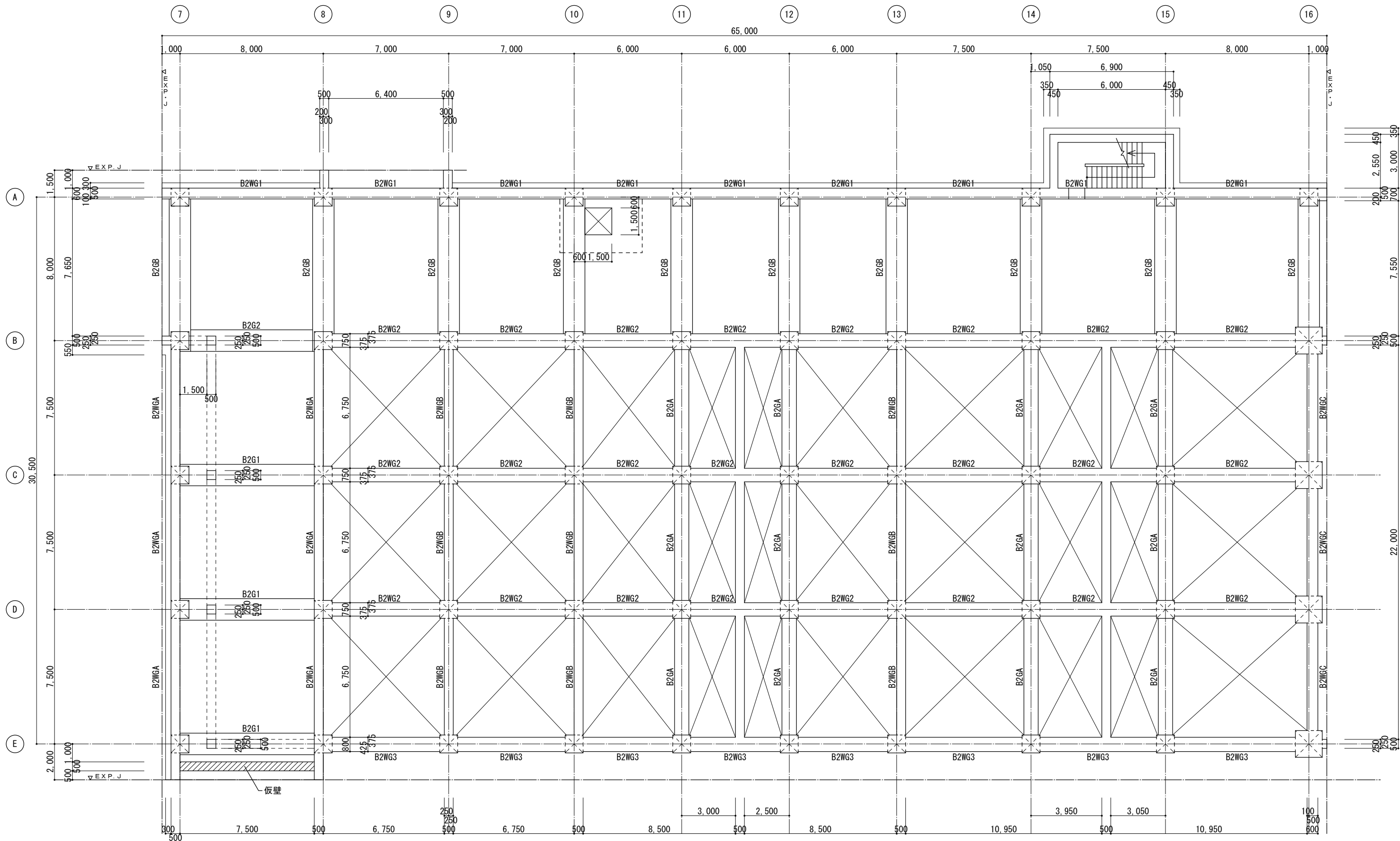
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最初沈殿池 床版配筋図(7)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 1S-61号

京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



杭伏図 1/100

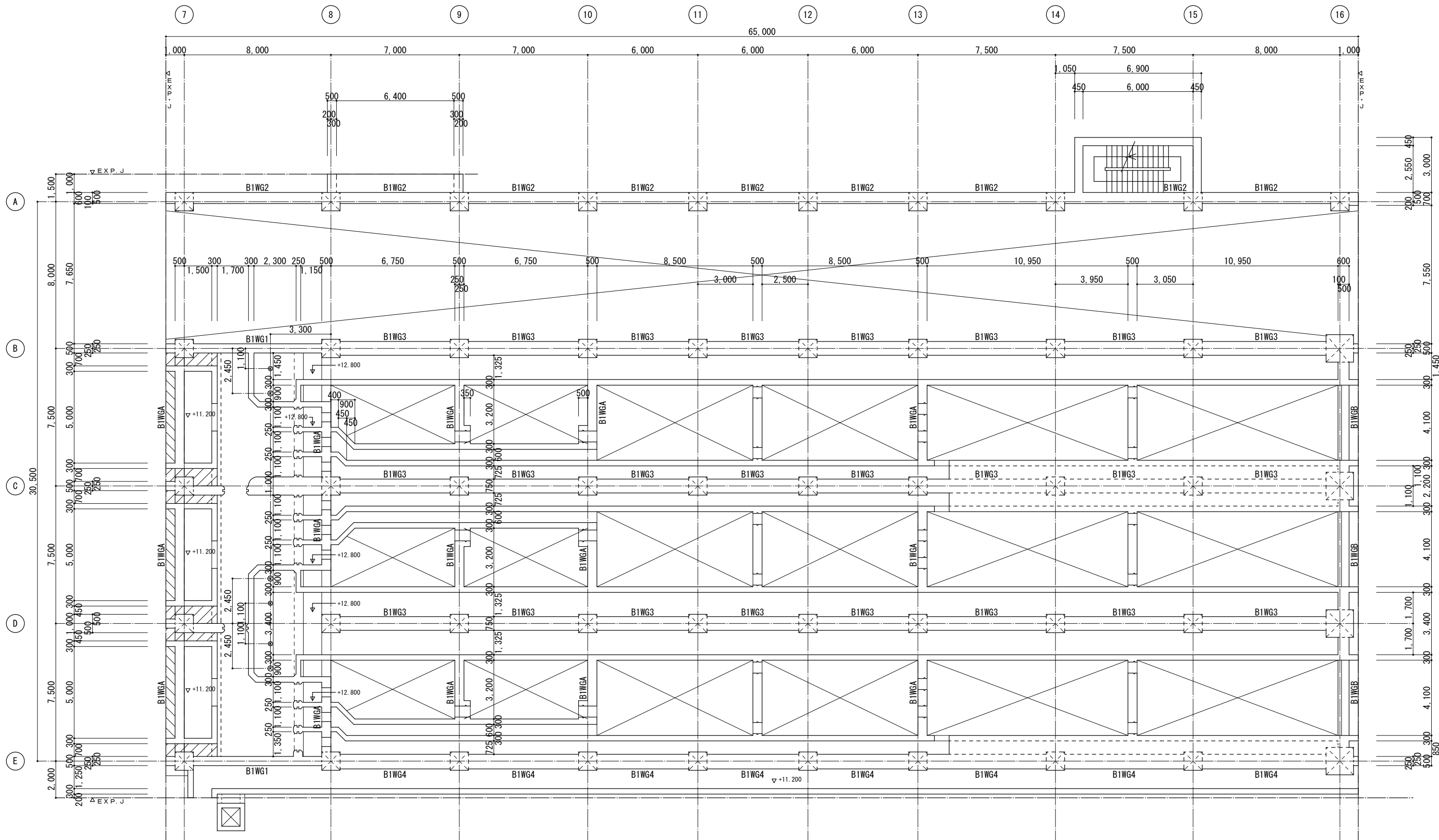
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	反応槽 杭伏図		
縮 尺	1／100		
図面番号	全	枚中	2S-1 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



B2階 伏図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. SLは、TP+8.300とする。

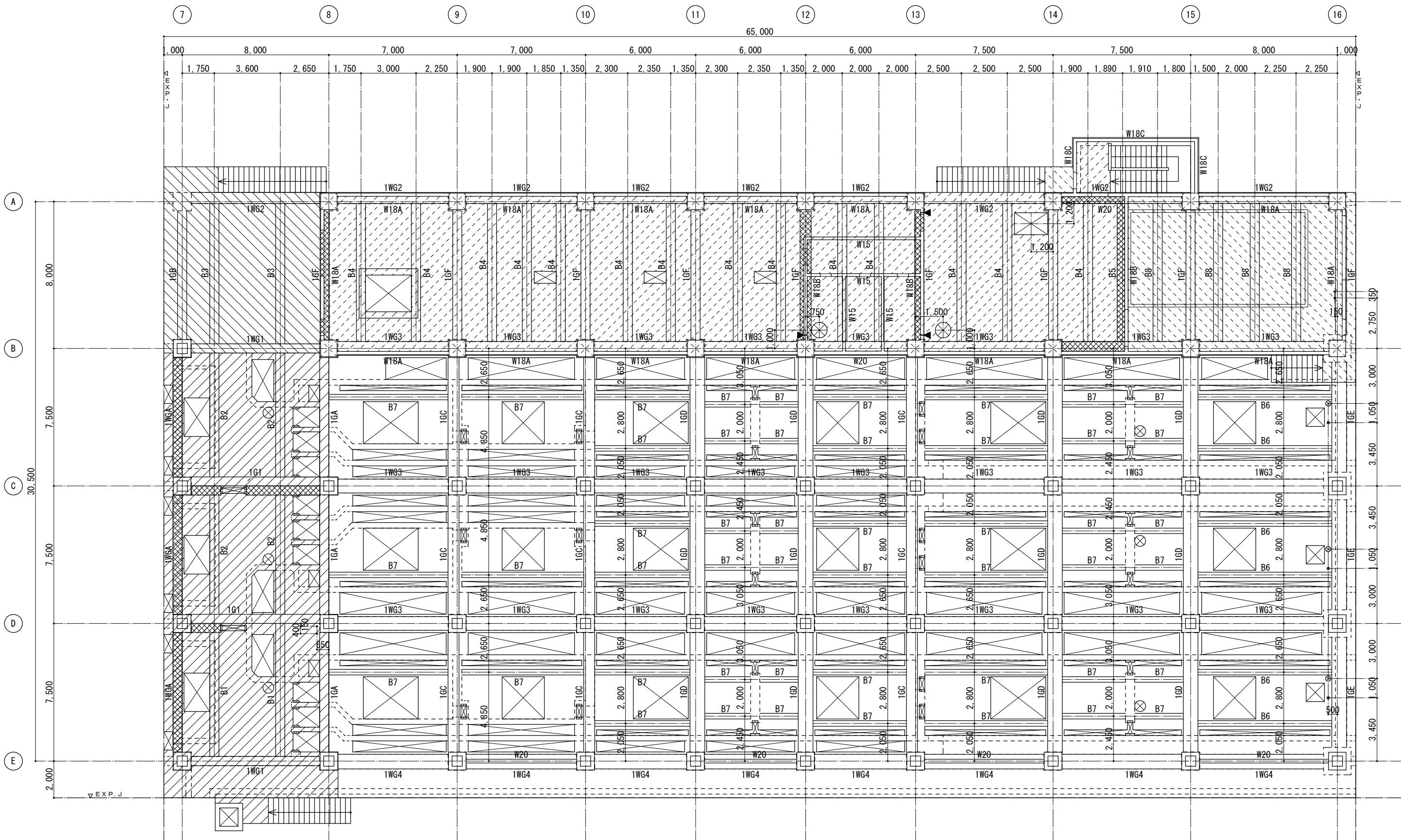
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 伏図（2）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 2S-4 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



B1階 伏図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. SLは、TP+13.150とする。
 2.  は、SL=TP+13.700とする。
 3.  は、SL=TP+11.100とする。

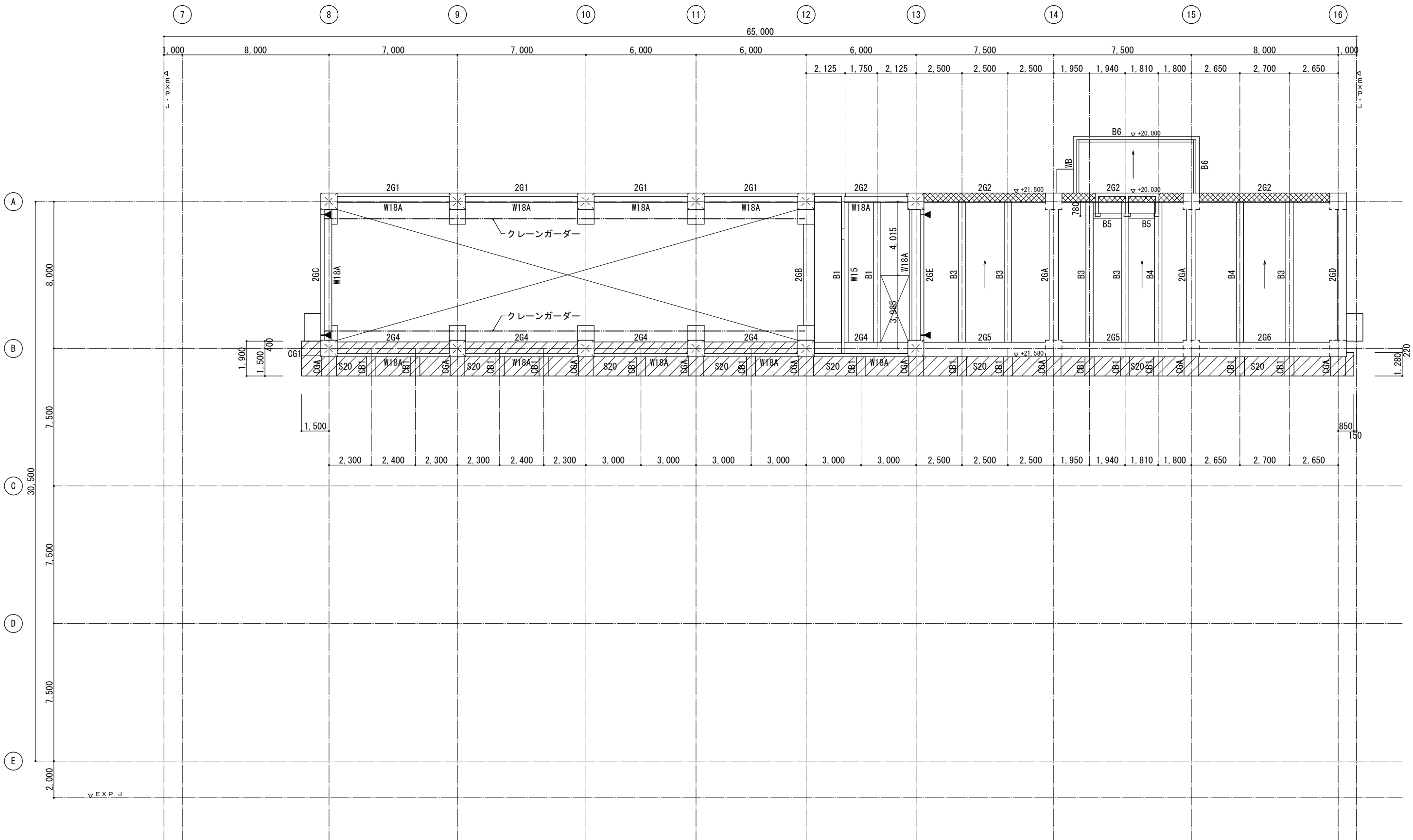
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 伏図（3）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-5 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



1階 伏図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. SLは、TP+15.000とする。
 2. 床版は、S25とする。
 3. は、梁増打ちを示す。
 4. は、SL=TP+16.000とする。
 5. は、SL=TP+16.900とする。
 6. は、SL=TP+17.000とする。
 7. は、SL=TP+16.800とする。
 8. は、構造スリットを示す。

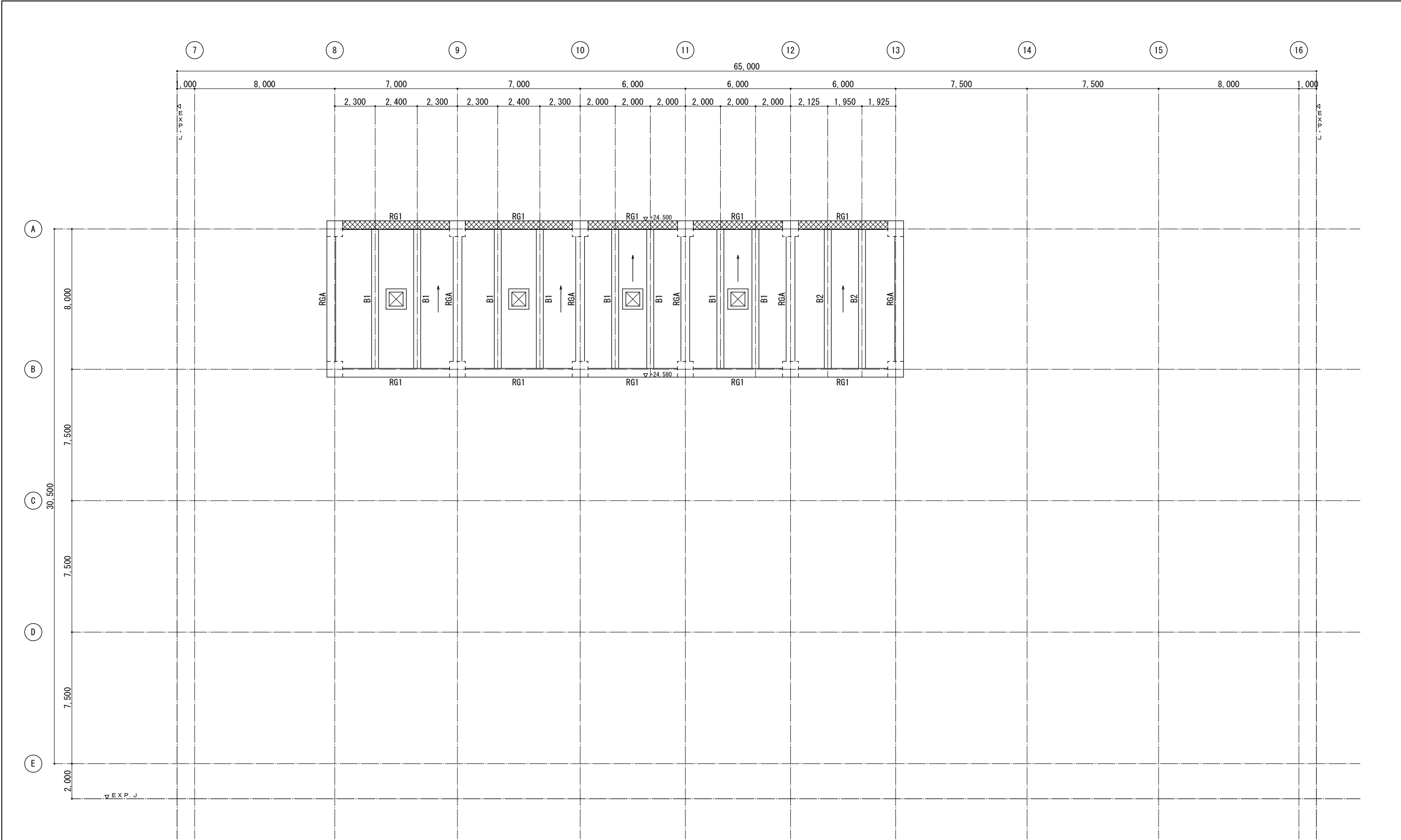
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 伏図（4）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 2S-6 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



2階 伏図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. SLは、TP+21.000とする。
 2. 床版は、S15とする。
 3.  は、梁増打ちを示す。
 4.  は、SL=TP+21.225とする。
 5.  印は、構造スリットを示す。

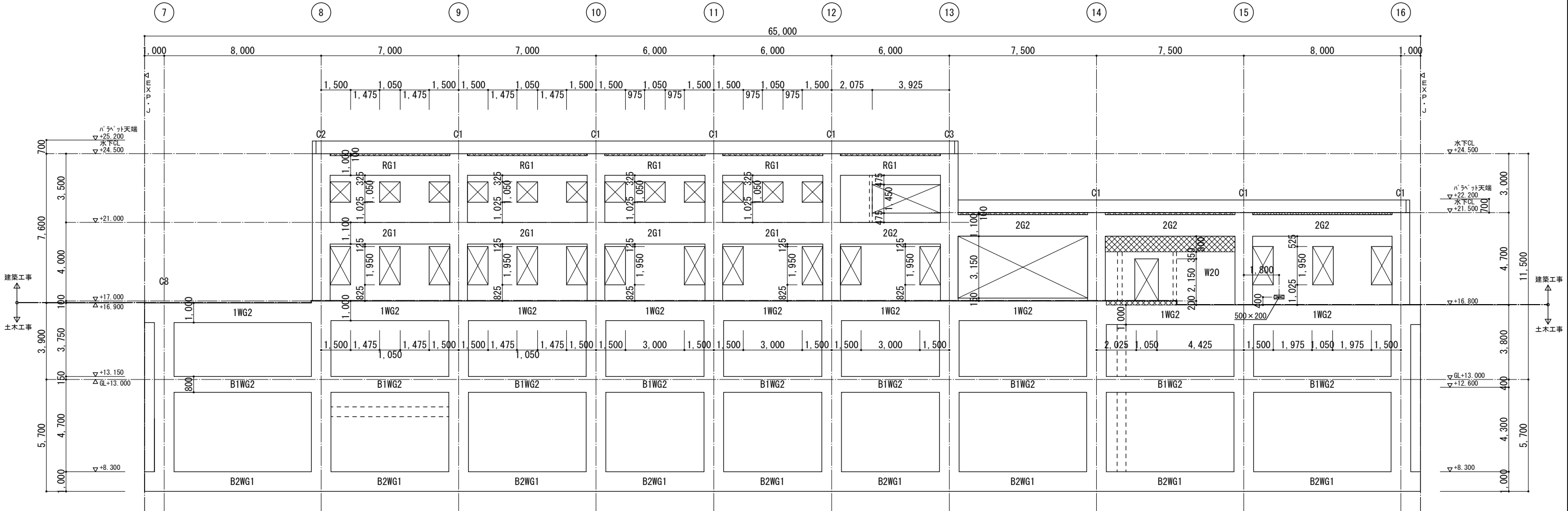
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 伏図（5）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 2S-7 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



R階 伏図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. SLは、水上TP+24.580とする。
 2. 床版は、S15とする。
 3.  は、梁増打ちを示す。

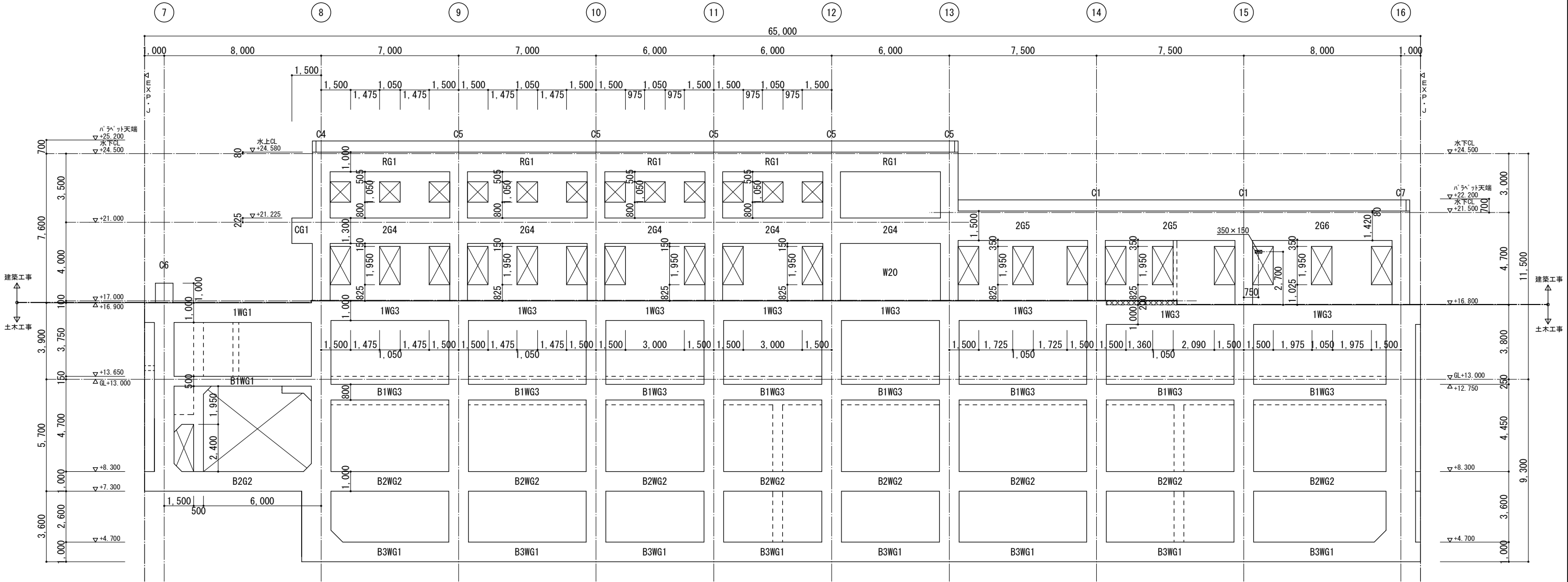
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 伏図（6）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-8 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A通 軸組図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. は、梁増打ちを示す。
2. 建築部壁は、W18Aとする。

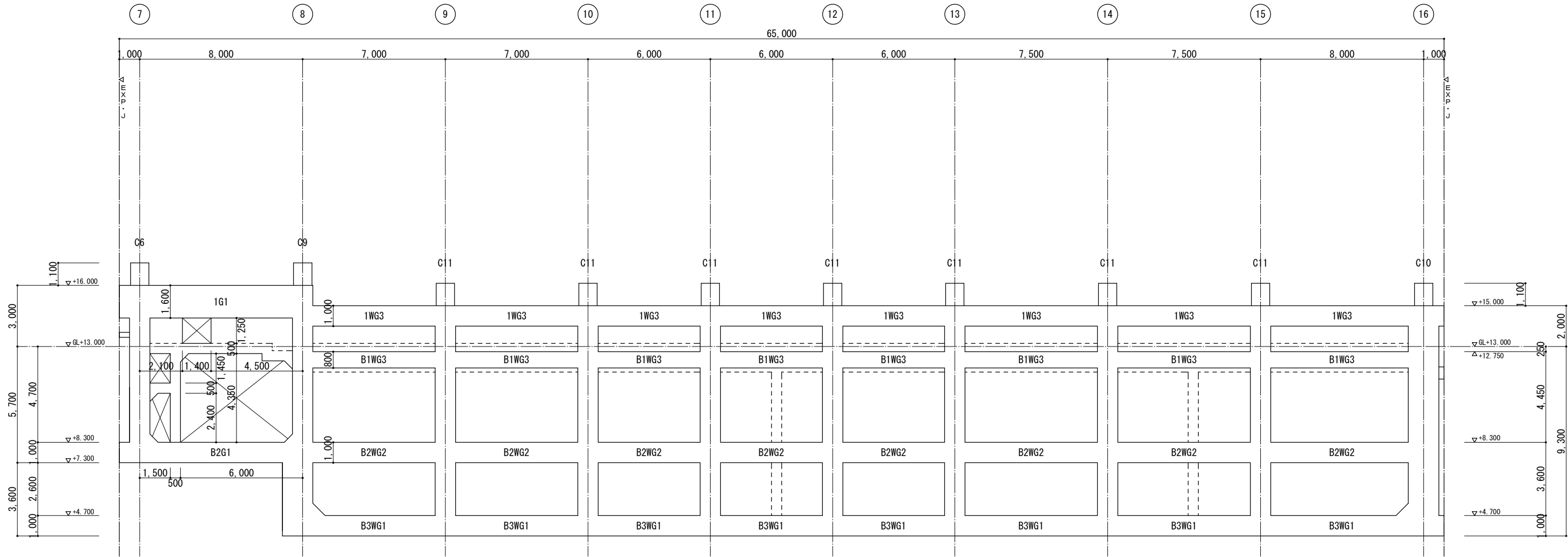
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（1）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-9 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



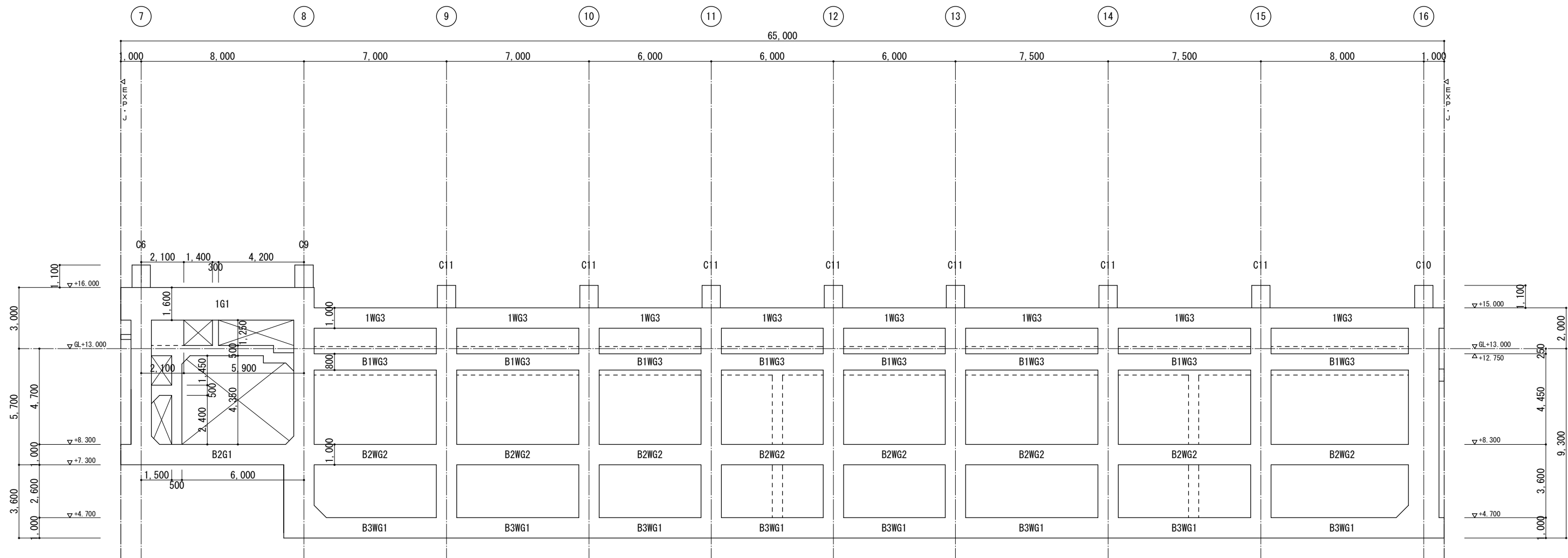
B 通 軸組図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. は、梁増打ちを示す。
2. 建築部壁は、W18Aとする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（2）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-10 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

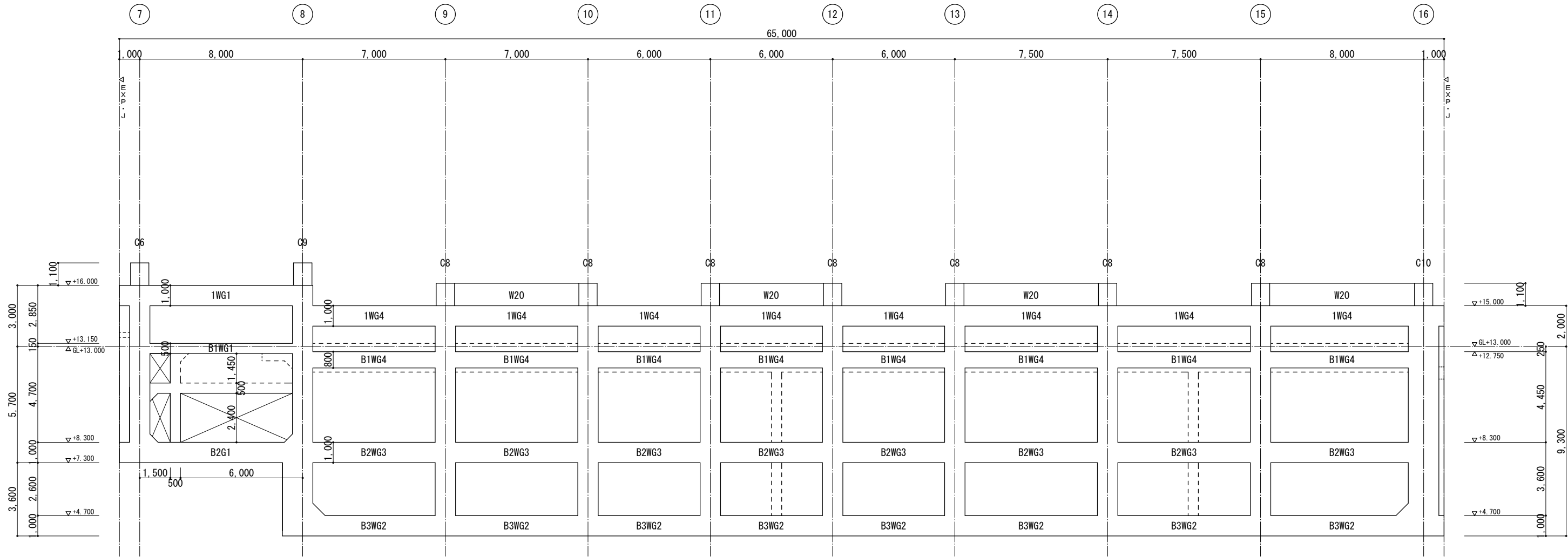


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（3）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-11 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



D 通 軸組図 1/100

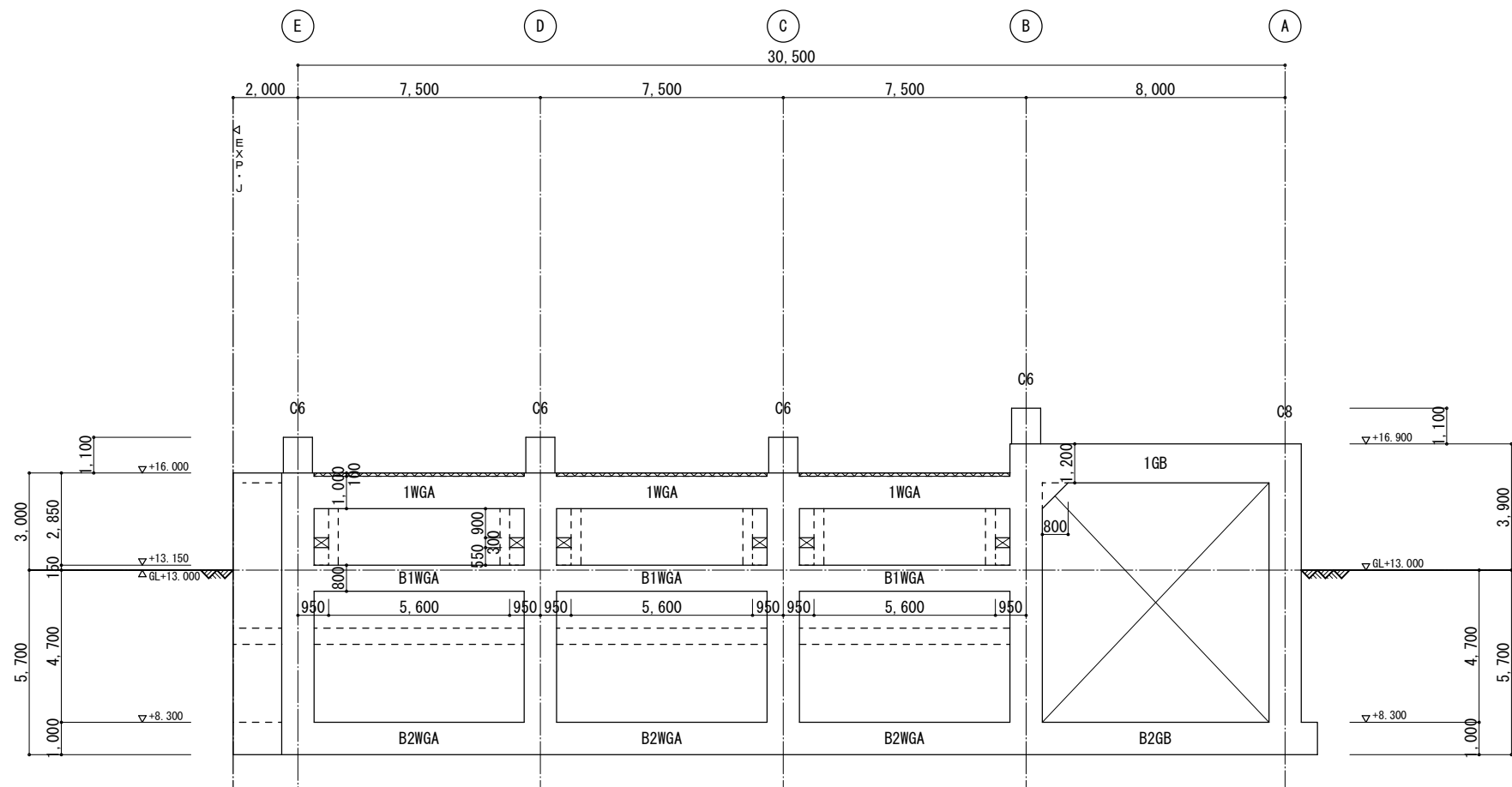
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（4）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-12 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



E 通 軸組図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. は、梁増打ちを示す。

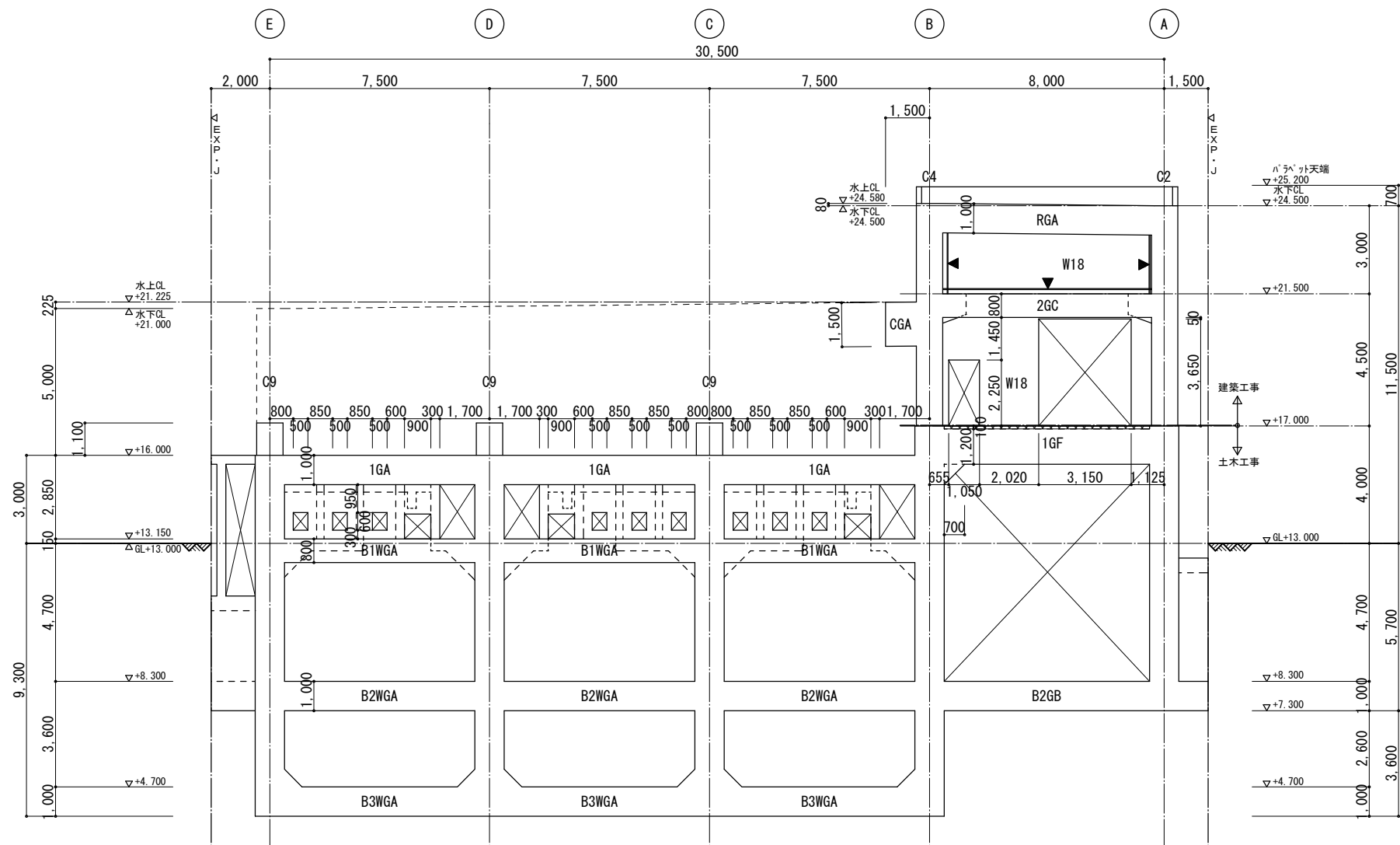
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（5）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-13 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



7 通 軸組図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1.  は、梁増打ちを示す。

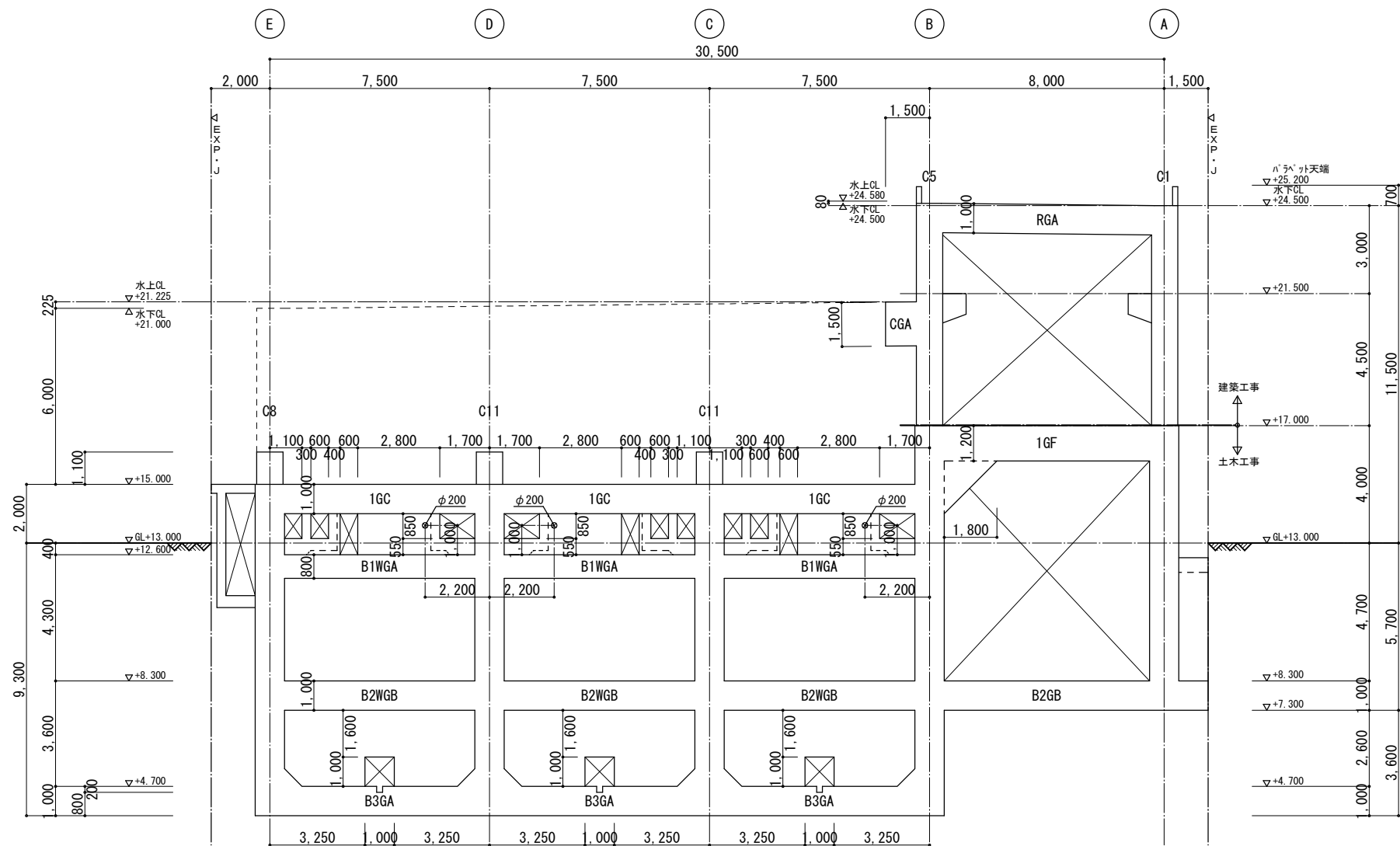
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（6）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-14 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



8 通 軸組図 1/100

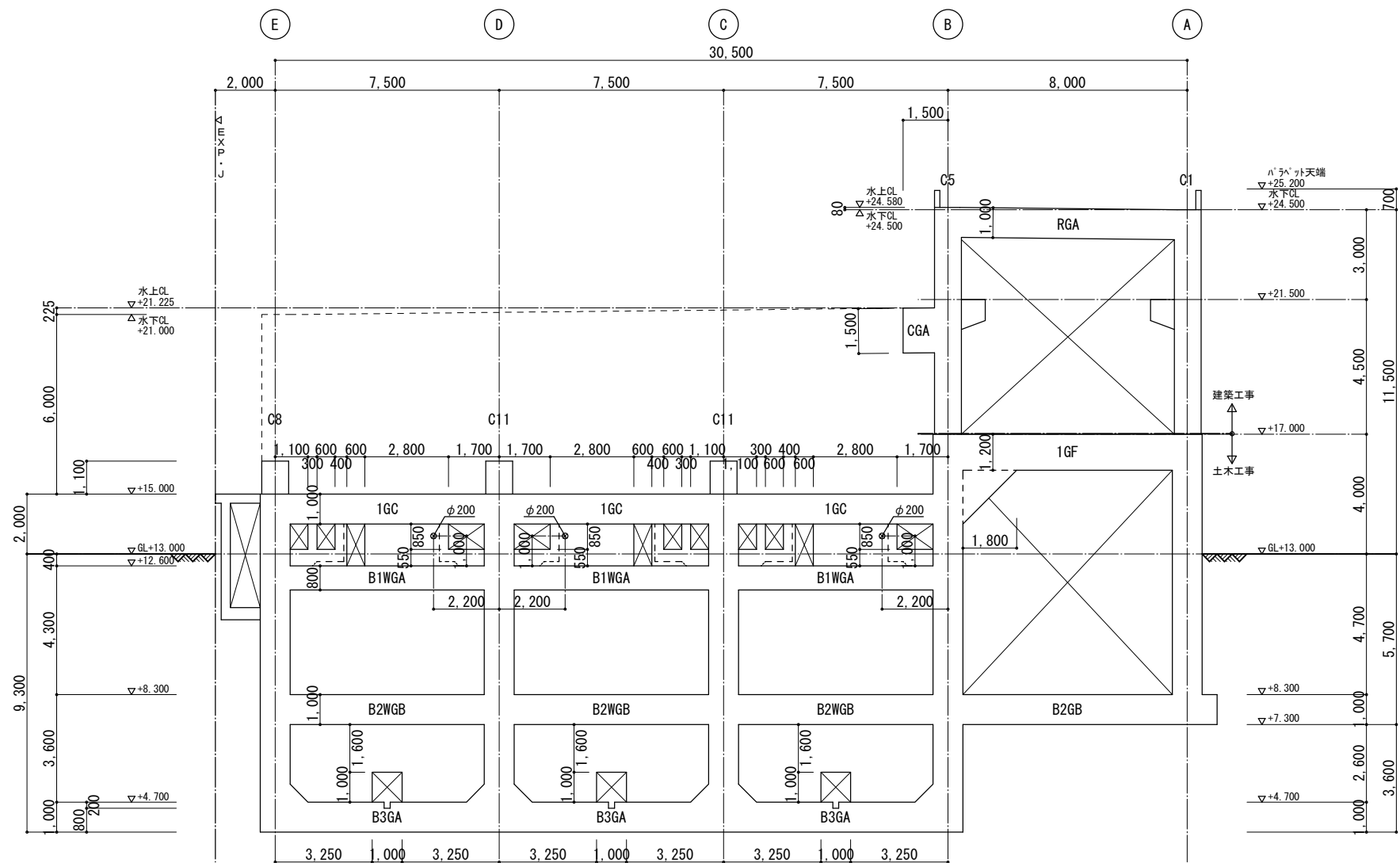
- 特記なき限り（共通事項）
- 1. ◀ 印は、構造スリットを示す。
 - 2. 建築部壁は、W18Aとする。
 - 3.  は、梁増打ちを示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（7）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-15 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



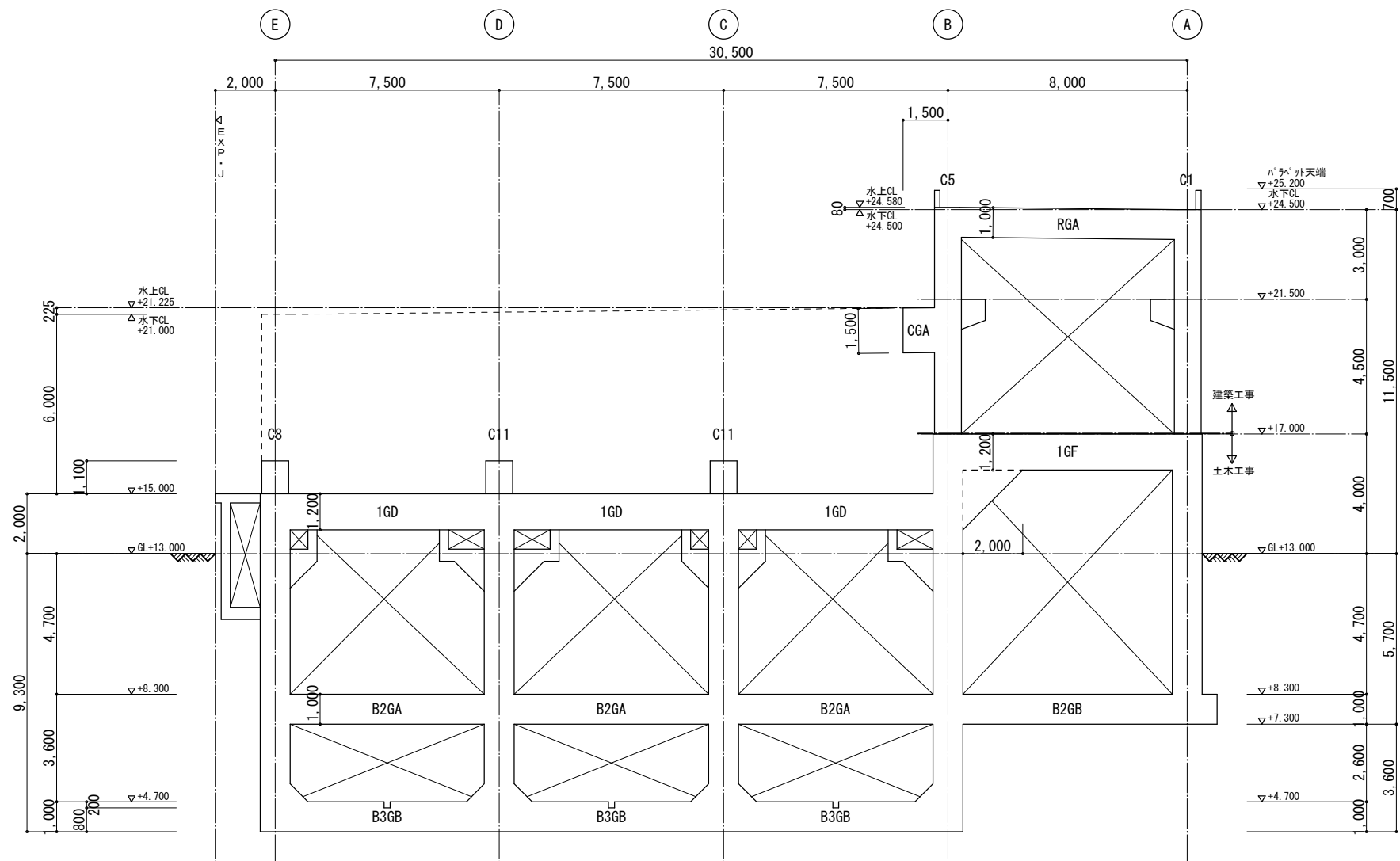
9通 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（8）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-16号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



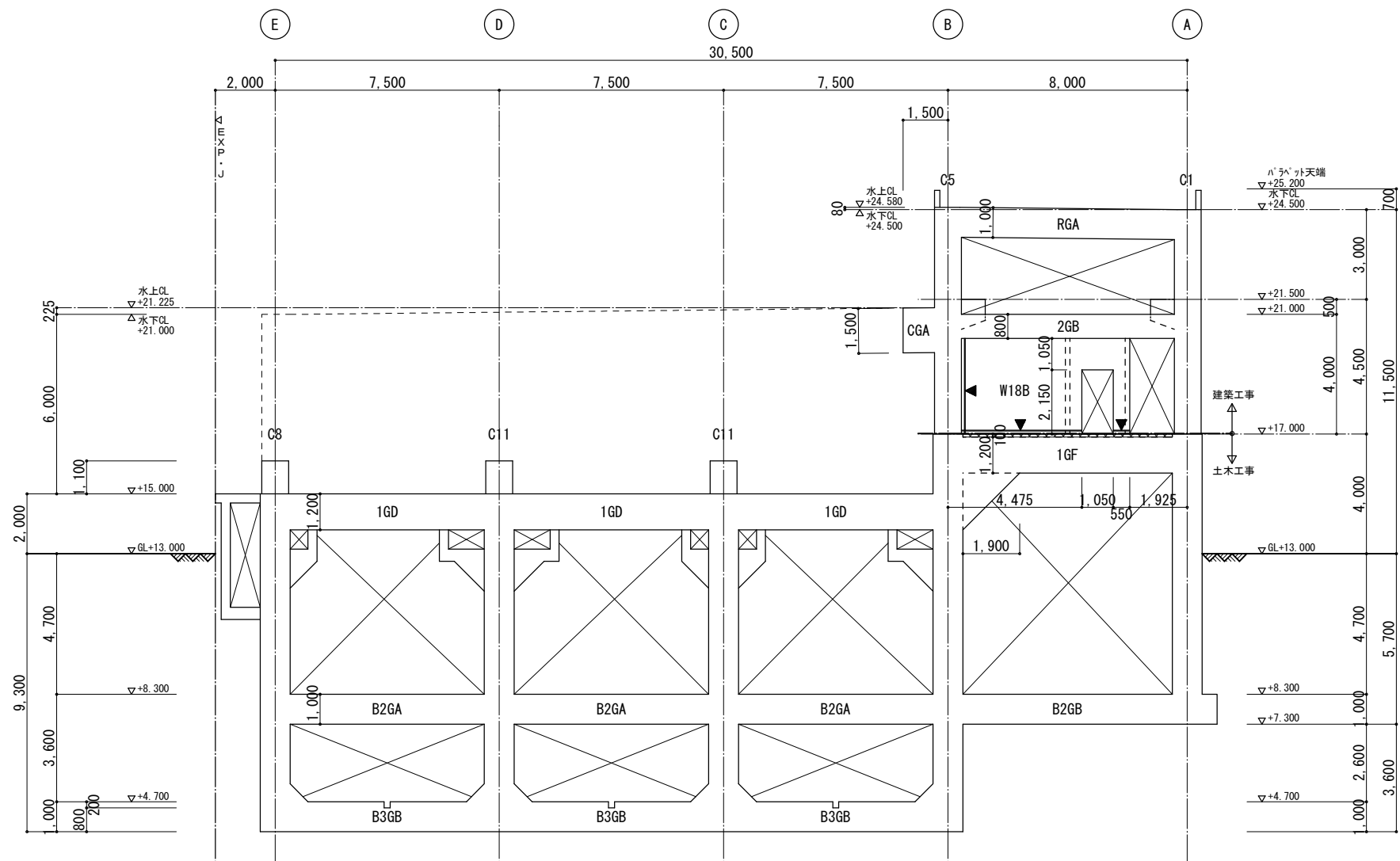
1 O 通 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（9）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-17 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



1 1 通 軸組図 1/100

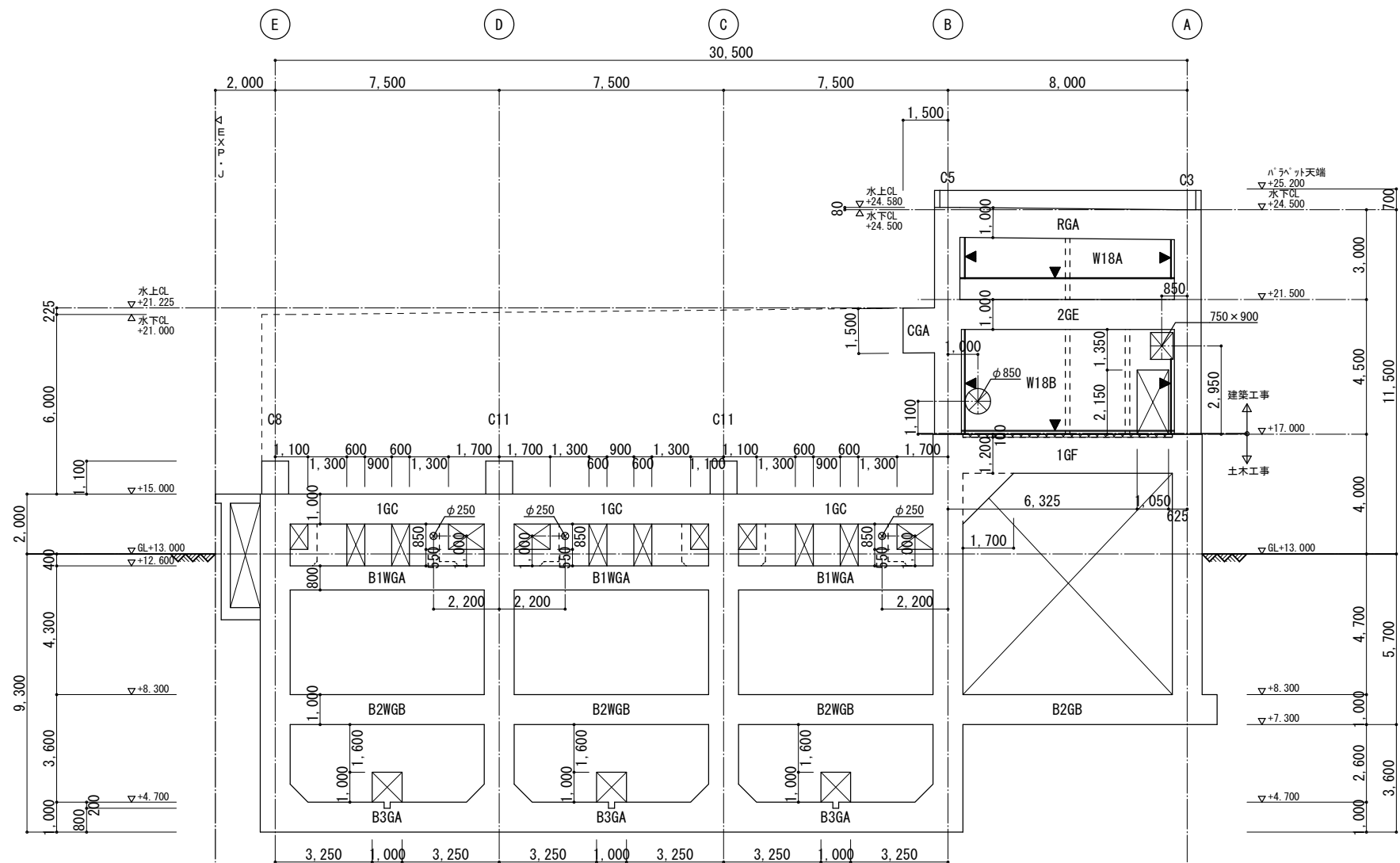
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（1 0）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-18 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



1 2 通 軸組図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. ◀印は、構造スリットを示す。
2. ◻◻◻は、梁増打ちを示す。

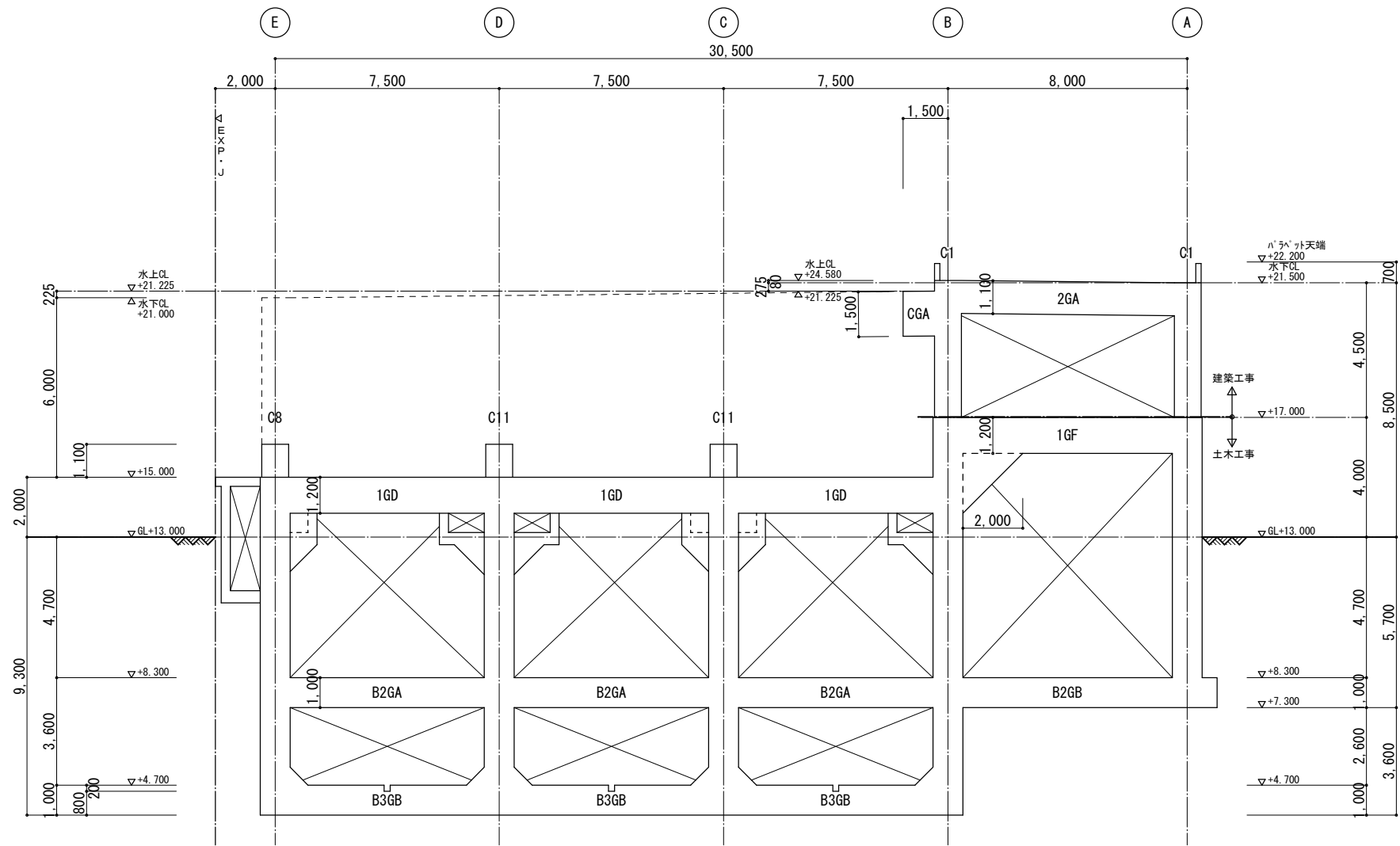
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（1 1）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-19 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



1 3 通 軸組図 1/100

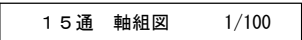
特記なき限り（共通事項）
1. ◀印は、構造スリットを示す。
2. ◻印は、梁増打ちを示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（1 2）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-20 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



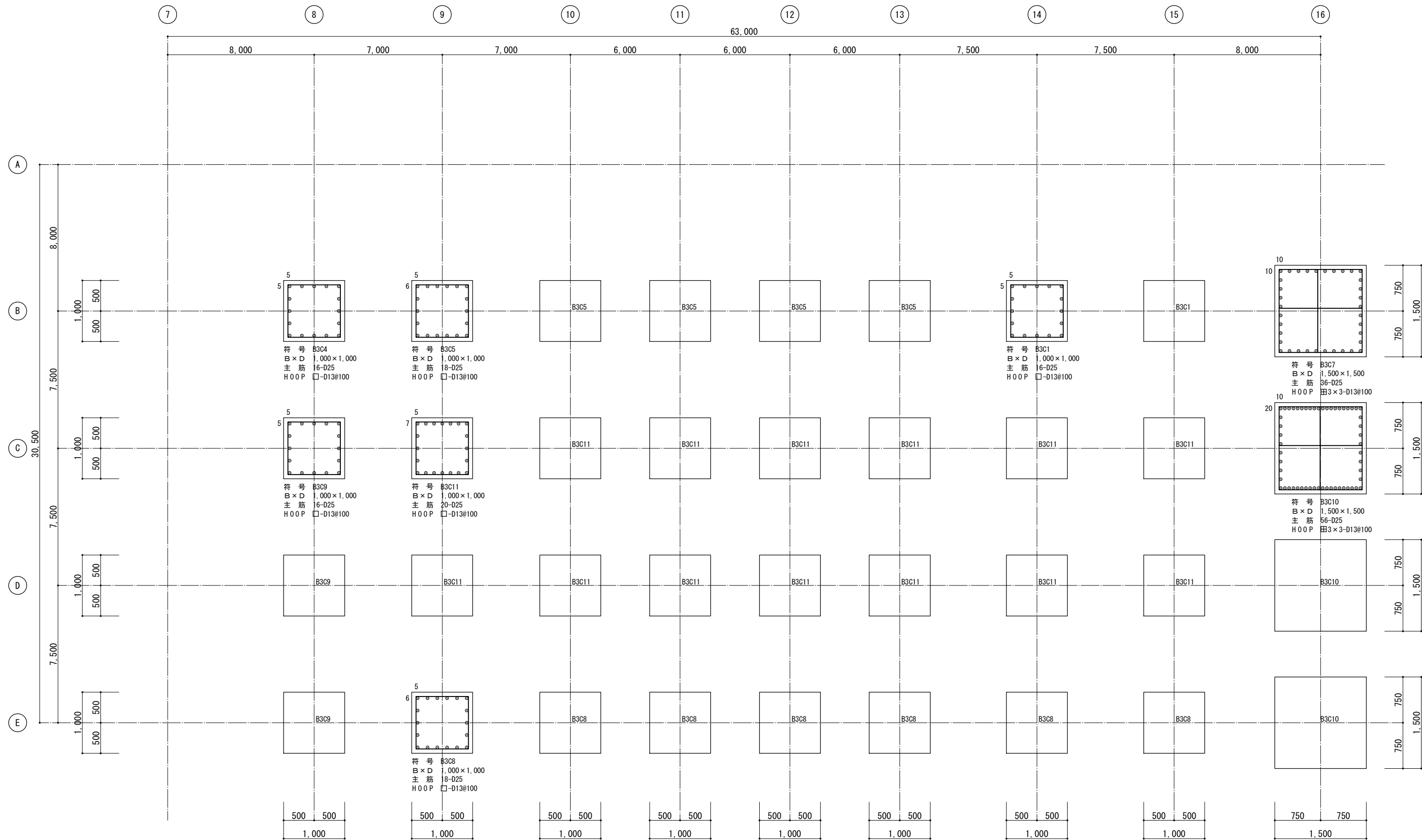
1 4 通 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（1 3）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-21 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



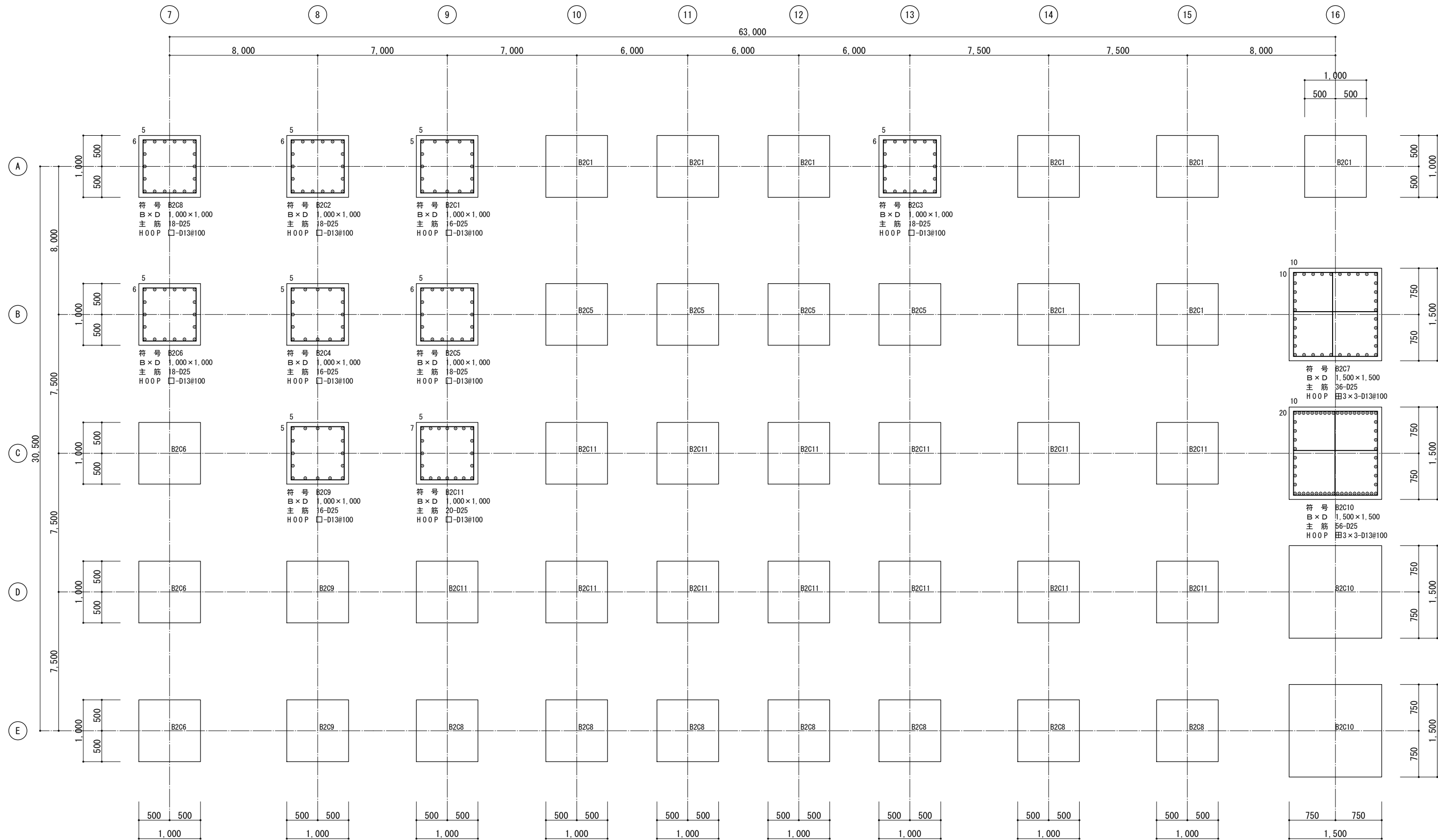
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 軸組図（14）
縮 尺	1/100
図面番号	全 1 枚中 2S-22 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	京30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡橋木 地内
図 名	反応槽 軸組図（15）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 2S-23 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

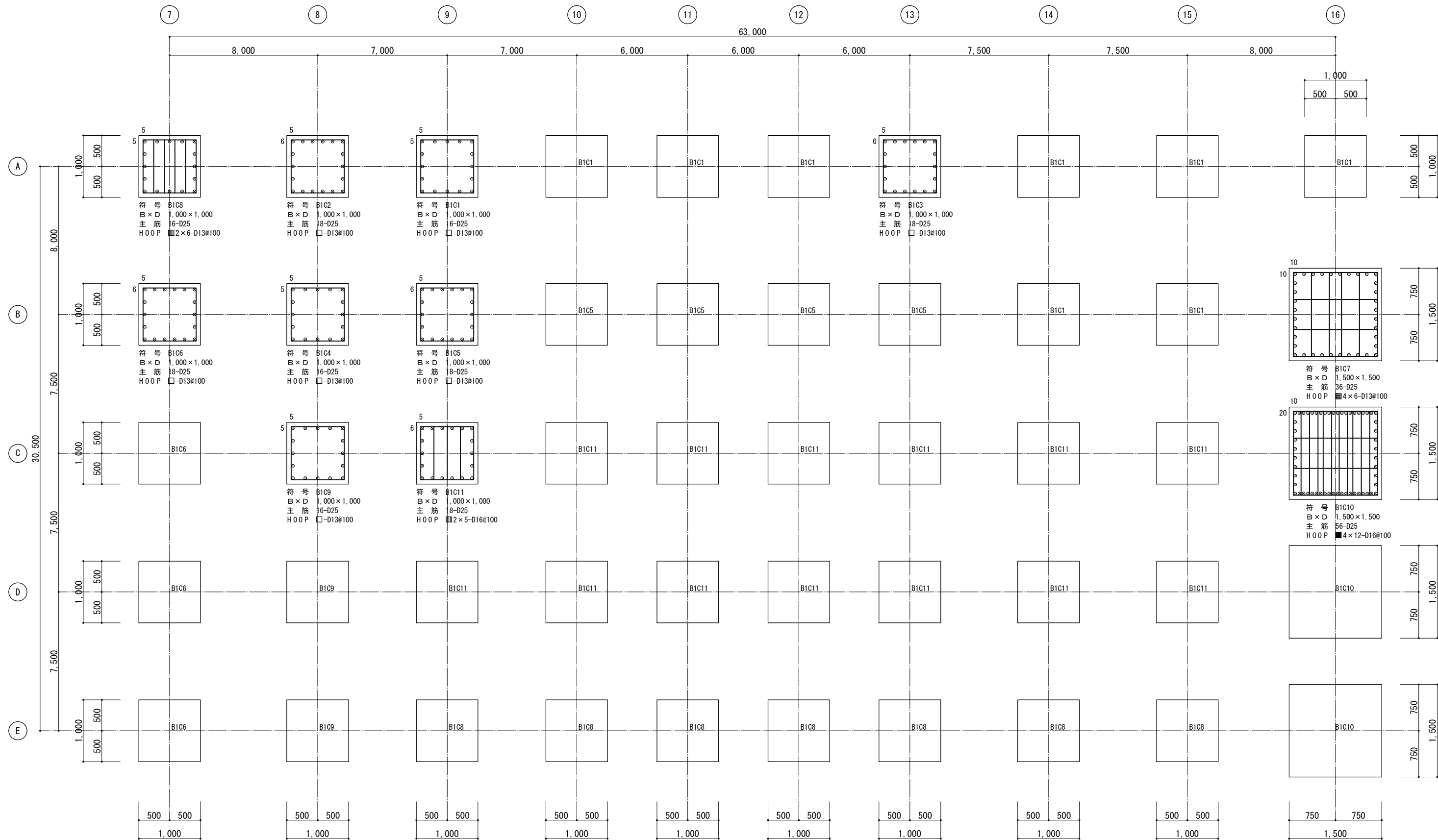


B3階 柱リスト 1/30

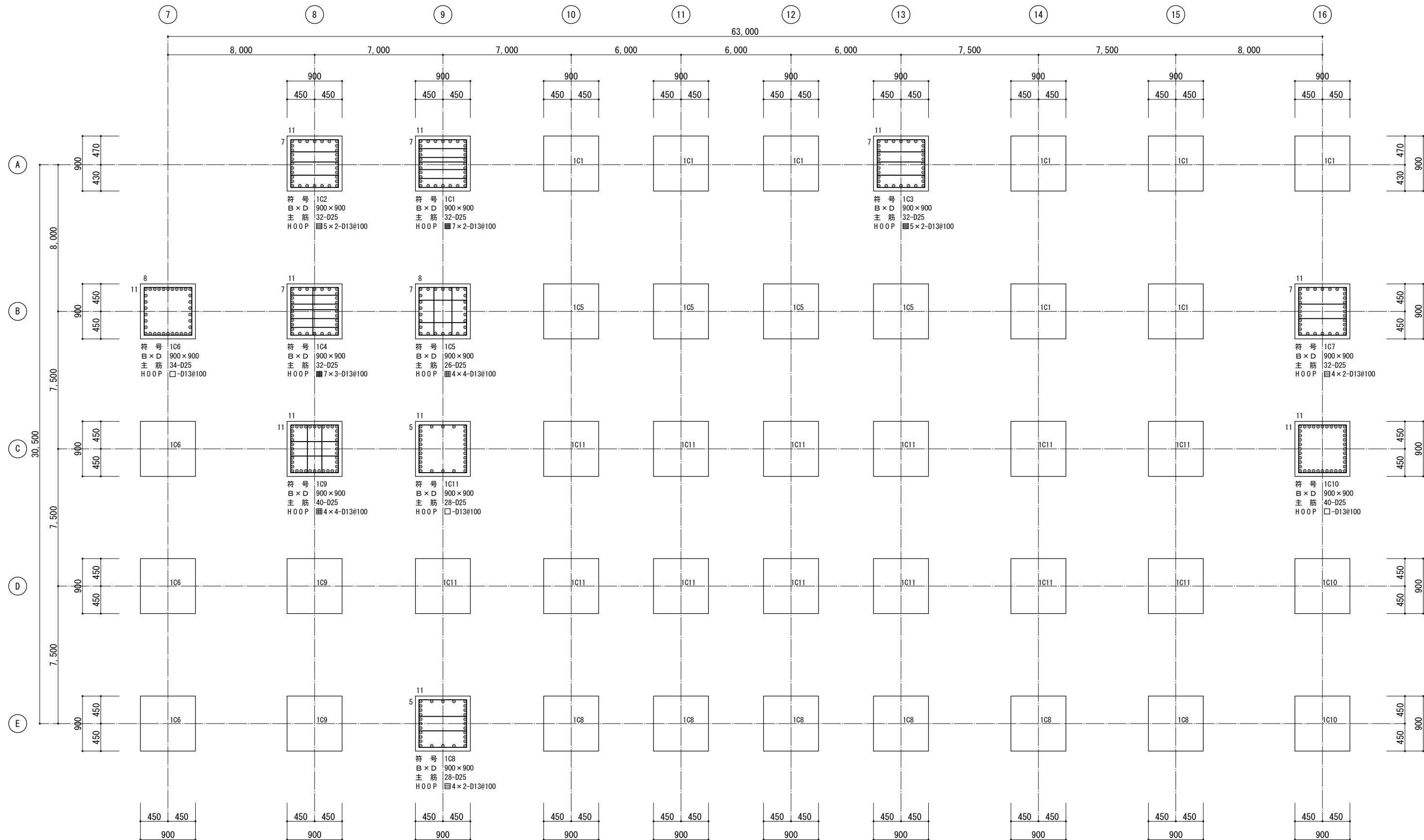
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 柱リスト（1）
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 2S-24 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 柱リスト（2）
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 2S-25 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

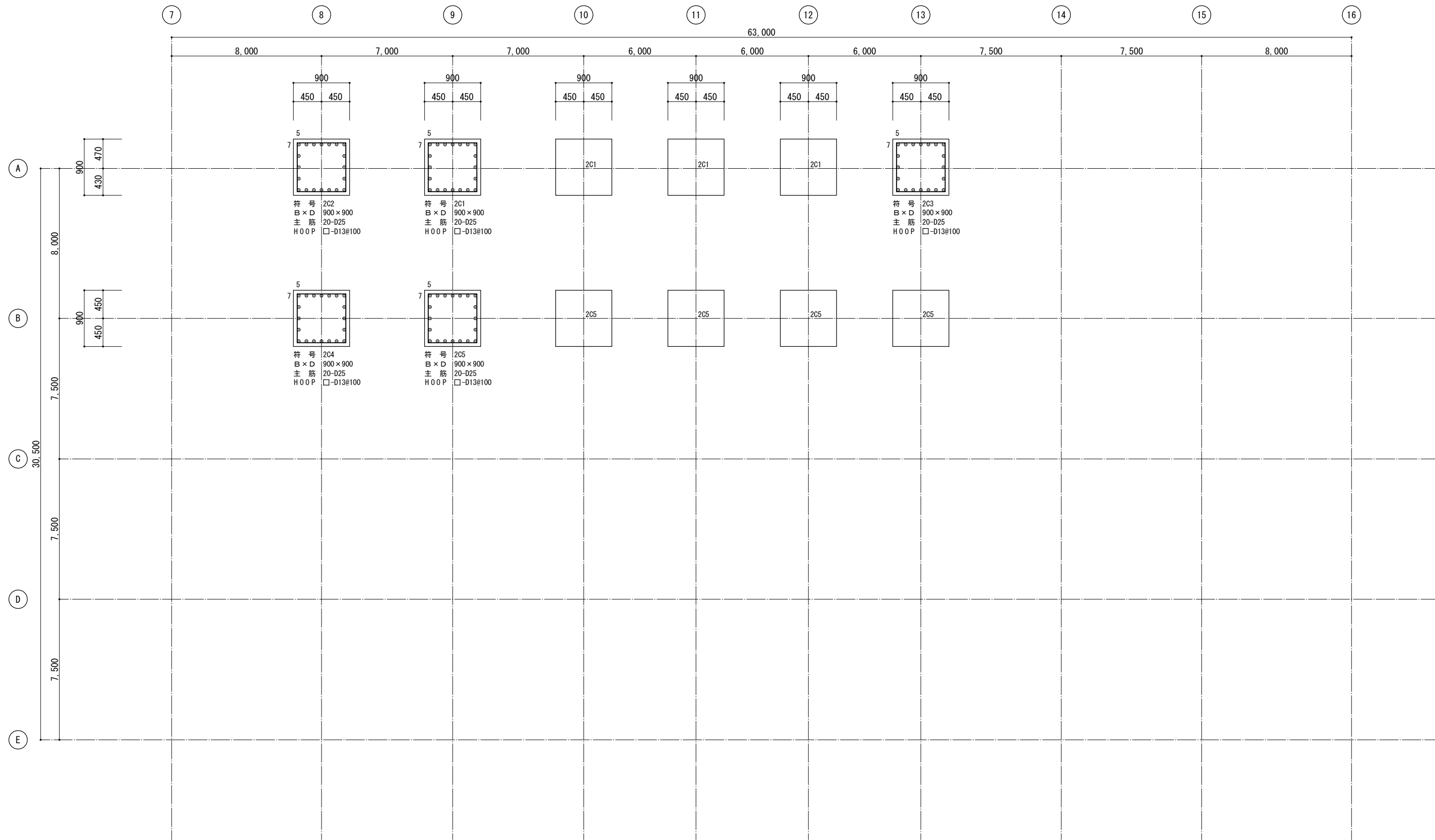


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 柱リスト（3）
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 2S-26 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

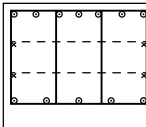
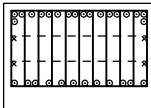
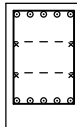
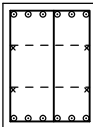
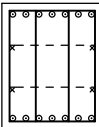
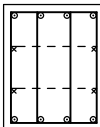
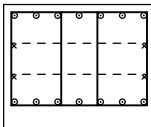
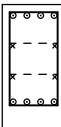
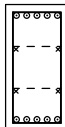
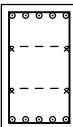
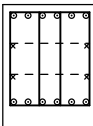
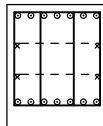
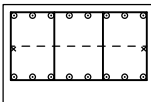
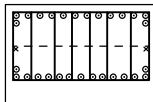
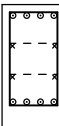
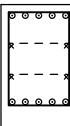


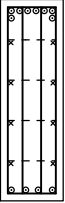
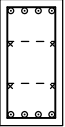
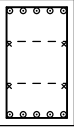
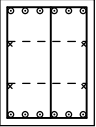
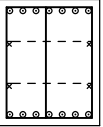
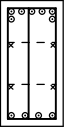
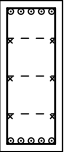
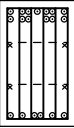
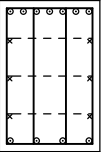
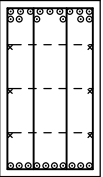
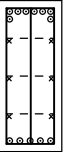
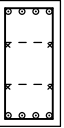
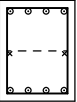
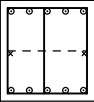
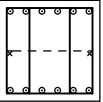
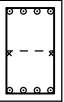
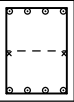
1階 柱リスト 1/30

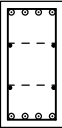
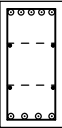
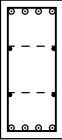
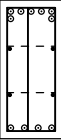
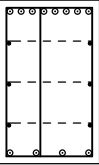
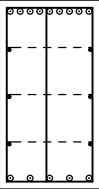
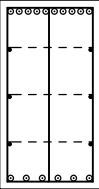
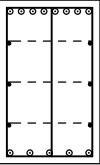
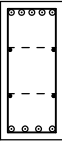
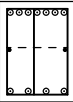
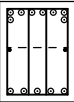
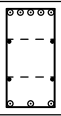
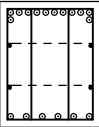
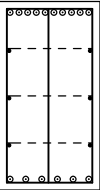
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 柱リスト（4）
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 2S-27 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 柱リスト（5）
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 2S-28 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

階	符 号	B2G1	B2G2		B2WG1	B2WG2	B2WG3			
	位 置	全断面	全断面		全断面	全断面	全断面			
	断 面									
		B × D	1,200×1,000	1,200×1,000		600×1,000	750×1,000	800×1,000		
		上 端 筋	7-D25	18-D25		5-D25	6-D25	7-D25		
		下 端 筋	5-D25	12-D25		5-D25	6-D25	7-D25		
		スターループ	▣ 4-D13@200	▣▣▣▣ 11-D13@200		□ 2-D13@200	▣ 3-D13@200	▣▣ 4-D13@200		
		腹 筋	4-D13	4-D13		4-D13	4-D13	4-D13		
幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000				
階 符 号	B2GA	B2GB		B2WGA	B2WGB	B2WGC				
階	位 置	全断面	全断面		全断面	全断面	全断面			
	断 面									
		B × D	800×1,000	1,200×1,000		500×1,000	500×1,000	600×1,000		
		上 端 筋	4-D25	7-D25		4-D25	5-D25	5-D25		
		下 端 筋	4-D25	7-D25		4-D25	5-D25	5-D25		
		スターループ	▣ 4-D13@200	▣▣ 4-D13@200		□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200		
		腹 筋	4-D13	4-D13		4-D13	4-D13	4-D13		
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000			
階 符 号	B3WG1	B3WG2		B3GA	B3GB		B3WGA	B3WGB		
階	位 置	全断面	全断面		全断面	全断面		全断面	全断面	
	断 面									
		B × D	750×1,000	800×1,000		1,200×800	1,200×800		500×1,000	600×1,000
		上 端 筋	6-D25	7-D25		8-D25	14-D25		4-D25	5-D25
		下 端 筋	6-D25	7-D25		8-D25	15-D25		4-D25	5-D25
		スターループ	▣ 4-D13@200	▣▣ 4-D13@200		▣▣ 4-D13@200	▣▣▣▣ 8-D13@200		□ 2-D13@200	□ 2-D13@200
		腹 筋	4-D13	4-D13		2-D13	2-D13		4-D13	4-D13
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	

階	符 号	1G1		1WG1	1WG2	1WG3	1WG4		
	位 置	全断面		全断面	全断面	全断面	全断面		
1	断 面								
	B × D	500×1,600		500×1,000	600×1,000	750×1,000	800×1,000		
	上 端 筋	8-D25		4-D25	5-D25	6-D25	7-D25		
	下 端 筋	4-D25		4-D25	5-D25	6-D25	7-D25		
	ス タ ー ラ ッ プ	▣ 4-D13@150		□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	▣ 3-D13@200	▣ 3-D13@200		
	腹 筋	8-D13		4-D13	4-D13	4-D13	4-D13		
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		
階	符 号	1GA	1GB	1GC	1GD	1GE	1GF		1WGA
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面
1	断 面								
	B × D	500×1,000	500×1,200	600×1,000	800×1,200	800×1,400	500×1,200		500×1,000
	上 端 筋	7-D25	5-D25	13-D25	7-D25	15-D25	8-D25		4-D25
	下 端 筋	4-D25	5-D25	6-D25	4-D25	10-D25	5-D25		4-D25
	ス タ ー ラ ッ プ	▣ 3-D13@200	□ 2-D13@200	▣ 6-D13@200	▣ 4-D13@200	▣ 4-D13@100	▣ 3-D13@200		□ 2-D13@200
	腹 筋	4-D13	6-D13	4-D13	6-D13	6-D13	6-D13		4-D13
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000
階	符 号	B1WG1	B1WG2	B1WG3	B1WG4		B1WGA	B1WGB	
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面	
B1	断 面								
	B × D	500×500	600×800	750×800	800×800		500×800	600×800	
	上 端 筋	4-D25	4-D25	5-D25	6-D25		4-D25	4-D25	
	下 端 筋	4-D25	4-D25	5-D25	6-D25		4-D25	4-D25	
	ス タ ー ラ ッ プ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	▣ 3-D13@200	▣ 4-D13@200		□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	
	腹 筋	—	2-D13	2-D13	2-D13		2-D13	2-D13	
	幅 止 筋	—	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	

階	符 号	RG1		RG4					
	位 置	全断面		全断面					
	断 面								
		B × D	500×1,000	500×1,000					
		上 端 筋	4-D25	5-D25					
		下 端 筋	4-D25	4-D25					
		スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200					
		腹 筋	4-D10	4-D10					
	幅 止 筋	↗ -D10@1,000		↗ -D10@1,000					
階	符 号	2G1	2G2	2G4	2G5	2G6		CG1	
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	
	2 断 面								
		B × D	500×1,100	500×1,100	800×1,300	800×1,500	800×1,500	800×1,300	
		上 端 筋	4-D25	7-D25	8-D25	9-D25	10-D25	8-D25	
		下 端 筋	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	6-D25	5-D25	
		スターラップ	□ 2-D13@200	□ 3-D13@200	□ 3-D13@200	□ 3-D13@200	□ 3-D13@200	□ 3-D13@200	
		腹 筋	4-D10	4-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	
	幅 止 筋	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	
階	符 号	2GA	2GB	2GC	2GD	2GE		CGA	
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	
	2 断 面								
		B × D	500×1,100	600×800	600×800	500×900	800×1,000	800×1,500	
		上 端 筋	5-D25	7-D25	8-D25	5-D25	12-D25	10-D25	
		下 端 筋	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	6-D25	6-D25	
		スターラップ	□ 2-D13@200	□ 3-D13@200	▣ 4-D13@200	□ 2-D13@200	▣ 4-D13@200	▣ 3-D13@200	
		腹 筋	4-D10	2-D10	2-D10	4-D10	4-D10	6-D10	
	幅 止 筋	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000		↗ -D10@1,000	

小梁リスト（土木）1/30

符 号	B1		B2		B3		B4	B5	B6	B7	B8
位 置	E通端部・中央部	D通端部	両端部	中央部	B通端部	中央部・A通端部	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面											
	500×800		500×800		500×800		500×800	600×900	300×800	300×800	500×900
	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D22	3-D22	5-D25
	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	6-D25	5-D25	5-D22	3-D22	7-D25
	□ 3-D13@200		□ 2-D13@200		□ 3-D13@200		□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 3-D13@200
腹 筋	2-D13		2-D13		2-D13		2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
幅 止 筋	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000

小梁リスト（建築）1/30

符 号	B1	B2	B3	B4	B5	B6	WB	CB1
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面								
	400×800	400×800	400×800	400×800	300×600	300×500	300×500	500×1,100
	3-D25	3-D25	4-D25	4-D25	3-D22	3-D16	3-D16	4-D25
	5-D25	4-D25	4-D25	6-D25	3-D22	3-D16	3-D16	4-D25
	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D10@200	□ 2-D10@200	□ 2-D10@200	□ 2-D13@200
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	—	—	4-D10
幅 止 筋	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	↗ -D10@1,000	—	—	↗ -D10@1,000

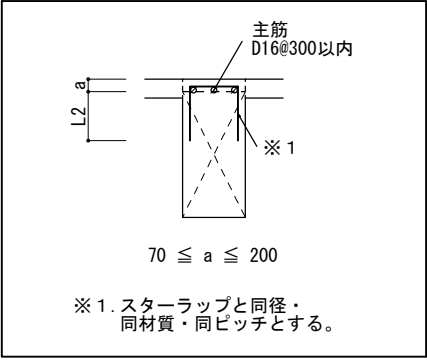
壁リスト 1/30

符 号	W15	W18A	W18B	W18C	W20	
断 面						
	150	180	180	180	200	
	D10@150	D13@150	D10@200	D10@150	D10@150	
	D10@150	D13@150	D10@200	D10@150	D10@150	
	2-D13	4-D13	4-D13	—	4-D16	
開口部補強筋	横	4-D13	4-D13	—	4-D16	
	斜め	2-D13	2-D13	—	2-D13	
巾 止 筋	—	D10@900	D10@1,000	D10@900	D10@900	

床版リスト

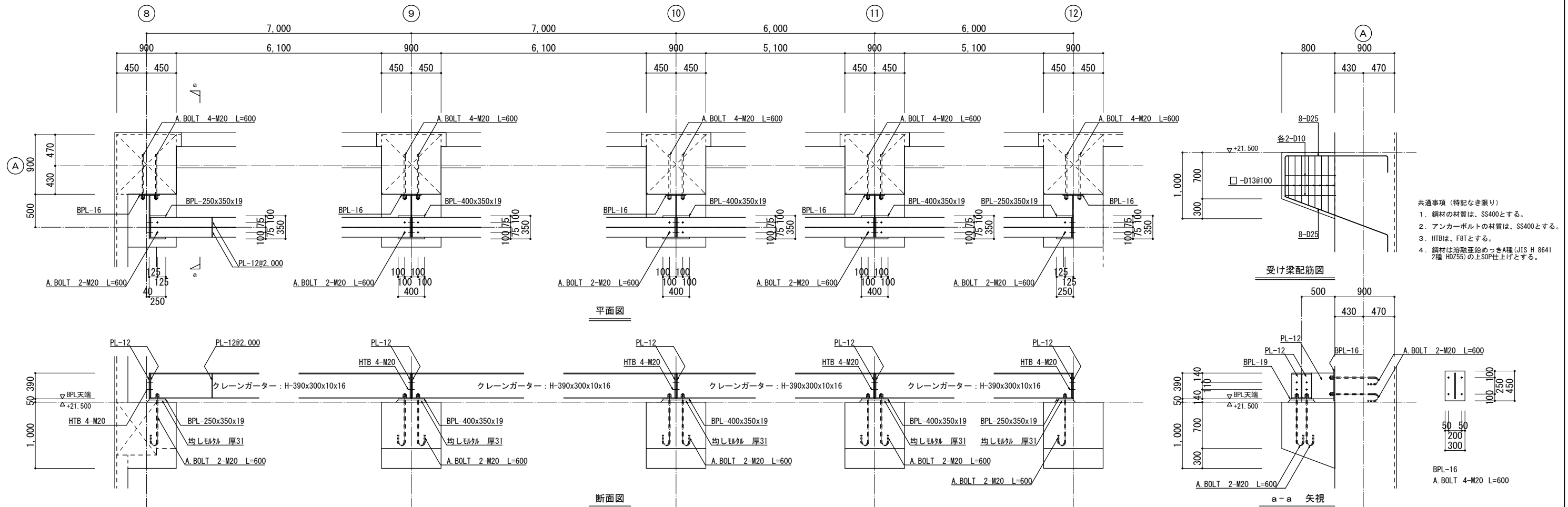
符 号	版 厚	位 置	主筋方向（短辺）		配力筋方向（長辺）		備 考
			端 部	中央部	端 部	中央部	
S15	150	上端筋	D10D13@200	↗	D10D13@200	↗	
		下端筋	D10D13@200	↖	D10D13@200	↖	
S20	200	上端筋	D10D13@200	↗	D13@200	↗	
		下端筋	D10D13@200	↖	D13@200	↖	
共 通 事 項							

梁増し打ち要領 1/30

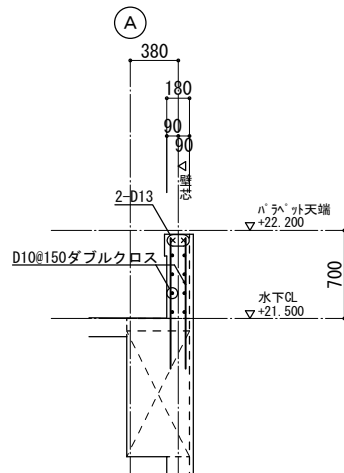


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 小梁・床版・壁リスト
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 2S-32 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

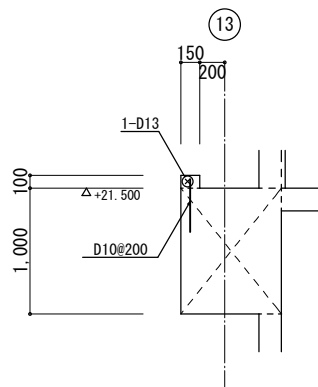
クレーンガーダー取付け詳細図



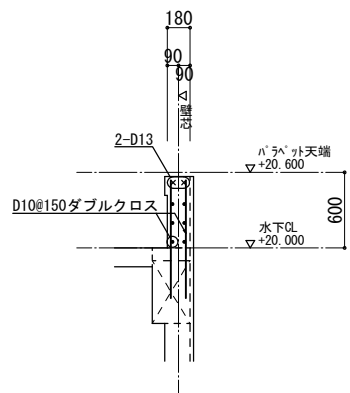
R階パラペット配筋図



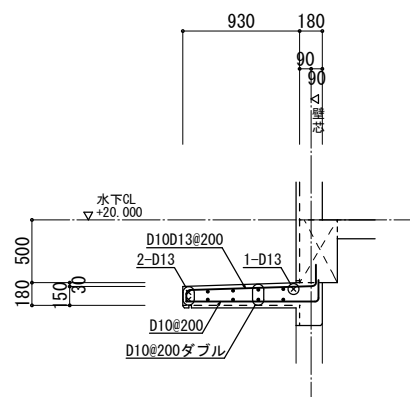
防液堤配筋图



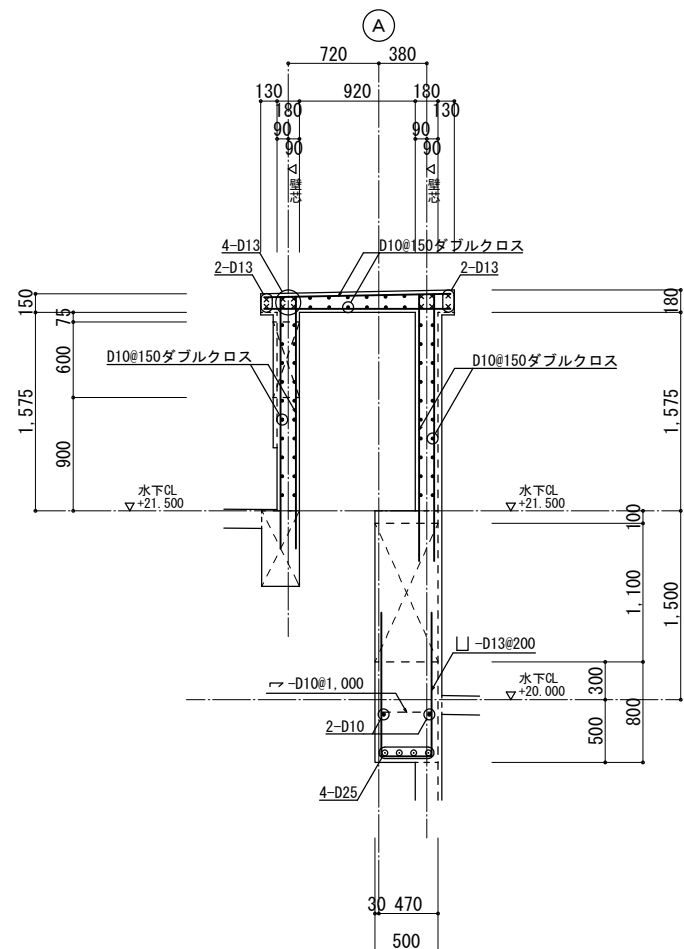
階段室パラペット配筋図



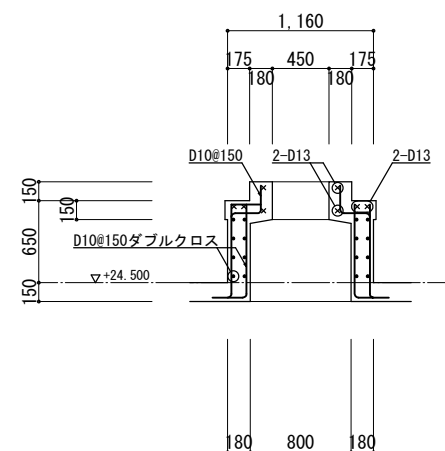
底配筋图



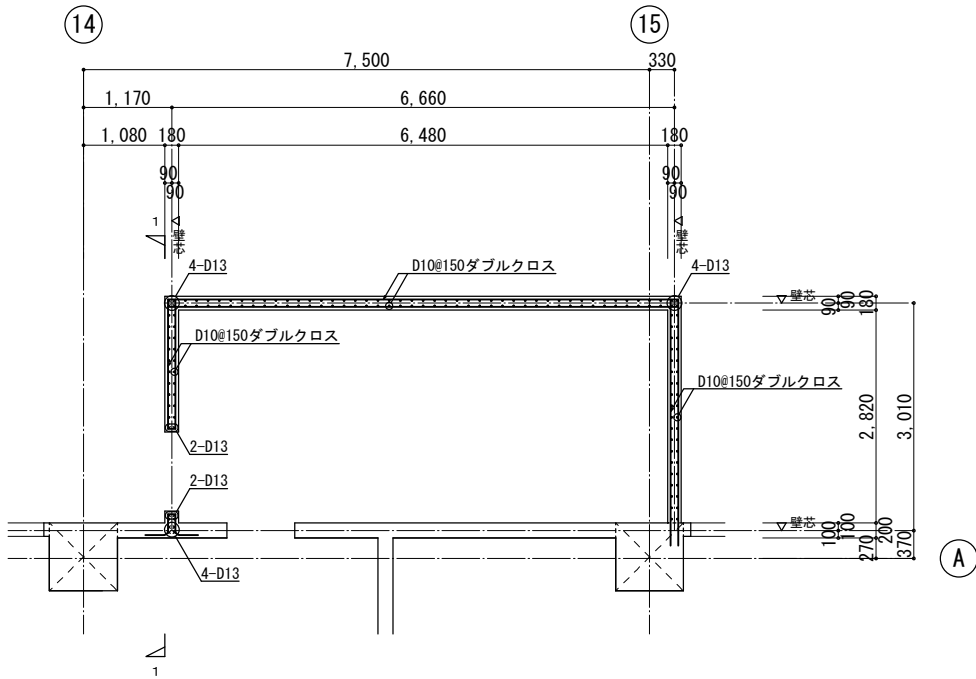
ハト小屋配筋図



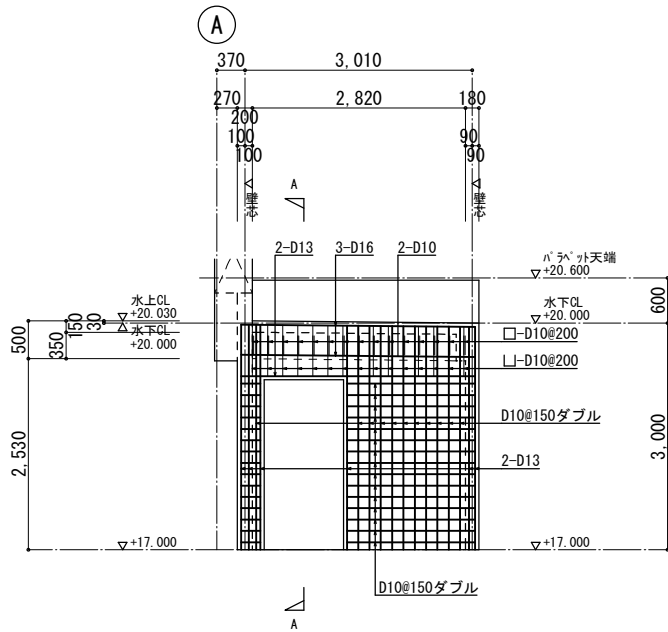
ルーフファン配筋図



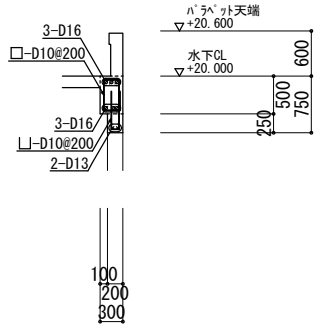
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	反応槽 雑配筋図（1）		
縮 尺	1/30		
図面番号	全 枚中 25-33 号		
京都府流域下水道事務所			



平断面配筋図 1/50

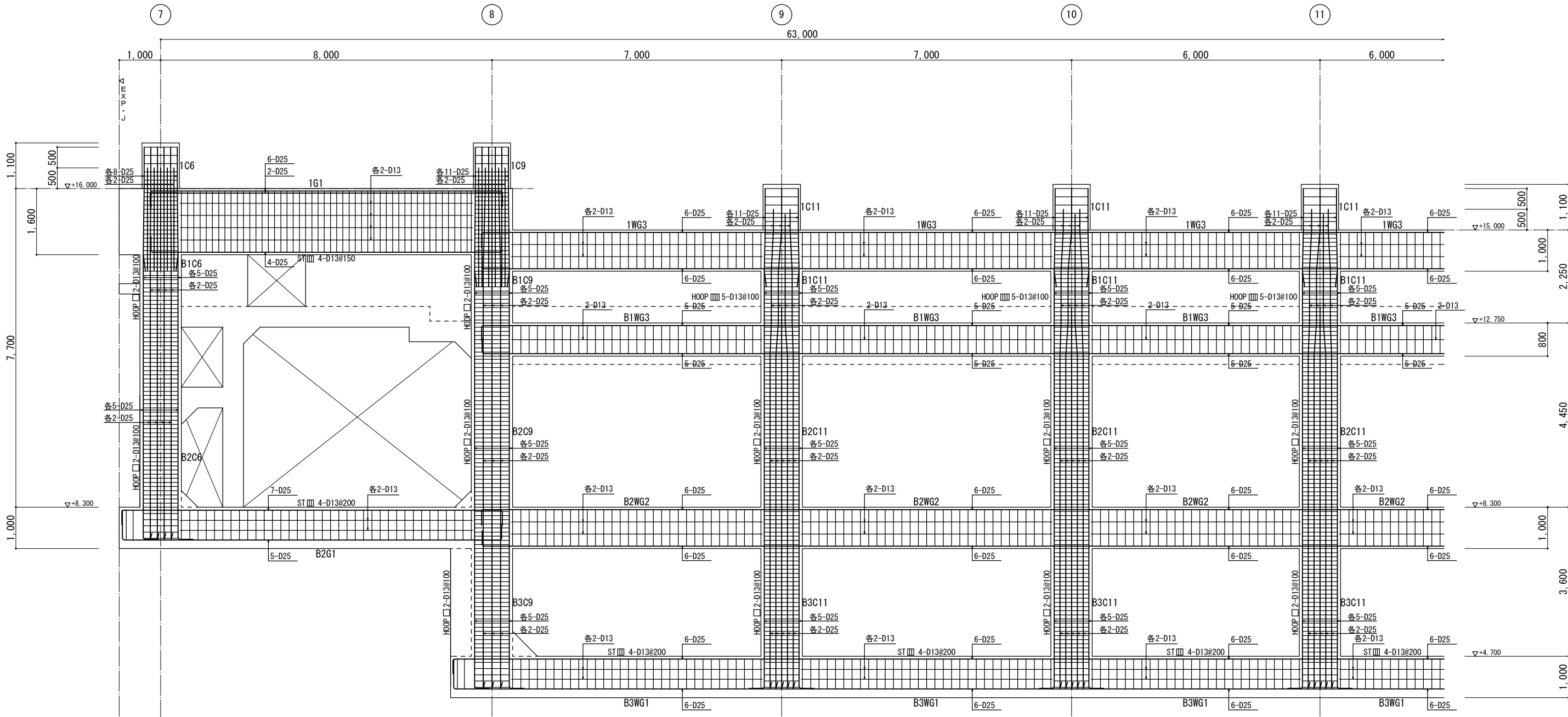


1-1 架構配筋図 1/50



A-A断面配筋図 1/30

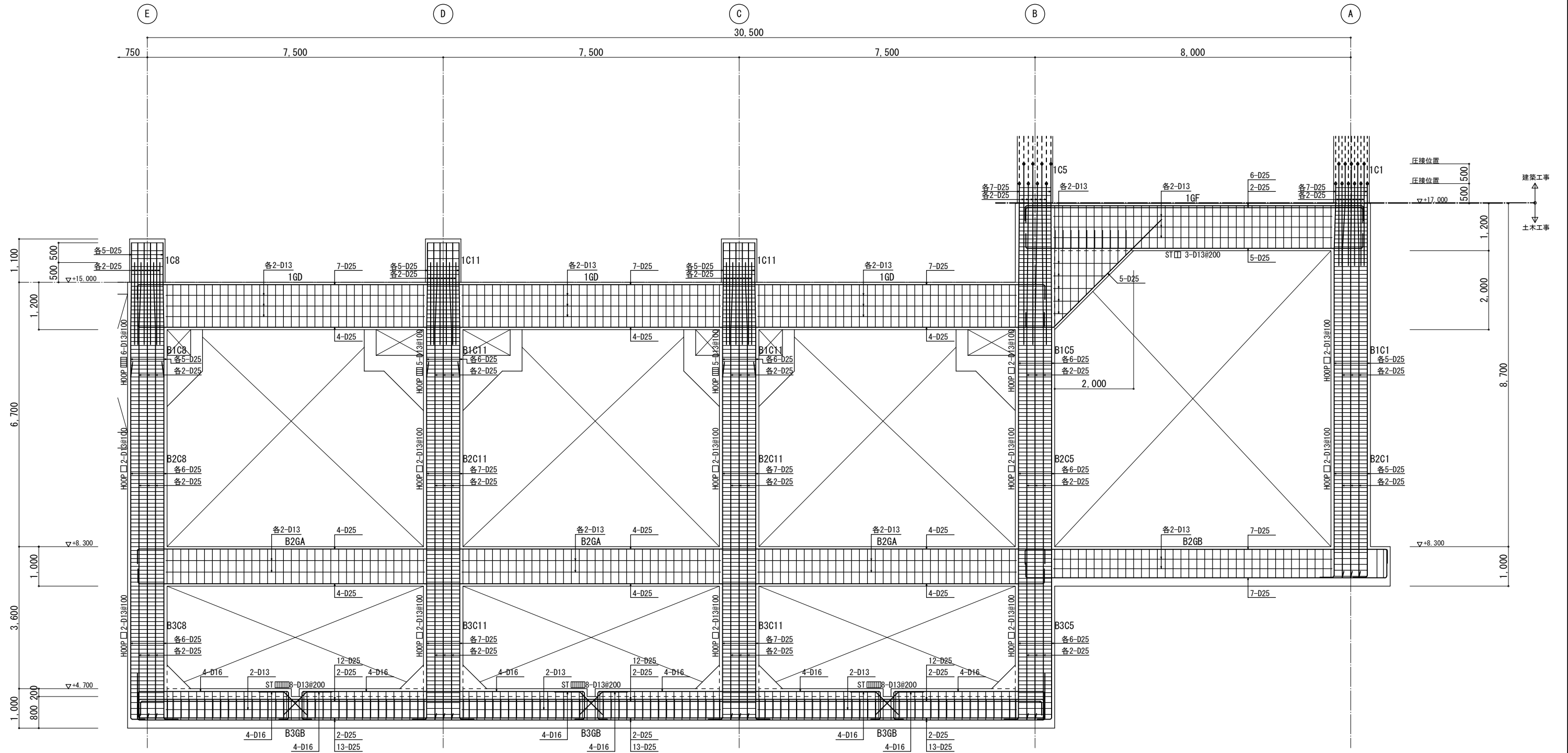
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 雑配筋図（2）
縮 尺	1／50
図面番号	全 枚中 2S-34 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



C通 架構配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. STは、□3-D13#200とする。

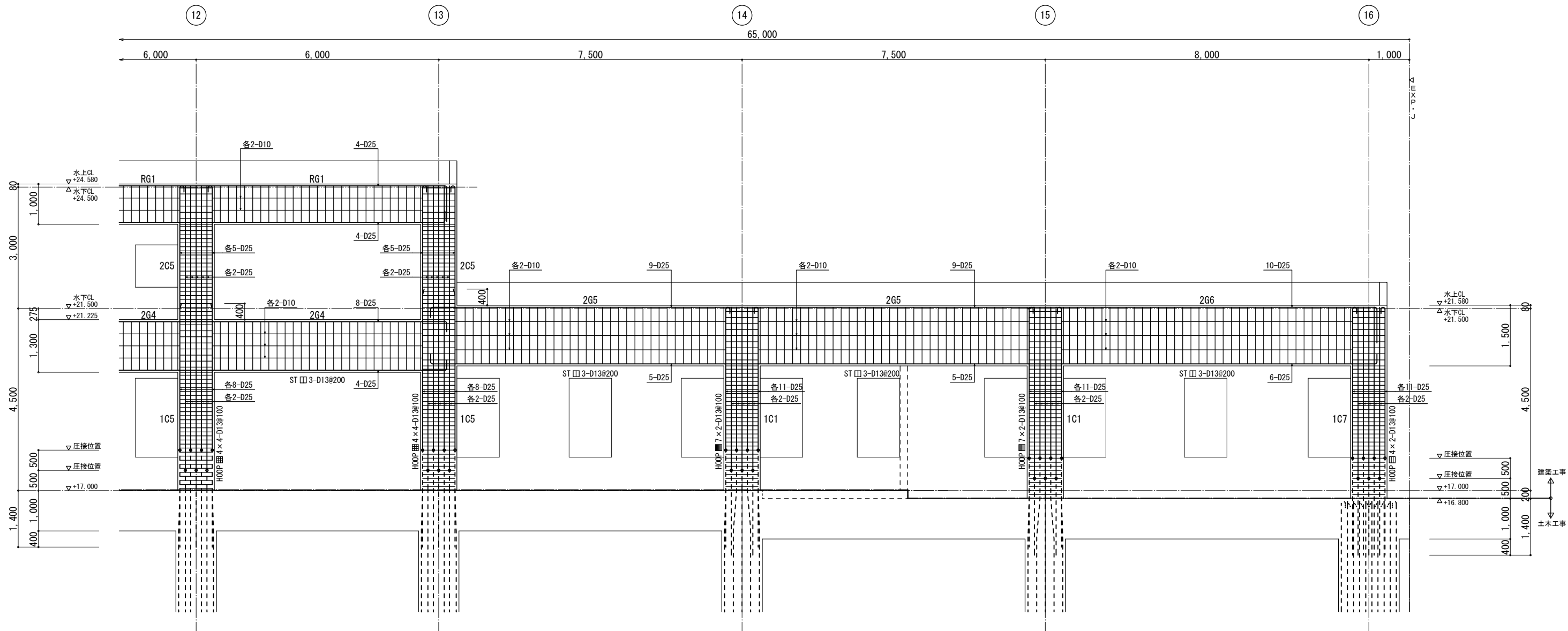
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 架構配筋図(1)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-35号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



11通 架構配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. STは、 $\square$ 4-D13 $\square$ 200とする。

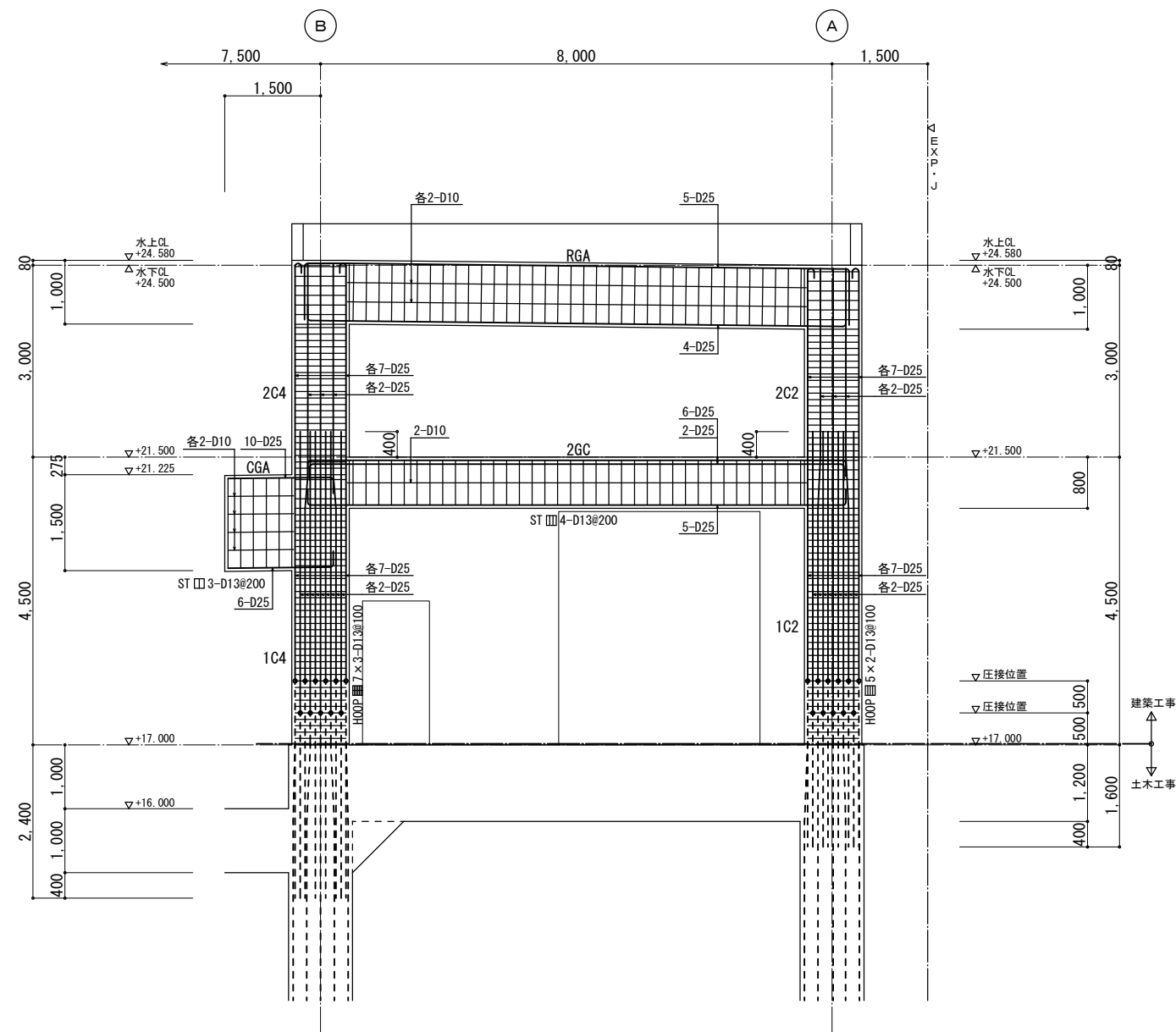
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 架構配筋図(2)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-36号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



B通 架構配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. STは、全て□2-D13@200とする。
2. HOOPは、全て□-D13@100とする。

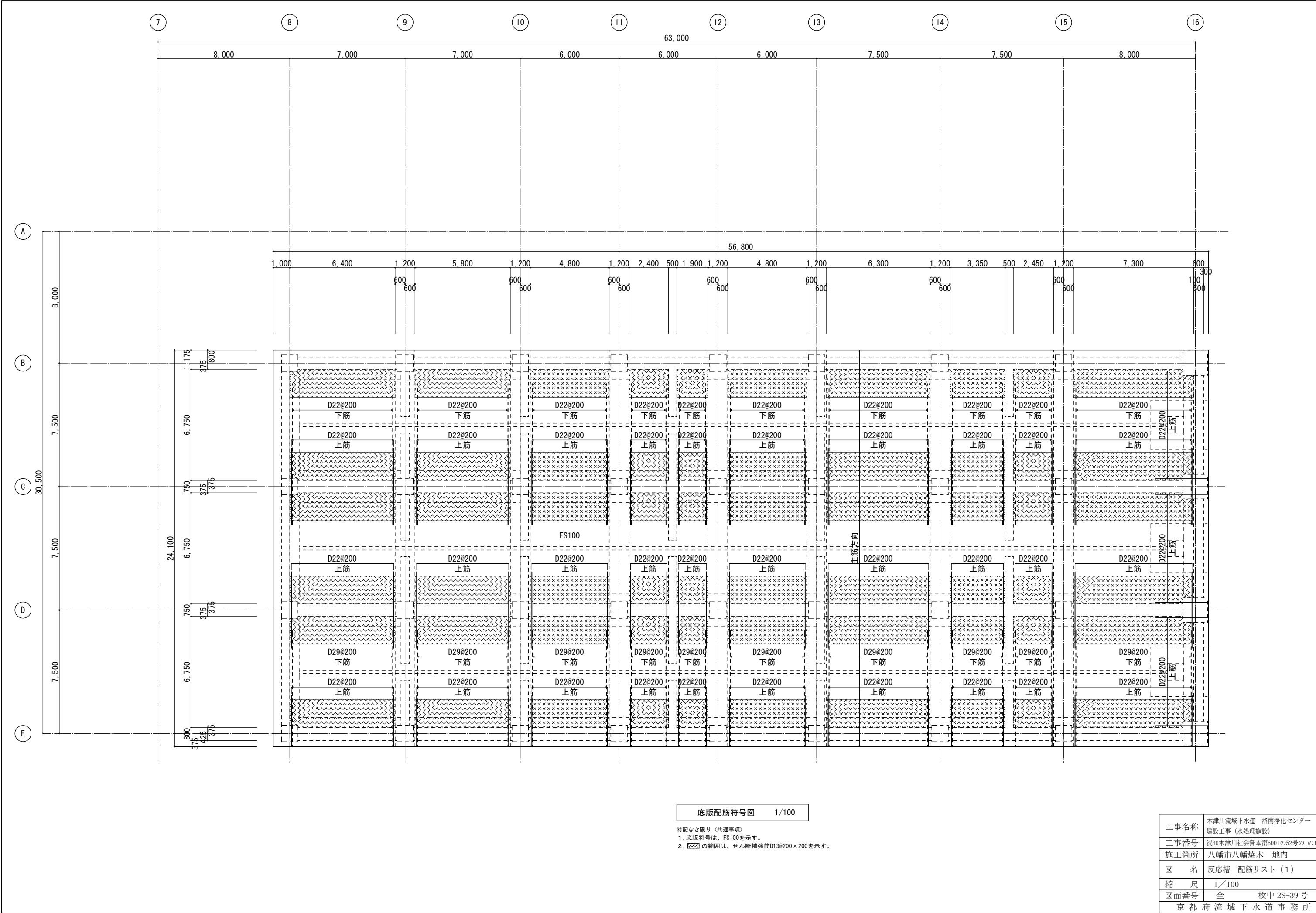
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 架構配筋図（3）
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-37号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



8 通 架構配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. STは、全て□2-D13#200とする。
2. HOPは、全て□-D13#100とする。

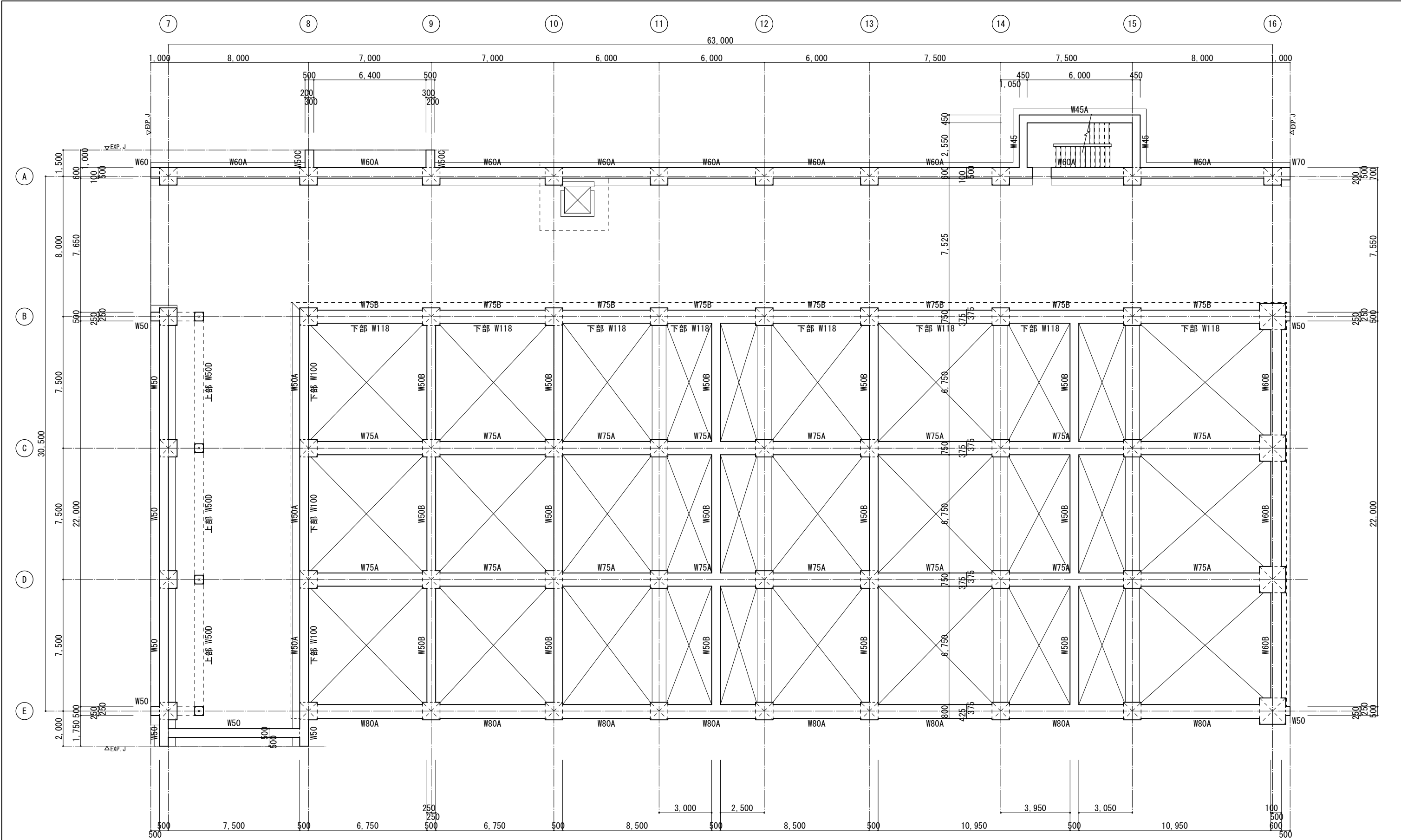
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 架構配筋図（4）
縮 尺	1／50
図面番号	全 枚中 2S-38 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



底板配筋符号図 1/100

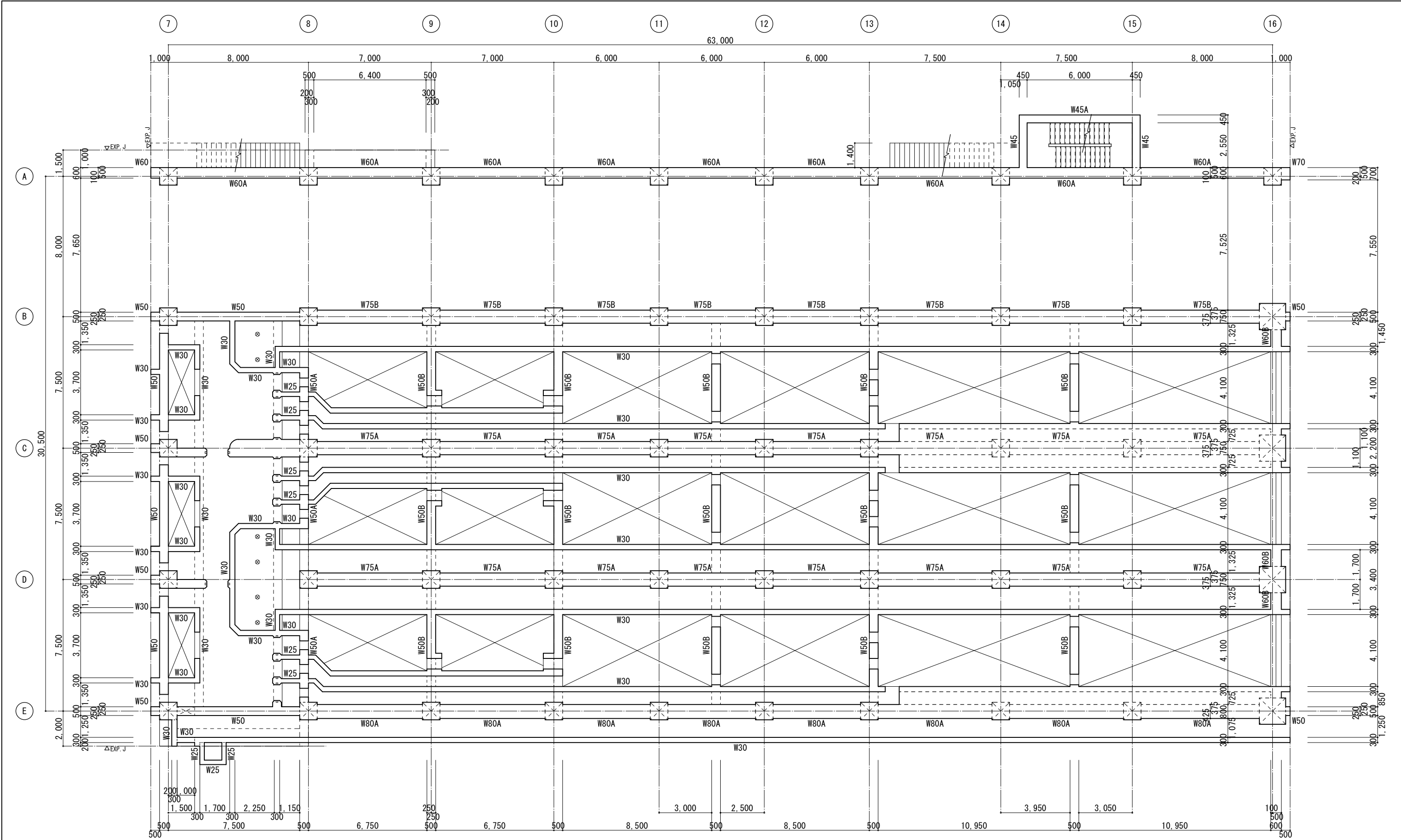
- 特記なき限り（共通事項）
1. 底板符号は、FS100を示す。
 2.  の範囲は、せん断補強筋D13@200×200を示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 配筋リスト（1）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-39号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



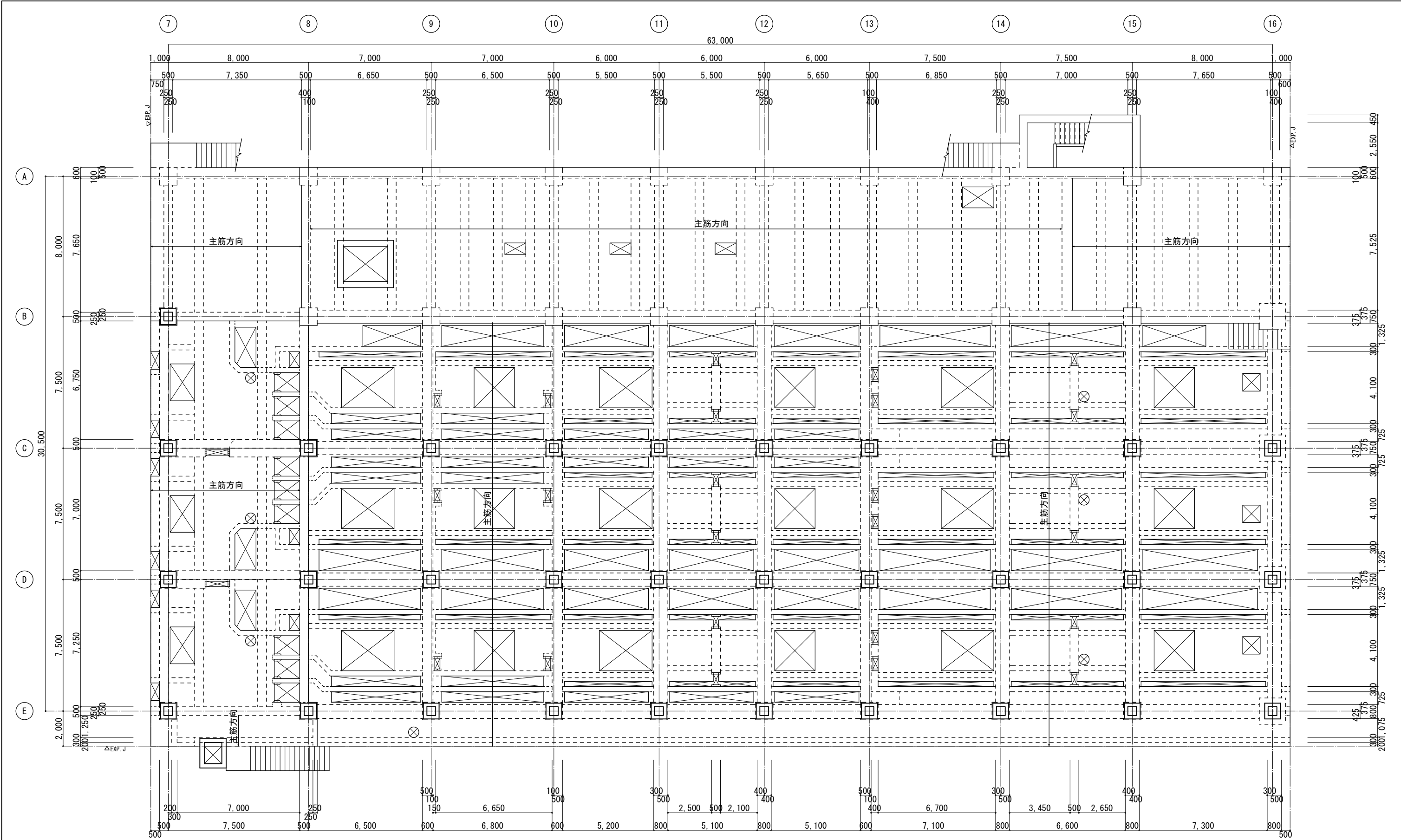
壁配筋符号図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 配筋リスト（3）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-41 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



壁配筋符号図 1/100

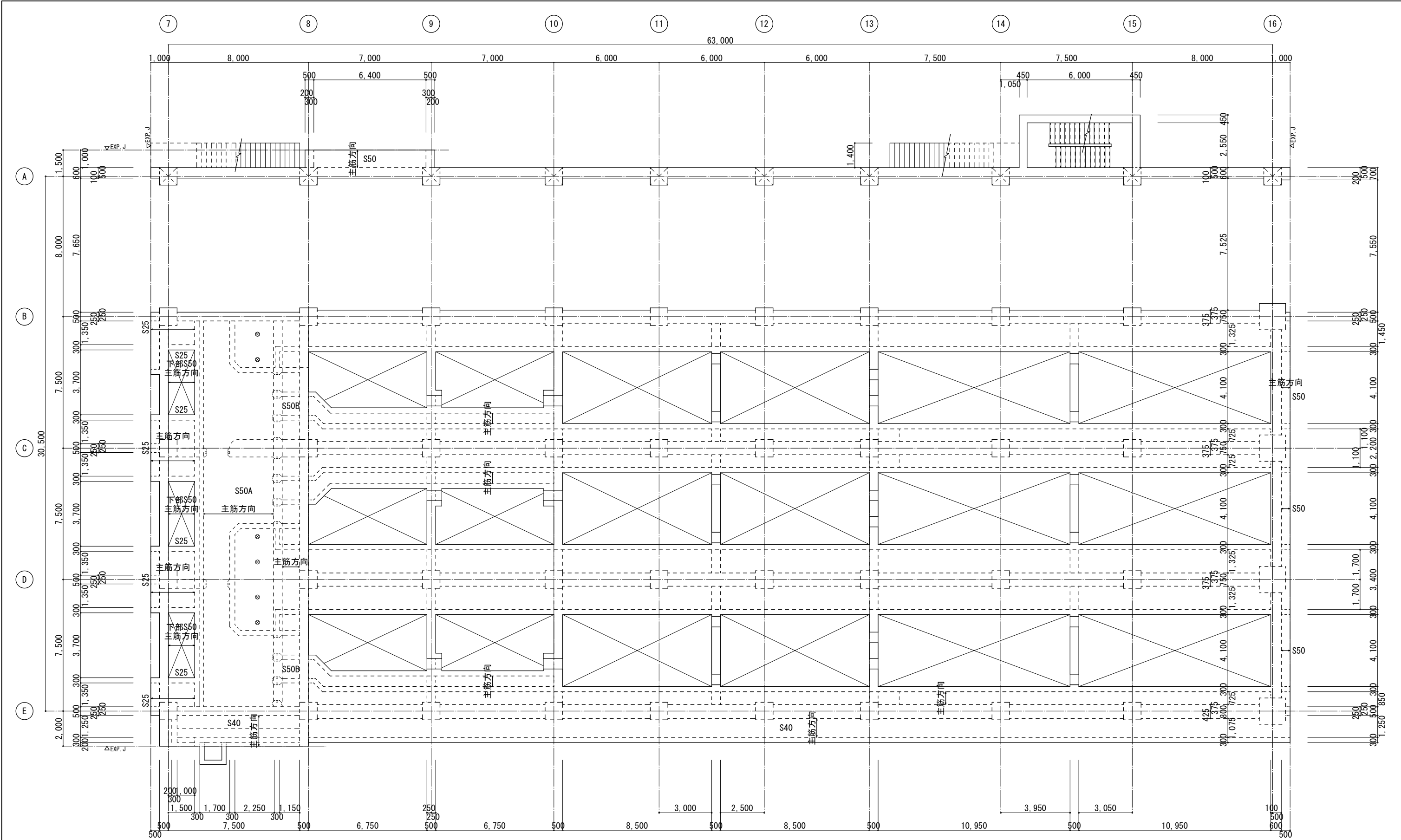
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 配筋リスト（4）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-42 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



床版配筋符号図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. S25を示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 配筋リスト（5）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 2S-43号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



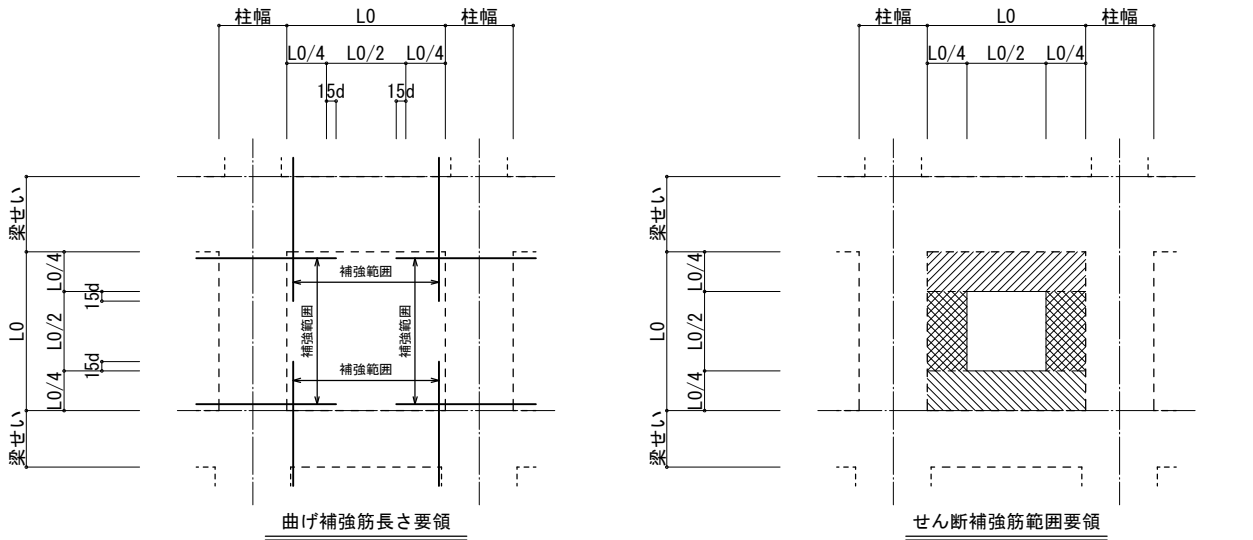
床版配筋符号図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 配筋リスト（6）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 2S-44 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

底版リスト															
符号	版厚	位置	主筋方向（短辺）			配力筋方向（長辺）			せん断補強筋（主筋方向）			せん断補強筋（配力筋方向）			備 考
			外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	
FS70	700	両面	D25@200			D25@200			—	—	—	—	—	—	曲げ・せん断補強筋は、 底版配筋符号図参照
FS80	800	両面	D25@200			D22@200			—	—	—	—	—	—	
FS100	1000	両面	D25@200			D25@200			—	—	—	—	—	—	
共通事項			符号なき底版は、配筋図参照とする。 補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。												

壁リスト											
符号	壁厚	位置	縦筋			横筋		開口部補強筋	せん断補強筋		
			上部	中央部	下部	中央部	両端部	縦横斜め	縦筋上部	縦筋下部	横筋両端部
W25	250	両面	D13@200			D13@200		—	—	—	—
W30	300	両面	D13@200			D13@200		4-D16	—	—	—
W45	450	土圧側	D22@200			D22@200		—	—	—	—
		階段室側	D19@200			D19@200					
W45A	450	土圧側	D22@200			D22@200		—	—	D13@200×400	—
		階段室側	D19@200			D19@200					
W50	500	両面	D19@200			D16@200		4-D22	—	—	—
W50A	500	管廊側	D19@200			D16@200		4-D22	—	D13@200×400	—
		水圧側	D16D19@100	D19@200		D16@200					
W50B	500	両面	D25@200			D16@200		4-D29	—	D13@200×400	—
W50C	500	両面	D16@200			D19@200		—	—	—	—
W50D	500	両面	D22@200			D16@200		—	—	—	—
W60	600	両面	D25@200			D16@200		—	—	—	—
W60A	600	土圧側	D25@200		D22D25@100	D16@200		4-D29	—	D13@200×200	—
		管廊側	D25@200			D16@200					
W60B	600	両面	D25@200		D25D29@100	D16@200		4-D29	—	D16@200×200	—
W70	700	両面	D22@200			D19@200		—	—	—	—
W75A	750	両面	D25@200		D22D25@100	D19@200		—	—	D13@200×200	—
W75B	750	両面	D22@200			D19@200		—	—	D13@200×600	—
W80A	800	両面	D25@200		D25@100	D19@200		—	—	D13@200×200	—
W100	1000	両面	D25@200			D25@200		—	—	—	—
W118	1175	両面	D25@200			D25@200		—	—	—	—
共通事項			符号なき壁は、配筋図参照とする。 補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。但し、せん断補強筋は、幅止め筋を兼用とする。 せん断補強筋表示は、縦筋の場合：D**@P×P=鉄筋径@縦方向ピッチ×横方向ピッチとし 横筋の場合：鉄筋径@横方向ピッチ×縦方向ピッチとする。								

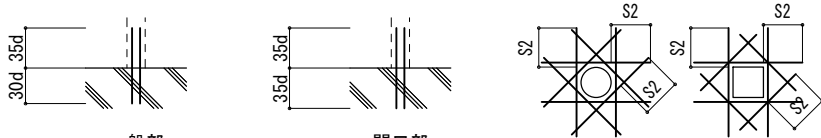
床版リスト												
符号	版厚	位置	主筋方向（短辺）		配力筋方向（長辺）		開口部補強筋	せん断補強筋（主筋方向）		せん断補強筋（配力筋方向）		備 考
			端部	中央部	端部	中央部	縦横斜め	外端部	内端部	外端部	内端部	
S25	250	両面	D13@200		D13@200		4-D16	—	—	—	—	
S40	400	上面	D19@200		D16@200		—	—	—	—	—	
		下面	D16@200		D16@200							
S50	500	両面	D19@200		D16@200		—	—	—	—	—	
S50A	500	上面	D16D19@100	D19@200	D16@200		—	D13@200×400	—	—	—	曲げ・せん断補強筋 7通端部のみ
		下面	D19@200		D16@200							
S50B	500	上面	D16D19@100		D16@200		—	D13@200×400	D13@200×400	—	—	
		下面	D19@200		D16@200							
階段 段部	250	上面	2-D13		D13@200		—	—	—	—	—	
		下面	1-D13		D13@200							
共通事項			補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 床版（厚300以上）組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。									



曲げ補強筋長さ要領

特記なき限り（共通事項）

1. 余長として、100mm単位で切り上げること。



一般部

開口部

W15	D10@150	シングル	W15	2-D13
W18A	D13@150	ダブル	W18A	4-D13
W18B	D10@200	ダブル	W18B	4-D13
W20	D10@150	ダブル	W20	4-D16

差し筋要領図

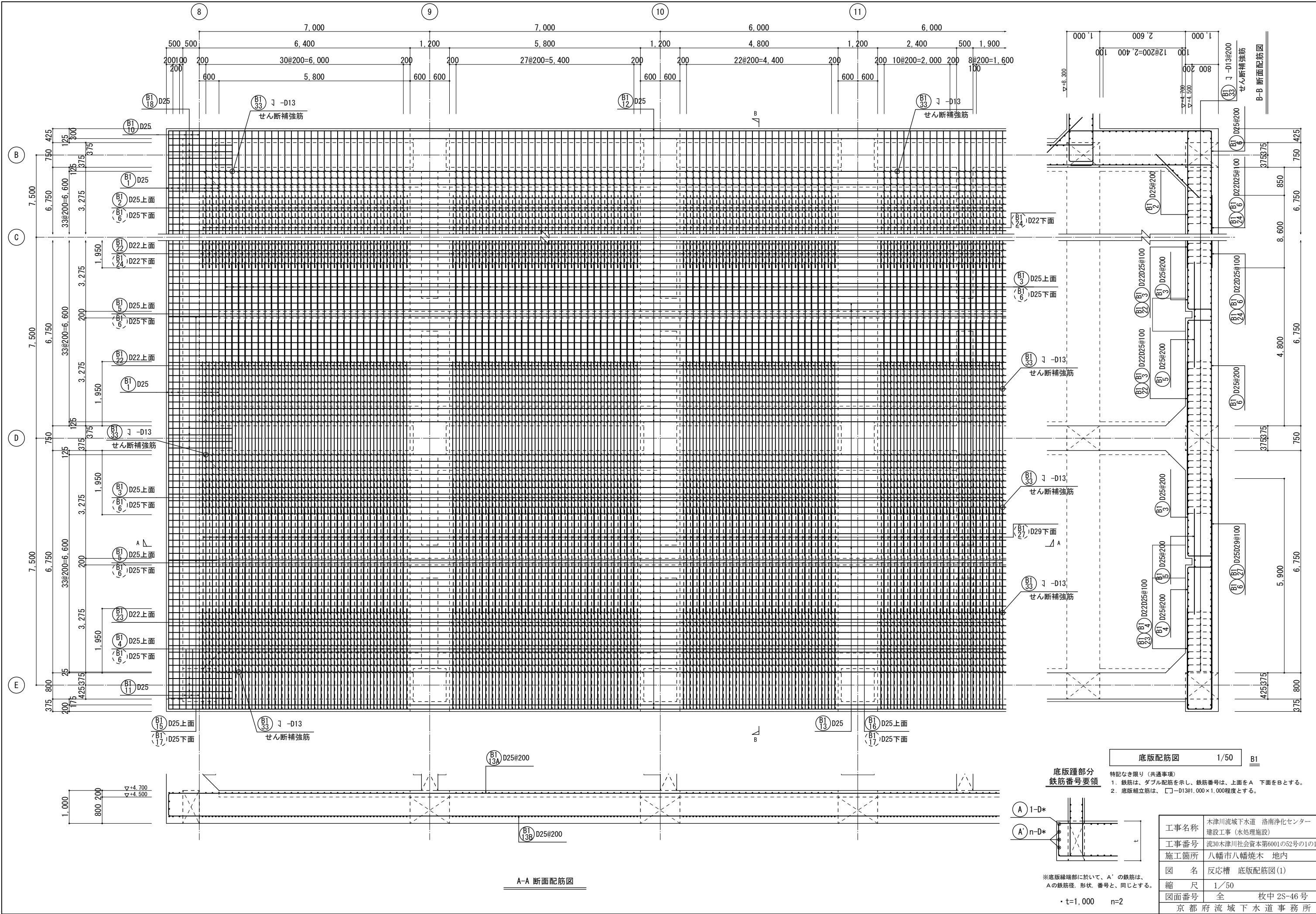
特記なき限り（共通事項）

1. 開口位置は、建築図を参照。

箱抜き配筋要領図

箱抜きの位置及び大きさは箱抜き図を参照する。
補強筋径は主筋サイズの1ランク上の径を使用する。
200φ以下は補強筋は不要とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 配筋リスト（7）
縮 尺	—
図面番号	全 枚中 2S-45号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



底版踵部分鉄筋番号要領

※底版縁端部に於いて、A'の鉄筋は、Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

・t=1,000 n=2

図例: A 1-D*, A' n-D*

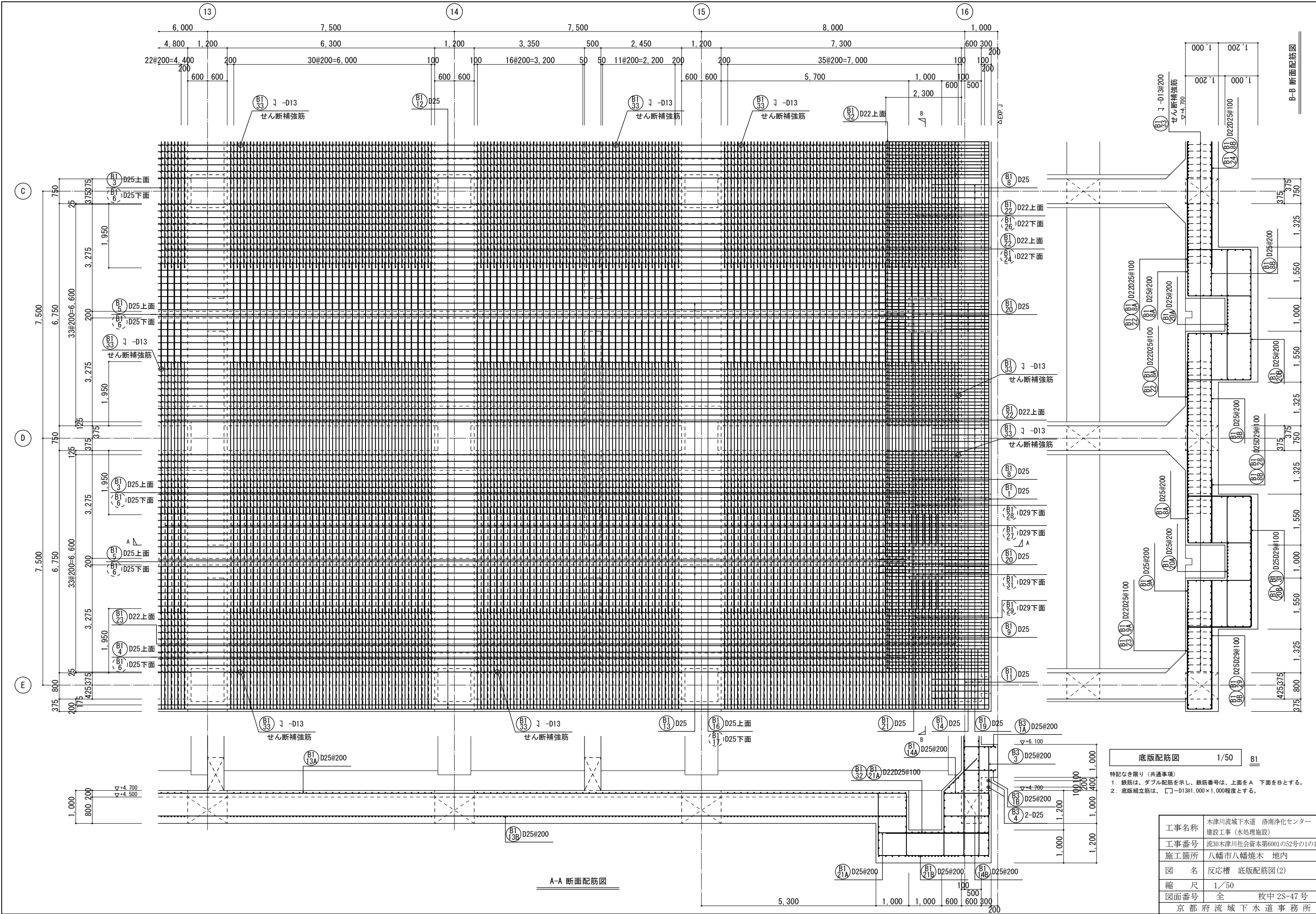
底版配筋図 1/50 B1

特記なき限り（共通事項）

1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

2. 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

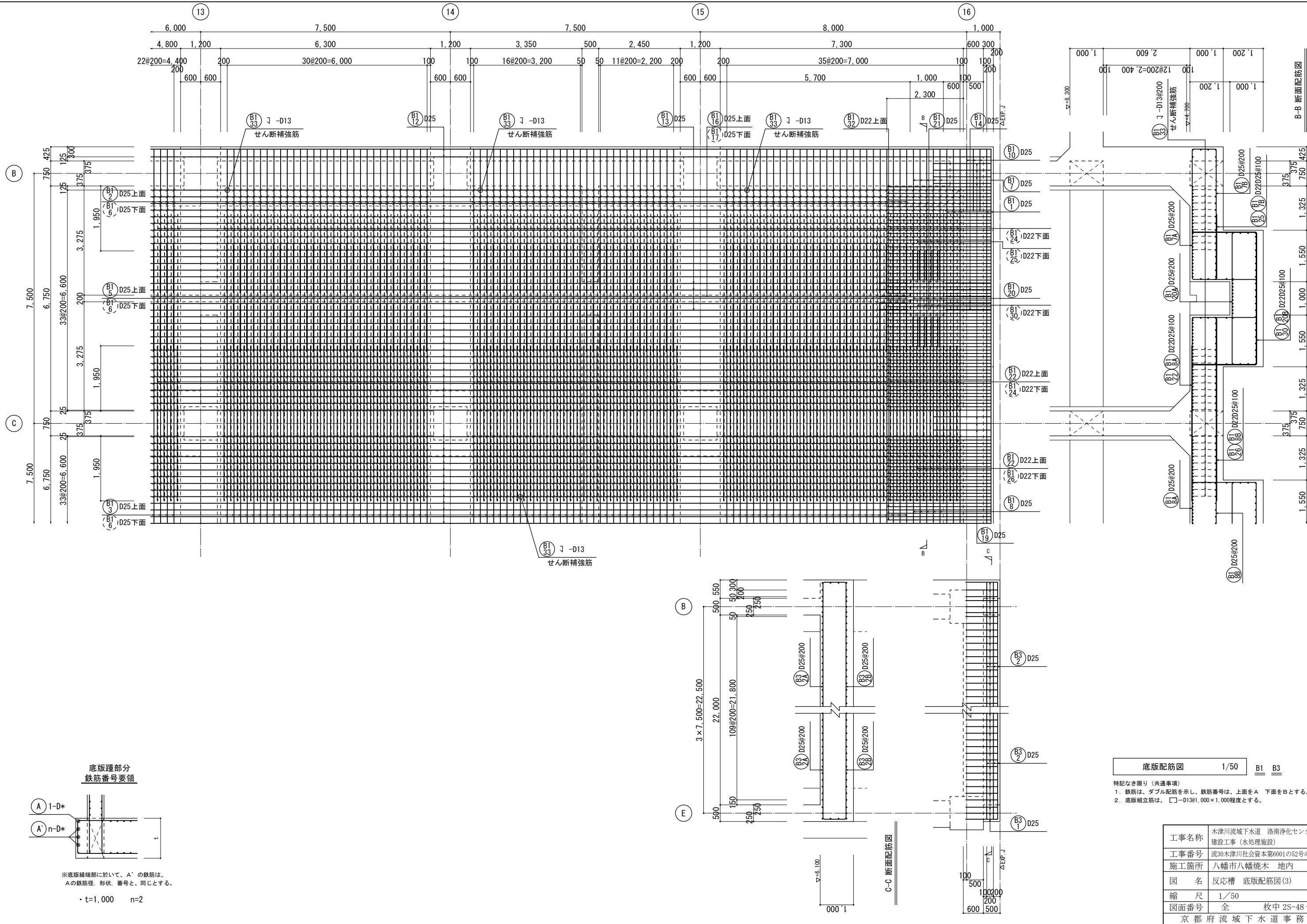
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 底版配筋図(1)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-46号
京都府流域下水道事務所	



底版配筋図 1/50 B1

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底版組立筋は、□-D13φ1,000×1,000程度とする。

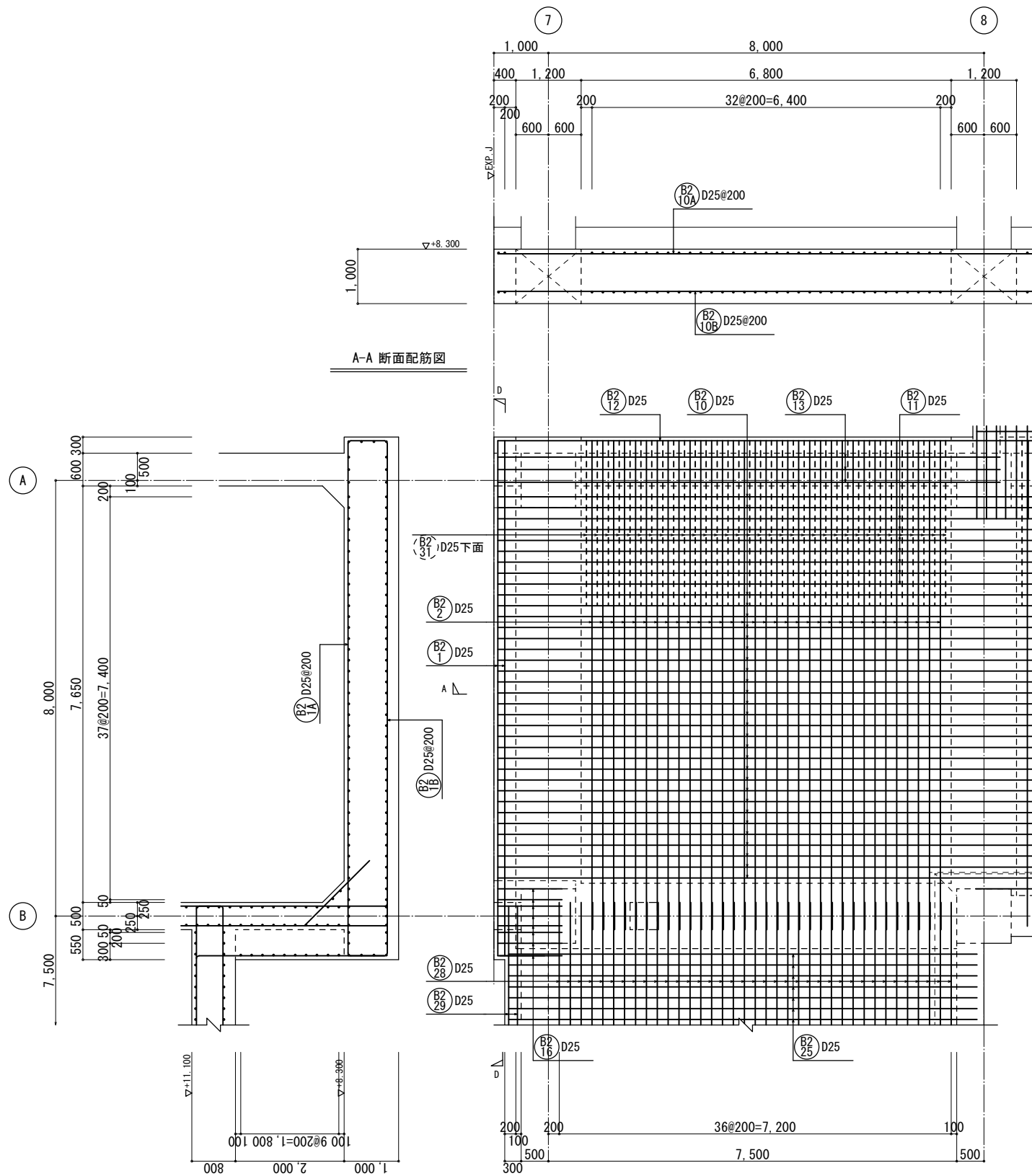
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 底版配筋図(2)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-47 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



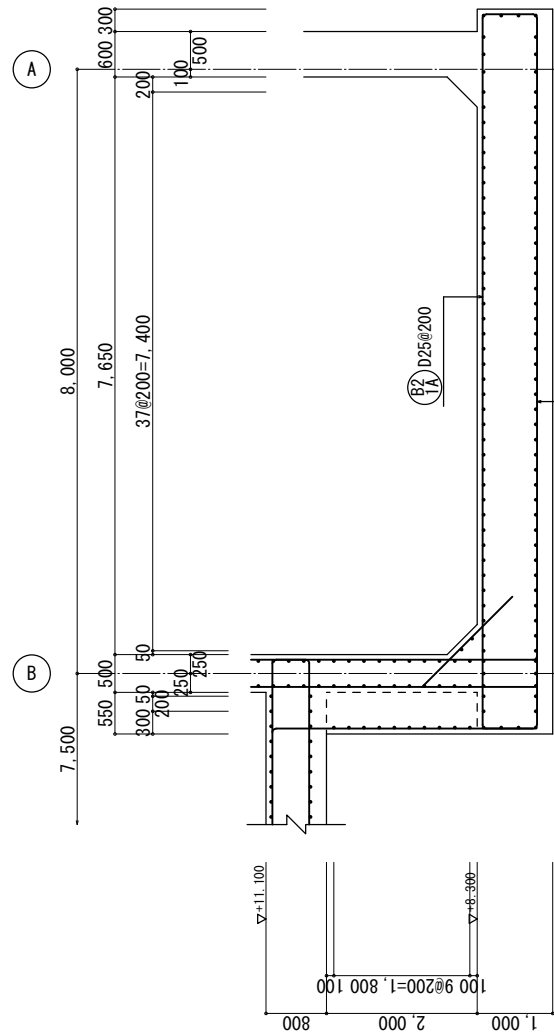
底版配筋図 1/50 B1 B3

- 特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

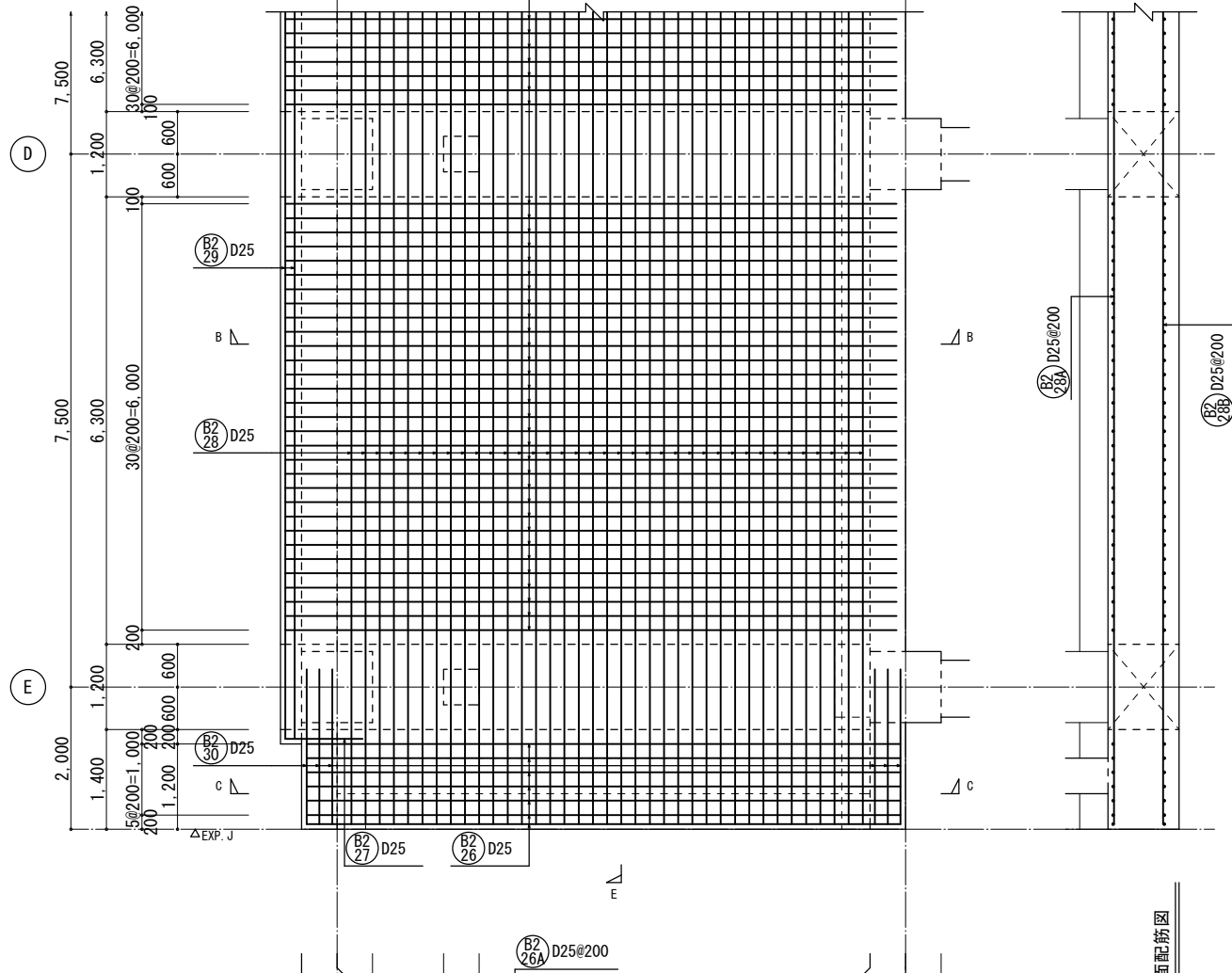
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	反応槽 底版配筋図(3)		
縮 尺	1/50		
図面番号	全	枚中	2S-48号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



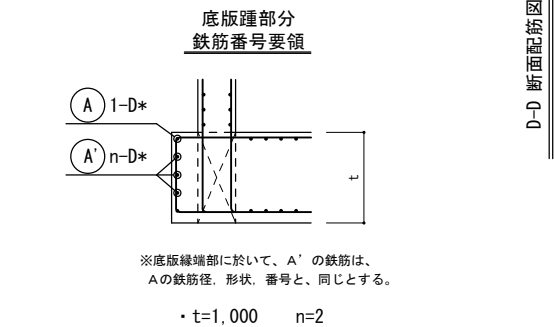
A-A 断面配筋図



B-B 断面配筋図



C-C 断面配筋図



D-D 断面配筋図

底版配筋図 1/50 B2

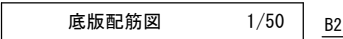
- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 底版組立筋は、□—D13@1,000×1,000程度とする。

※底版縁端部に於いて、A'の鉄筋は、
Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

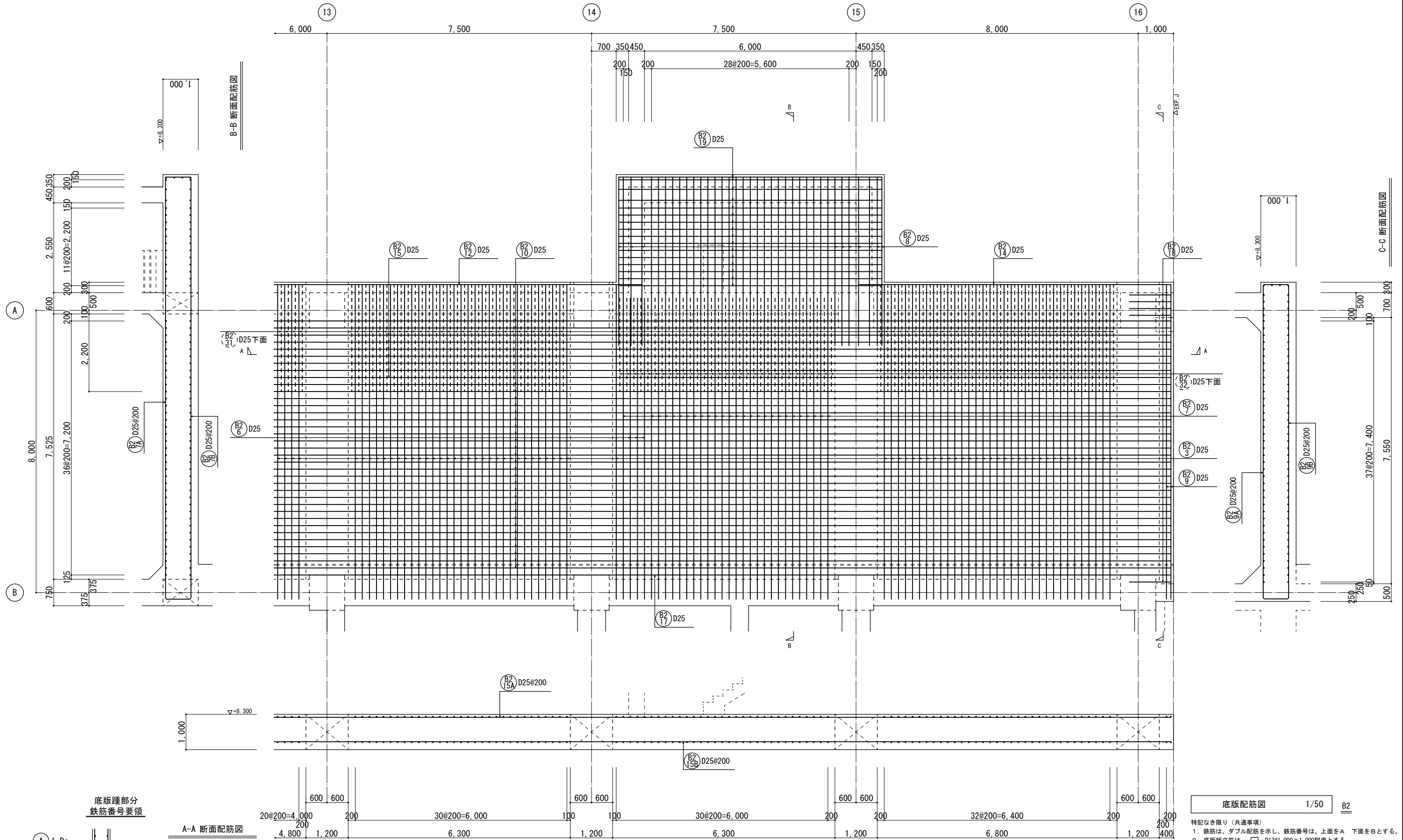
・t=1,000 n=2

E-E 断面配筋図

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 底版配筋図(4)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-49号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



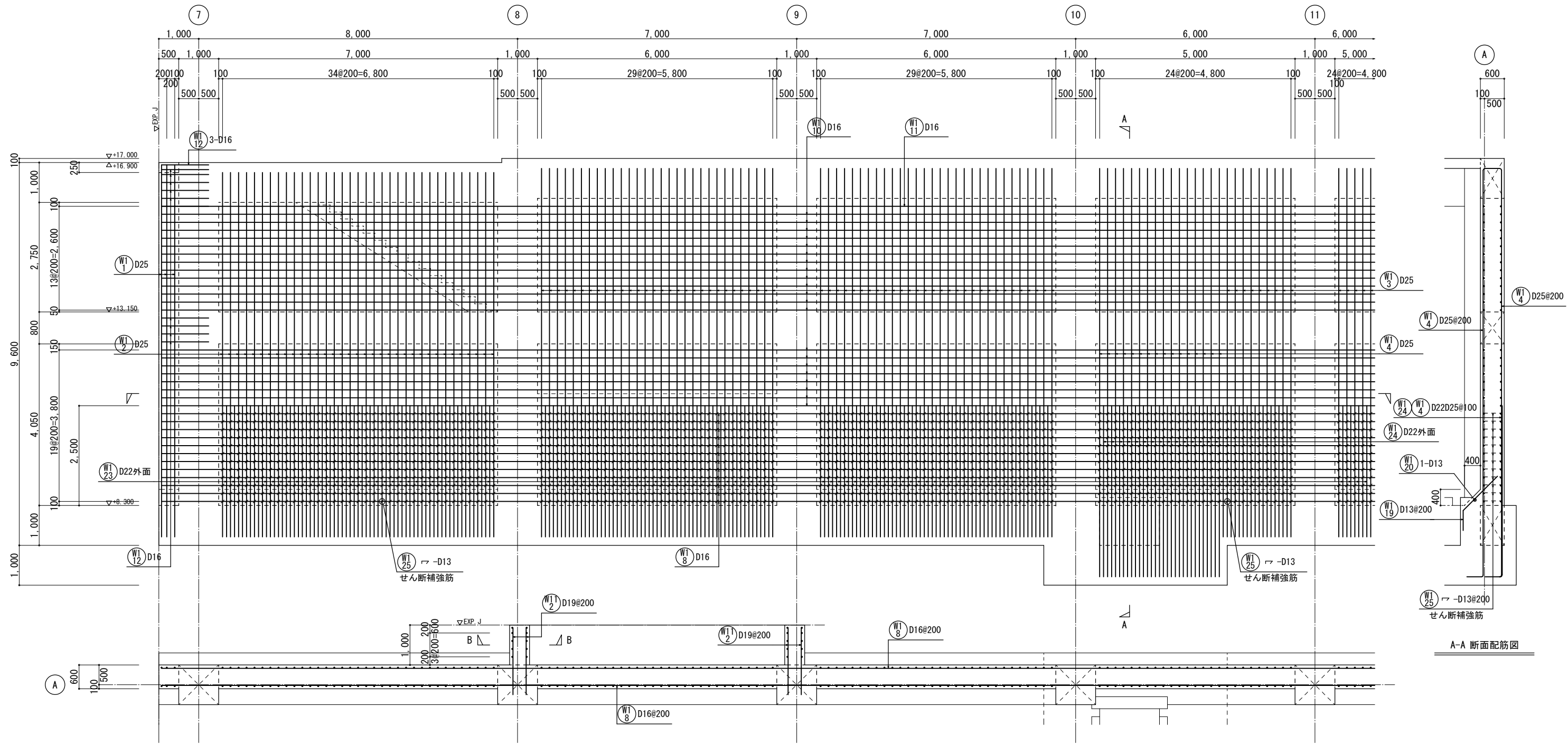
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡橋木 地内
図 名	反応槽 底版配筋図(5)
縮 尺	1/50
図面番号	全 1 枚中 2S-50 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



底版配筋図 1/50 B2

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底版組立筋は、□—D13φ1,000×1,000程度とする。

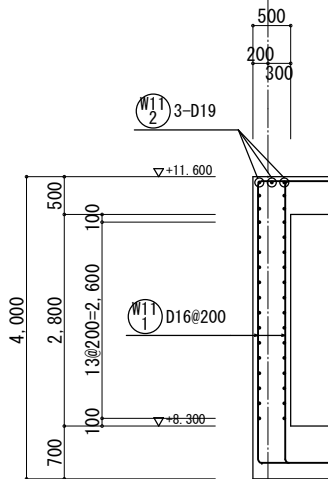
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 底版配筋図(6)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-51号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



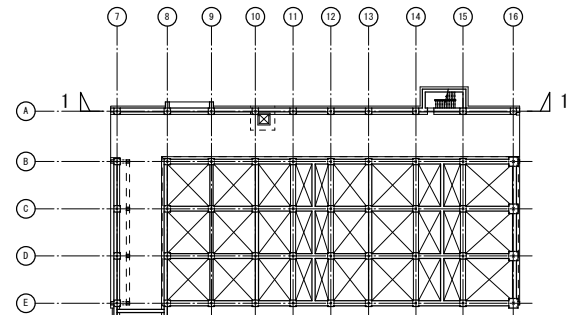
平断面配筋図

1-1 壁配筋図 1/50

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



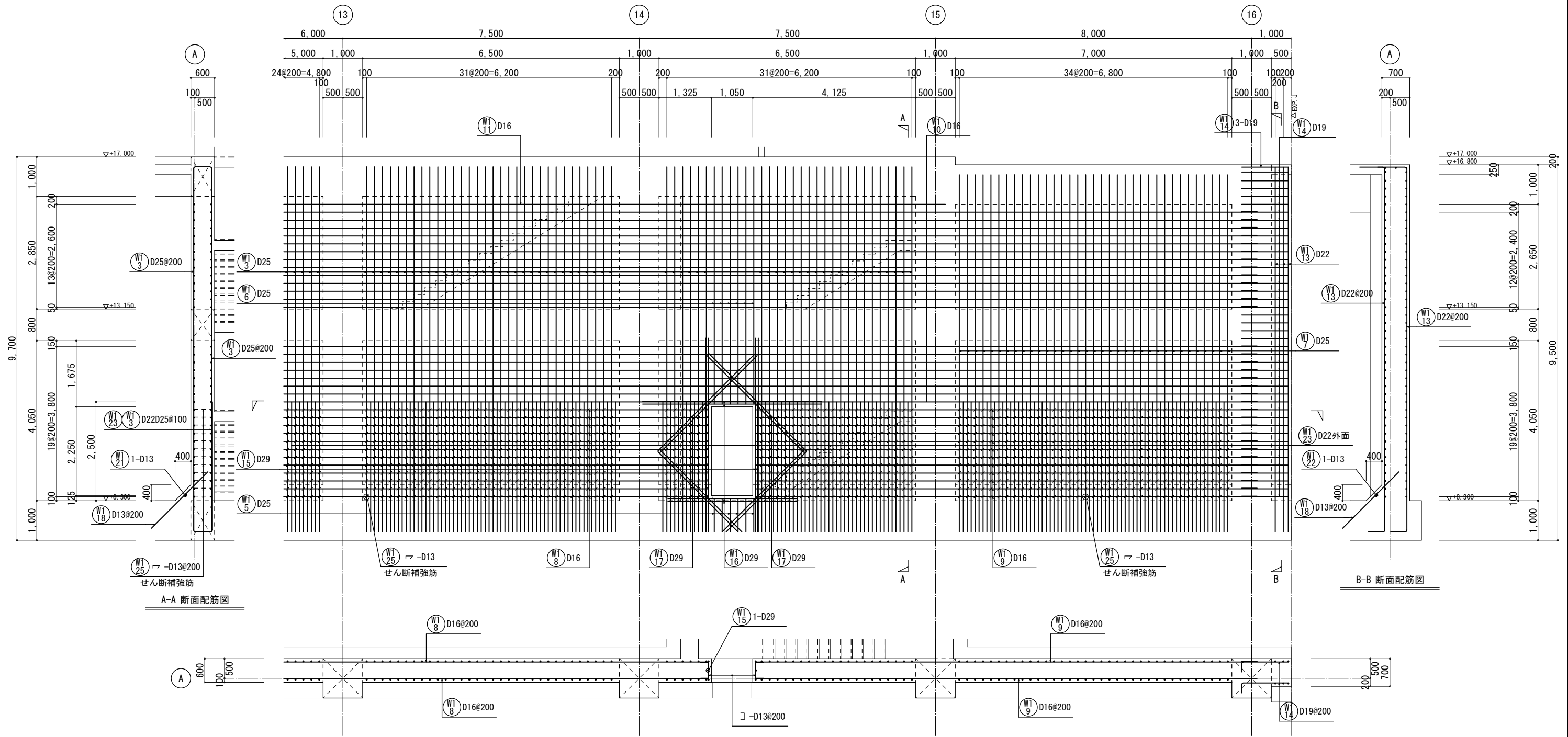
B-B 断面配筋図



KEY PLAN

A-A 断面配筋図

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(1)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-52 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

B-B 断面配筋図

平断面配筋図

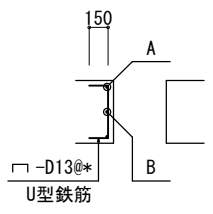
1-1 壁配筋図 1/50 W1

特記なき限り（共通事項）

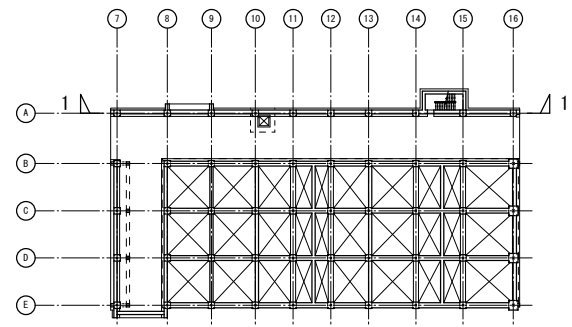
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。

2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。

但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

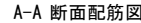


- 開口補強筋要領
- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
 - Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。

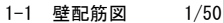


KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(2)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-53号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

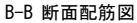
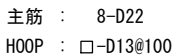


平断面配筋图

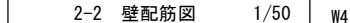


特記なき限り（共通事項）

- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
- 壁幅止め筋は、 $\neg$ D13@1,000×1,000程度とする。



平断面配筋图

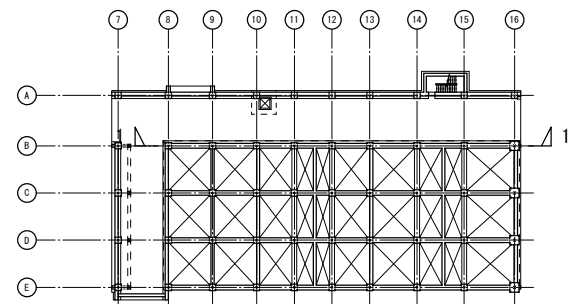
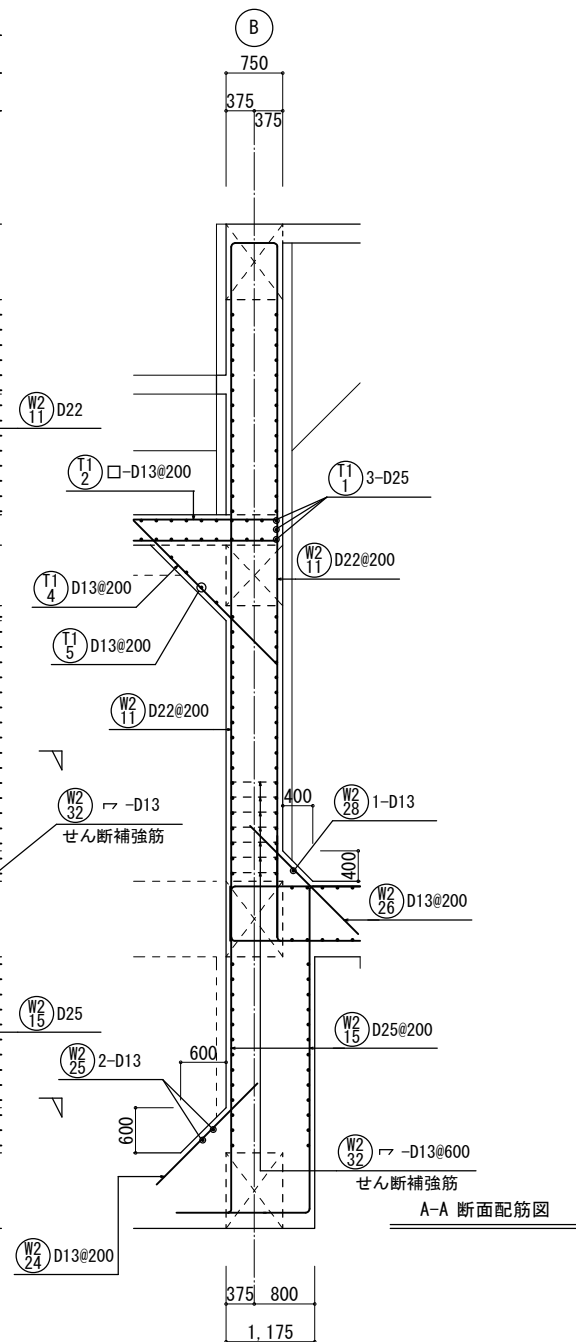
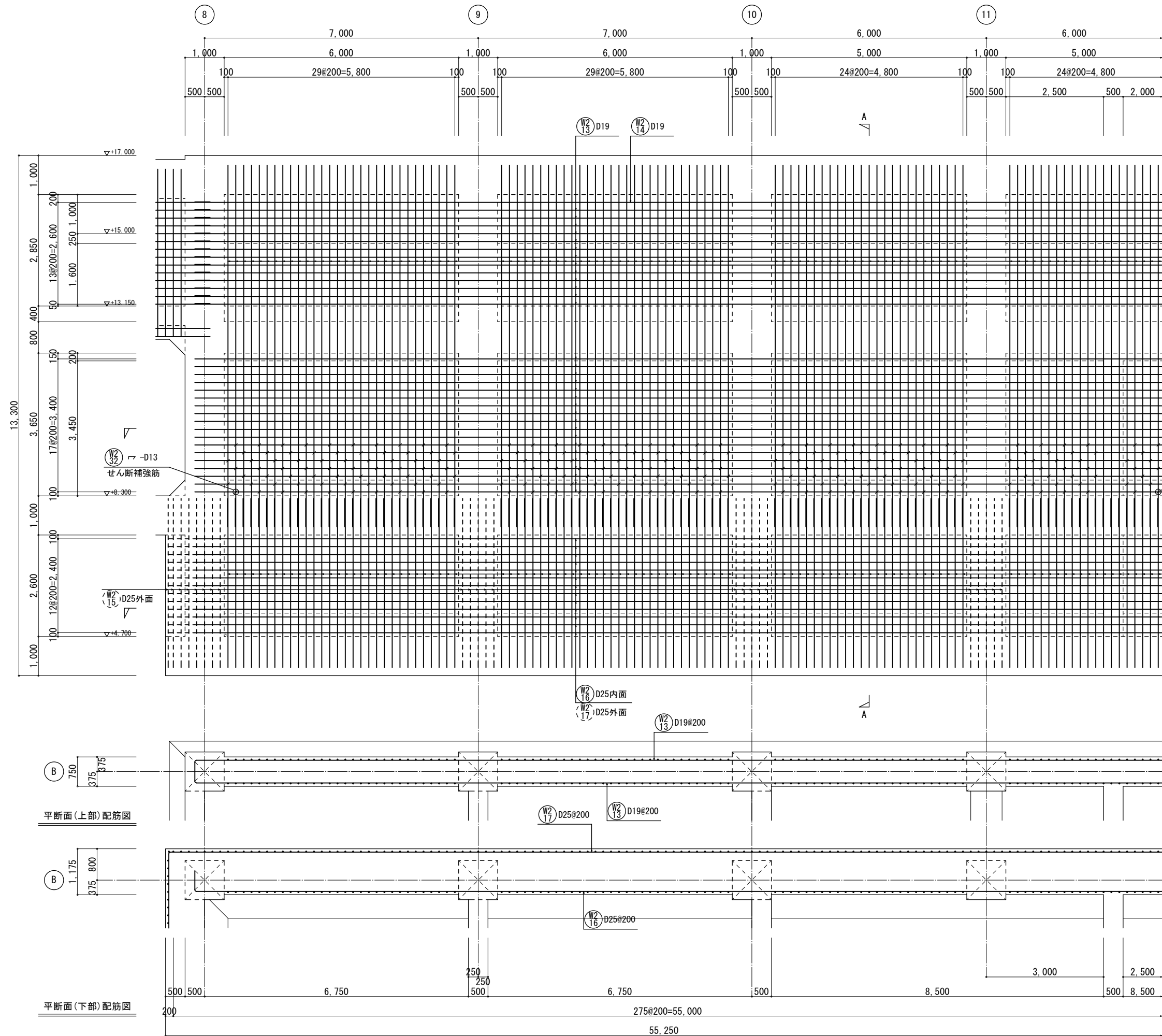


特記なき限り（共通事項）

- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
- 壁幅止め筋は、 $\neg \text{D}13@1,000 \times 1,000$ 程度とする。



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の101		
施工箇所	八幡市八幡橋木 地内		
図 名	反応槽 壁配筋図(3)		
縮 尺	1/50		
図面番号	全 枚中 2S-54 号		
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			

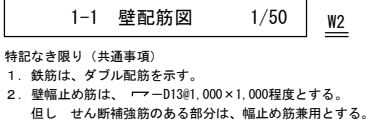


KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 壁配筋図(4)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-55号
京都府流域下水道事務所	

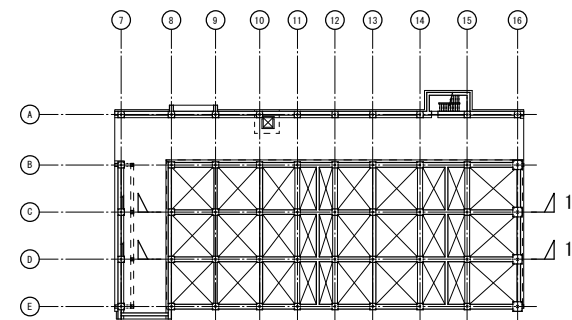
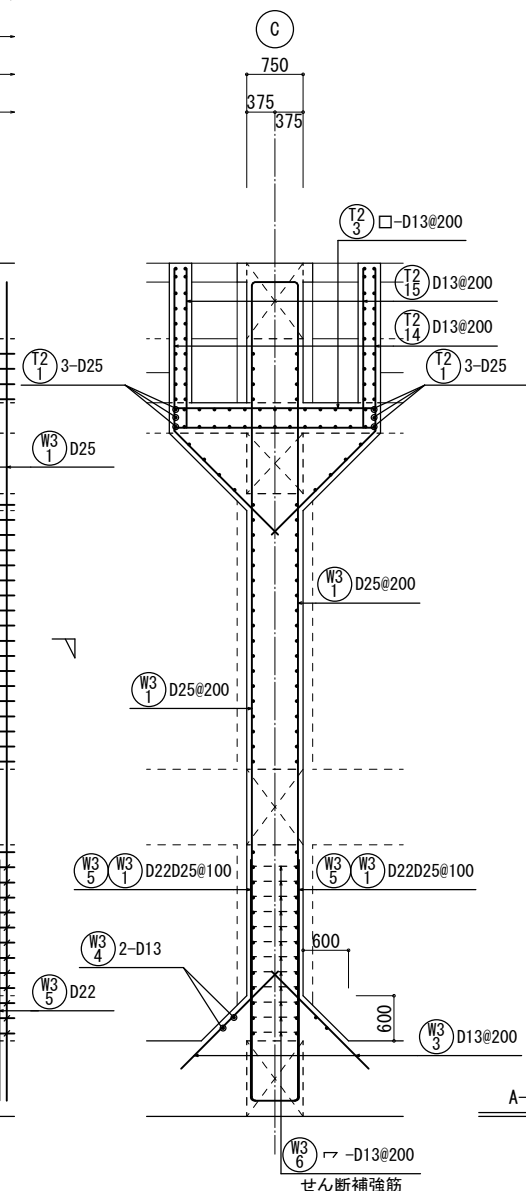
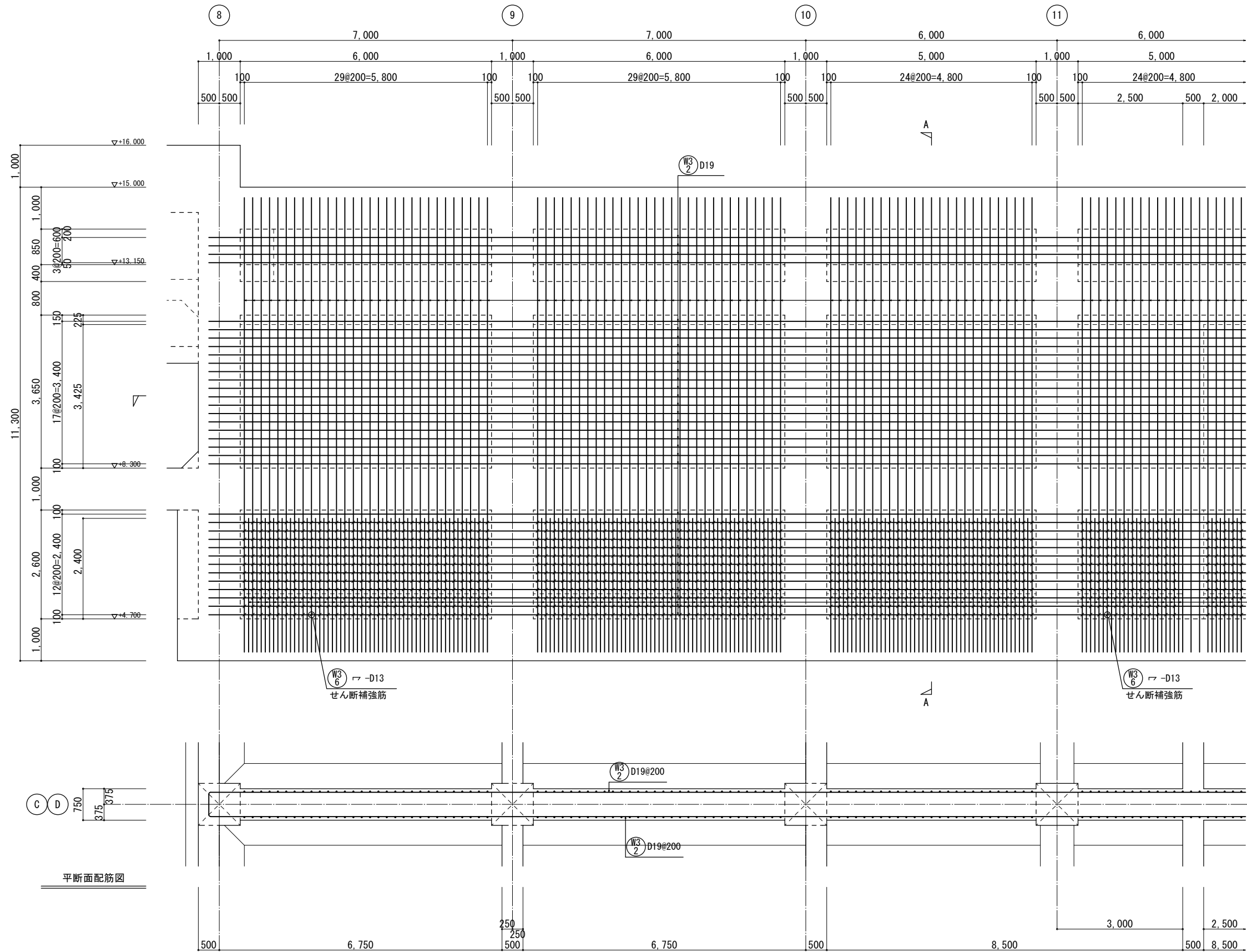
1-1 壁配筋図 1/50 W2

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ -D13 ϕ 1,000 $\times$ 1,000程度とする。
但し セン断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡橋木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(5)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-56 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

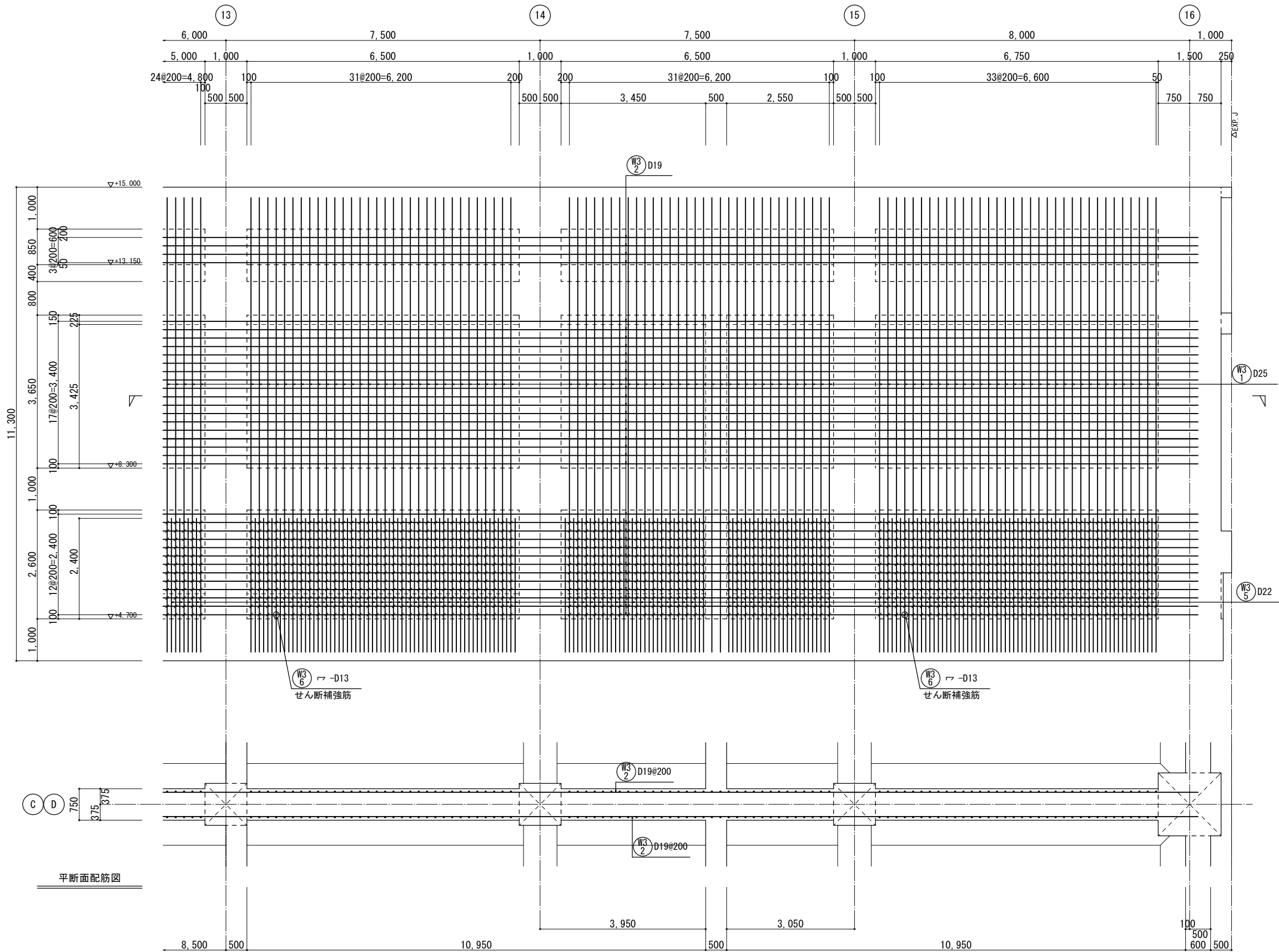


KEY PLAN

1-1 壁配筋図 1/50 W3

- 特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

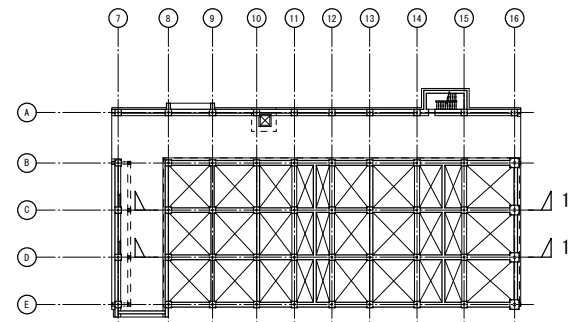
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(6)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-57 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



平断面配筋図

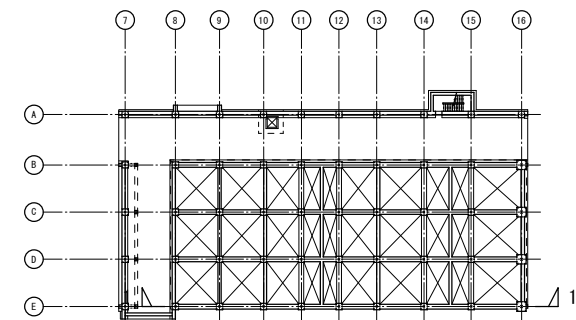
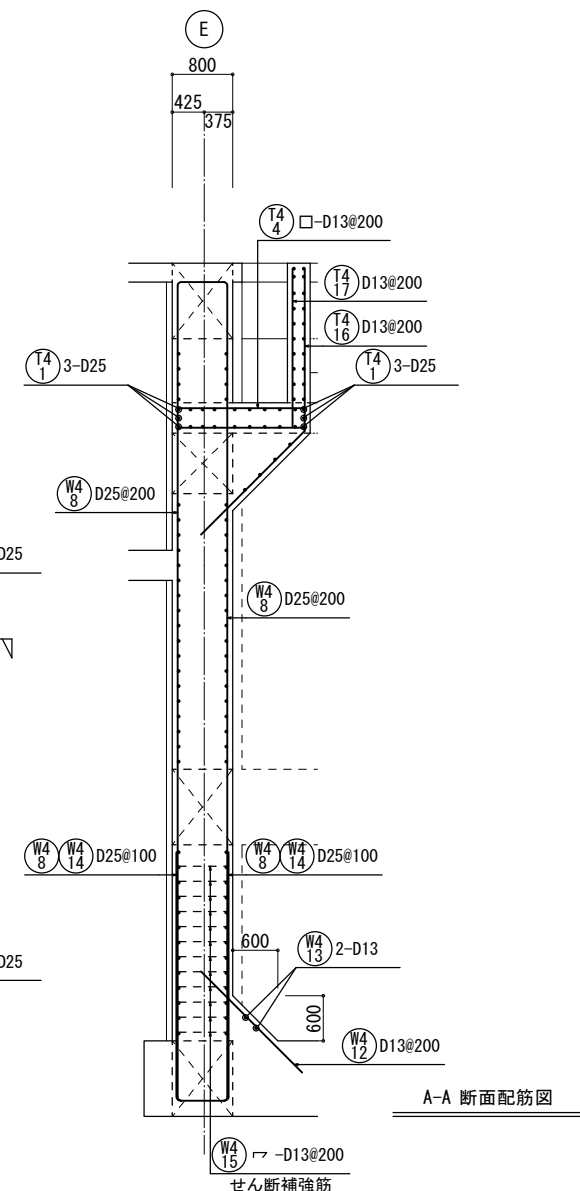
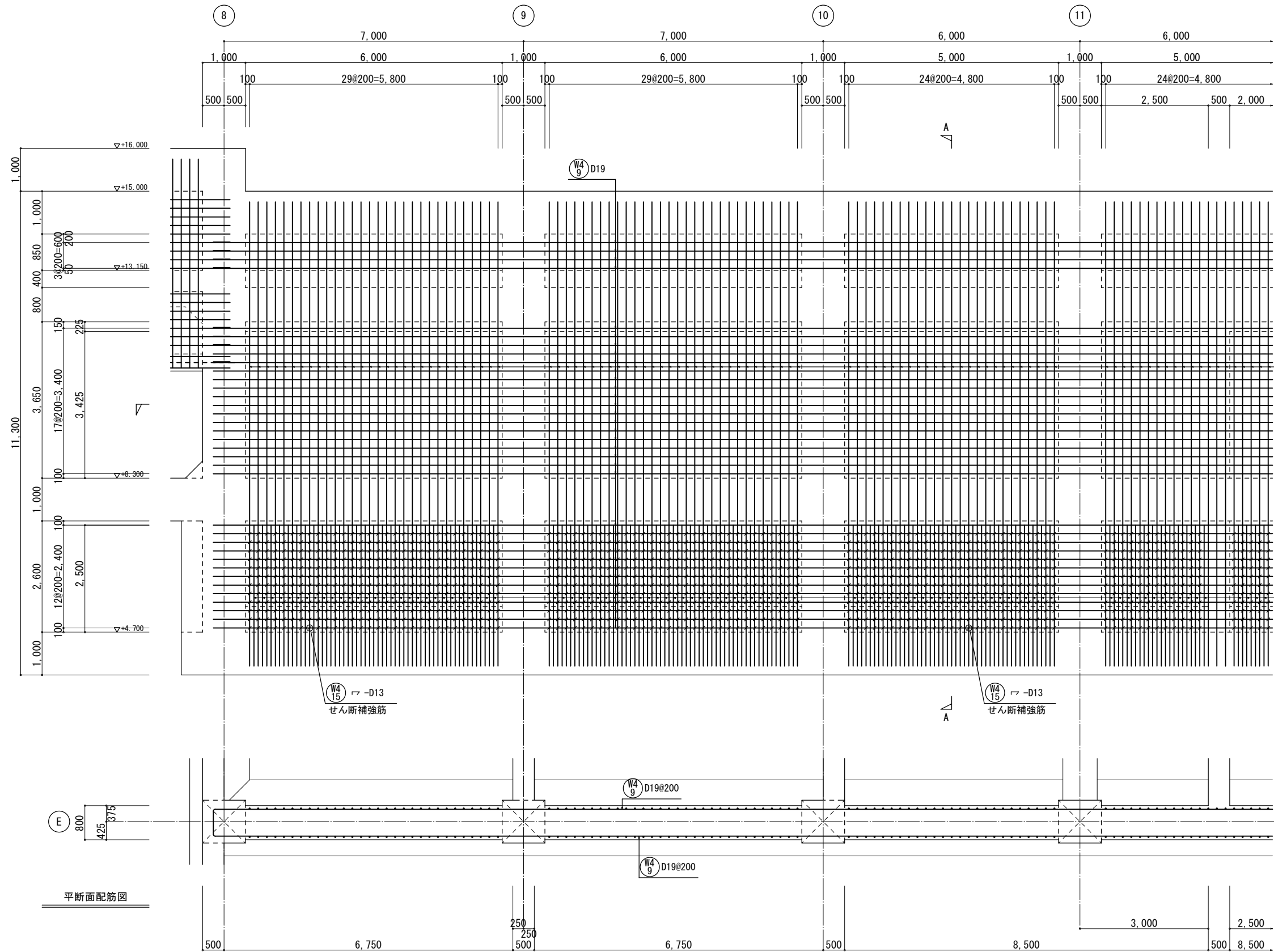
1-1 壁配筋図 1/50 W3

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(7)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-58号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

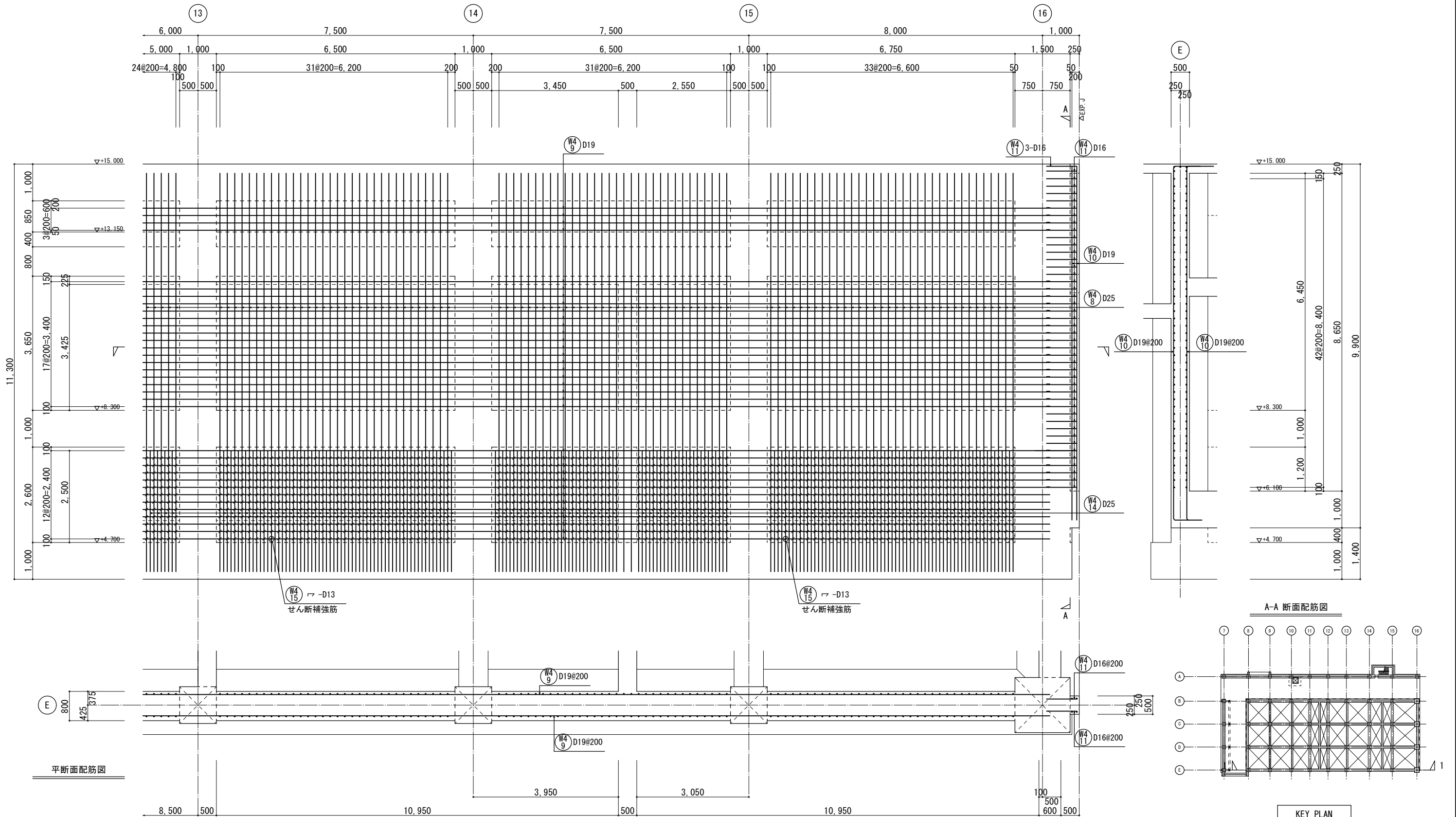


KEY PLAN

1-1 壁配筋図 1/50 W4

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

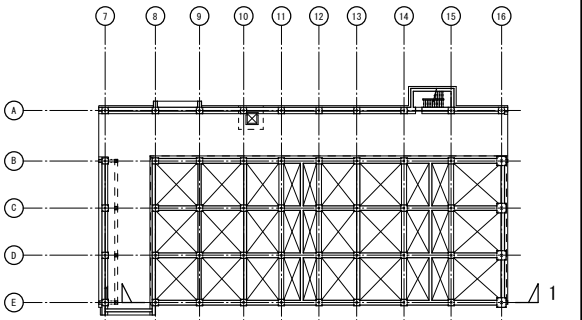
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(8)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-59号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



1-1 壁配筋図 1/50 W4

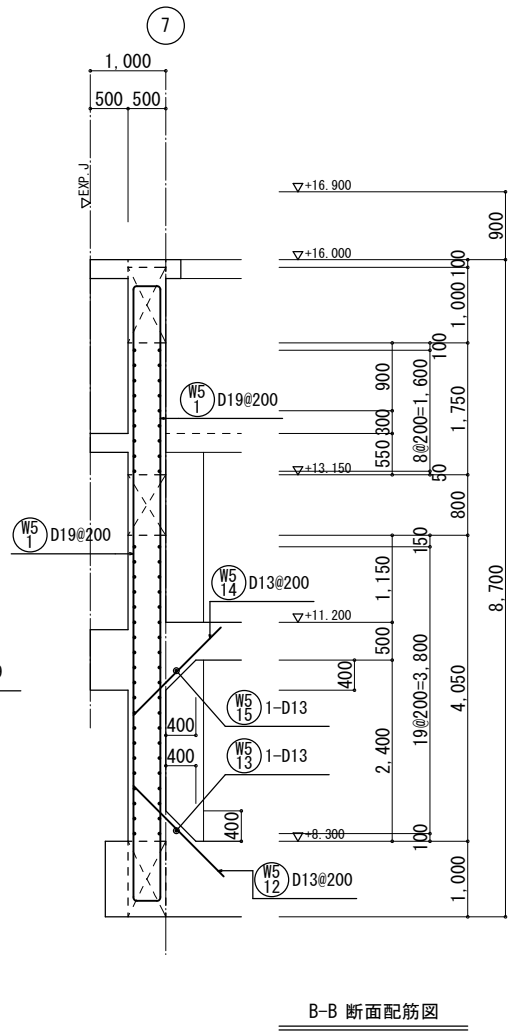
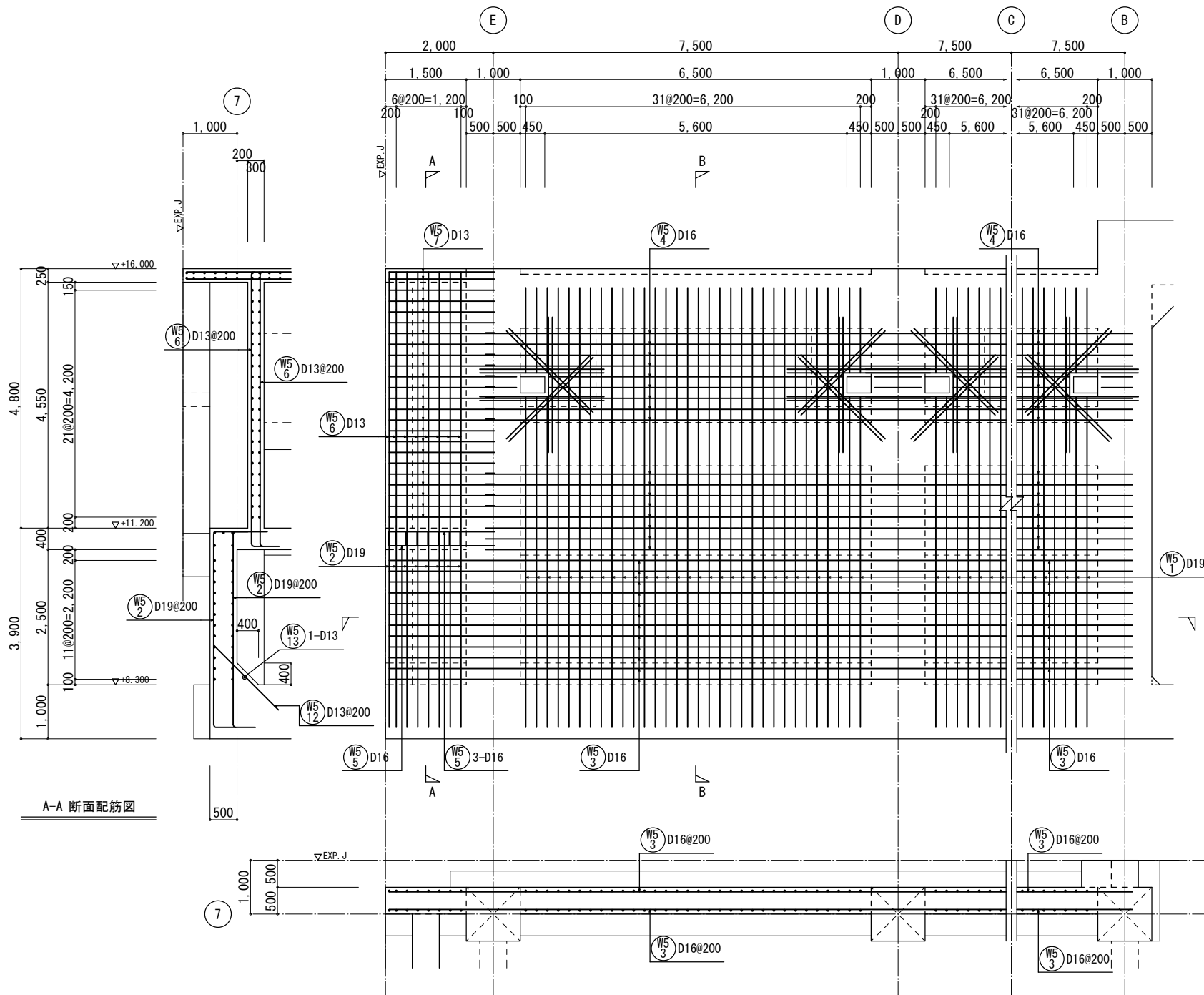
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ フーD13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

A-A 断面配筋図

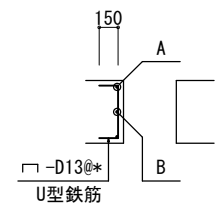


KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 壁配筋図(9)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-60 号
京都府流域下水道事務所	

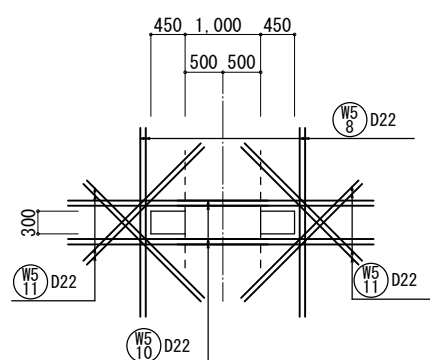
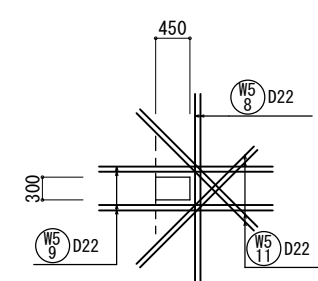


1-1 壁配筋図 1/50 W5
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ D13@1,000×1,000程度とする。

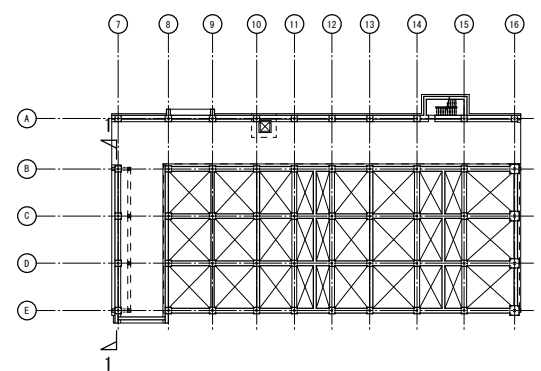


開口補強筋要領

- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。

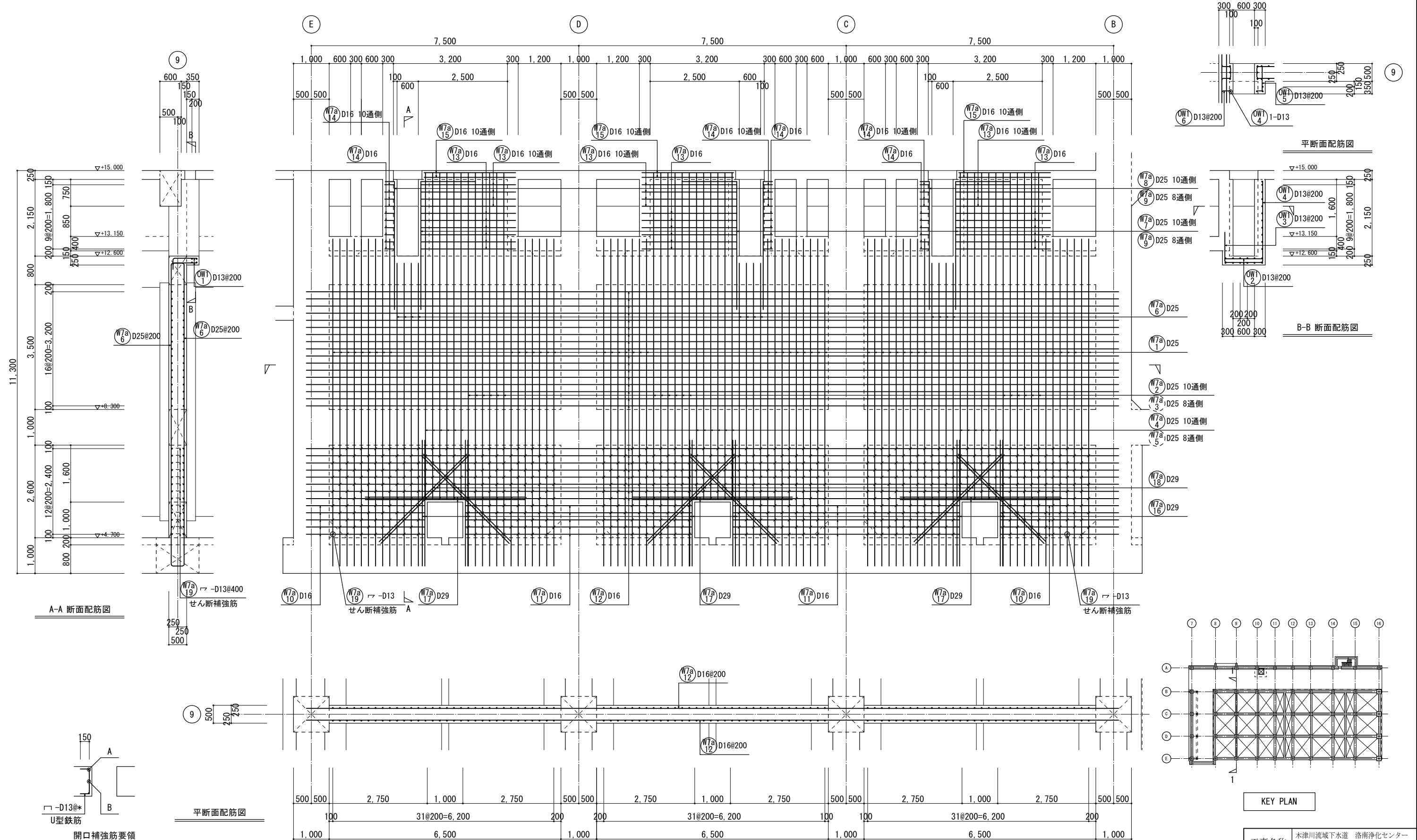


開口部補強筋



KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(10)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-61号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

平断面配筋図

B-B 断面配筋図

平断面配筋図

KEY PLAN

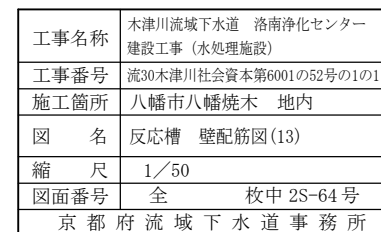
開口補強筋要領

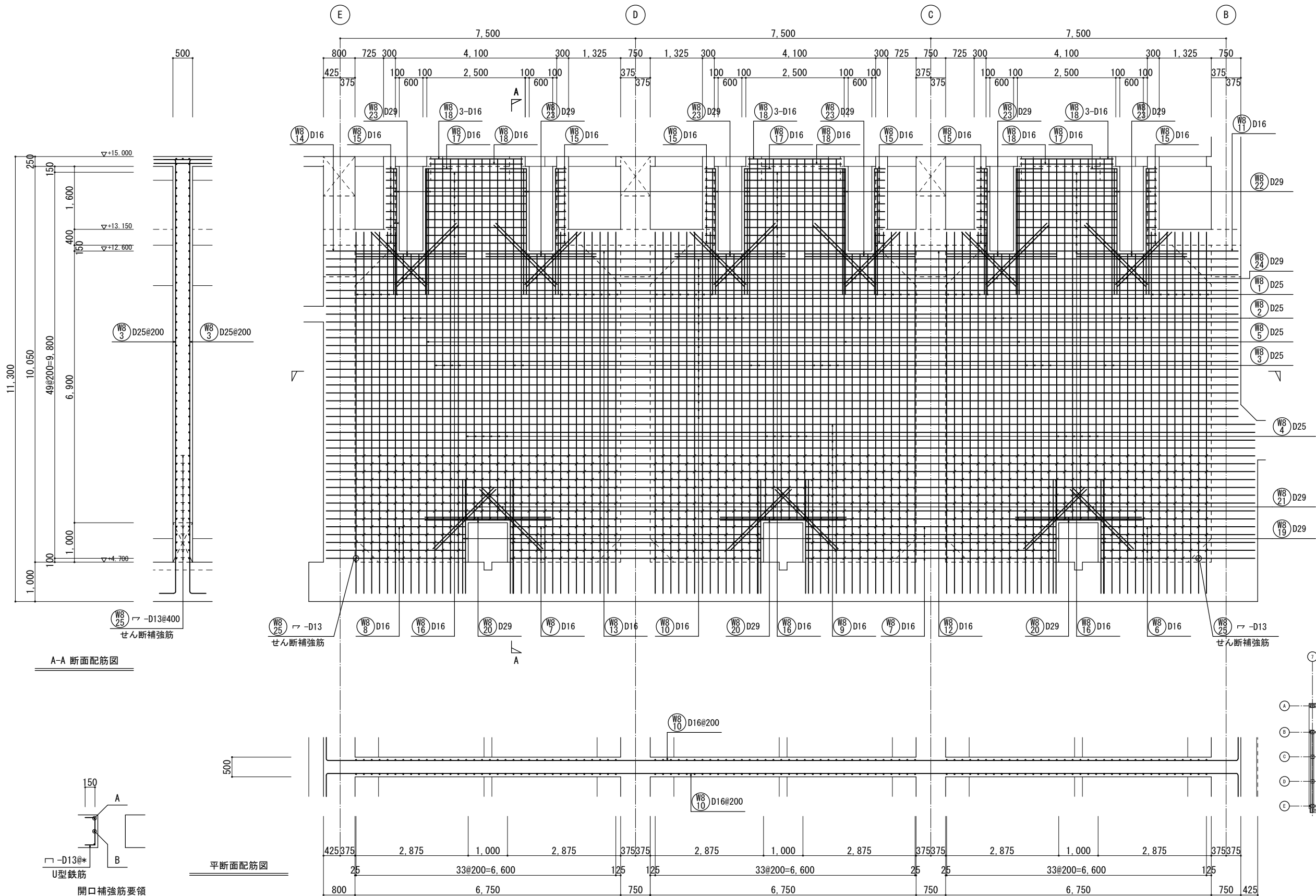
- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。

1-1 壁配筋図 1/50 W7a

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

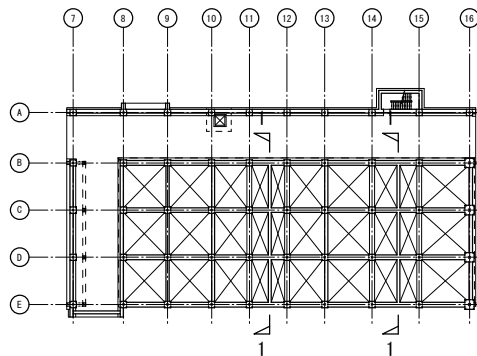
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 壁配筋図(12)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-63号
京都府流域下水道事務所	





A-A 断面配筋図

平面配筋図



KEY PLAN

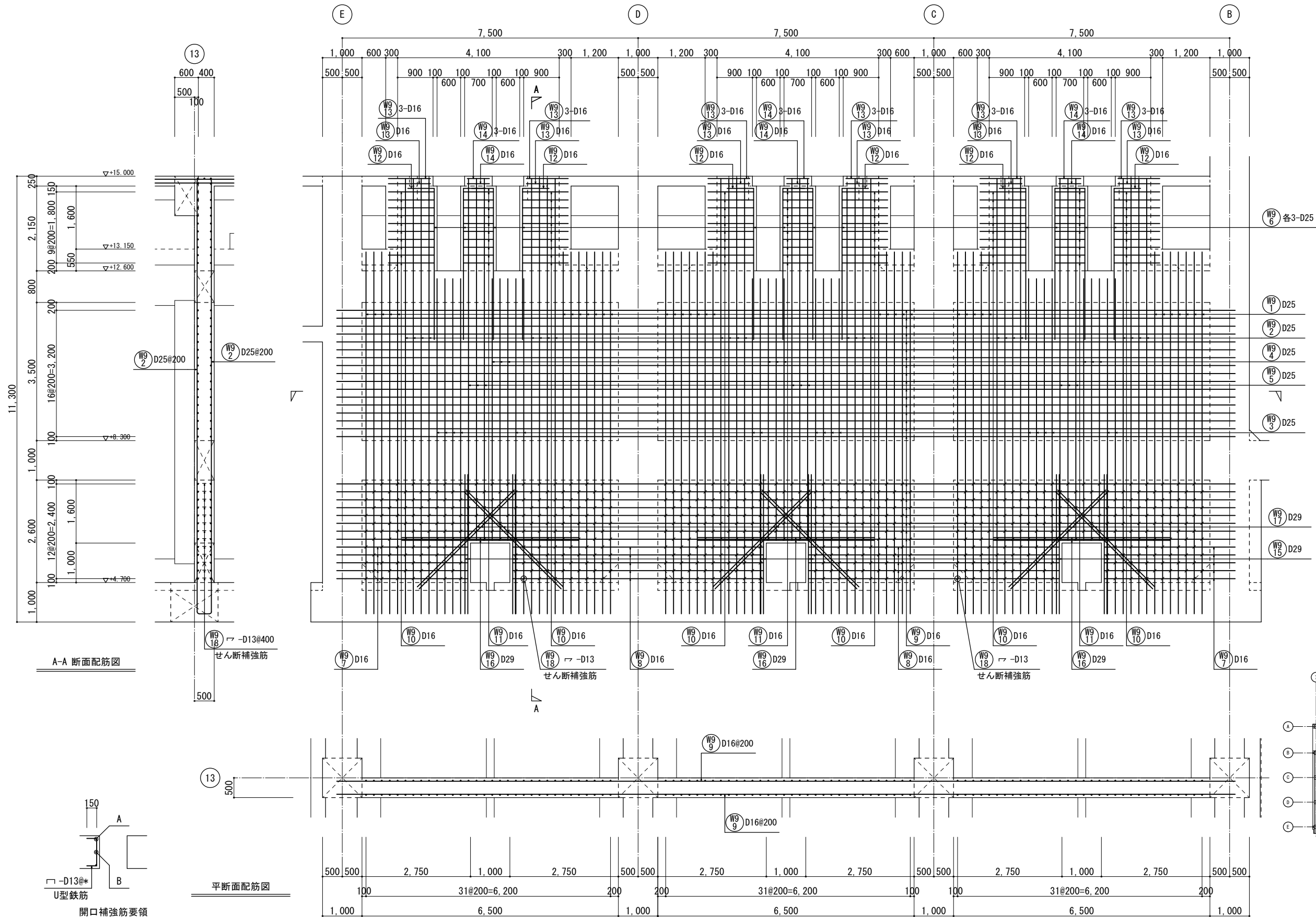
開口補強筋要領

- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。

1-1 壁配筋図 1/50

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ -D13@1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 壁配筋図(14)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-65号
京都府流域下水道事務所	



A-A 断面配筋図

平断面配筋図

KEY PLAN

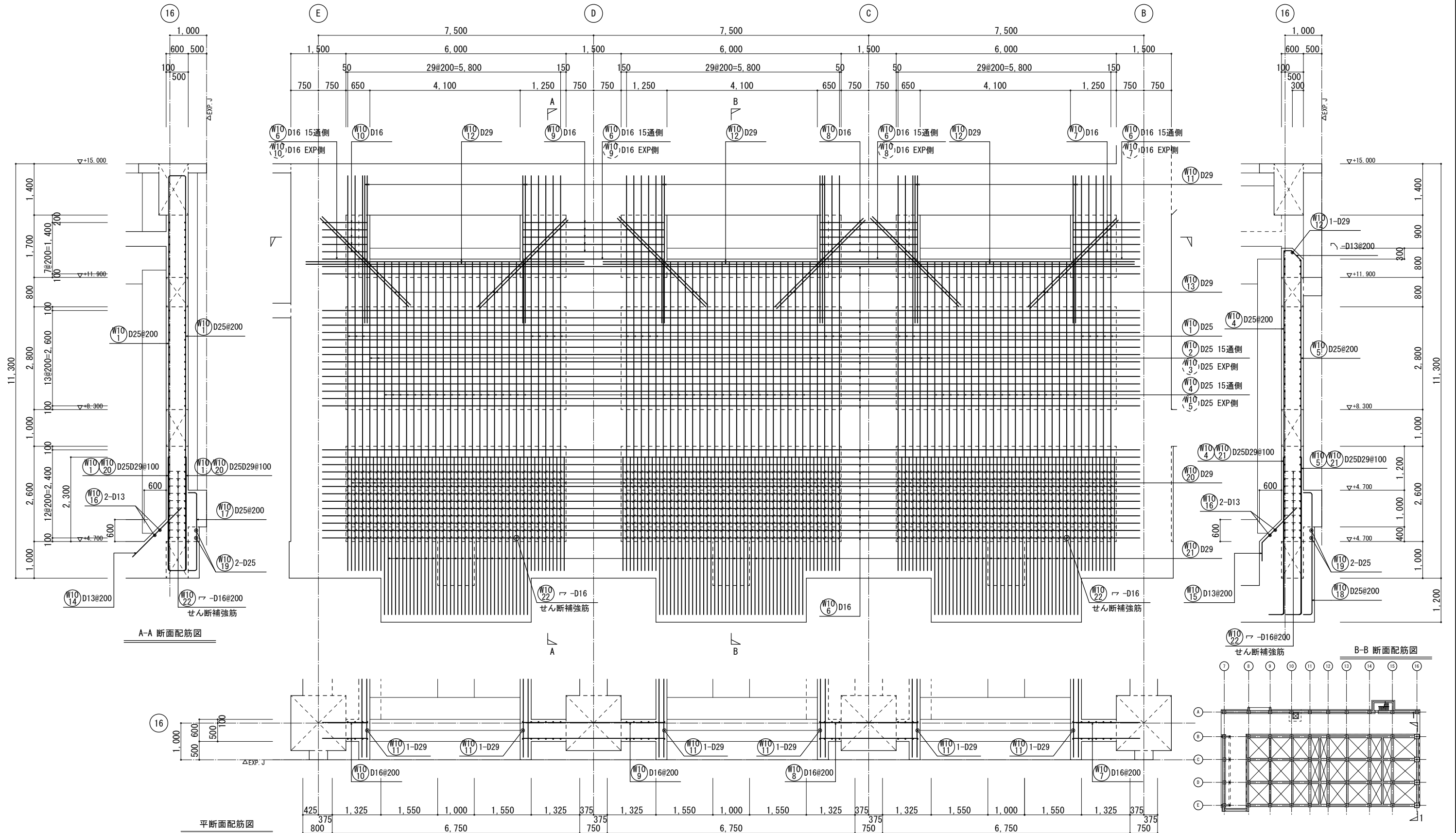
開口補強筋要領

- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。

1-1 壁配筋図 1/50

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

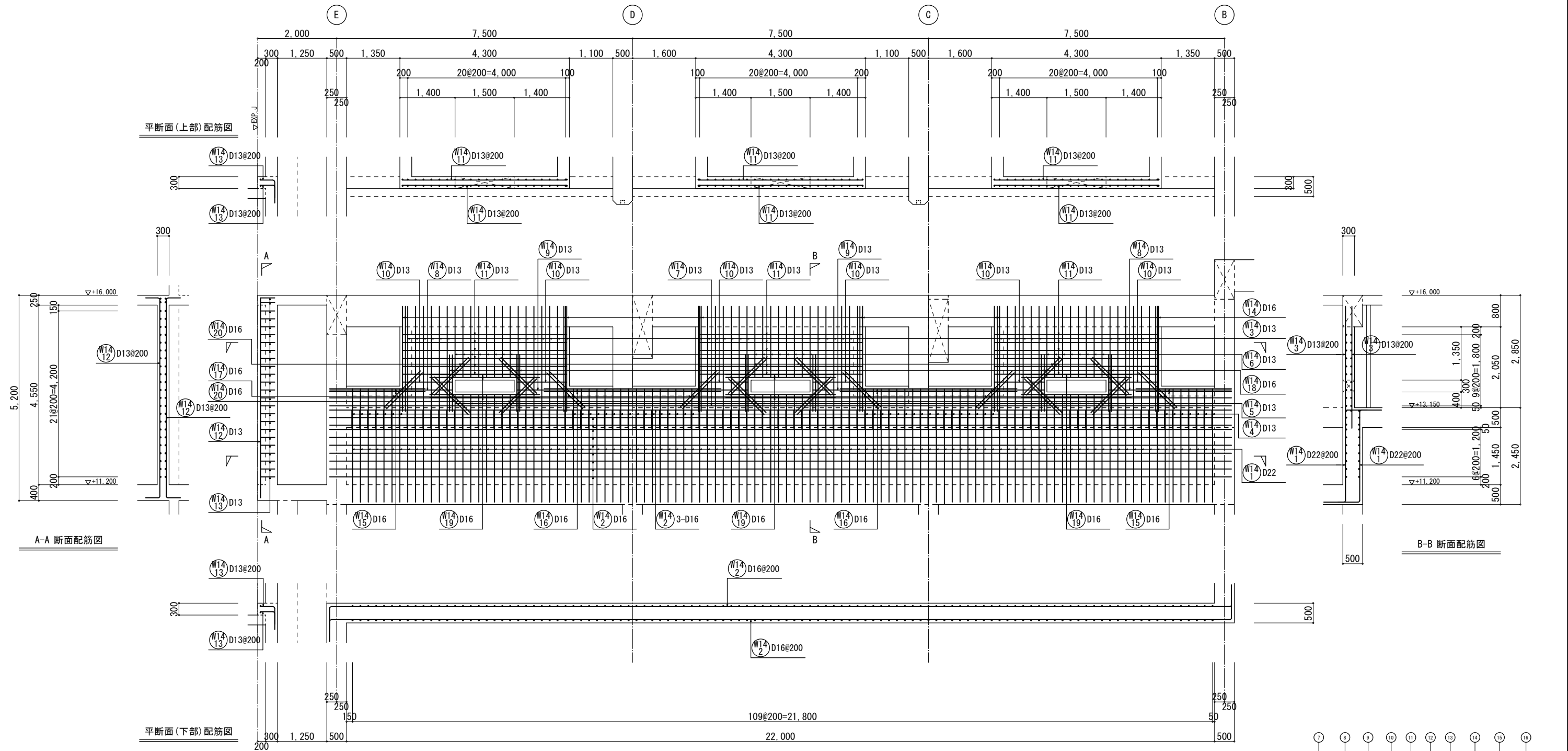
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(15)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-66 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



1-1 壁配筋図 1/50 W10

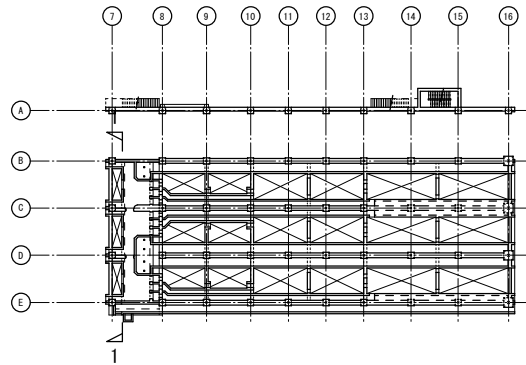
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

KEY PLAN	工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
	工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
	施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
	図 名	反応槽 壁配筋図(16)
	縮 尺	1/50
図面番号	全	枚中 2S-67 号
	京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



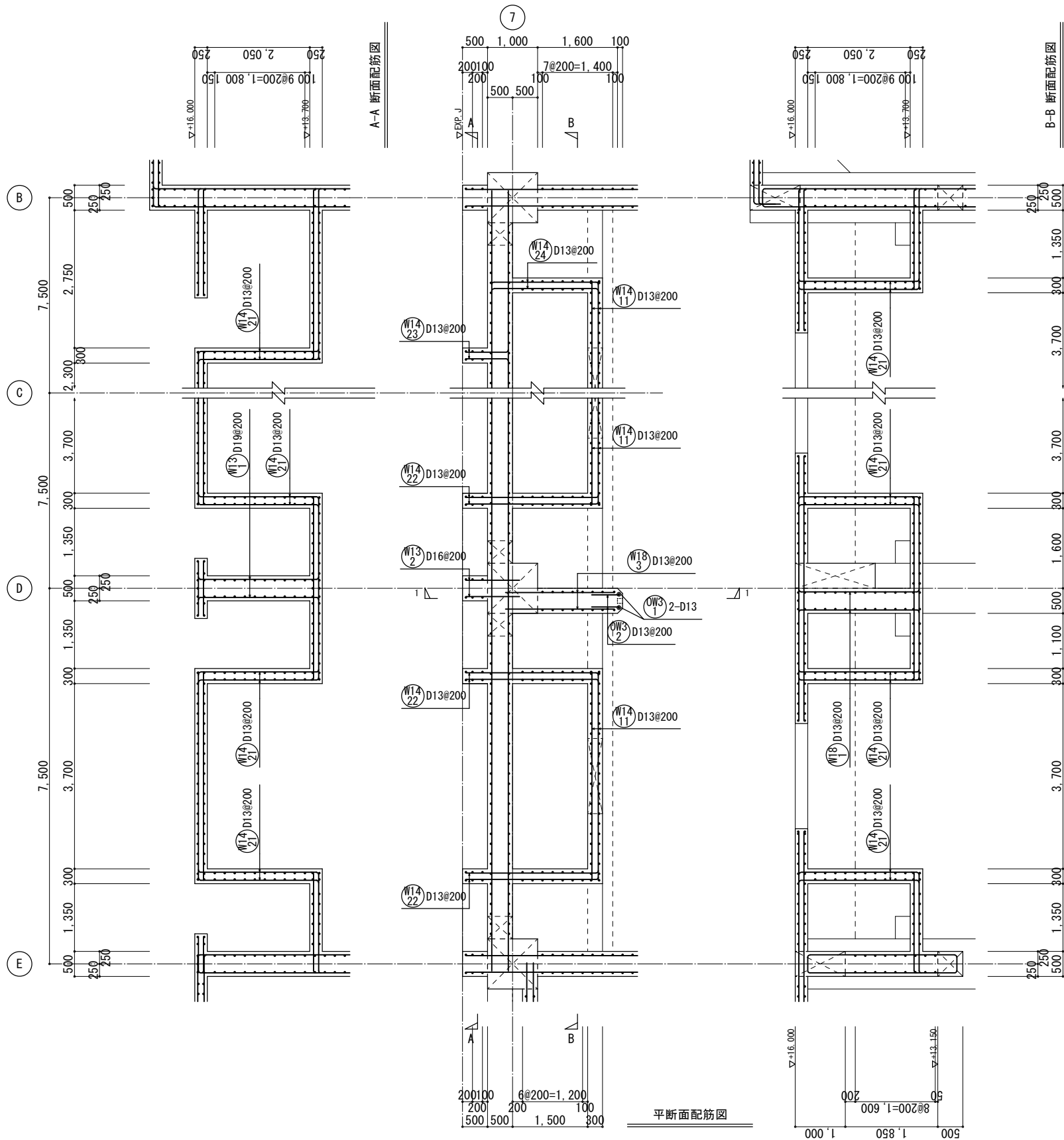
1-1 壁配筋図 1/50 W14

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ W-D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



KEY PLAN

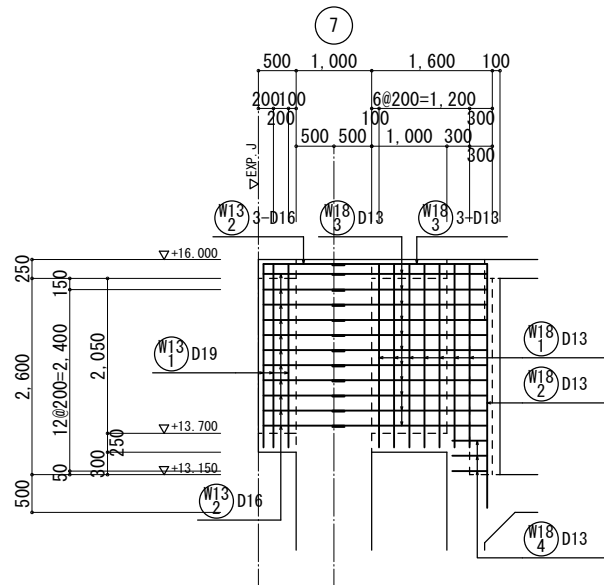
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(17)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-68号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



流入水路廻り配筋図

1/50

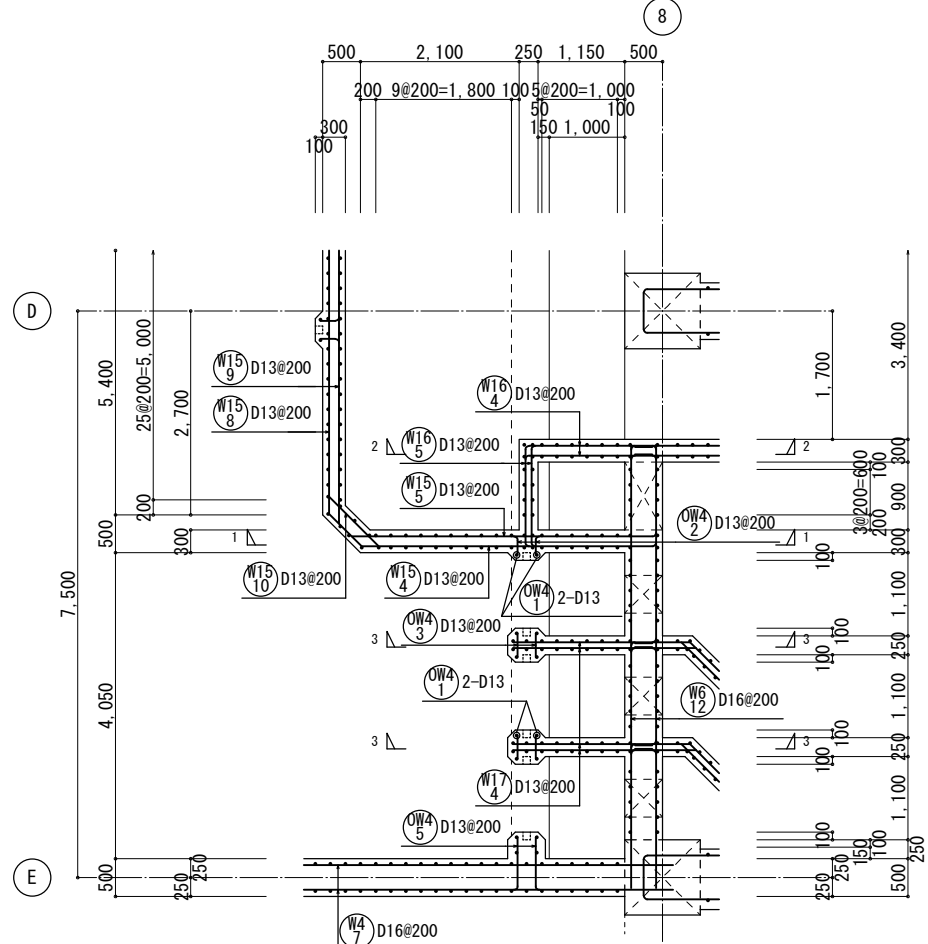
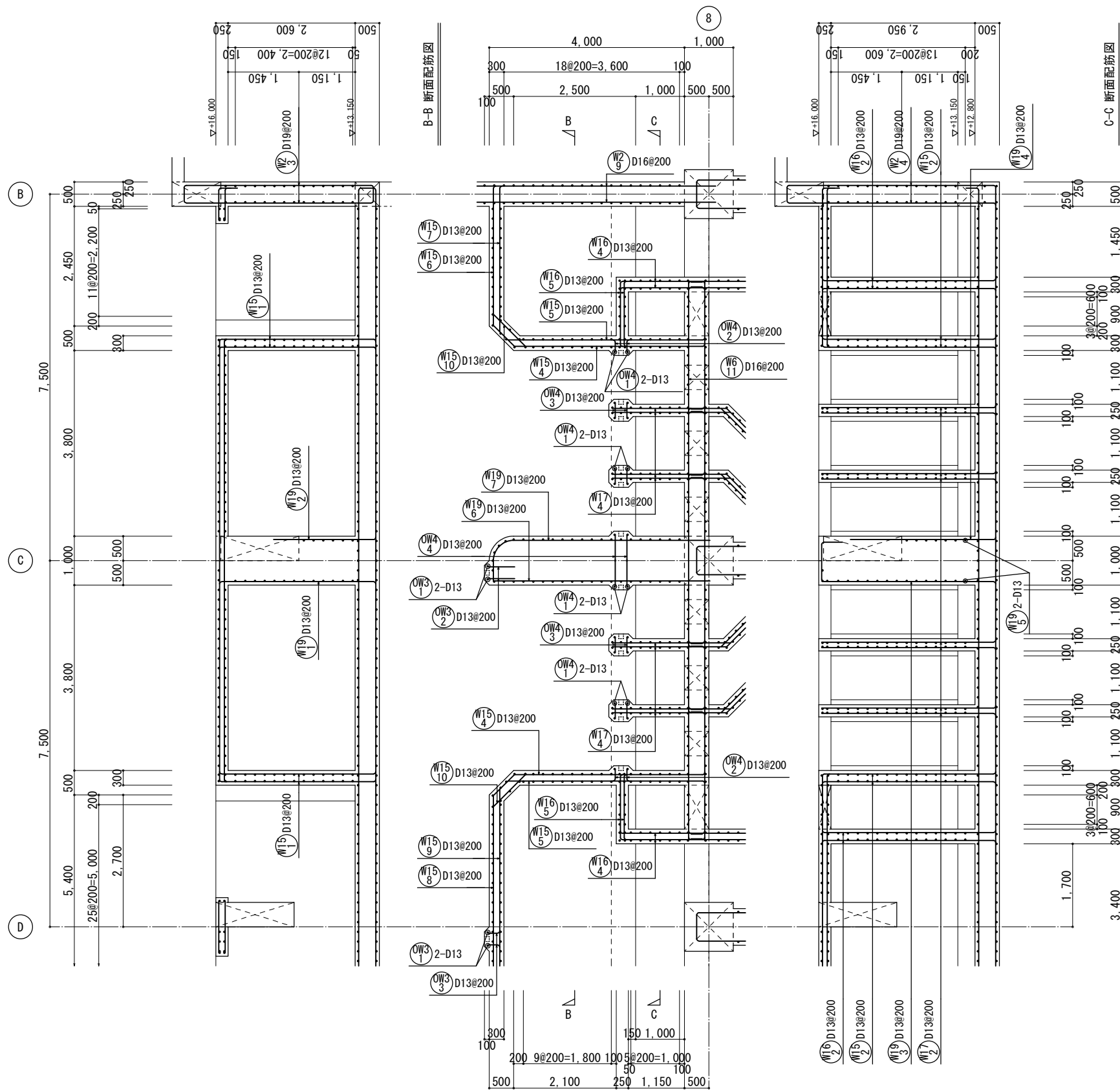
特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、ア-D13#1,000×1,000程度とする。



1-1 壁配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(18)
縮 尺	1／50
図面番号	全 枚中 2S-69号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



1-1 壁配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。

2-2 壁配筋図

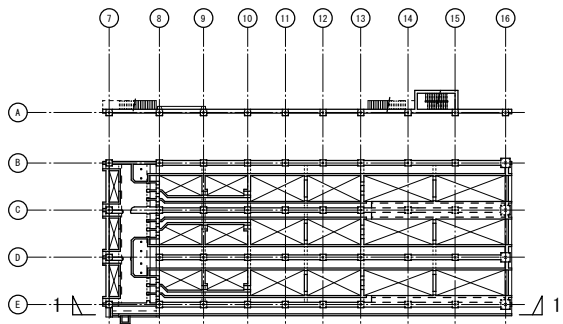
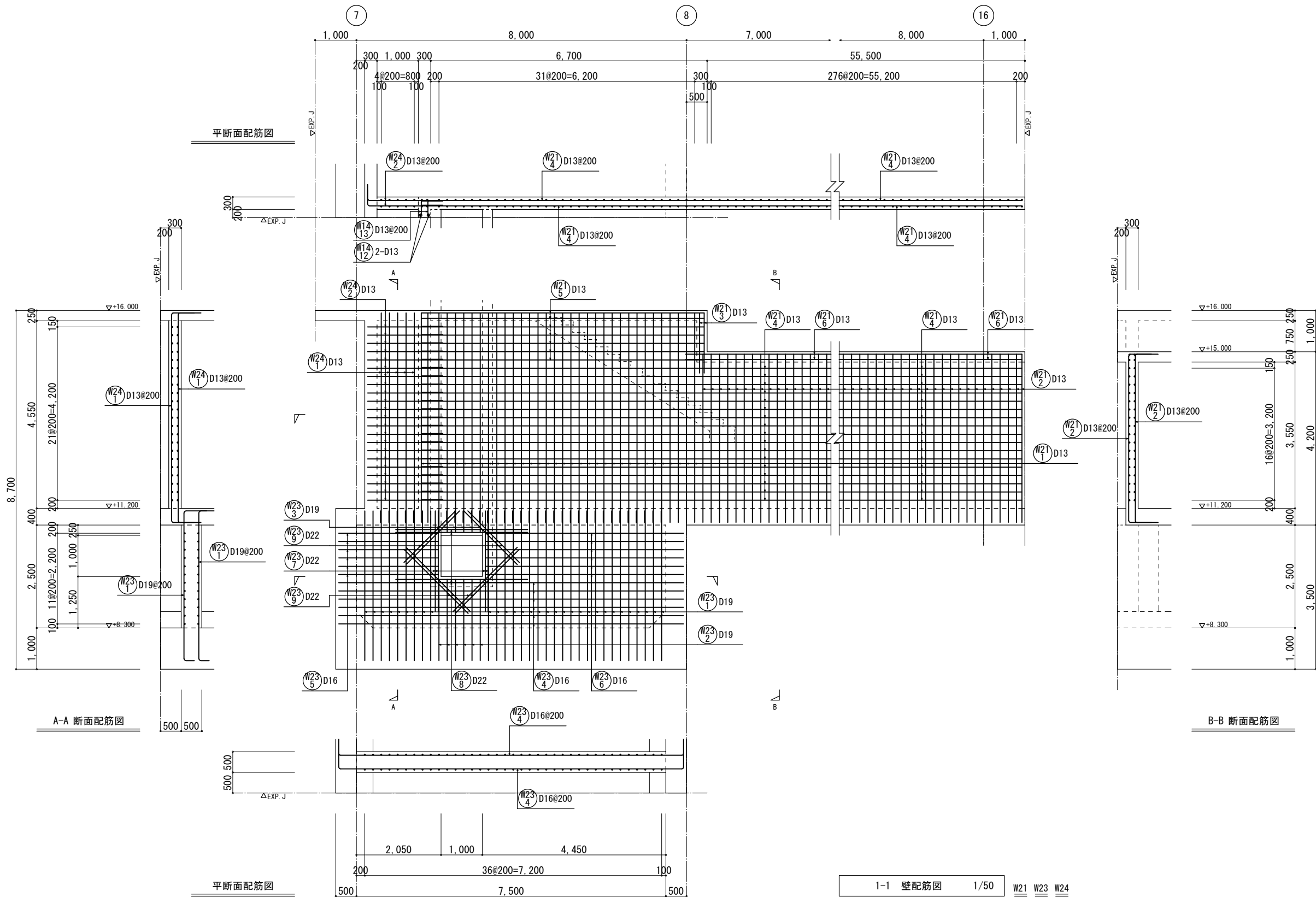
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。

3-3 壁配筋図

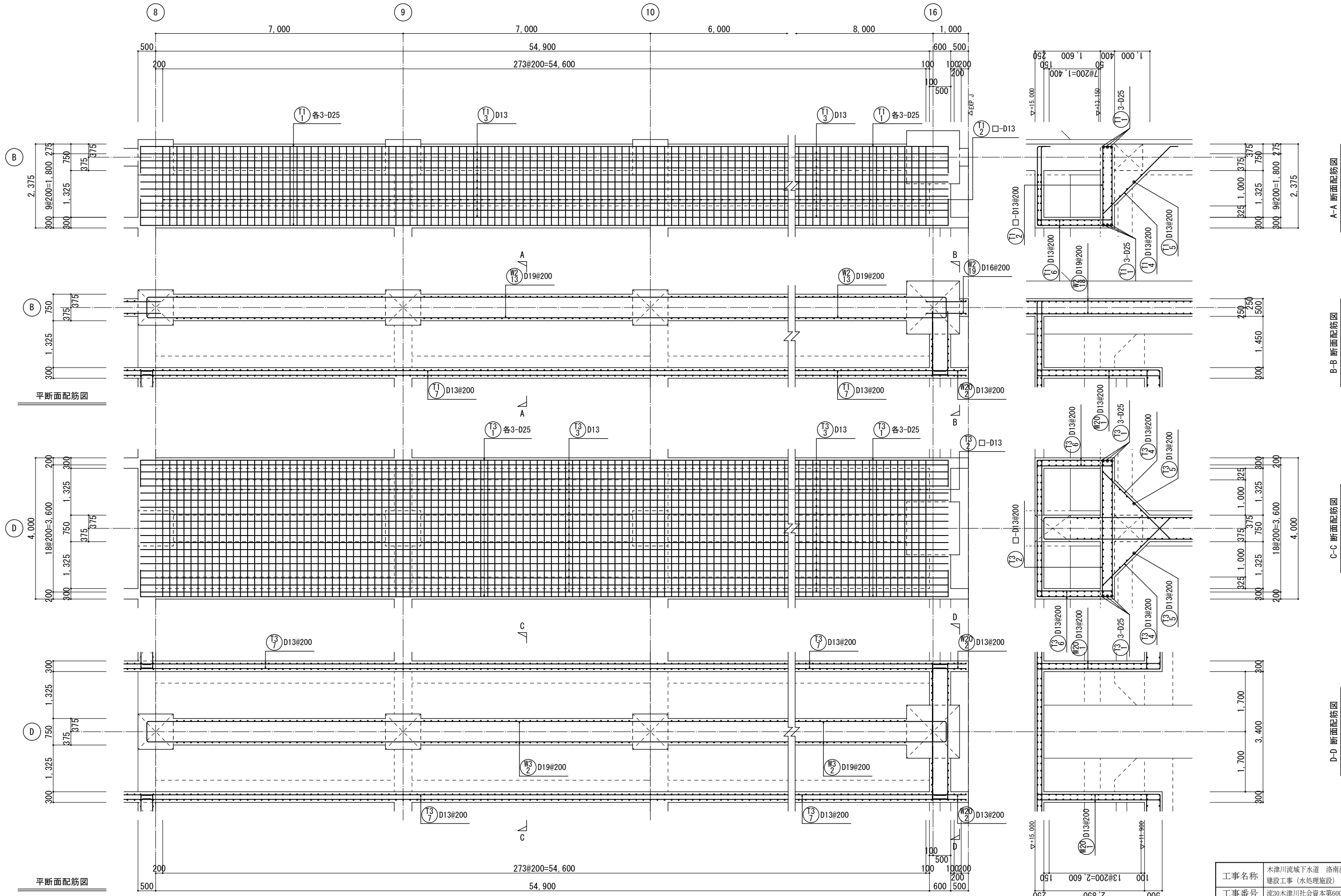
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。

特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、 $\square$ W-D13 ϕ 1,000 $\times$ 1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 壁配筋図(19)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-70 号
京都府流域下水道事務所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 壁配筋図(20)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-71 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



平断面配筋図

平断面配筋図

A-A 断面配筋図

B-B 断面配筋図

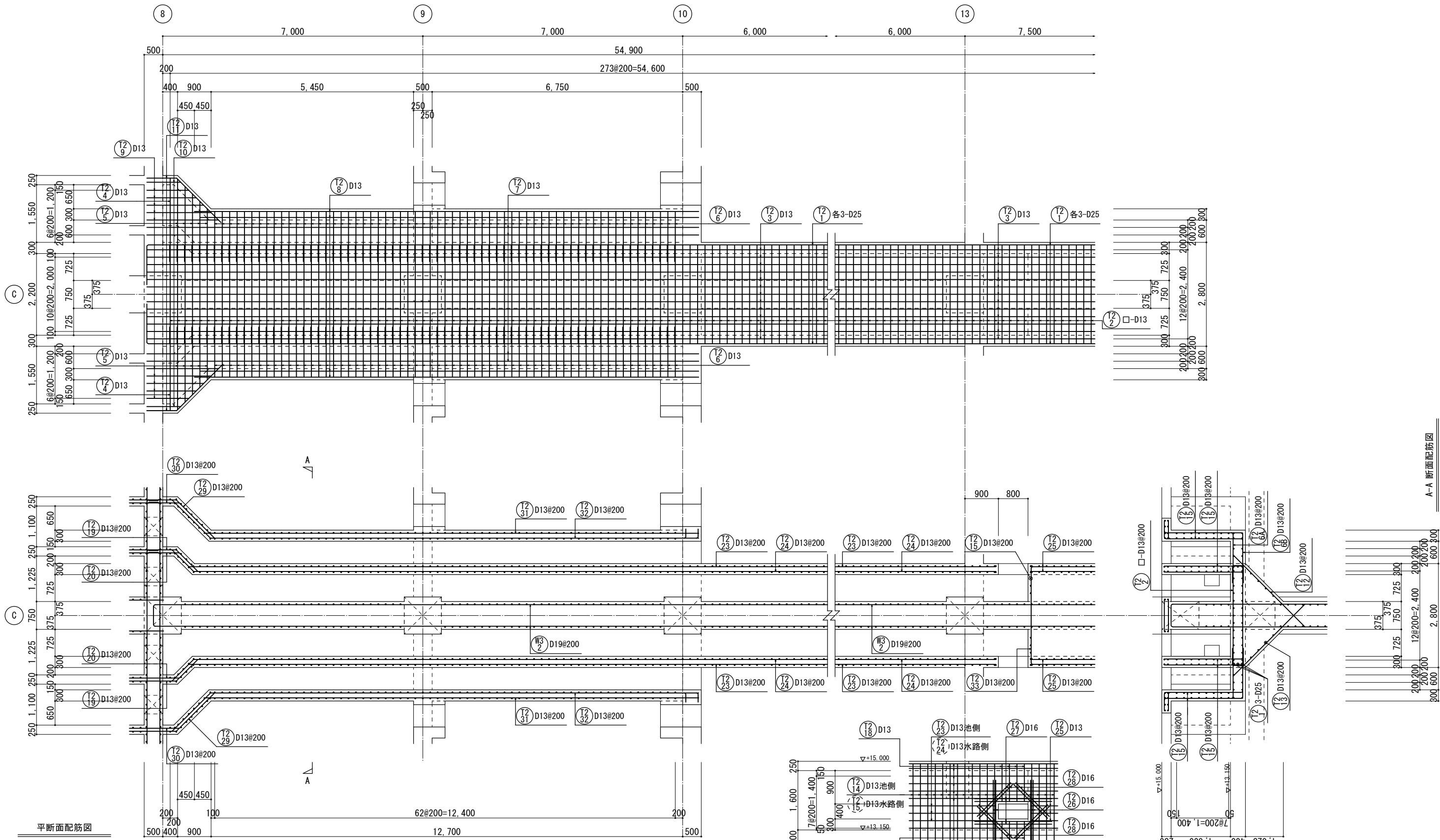
C-C 断面配筋図

D-D 断面配筋図

トラフ配筋図 1/50 T1 T3

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 床版組立筋は、□—D13@1,000×1,000程度とする。
 - 壁幅止め筋は、フ—D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図 (21)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-72 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



平面配筋図

C

C

トラフ配筋図 1/50 T2

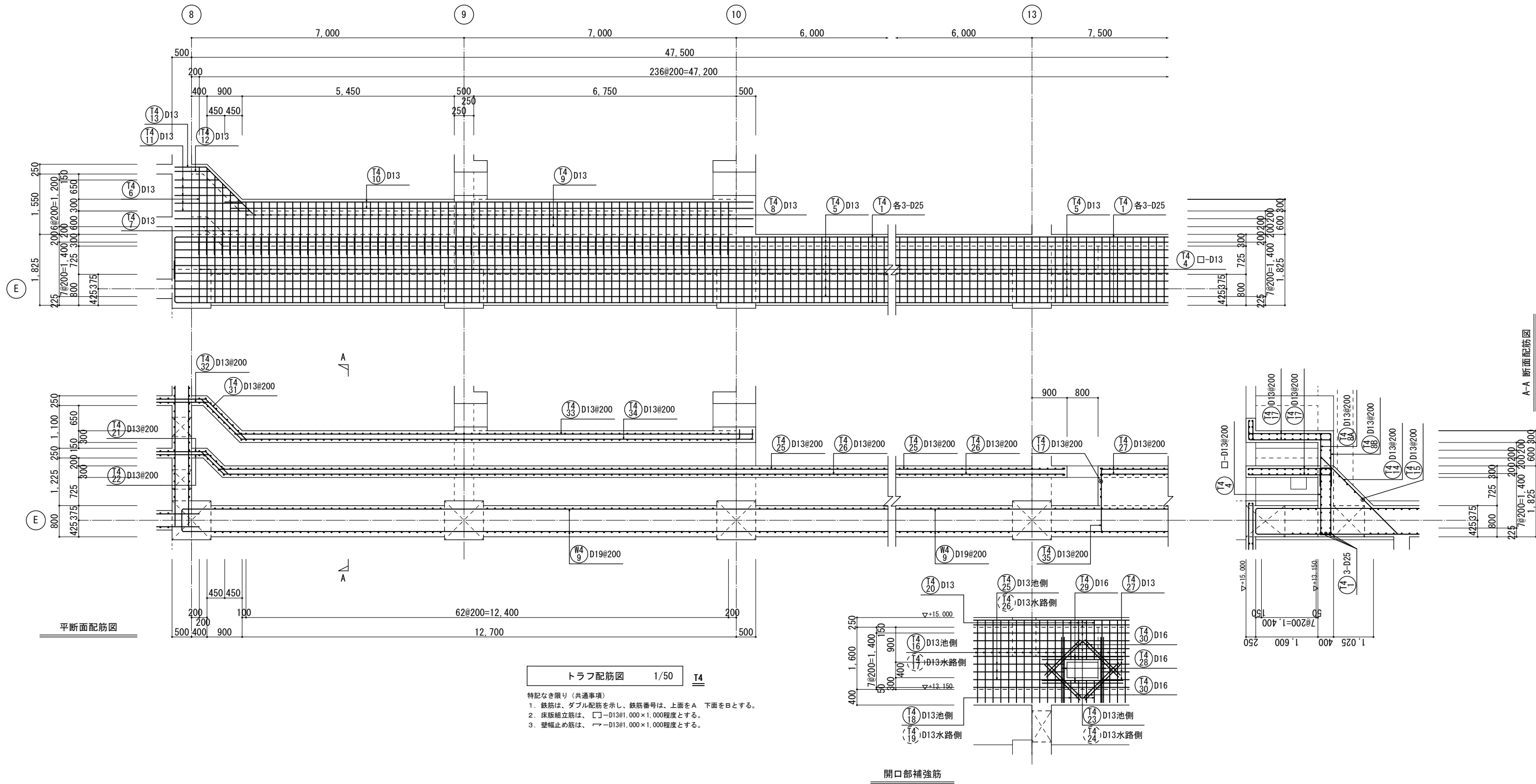
特記なき限り（共通事項）

1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

2. 床版組立筋は、□—D13@1,000×1,000程度とする。

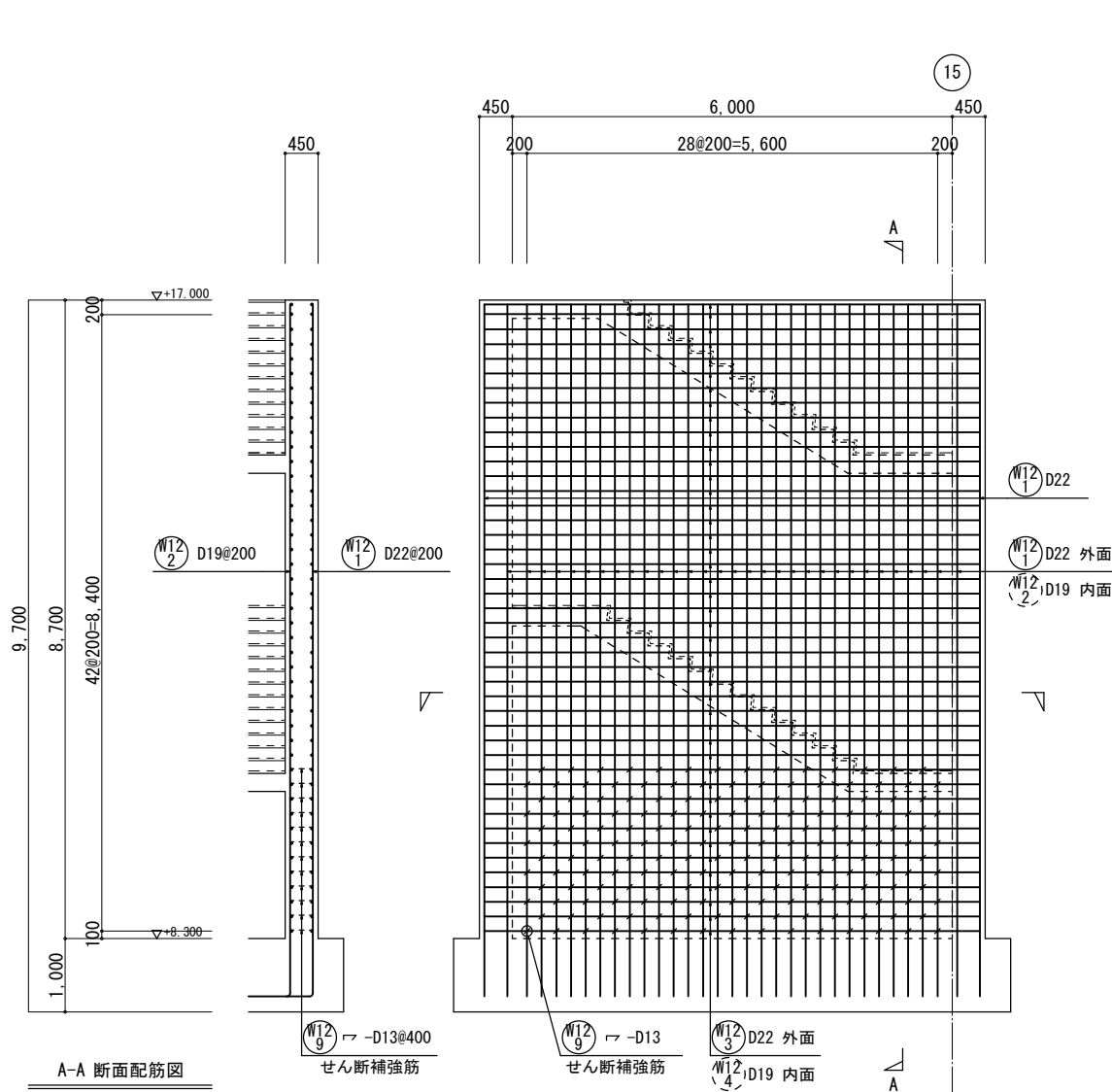
3. 壁幅止め筋は、↗—D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図 (22)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-73 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



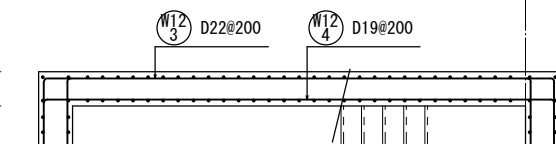
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図(23)
縮 尺	1／50
図面番号	全 枚中 2S-74 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の
施工箇所	八幡市八幡橋木 地内
図 名	反応槽 壁配筋図 (24)
縮 尺	1/50
図面番号	全 1 枚中 2S-75 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



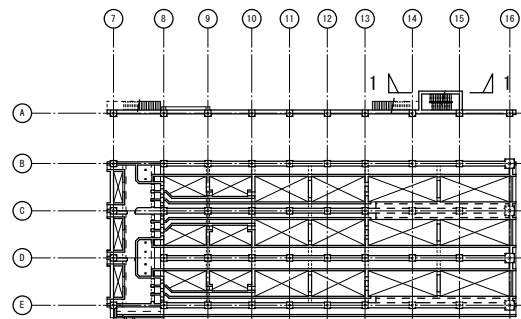
A-A 断面配筋図

平断面配筋図

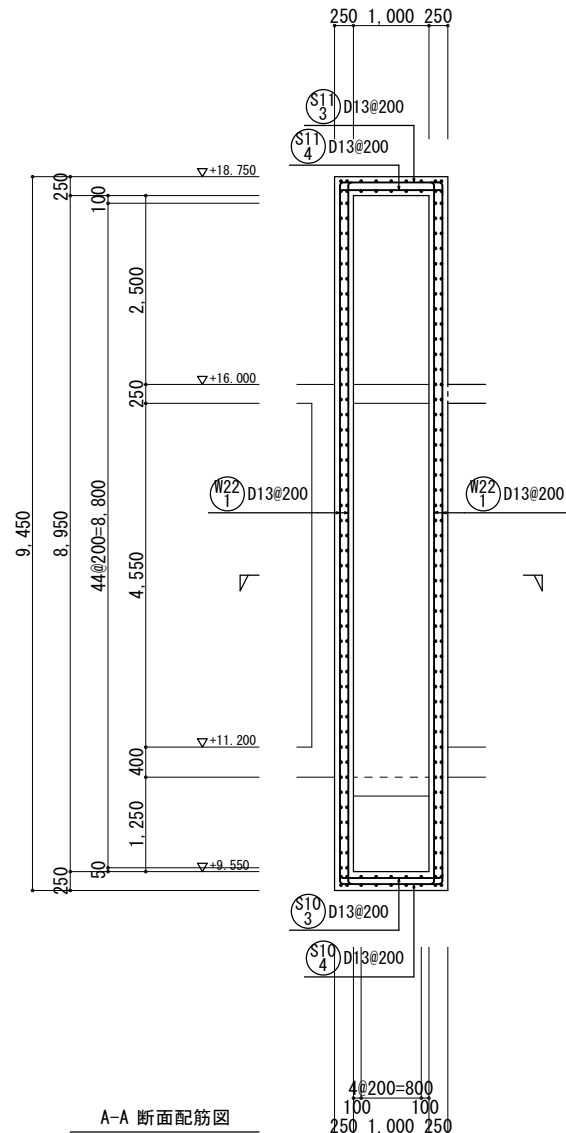


1-1 壁配筋図 1/50 W12

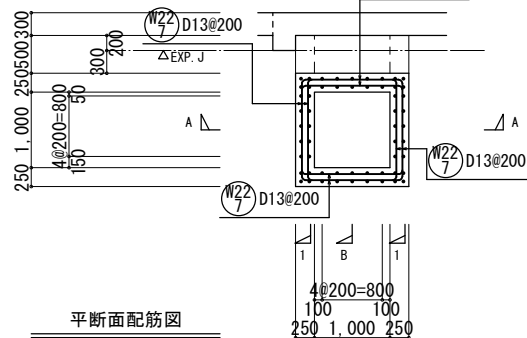
- 特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ —D13@1,000×1,000程度とする。



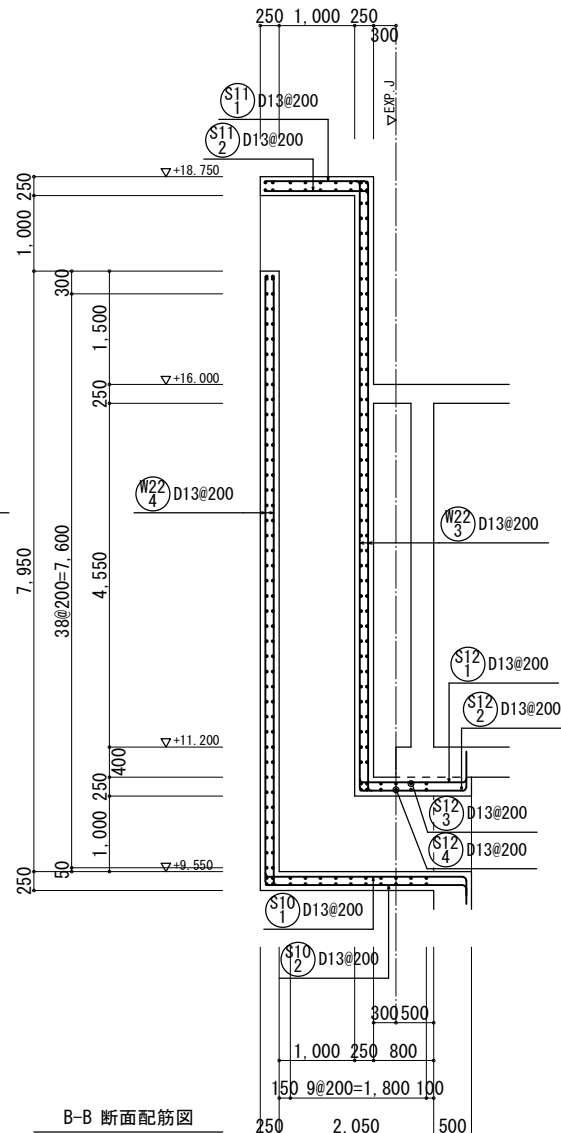
KEY PLAN



A-A 断面配筋図

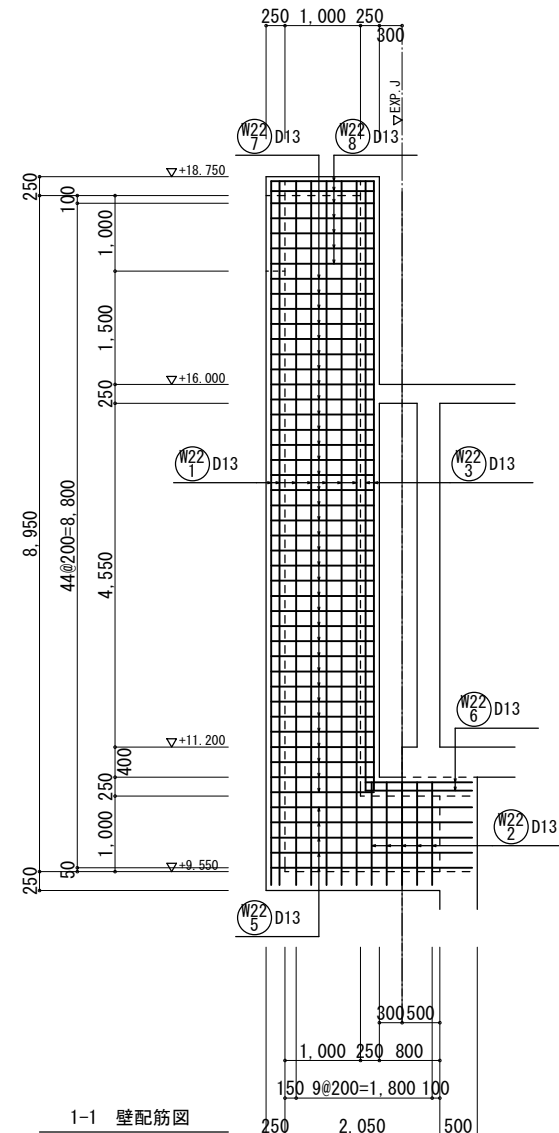


平断面配筋図



B-B 断面配筋図

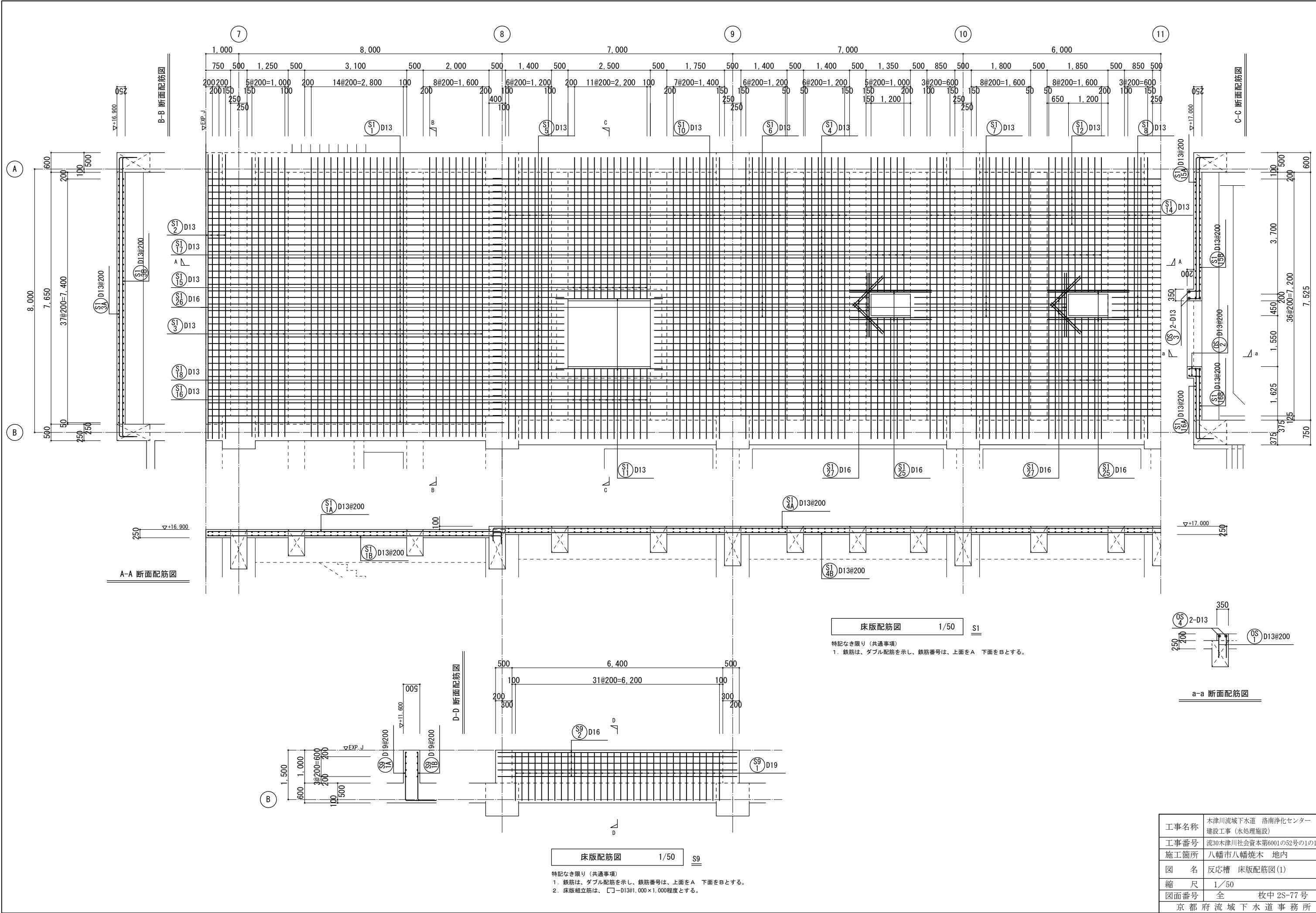
排気塔廻り配筋図 1/50



1-1 壁配筋図

- 特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ —D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 壁配筋図(25)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-76号
京都府流域下水道事務所	



A-A 断面配筋図

C-C 断面配筋図

D-D 断面配筋図

a-a 断面配筋図

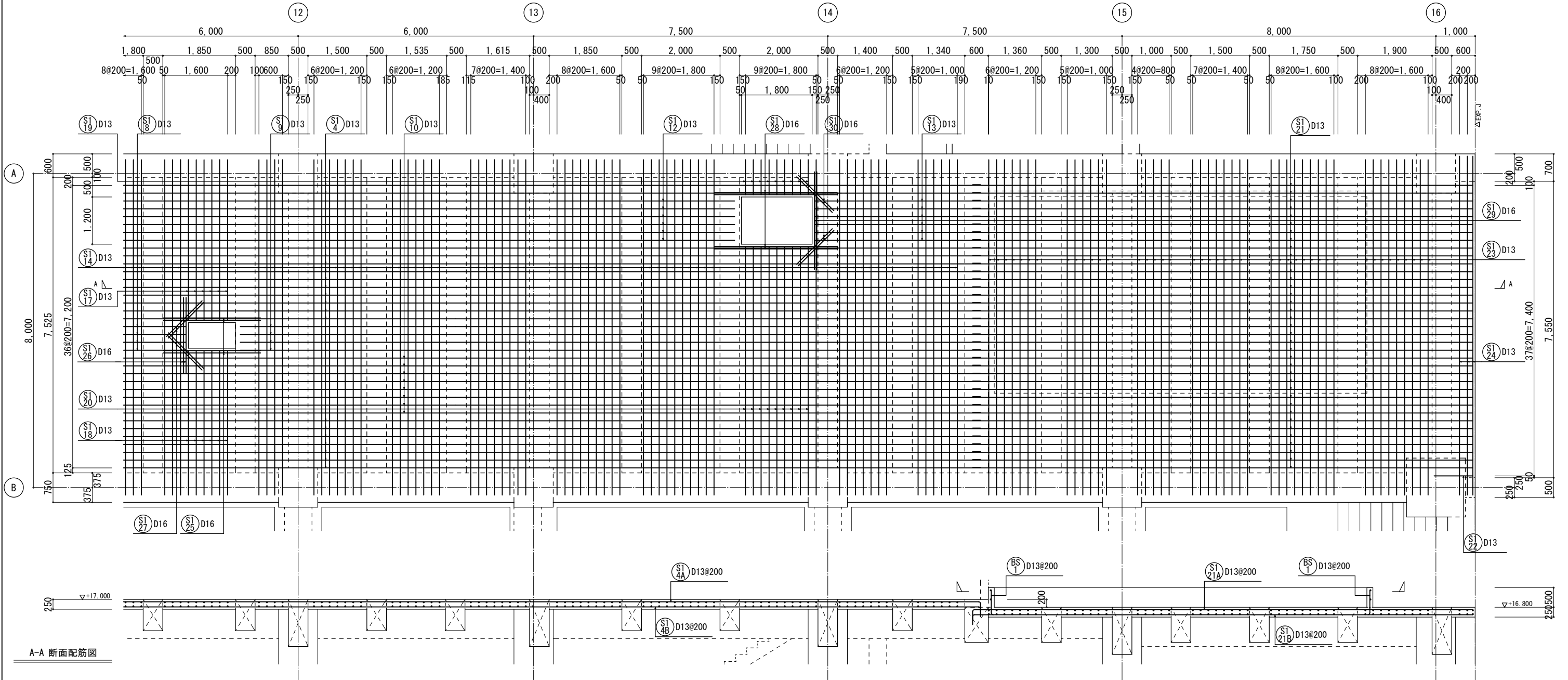
床版配筋図 1/50 S1

床版配筋図 1/50 S9

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 床版組立筋は、□-D13φ1,000×1,000程度とする。

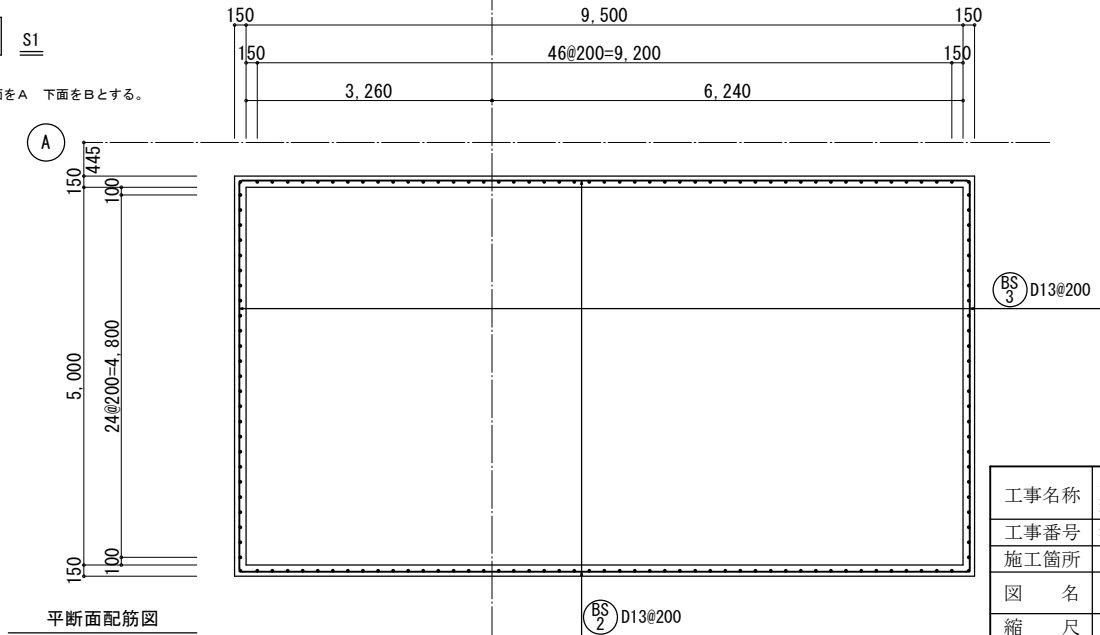
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 床版配筋図(1)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-77号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

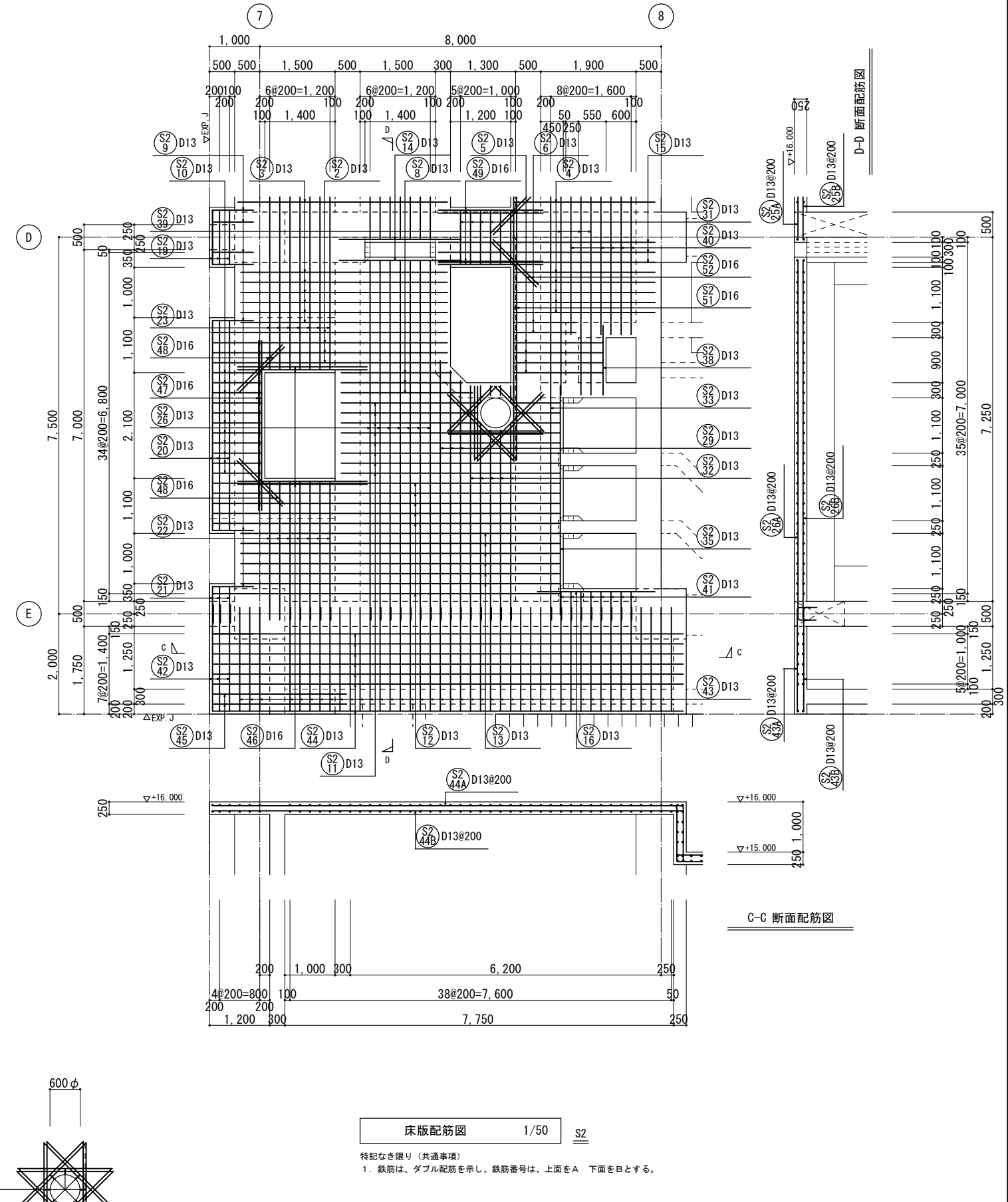
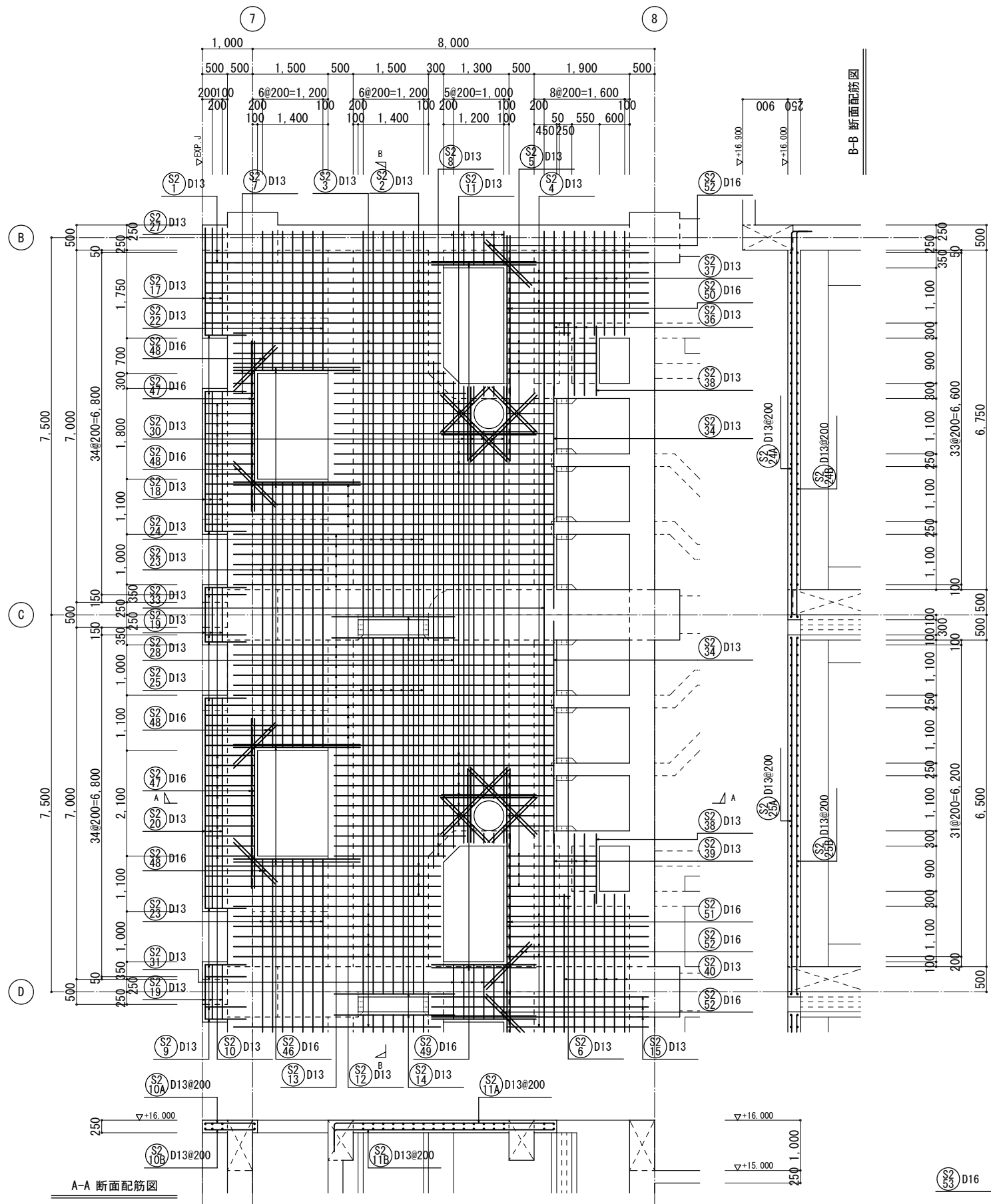
床版配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



断面配筋図

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 床版配筋図(2)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-78号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

B-B 断面配筋図

C-C 断面配筋図

D-D 断面配筋図

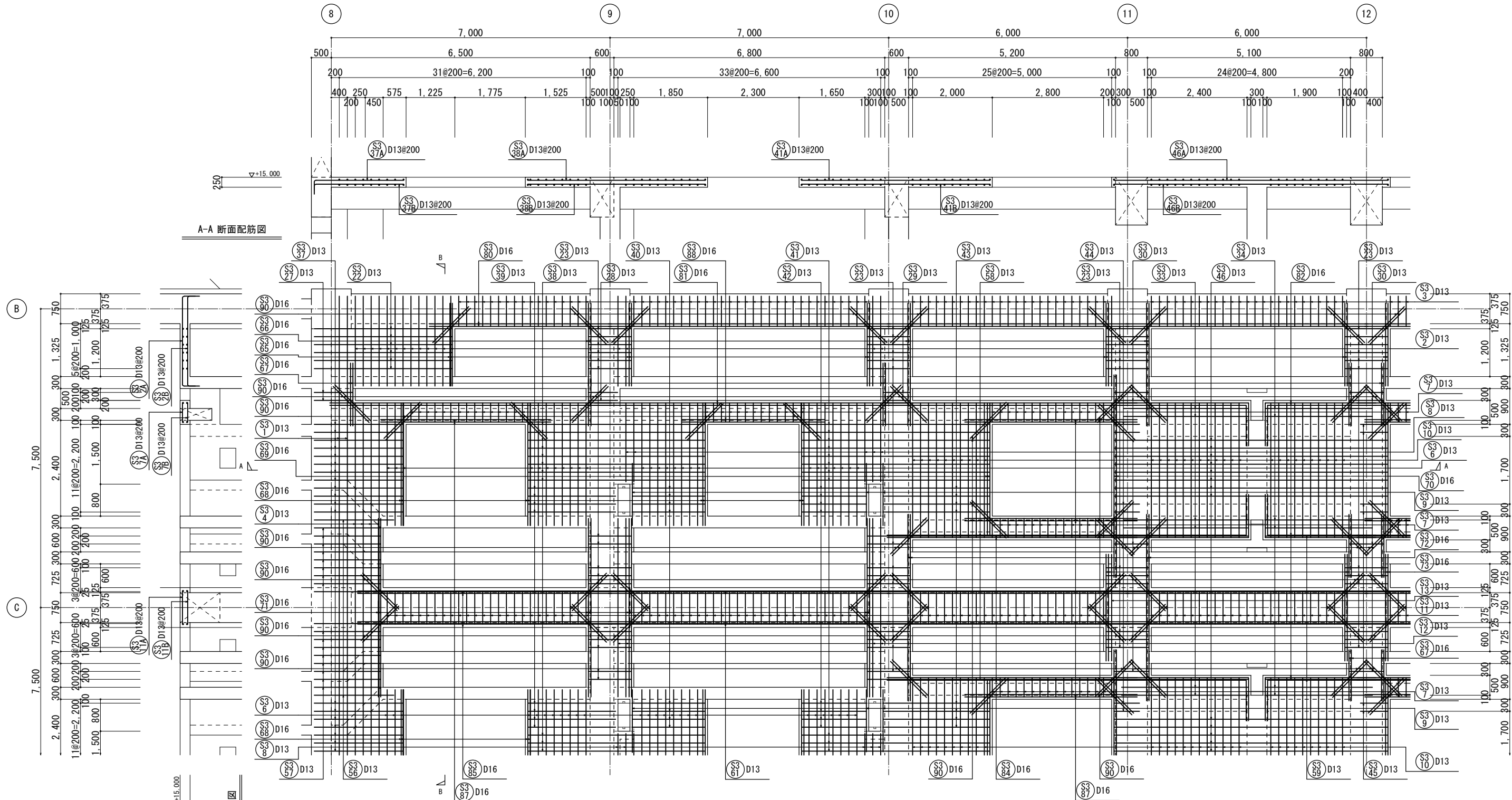
床版配筋図 1/50 S2

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

開口部補強筋

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 床版配筋図(3)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-79号

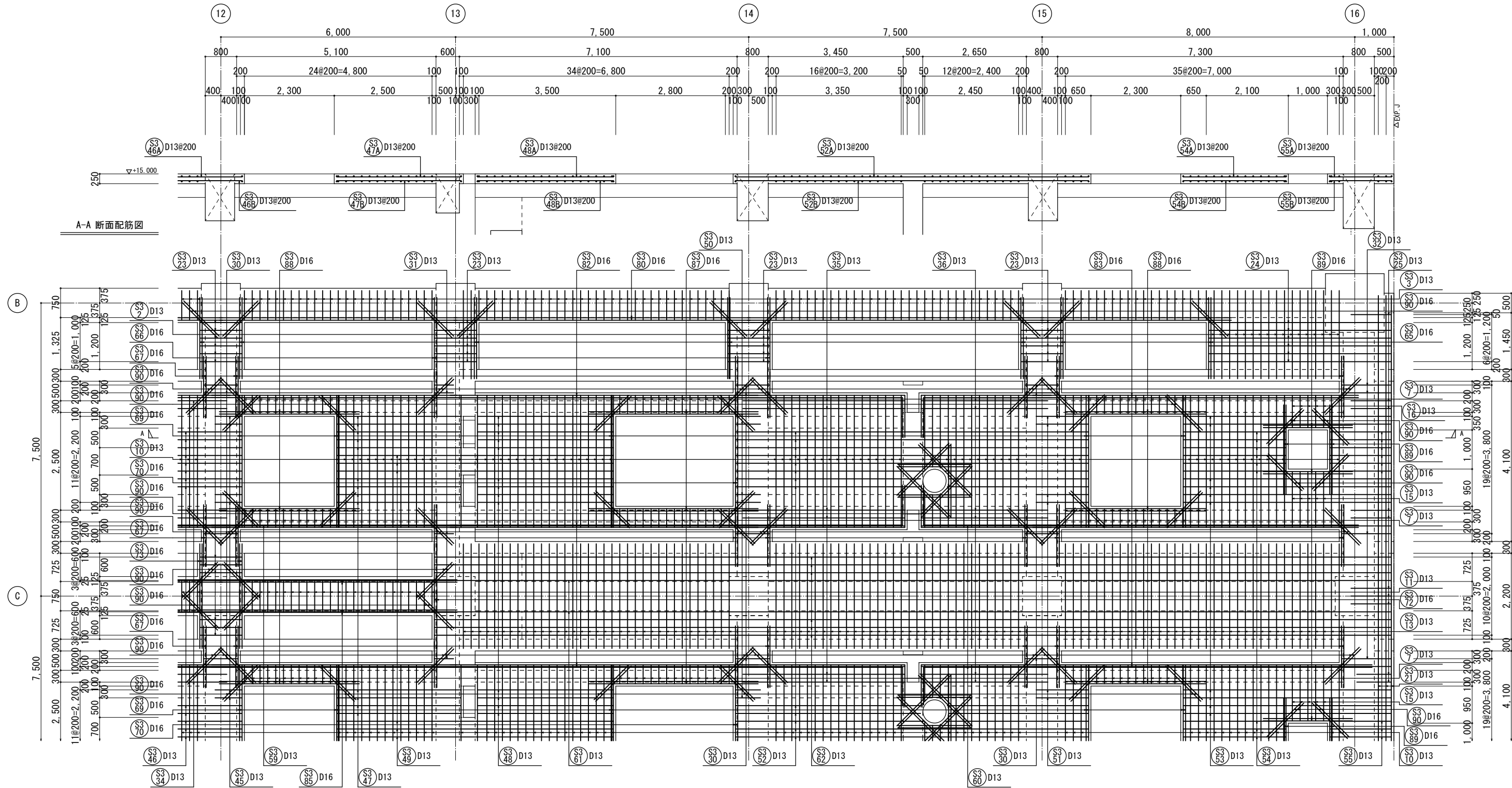
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所



床版配筋図 1/50 S3

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

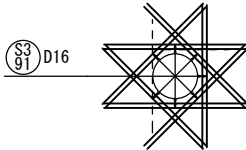
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 床版配筋図(4)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-80号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

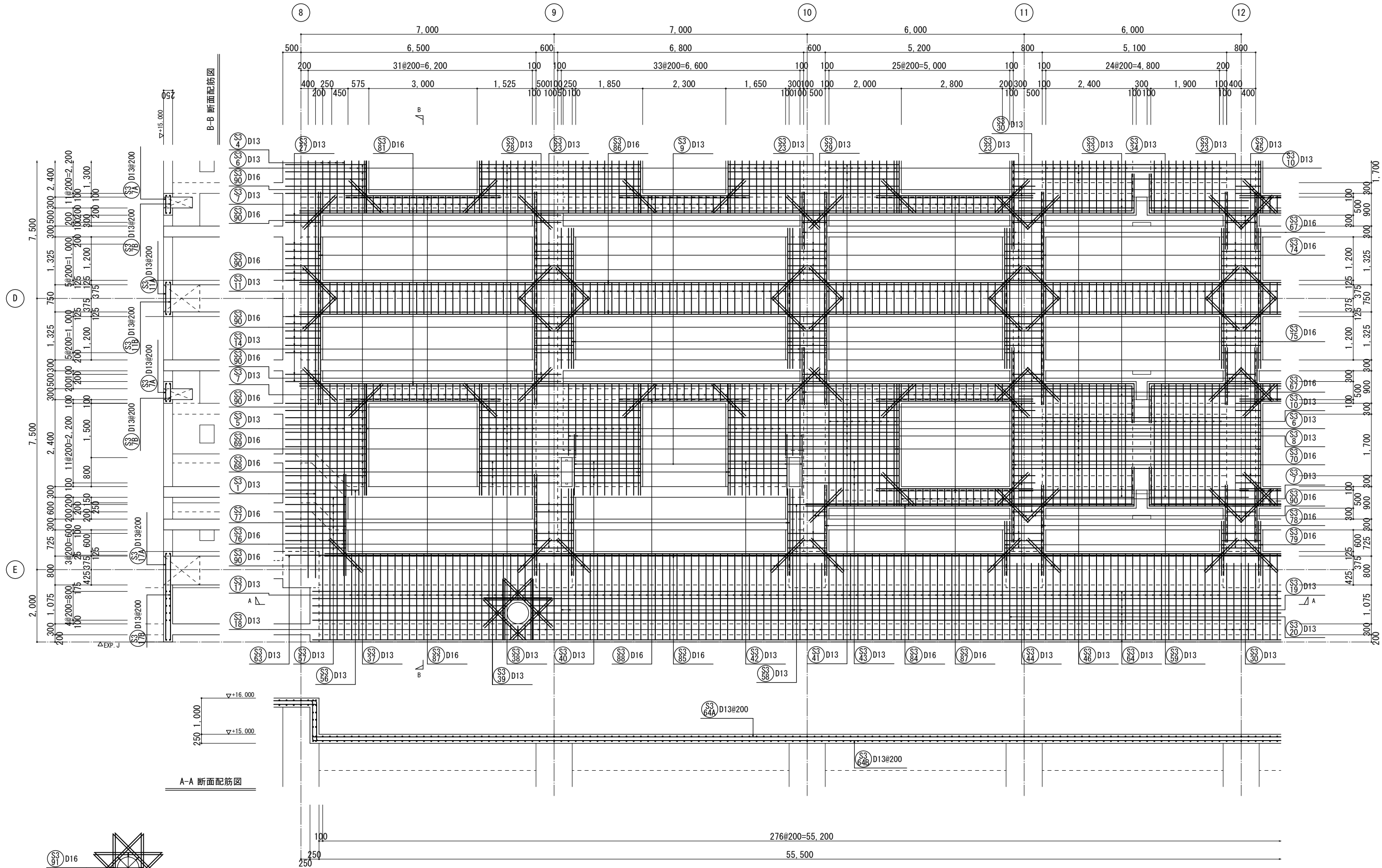
床版配筋図 1/50 S3

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



開口部補強筋

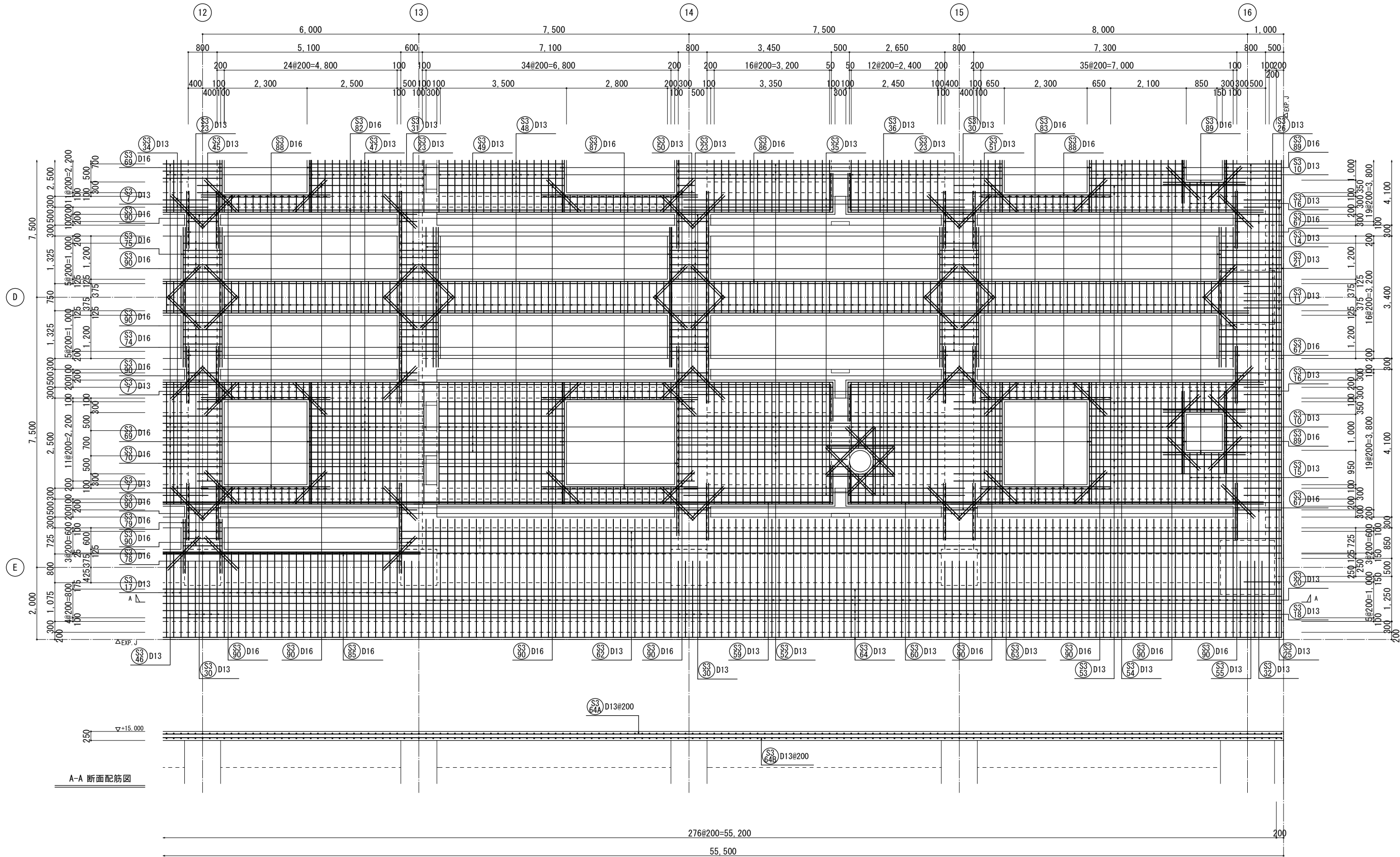
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 床版配筋図(5)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-81号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



床版配筋図 1/50 S3

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

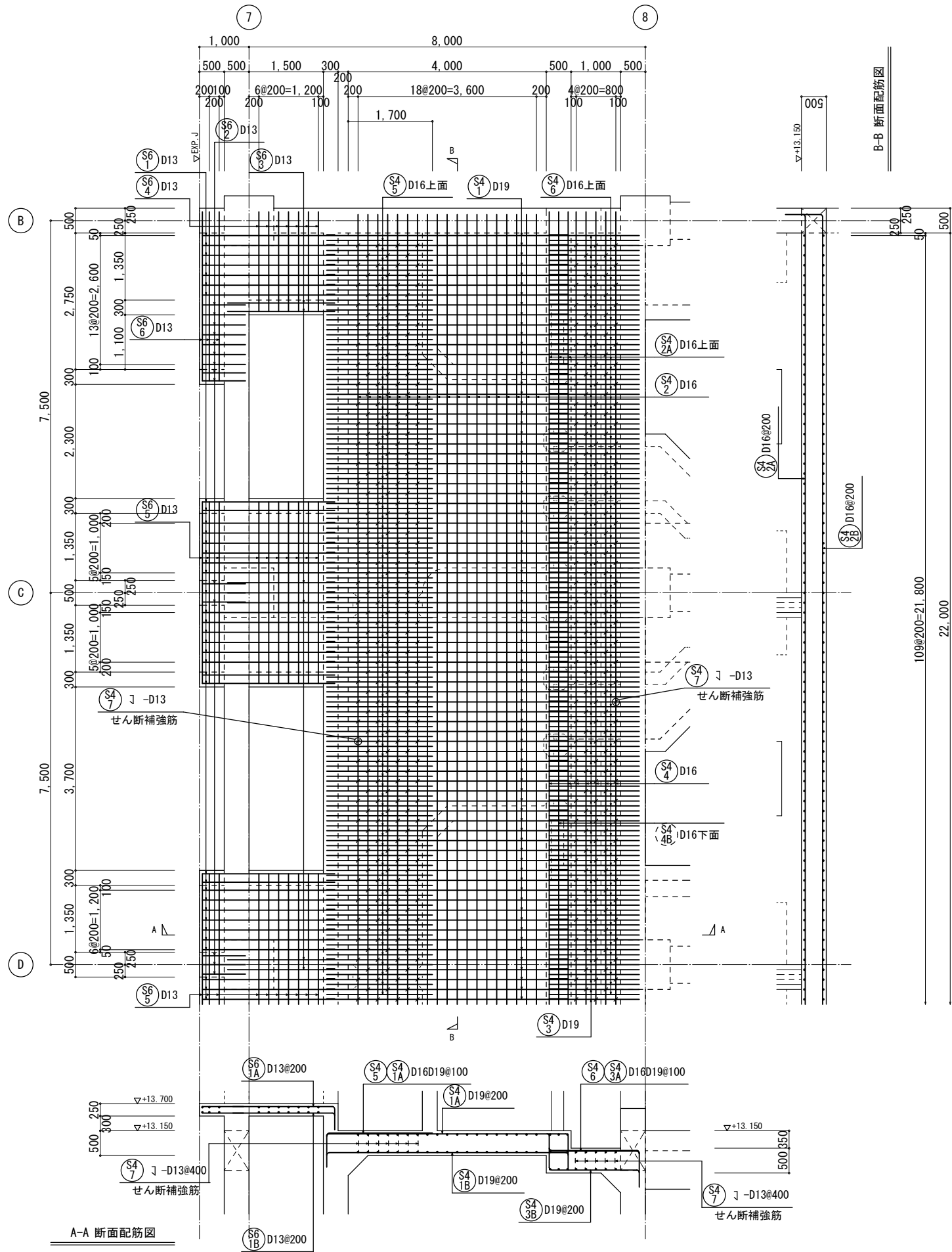
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 床版配筋図(6)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-82号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



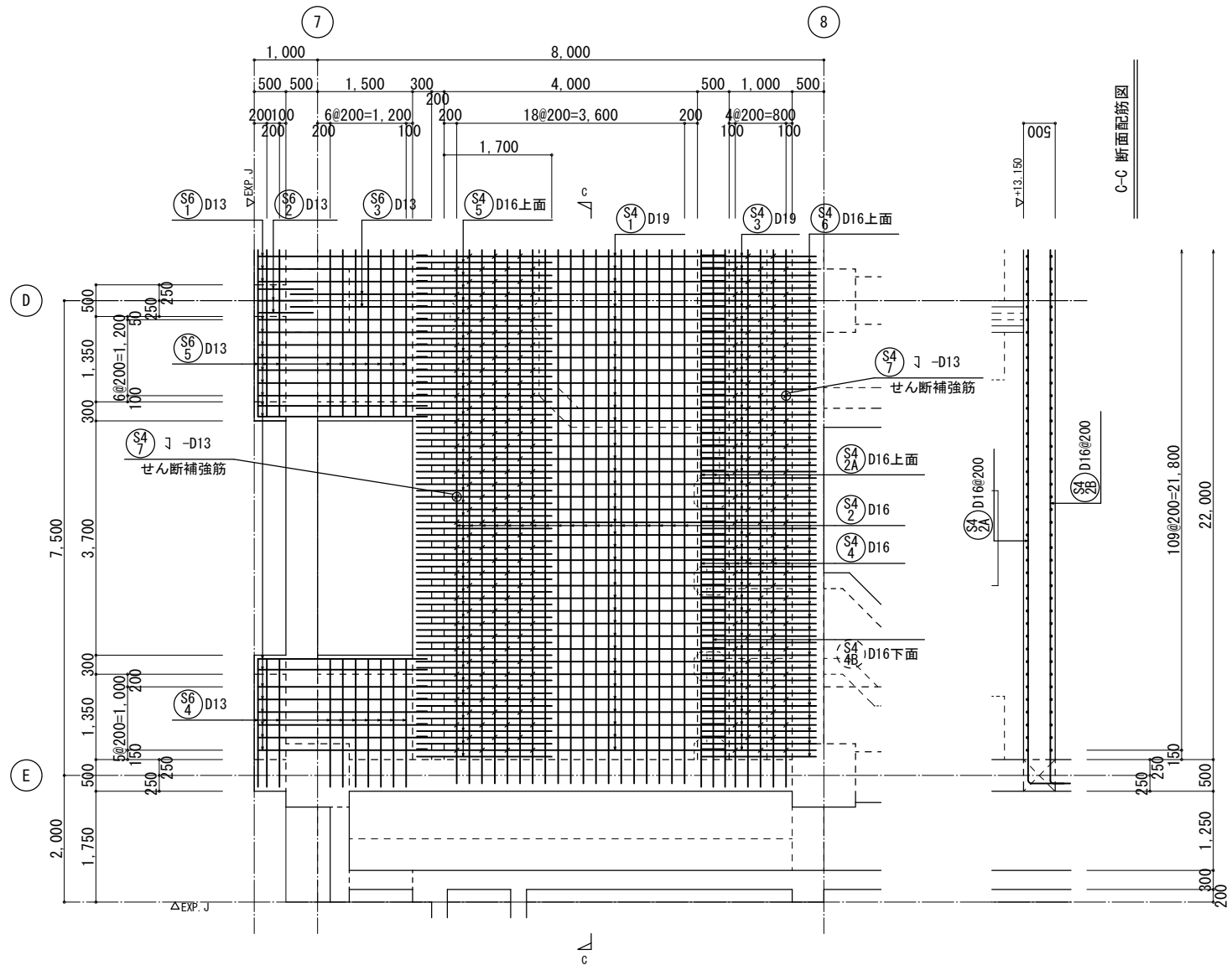
床版配筋図 1/50 S3

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 床版配筋図(7)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-83号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



B-B 断面配筋図



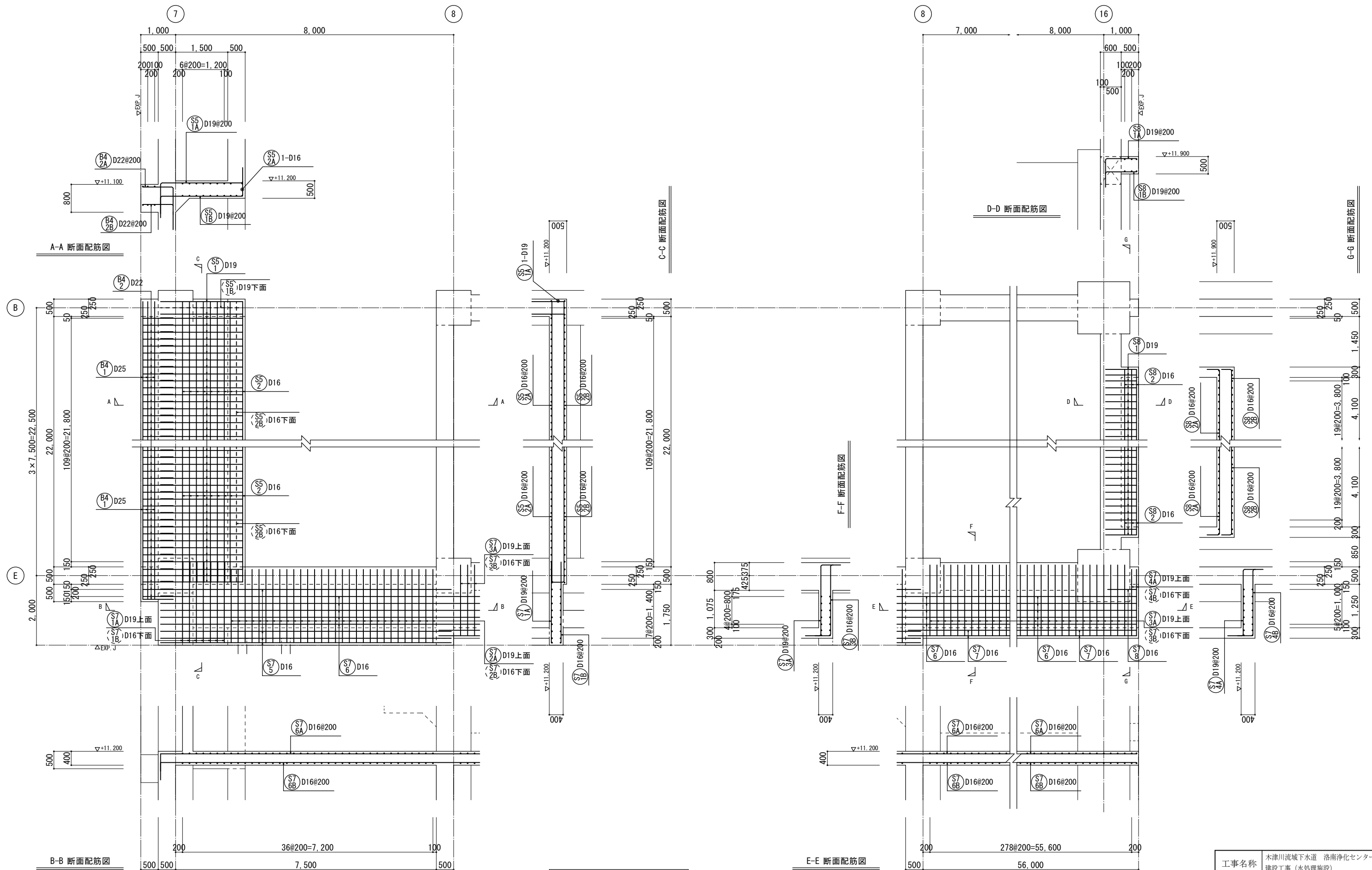
C-C 断面配筋図

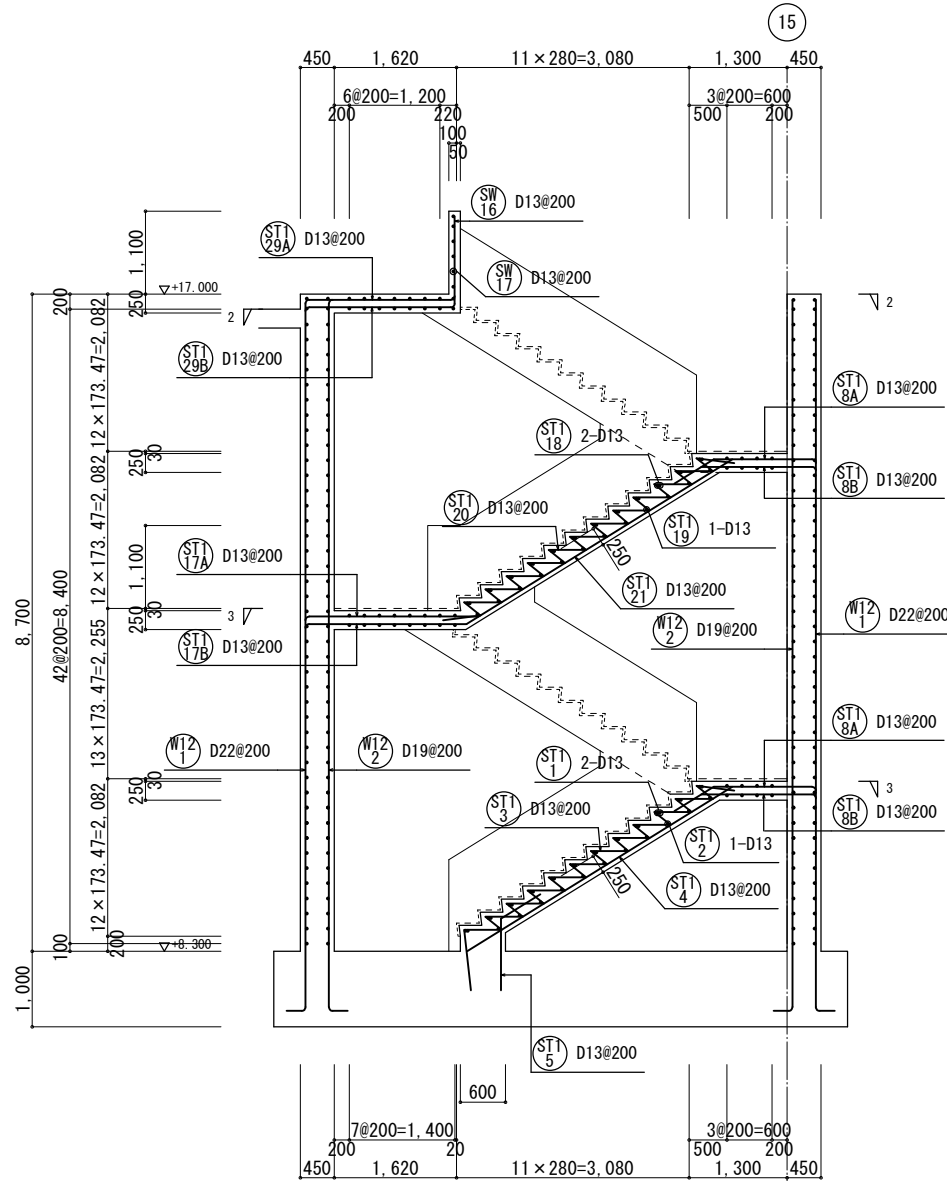
床版配筋図 1/50 S4 S6

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 床版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、組立筋兼用とする。

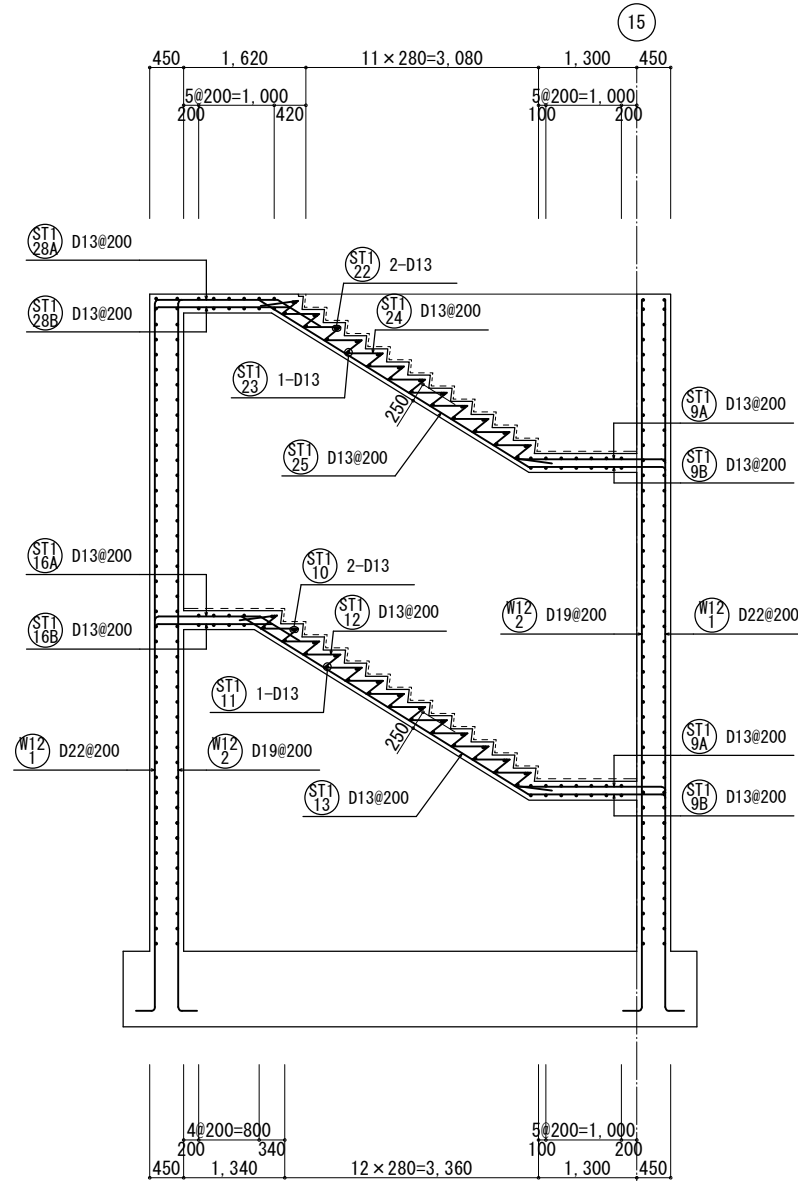
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	反応槽 床版配筋図(8)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-84号

京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所

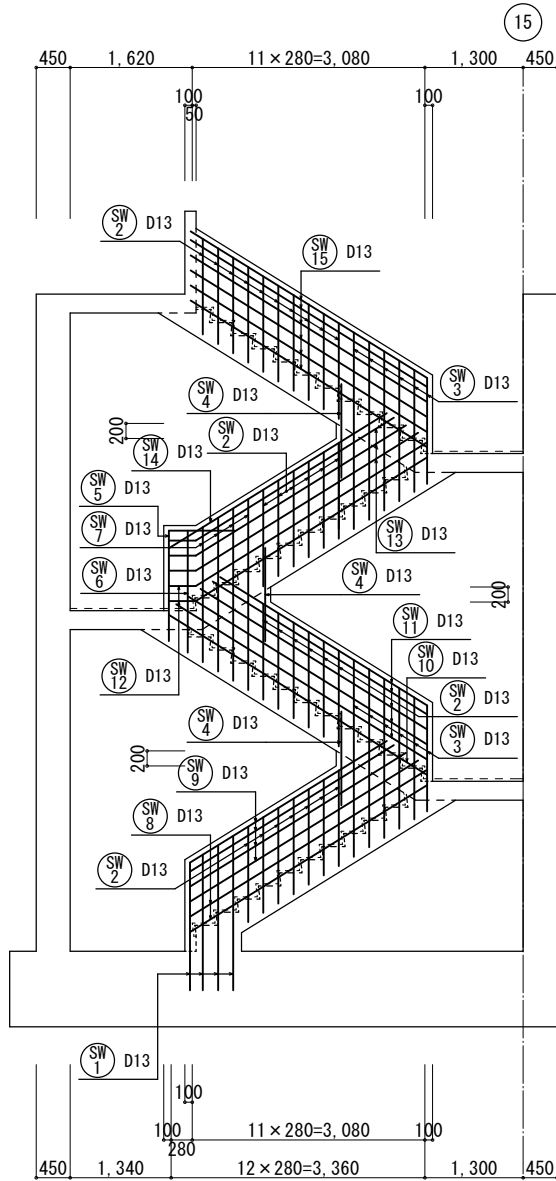




A-A 断面配筋図

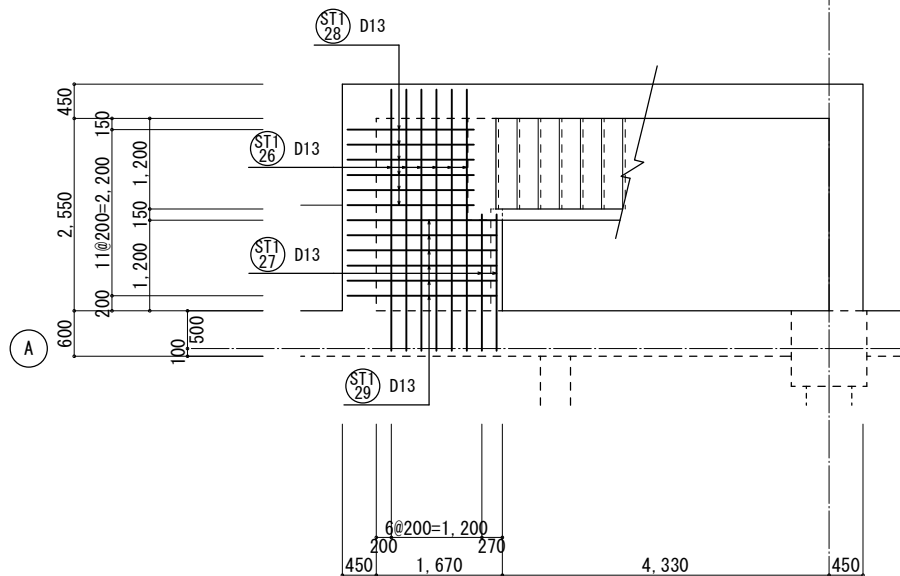


B-B 断面配筋図



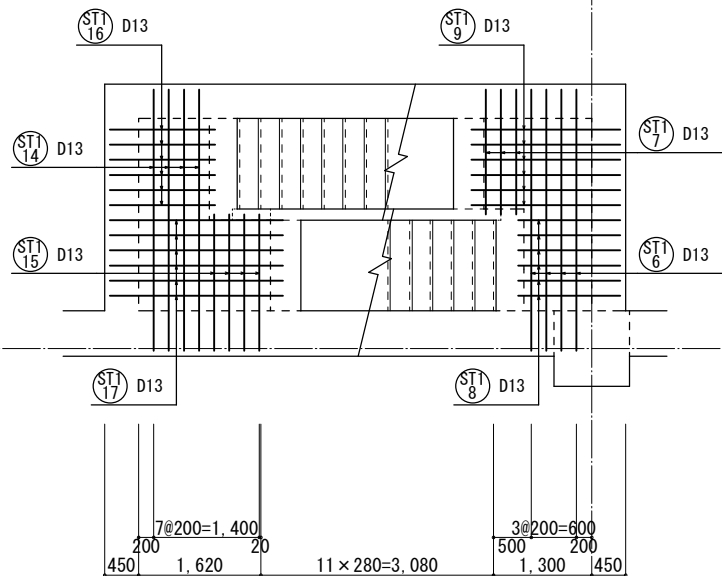
1-1 手摺配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。



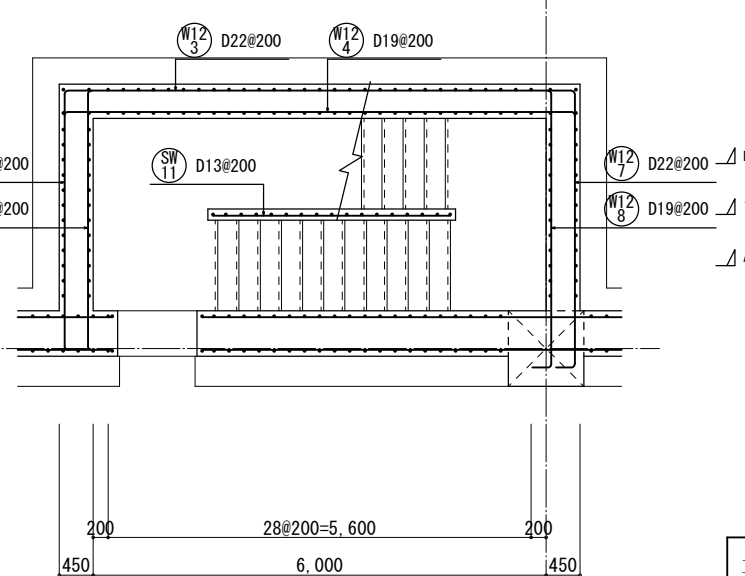
2-2 踊場配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



3-3 踊場配筋図

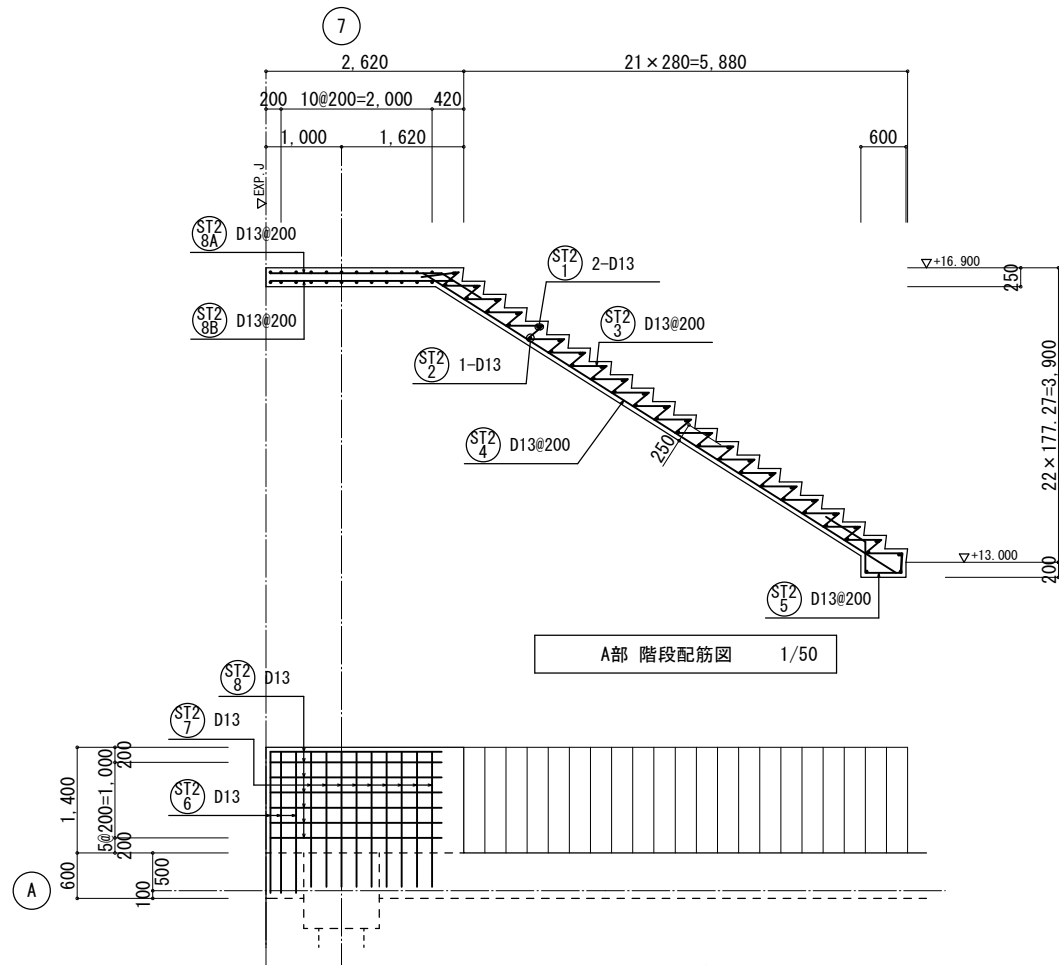
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



壁平面配筋図 1/50

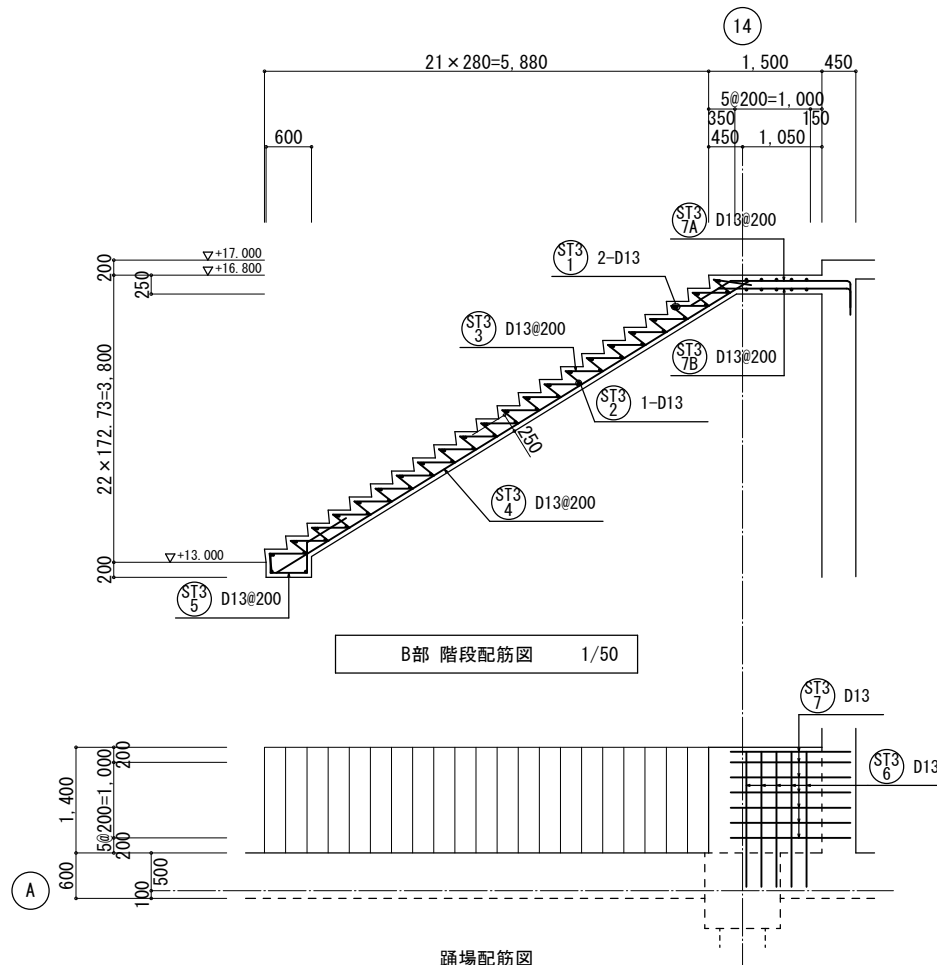
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、r=11.000×1.000程度とする。
但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 床版配筋図(10)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-86号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



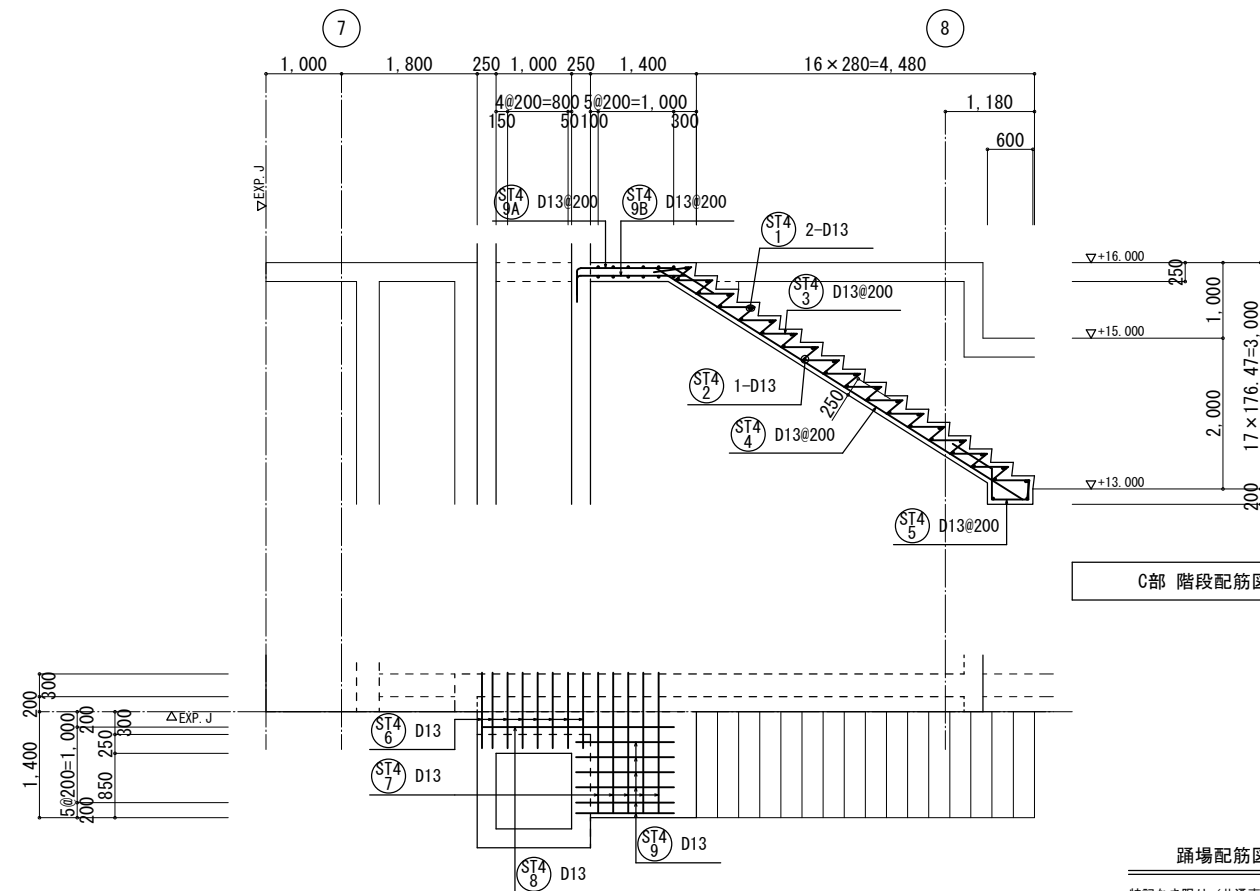
踊場配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



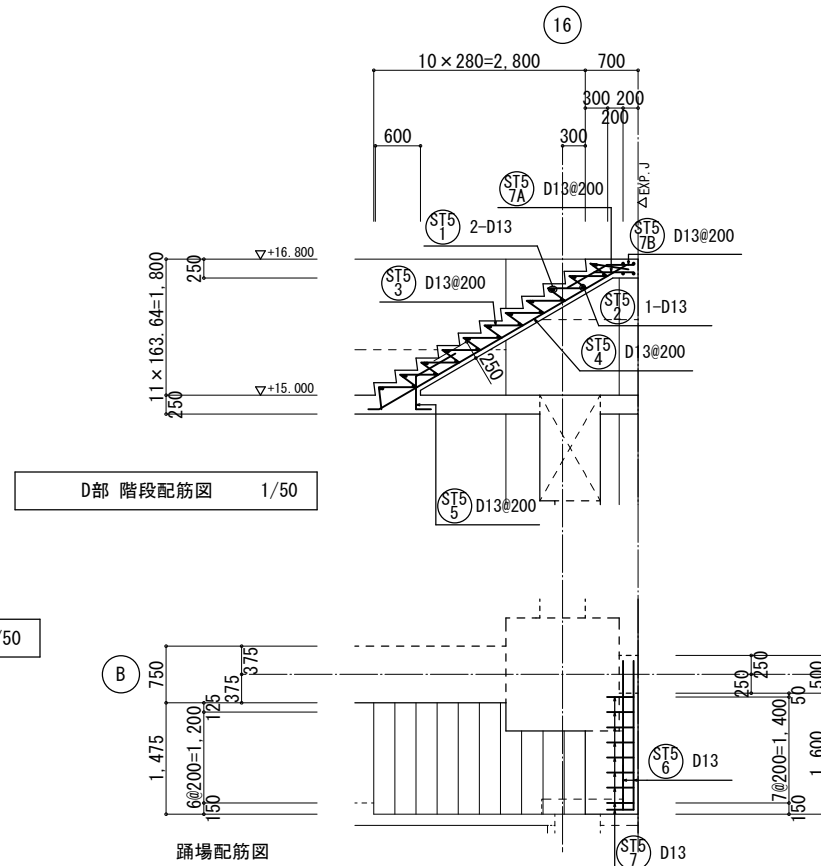
踊場配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



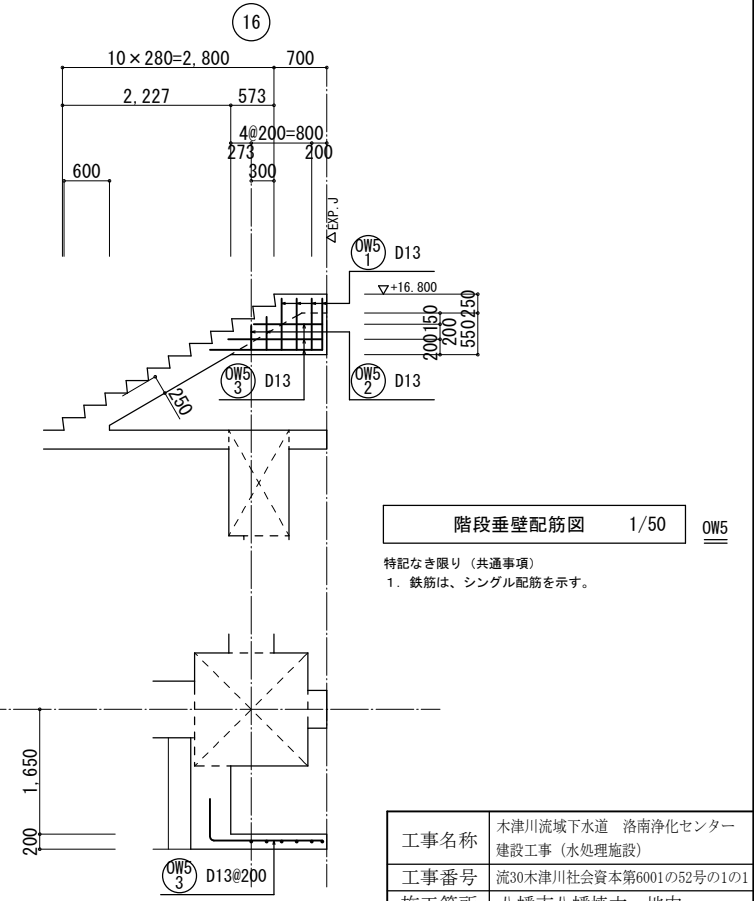
踊場配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



踊場配筋図

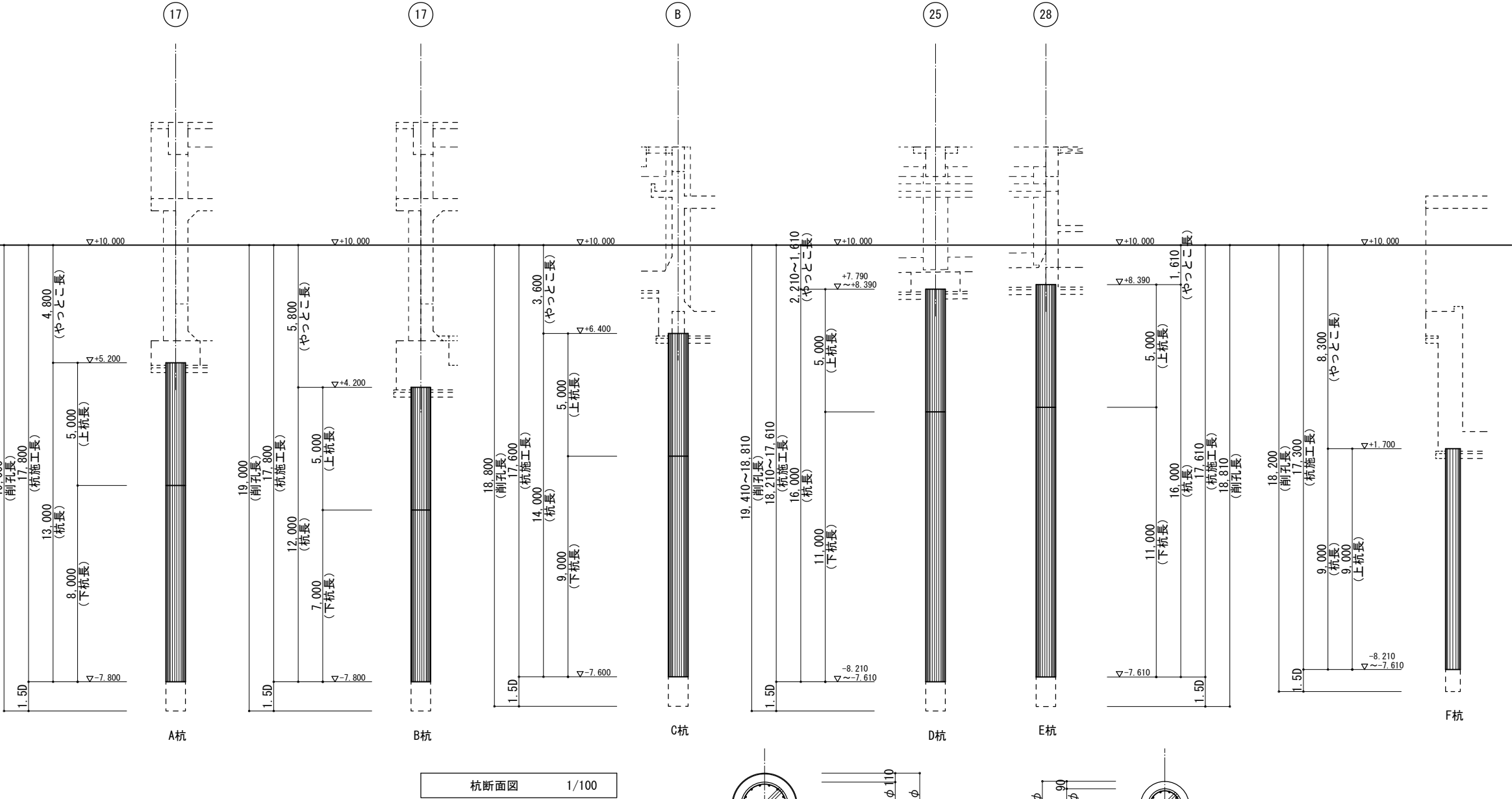
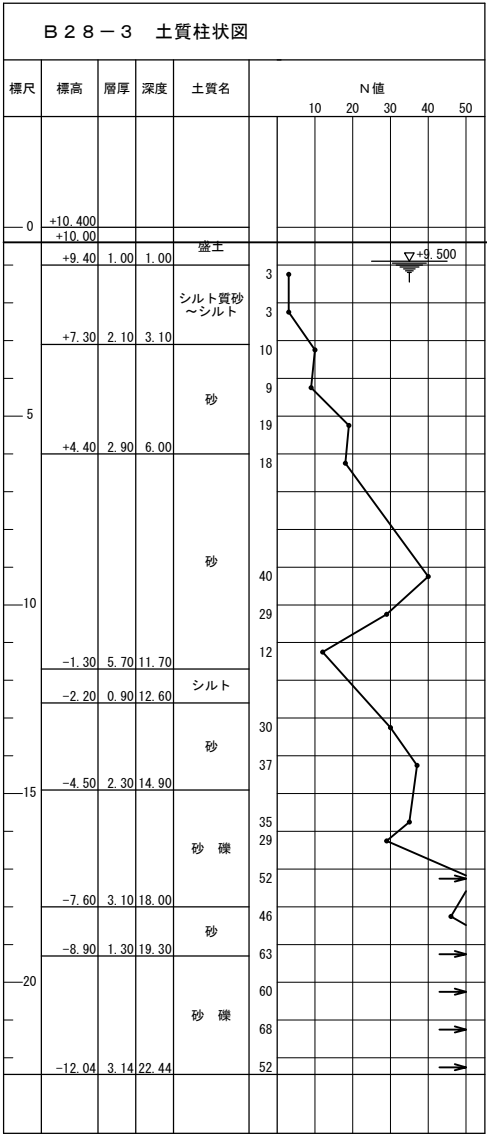
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



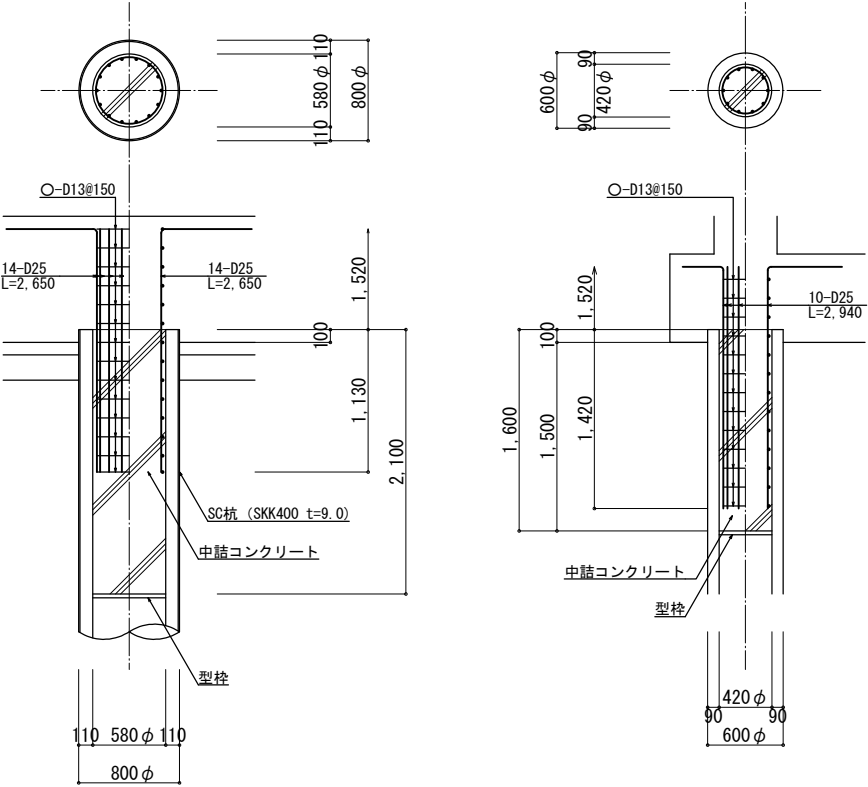
階段垂壁配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。

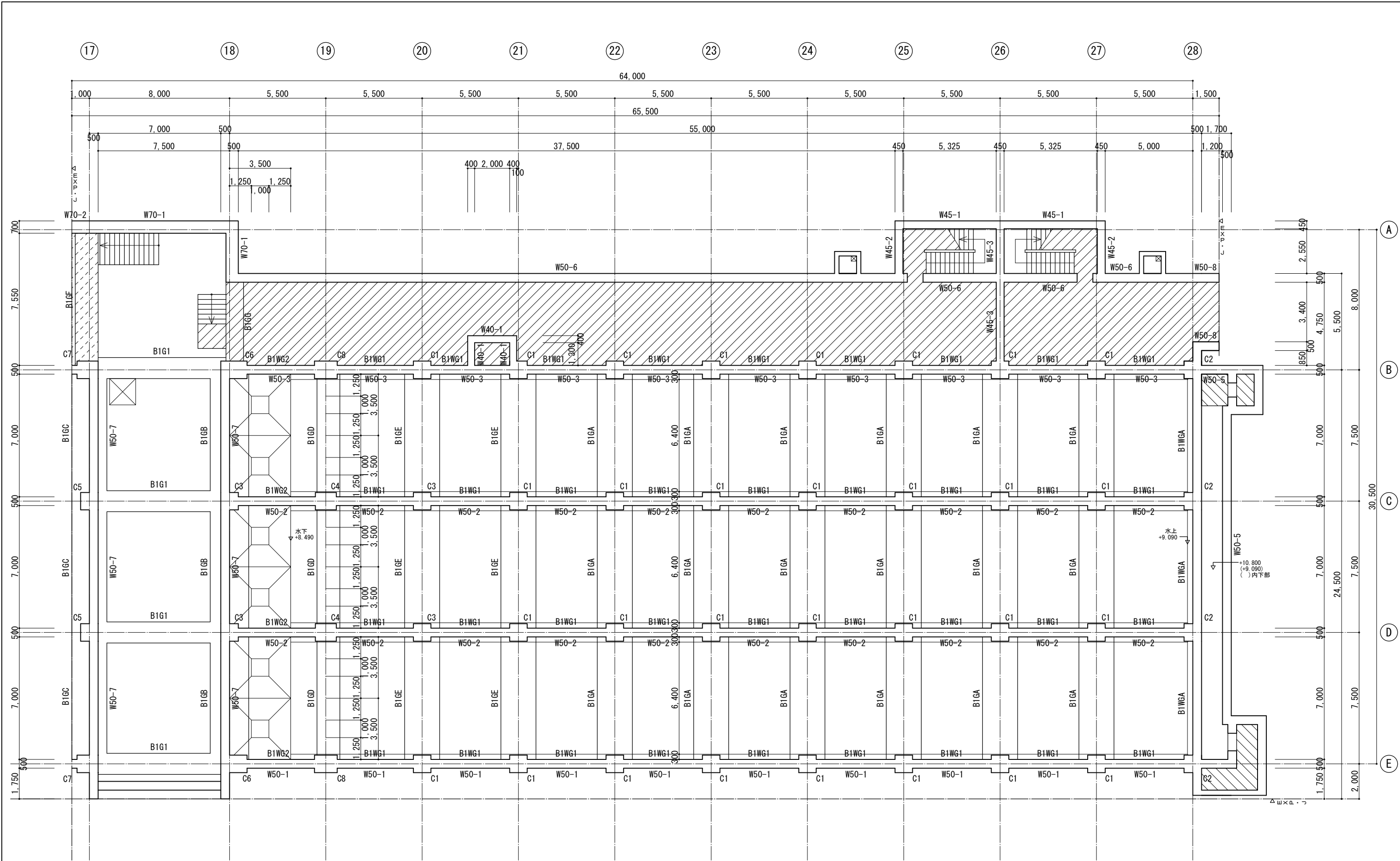
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	反応槽 床版配筋図(11)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 2S-87号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



杭リスト									
φ800 上杭：SC杭（SKK400 t=9.0）下杭：PHC杭（JIS杭）A種					長期許容支持力Ra=2,710KN/本				
施工方法：プレボーリング工法					杭施工地盤：TP+10.000				
符号	杭径	杭頭レベル	杭先端レベル	杭施工長 (m)	杭 長 (m)	やっこ長 (m)	上杭長 (m)	下杭長 (m)	杭本数
A	φ800	+5.200	-7.800	17.80	13.00	4.80	5.00	8.00	34
B	φ800	+4.200	-7.800	17.80	12.00	5.80	5.00	7.00	1
C	φ800	+6.400	-7.600	17.60	14.00	3.60	5.00	9.00	31
D	φ800	+7.790 ～+8.390	-8.210 ～-7.610	18.21 ～17.61	16.00	2.21 ～1.61	5.00	11.00	57
E	φ800	+8.390	-7.610	17.61	16.00	1.61	5.00	11.00	10
F	φ600	+1.700	-7.300	17.30	9.00	8.30	9.00		1
									管廊B先行打設φ600 PHC杭（JIS強化杭）C種 長期許容支持力 Ra=1,610KN/本



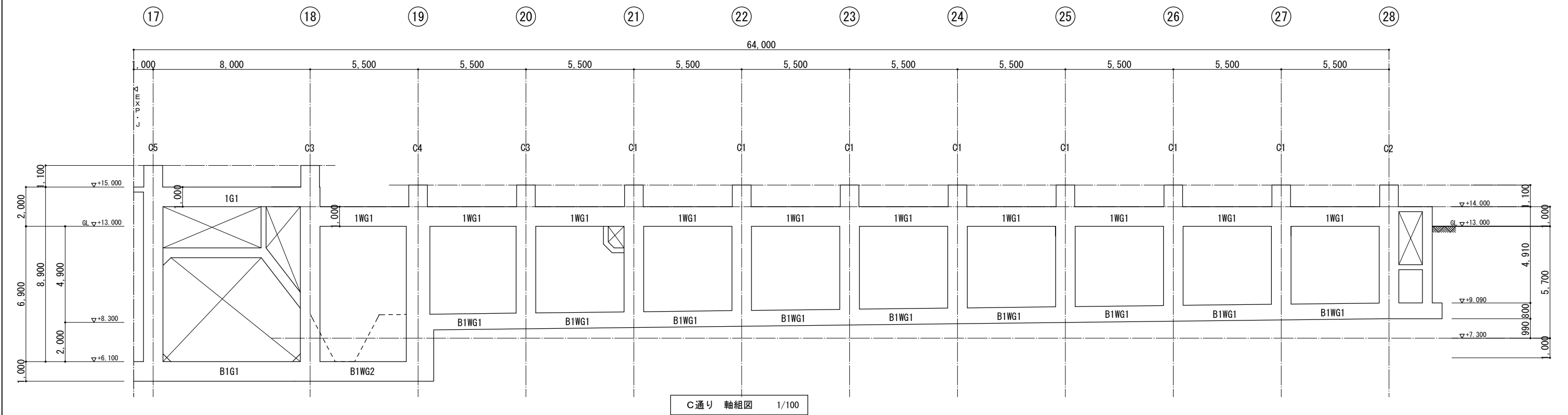
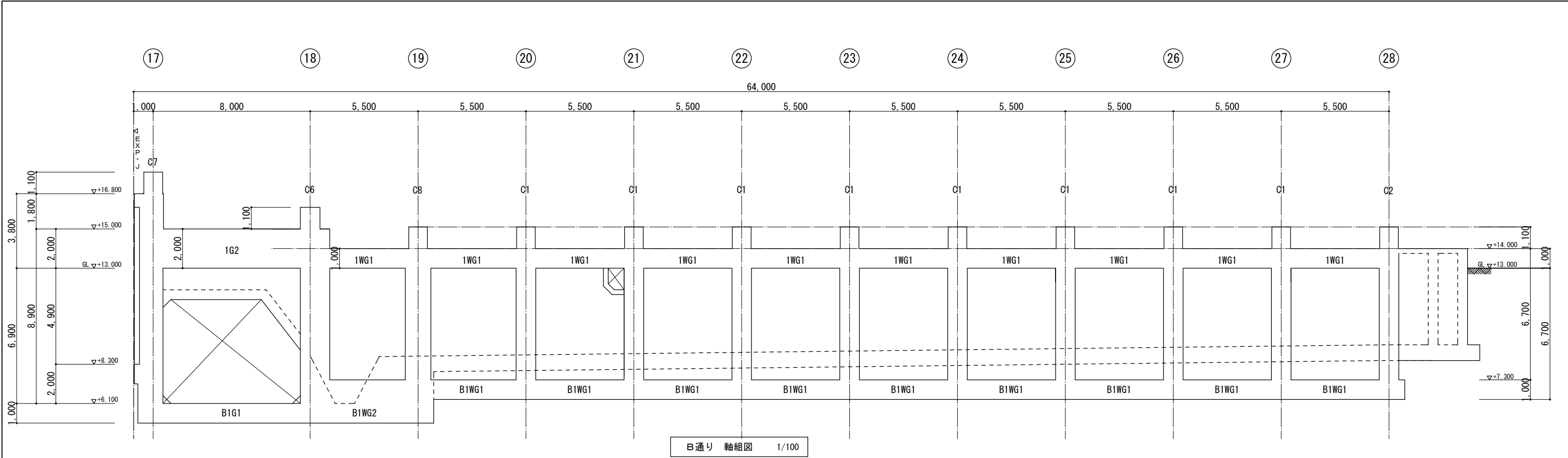
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 杭リスト・断面図
縮 尺	1/100・1/30
図面番号	全 枚中 3S-2 号



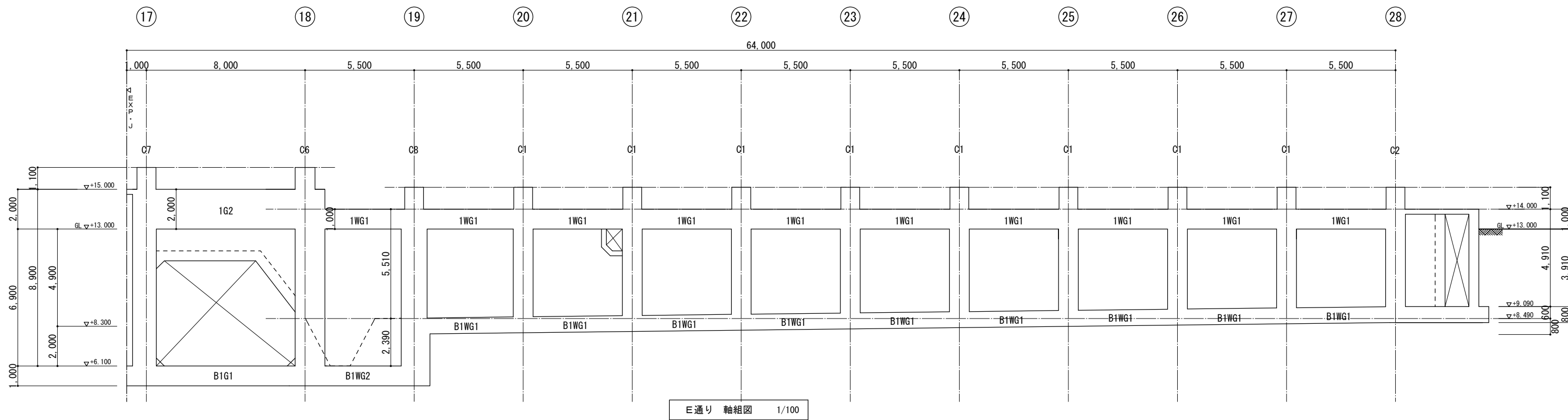
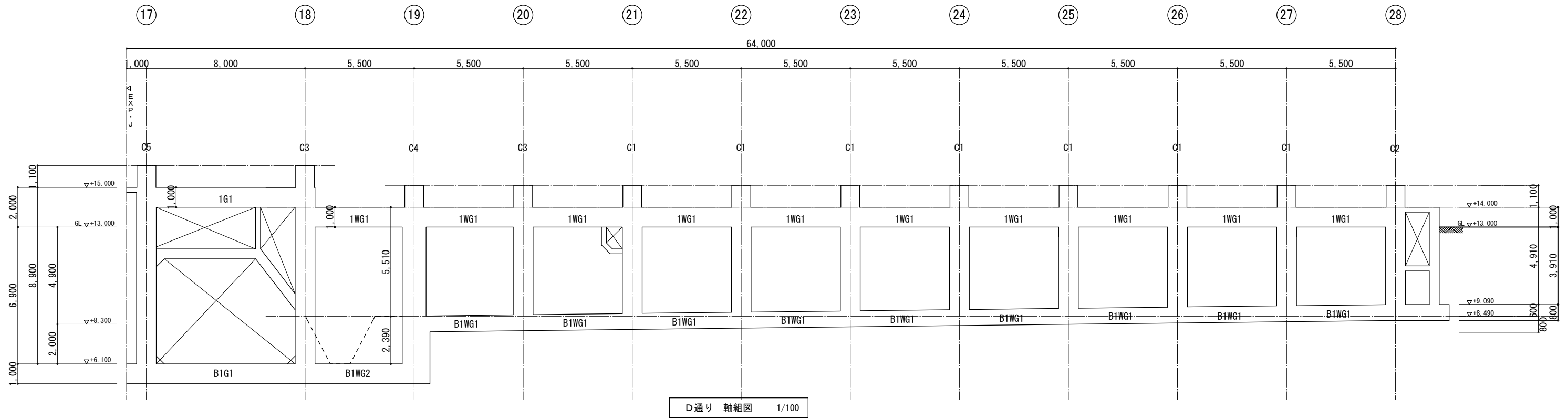
B1F伏図 1/100

- 特記なき限り（共通事項）
1. CLは、TP+6.100とする。
 2.  は、SL=TP+7.300とする。
 3.  は、SL=TP+9.090とする。
 4.  は、SL=TP+8.300とする。

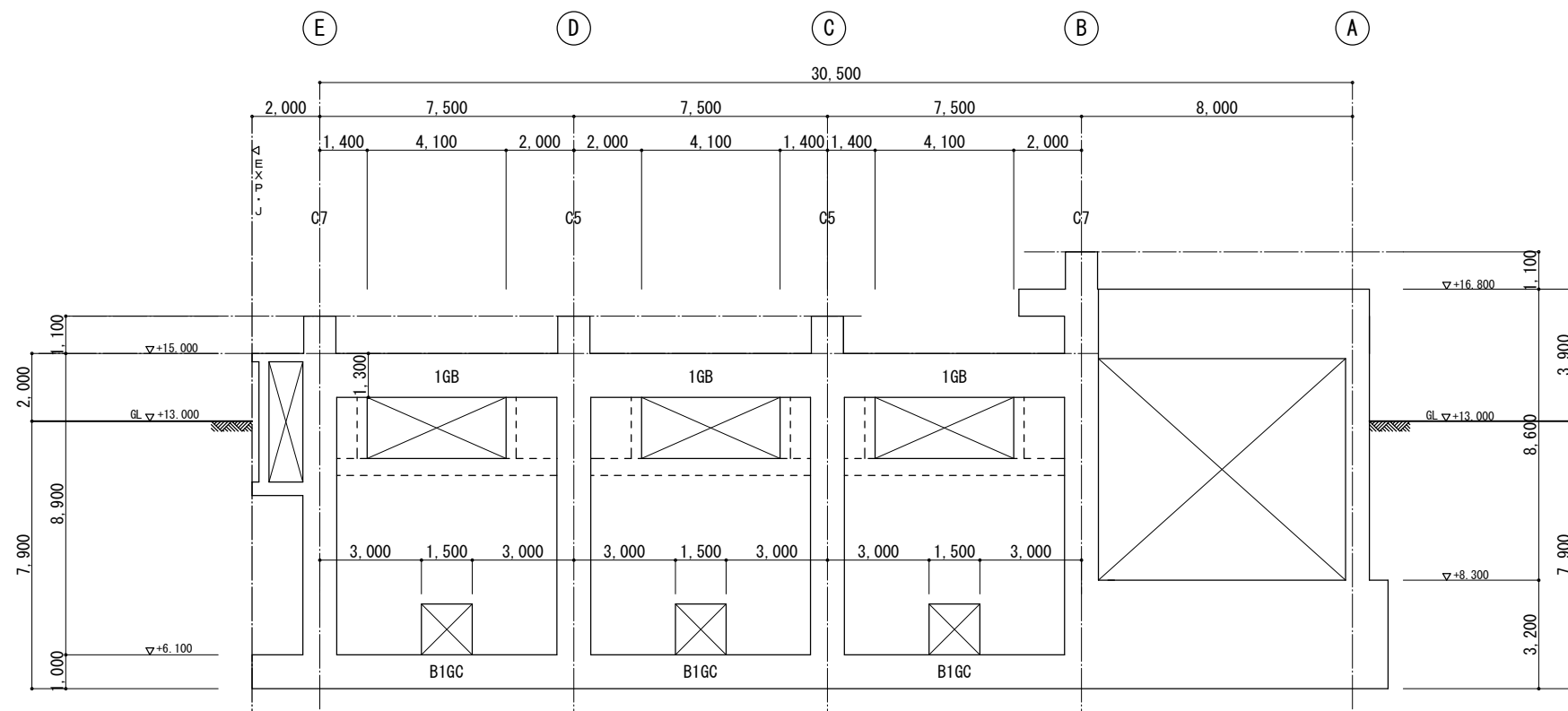
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最終沈殿池 伏図（1）		
縮 尺	1/100		
図面番号	全	枚中	3S-3 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



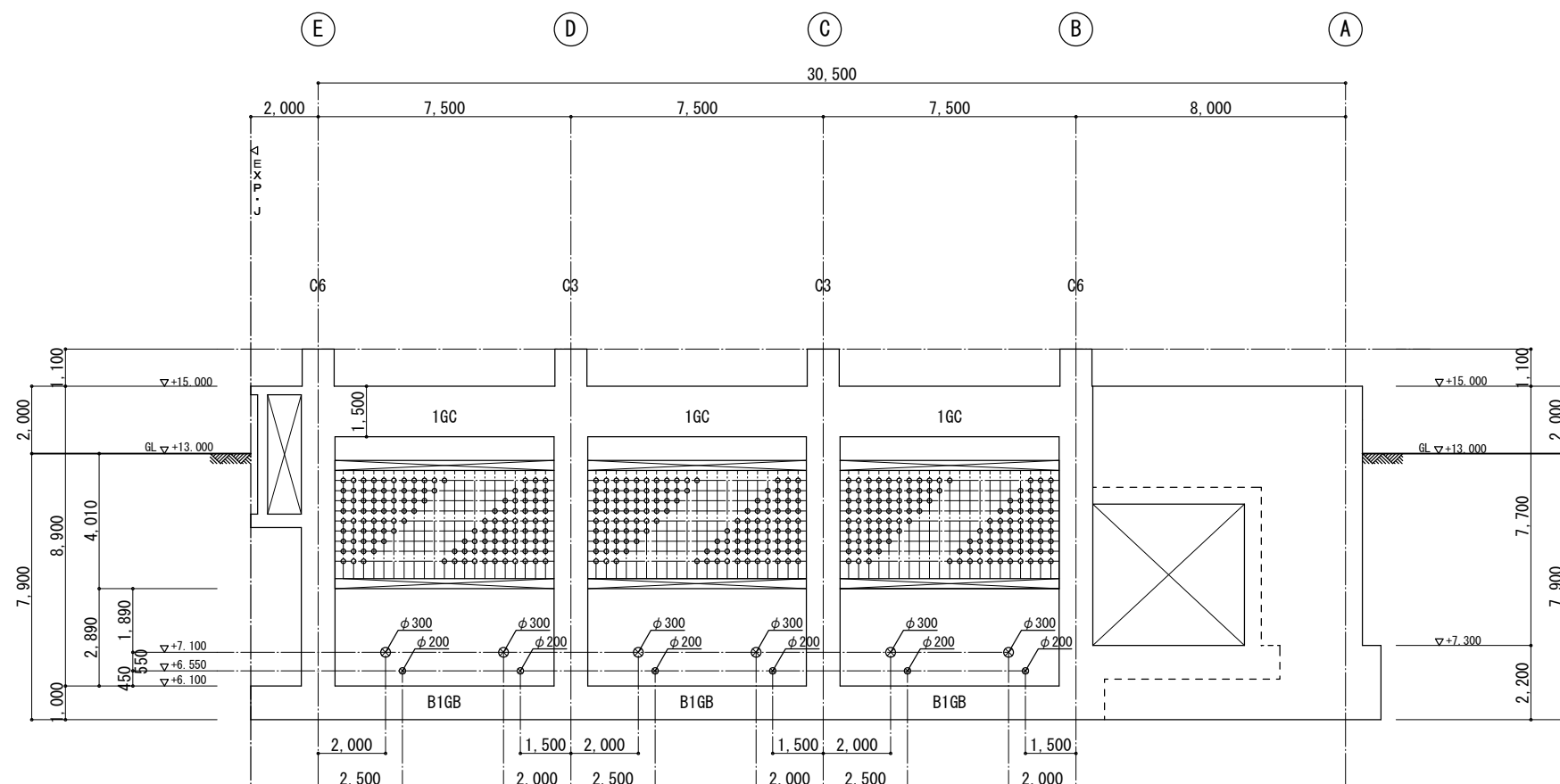
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 軸組図（1）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-6 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 軸組図（2）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-7 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

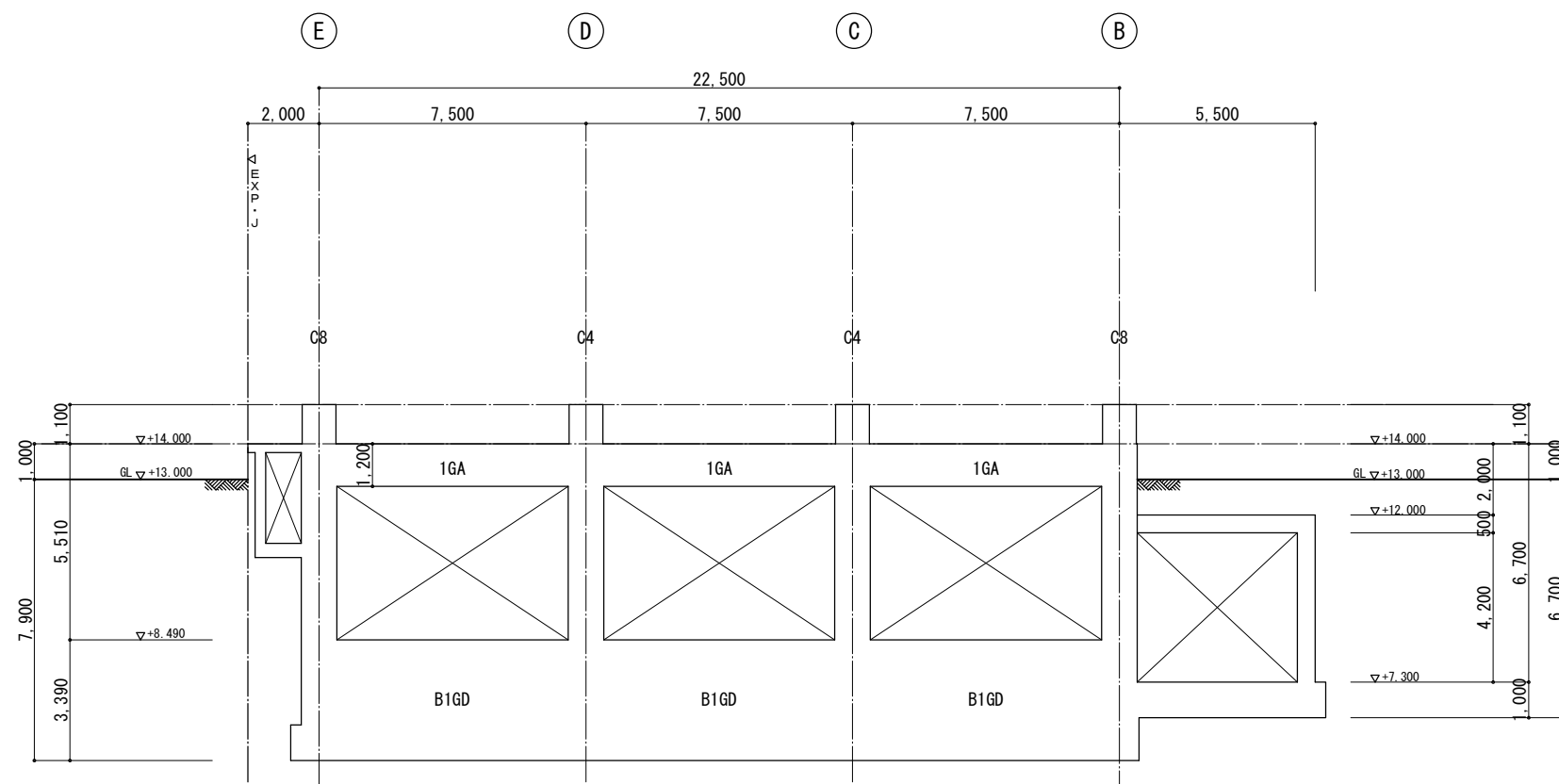


17通り 軸組図 1/100

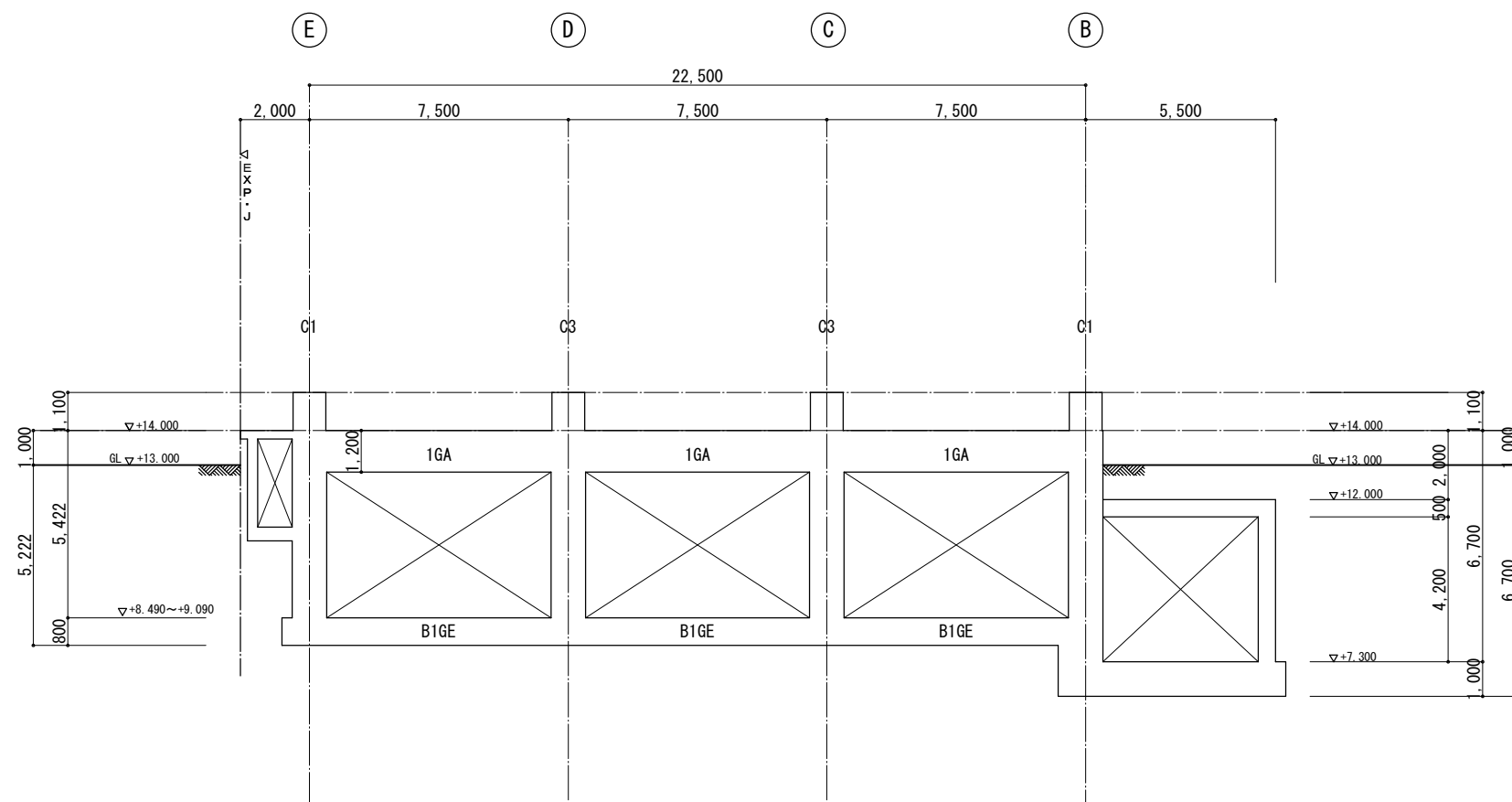


18通り 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 軸組図（3）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-8 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

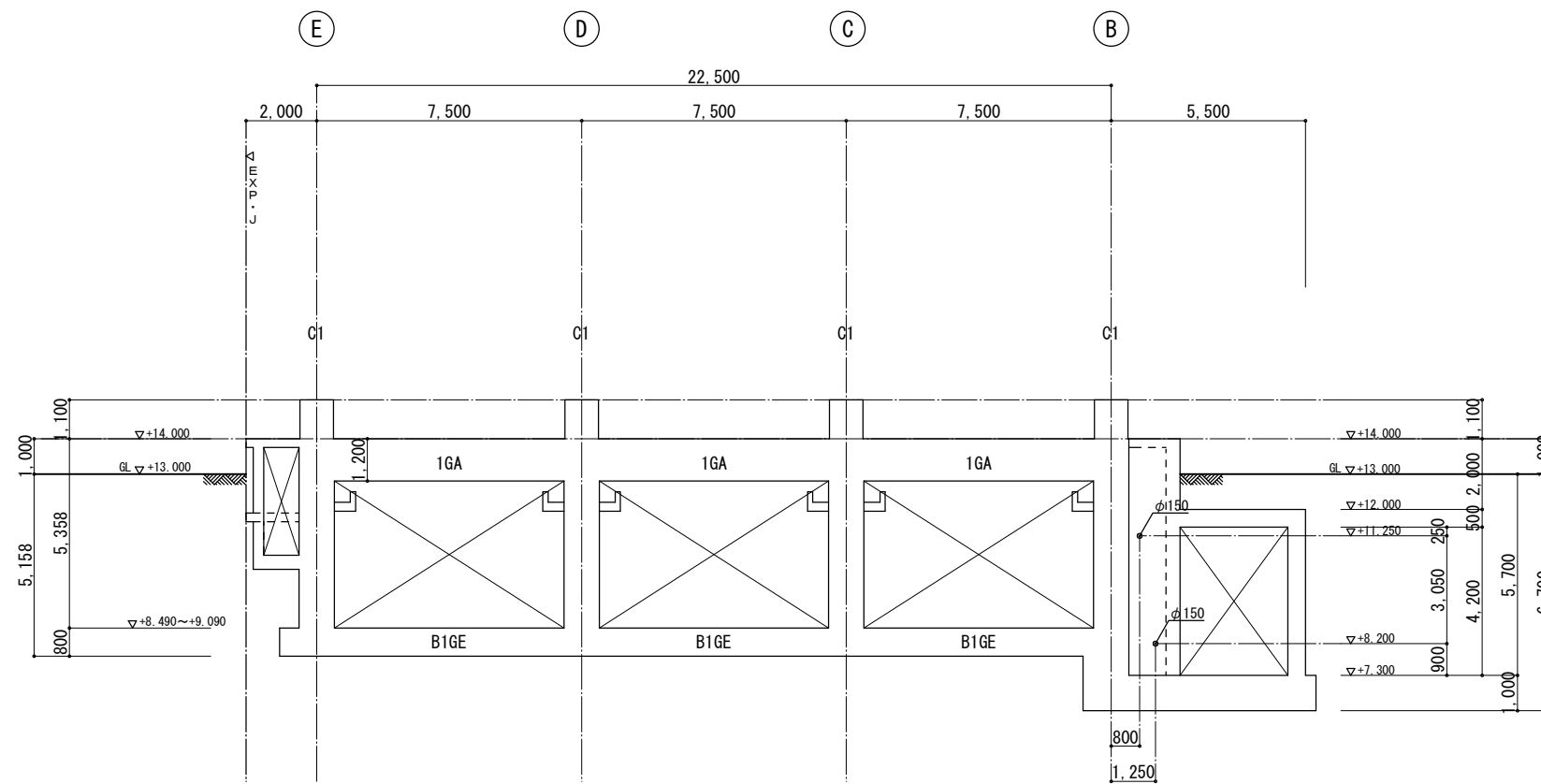


19通り 軸組図 1/100

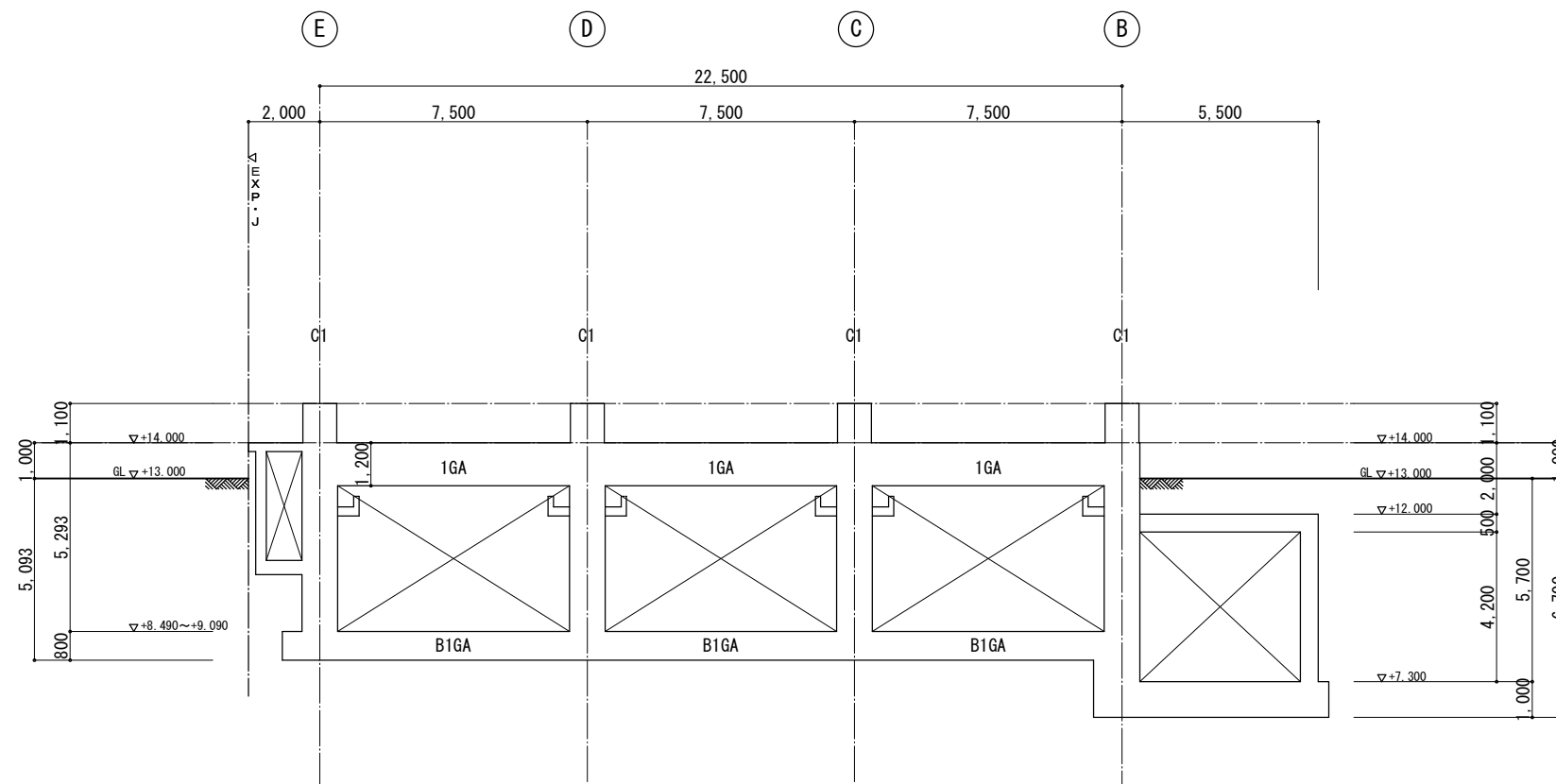


20通り 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 軸組図（4）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-9 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

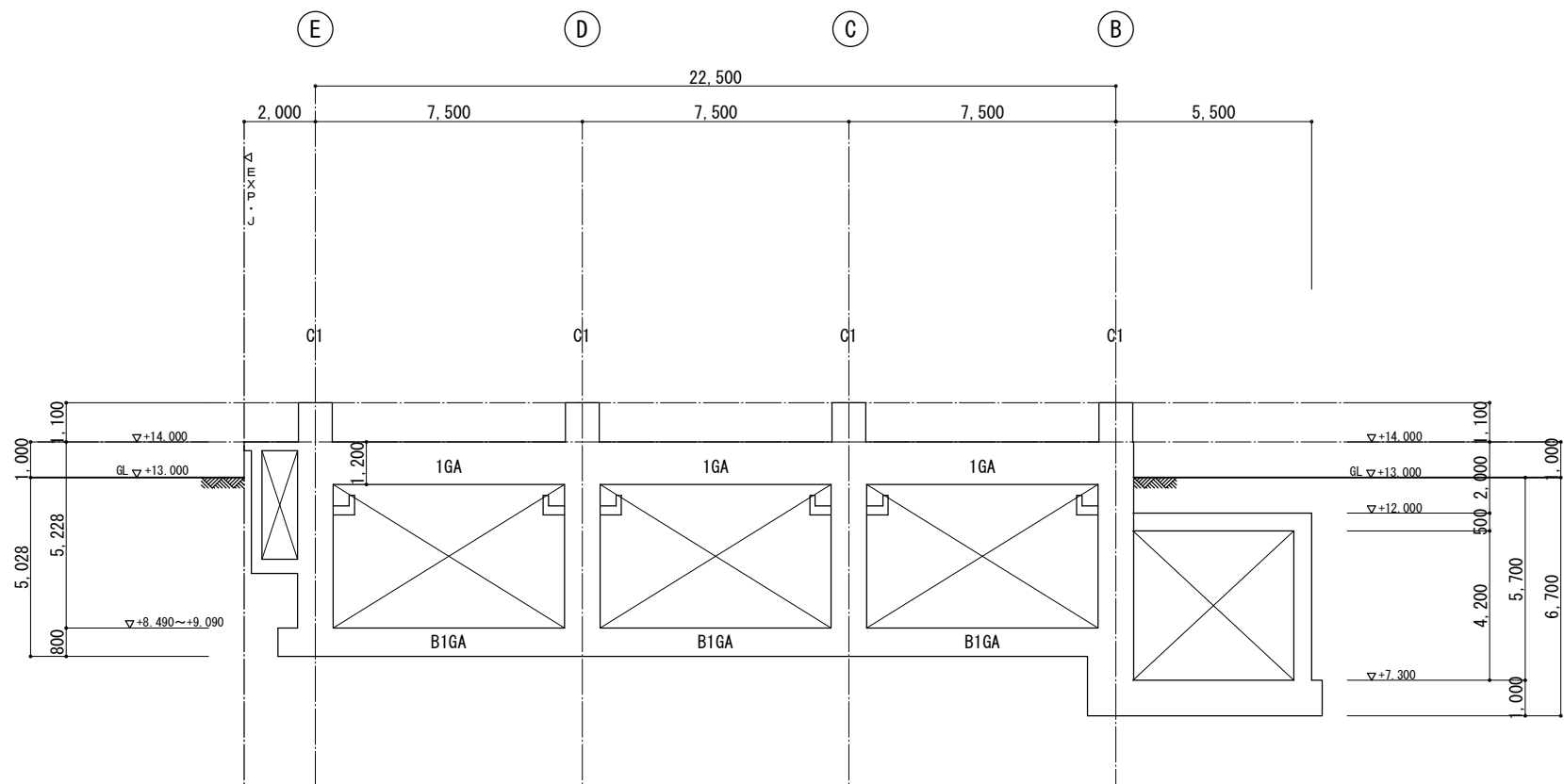


21通り 軸組図 1/100

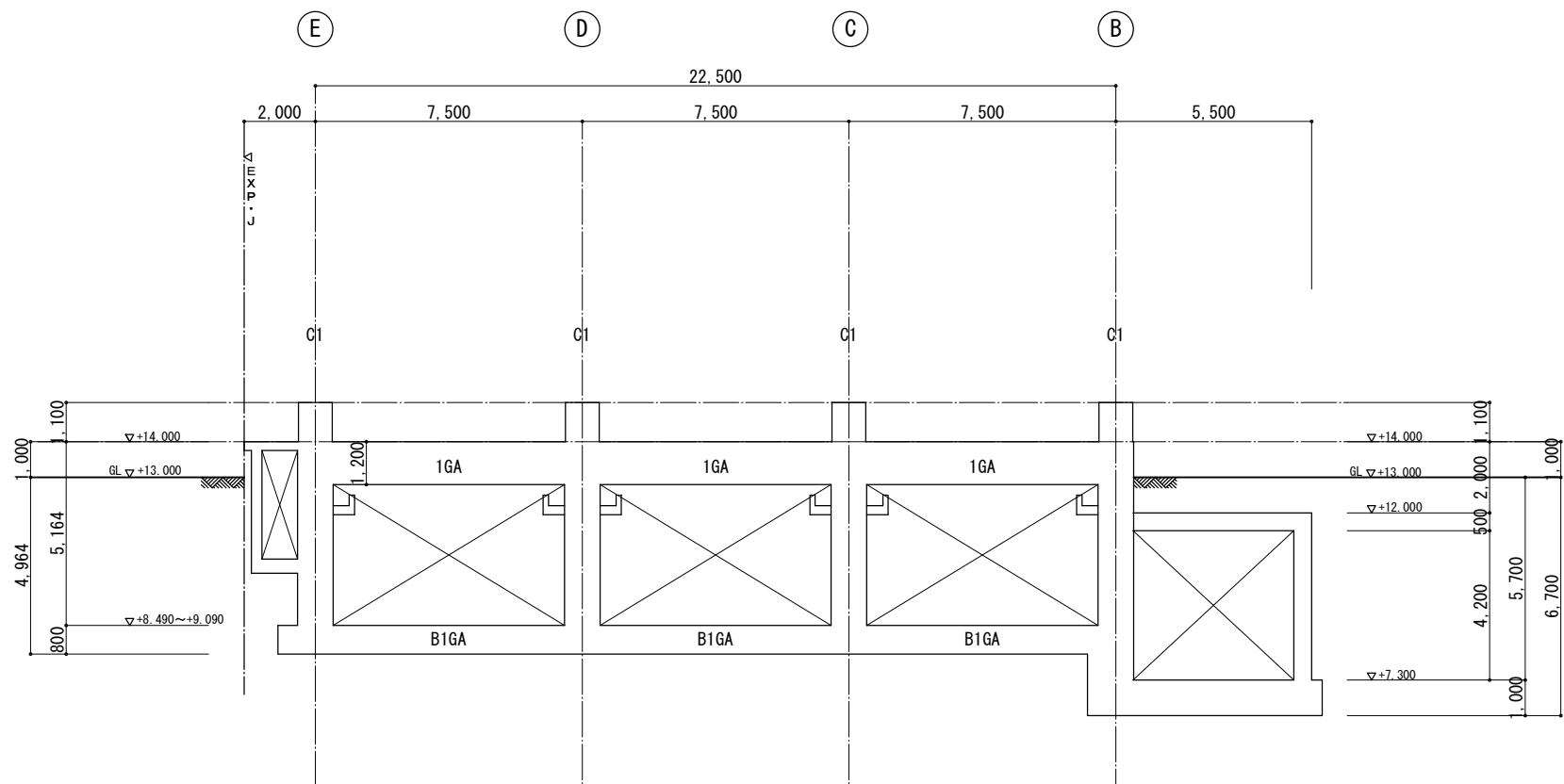


22通り 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 軸組図（5）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-10 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

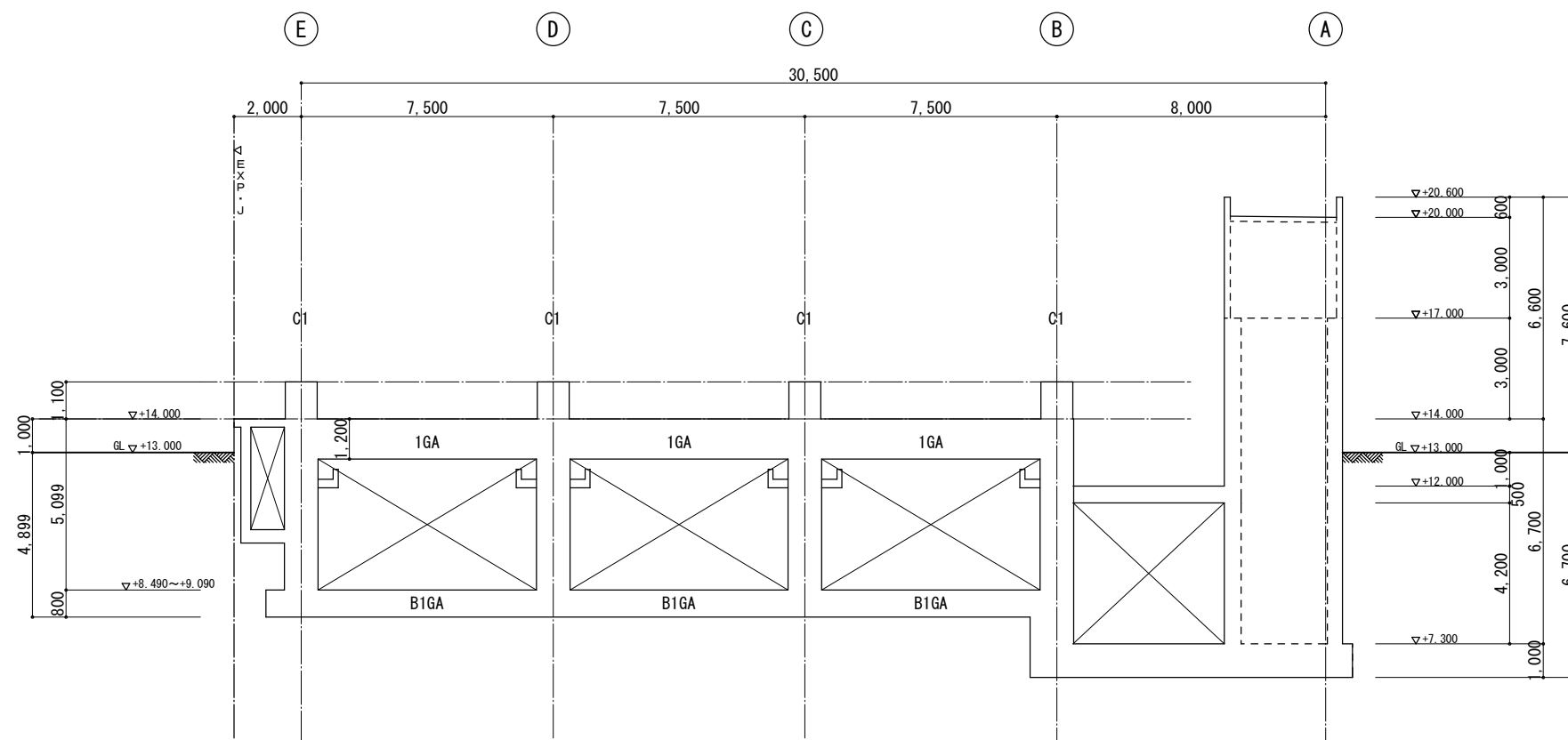


23通り 軸組図 1/100

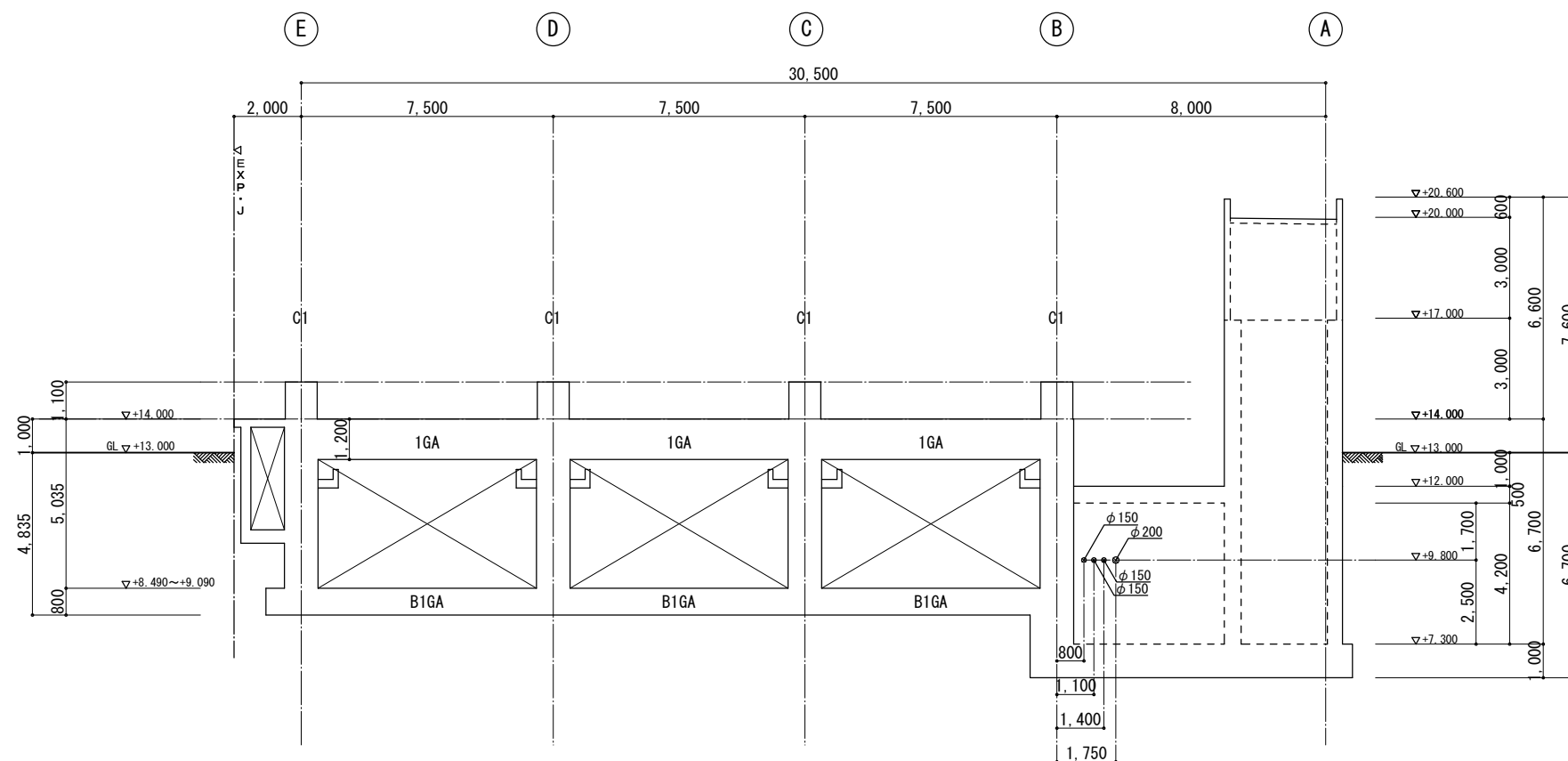


24通り 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 軸組図（6）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-11 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

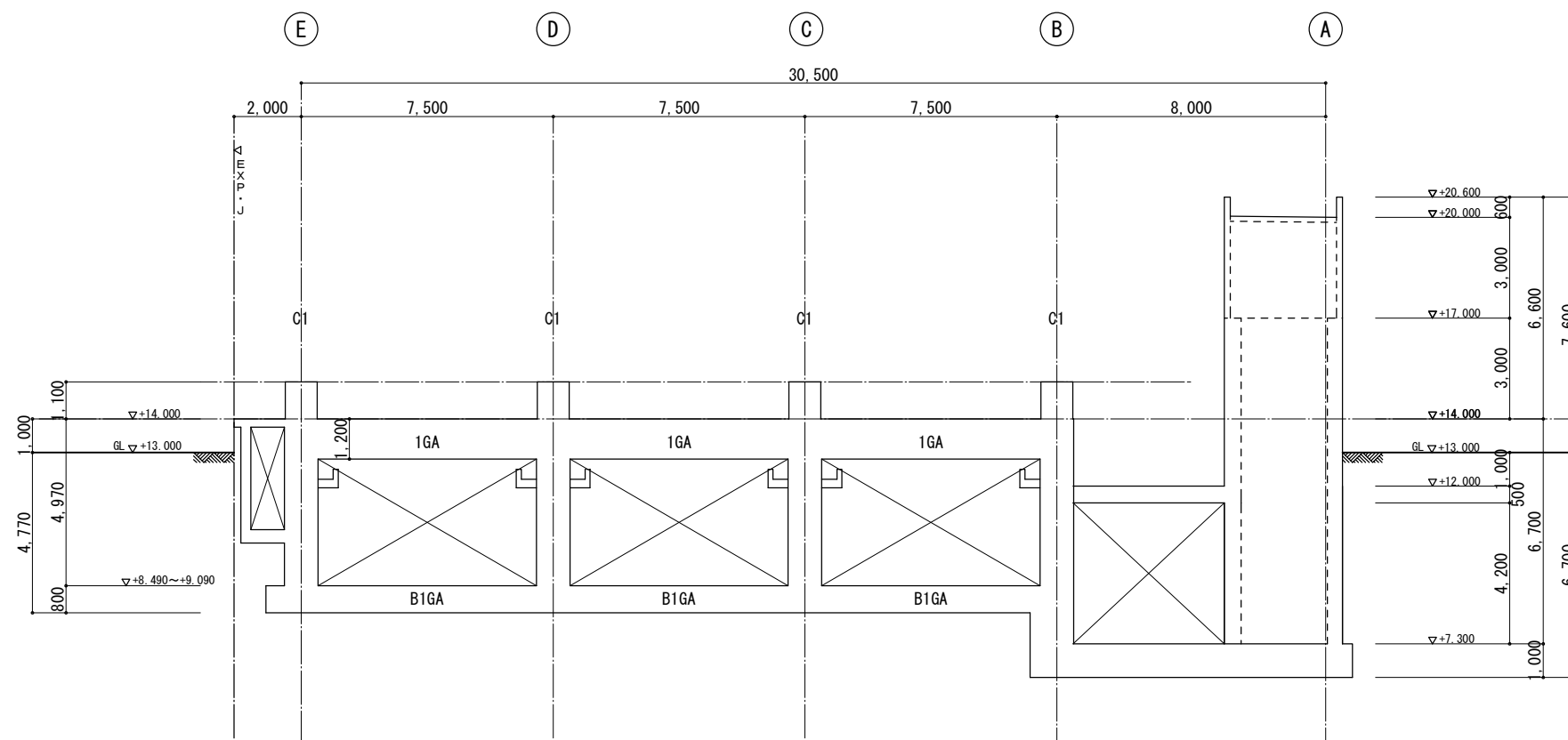


25通り 軸組図 1/100

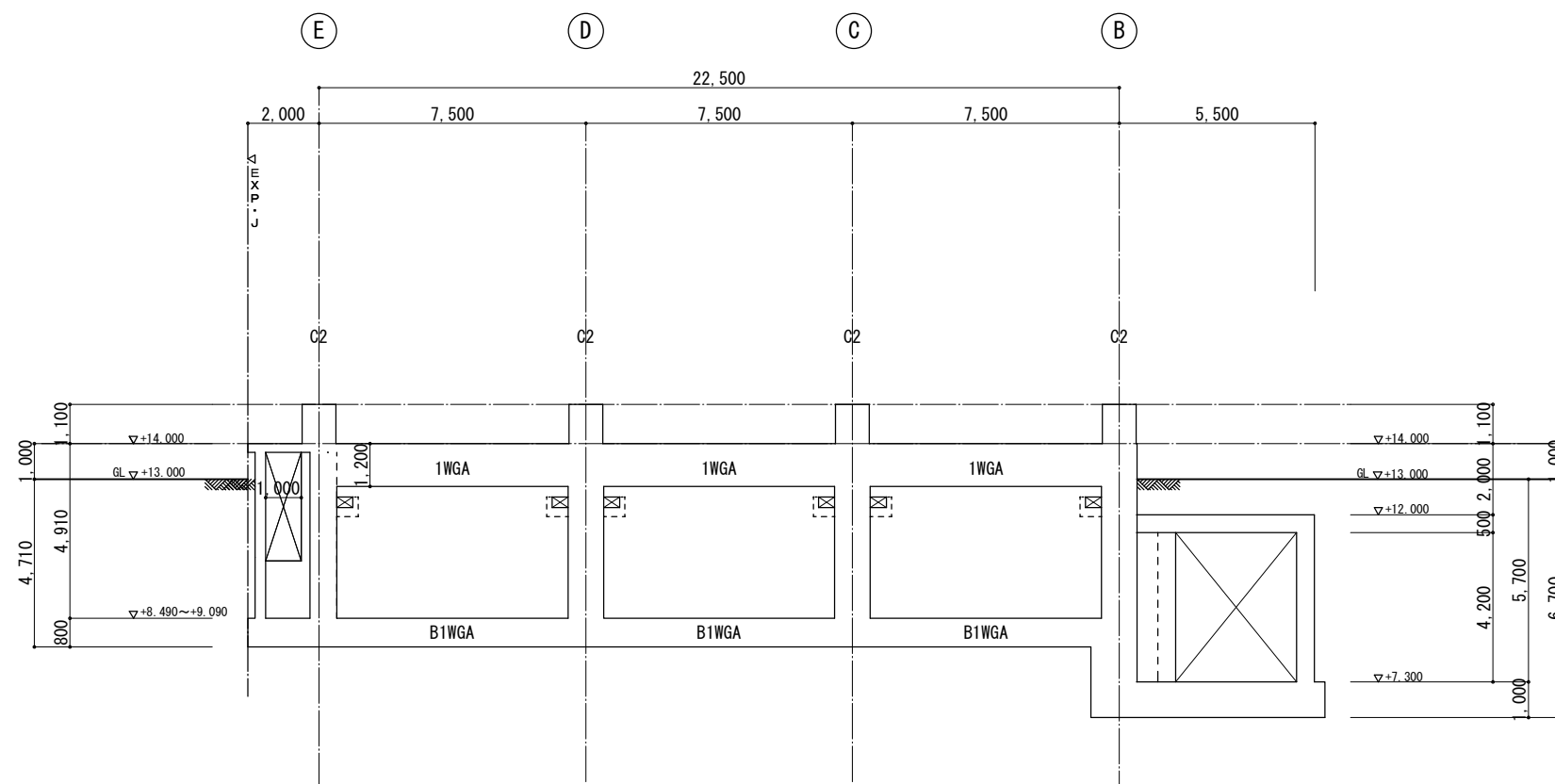


26通り 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 軸組図（7）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 3S-12号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

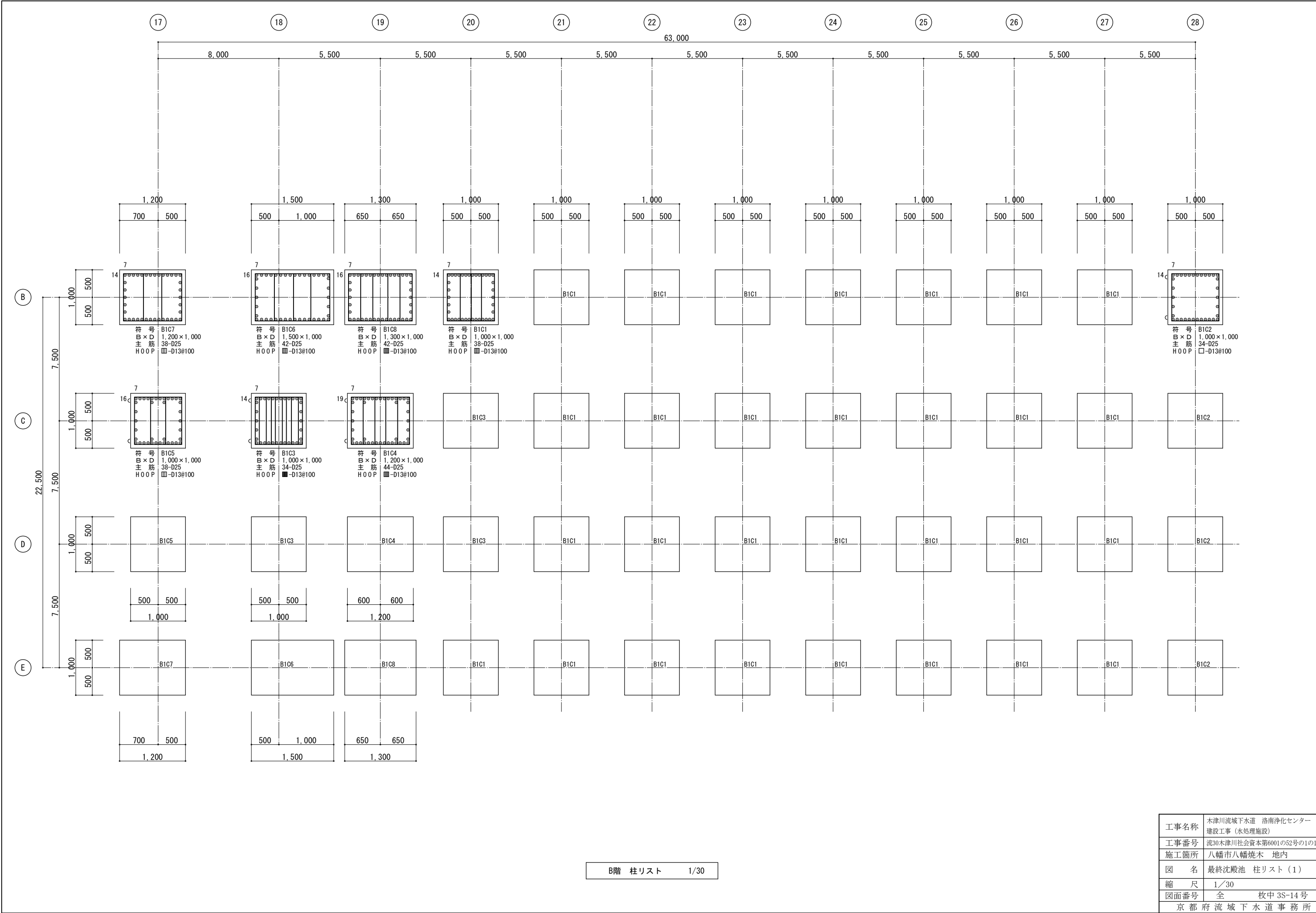


27通り 軸組図 1/100



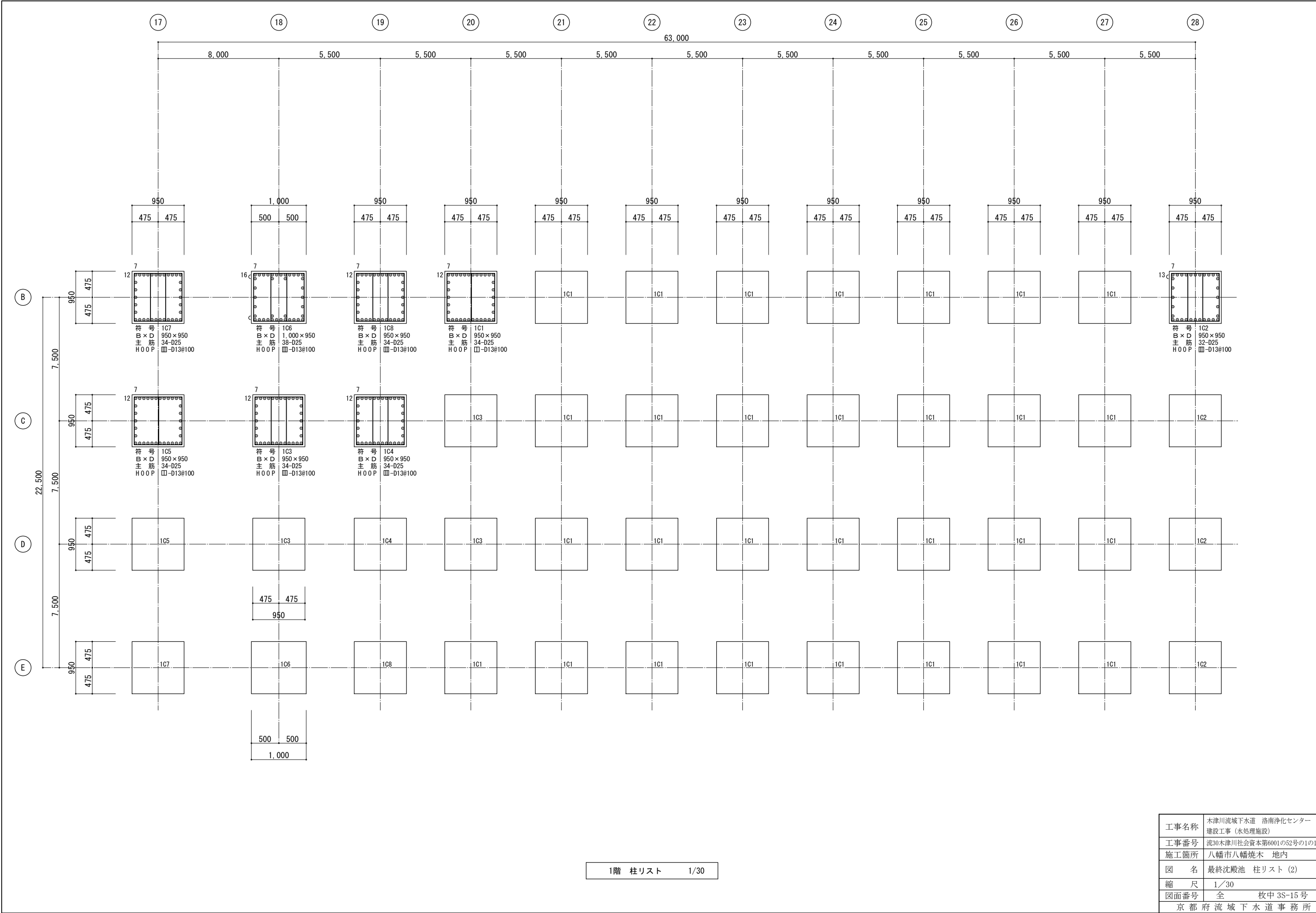
28通り 軸組図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 軸組図（8）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-13号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

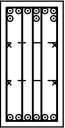
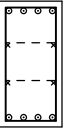
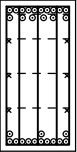
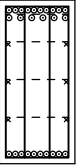
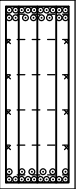
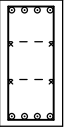
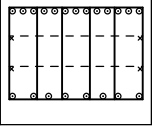
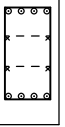


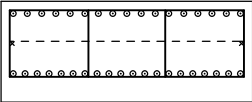
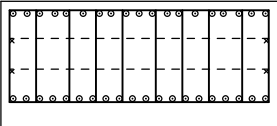
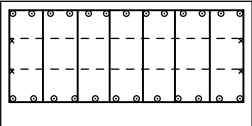
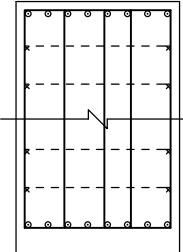
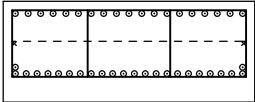
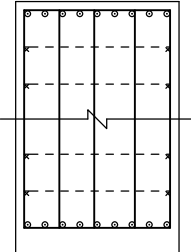
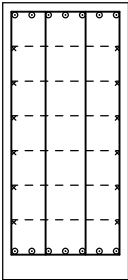
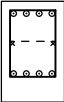
B階 柱リスト 1/30

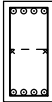
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 柱リスト（1）
縮 尺	1／30
図面番号	全 枚中 3S-14号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

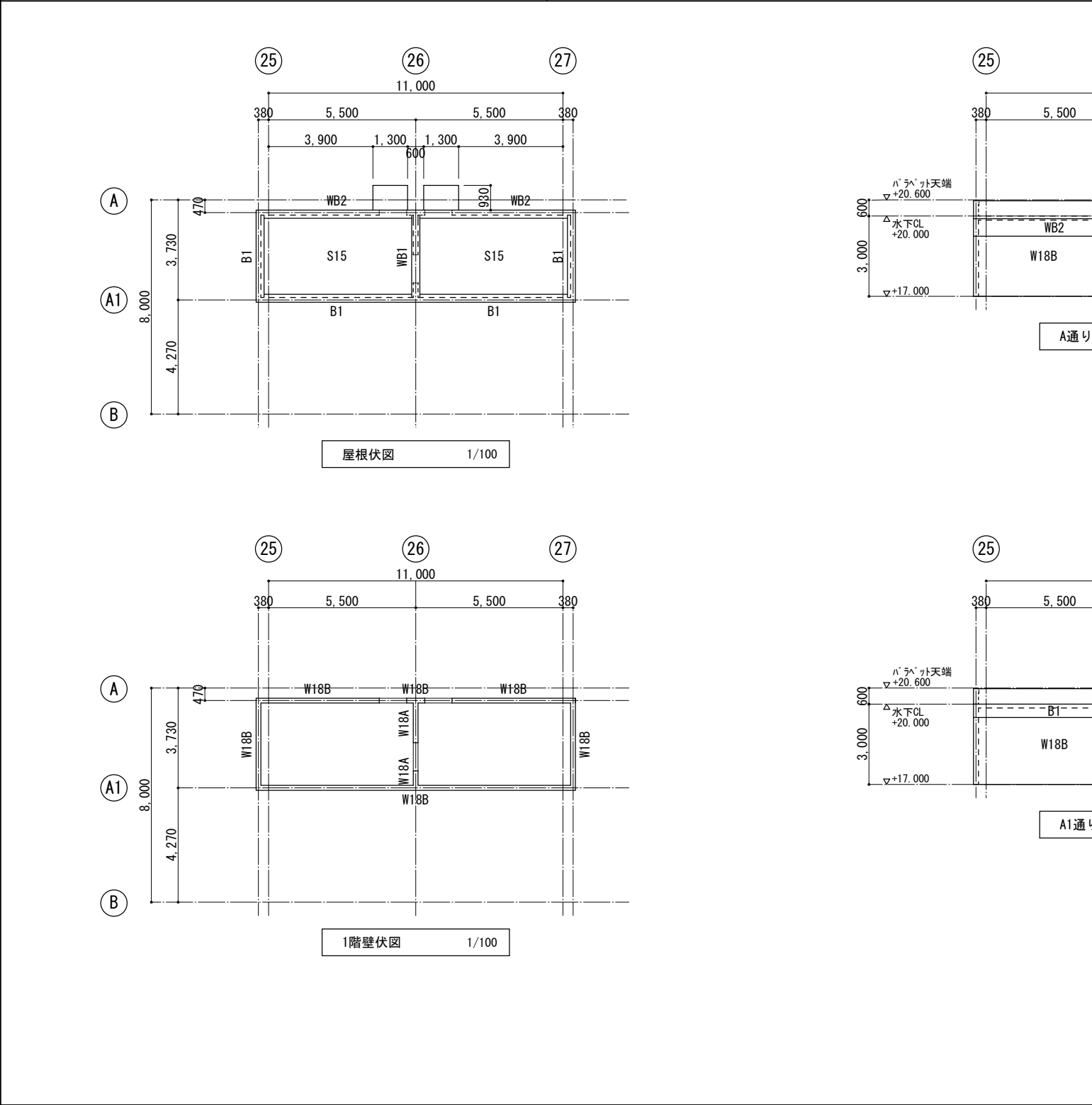
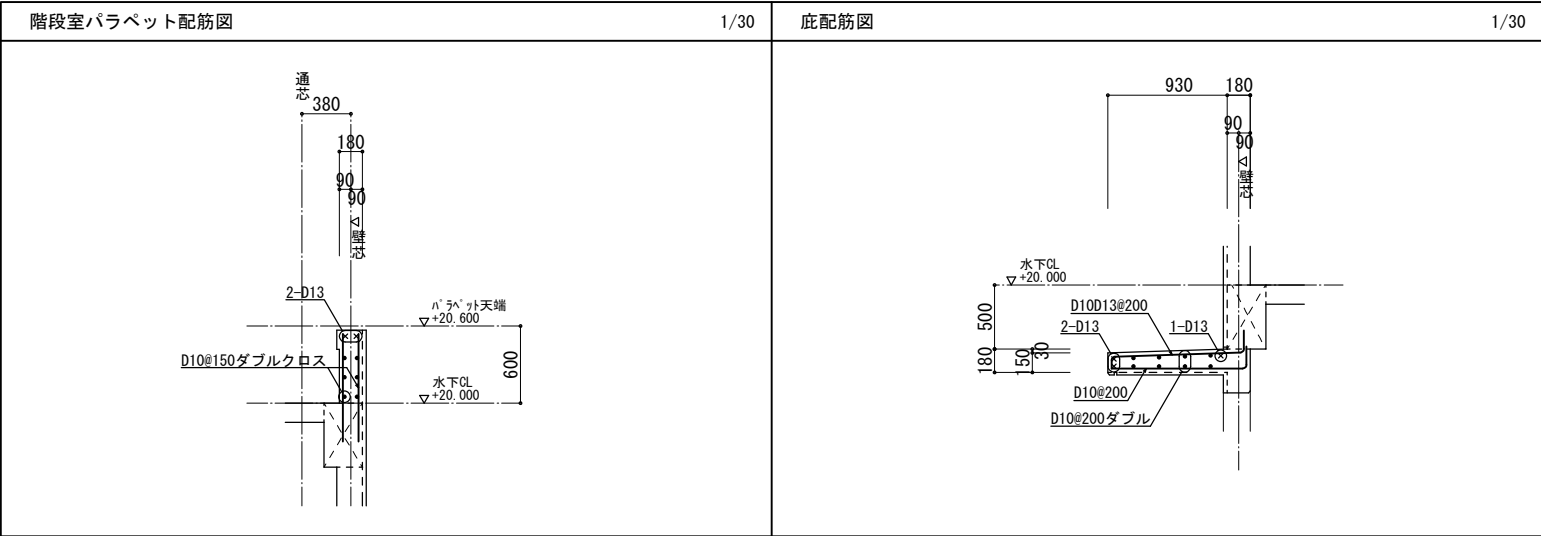


工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 柱リスト (2)
縮 尺	1/30
図面番号	全 枚中 3S-15号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

1	階 符 号	1G1	1G2		1WG1			
	位 置	全断面	全断面		全断面			
	断 面							
	B × D	500×1,000	500×2,000		500×1,000			
	上 端 筋	9-D25	8-D25		4-D25			
	下 端 筋	6-D25	5-D25		4-D25			
	ス タ ー ラ ッ プ	▤ 5-D13@200	▤ 5-D13@200		□ 2-D13@200			
	腹 筋	4-D13	10-D13		4-D13			
1	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000			
	階 符 号	1GA	1GB	1GC	1WGA			
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面			
	断 面							
	B × D	800×1,200	800×1,300	800×1,500	500×1,000			
	上 端 筋	16-D25	16-D25	18-D25	4-D25			
	下 端 筋	13-D25	10-D25	16-D25	4-D25			
	ス タ ー ラ ッ プ	▤ 5-D13@200	▤ 4-D13@100	▤ 5-D13@150	□ 2-D13@200			
B1	腹 筋	6-D13	6-D13	8-D13	4-D13			
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000			
	階 符 号	B1G1		B1WG1	B1WG2			
	位 置	全断面		全断面	全断面			
	断 面							
	B × D	1,200×1,000		500×800	500×1,000			
	上 端 筋	13-D25		4-D25	4-D25			
	下 端 筋	8-D25		4-D25	4-D25			
	ス タ ー ラ ッ プ	▤▤▤ 6-D13@150		□ 2-D13@200	□ 2-D13@200			
	腹 筋	4-D13		2-D13	4-D13			
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000		↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000			

階	符 号	B1GA	B1GB	B1GC	B1GD	B1GE	B1GF	B1GG	B1WGA
B1	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断 面								
	B × D	2,000×800	2,200×1,000	2,000×1,000	1,300×3,390	2,000×800	1,300×3,200	1,000×2,200	500×800
	上 端 筋	17-D25	19-D25	13-D25	8-D25	19-D25	9-D25	7-D25	4-D25
	下 端 筋	20-D25	20-D25	12-D25	8-D25	24-D25	9-D25	7-D25	4-D25
	スターラップ	□□ 4-D13@100	▨▨▨ 10-D16@100	▨▨▨▨ 8-D13@100	▨▨▨ 5-D13@100	□□□ 4-D13@100	▨▨▨ 5-D13@200	▨▨▨ 4-D13@200	□ 2-D13@200
	腹 筋	2-D13	4-D13	4-D13	18-D13	2-D13	18-D13	12-D13	2-D13
	幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000

符 号	B1	B2					
位 置	全断面	全断面					
断 面							
B × D	400×800	400×600					
上 端 筋	4-D25	3-D22					
下 端 筋	4-D25	3-D22					
スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200					
腹 筋	2-D13	2-D13					
幅 止 筋	↗ -D13@1,000	↗ -D13@1,000					



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最終沈殿池 雑配筋図（1）
縮尺	1／100, 30
図面番号	全 枚中 3S-18号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

梁リスト 1/30

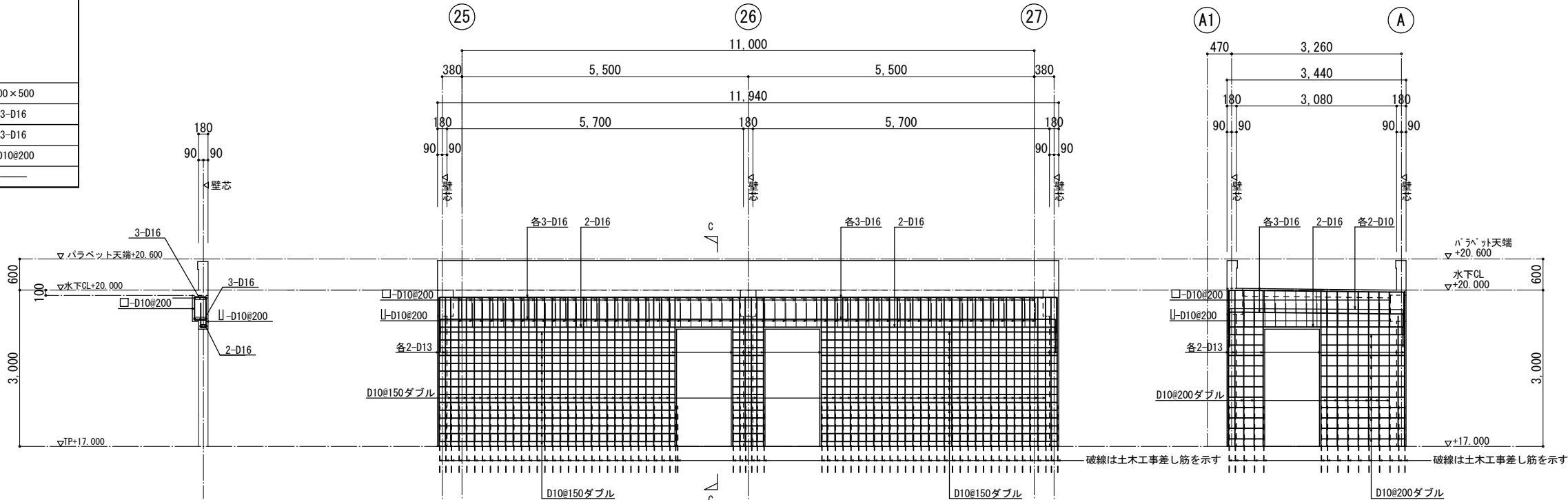
符 号	WB1	WB2	B1
断 面			
B × D	300 × 500	300 × 500	300 × 500
上 端 筋	3-D16	3-D16	3-D16
下 端 筋	3-D16	3-D16	3-D16
スターラップ	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200
腹 筋	—	—	—

床版リスト 1/30

符 号	版 厚	位 置	主筋方向(短辺)		配力筋方向(長辺)		備 考
			端 部	中央部	端 部	中央部	
S15	150	上端筋	D10D13@200	←	D10D13@200	←	
		下端筋	D10D13@200	←	D10D13@200	←	

壁リスト 1/30

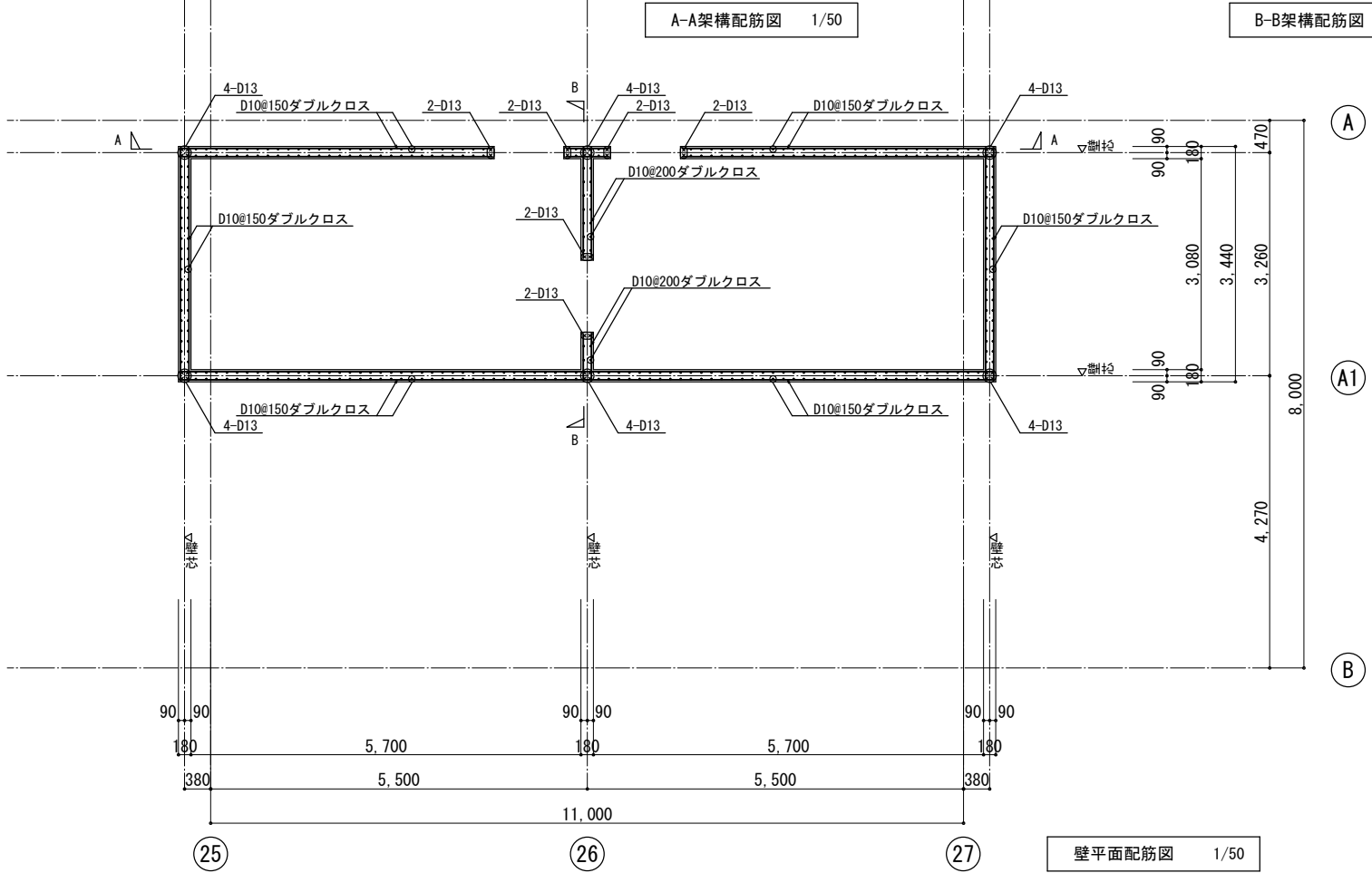
符 号	W18A	W18B
断 面		
壁 厚	180	180
縦 筋	D10@200	D10@150
横 筋	D10@200	D10@150
開口部補強筋	縦	2-D13
	横	4-D13
	斜め	2-D13
巾 止 筋	D10@1,000	D10@900



C-C断面図 1/50

A-A架構配筋図 1/50

B-B架構配筋図 1/50

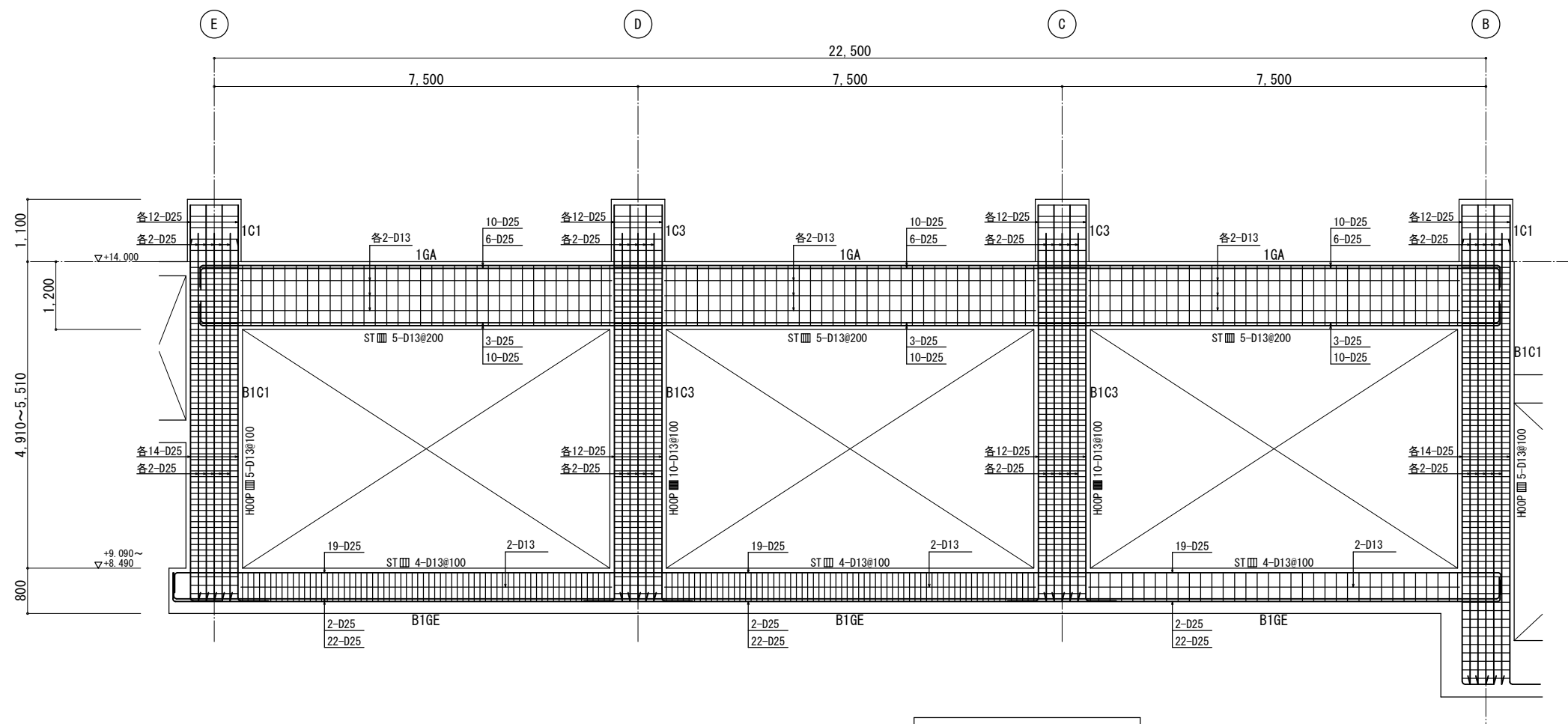


壁平面配筋図 1/50

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 雑配筋図（2）
縮 尺	1／50, 30
図面番号	全 枚中 3S-19号

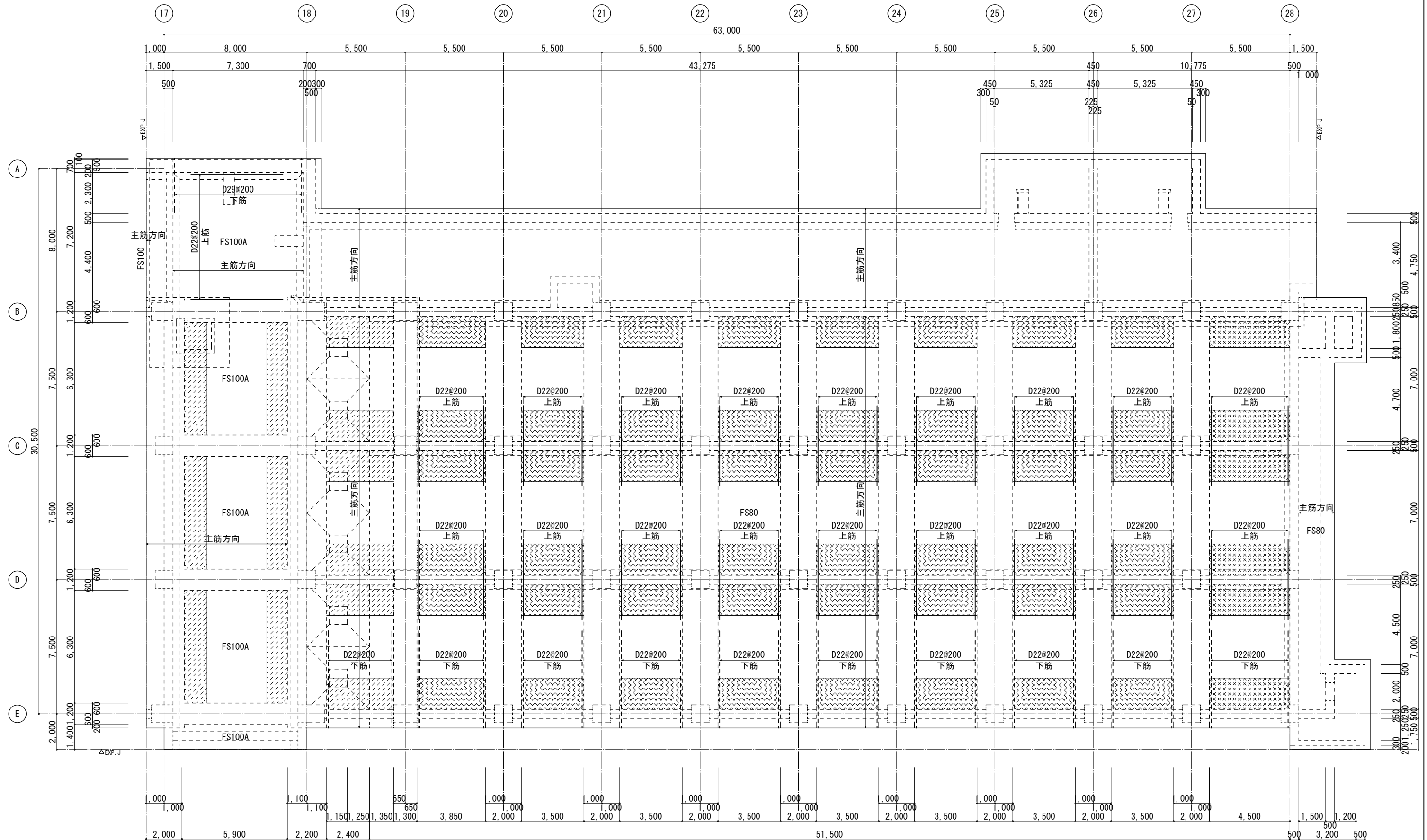
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡橋木 地内
図 名	最終沈殿池 架橋配筋図(1)
縮 尺	1/50
図面番号	全 1 枚中 3S-20 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



20通 架構配筋図 1/50

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最終沈殿池 架構配筋図(2)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-21号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

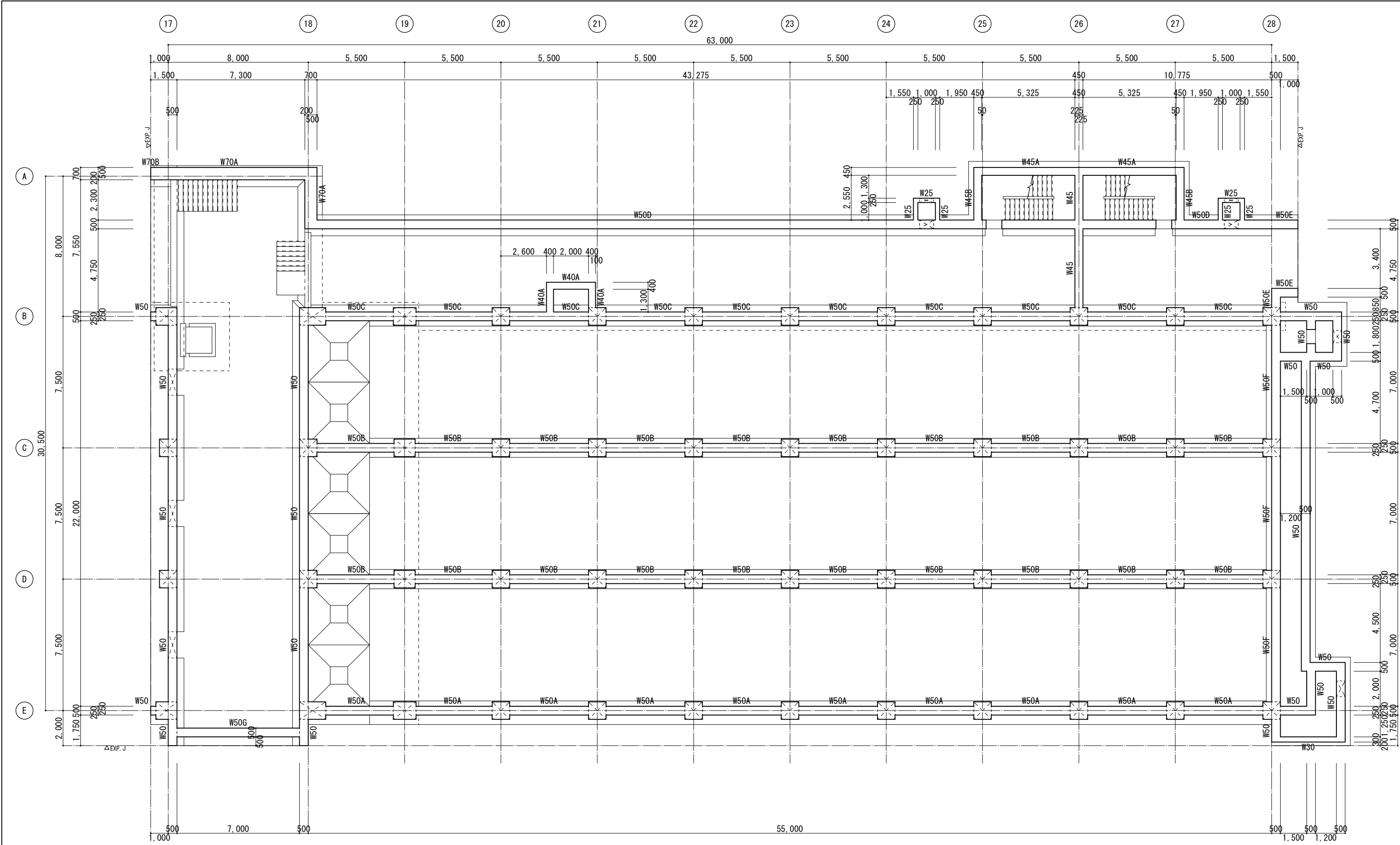


底版配筋符号图 1/100

特記なき限り（共通事項）

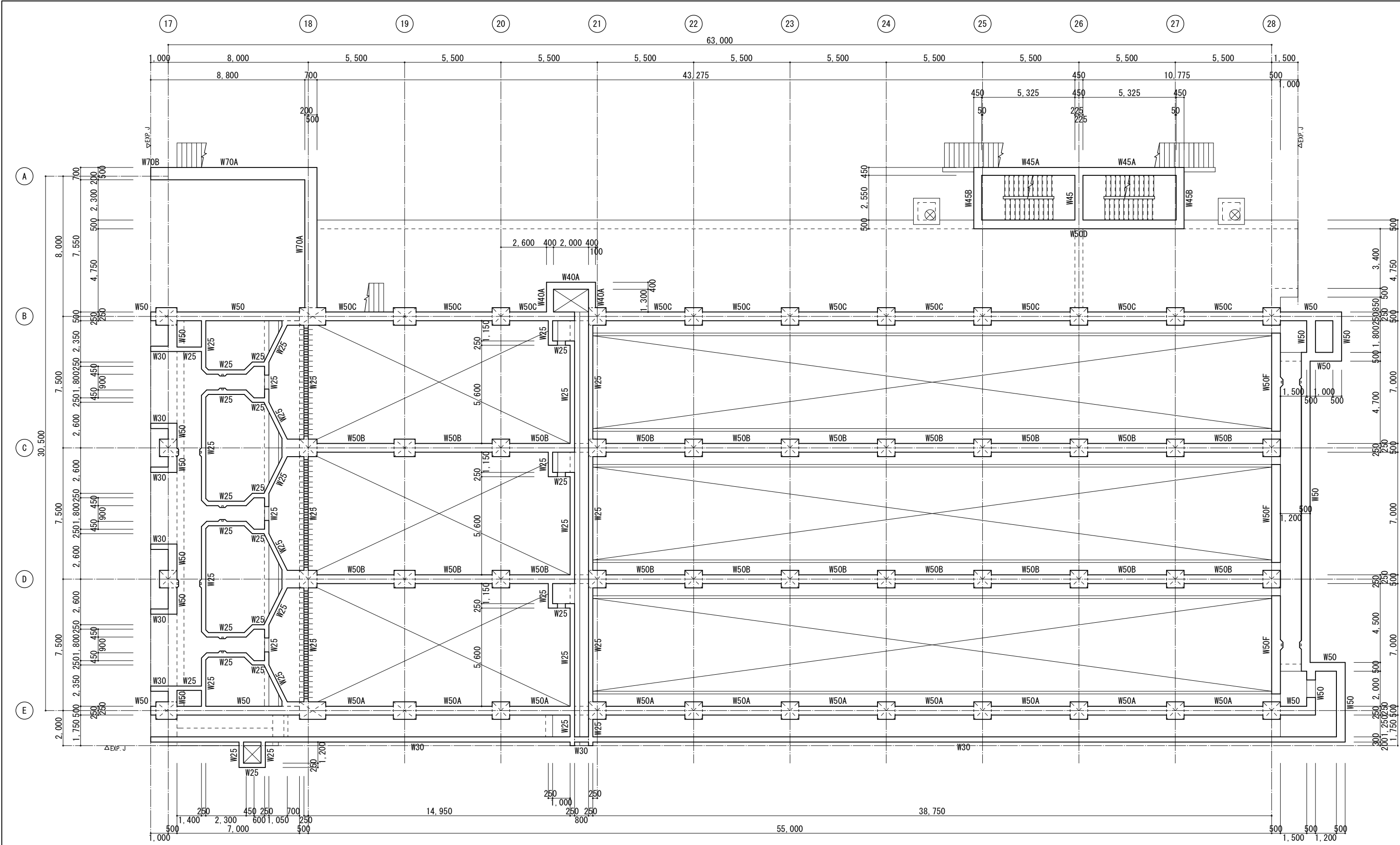
1. 底版符号は、FS100を示す。
2.  の範囲は、せん断補強筋D13@200×200を示す。
3. の範囲は、せん断補強筋D13@200×400を示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最終沈殿池 配筋リスト（1）		
縮 尺	1／100		
図面番号	全	枚	中 3S-22号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



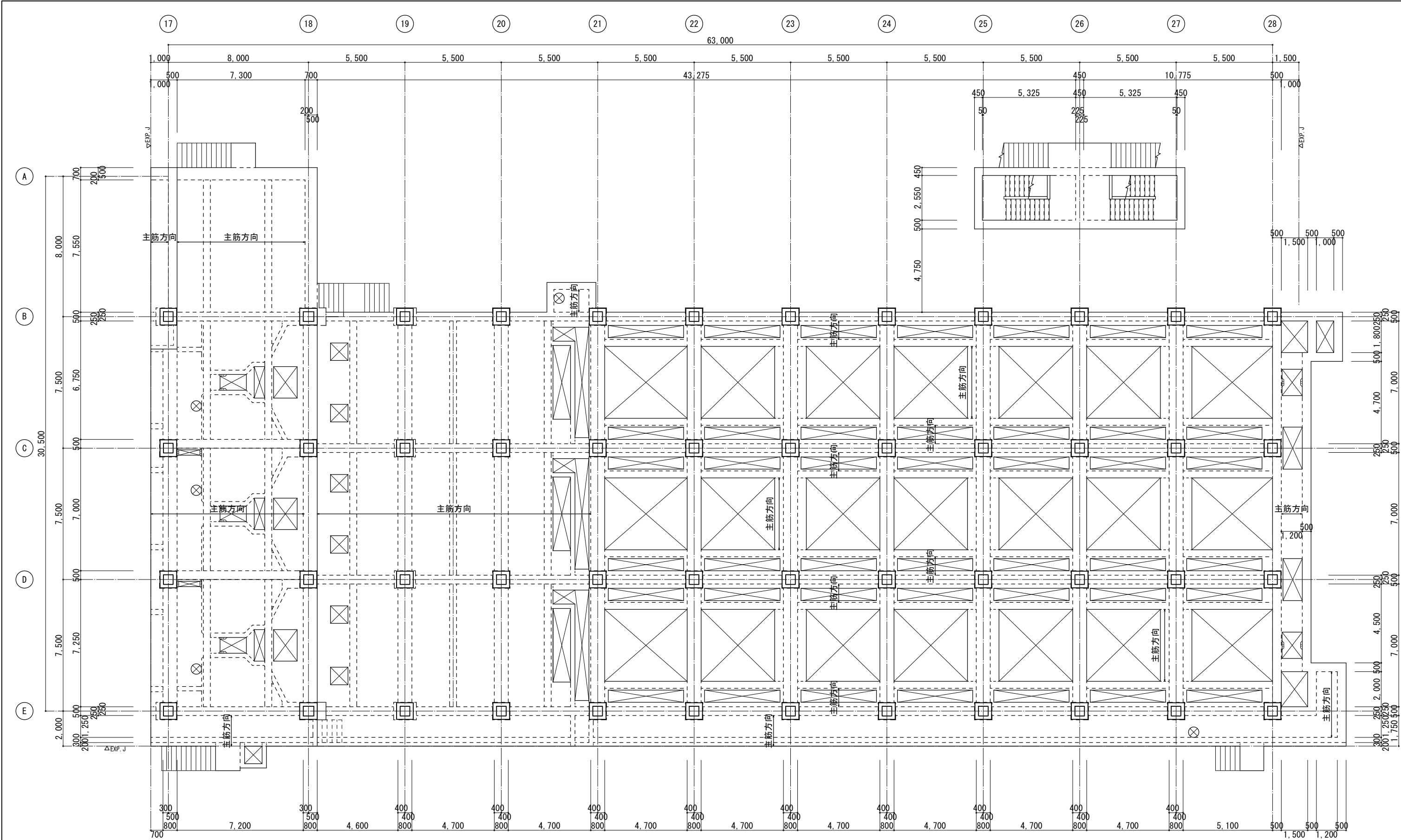
壁配筋符号図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 配筋リスト（2）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-23号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



壁配筋符号図 1/100

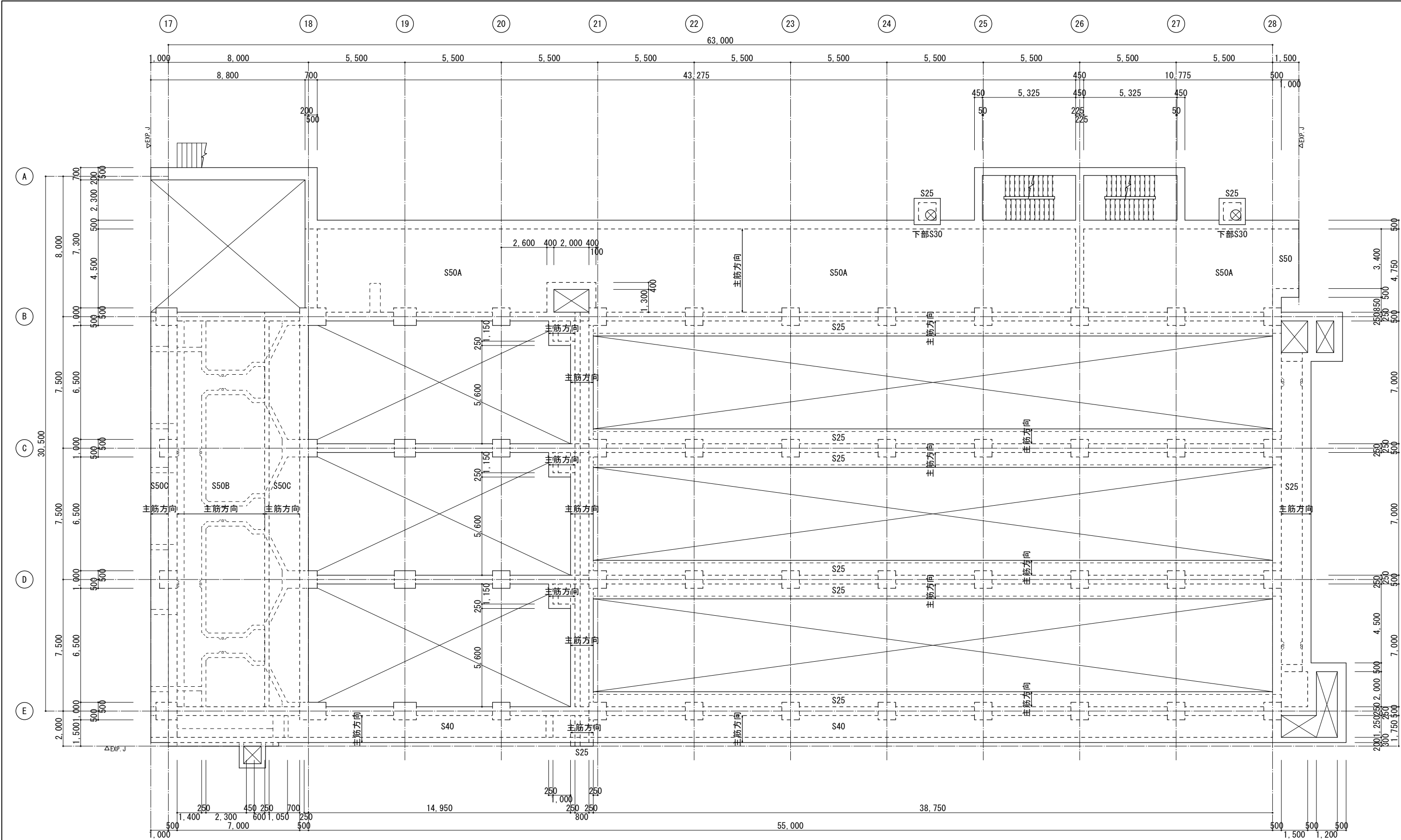
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最終沈殿池 配筋リスト（3）
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 3S-24号
京都府流域下水道事務所	



床版配筋符号図 1/100

特記なき限り（共通事項）
1. S25を示す。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 配筋リスト（4）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-25号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



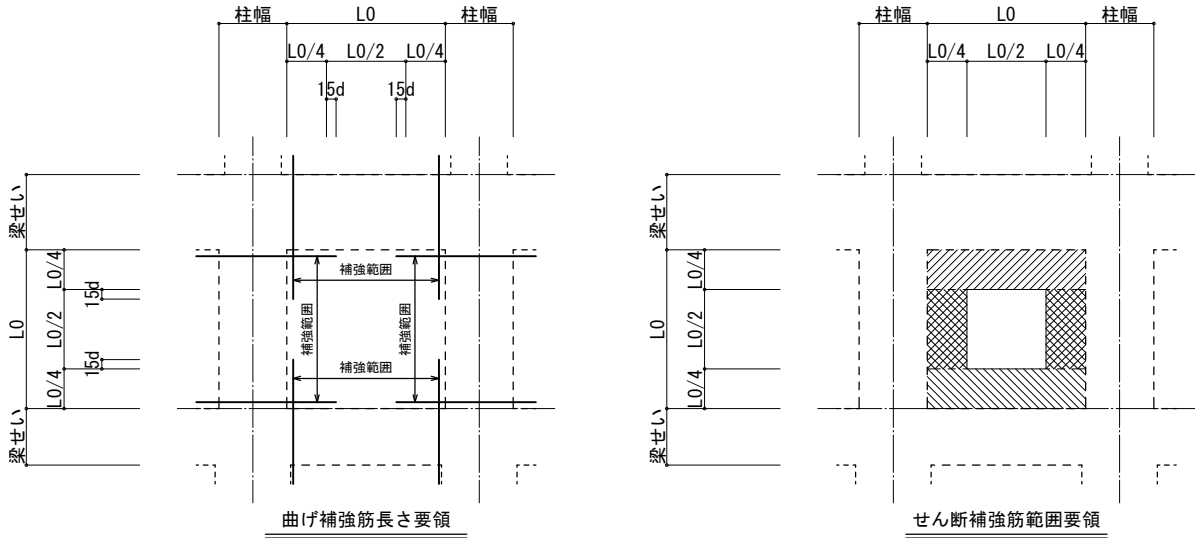
床版配筋符号図 1/100

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 配筋リスト（5）
縮 尺	1／100
図面番号	全 枚中 3S-26号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

底版リスト															
符号	版厚	位置	主筋方向（短辺）			配力筋方向（長辺）			せん断補強筋（主筋方向）			せん断補強筋（配力筋方向）			備 考
			外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	
FS80	800	両面	D25@200			D22@200			—	—	—	—	—	—	曲げ・せん断補強筋は、 底版配筋符号図参照
FS100	1000	両面	D25@200			D25@200			—	—	—	—	—	—	
FS100A	1000	上面	D25@200			D25@200			—	—	—	—	—	—	
		下面	D25@200			D29@200									
共通事項			符号なき底版は、配筋図参照とする。 補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。												

壁リスト											
符号	壁厚	位置	縦筋			横筋		開口部補強筋	せん断補強筋		
			上部	中央部	下部	中央部	両端部	縦横斜め	縦筋上部	縦筋下部	横筋両端部
W25	250	両面	D13@200			D13@200		4-D16	—	—	—
W30	300	両面	D13@200			D13@200		4-D16	—	—	—
W40A	400	両面	D19@200			D16@200		—	D13@200×1000	D13@200×400	—
W45	450	両面	D19@200			D16@200		—	—	—	—
W45A	450	土圧側	D22@200			D22@200		—	—	D13@200×200	D13@200×200
		階段室側	D19@200			D19@200					
W45B	450	土圧側	D22@200			D22@200		—	—	—	—
		階段室側	D19@200			D19@200					
W50	500	両面	D19@200			D16@200		4-D22	—	—	—
W50A	500	土圧側	D22@200		D22@100	D16@200		4-D25	—	—	—
		水圧側	D22@200			D16@200					
W50B	500	両面	D19@200		D16D19@100	D16@200		4-D22	—	—	—
W50C	500	両面	D19@200			D16@200		4-D22	—	D13@200×400	—
W50D	500	土圧側	D22@200			D16@200		4-D25	—	D13@200×400	—
		管廊側	D19@200			D16@200					
W50E	500	土圧側	D22@200			D16@200		—	—	—	—
		管廊側	D19@200			D16@200					
W50F	500	両面	D19@200			D16@200		4-D22	—	D13@200×1000	—
W50G	500	両面	D22@200			D22@200		4-D25	—	D13@200×200	D13@200×400
W70A	700	両面	D29@200		D29@100	D19@200		—	—	D13@200×200	—
W70B	700	土圧側	D22@200		D22@100	D19@200		—	—	D13@200×400	—
		管廊側	D22@200			D19@200					
共通事項			符号なき壁は、配筋図参照とする。 補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 壁幅止め筋は、▽-D13@1,000×1,000程度とする。但し、せん断補強筋は、幅止め筋を兼用とする。 せん断補強筋表示は、縦筋の場合：D**@P×P=鉄筋径@縦方向ピッチ×横方向ピッチとし 横筋の場合：鉄筋径@横方向ピッチ×縦方向ピッチとする。								

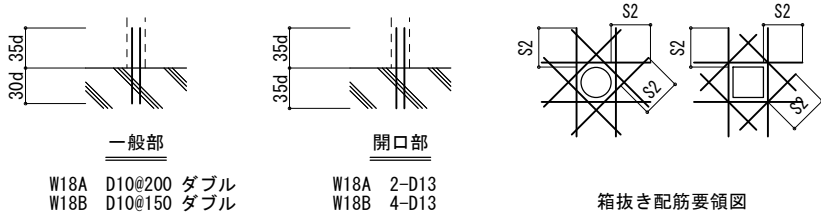
床版リスト												
符号	版厚	位置	主筋方向（短辺）		配力筋方向（長辺）		開口部補強筋	せん断補強筋（主筋方向）		せん断補強筋（配力筋方向）		備 考
			端部	中央部	端部	中央部	縦横斜め	外端部	内端部	外端部	内端部	
S25	250	両面	D13@200		D13@200		4-D16	—	—	—	—	
S30	300	両面	D13@200		D13@200		4-D16	—	—	—	—	
S40	400	上面	D19@200		D16@200		—	—	—	—	—	
		下面	D16@200		D16@200							
S50	500	上面	D22@200		D16@200		—	—	—	—	—	
		下面	D19@200		D16@200							
S50A	500	上面	D22@200		D16@200		—	D13@200×1000	—	—	—	
		下面	D19@200		D16@200							
S50B	500	両面	D19@200		D16@200		—	D13@200×1000	—	—	—	せん断補強筋 17通端部のみ
S50C	500	両面	D19@200		D16@200		—	—	—	—	—	
階段 段部	250	上面	2-D13		D13@200		—	—	—	—	—	
		下面	1-D13		D13@200							
共通事項			補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 床版（厚300以上）組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。									



曲げ補強筋長さ要領

特記なき限り（共通事項）

1. 余長として、100mm単位で切り上げること。



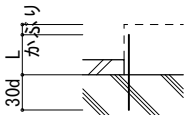
箱抜き配筋要領図

箱抜きの位置及び大きさは箱抜き図を参照する。
補強筋径は主筋サイズの1ランク上の径を使用する。
200φ以下は補強筋は不要とする。

差し筋要領図

特記なき限り（共通事項）

1. 開口位置は、建築図を参照。

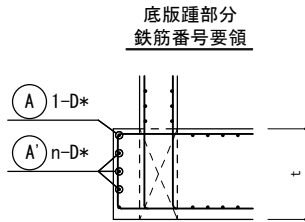
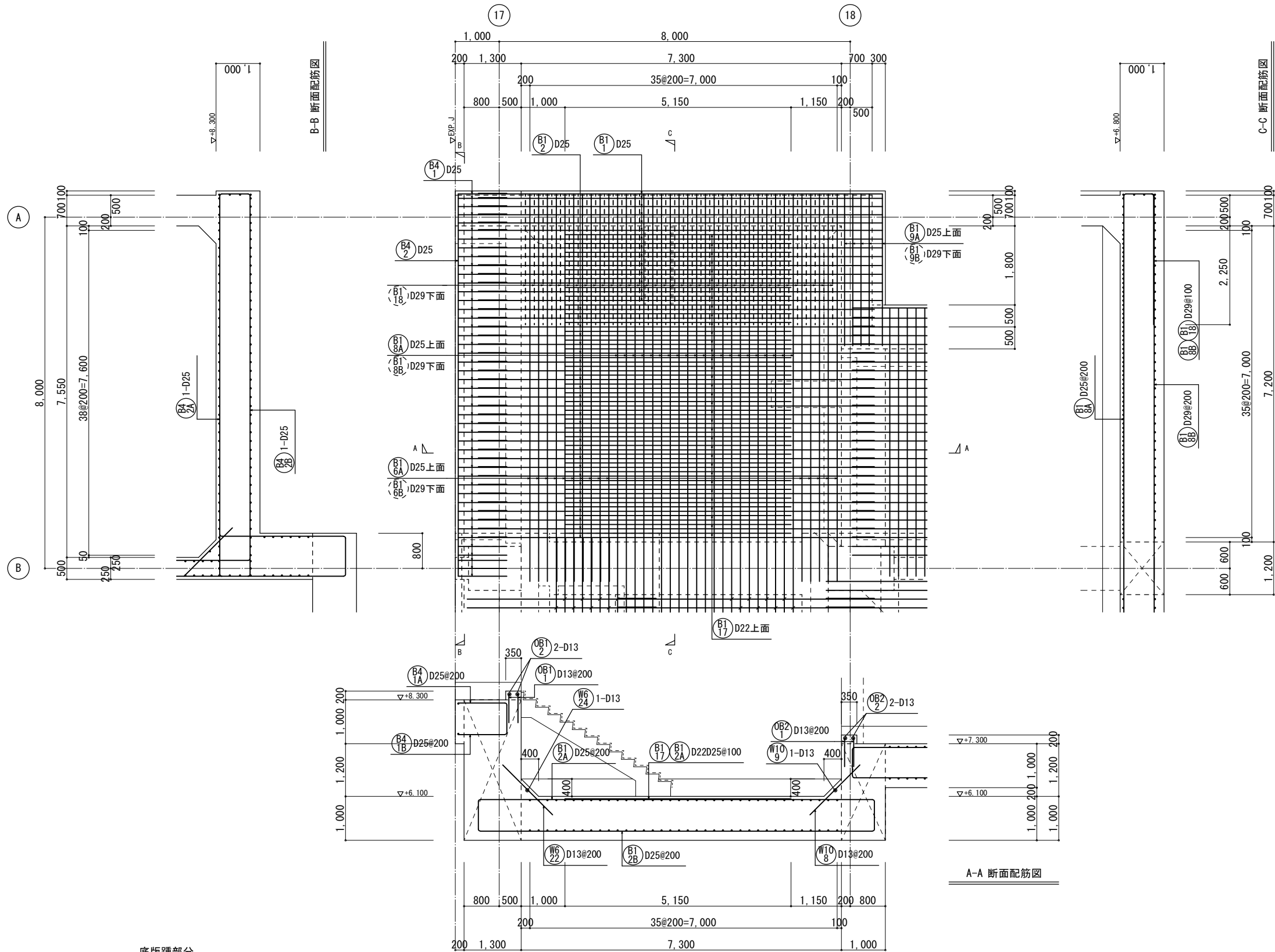


機器基礎差し筋要領図

特記なき限り（共通事項）

1. 鉄筋は、SD295A D13@200とする。
1. 機器基礎の位置及び大きさは、箱抜き図を参照。
2. Lは、機器基礎天端から、かぶりを引いた長さとする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 配筋リスト（6）
縮 尺	—
図面番号	全 1 枚中 3S-27 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



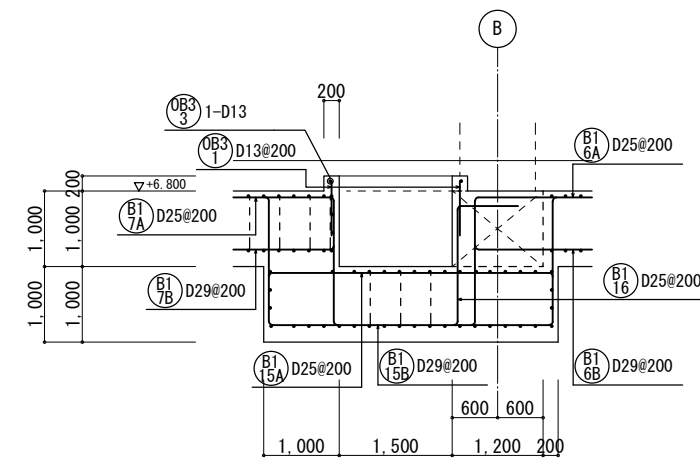
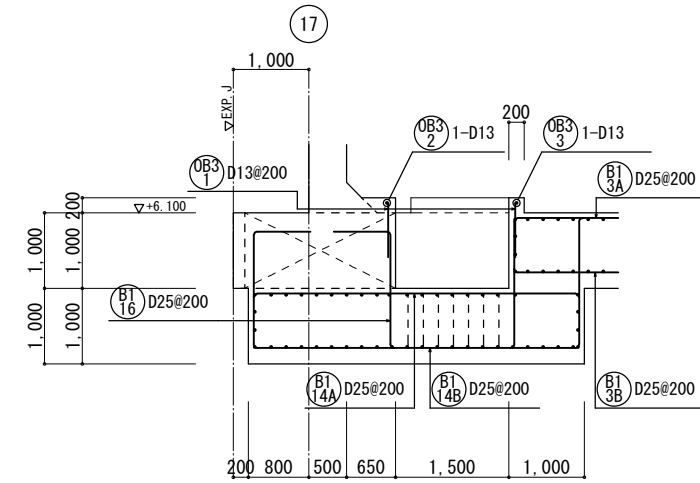
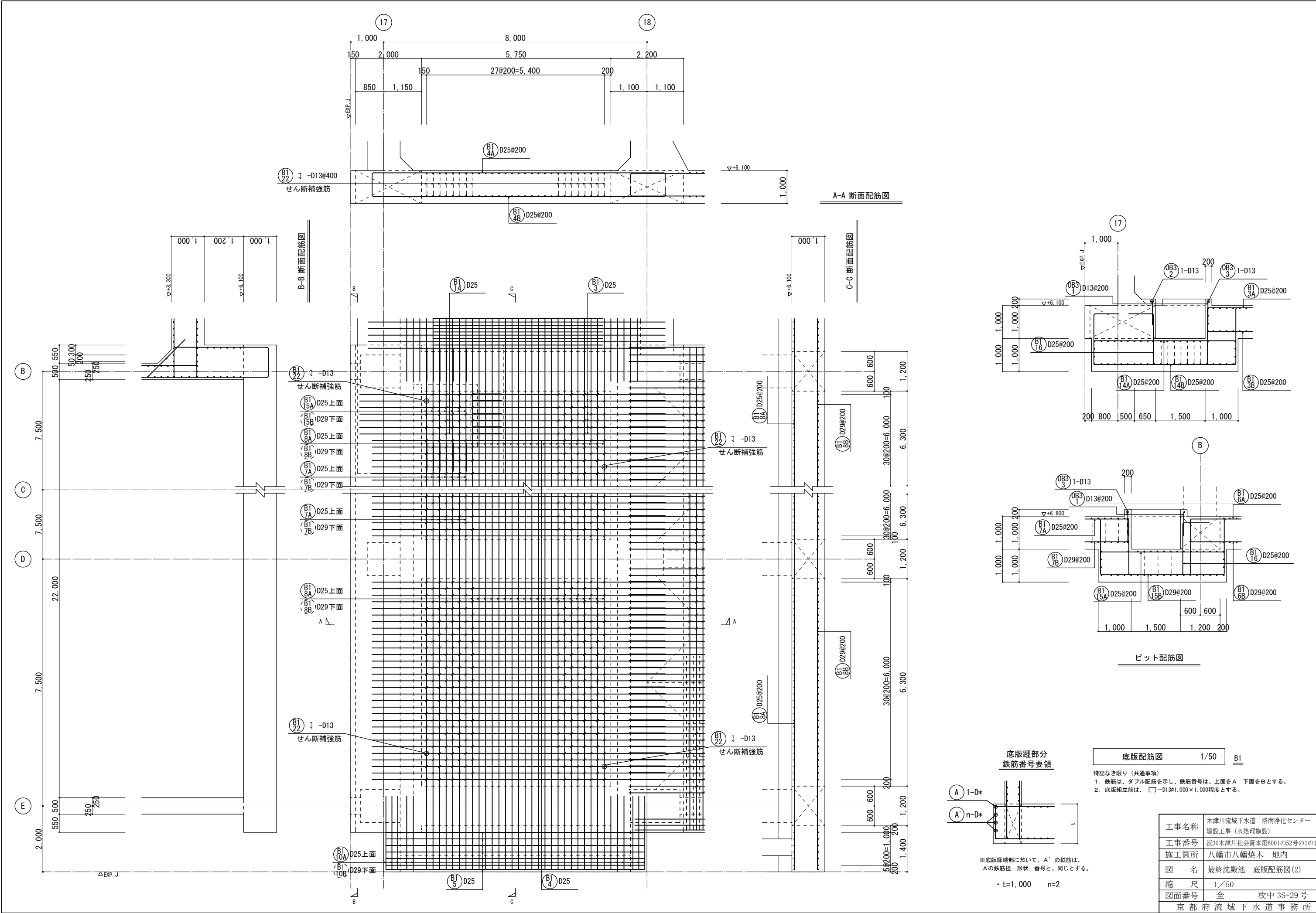
※底版縁端部に於いて、A' の鉄筋は、
A の鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

・ t=1,000 n=2

底版配筋図 1/50 B1 B5

- 特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 底版配筋図(1)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-28号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



ビット配筋図

底版踵部分
鉄筋番号要領

※底版踵端部に於いて、A'の鉄筋は、
Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

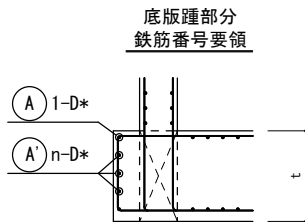
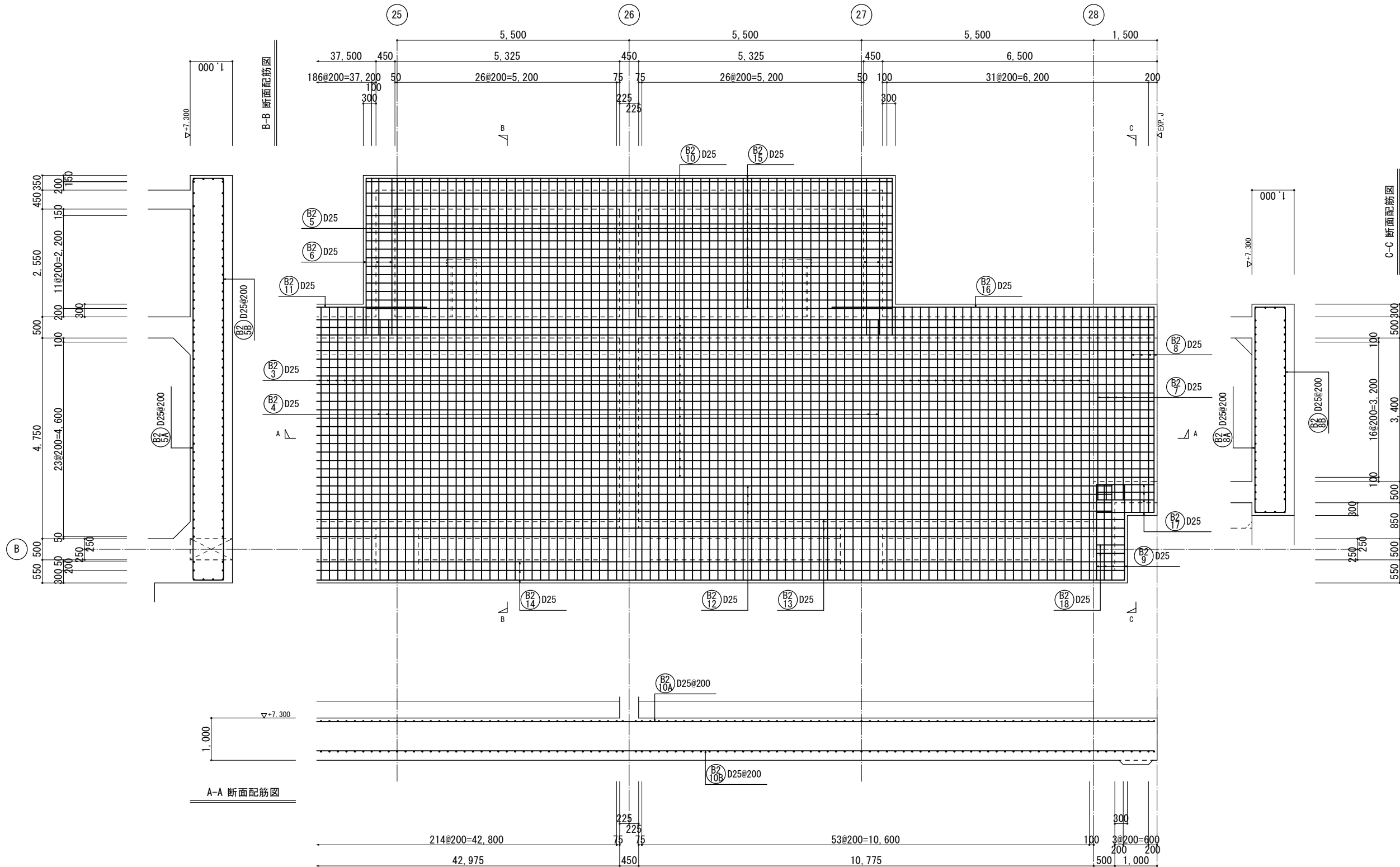
・t=1,000 n=2

底版配筋図 1/50 B1

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底版縦立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 底版配筋図(2)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-29号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 尺	最終沈殿池 底版配筋図(3)		
縮 尺	1/50		
図面番号	全	枚中	3S-30号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



※底版縁端部に於いて、A' の鉄筋は、
Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

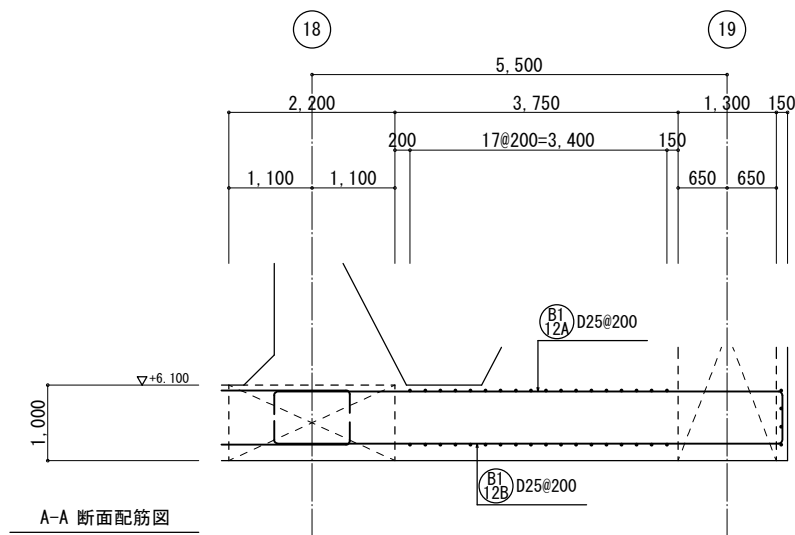
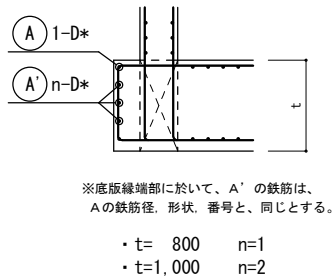
・ t=1,000 n=2

底版配筋図 1/50 B2

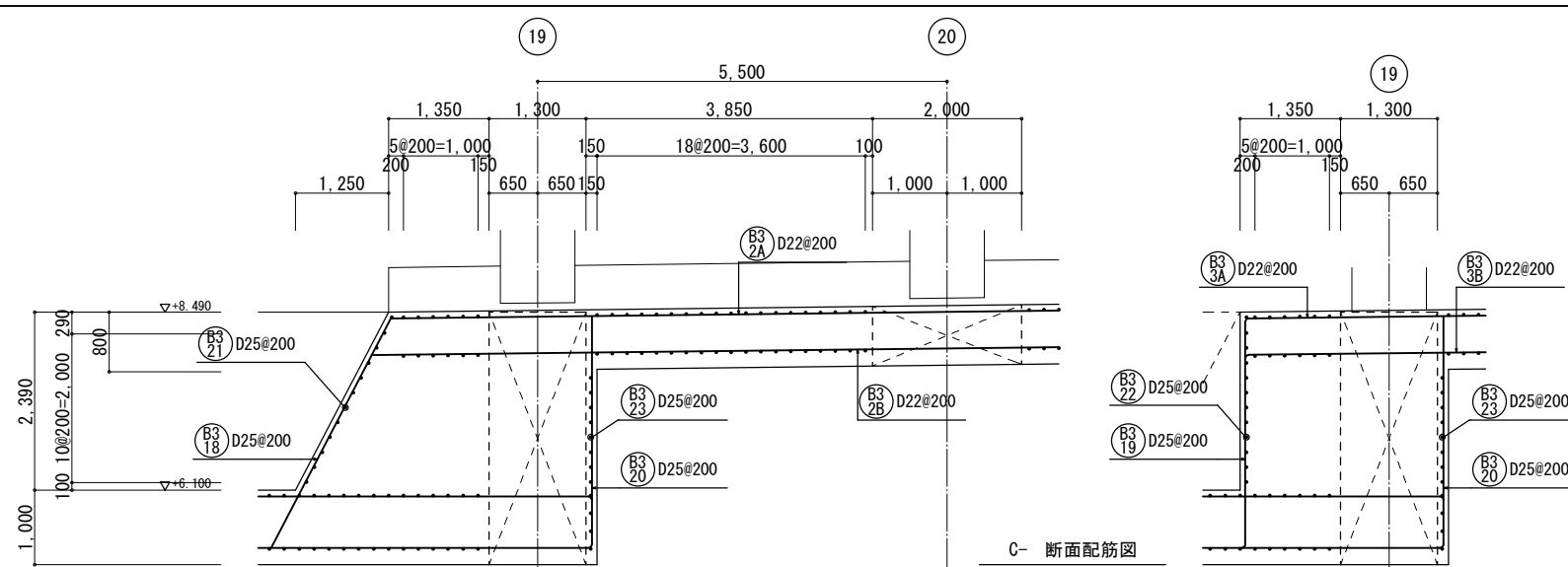
- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 底版組立筋は、□—D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 底版配筋図(4)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-31号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

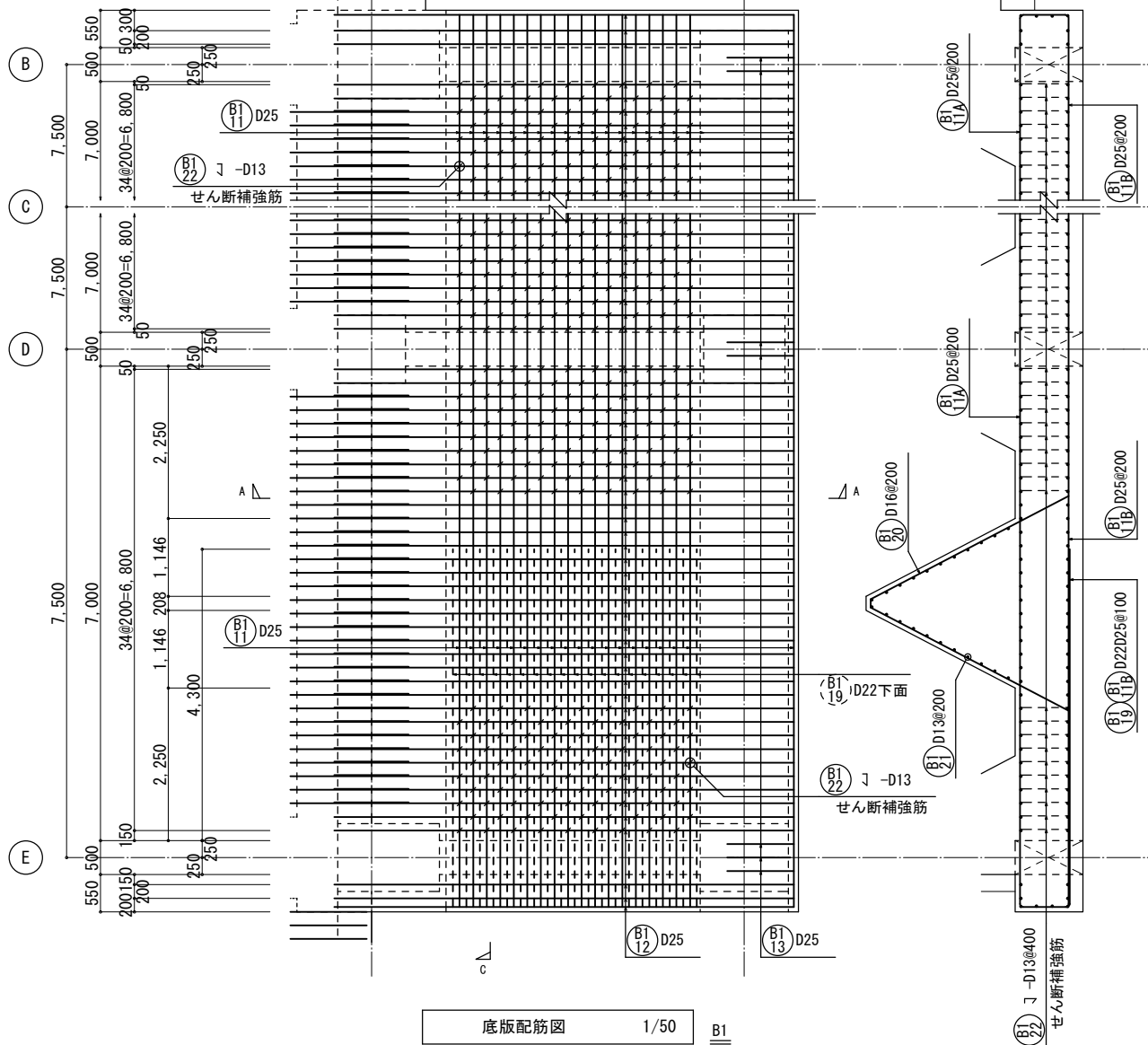
底板踵部分
鉄筋番号要領



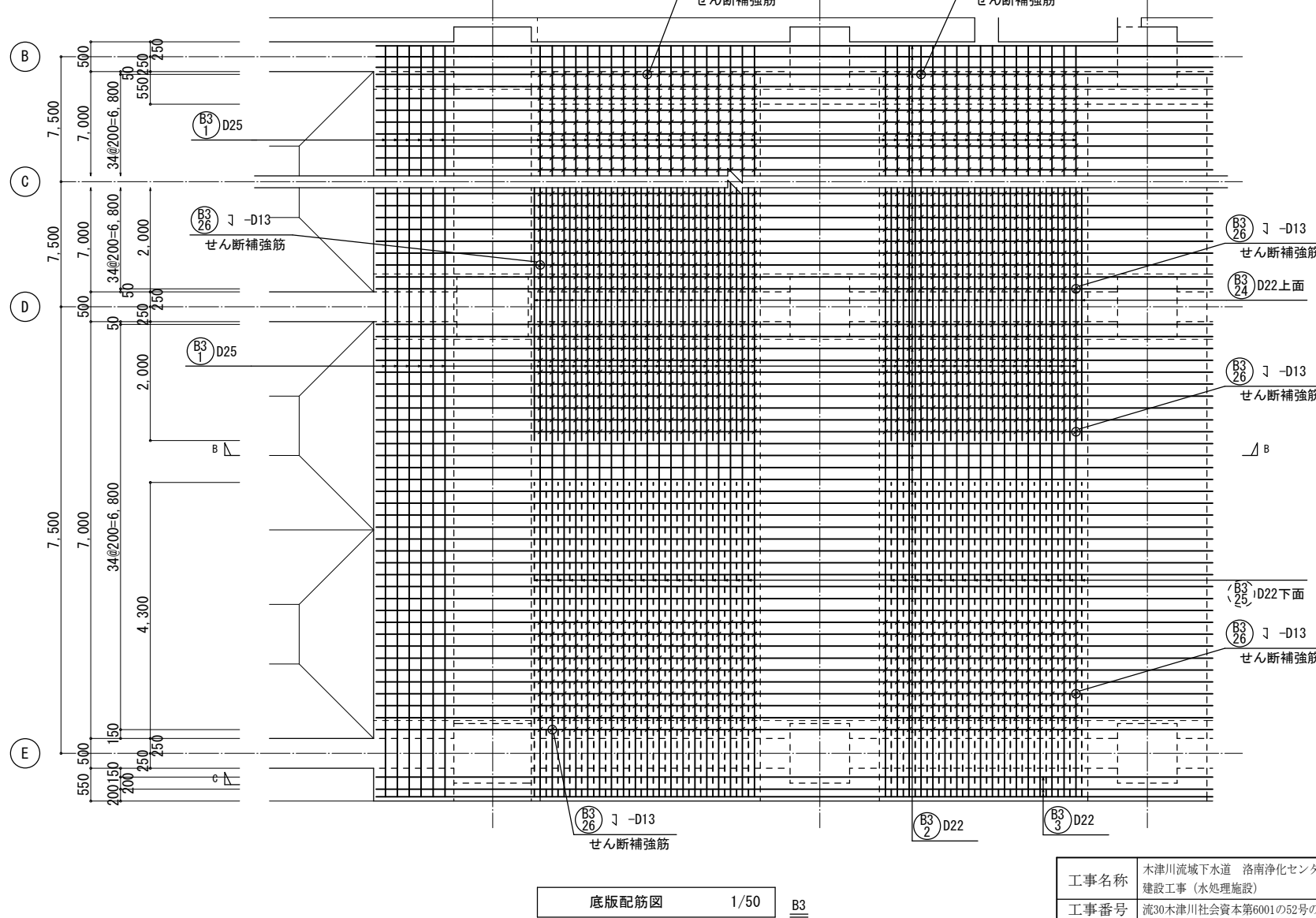
B-B 断面配筋図



C- 断面配筋図

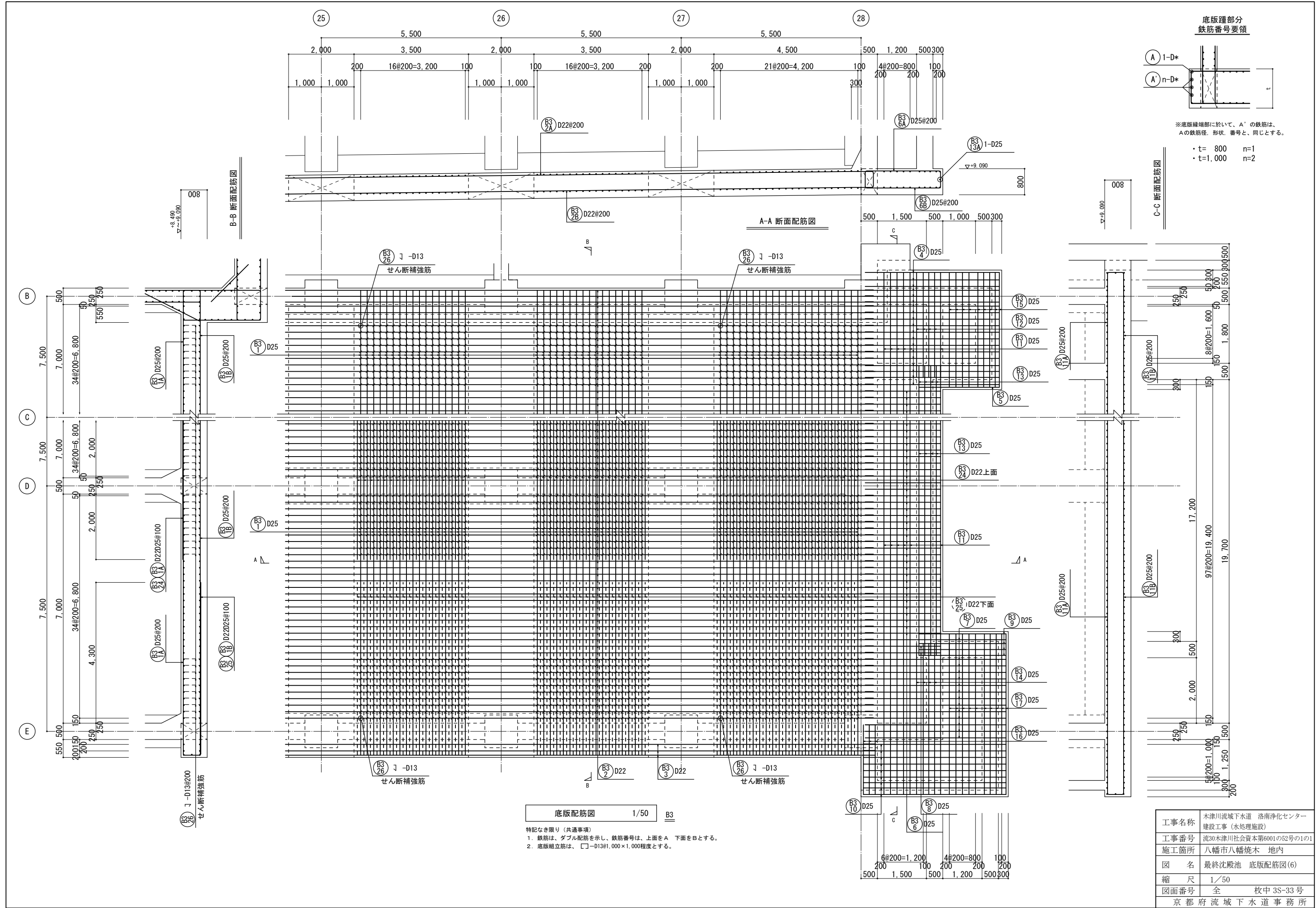


- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 底板相立筋は、□-D13φ1,000×1,000程度とする。



- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 底板相立筋は、□-D13φ1,000×1,000程度とする。
 - C通りの配筋は、D通りの配筋と同様とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 底板配筋図(5)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-32号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



底板端部分
鉄筋番号要領

A 1-D*
A' n-D*

※底板端部に於いて、A' の鉄筋は、
Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

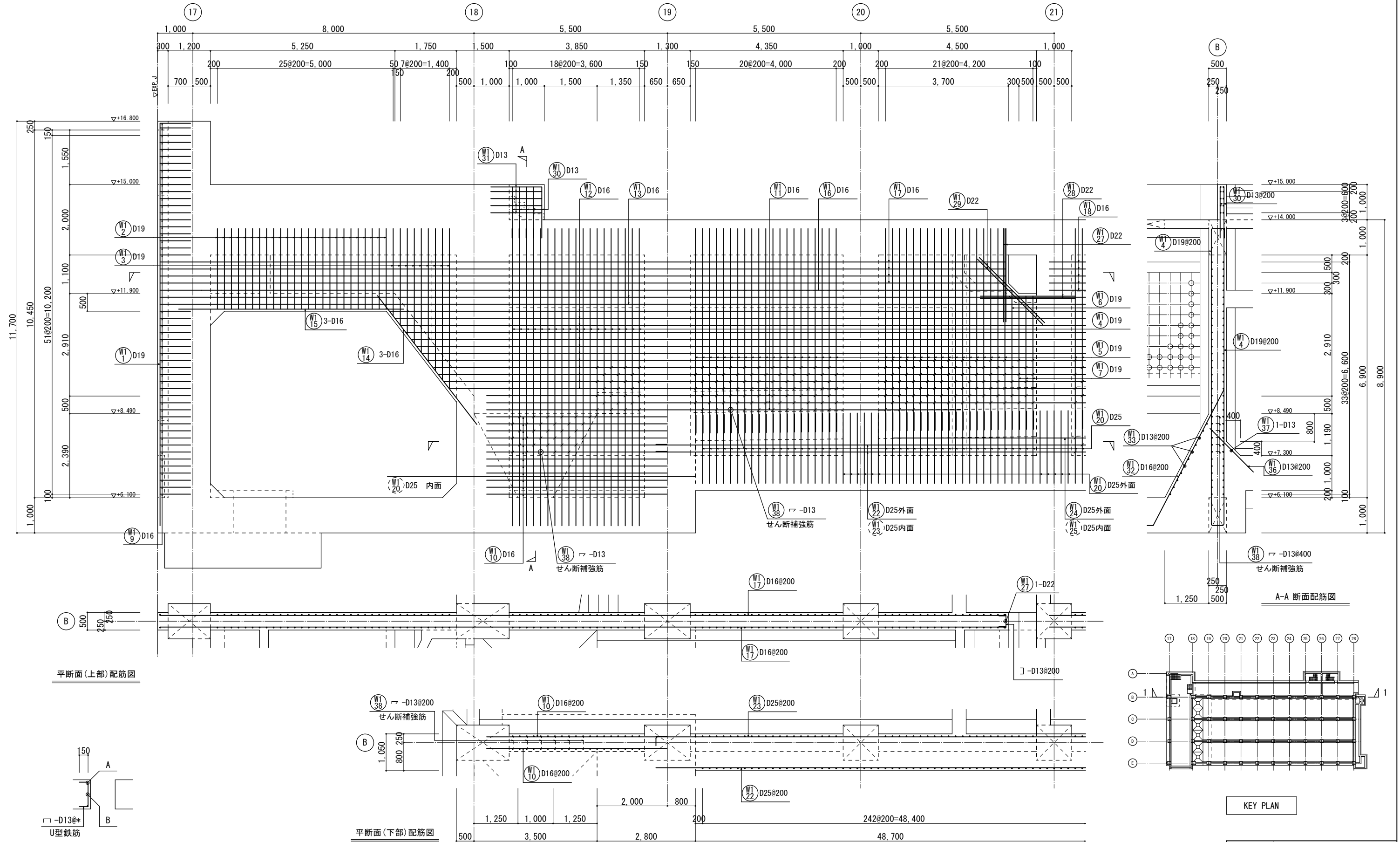
・ t= 800 n=1
・ t=1,000 n=2

C-C 断面配筋図

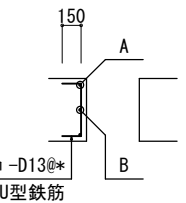
底板配筋図 1/50 B3

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 底板相立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 底板配筋図(6)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-33号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



平断面(上部)配筋図



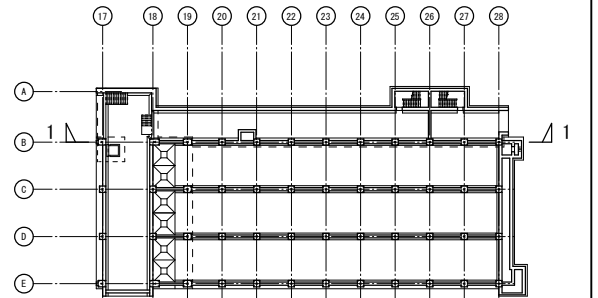
開口補強筋要領

- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。

1-1 壁配筋図 1/50 W1

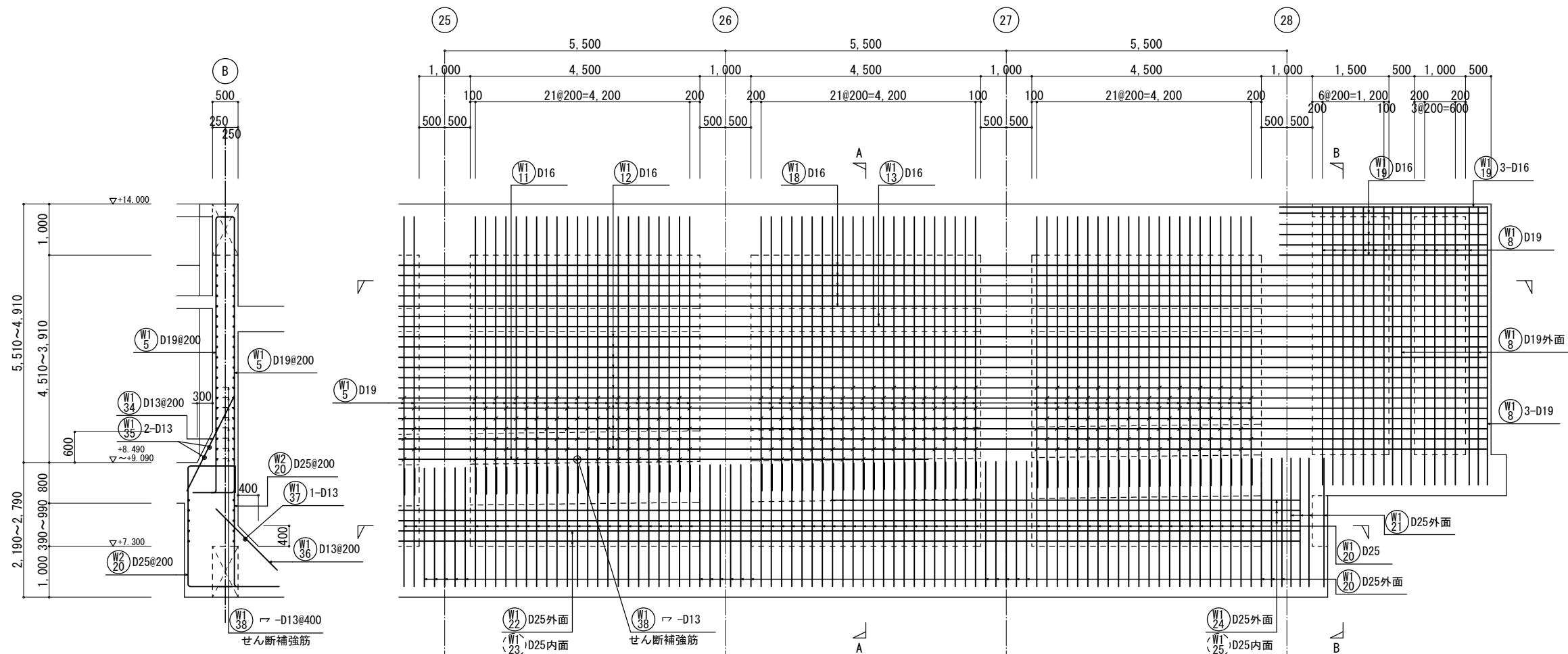
- 特記なき限り(共通事項)
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ W1-D13@1,000×1,000程度とする。
但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

A-A 断面配筋図

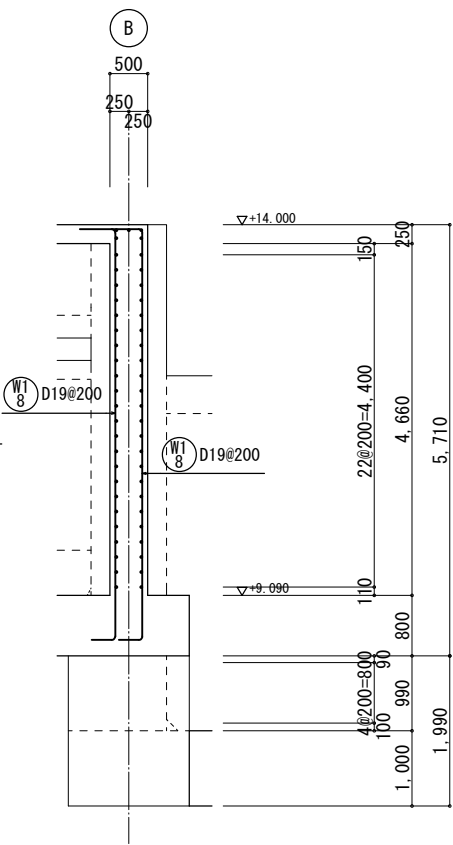


KEY PLAN

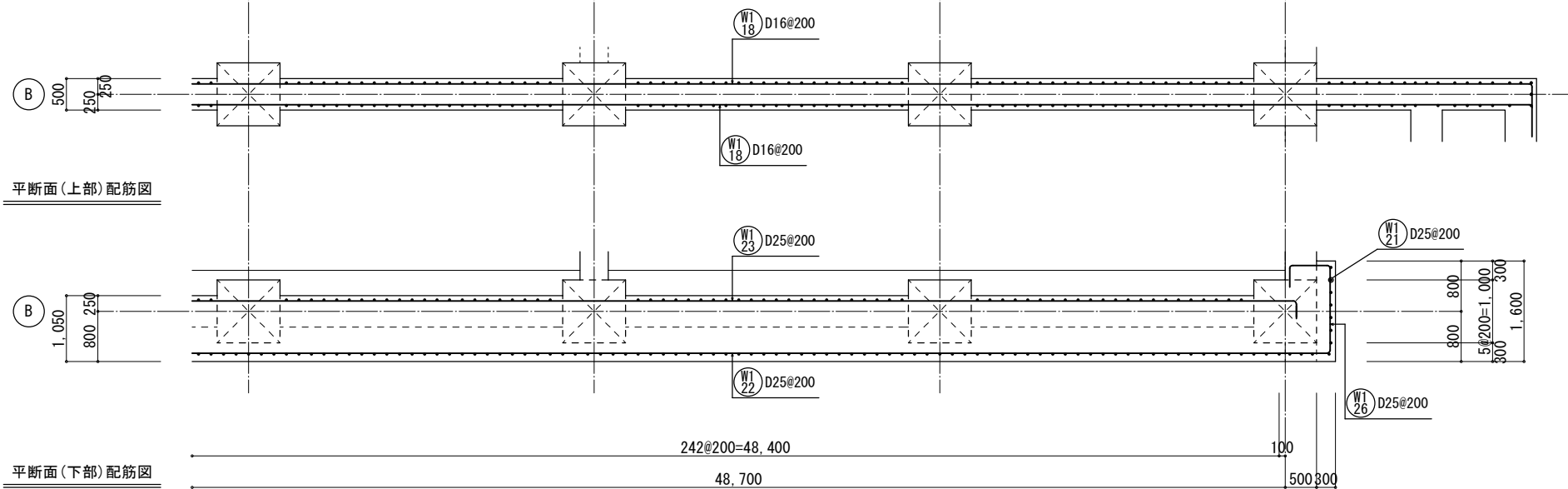
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事(水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最終沈殿池 壁配筋図(1)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-34号
京都府流域下水道事務所	



A-A 断面配筋図

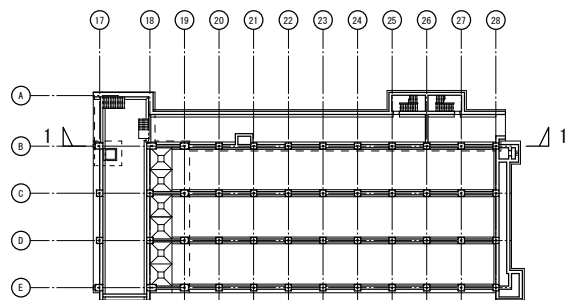


B-B 断面配筋図



平断面 (上部) 配筋図

平断面 (下部) 配筋図

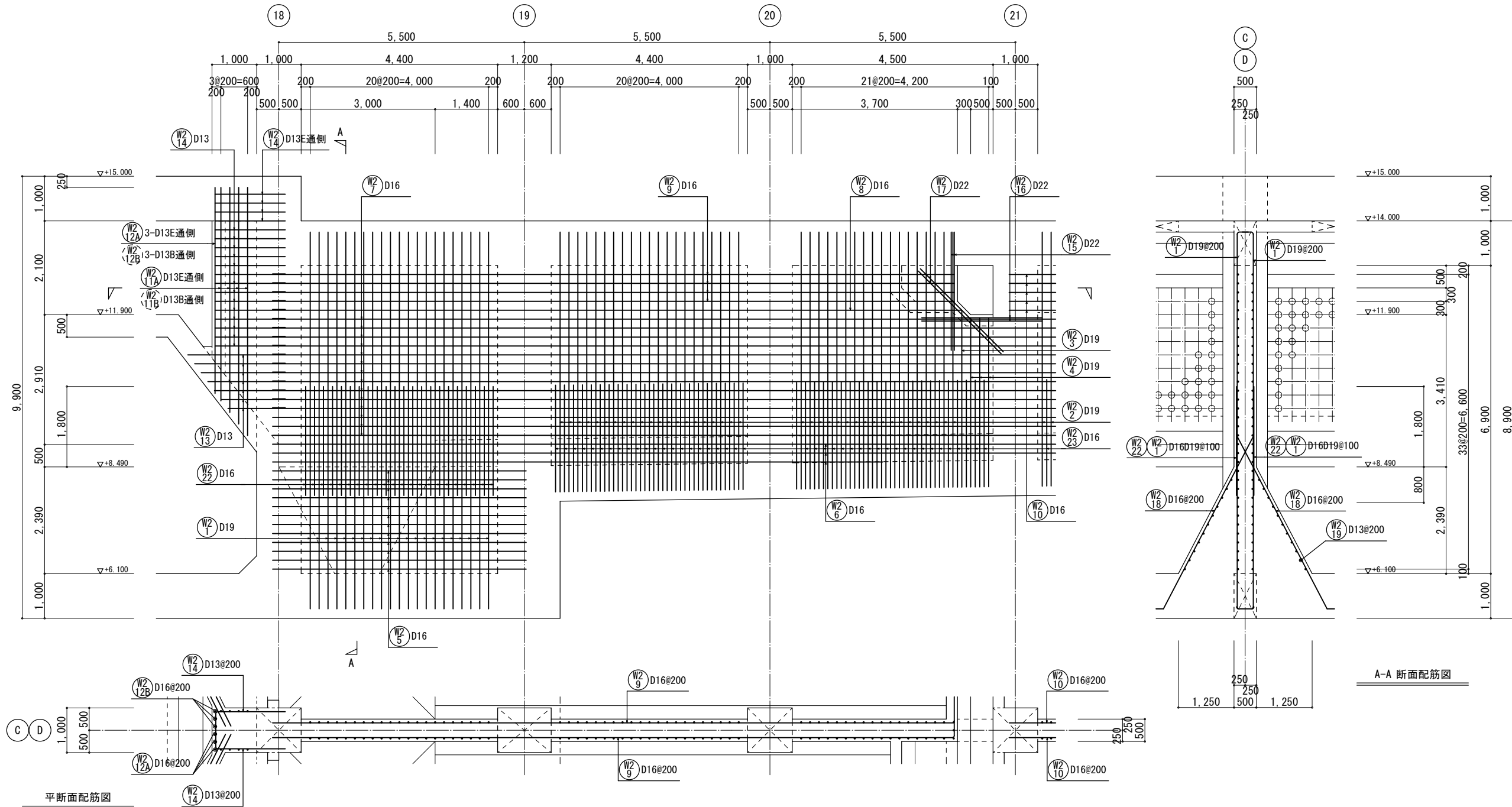


KEY PLAN

1-1 壁配筋図 1/50 W1

- 特記なき限り (共通事項)
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ W-D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

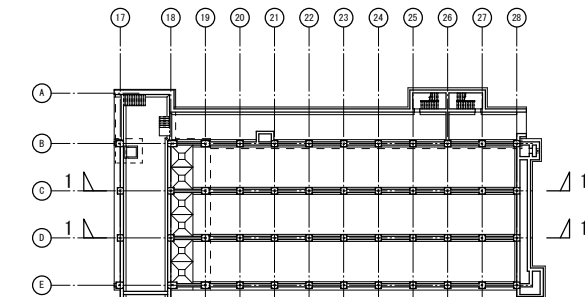
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図 (2)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-35号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



平断面配筋図

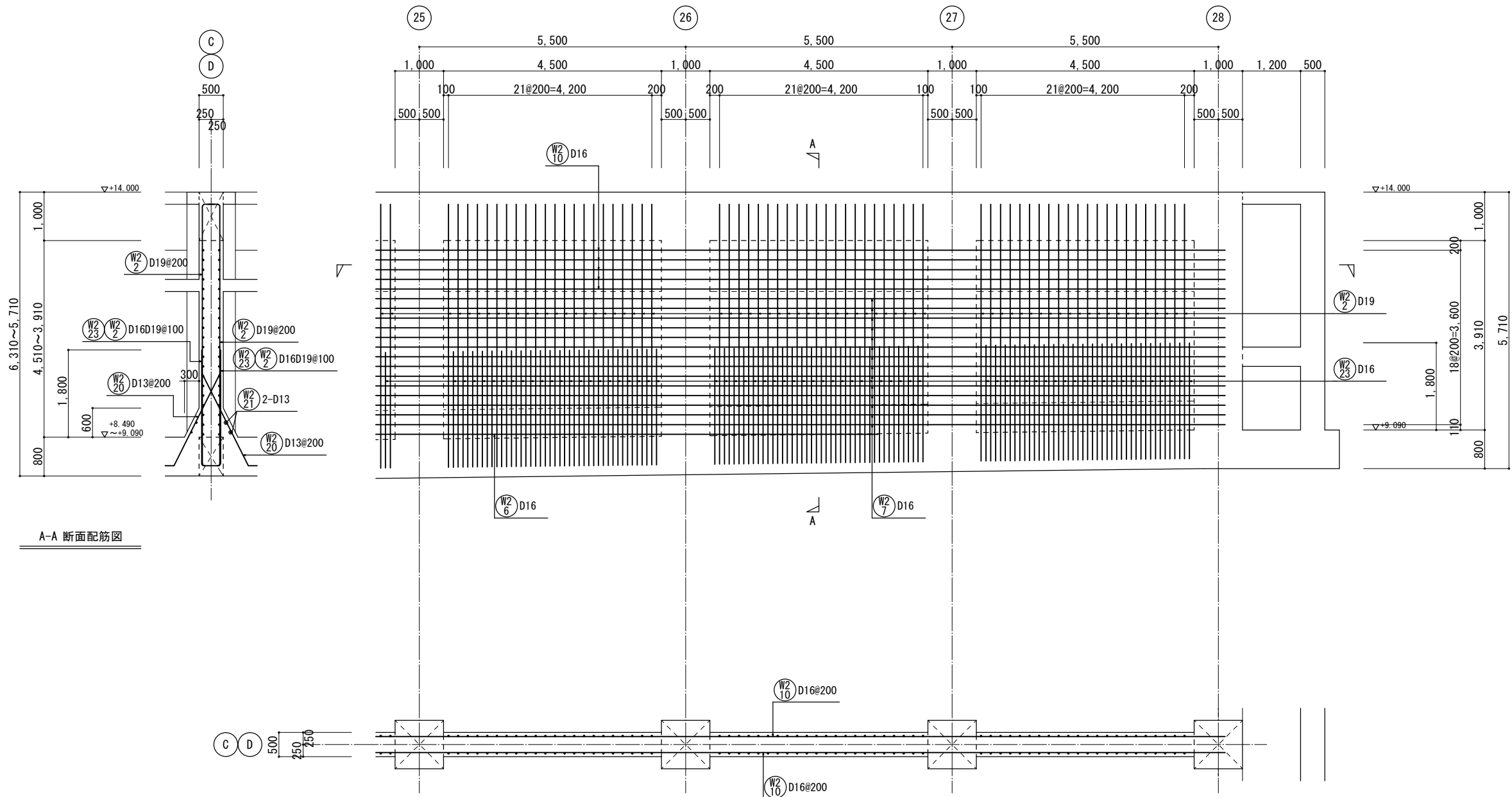
1-1 壁配筋図 1/50 W2

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ —D13@1,000×1,000程度とする。



KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(3)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-36号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

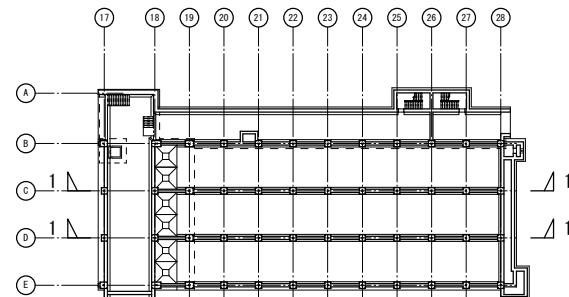
平断面配筋図

1-1 壁配筋図

1/50

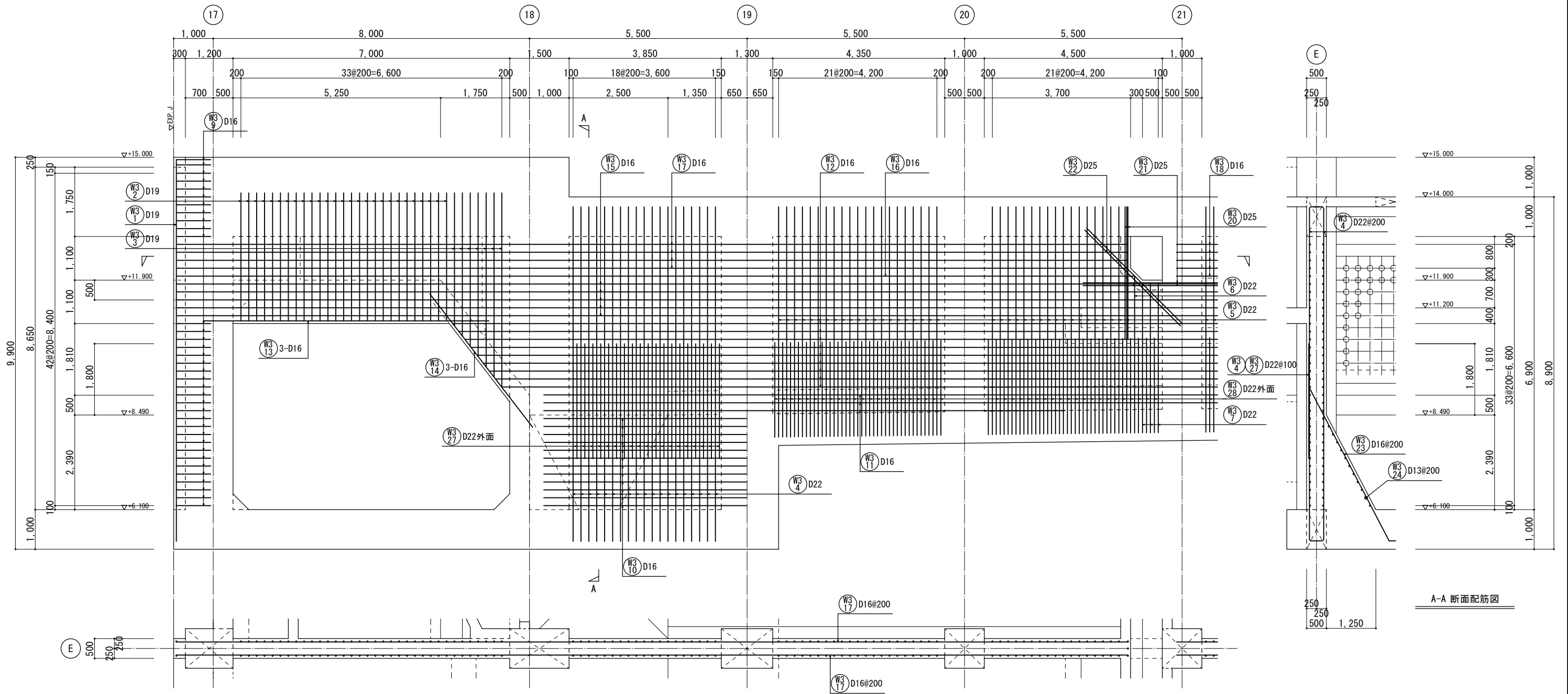
W2

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg$ W-D13@1,000×1,000程度とする。



KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(4)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-37 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



平断面配筋図

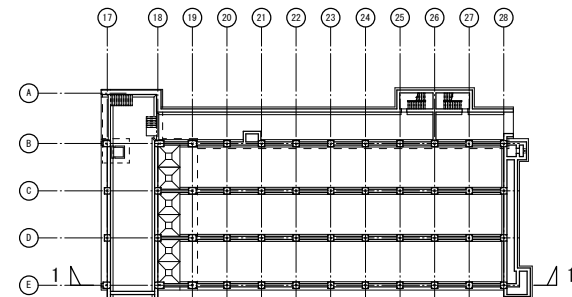
A-A 断面配筋図

1-1 壁配筋図

1/50

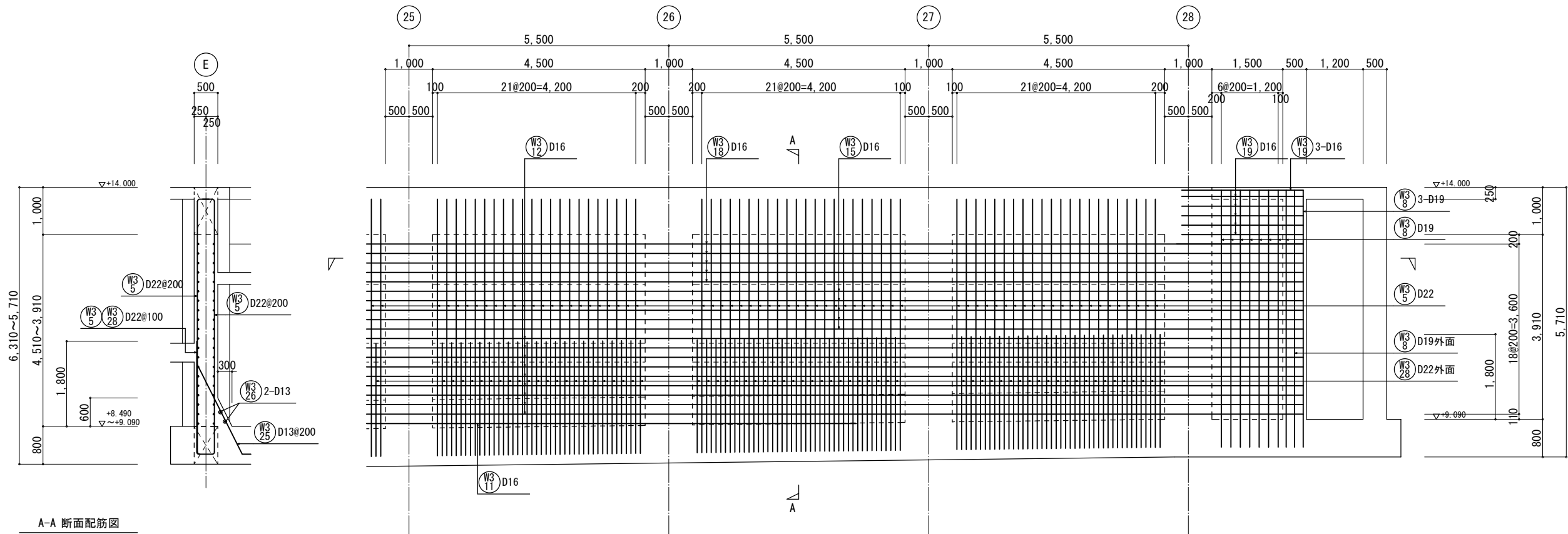
W3

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 ∇ W-D13@1,000×1,000程度とする。

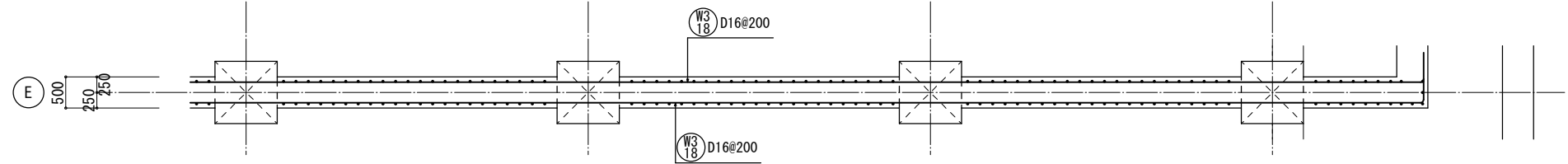


KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(5)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-38 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図



平断面配筋図

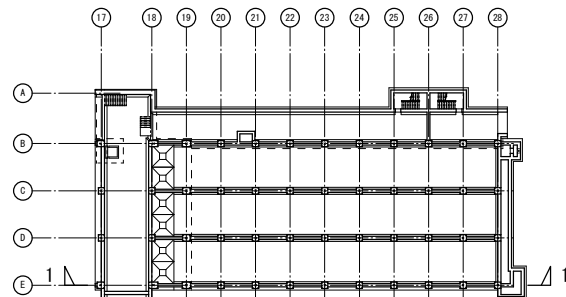
1-1 壁配筋図

1/50

W3

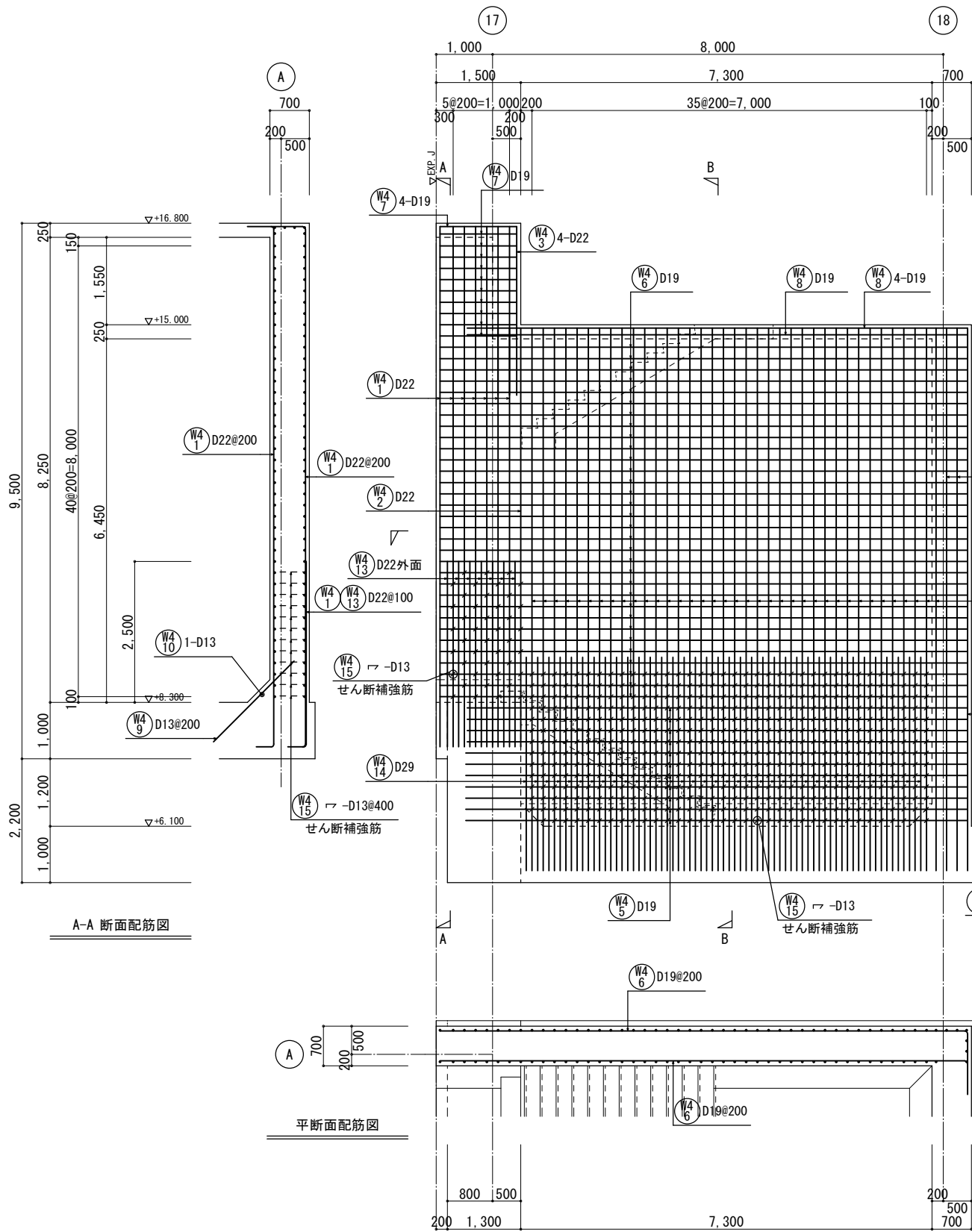
特記なき限り（共通事項）

- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
- 壁幅止め筋は、 $\neg$ W-D13@1,000×1,000程度とする。



KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(6)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-39号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

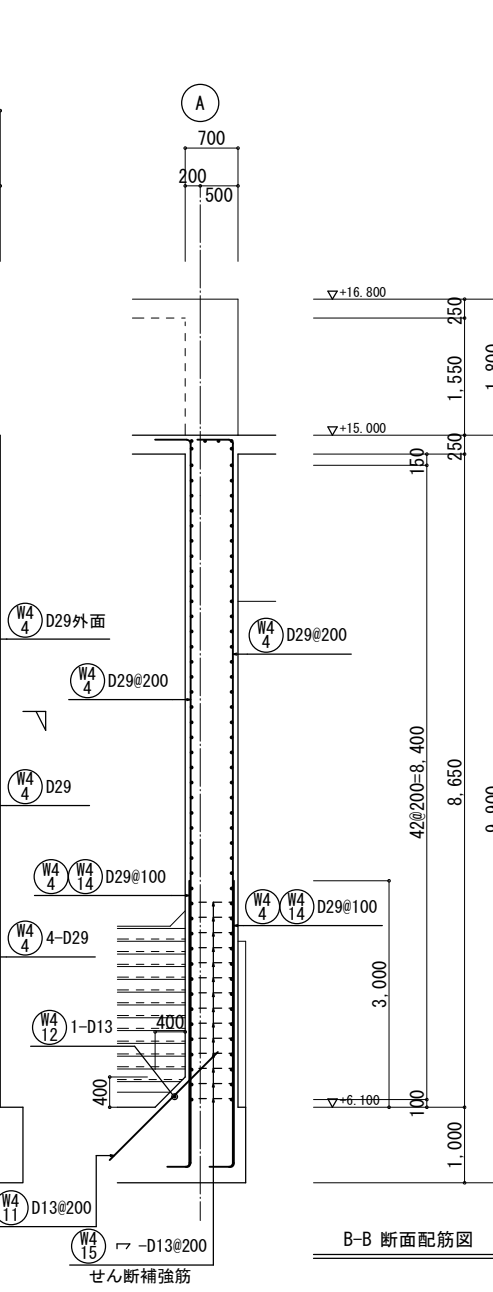


A-A断面配筋図

平断面配筋図

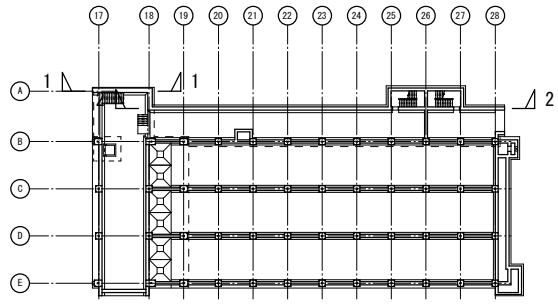
1-1 壁配筋図 1/50 W4

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ D13@1,000×1,000程度とする。
但し セン断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

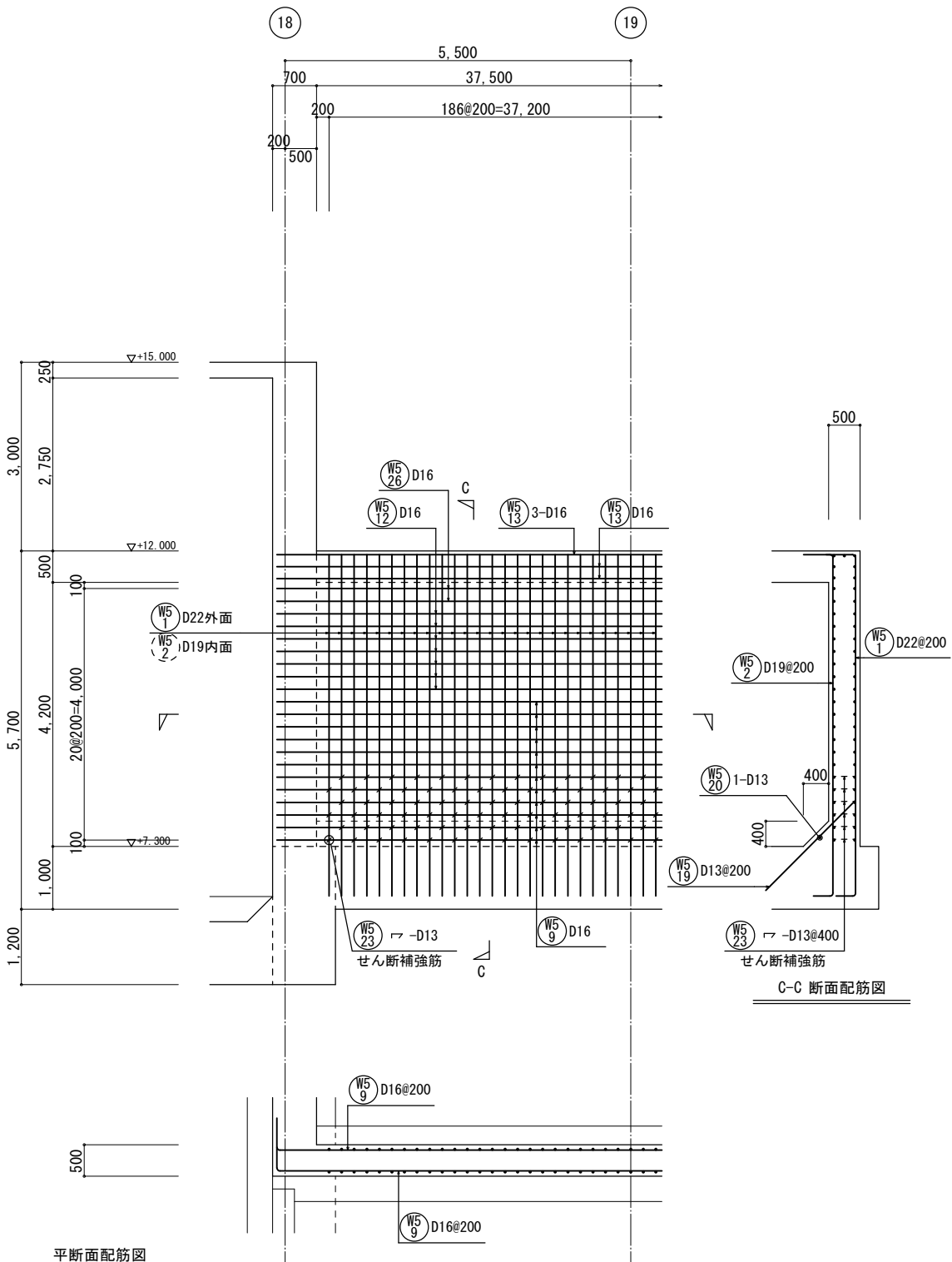


B-B断面配筋図

平断面配筋図



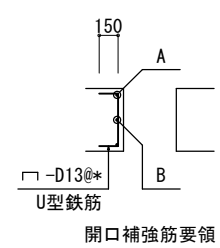
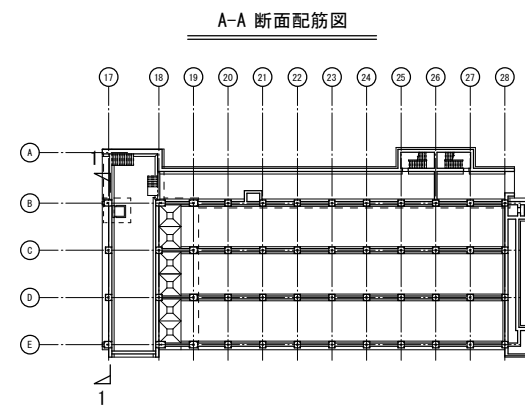
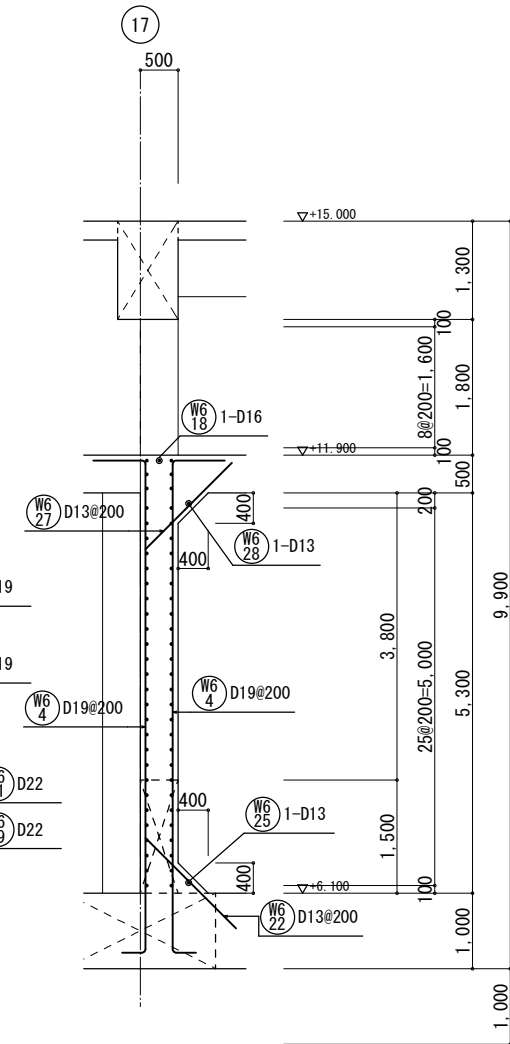
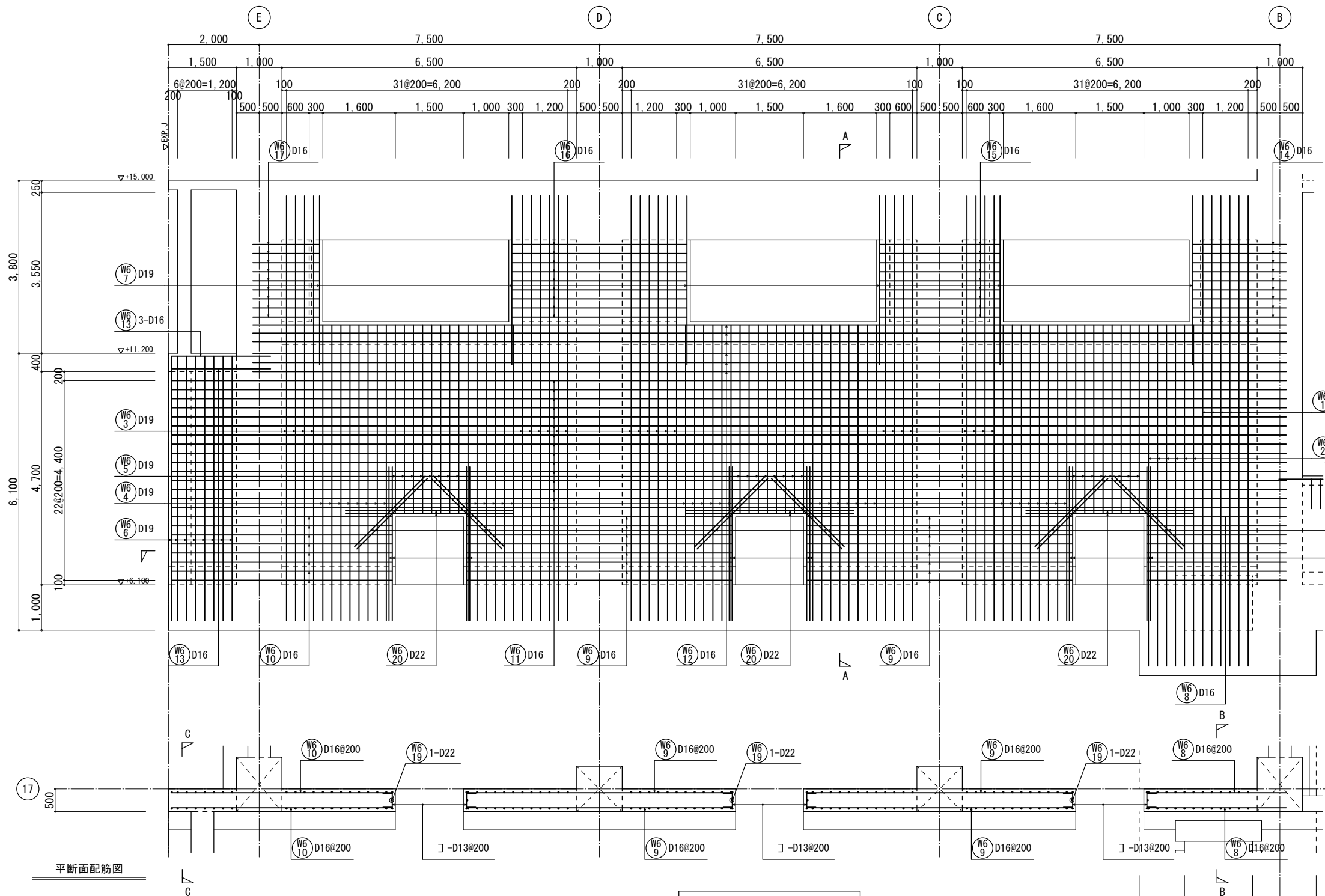
KEY PLAN



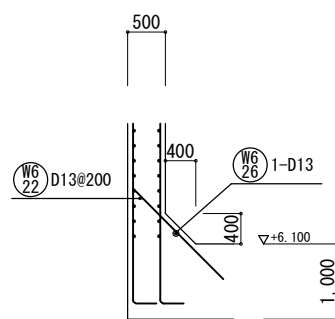
2-2 壁配筋図 1/50 W5

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ D13@1,000×1,000程度とする。
但し セン断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

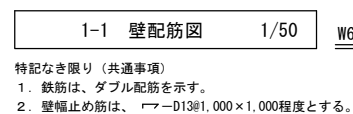
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(7)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-40 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



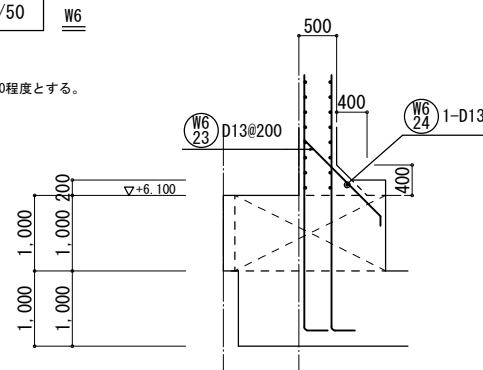
1. 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
2. Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。



C-C 断面配筋図



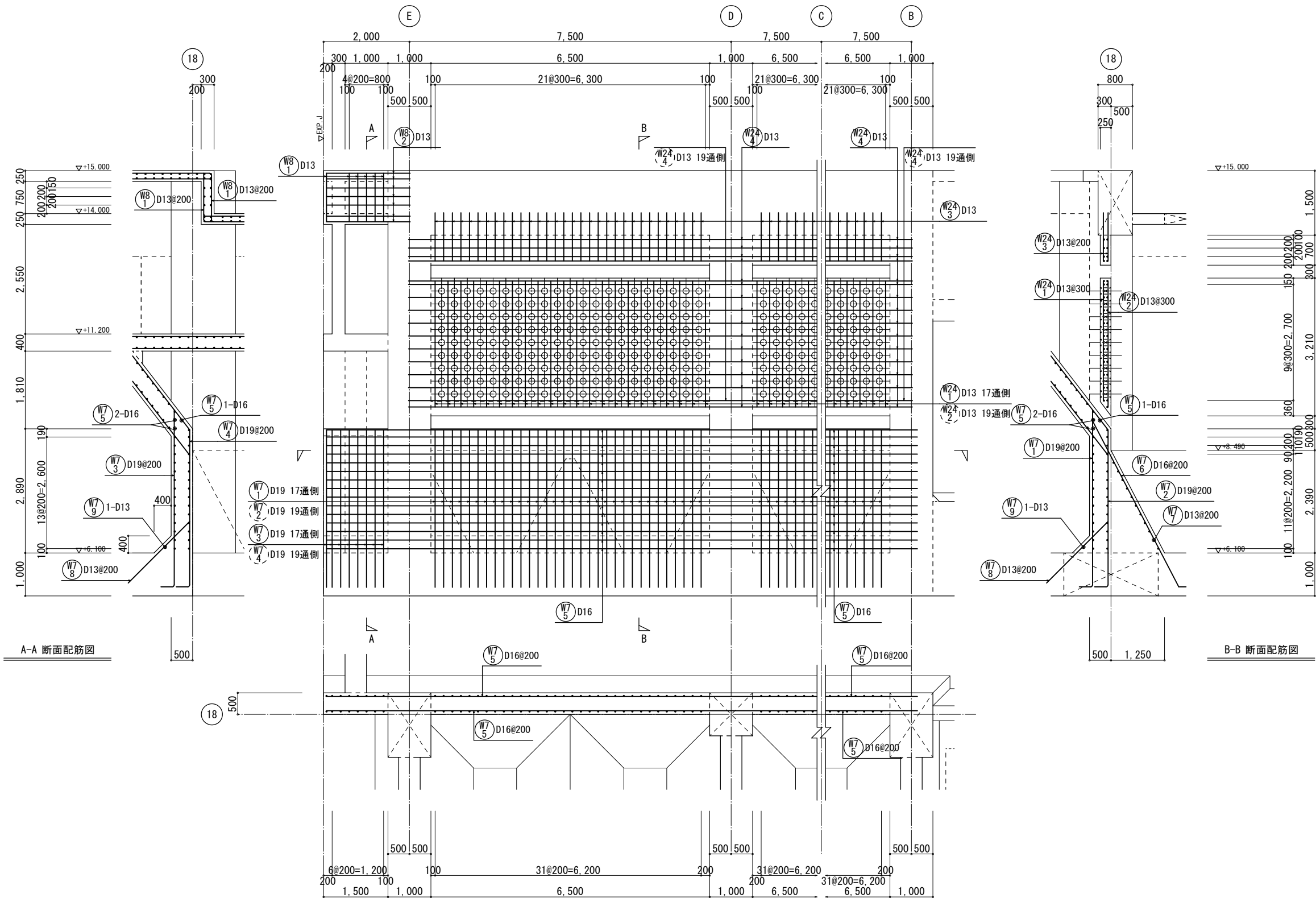
1-1 壁配筋図



B-B 断面配筋図

KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事 (水処理施設)
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(9)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-42 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



A-A 断面配筋図

B-B 断面配筋図

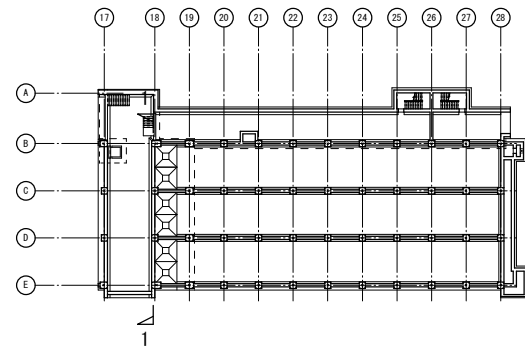
1-1 壁配筋図

1/50

W7 W8 W24

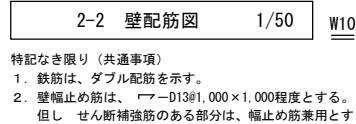
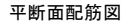
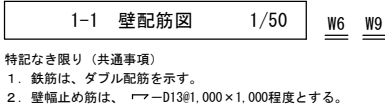
特記なき限り（共通事項）

- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
- 壁幅止め筋は、 ∇ —D13@1,000×1,000程度とする。

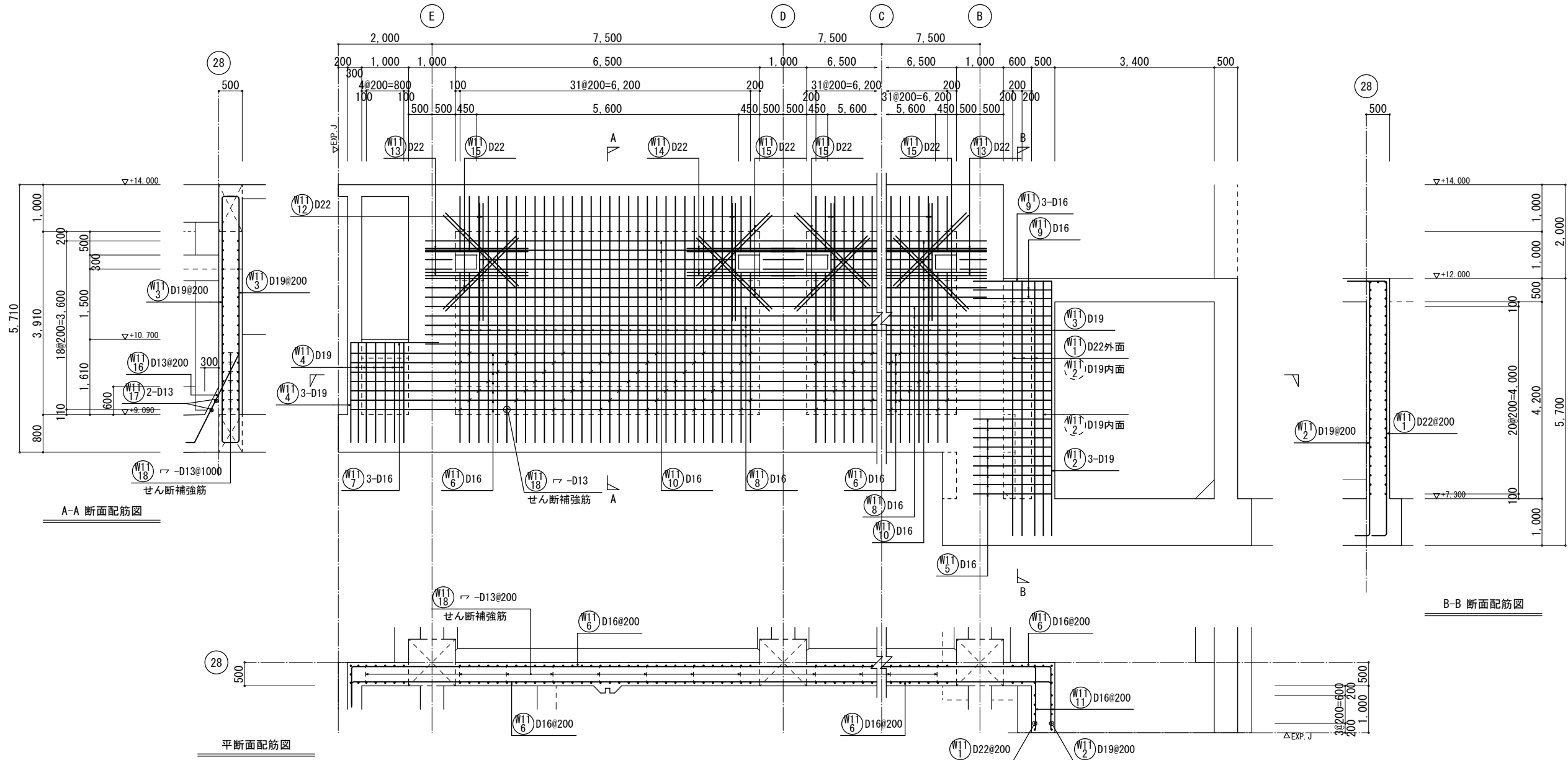


KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(10)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-43号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）	
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の10/1	
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内	
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(11)	
縮 尺	1/50	
図面番号	全	枚中 3S-44号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所		



A-A 断面配筋図

B-B 断面配筋図

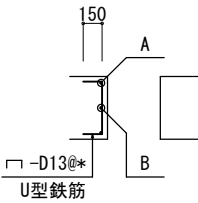
平断面配筋図

1-1 壁配筋図

1/50

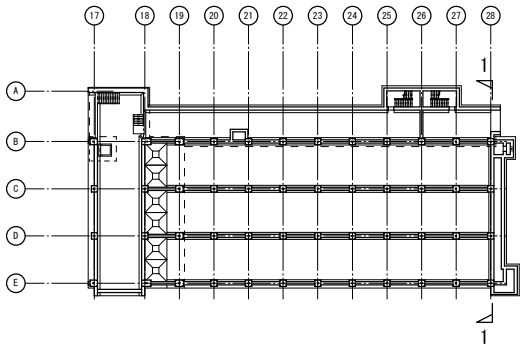
W11

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 $\neg\neg$ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



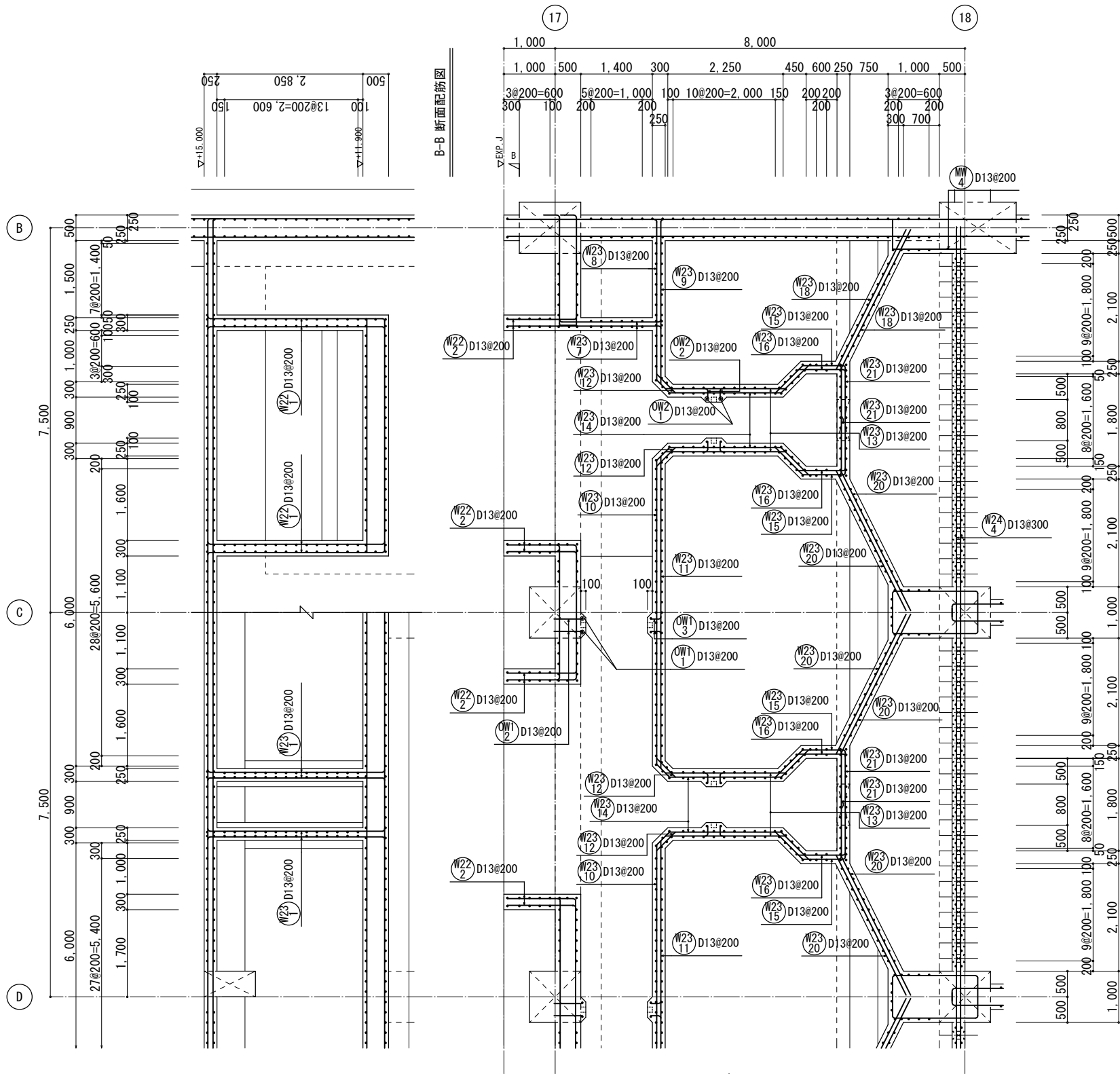
開口補強筋要領

- 部材厚500以上の場合
Bの鉄筋径・形状は、Aと同様とし、
本数は、300ピッチ以下になるように配置する。
- Bを受ける鉄筋が無い場合
U型鉄筋を、基準ピッチと同様に配置する。



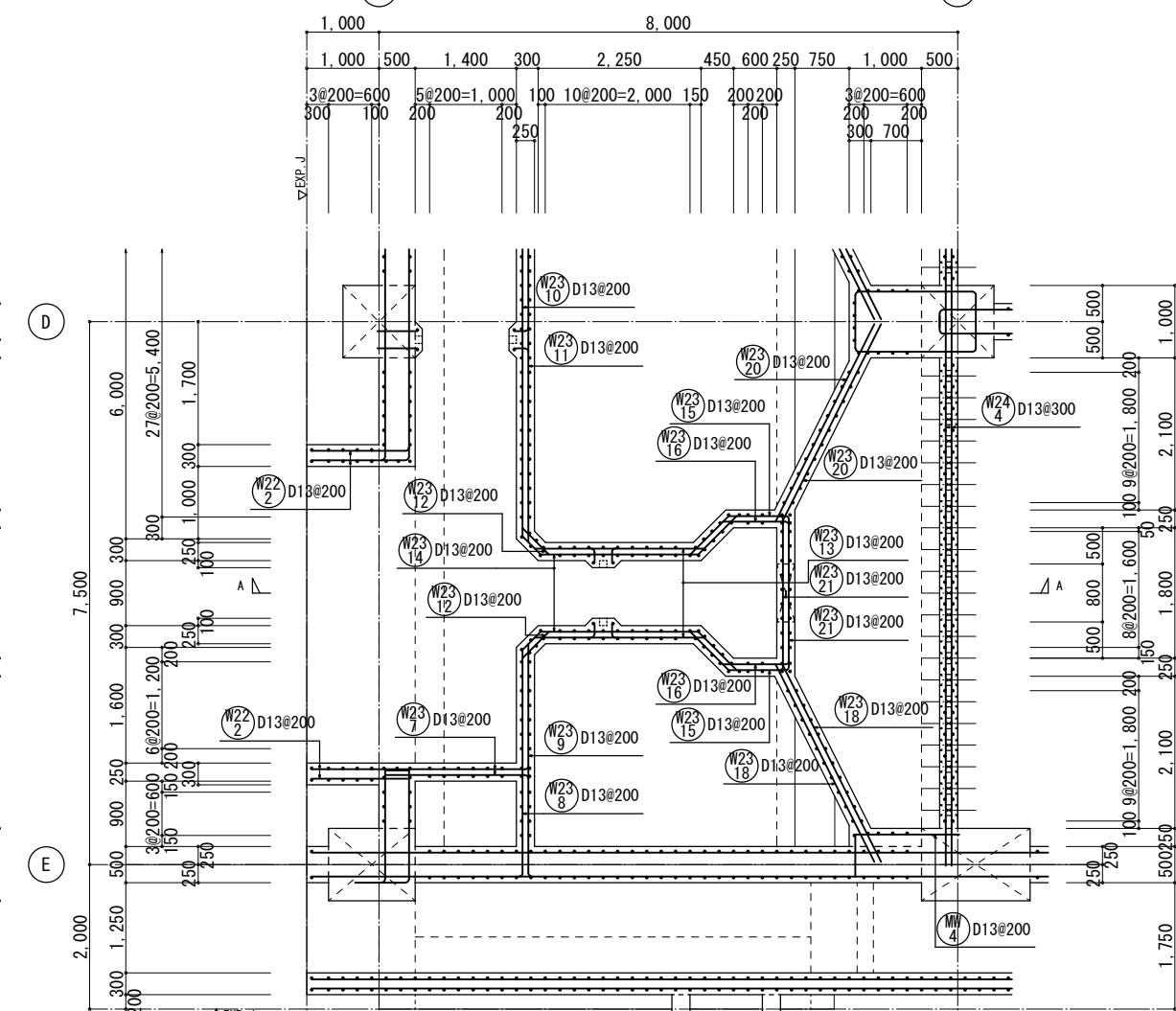
KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(12)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-45号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



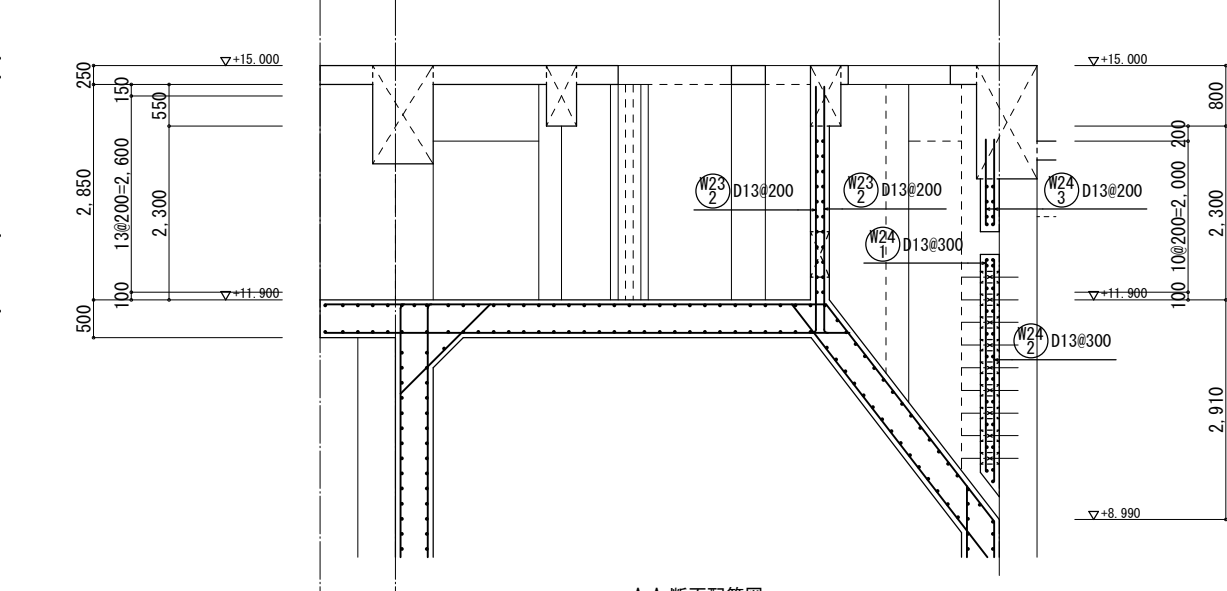
壁平面配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、 $\neg$ —D13@1,000×1,000程度とする。



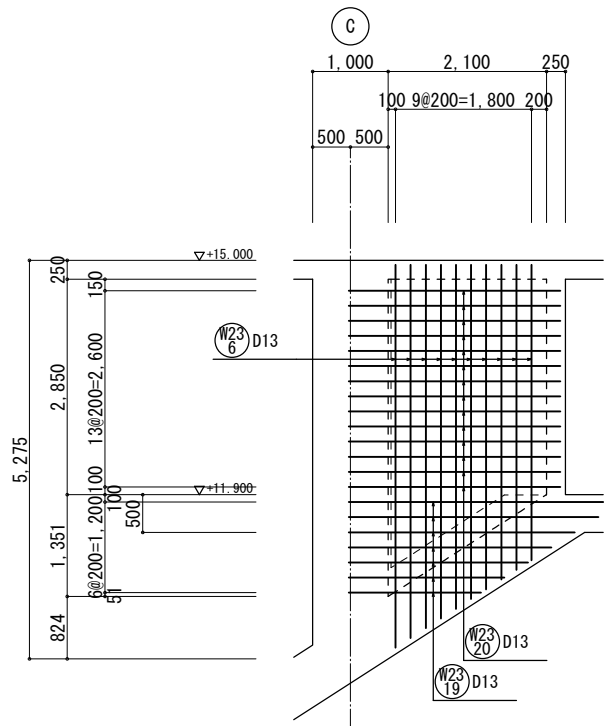
壁平面配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、 $\neg$ —D13@1,000×1,000程度とする。



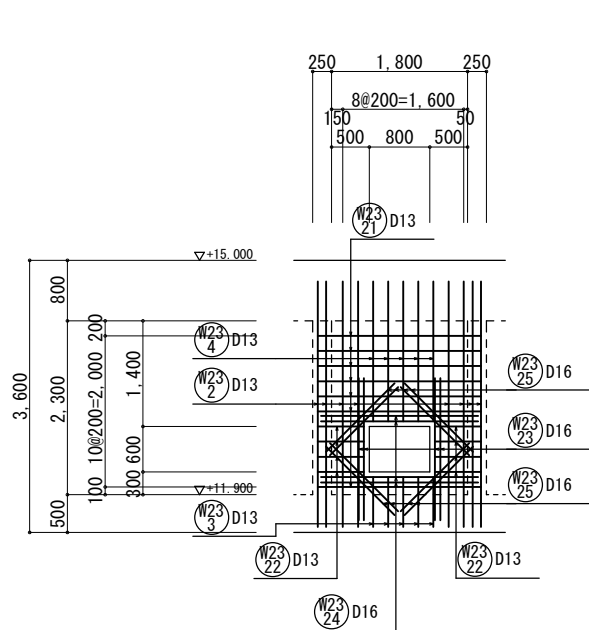
A-A 断面配筋図

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最終沈殿池 壁配筋図(13)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-46号
京都府流域下水道事務所	



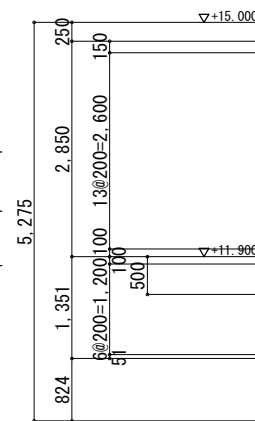
1-1 壁配筋図 1/50 W23

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。



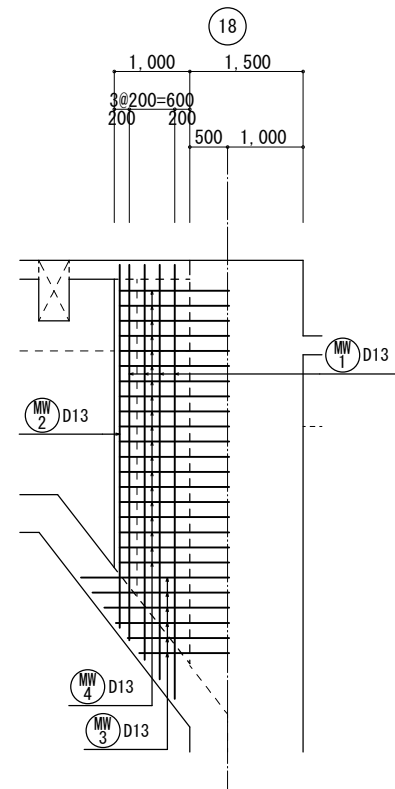
2-2 壁配筋図 1/50 W23

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。



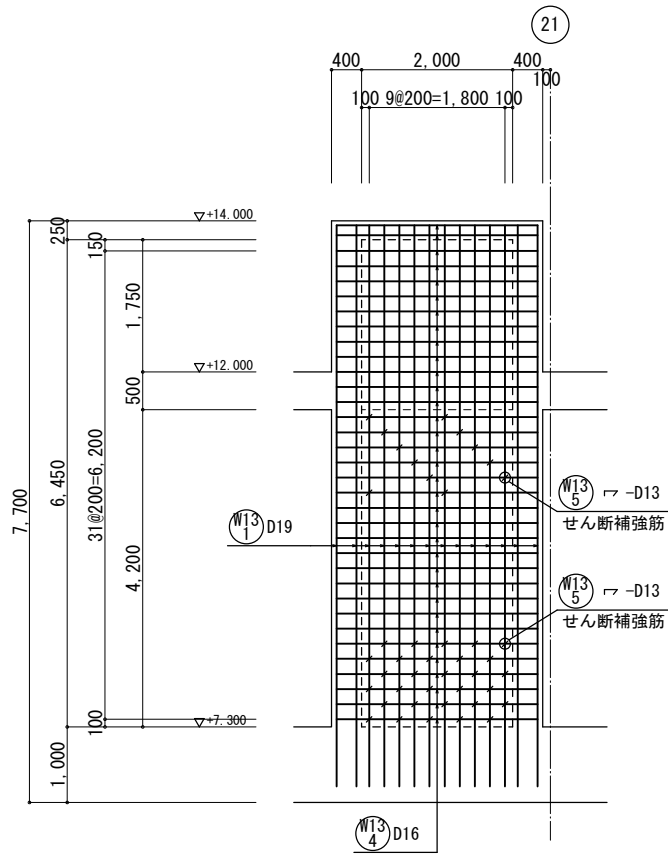
3-3 壁配筋図 1/50 W23

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。

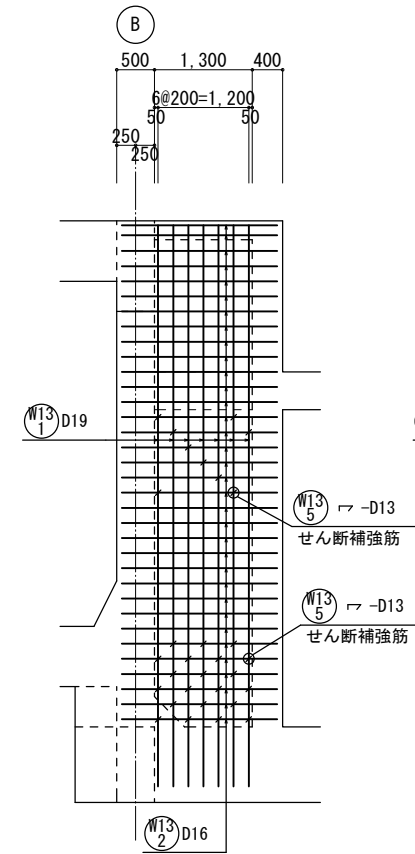


4-4 壁配筋図 1/50 MW

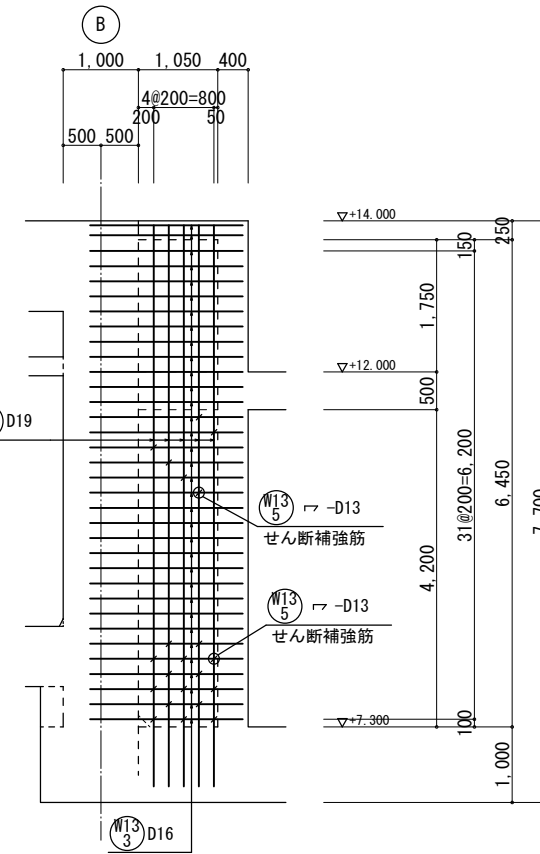
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。



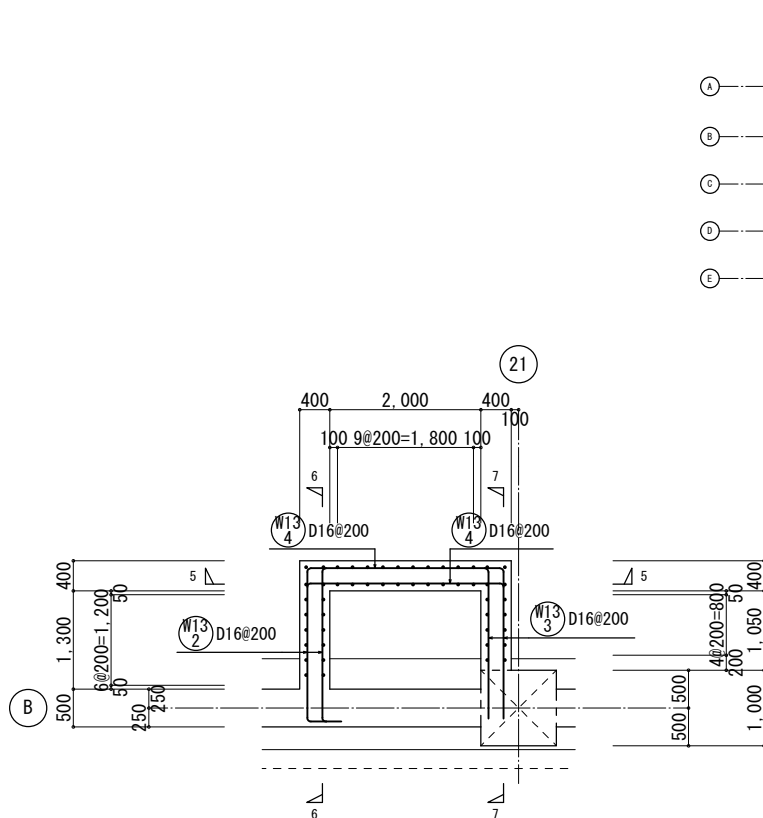
5-5 壁配筋図



6-6 壁配筋図

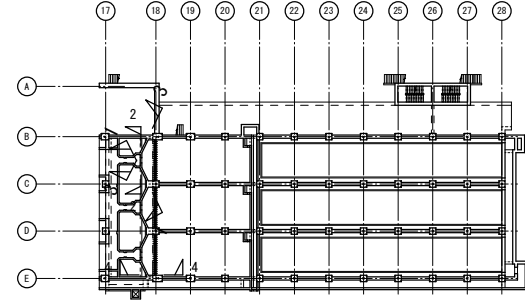


7-7 壁配筋図



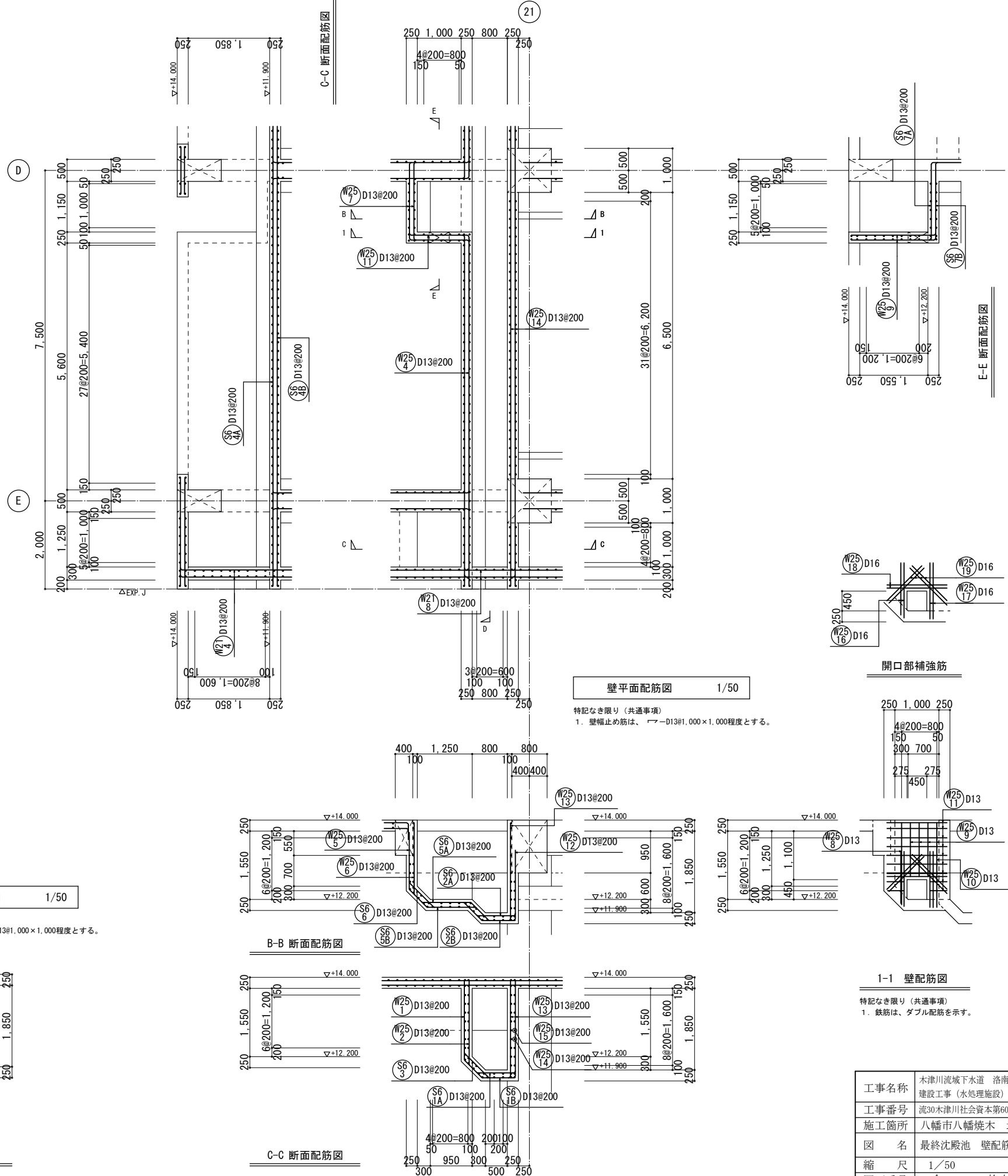
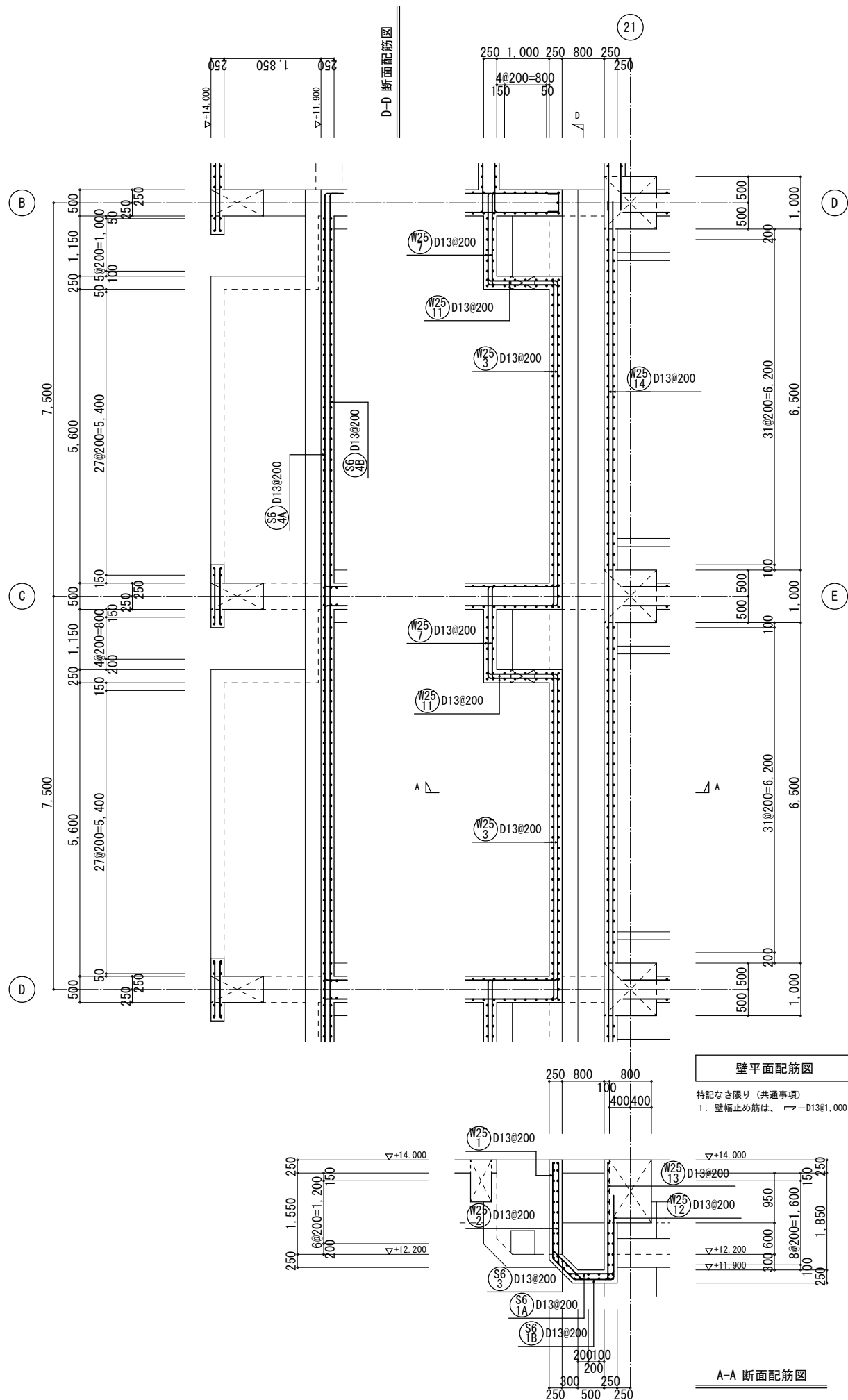
スカムピット廻り配筋図 1/50 W13

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。
但し セン断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

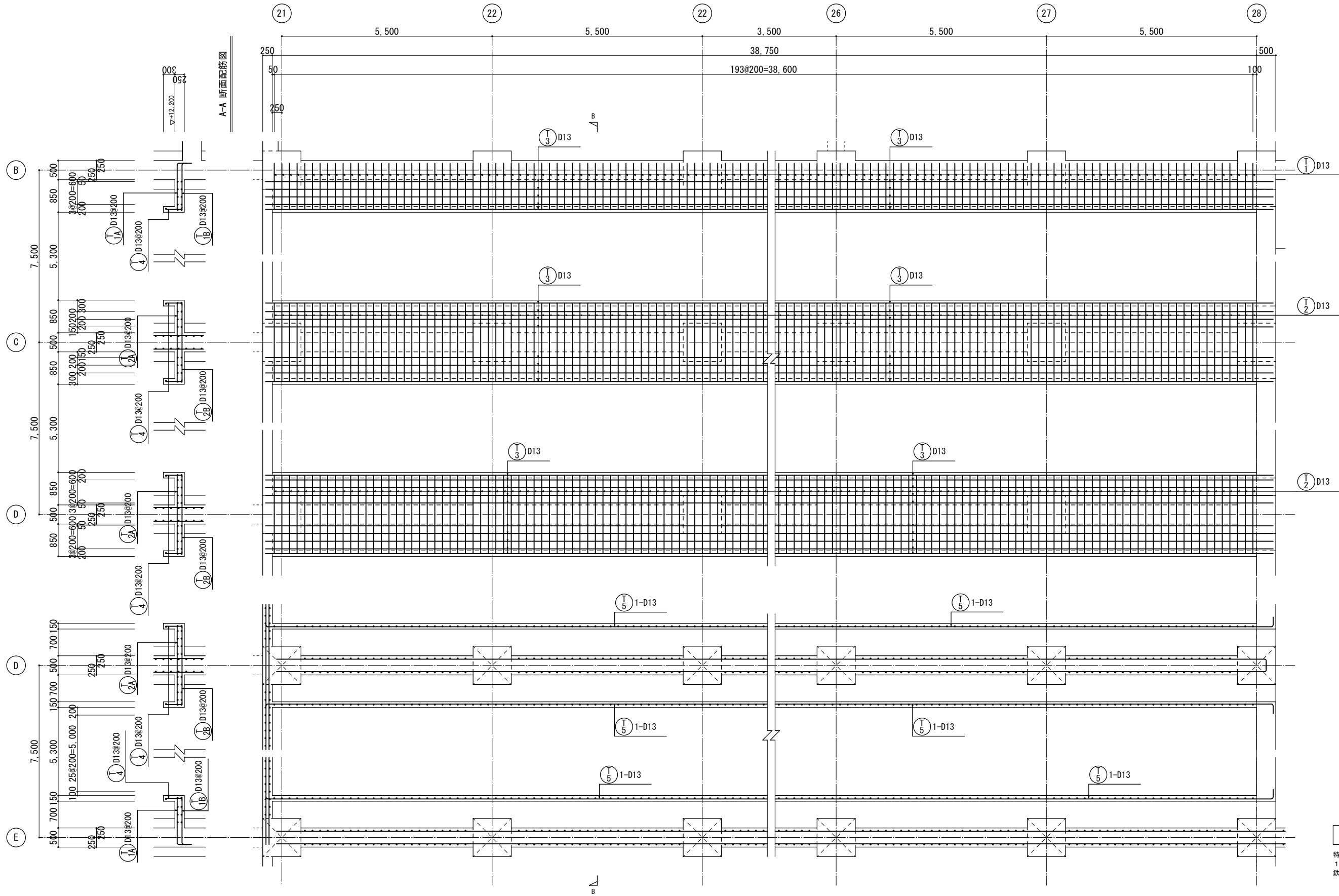


KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(14)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-47号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



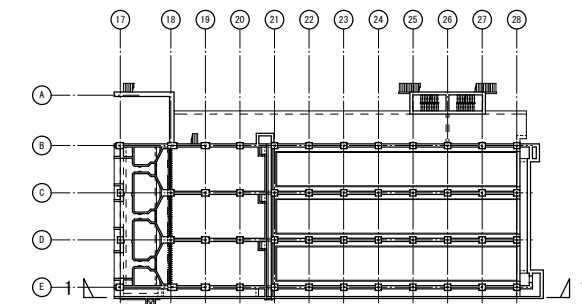
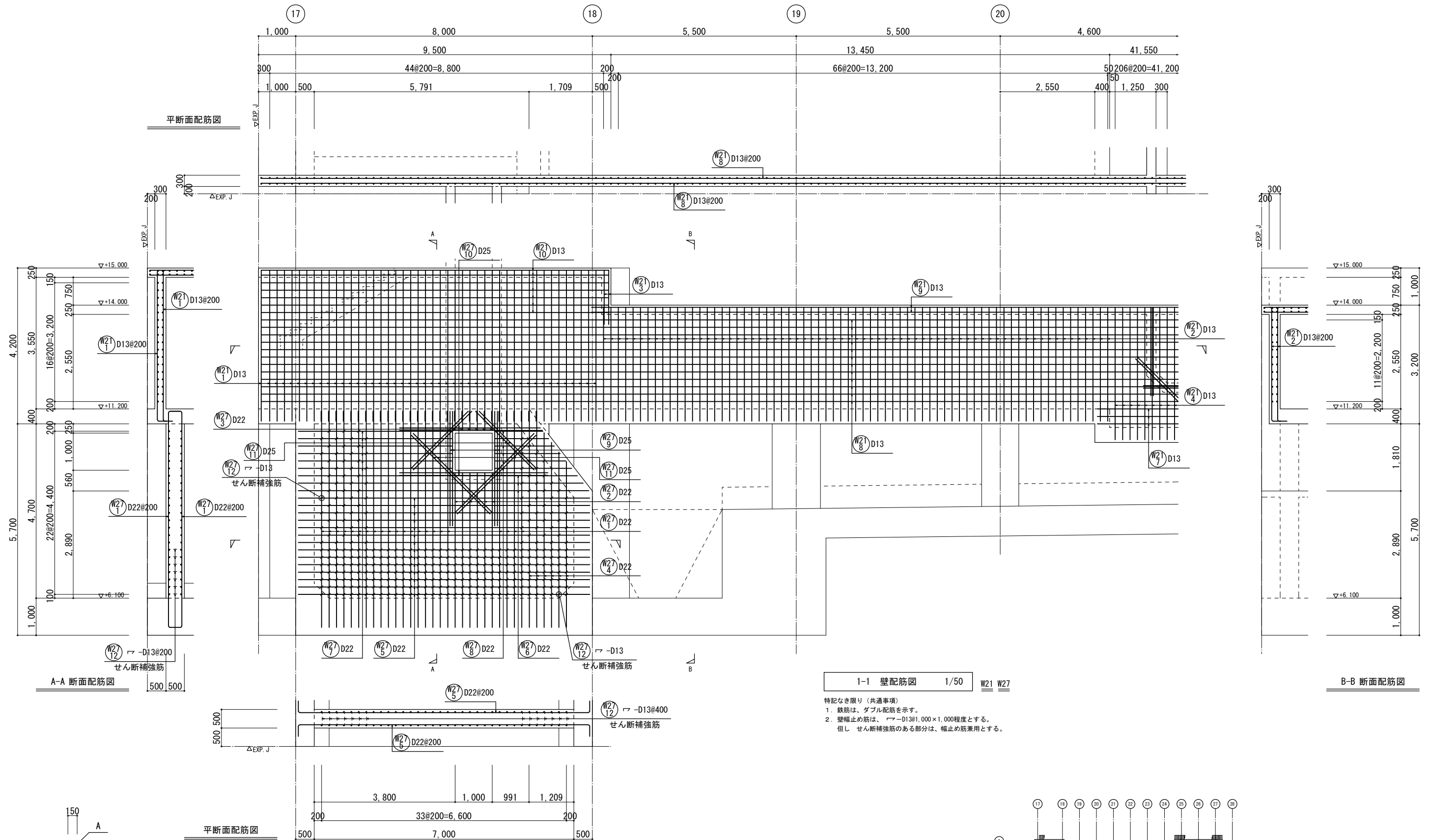
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(15)		
縮 尺	1/50		
図面番号	全	枚中	3S-48号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



越流トラフ配筋図 1/50

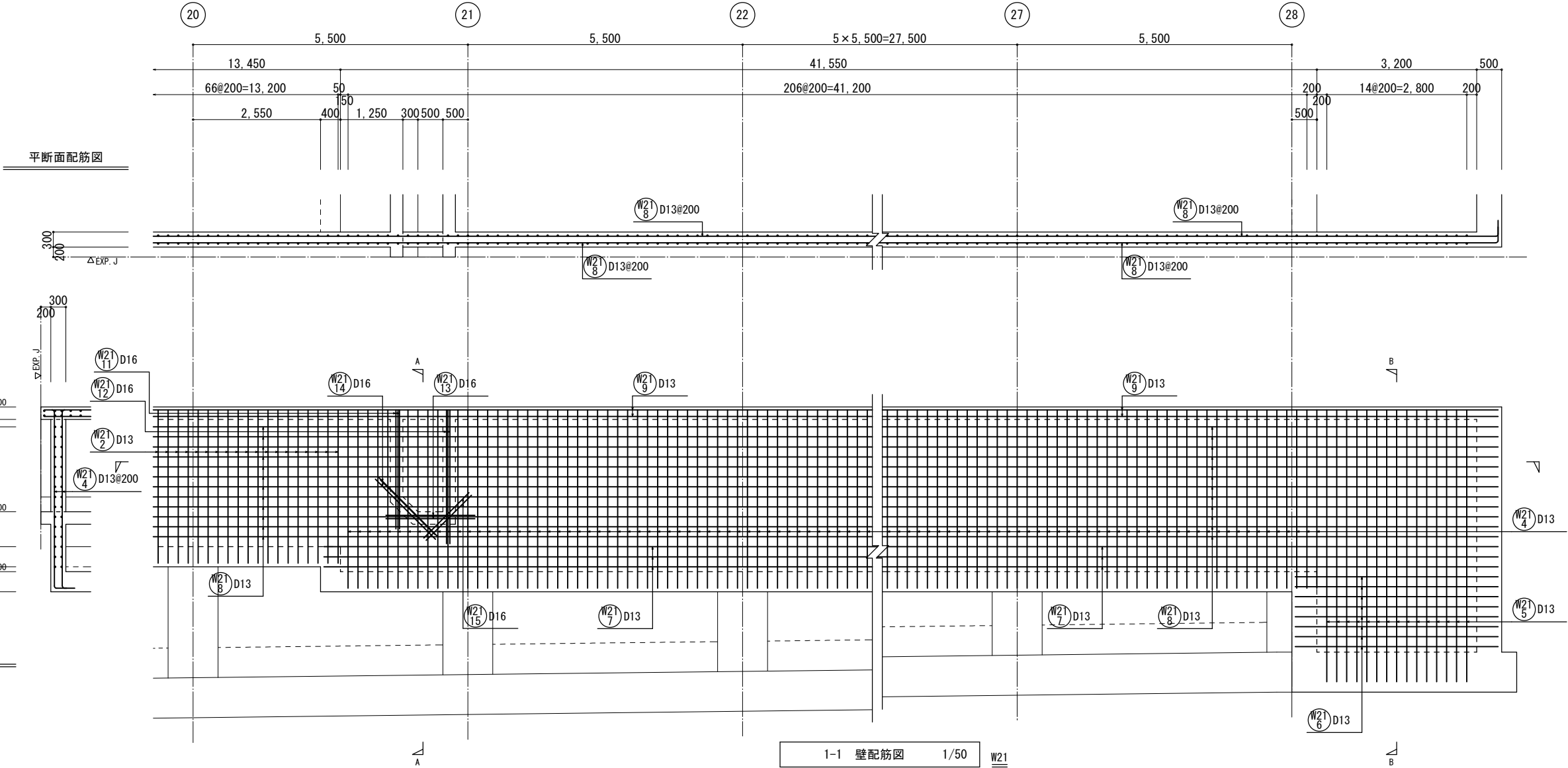
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、
鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(16)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-49号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

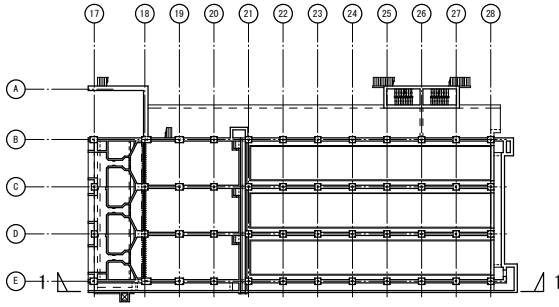


KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁筋図(17)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-50 号
京 都 府 洛 南 水 道 事 務 所	

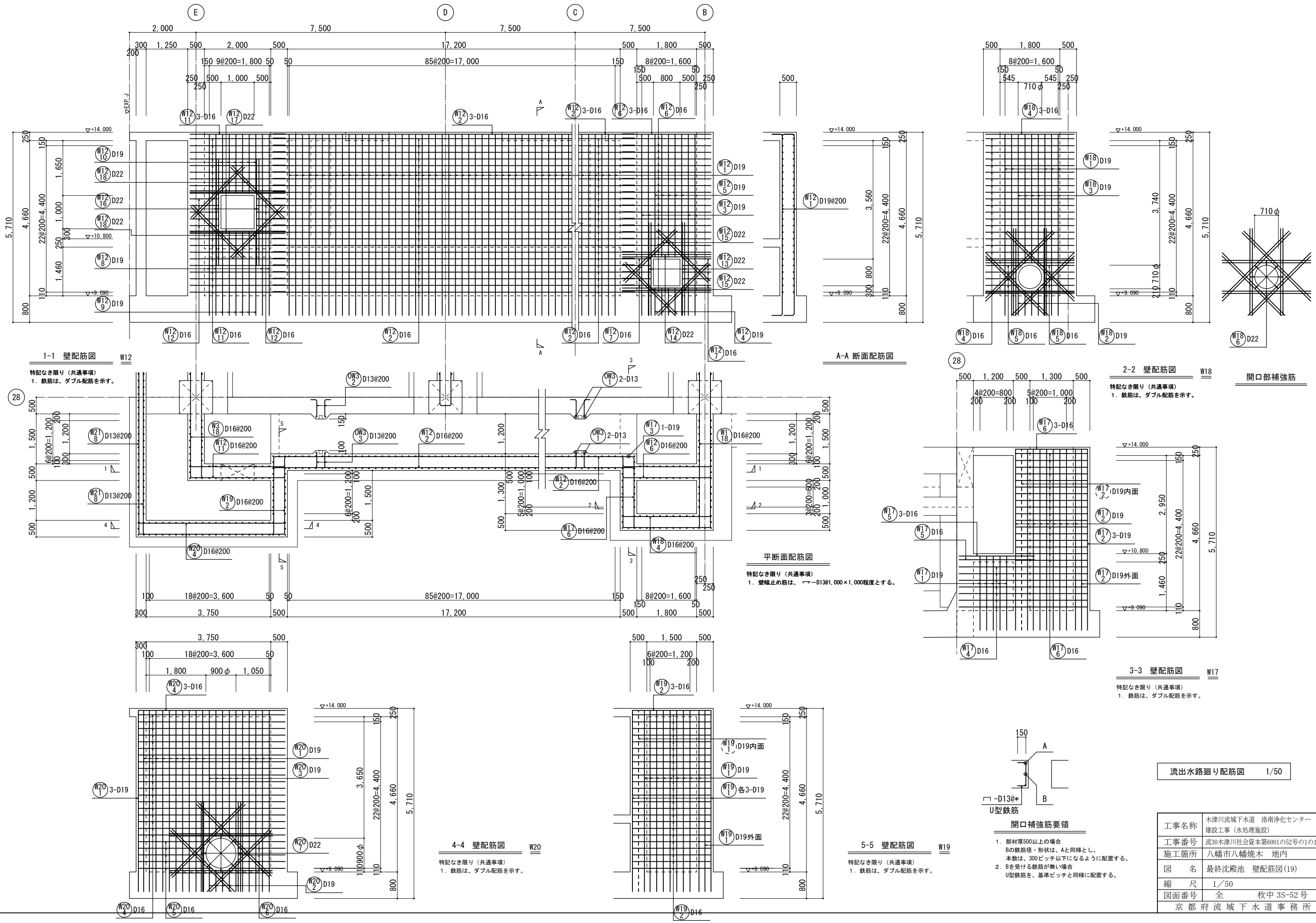


特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\square$ W-D13@1,000×1,000程度とする。



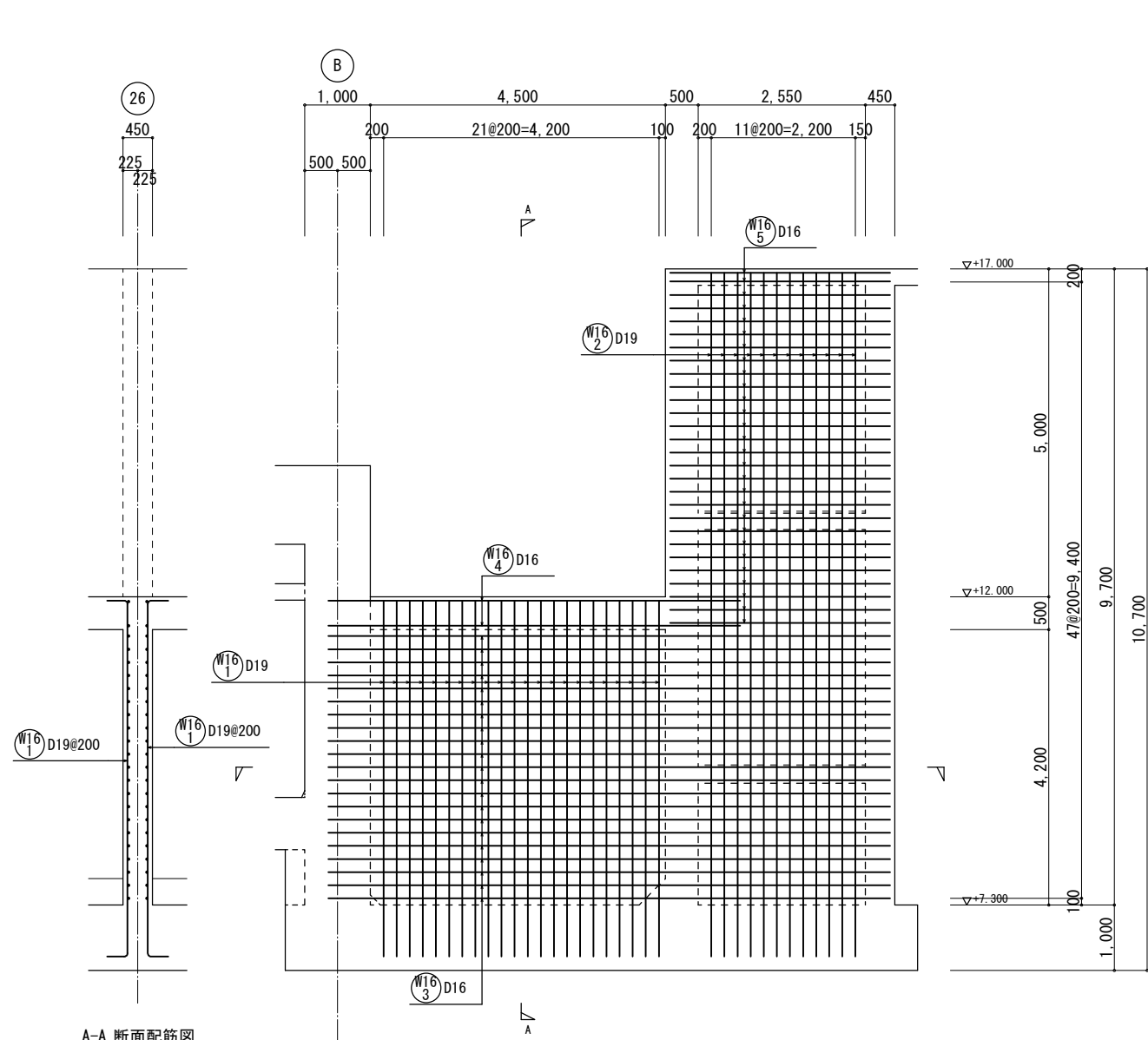
KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(18)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-51号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

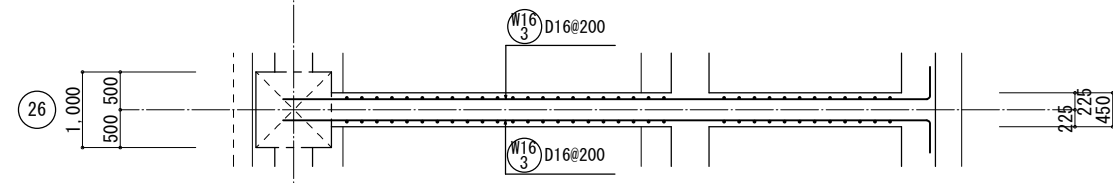


流出水路廻り配筋図 1/50

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター建設工事（水処理施設）		
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内		
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(19)		
縮 尺	1/50		
図面番号	全	枚中	3S-52号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所			



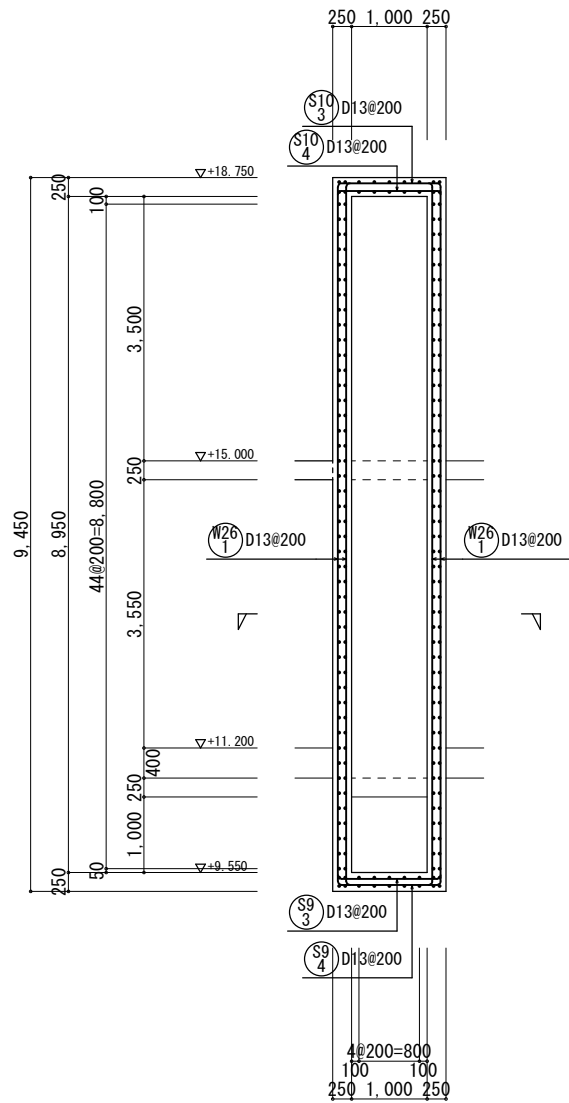
A-A 断面配筋図



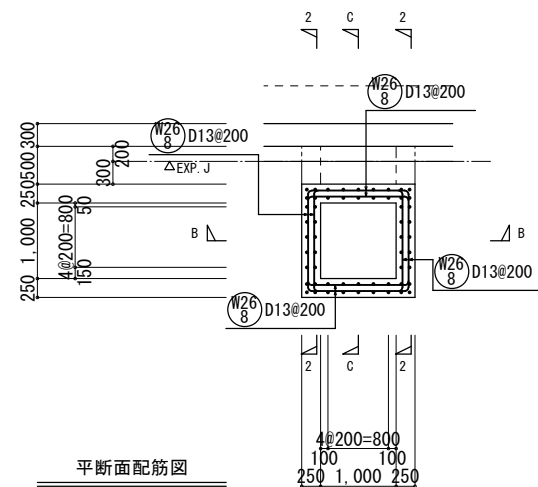
平断面配筋図

1-1 壁配筋図 1/50 W16

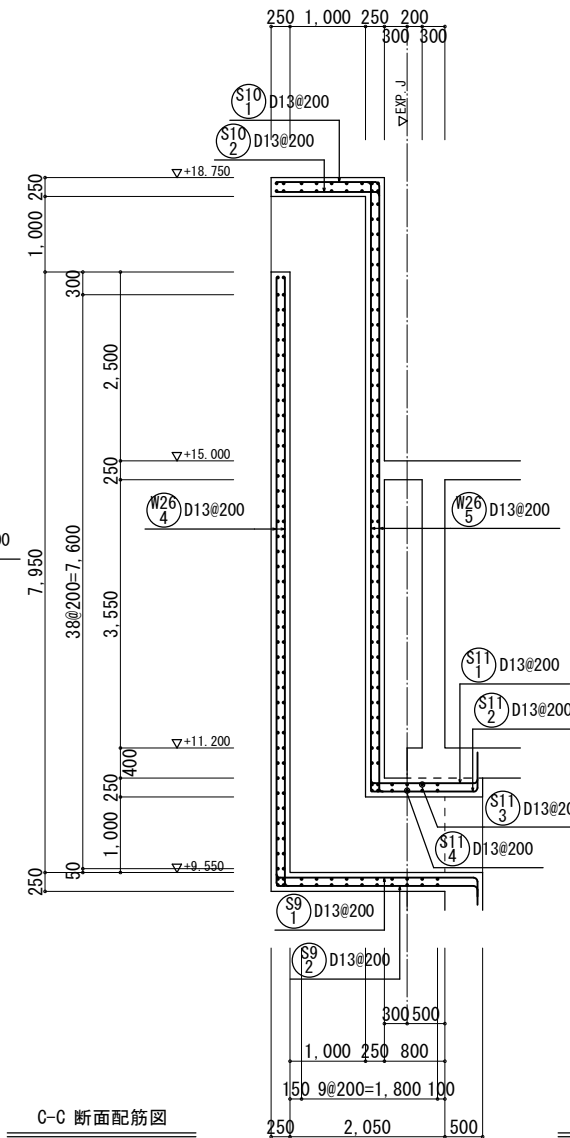
- 特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。



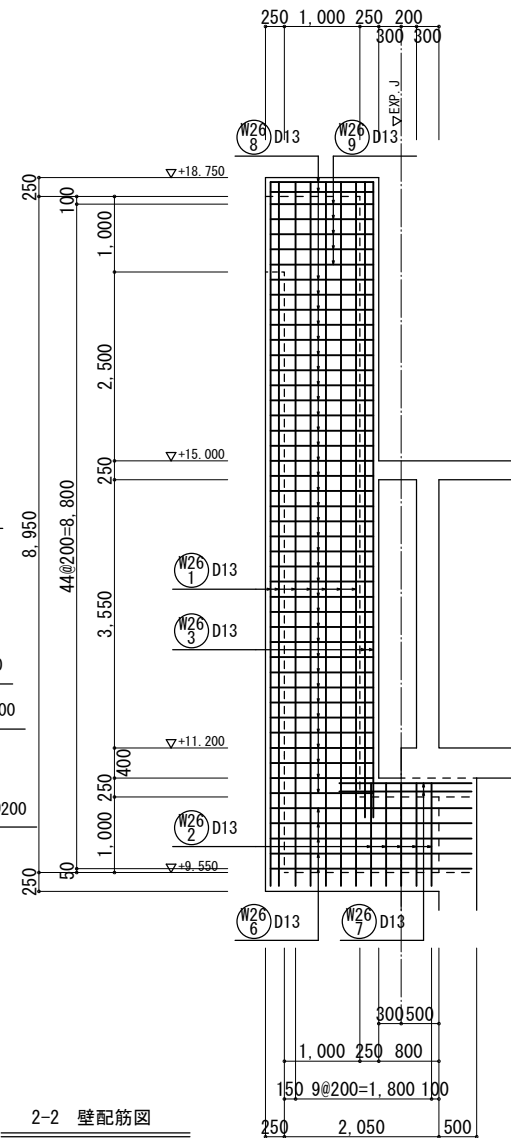
B-B 断面配筋図



平断面配筋図



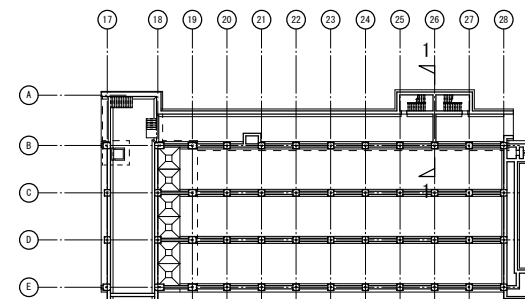
C-C 断面配筋図



2-2 壁配筋図

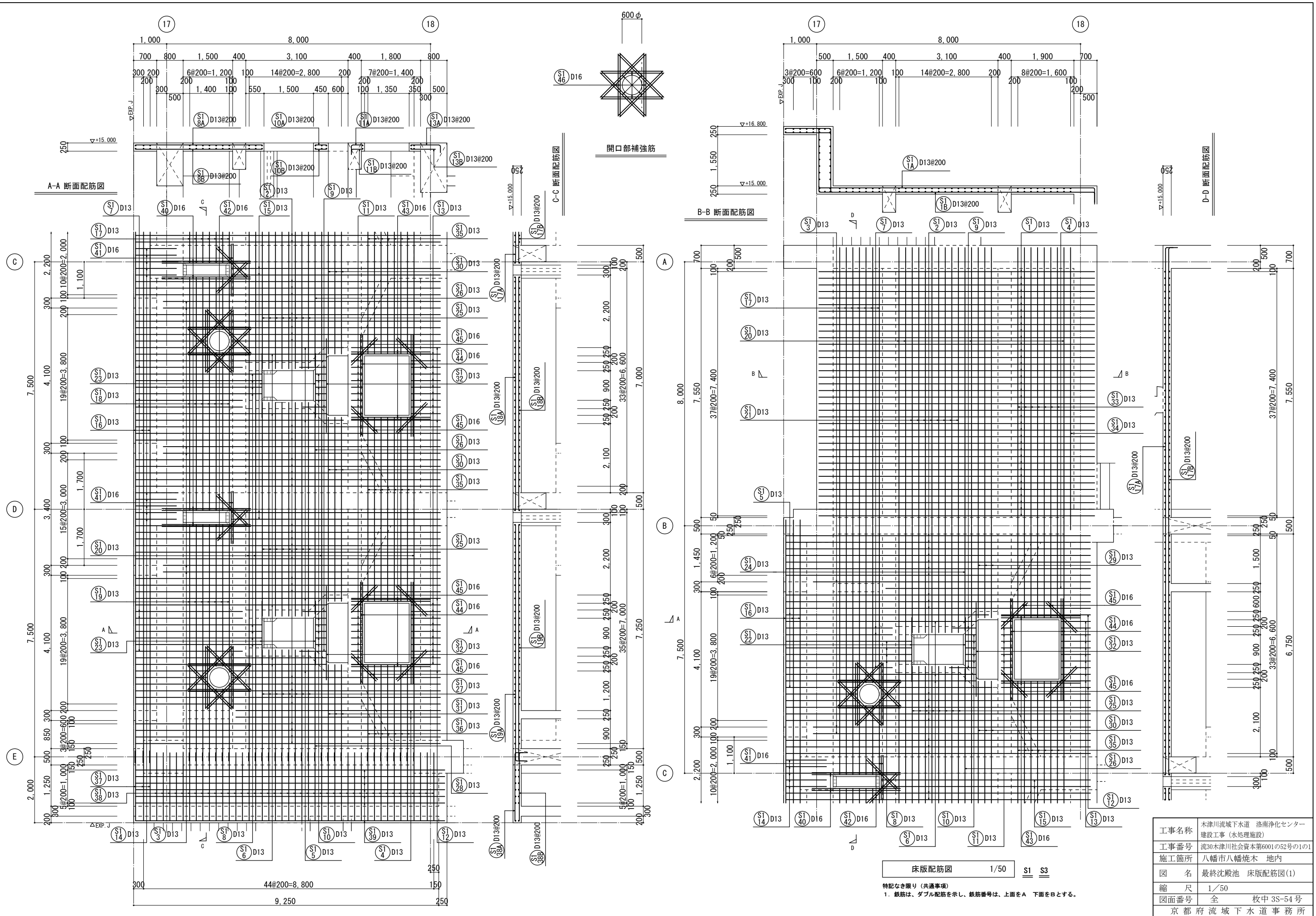
- 特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。

排気塔廻り配筋図 1/50



KEY PLAN

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 壁配筋図(20)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-53号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	





The image displays three structural cross-sections of a bridge pier and abutment, labeled C-C, D-D, and E-E. Each section shows the reinforcement layout with various bar types, diameters, and spacing.

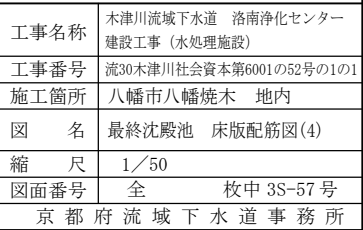
- C-C Section:** Shows a vertical section of the pier. Reinforcement includes top bars (S3 1A, S3 1B), side bars (D13), and bottom bars (S3 2). Dimensions include a total height of 1.550m and a base width of 1.000m.
- D-D Section:** Shows a horizontal section of the pier. Reinforcement includes top bars (S3 1A, S3 1B), side bars (D13), and bottom bars (S3 2). Dimensions include a total width of 1.000m and a base width of 1.000m.
- E-E Section:** Shows a vertical section of the abutment. Reinforcement includes top bars (S3 1A, S3 1B), side bars (D13), and bottom bars (S3 2). Dimensions include a total height of 1.550m and a base width of 1.000m.

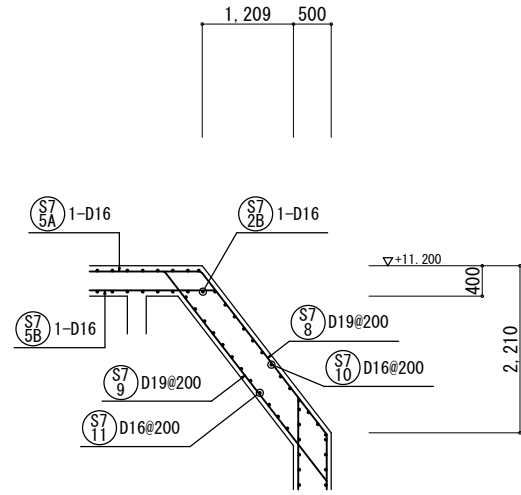
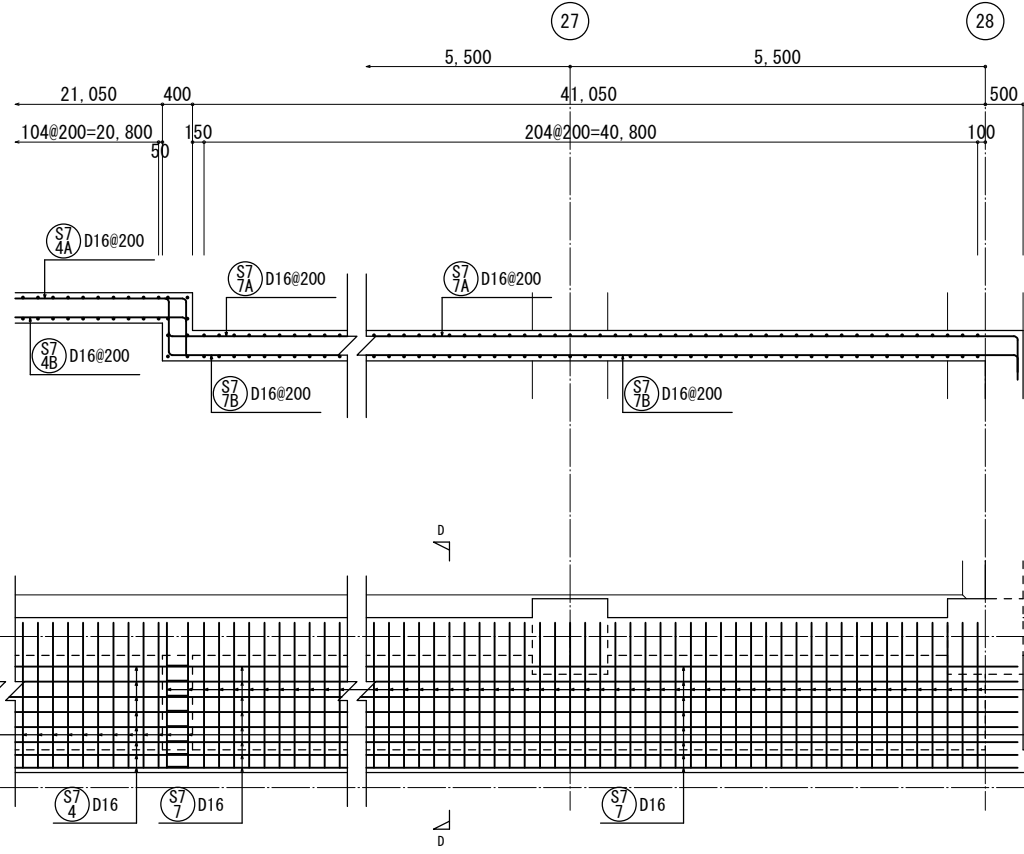
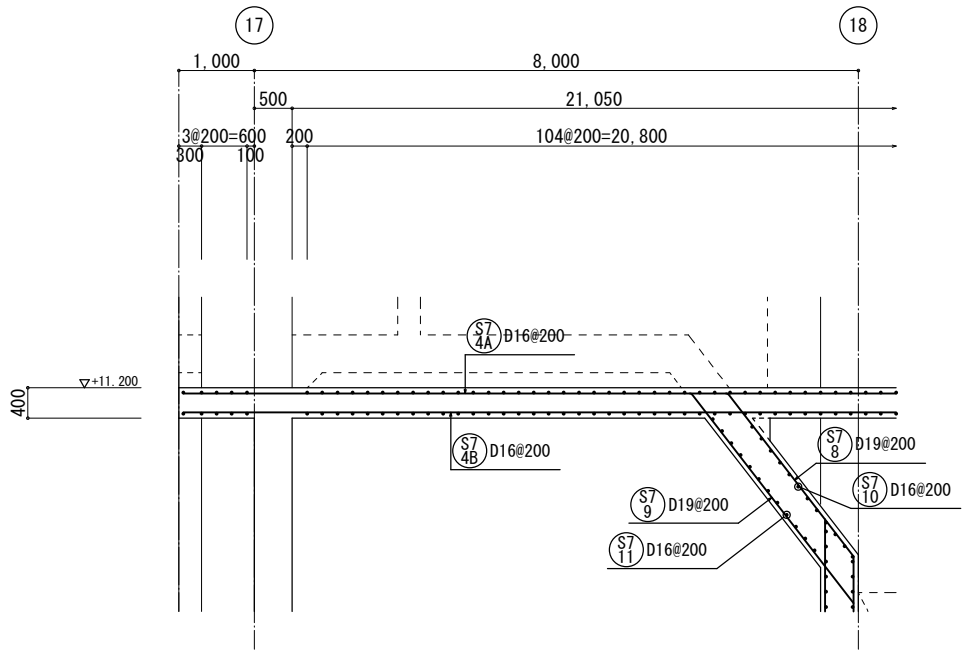
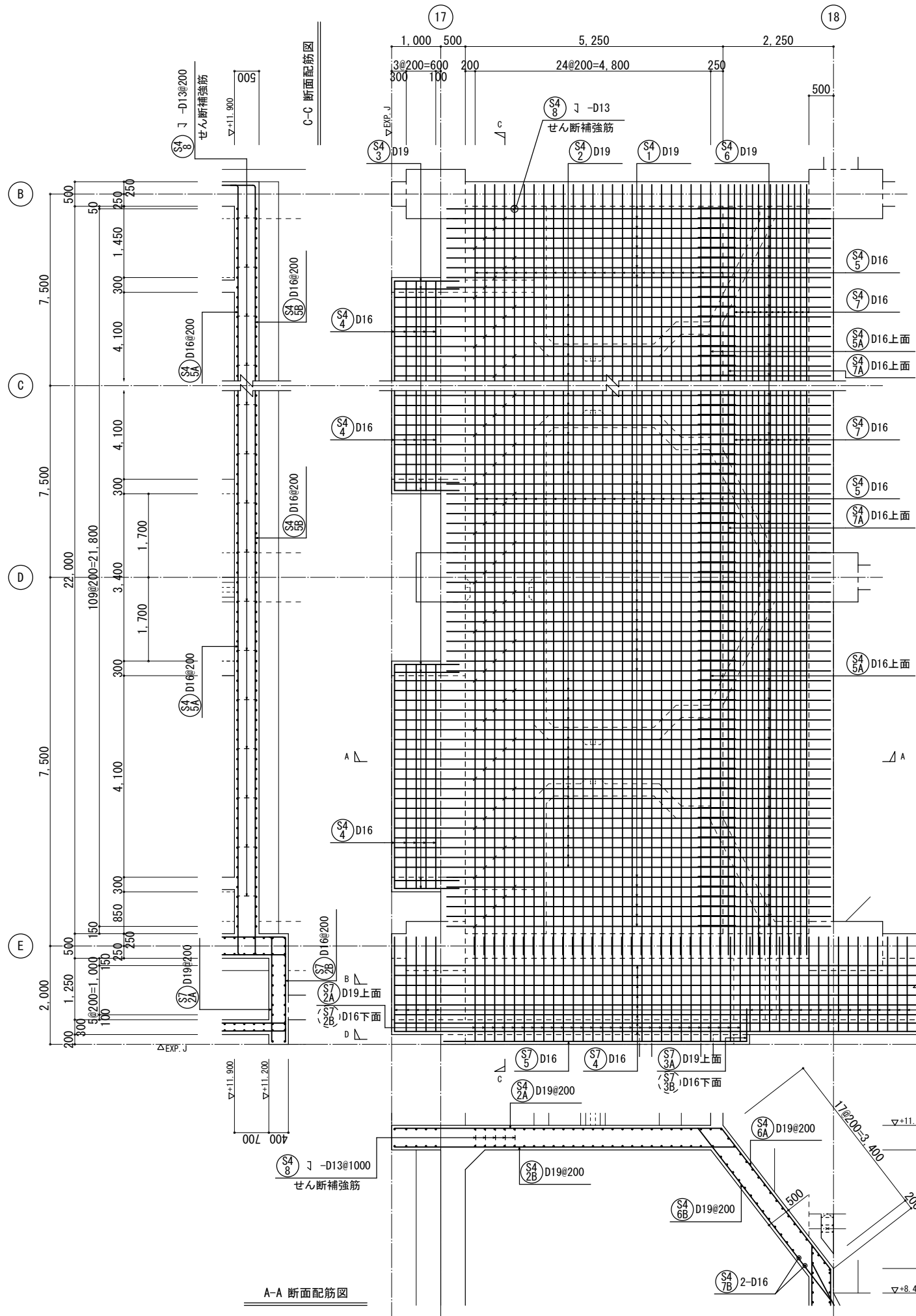
Reinforcement details are specified as follows:

- Top bars: S3 1A, S3 1B, S3 2
- Side bars: D13
- Bottom bars: S3 2
- Reinforcement spacing: 3@200=600, 5@200=1,000
- Reinforcement diameter: D13

Dimensions are given in meters (m) and millimeters (mm). The drawings are oriented with the pier on the left and the abutment on the right.

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）	
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1	
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内	
図 名	最終沈殿池 床版配筋図(2)	
縮 尺	1/50	
図面番号	全	枚中 3S-55 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所		





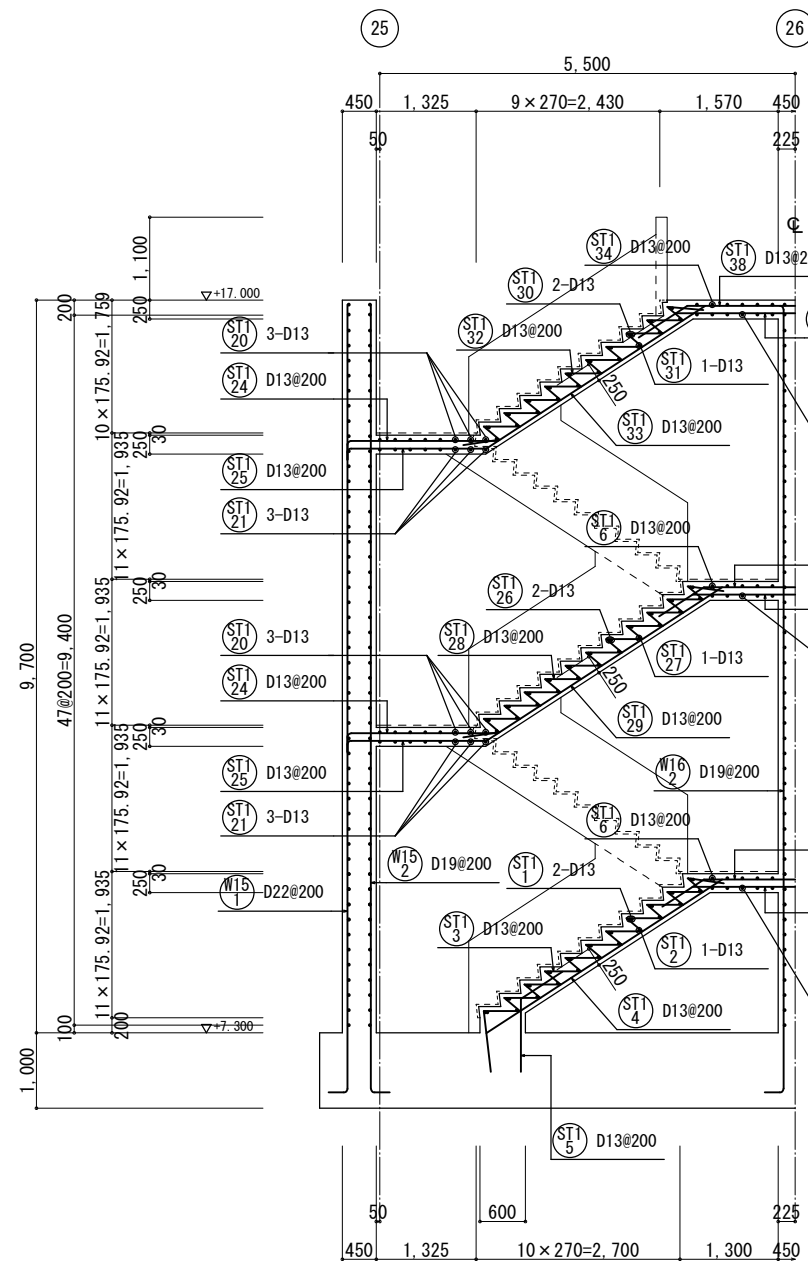
床版配筋図 1/50 S4 S7

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 床版組立筋は、□-D13#1,000×1,000程度とする。
但し セン断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

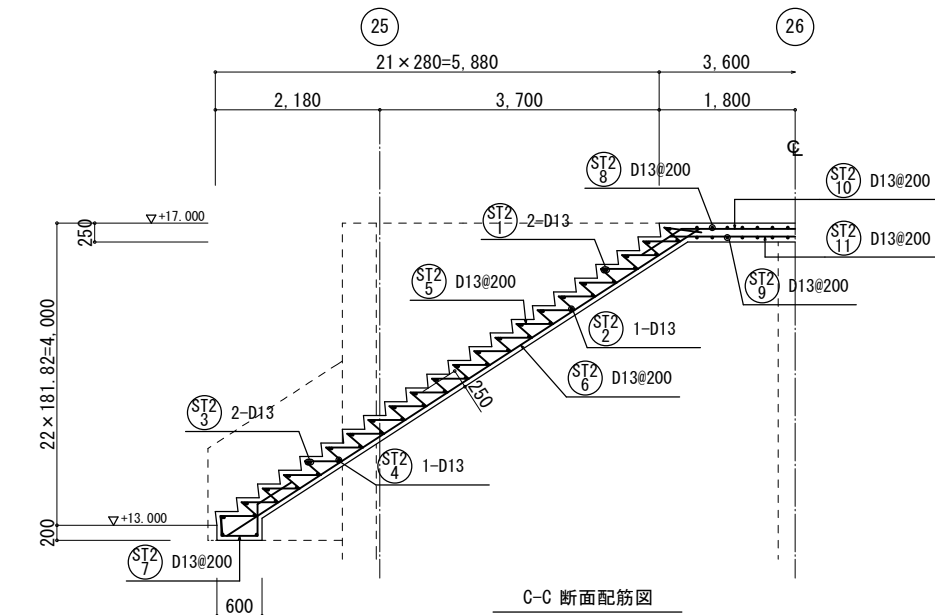
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 床版配筋図(5)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-58号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



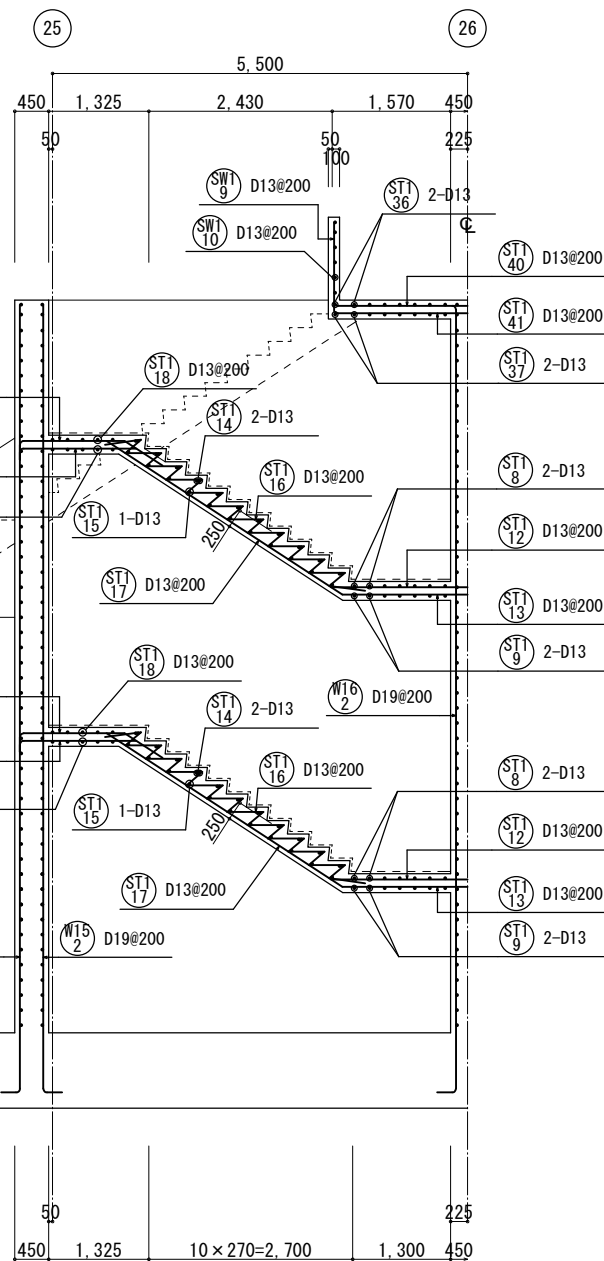
工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図 名	最終沈殿池 床版配筋図(6)
縮 尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-59号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



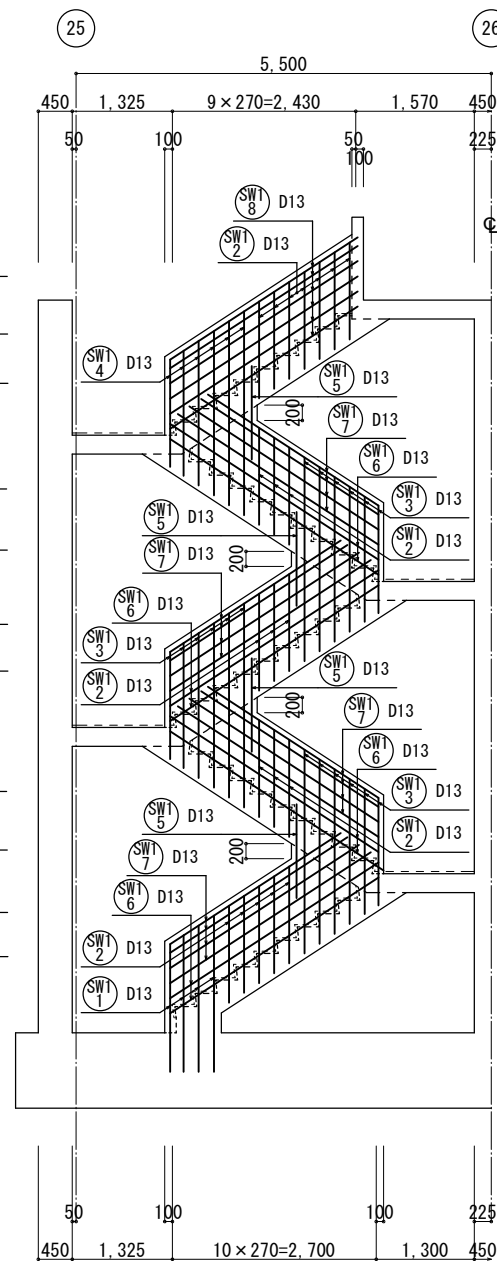
A-A 断面配筋図



C-C 断面配筋図

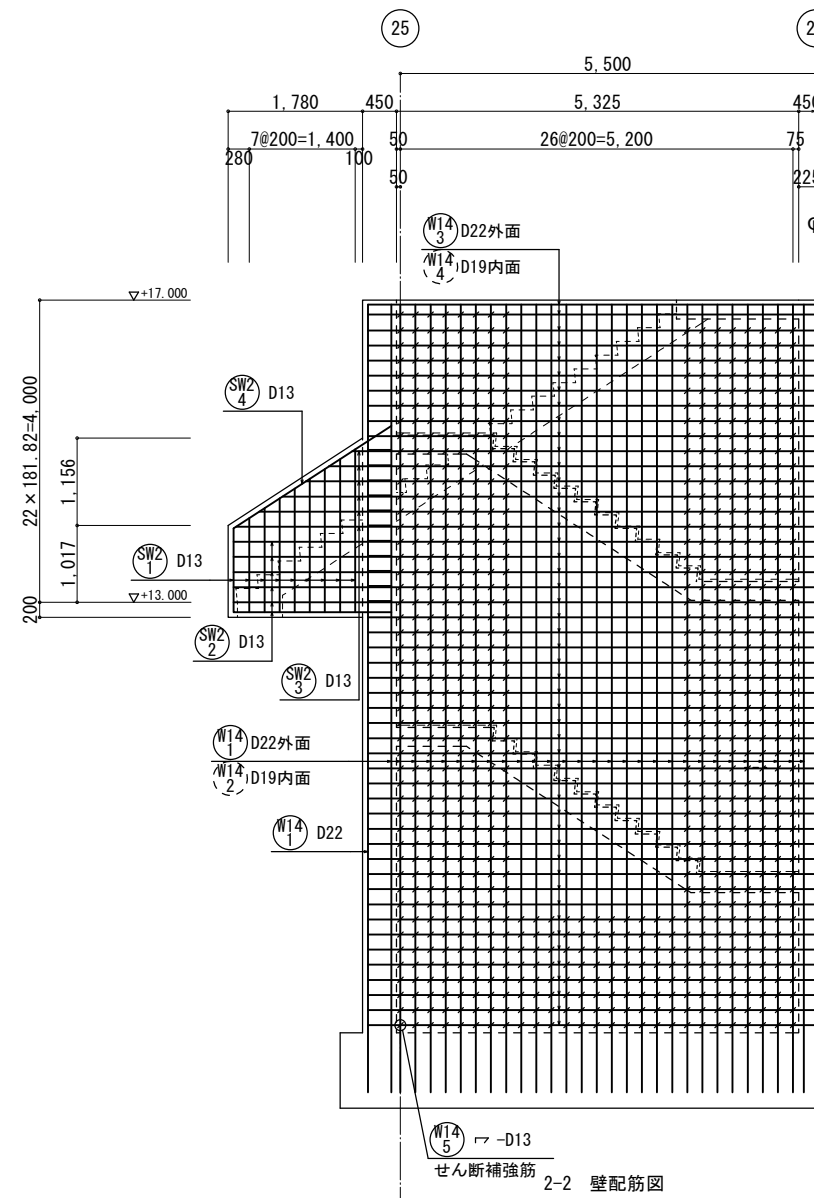


B-B 断面配筋図

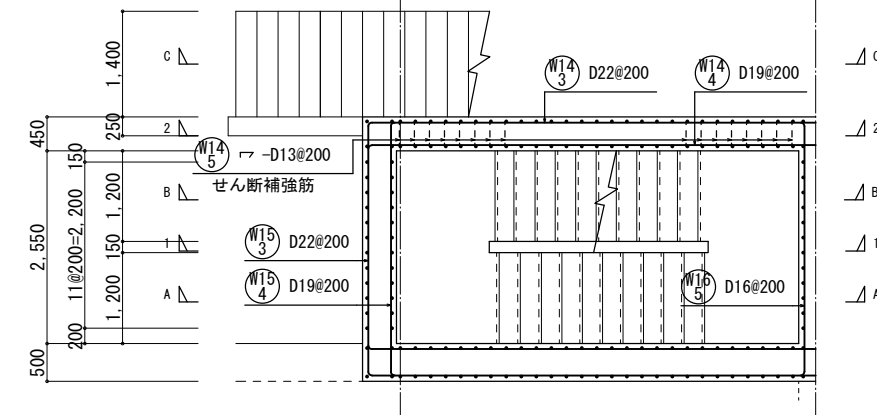


1-1 手摺配筋図

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。



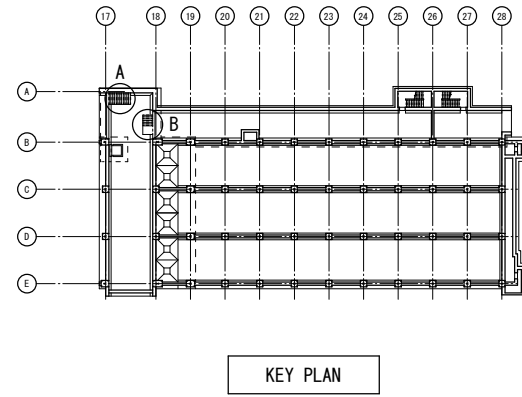
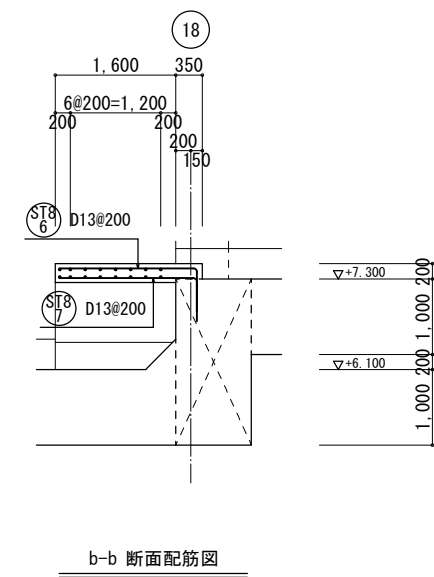
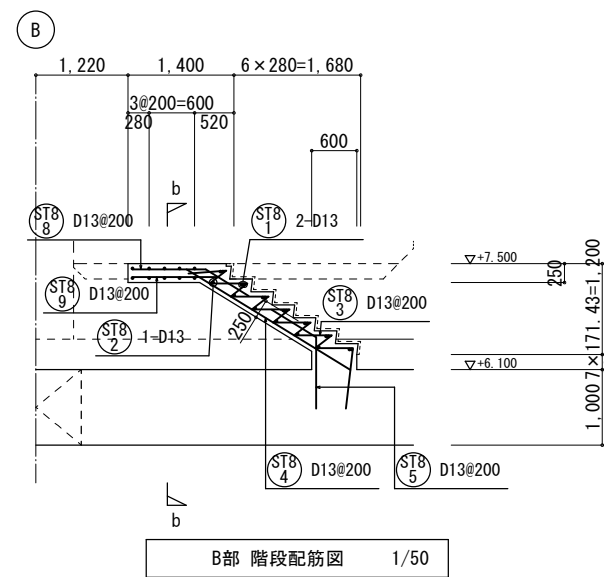
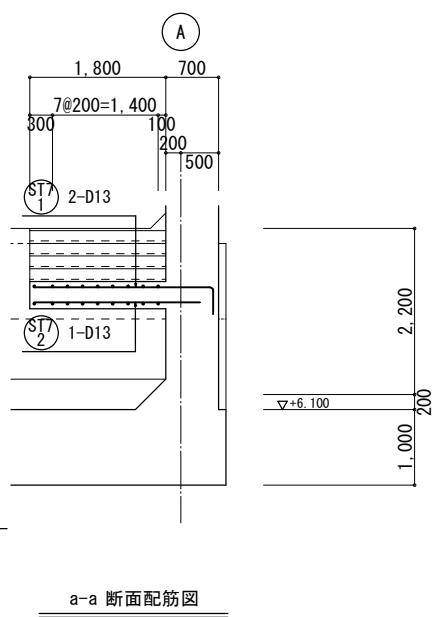
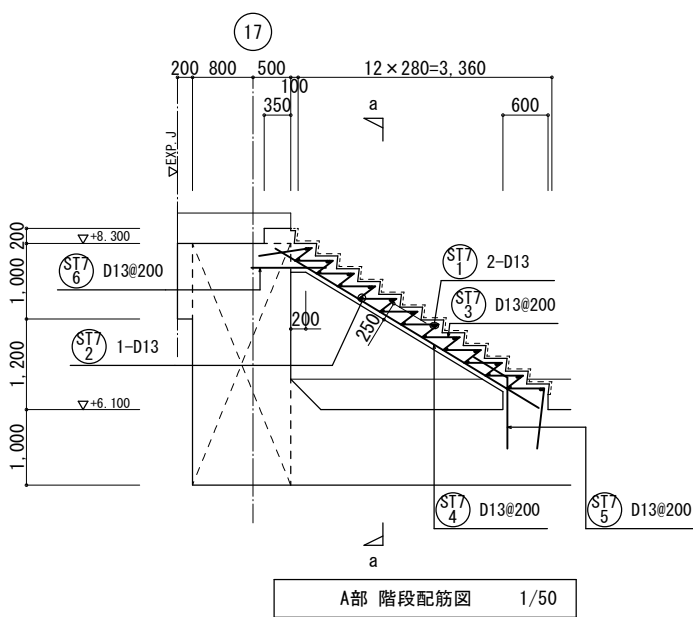
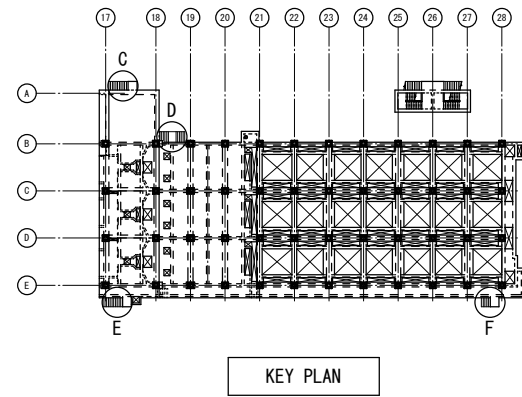
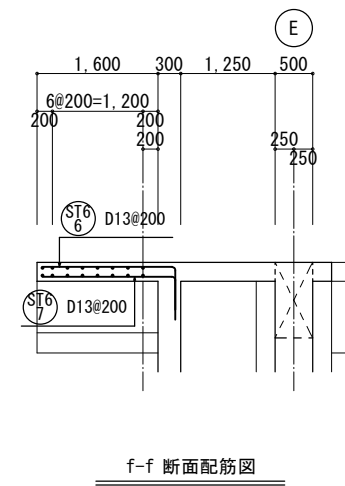
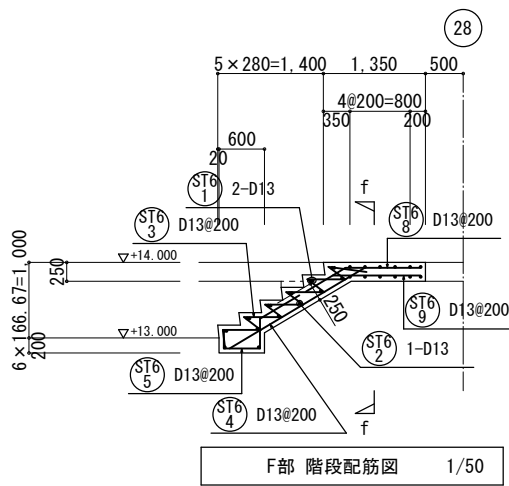
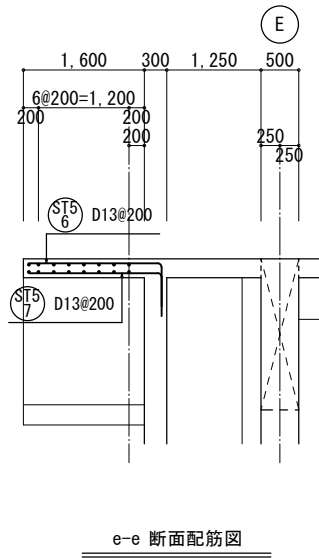
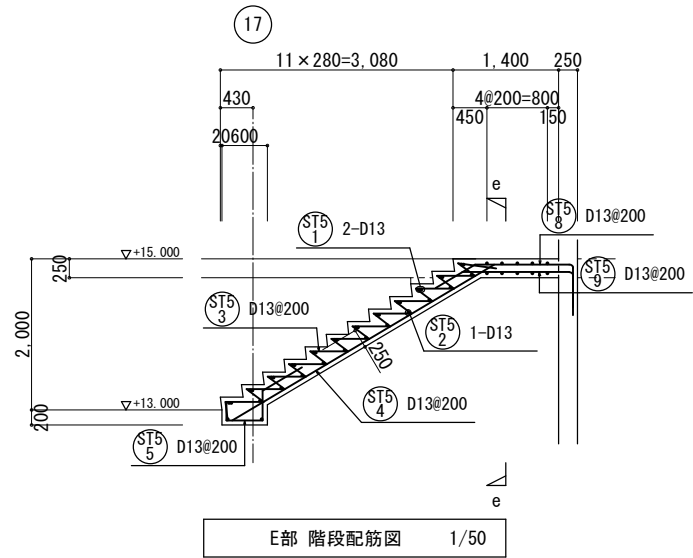
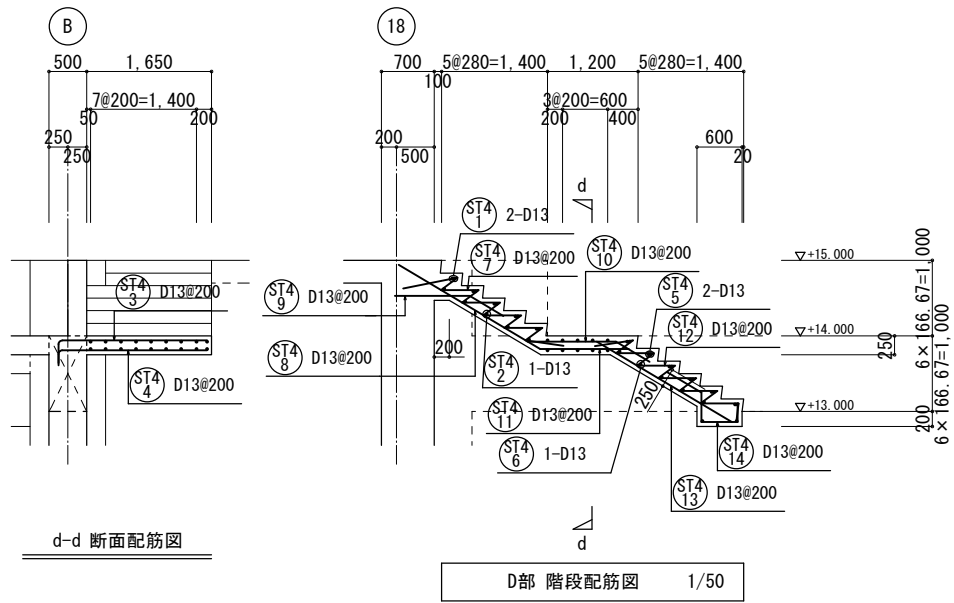
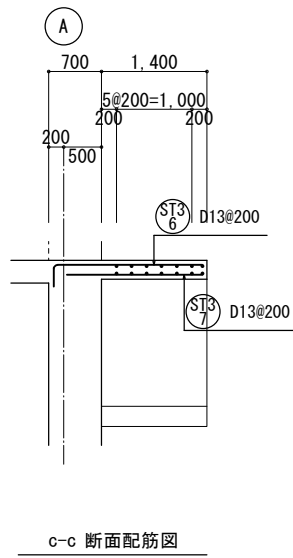
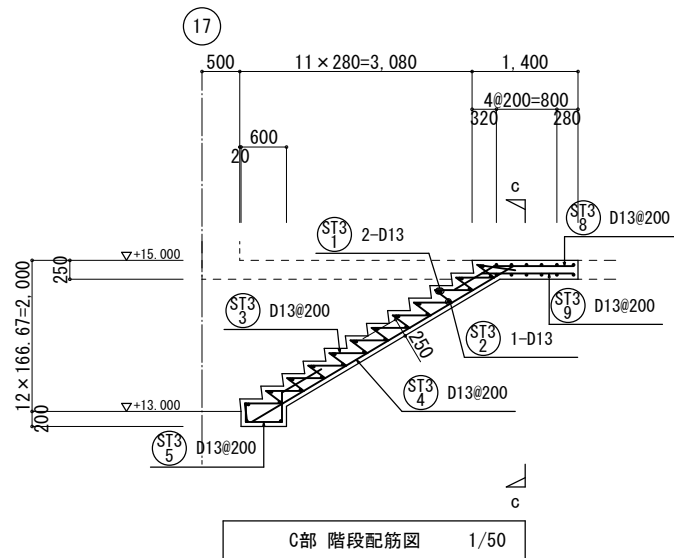
2-2 壁配筋図



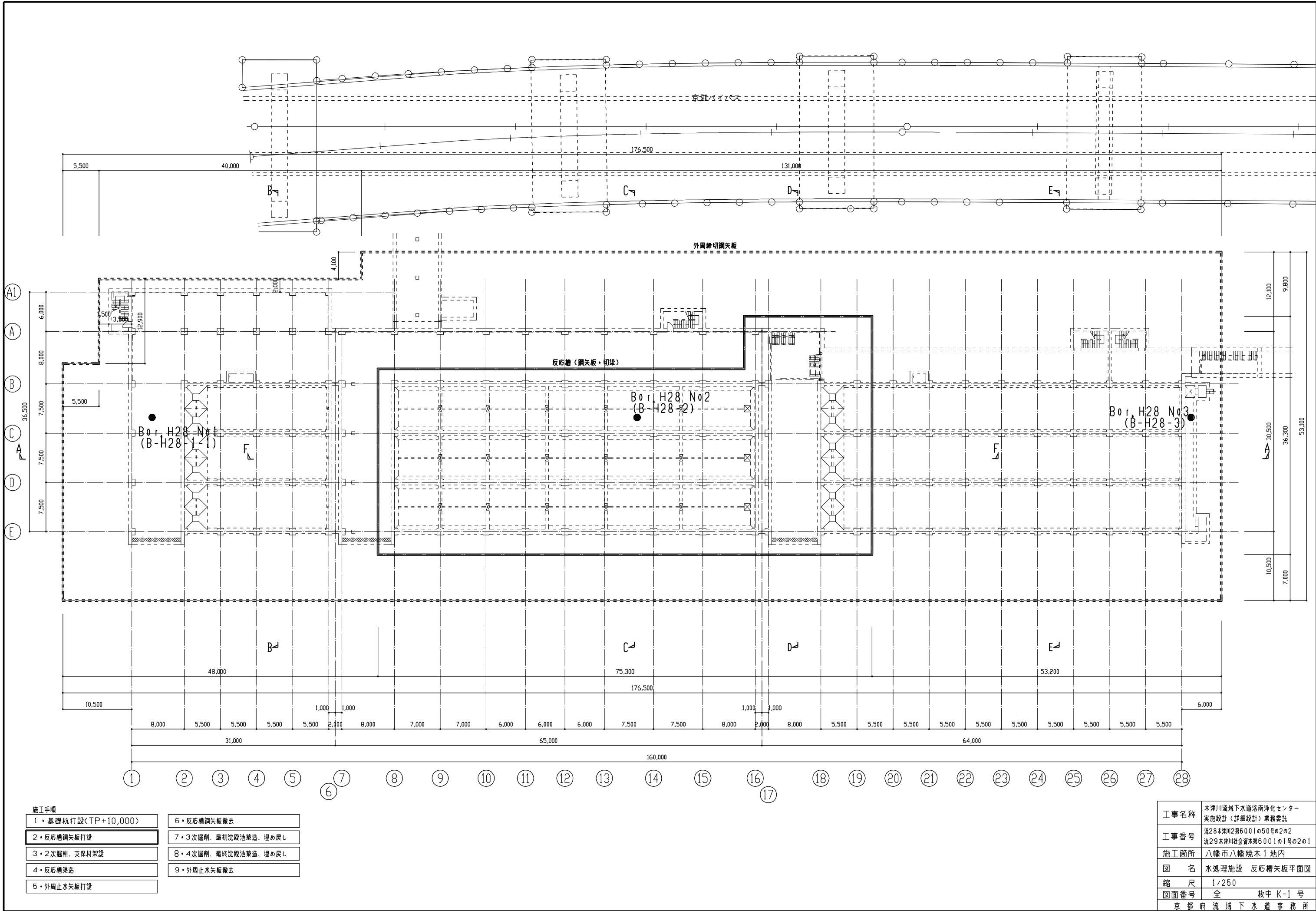
壁平面配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 $\neg$ D13@1,000 x 1,000程度とする。
但し セン断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最終沈殿池 床版配筋図(7)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-60号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 建設工事（水処理施設）
工事番号	流30木津川社会資本第6001の52号の1の1
施工箇所	八幡市八幡焼木 地内
図名	最終沈殿池 床版配筋図(8)
縮尺	1/50
図面番号	全 枚中 3S-61号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



施工手順

1・基礎杭打設(TP+10,000)

2・反応槽鋼矢板打設

3・2次掘削、支保材架設

4・反応槽築造

5・外周止水矢板打設

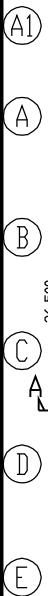
6・反応槽鋼矢板撤去

7・3次掘削、最初沈殿池築造、埋め戻し

8・4次掘削、最終沈殿池築造、埋め戻し

9・外周止水矢板撤去

工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計(詳細設計)業務委託
工事番号	流28本津川2第6001の50号の2の2 流29本津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図名	水処理施設 反応槽矢板平面図
縮尺	1/250
図面番号	全 枚中 K-1 号
京都府流域下水道事務所	

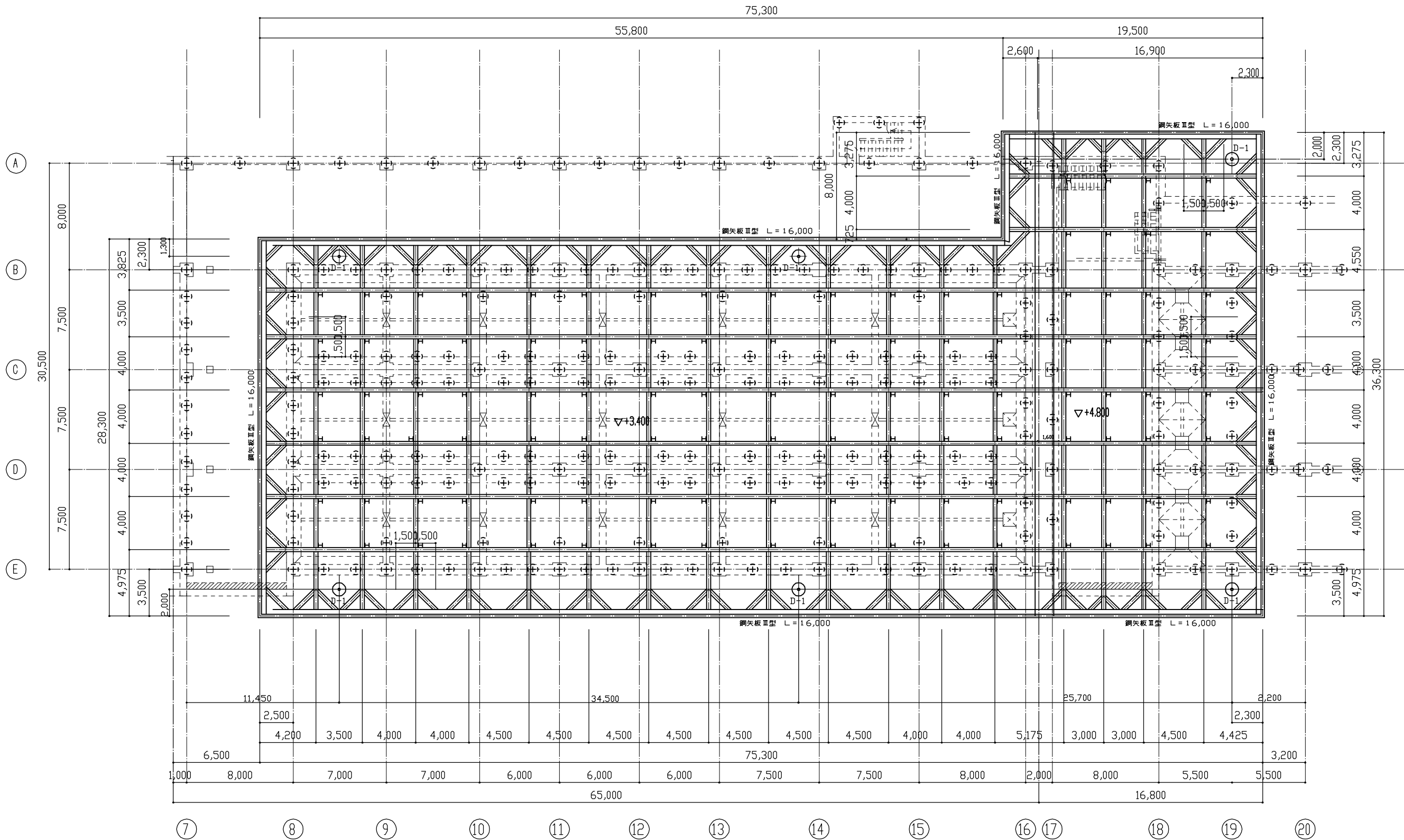


1・基礎杭打設(TP+10,000)
2・反応槽鋼矢板打設
3・1次掘削、支保材架設
4・反応槽築造
5・外周止水矢板打設

6・反応槽鋼矢板撤去
7・2次掘削、最初沈殿池築造、埋め戻し
8・3次掘削、最終沈殿池築造、埋め戻し
9・外周止水矢板撤去

※資材搬入用クレーンは、25tを標準とする。（参考図）
※作業半径は参考とする。吊りこみに際してはブーム長を調整すること。

工事名称	木津川流域下水道南浄化センター 実施設計（詳細設計）業務委託
工事番号	流28木津川2第6001の50号の2の2 流29木津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図 名	水処理施設 1次堰側平面図（1）
縮 尺	1/250
図面番号	全 枚中 K-2 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



- 施工手順
- 1・基礎杭打設
 - 2・反応槽鋼矢板打設
 - 3・1次掘削、支保材架設
 - 4・反応槽築造
 - 5・外周止水矢板打設

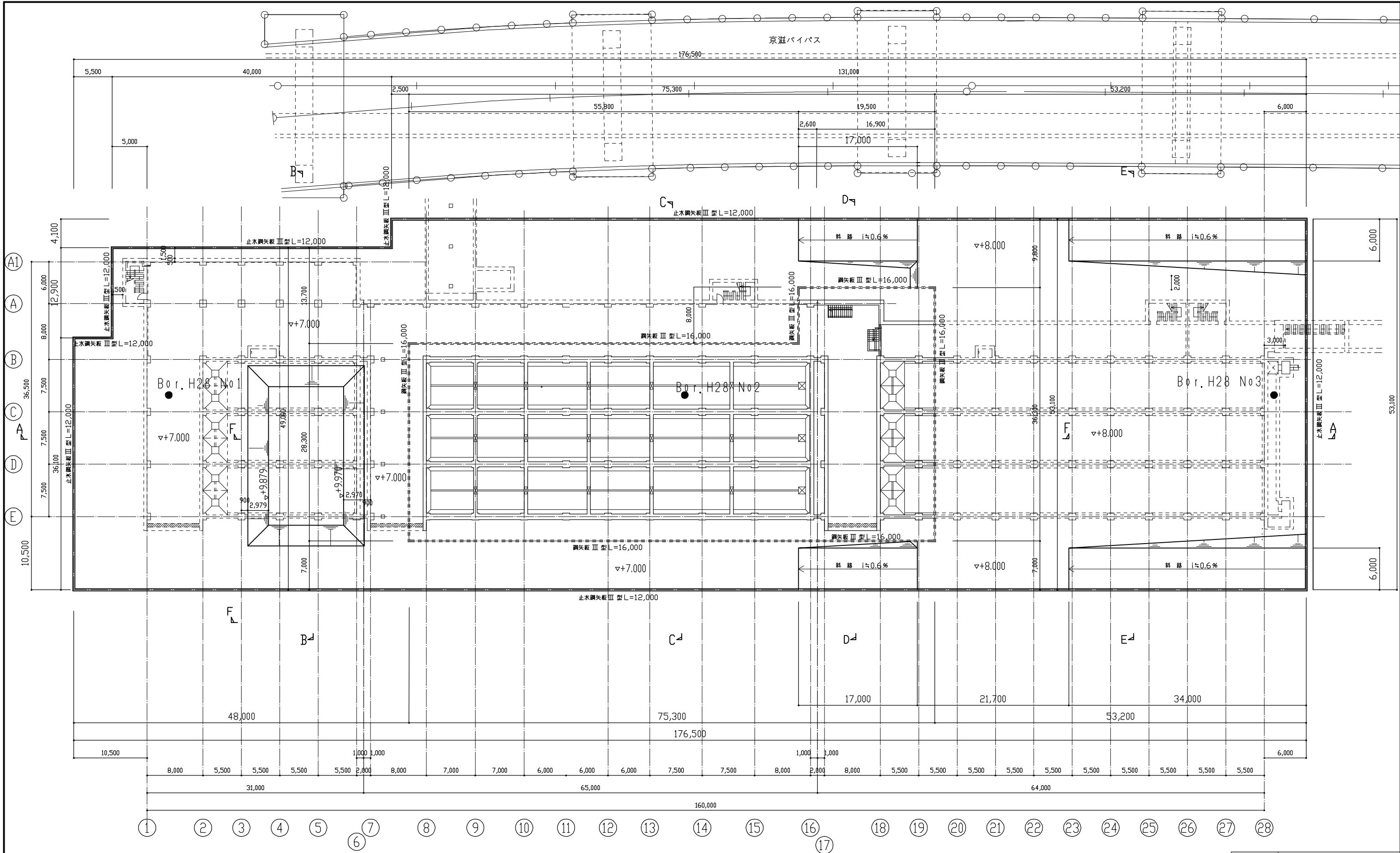
- 6・反応槽鋼矢板撤去
- 7・2次掘削、最初沈殿池築造、埋め戻し
- 8・3次掘削、最終沈殿池築造、埋め戻し
- 9・外周止水矢板撤去

支保材リスト				
	掘削し	切 梁	火打梁	備 考
第1段	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	
第2段	H-350×350×12×19	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	

鋼矢板Ⅲ型	L=16,000
中間杭	H-300×300×10×15 L=8,500

D-※
⊕ はディーブウェルを示す

工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計（詳細設計）業務委託
工事番号	第28木津川2第6001の50号の2の2 第29木津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図 名	水処理施設 土留仮設平面図
縮 尺	1/150
図面番号	全 枚中 K-3 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



施工手順

1・基礎杭打設(TP+10,000)

2・反応牆鋼矢板打設

3・1次掘削、支保材架設

4・反応牆築造

5・外周止水矢板打設

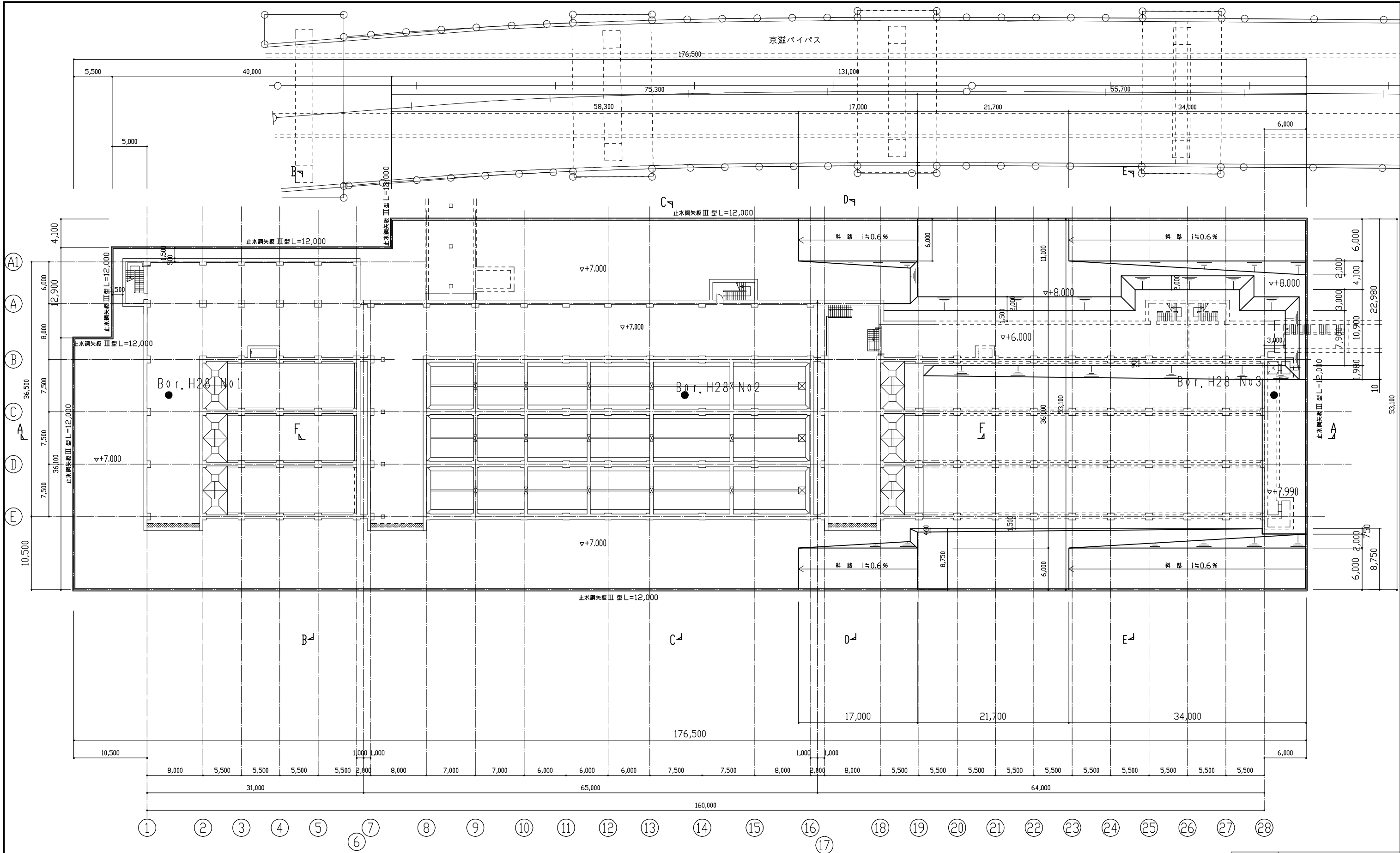
6・反応牆鋼矢板撤去

7・2次掘削、最初沈殿池築造、埋め戻し

8・3次掘削、最終沈殿池築造、埋め戻し

9・外周止水矢板撤去

工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計(詳細設計)業務委託
工事番号	流28木津川2第6001の50号の2の2 流29木津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図名	水処理施設 2次掘削平面図
縮尺	1/250
図面番号	全 枚中 K-4 号
京都府流域下水道事務所	

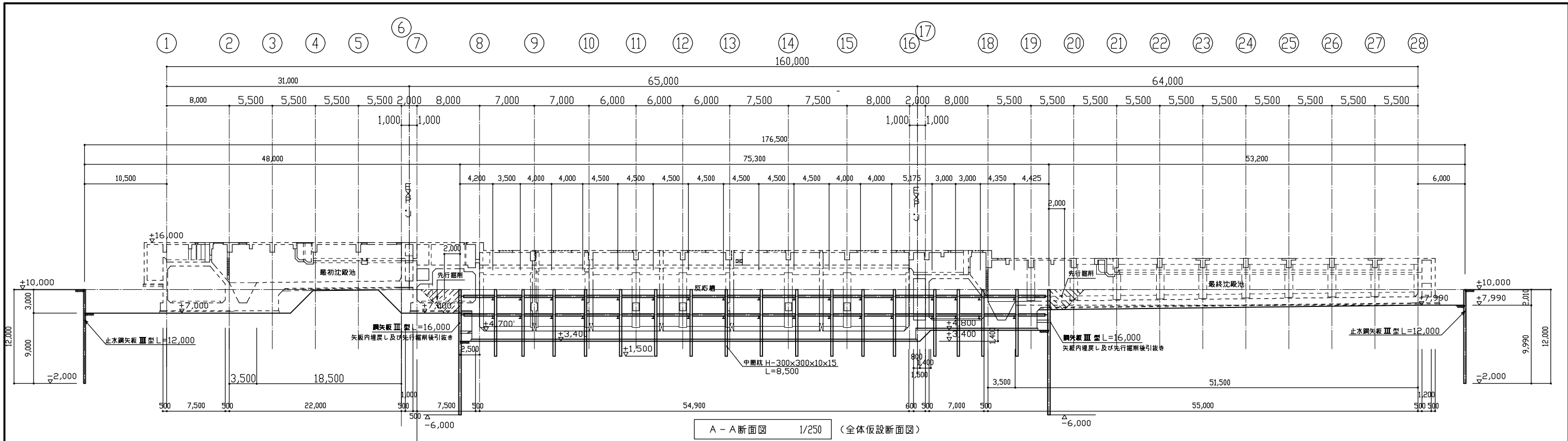


施工手順

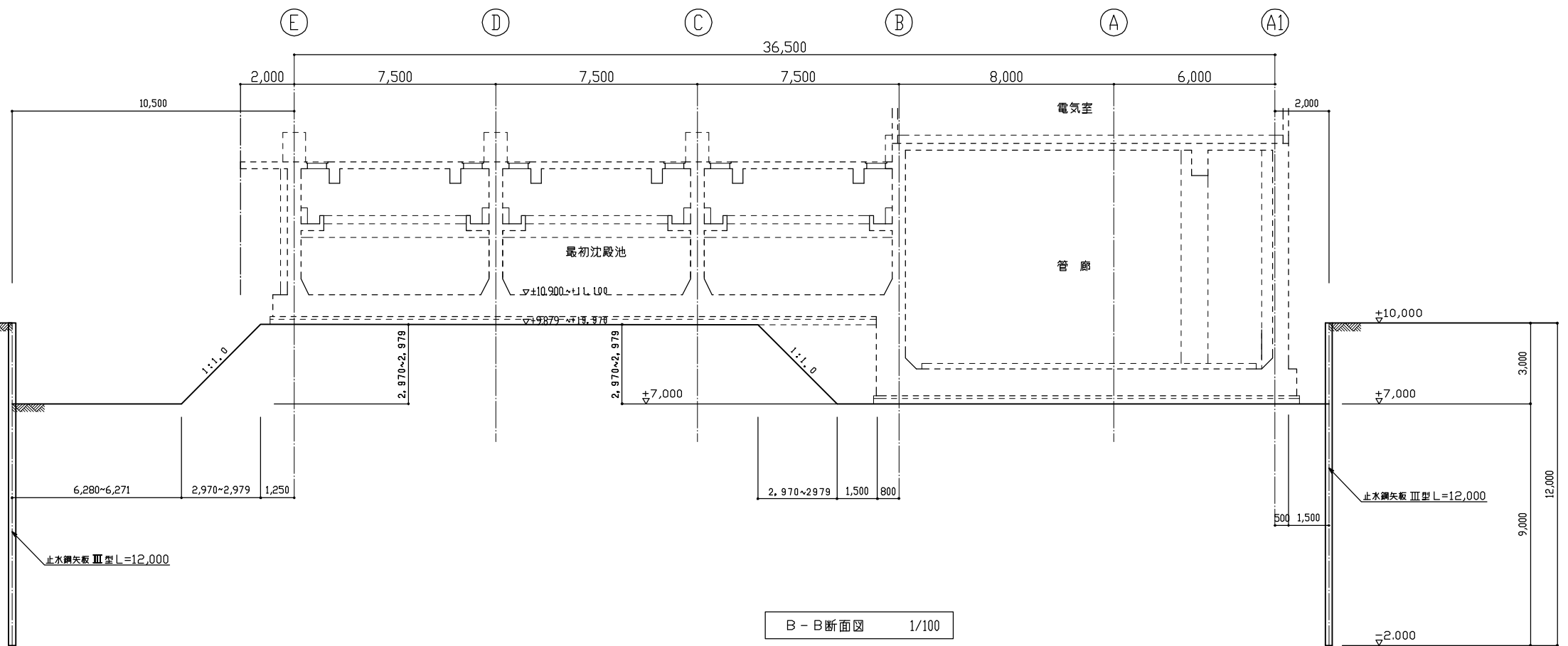
- 1・基礎杭打設(TP+10,000)
- 2・反応槽鋼矢板打設
- 3・1次曝削、支保材架設
- 4・反応槽築造
- 5・外周止水矢板打設

- 6・反応槽鋼矢板撤去
- 7・2次曝削、最初沈殿池築造、埋め戻し
- 8・3次曝削、最終沈殿池築造、埋め戻し
- 9・外周止水矢板撤去

工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計(詳細設計)業務委託
工事番号	流28本津川2第6001の50号の2の2 流29本津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図名	初沈(2次曝削)・終沈(3次曝削)平面図
縮尺	1/250
図面番号	全 枚中 K-5 号
京都府流域下水道事務所	



A-A断面図 1/250 (全体仮設断面図)

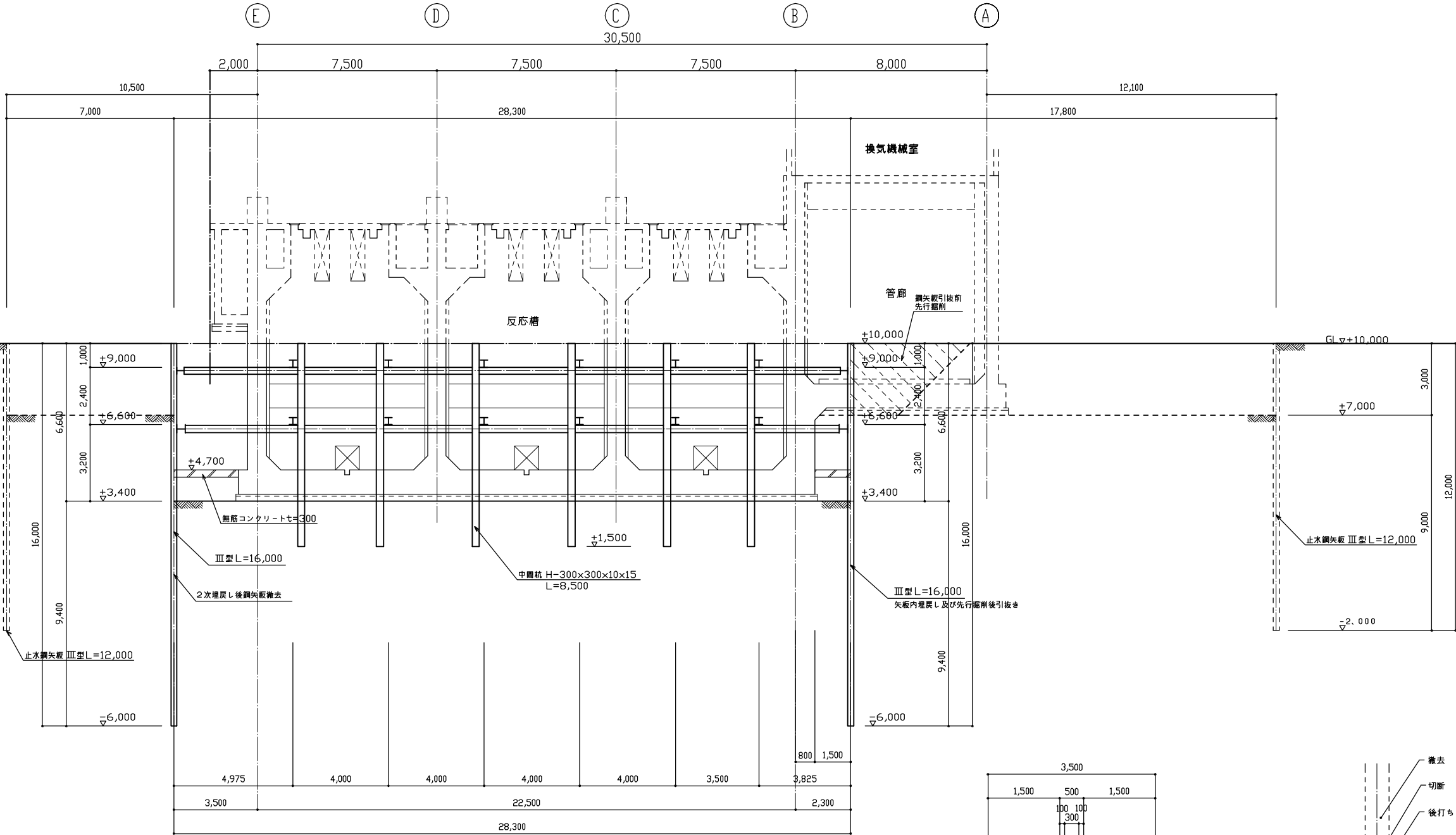


B-B断面図 1/100

土質柱状図 B-H28-1-1			N 値				
標尺	標 高	土質名	10	20	30	40	50
0	+11,273 ▽	填土 B	2	4	6	16	19
	+9,220 ▽						
	+7,920 ▽	砂質シルト AC1	4	7	20	23	30
	+7,470 ▽	シルト混じり砂 AS1					
5	+6,070 ▽	細砂 AS1	28	31	38	48	58
	+5,470 ▽	粗砂 AS1					
	+3,270 ▽	レキ混じり砂 AS2	20	23	30	31	38
	-0,530 ▽	レキ混じり砂 AS2					
10	-0,880 △	砂質シルト AC2	28	31	38	48	58
	-1,430 △	粗砂 AS2					
	-4,630 ▽	レキ混じり砂 AS2	28	31	38	48	58
		砂レキ Dg					
20							

工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計(詳細設計)業務委託
工事番号	流28本津川2第6001の50号の2の2 流29本津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図名	水処理施設 土工断面図(1)
縮尺	1/250 1/100
図面番号	全 枚中 K-6 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

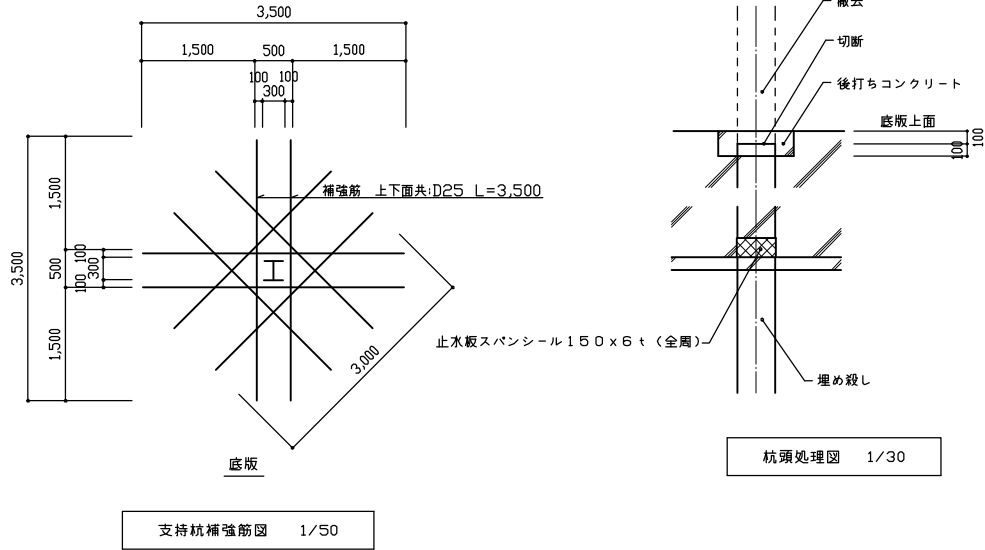
土質柱状図 B-H28-2								
標尺	標 高	土質名	N 値					
			10	20	30	40	50	
0	+11,595 ▽							
	+8,900 ▽	埋土 B	2					+9,500 ▽
	+7,450 ▽	砂質シルト AC1	5					
	+5,400 ▽	砂 AS1	4					
5			10					
	+3,750 ▽	レキ混じり砂 AS2	14					
	+2,650 ▽	砂レキ AS2	4					
			21					
			21					
10		レキ混じり砂 AS2	29					
	-0,310 ▽		26					
	-0,810 △	シルト AC2	25					
	-3,260 ▽	砂質シルト AC2	5					
			8					
15	-4,460 ▽	レキ混じり砂 AS2	B					
			26					
		砂レキ Dg						44 ▽
20								



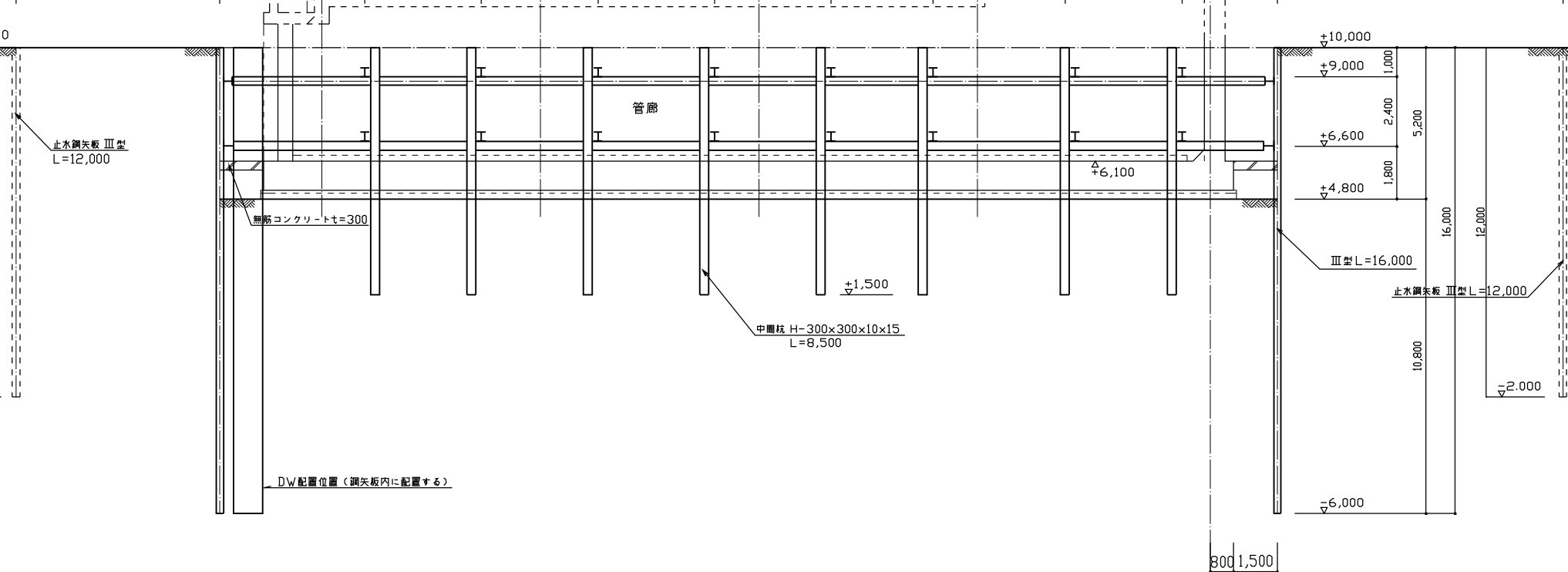
C-C断面図 1/100

鋼矢板 III 型	L=16,000
止水鋼矢板 III 型	L=12,000
中継杭	H-300×300×10×15 L=8,500

支保材リスト				
	腹起し	切 梁	火打梁	備 考
第 1 段	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	
第 2 段	H-350×350×12×19	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	

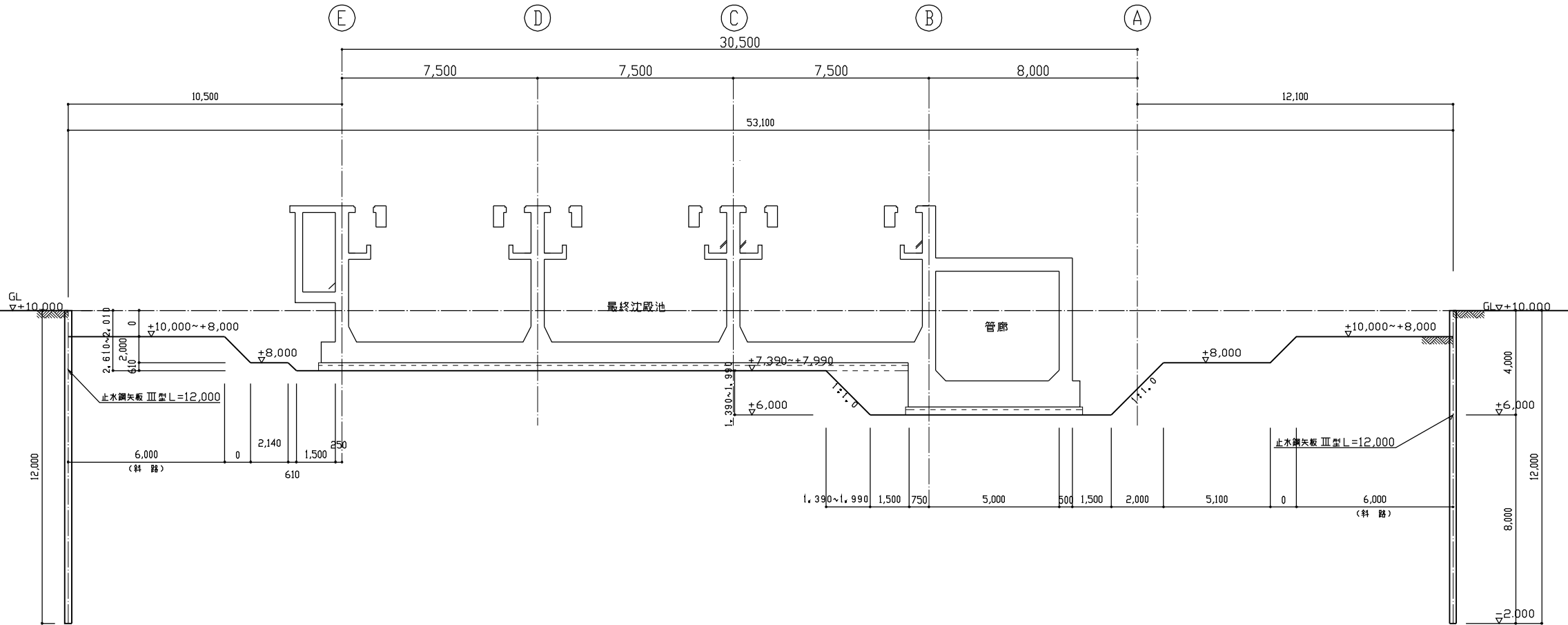
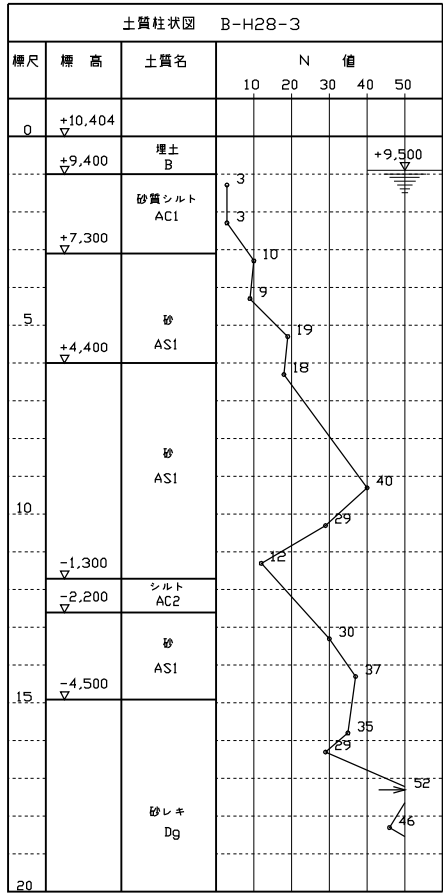


工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計（詳細設計）業務委託
工事番号	第28木津川2第6001の50号の2の2 第29木津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図 名	水処理施設 土工断面図（2）
縮 尺	1/100
図面番号	全 枚中 K-7 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



D - D 断面图 1/100

工事名称	木津川流域下水道道南浄化センター 実施設計（詳細設計）業務委託		
工事番号	淀28水割12第6001の50号の2の2 淀29木津川社会資本第6001の1号の2の1		
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内		
図 名	水処理施設 土工断面図（3）		
縮 尺	1/100		
図面番号	全	枚中	K-8 号
京都府流域下水道事務所			



E-E断面図 1/100

施工手順

1・基礎杭打設(TP+10,000)

2・反応槽鋼矢板打設

3・1次掘削、支保材架設

4・反応槽架造

5・外周止水矢板打設

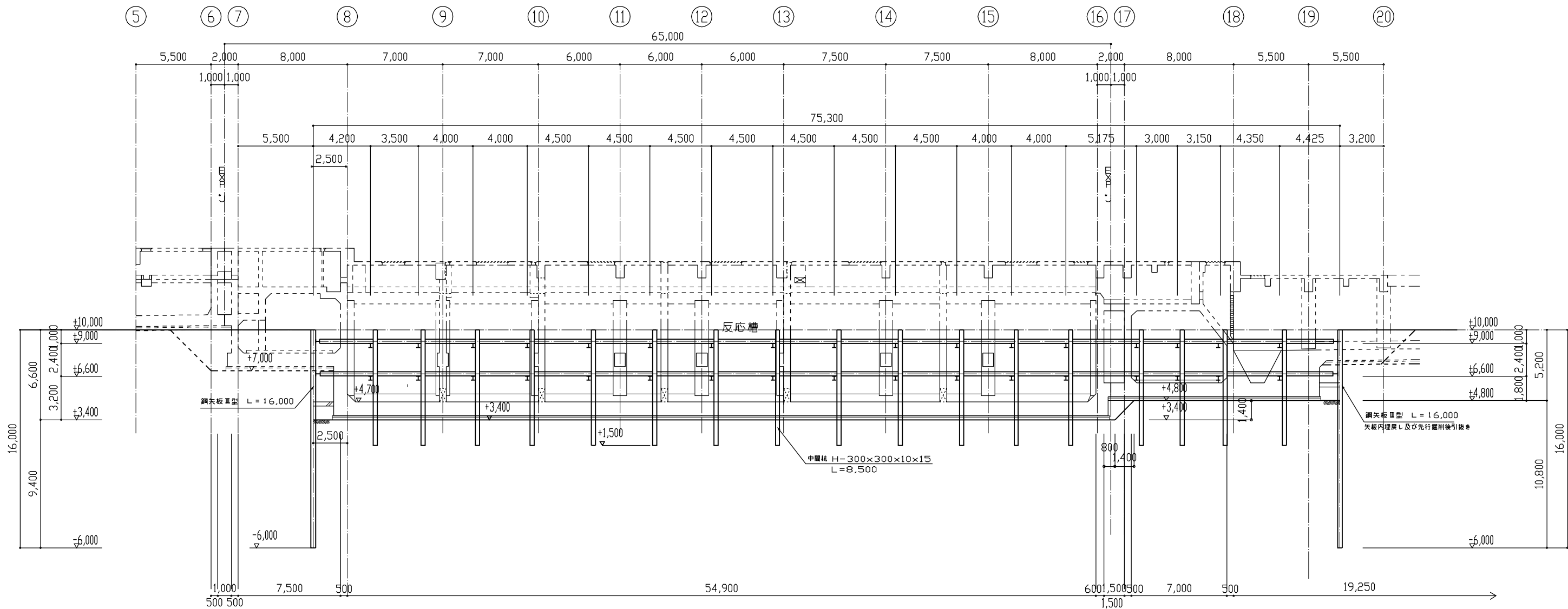
6・反応槽鋼矢板撤去

7・2次掘削、最初沈殿池架造、埋め戻し

8・3次掘削、最終沈殿池架造、埋め戻し

9・外周止水矢板撤去

工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計（詳細設計）業務委託
工事番号	流28木津川2第6001の50号の2の2 流29木津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図名	水処理施設 土工断面図（4）
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 K-9 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	

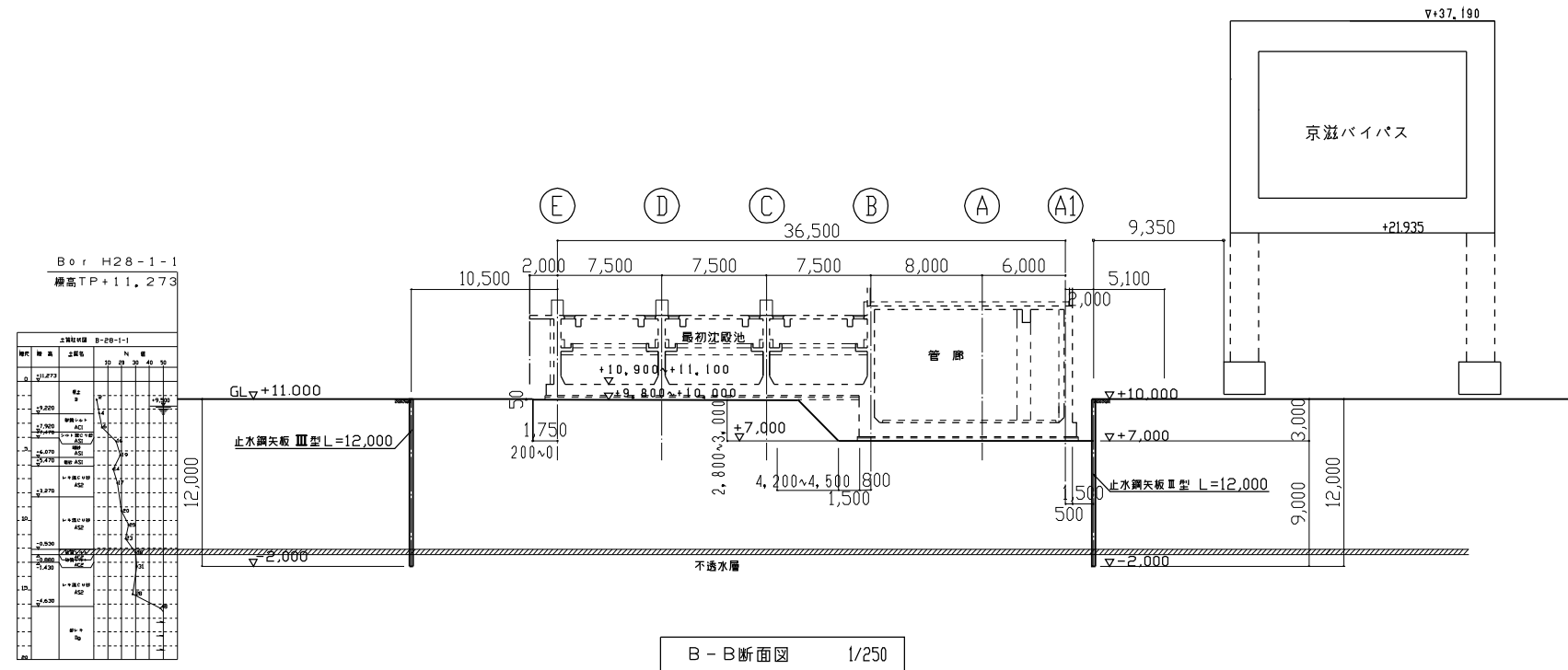
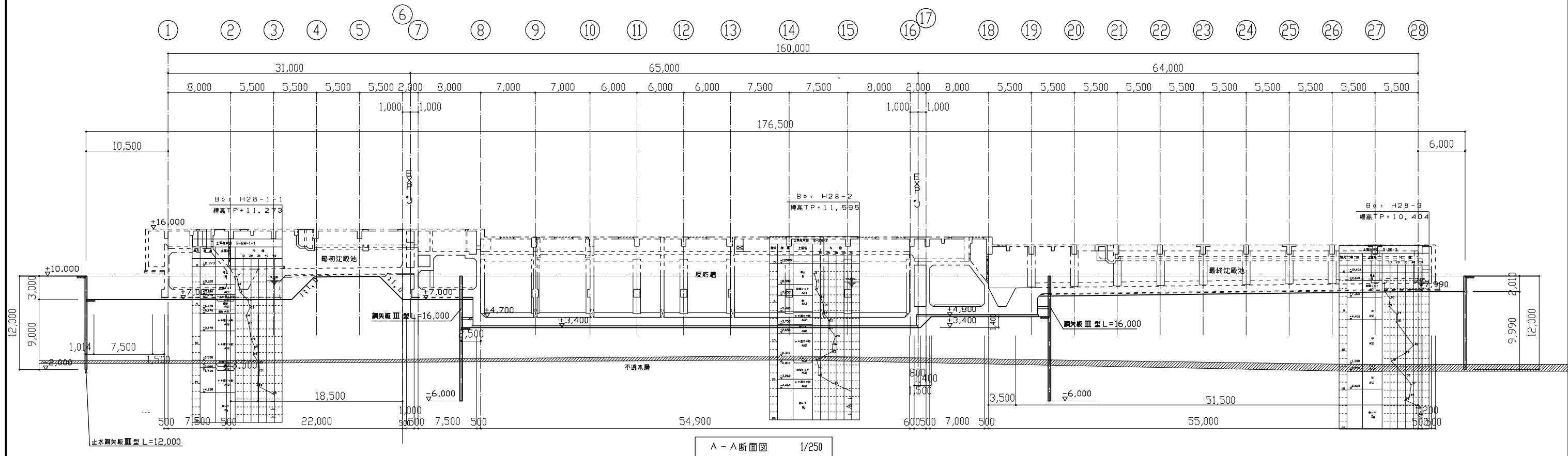


F-F断面図 1/150

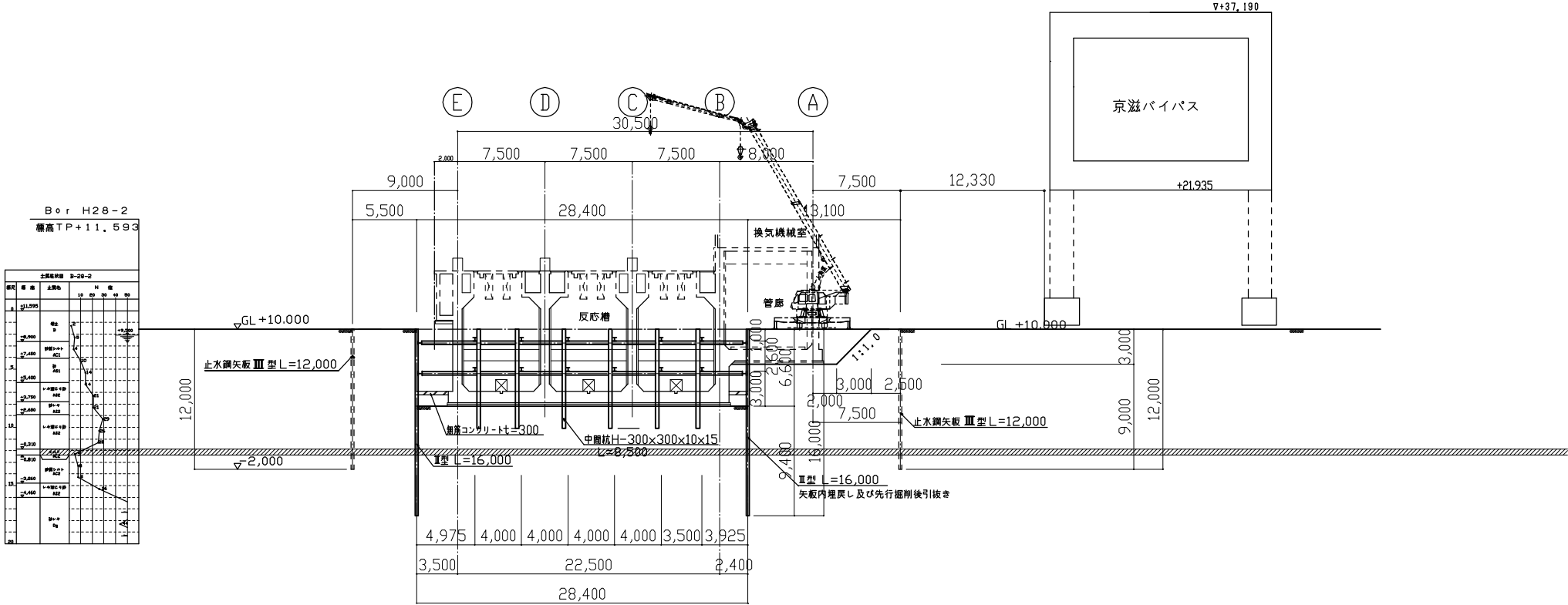
支保材リスト				
	腹起し	切 梁	火打梁	備 考
第1段	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	
第2段	H-350×350×12×19	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	

鋼矢板 III 型	L=16,000
止水鋼矢板 III 型	L=12,000
中樑	H-300×300×10×15 L=8,500

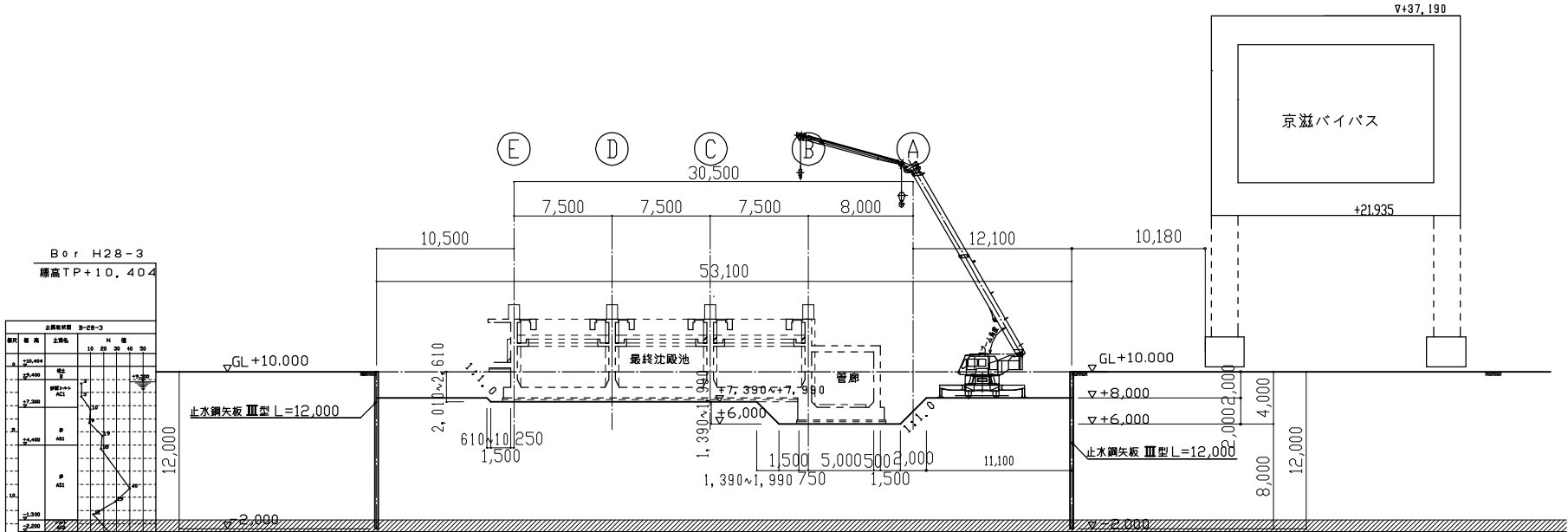
工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計（詳細設計）業務委託
工事番号	流28木津川2第6001の50号の2の2 流29木津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図 名	水処理施設 土工断面図（5）
縮 尺	1/150
図面番号	全 枚中 K-10 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計（詳細設計）業務委託
工事番号	流28本津川2第6001の50号の2の2 流29本津川2社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図名	水処理施設 土工断面図（6）
縮尺	1/250
図面番号	全 枚中 K-11 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



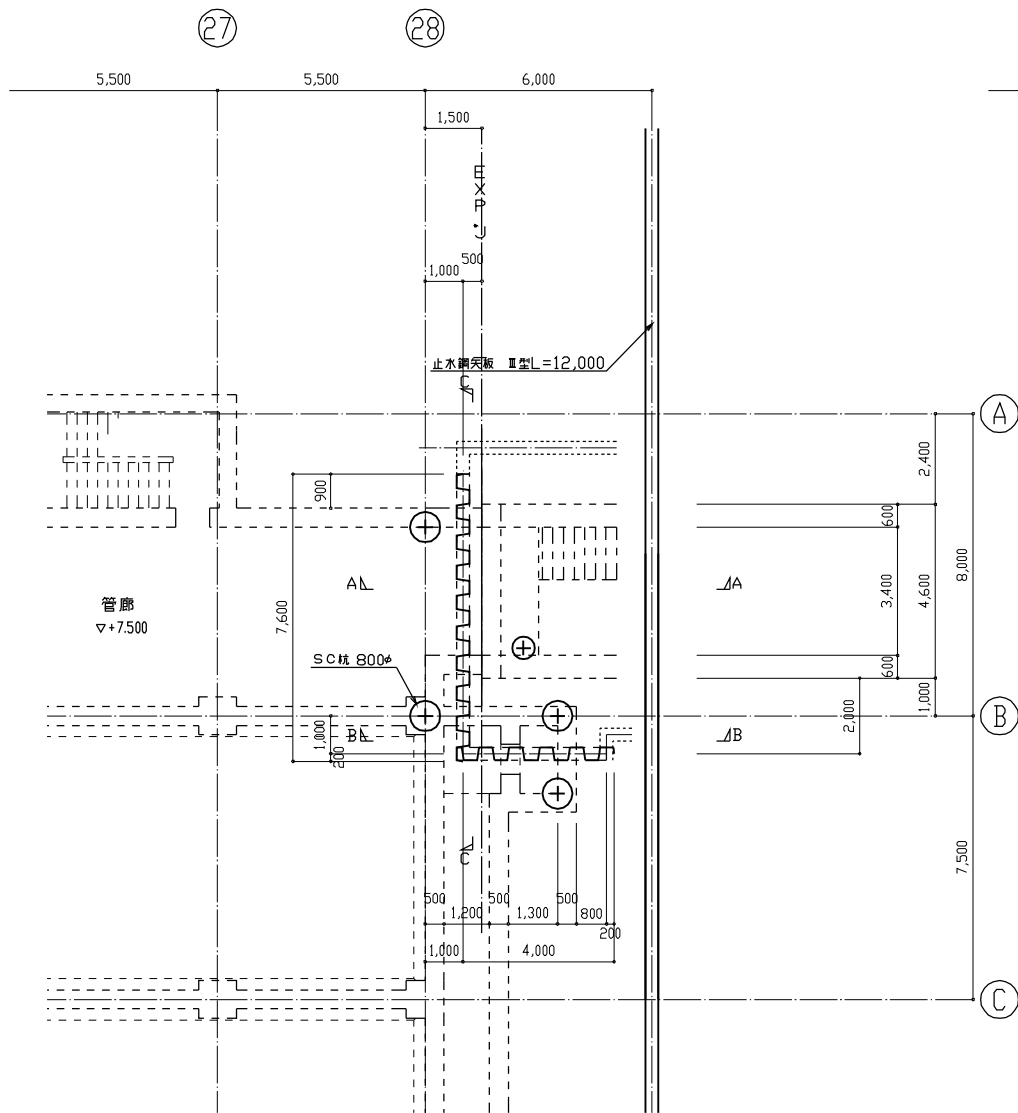
C-C断面図 1/250



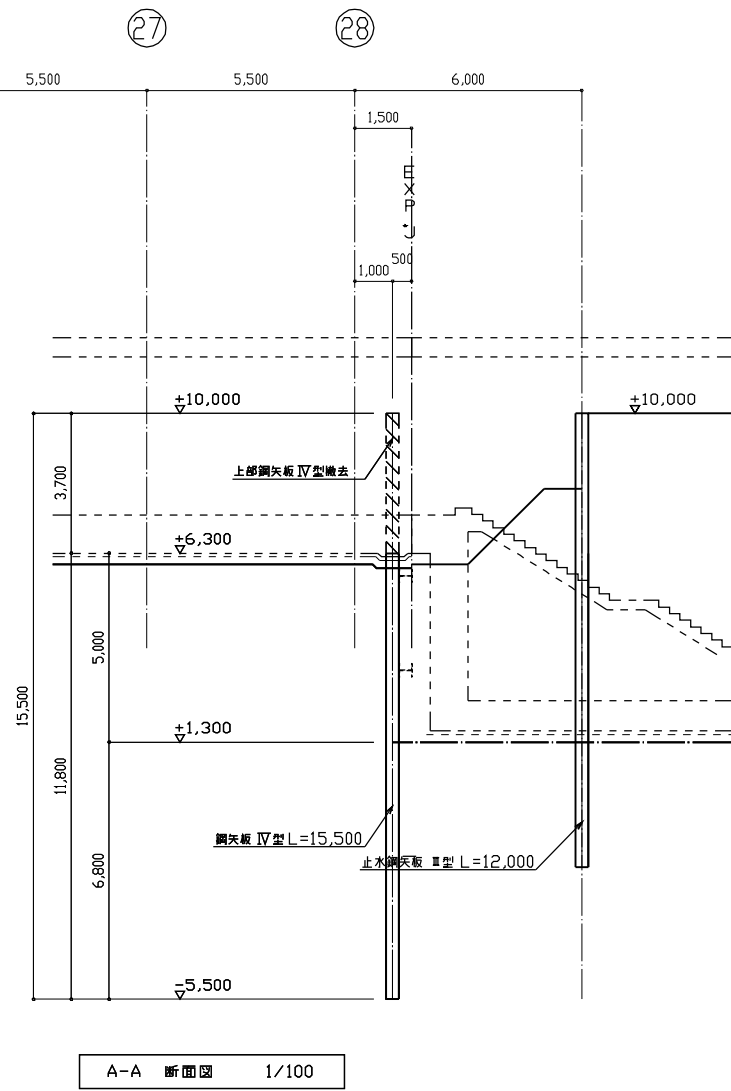
E-E断面図 1/250

※資材搬入用クレーンは、25tを標準とする。
※吊りこみに際してはブーム長を調整すること。

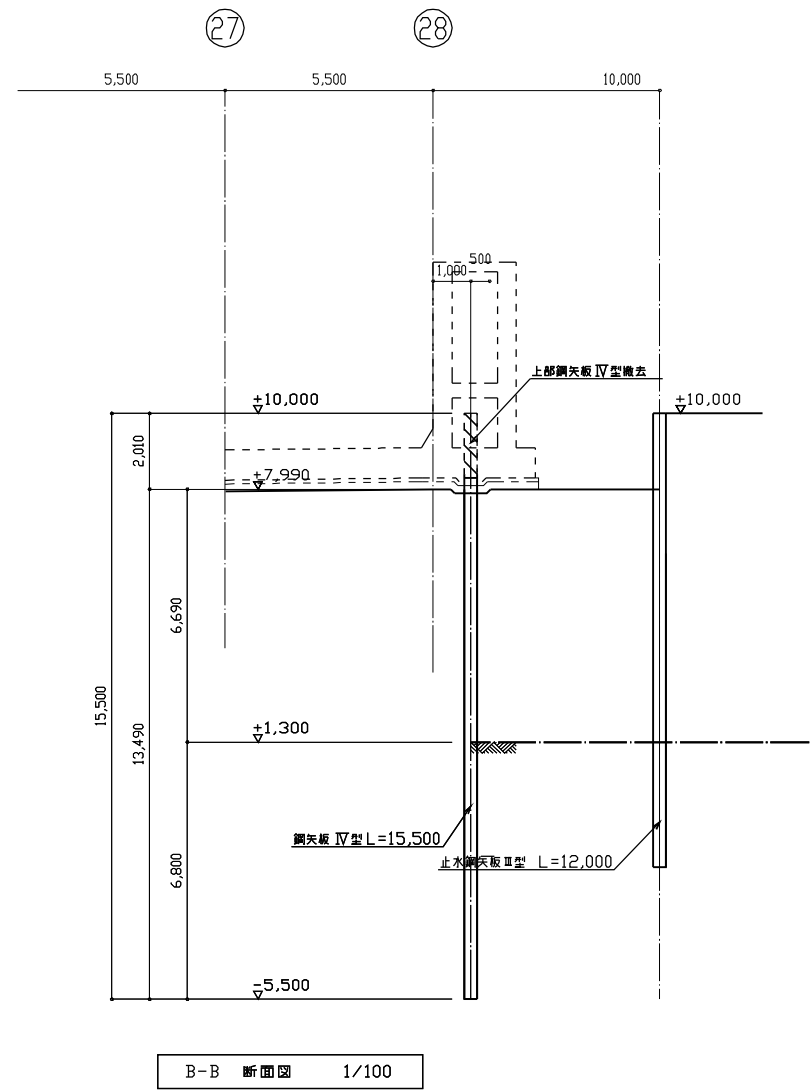
工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計（詳細設計）業務委託
工事番号	流28本津川2第6001の50号の2の2 流29本津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図名	水処理施設 土工断面図（7）
縮尺	1/250
図面番号	全 枚中 K-12 号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	



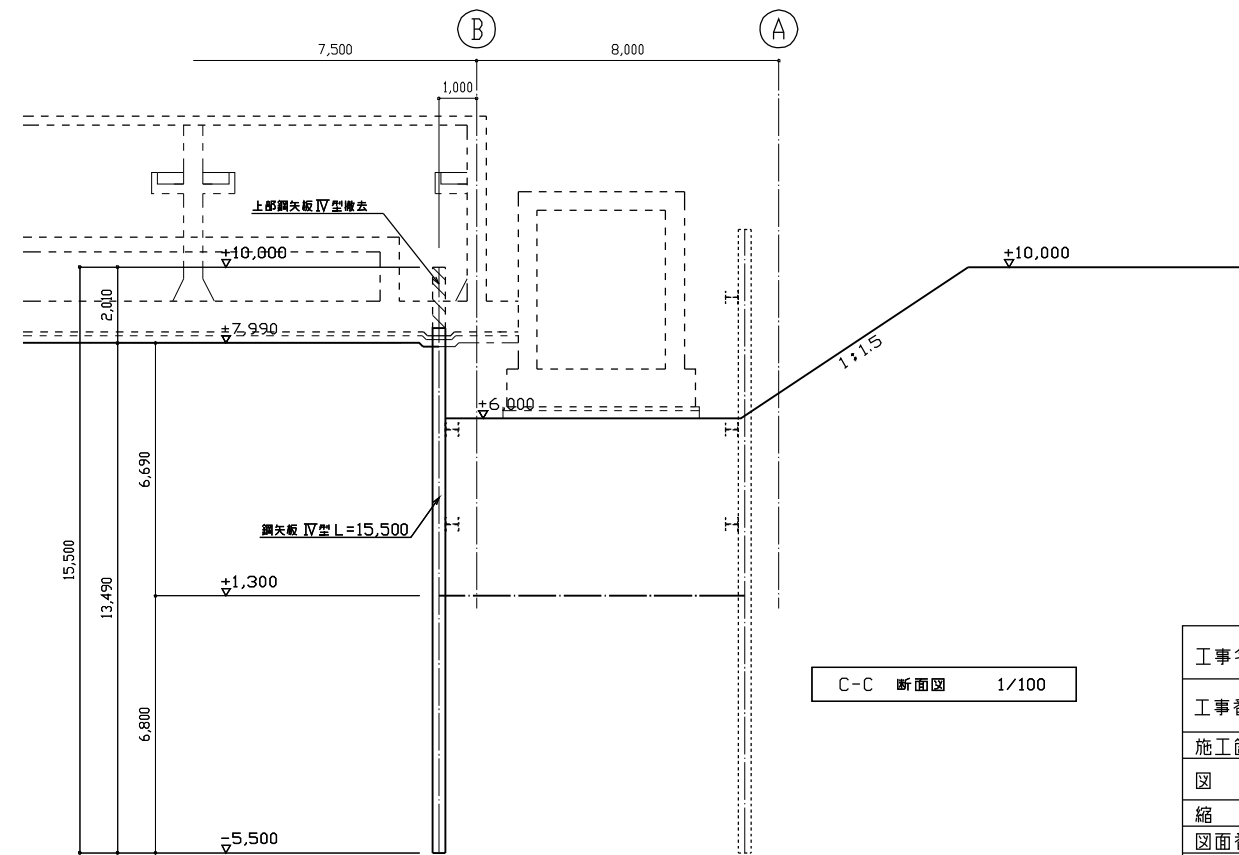
平面図 1/100



A-A 断面図 1/100



B-B 断面図 1/100



C-C 断面図 1/100

工事名称	木津川流域下水道洛南浄化センター 実施設計（詳細設計）業務委託
工事番号	流28木津川2第6001の50号の2の2 流29木津川社会資本第6001の1号の2の1
施工箇所	八幡市八幡焼木1地内
図名	最終沈殿池 将来管廊施工考慮図
縮尺	1/100
図面番号	全 枚中 K-13号
京 都 府 流 域 下 水 道 事 務 所	